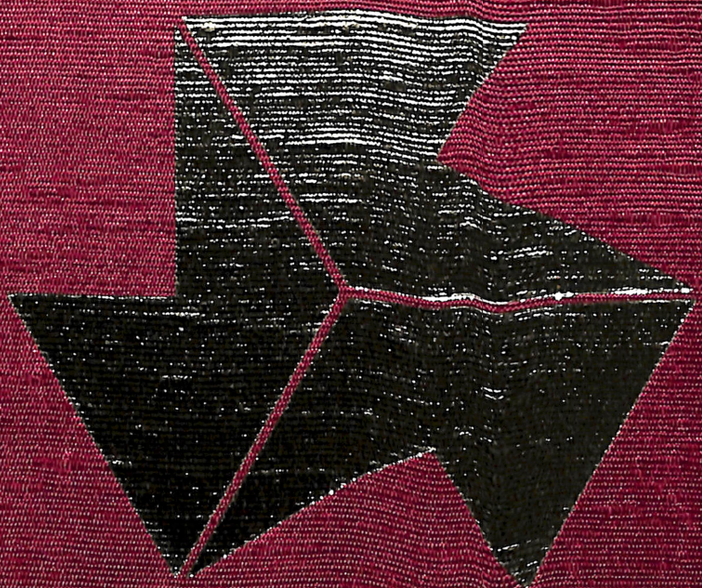
創立70周年記念誌



公益財団法人 全国高等学校体育連盟
バドミントン専門部

創立70周年記念誌

公益財団法人 全国高等学校体育連盟
バドミントン専門部



発　刊　の　辞

（公財）全国高等学校体育連盟
バドミントン専門部
部　長　田部井　秀　郎

（公財）全国高等学校体育連盟バドミントン専門部が創設され70周年を迎えることになりました。これもひとえに多大なご尽力をいただきました公益財団法人日本バドミントン協会をはじめ、今日までの高体連の歴史と伝統を築かれた諸先輩方やバドミントンを支えていただいた多くの関係の皆様によるものと感謝申し上げます。創立50周年記念誌では保坂元部長、伊佐山事務局長（元部長）により50年間に渡る膨大な大会資料を収集、まとめていただき発刊されました。それ以降10年毎に発刊することになり、創立60周年記念誌では木戸元部長を中心として10年間の歩みの記録がまとめられ発刊されました。それからの10年の歩みは帰山前部長のお力添えと専門部一同の協力により創立70周年記念誌として発刊することができました。

本連盟は発足以来、高体連マークが示す三つのK「KRAFT（力）、KUNST（技）KLARHEIT（明朗な精神）」をモットーに高等学校における体育・スポーツ活動の振興を通じて、青少年の健全育成に努めてまいりました。この記念すべき年を契機に次代を担う高校生に夢と希望を与えながら更なる発展を繋げていきたいと思っています。

10年を振り返りますと日本バドミントン界は急激な躍進を遂げています。世界ジュニア大会では平成24年男子シングルス桃田賢斗選手が初の金メダルを獲得、女子シングルス奥原希望選手も初の金メダルを獲得、平成25年・26年には山口茜選手が女子シングルスで２連覇、平成28年には松山奈未・保原彩夏組が女子ダブルス初の金メダル、平成29年には金子真大・久保田友之祐組が男子ダブルス初の金メダルを獲得、ジュニア世代に大活躍し、それを糧にして今日の各世界大会において輝かしい成果を残しています。

全国高体連専門部では、部活動を取り巻く環境が大きく変化することの対応に追われました。経費削減、大会参加費値上げ、大会運営負担金の徴収、2020年分散開催、特別基金、体罰根絶共通ルールの制定、ガイドラインの作成、また大きな自然災害が発生し苦しい日々が続きました。平成22年度の和歌山選抜大会は残念ながら中止となりました。

インターハイや選抜大会でも多くの改革を行いました。平成25年度長野選抜大会では学校対抗戦の出場枠の拡大により東京都から２代表、愛知県単独出場、平成26年度千葉インターハイではインハイTV配信、トマス杯の展示、平成28年度の第45回記念愛知選抜大会では個人対抗戦を実施、平成29年度の愛媛選抜大会では個人対抗戦の出場枠を32に拡大（同都道府県第２代表の出場可）、平成30年度静岡インターハイではユーバー杯を展示しました。まだまだ課題はたくさん残されていますが一歩ずつ前へ進めてまいりたいと思います。

結びに本記念誌の発刊にご尽力をいただきました関係各位に心より感謝を申し上げ、発刊のことばとさせていただきます。



祝　　辞

(公財)日本バドミントン協会
会長　綿貫民輔

全国高等学校体育連盟バドミントン専門部の創立70周年を心よりお慶び申し上げます。専門部創立当初より今日まで70年もの長きにわたり、専門部発展にご尽力された歴代の役員・会員の皆様の苦労に対し深甚なる敬意を表します。

さて、貴専門部は、昭和25年に発足し昭和26年に全国高等学校体育連盟に加盟して以来、全国高等学校総合体育大会及び全国高等学校選抜大会の開催のみならず、全日本ジュニアバドミントン研修合宿等、幅広く活動され、バドミントンの普及と優秀な選手を数多く育成し、輩出されてこられました。このことが、オリンピックをはじめ国際大会での今日の日本選手の活躍に結びついていると考えます。また、この少子化の時代及び子供たちのスポーツ離れの昨今、高校生の日本バドミントン協会登録数がこの10年間で、83,526名から112,377名と28,851名も増加しているなど、貴専門部が本協会はもとより、日本のバドミントン界に残された功績は多大なものであります。

日本選手の活躍は2012年に藤井瑞希選手・垣岩令佳選手のペアがロンドンオリンピックで銀メダルを獲得し、日本人初のオリンピックでのメダリストとなったことを皮切りに、2016年にリオデジャネイロオリンピックで高橋礼華選手・松友美佐紀選手ペアが悲願の金メダルの栄光に輝きました。団体戦では紆余曲折がありながらも、2014年にはトマス杯、2018年にはユーバー杯を制し、世界の頂点へ男女ともに登り詰めることができました。世界を制したトマス杯とユーバー杯は、その年の全国総合体育大会会場に展示され、多くのバドミントン愛好者の目にとまり生で賜杯を見ていただくことができました。さらに2020年東京オリンピックに向けて日本選手の競技レベルは向上し、男女ともに世界ランク１位の地位にいます。これも本協会のジュニア強化事業への貴専門部の協力体制が実を結んだ故であります。世界の本物を見て育った世代が、組織と選手ファーストを考えて、強力なリーダーシップの下で世界の頂点に立つことができました。

今日、貴専門部が着実に発展されてこられたのは、歴代の専門部の役員の方々等のご苦労はもちろんのこと、全国各地で常日頃から献身的に指導されている指導者及び選手の皆様の努力があってのことであります。また、小学生からの一貫した指導が定着してきた近年において、貴専門部が果たす役割には非常に重要なものがあります。これからも、関係各団体との連携を図りながら、バドミントンの普及と世界で活躍する選手の育成を目指して、より一層発展されますよう祈念し、祝辞といたします。



祝　　辞

(公財) 全国高等学校体育連盟
会長　岡　田　正　治

公益財団法人全国高等学校体育連盟バドミントン専門部が、創立70周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。また、70周年記念事業の一環として創立70周年記念誌を発刊されますことは、バドミントン専門部の歴史を後世に引き継ぐための貴重な資料となるとともに、高校バドミントンの更なる発展に向けた道標になるなど、誠に意義深く、高等学校における体育・スポーツ活動のより一層の振興と発展を願うものにとりまして大きな喜びです。

バドミントンは、男女を問わず子供から大人まで、そしてレクリエーションから競技まで、幅広く愛されているスポーツであるとともに、学習指導要領においてネット型の球技の一つとして示され、体育の授業の中で取り扱われている運動種目です。

これまでバドミントン専門部は、全国高等学校総合体育大会バドミントン競技大会や全国高等学校選抜バドミントン大会の開催をはじめ、高等学校バドミントン競技の充実・発展に努めるとともに、世界に通じる選手の育成・強化にも尽力されてこられました。平成30年度全国高等学校体育連盟の加盟登録人数においては、男子63,581人、女子56,350人、合計119,931人と、サッカー、バスケットボールに次いで３番目に多い競技専門部になっています。

2016年リオデジャネイロオリンピックでは、女子ダブルスで高橋礼華選手・松友美佐紀選手のペアが、オリンピック・バドミントン競技で日本初の金メダルを獲得しました。2018年世界選手権では、男子シングルスで桃田賢斗選手が優勝、女子ダブルスで永原和可那選手・松本麻佑選手のペアが日本勢対決を制して優勝するなど、バドミントン競技における日本選手の世界での活躍は大変目覚ましいものがあります。来年開催となる東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会においても、バドミントン競技での日本選手の活躍に日本国中が大きな期待を寄せています。

高体連で育った選手や、高体連に登録している119,931人のバドミントン選手の中から、世界を舞台に活躍する選手が一人でも多く出ることを願うとともに、高等学校の部活動におけるバドミントン競技の裾野拡大と競技力向上が、今後も一層図られますことをお願い申し上げます。

結びに、70年の長きにわたり、将来の日本を支える高校生の健全育成と選手強化を図っていただいております、公益財団法人全国高等学校体育連盟バドミントン専門部の皆様のこれまでのご努力に感謝申し上げますとともに、専門部創立70周年記念誌発刊を契機に、今後益々発展されることを祈念申し上げ、発刊に寄せるお祝いの言葉といたします。



祝　　辞

（公財）全国高等学校体育連盟
バドミントン専門部
前部長　帰　山　好　和

公益財団法人全国高等学校体育連盟バドミントン専門部がこのたび創立70周年を迎えられるにあたり、記念事業の一環として記念誌が発刊されますことを心からお慶び申し上げます。

バドミントン専門部は60周年の記念誌発刊後、この10年間《力》《技》《明朗な精神》３つのKの精神のもと、いくつかの課題に全力で取り組んできました。１つは競技人口の安定した増加です。バドミントン競技自体の魅力を上げていくことは当然ですが、試合の楽しさを知ってこそ競技にのめりこむことができるという趣旨のもと、登録した部員全員が出場できる大会を各都道府県で増やしたり、全国大会をライブ配信してより身近にバドミントンを感じてもらったりすることなどに努力をしてきました。結果、現在高校生（全日制＋定通制）の登録は男子3,634校611,77名、女子3,765校56,821名、合計117,998名となり毎年増加の傾向にあります。また、もう１つの課題が競技力アップです。現在、バドミントン専門部が日本バドミントン協会と進めてきたジュニアからの育成が実を結び始め、今年度の世界ジュニア選手権大会では国別対抗戦３位の銅メダル、男子シングルスでは奈良岡功大選手が準優勝に輝き世界トップの競技力を維持してくれています。これは高校指導者が高校生の指導とともに、地域との協力体制をより強固なものに押し上げてきた結果であると確信しています。最近では世界での活躍が認められ、メディアにも大きく取り上げられる選手たちがたくさん出てくるようになりました。改めて高校で大いに活躍をして2018年12月現在世界ランキング上位に入っている選手を記録してみます。男子シングルス１位の桃田賢斗選手を筆頭に、女子シングルス２位の山口茜選手、男子ダブルス３位の嘉村健士・園田啓悟組、女子ダブルスでは世界１位の福島由紀・廣田彩花組から、２位松友美佐紀・高橋礼華組、３位松本麻佑・永原和可那組までを日本選手が独占していますし、ミックスダブルスでも３位に渡辺勇大・東野有紗組という素晴らしい結果を残してくれており、2020年のオリンピックで誰もが金メダル候補という快挙を成し遂げてくれています。

そして最後に残った大きな課題が、全国高体連33競技共通の体罰根絶問題です。全国高体連では平成25年に体罰根絶宣言を出し、それに取り組んできています。古い体制の指導から新しい体罰不要の体制に指導者自身が向上していくこと、これが今後の指導で不可欠になってきます。全国高体連の明朗な精神のスローガンにもあるようにバドミントン専門部が率先して、この問題に正面から向かい合い、指導者の健全な精神をもって選手の健全育成につなげていくことが最も大切な取り組みと考えます。これ以外にもたくさんの課題がありますが、これからもバドミントン専門部が一丸となり、高校生のそして日本の将来を見据えた永続的な取り組みをお願いしたいと思います。

結びに、これまで全国高体連バドミントン専門部を支えてこられました諸先輩のご尽力に感謝申し上げるとともに、この70周年を契機にバドミントン専門部のさらなる飛躍を目指して活躍されることを祈念申し上げ、記念誌発刊のお祝いの言葉とさせていただきます。



祝　　辞

（公財）全国高等学校体育連盟
バドミントン専門部
元部長　木　戸　純　一

創立70周年を迎えられました全国高等学校体育連盟バドミントン専門部に対して心よりお祝い申し上げます。この度、70周年記念誌を発刊されるにあたり、全国高体連専門部の輝かしい歴史と偉業を貴重な記録として後世に残されることは、誠に意義深いことであり、携わった者の一人として、心からお祝いと敬意を表したいと思います。

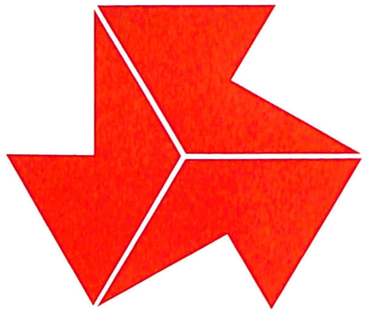
私は、第９代部長として平成19年度から平成22年度までの４年間、専門部長を仰せつかりました。この４年間を振り返ってみますと、大会等での沢山の思い出が甦って参ります。

全国高校総体では、平成19年第58回佐賀大会で行啓訪問が実施され、１日目に武雄市白岩体育館で行われた女子団体戦に皇太子殿下が視察された際、説明役を務めました。バドミントン競技の視察は３度目とのことで、前年からラリーポイント制が導入され、旧ルールよりもわかりやすいとの感想を述べていらっしゃいました。また、オグシオ両選手について興味深くお話しをされ、予定時間よりも５分ほど長く視察されました。平成20年第59回埼玉大会は、地元埼玉栄高校が３年連続３冠を達成し、個人ダブルスにおいてもベスト４を独占、前人未踏の大記録を達成しました。平成21年第60回大阪大会では、60周年記念式典・祝賀会を担当いたしました。平成22年第61回沖縄大会は全国高校総体・全国高校選抜の組み合わせ基準を前年度に“直近の大会成績を参考にする”という大幅な改訂を行い、実施しました。平成23年第39回和歌山大会は、私にとって最後の全国大会であり、有終の美を飾るべき２月11日の組み合わせ会議を終え、大会を迎えるばかりでした。しかし、３月11日、私の地元を含む３県は未曽有の東日本大震災に見舞われ、大会は中止となりました。大会開催準備にあたられていた和歌山県高体連専門部、和歌山県バドミントン協会の地元関係者、本大会に出場される監督・選手の皆様など多くの方々の多大なご理解と、ご協力には今も心から感謝いたしております。

今後、少子化の影響などで学校における、運動部の活動を取り巻く環境の変化が指摘されており、運動部活動部員数の減少が深刻な状況にあります。今後も高体連マークが示す「力」と「技」と「明朗な精神」と、真紅の色彩が表す「高い理想」と「希望に燃える若人の情熱」に象徴される高体連の理念のもとに、将来をたくましく担う青少年の育成に努力し続けられ、この意義ある70周年を契機に、今後さらに底辺の拡大、組織の充実に努められ、更に活躍・発展されることをご期待申し上げます。

最後に、記念誌編集に格段のご尽力を賜りました関係者の皆様に心から感謝と敬意を表しますとともに、全国高体連専門部のますますの発展を祈念申し上げます。

公益財団法人全国高等学校体育連盟バドミントン専門部がこのたび創立70周年を迎えられるにあたり、記念事業の一環として記念誌が発刊されますことを心からお慶び申し上げます



高体連の象徴

我等のこのマークは

真紅の三つのＫが結ばれたもので、次の義の具象化である。

力を鍛えよ、（ＫＲＡＦＴ）

技を磨かんかな、（ＫＵＮＳＴ）

明朗闊達なスポーツマン精神を堅持せよ、（ＫＬＡＬＨＥＩＴ）

直線は何ものにも惑わされない真っすぐな青年の直上径行の精神と進取の気迫、

形を作ることによる遵法精神、

真紅は、もえたぎる若人の情熱、

三Ｋを取りまく見えない円は、無限に広がるアンビシャスな高い理想、また、
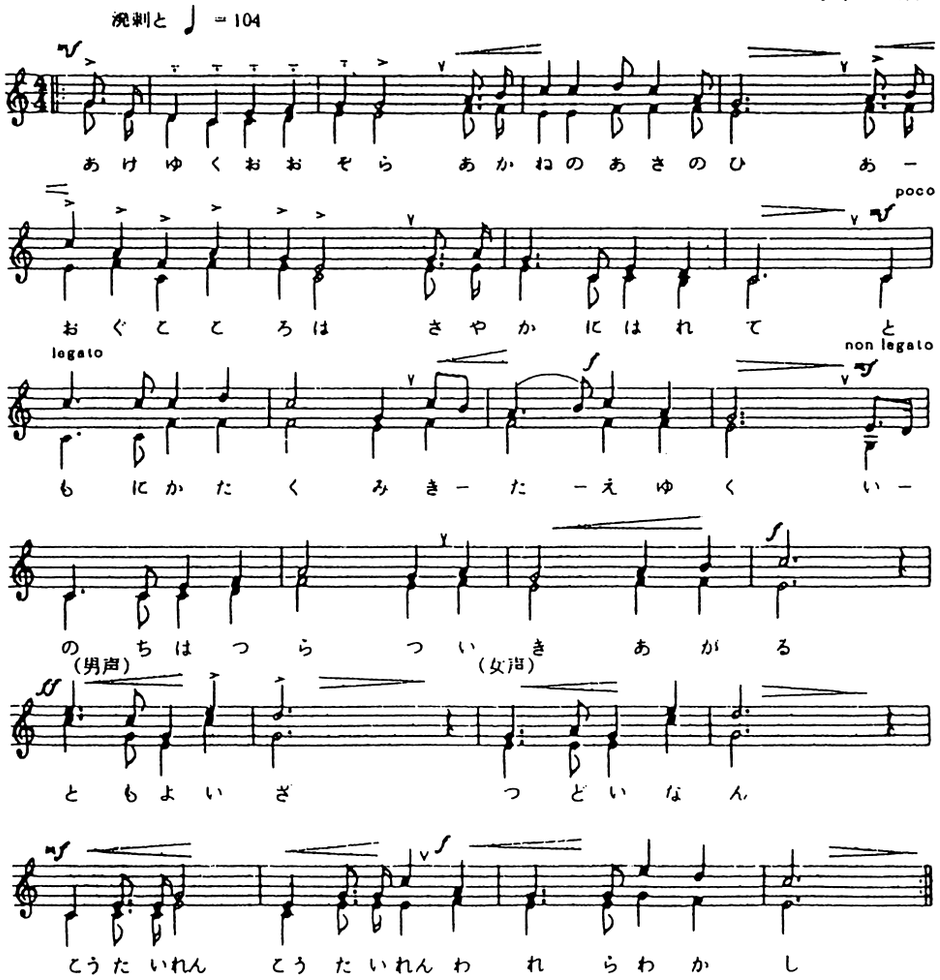
三つのＫの結びつきは、けがれなき純な友情と、ゆるぎない堅い団結を、作る

六角形の六方は、即ち、むつびあい、東西南北、上下であって、世界へ羽ばたく雄飛の意を表徴したものである。

全国高校バドミントン・プレイヤーがこのマークの精神に徹して欲しいものである。

高体連の歌

増田文雄 作詞
小松　清 作曲



一、
あけゆく大空
あかねの　朝の陽　仰ぐ心は
さやかに晴れて
ともに肩組み　鍛えゆく
生命はつらつ　意気あがる
友よいざつどいなん
　高体連　高体連　われら若し

二、
さみどり萌えたつ
希望の　この土
しかと踏みしめ　大気に伸ばす
この手この脚　躍進の
ちから溢れて　血はおどる
友よいざつどいなん
　高体連　高体連　われら若し

三、
世紀のひかりは
野山に　波路に
うた声たかく　こだまひびき
たぬまゆ努力　技を練る
行手ほまれの　花かほる
友よいざつどいなん
　高体連　高体連　われら若し

（昭和32年7月15日制定）

目　　次

1．発刊の辞
（公財）全国高等学校体育連盟バドミントン専門部部長　田部井秀郎 …… 1
2．発刊に寄せて
（公財）日本バドミントン協会会長　綿貫民輔 …… 2
（公財）全国高等学校体育連盟会長　岡田正治 …… 3
（公財）全国高等学校体育連盟バドミントン専門部前部長　帰山好和 …… 4
（公財）全国高等学校体育連盟バドミントン専門部元部長　木戸純一 …… 5
3．高体連マーク・歌 …… 6
4．目　　次 …… 8
5．青春のグラフィック …… 9
6．歴代役員 …… 29
7．10年間のあゆみ（H21～H30）
（1）沿革・概要 …… 31
（2）（公財）全国高等学校体育連盟バドミントン専門部（山田賢一前副部長） …… 34
（3）ブロック高等学校体育連盟バドミントン専門部（ブロック常任委員） …… 35
（4）都道府県高等学校体育連盟バドミントン専門部（都道府県委員長） …… 56
8．全国高等学校総合体育大会（インターハイ）（H21～H30）
（1）栄光の記録 …… 85
（2）入賞校・入賞者一覧 …… 146
（3）学校対抗出場校一覧 …… 148
9．全国高等学校選抜バドミントン大会（H21～H30）
（1）栄光の記録 …… 189
（2）入賞校・入賞者一覧 …… 240
（3）学校対抗出場校一覧 …… 242
10．国際大会での活躍 …… 252
11．栄光を目指して
（1）学校対抗優勝校監督寄稿文（インターハイ・選抜大会） …… 255
（2）優秀選手寄稿文 …… 261
12．全国高等学校総合体育大会（インターハイ）を開催して …… 267
13．全国高校選抜記念大会を開催して …… 277
14．創立70周年記念表彰一覧 …… 279
15．全日本ジュニア研修合宿 …… 281
16．（公財）全国高等学校体育連盟バドミントン専門部歴代役員一覧 …… 283
17．都道府県高等学校体育連盟バドミントン専門部歴代委員長一覧 …… 285
18．（公財）全国高等学校体育連盟バドミントン専門部実態調査
（1）平成30年度 都道府県別インターハイ予選出場校数・出場選手数一覧 …… 292
（2）平成30年度 都道府県別高体連登録状況一覧 …… 294
19．（公財）全国高等学校体育連盟バドミントン専門部規約及び運営に関する内規 …… 295
20．編集後記 …… 314

青春のグラフィック

《全国高校総体》

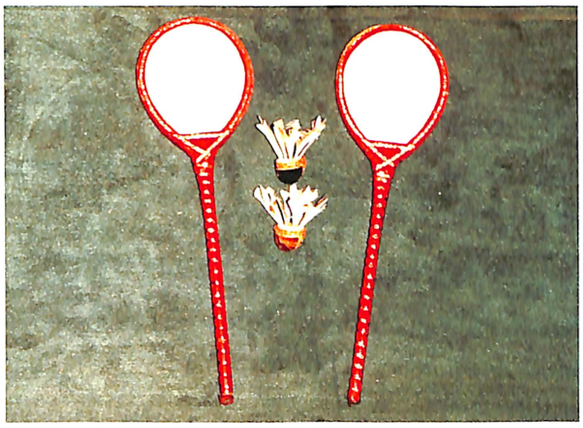
- ◆優勝旗・優勝杯等
- ◆プログラム表紙（スローガン）
- ◆会場準備
- ◆開会式
- ◆選手宣誓
- ◆アトラクション
- ◆競　技
- ◆表彰式

《全国選抜大会》

- ◆優勝旗・優勝杯等
- ◆プログラム表紙
- ◆競　技

《記念式典》

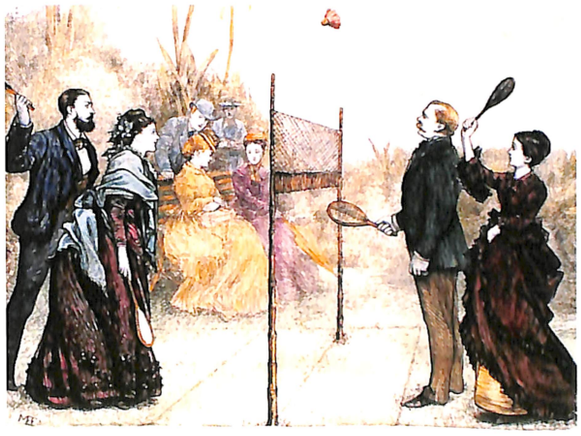
- ◆創立60周年風景



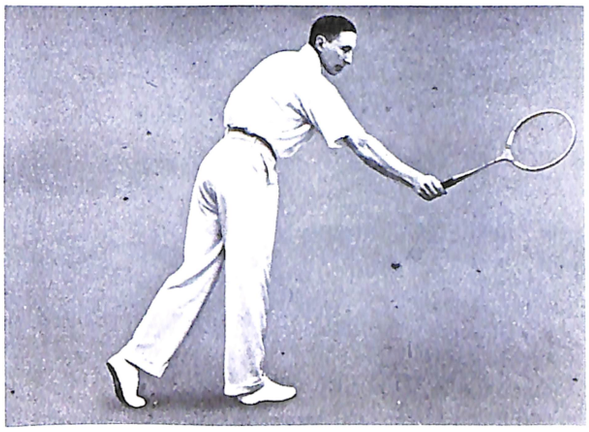
『バドルドアーと羽根』
チャック・ホーイ　コレクション



『バドミントン』
スーザン・スライマン筆　1989年



『印度におけるバドミントンのゲーム』
THE GRAPHIC,Vol.9 P383, April, 25, 1874



『BADMINTON』
ジョージ・トーマス卿筆　1930年

全国高等学校総合体育大会　優勝杯・優勝旗・準優勝盾・準優勝杯

男子団体



高松宮記念杯



文部科学大臣杯



(公財)日本バドミントン協会
優勝旗



(公財)全国高等学校体育連盟
会長杯



(公財)全国高等学校体育連盟
準優勝盾



(公財)全国高等学校体育連盟
バドミントン専門部部長準優勝杯

女子団体



高松宮記念杯



文部科学大臣杯



(公財)日本バドミントン協会
優勝旗



(公財)全国高等学校体育連盟
会長杯



(公財)全国高等学校体育連盟
準優勝楯



(公財)全国高等学校体育連盟
バドミントン専門部部長準優勝杯

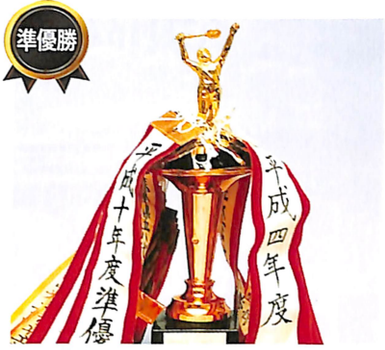
男子ダブルス

優勝



(公財)日本バドミントン協会
会長杯

準優勝



(公財)全国高等学校体育連盟
トロフィー

優勝



(公財)全国高等学校体育連盟
トロフィー

準優勝



(公財)全国高等学校体育連盟
バドミントン専門部部長杯

男子シングルス

女子ダブルス

優勝



(公財)日本バドミントン協会
会長杯

準優勝



(公財)全国高等学校体育連盟
トロフィー

優勝



(公財)全国高等学校体育連盟
トロフィー

準優勝



(公財)全国高等学校体育連盟
バドミントン専門部部長杯

女子シングルス

全国高等学校総合体育大会　会場準備

H21　大阪





H21　大阪



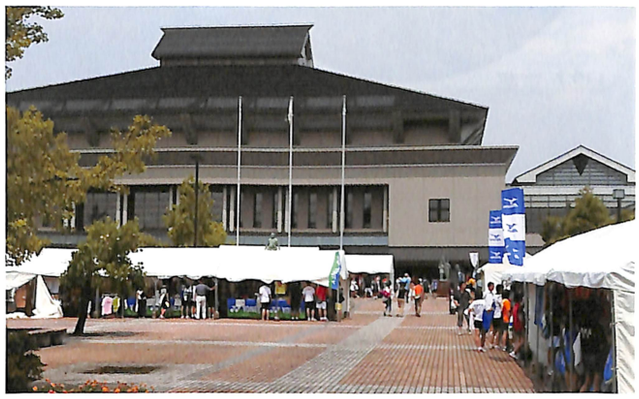
H22　沖縄



H22　沖縄



H23　青森



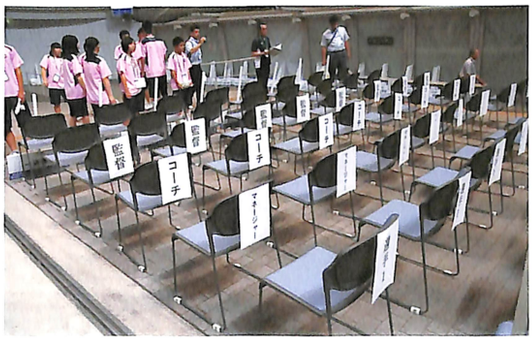
H23　青森



H24　福井



H24　福井



H25　福岡



H25　福岡

全国高等学校総合体育大会プログラム表紙

（第60回～第69回大会まで）



第60回（H21年度）



第61回（H22年度）



第62回（H23年度）



第63回（H24年度）



第64回（H25年度）



第65回（H26年度）



第66回（H27年度）



第67回（H28年度）



第68回（H29年度）



第69回（H30年度）

全国高等学校総合体育大会スローガン

（第60回～第69回大会まで）

第60回　平成21年度（大阪）
君が今歴史の新たなページを創る

第61回　平成22年度（沖縄）
青天届く君の風
みなぎる闘志が夏に輝く

第62回　平成23年度（青森）
北の空君に無限の可能性

第63回　平成24年度（福井）
君は今希望とともに
緑の大地をかけぬける

第64回　平成25年度（福岡）
吹きわたれ若人の風北部九州へ

第65回　平成26年度（千葉）
君の汗輝く一滴勝利の雫

第66回　平成27年度（京都）
風になれ今青春が走りだす

第67回　平成28年度（岡山）
美しく咲け君の笑顔と努力の華

第68回　平成29年度（山形）
繋がる絆魅せよう僕らの若き力

第69回　平成30年度（静岡）
翔べ誰よりも高く東海の空へ



H26 千葉



H26 千葉



H27 京都



H27 京都





H28 岡山



H29 山形



H29 山形



H30 静岡



H30 静岡

全国高等学校総合体育大会　開会式



H22 沖縄　優勝旗優勝杯返還



H21 大阪　歓迎のことば



H23 青森　放送係



H25 福岡　挨拶



H24 福井　挨拶



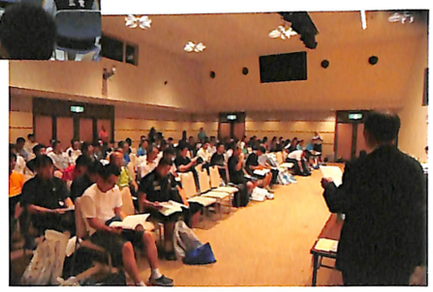
H26 千葉　専門部



H26 千葉



H27 京都　会場全体



H27 京都



H28 岡山



H28 岡山
競技会場看板



H29 山形　優勝旗優勝杯返還



H29 山形　挨拶



H30 静岡　挨拶



H30 静岡　会場全体

全国高等学校総合体育大会　選手宣誓



H22 沖縄水産・金城智大、糸満・上原ちさと



H24 勝山・千京拓寛、勝山・鈴木沙知



H25 自由が丘・成富勇太、九州国際大学付属・櫻本絢子



H27 乙訓・堀勝太、京都外大西・石橋麻美子



H29 山本学園・牛澤晃太、山形城北・長島聖梨



H21 東大阪大学柏原・東野圭吾、樟蔭東・福万尚子



H23 東奥学園・村井拓朗、青森山田・篠谷菜留



H26 西武台千葉・桶田彩乃、西武台千葉・森川真諭



H28 水島工業・山下恭平、倉敷中央・武田莉奈



H30 富士見・桐部謙吾、常葉大附属菊川・石上瑠奈

全国高等学校総合体育大会 アトラクション



H22 沖縄県立糸満高等学校



H21 大阪府立泉陽高等学校
軽音楽部



H23 青森県立弘前実業高等学校



H25 北九州市立高等学校
ダンス部



H24 福井県立福井商業高等学校 チアリーディング部



H26 千葉県立千葉商業高等学校吹奏楽部



H27 京都市立塔南高等学校吹奏楽部



H28 山陽女子高等学校・ミュージックコース



H29
山形県立新庄神室産業高等学校



H30 浜松市立高等学校・合唱部＆箏曲部

全国高等学校総合体育大会　競　技

H21　大阪







H22　沖縄







H23　青森





H24　福井







H25 福岡



H26 千葉



H27 京都



H28 岡山



H29 山形



H30 静岡

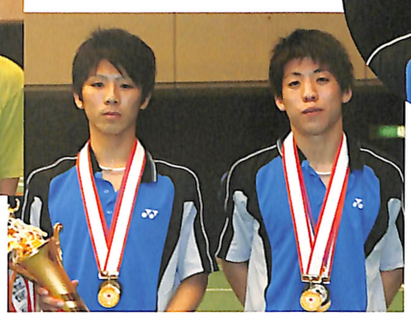


全国高等学校総合体育大会　表彰式

H21 大阪



女子ダブルス優勝
古西佳那子・髙橋沙也加
（高岡西）



男子ダブルス優勝
星野　翔平・小林　　晃（埼玉栄）



男子シングルス優勝
星野　翔平（埼玉栄）



女子シングルス優勝
三谷美菜津（金沢向陽）

H22 沖縄



男子ダブルス優勝
竹内 宏気・竹内 義憲
（埼玉栄）



女子ダブルス優勝
田中 志穂・市丸 美里
（青森山田）



男子学校対抗優勝
埼玉栄



女子学校対抗優勝
聖ウルスラ学院英智

H23 青森



男子シングルス優勝
古賀　　輝
（埼玉栄）



女子シングルス優勝
奥原 希望（大宮東）



女子ダブルス優勝
篠谷 菜留・福島 由紀
（青森山田）



男子ダブルス優勝
齋藤 太一・桃田 賢斗（富岡）

H24 福井



女子学校対抗優勝
富岡



女子シングルス入賞者



男子ダブルス優勝
金子 祐樹・井上 拓斗（埼玉栄）



男子シングルス入賞者

H25 福岡



入賞メダルと
女子ダブルス表彰風景



女子シングルス入賞者



女子ダブルス入賞者



男子シングルス
入賞者



男子ダブルス
入賞者

H26 千葉



女子ダブルス入賞者



女子シングルス優勝
山口　　茜（勝山）



男子シングルス入賞者



男子ダブルス優勝
下農　　走・常山 幹太
（東大阪大学柏原）

H27 京都



男子シングルス
入賞者



女子シングルス
入賞者



男子学校対抗優勝　埼玉栄



女子ダブルス
入賞者



女子学校対抗優勝　青森山田



男子ダブルス
入賞者

H28 岡山



女子ダブルス入賞者



男子学校対抗優勝　埼玉栄



女子学校対抗優勝　富岡ふたば未来学園



男子ダブルス入賞者

H29 山形



女子シングルス入賞者



男子シングルス入賞者



男子ダブルス優勝
金子真大・久保田友之祐
（ふたば未来学園）



女子学校対抗優勝　ふたば未来学園



男子学校対抗優勝　ふたば未来学園

H30 静岡



女子シングルス入賞者



女子ダブルス入賞者



男子シングルス入賞者



男子ダブルス入賞者

全国高等学校選抜バドミントン大会　優勝杯・優勝旗・優勝盾・準優勝杯

男子団体



(公財)日本バドミントン協会
会長杯



(公財)全国高等学校体育連盟
バドミントン専門部優勝旗



(公財)全国高等学校体育連盟
バドミントン専門部盾



(公財)全国高等学校体育連盟
バドミントン専門部準優勝杯

女子団体



(公財)日本バドミントン協会
会長杯



(公財)全国高等学校体育連盟
バドミントン専門部優勝旗



(公財)全国高等学校体育連盟
バドミントン専門部盾



(公財)全国高等学校体育連盟
バドミントン専門部準優勝杯

個　人



(公財)全国高等学校体育連盟
バドミントン専門部優勝杯



(公財)全国高等学校体育連盟
バドミントン専門部優勝杯



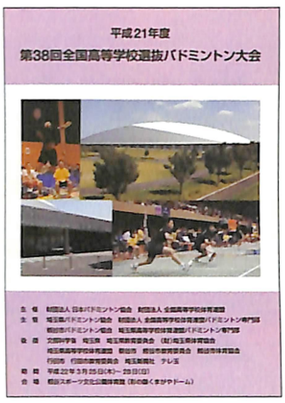
(公財)全国高等学校体育連盟
バドミントン専門部優勝杯



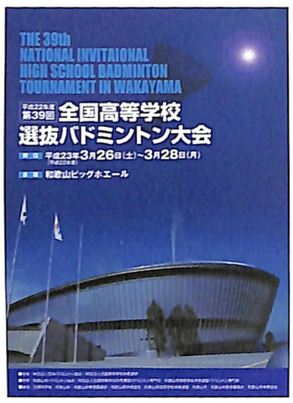
(公財)全国高等学校体育連盟
バドミントン専門部優勝杯

全国高等学校選抜バドミントン大会プログラム表紙

（第38回～第47回大会まで）



第38回（H21年度）



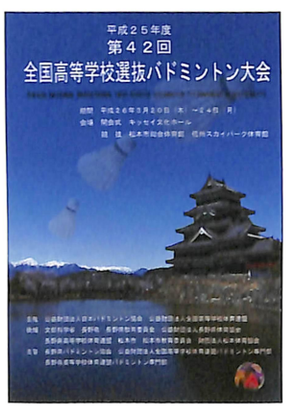
第39回（H22年度）



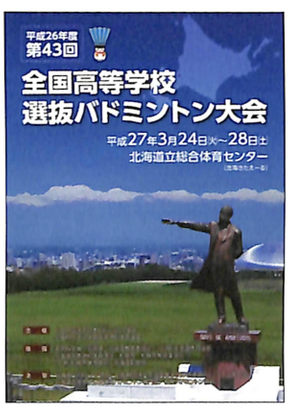
第40回（H23年度）



第41回（H24年度）



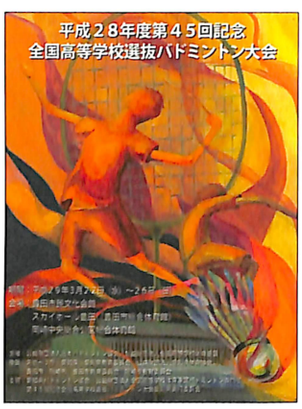
第42回（H25年度）



第43回（H26年度）



第44回（H27年度）



第45回（H28年度）



第46回（H29年度）



第47回（H30年度）

《開催予定》

2019年度（第48回）
鹿児島県鹿児島市

2020年度（第49回）
福島県郡山市・須賀川市

2021年度（第50回）
栃木県宇都宮市

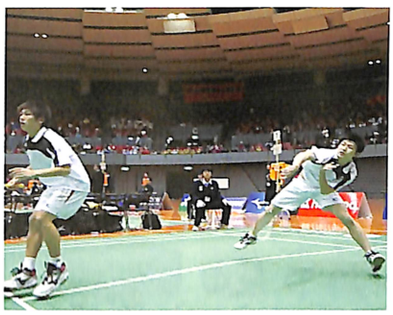
2022年度（第51回）
未　定

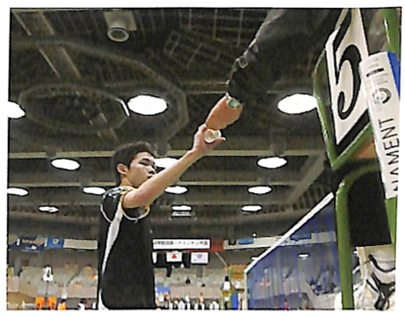
2023年度（第52回）
滋賀県

全国選抜大会（競技）



H21（埼玉）


H23（広島）


H24（福岡）


H25（長野）


H26（北海道）


H27（山形）


H27（山形）



H28（愛知）


H28（愛知）


H29（愛媛）


H29（愛媛）


H30（茨城）


H30（茨城）

（財）全国高等学校体育連盟バドミントン専門部

創立60周年記念式典・祝賀会 in 大阪インターハイ

（平成21年8月1日・ホテルアウィーナ大阪）

式典風景



あいさつ
部長
木戸純一



あいさつ
前部長
伊佐山正和



優秀監督賞受賞
田所光男
（聖ウルスラ学院英智）



優秀校賞受賞
加藤　勝
（埼玉栄）
渋谷仁徹
（関東第一）



感謝状贈呈
各メーカー
代表者



特別功労賞受賞
河崎正紀
築地孝彦
足立弘健



祝賀会風景





万歳三唱
藤上良信
（比叡山）



歴代役員

顧問


遠井　稔男
（平成８年度～）


大世古吉弘
（平成９年度～）


保坂　和也
（平成15年度～）


伊佐山正和
（平成19年度～）


木戸　純一
（平成23年度～）


帰山　好和
（平成27年度～）

部長

初代


柳　　一夫
（昭和26年度～28年度）

二代


森　　義雄
（昭和29年度～41年度）

三代


小林　一茂
（昭和42年度～45年度）

四代


川田　　勇
（昭和46年度～48年度）

五代


遠井　稔男
（昭和49年度～平成７年度）

六代


大世古吉弘
（平成８年度）

七代


保坂　和也
（平成９年度～14年度）

八代


伊佐山正和
（平成15年度～18年度）

九代


木戸　純一
（平成19年度～22年度）

十代


帰山　好和
（平成23年度～26年度）

十一代


田部井秀郎
（平成27年度～）

副部長


伊沢　三郎
（昭和25年度～44年度）


安楽　末夫
（昭和27年度～40年度）


谷　　亮
（昭和40年度～44年度）


遠井　稔男
（昭和45年度～48年度）


山本　　博
（昭和45年度～55年度）


森田　精一
（昭和54年度～63年度）



大世古吉弘
(昭和55年度～平成７年度)



鈴木　祐司
(昭和56年度～平成９年度)



保坂　和也
(平成７年度～８年度)



成田　光生
(平成９年度～14年度)



伊佐山正和
(平成11年度～14年度)



木戸　純一
(平成13年度～18年度)



平田　欽也
(平成15年度～22年度)



河崎　正紀
(平成15年度～26年度)



濱　久美雄
(平成19年度～22年度)



帰山　好和
(平成21年度～22年度)



山田　賢一
(平成21年度～28年度)



下込　貞司
(平成23年度～24年度)



田部井秀郎
(平成25年度～26年度)



樽島　博幸
(平成27年度～29年度)



渡邊　　励
(平成27年度～)



新井　研二
(平成29年度～)



菊地　　亨
(平成29年度～)



山下　幸夫
(令和元年度～)

事務局長



近藤　　満
(昭和54年度～平成６年度)



舘野　政男
(平成７年度)



伊佐山正和
(平成８年度～14年度)



高橋　清治
(平成15年度)



平田　欽也
(平成16年度)



新井　研二
(平成17年度～)

事務局



高橋　清治
(平成12年度～14年度)



田部井秀郎
(平成11年度～24年度)



樽島　博幸
(平成22年度～26年度)



飯田　武司
(平成27年度～)



瀧澤　智顕
(令和元年度～)

(公財)全国高等学校体育連盟バドミントン専門部沿革・概要
(H21～H30)

平成21年度　第60回全国高等学校バドミントン選手権大会開催（大阪府大阪市）
(2009年度)　創立60周年記念式典・祝賀会
（大阪市　ホテルアウィーナ大阪　平成21年８月１日）
創立60周年記念として「創立60周記念誌」発刊
全国高等学校バドミントン選手権大会の個人対抗戦単複優勝杯作成
第38回全国高等学校選抜バドミントン大会開催（埼玉県熊谷市）
選手変更は、学校長印・都道府県会長印を押印のみに変更
医師の診断書は不要
高校総体、新型インフルエンザ流行　感染拡大防止策へ

平成22年度　第61回全国高等学校バドミントン選手権大会開催（沖縄県糸満市）
(2010年度)　**参加料値上げ**
（学校対抗　23,000円→35,000円、個人対抗2,500円→3,500円）
(財) 全国高体連専門部合宿を埼玉県から愛媛県に変更
第39回全国高等学校選抜バドミントン大会開催（和歌山県和歌山市）
参加料値上げ
（学校対抗　23,000円→35,000円、個人対抗2,500円→3,500円）
平成23年３月11日東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)により中止(３月16日決定)

平成23年度　第62回全国高等学校バドミントン選手権大会開催（青森県弘前市）
(2011年度)　都道府県開催からブロック開催へ移行される北東北大会
第40回記念全国高等学校選抜バドミントン大会開催（広島県広島市）
（記念大会のため、全県出場の学校対抗のみ）

平成24年度　第63回全国高等学校バドミントン選手権大会開催（福井県福井市）
(2012年度)　第41回全国高等学校選抜バドミントン大会開催（福岡県北九州市）
財団法人から公益財団法人に移行
次回記念大会（第45回）から個人対抗を行うことを委員長会議で承認
選抜大会学校対抗出場枠の拡大について委員長会議で承認
→（10月11日）基本問題検討委員会にて承認
→（９月18日）(公財) 日本バドミントン協会にて承認
監督・コーチの服装について規定

平成25年度　第64回全国高等学校バドミントン選手権大会開催（福岡県北九州市）
(2013年度)　監督会議でドーピング講習を実施
スクイズボトルが歓迎袋からなくなり、倒れてもこぼれない蓋付きボトル可
(公財) 全国高体連専門部合宿を愛媛県から和歌山県に変更

平成25年度　**５団体による体罰根絶宣言の制定**
(2013年度)　第42回全国高等学校選抜バドミントン大会開催（長野県松本市）
選抜大会学校対抗枠拡大して開催（男子33校、女子34校）東京AB　愛知

平成26年度　第65回全国高等学校バドミントン選手権大会開催（千葉県千葉市）
(2014年度)　開会式で選手、監督対象のドーピング講習を実施
（公財）全国高体連、体罰根絶処罰規定６月より実施
（公財）全国高体連専門部学校対抗登録費（仮称）
１校4,000円を委員長会議で承認
大塚製薬からスクイズボトル提供、インハイTV配信
トマス杯メイン会場に展示
第43回全国高等学校選抜バドミントン大会開催（北海道札幌市）
全国選抜大会申請書様式（５年後まで）　ブロック長→全国専門部へ提出

平成27年度　第66回全国高等学校バドミントン選手権大会開催（京都府長岡京市・向日市・宇治市）
(2015年度)　**参加料値上げ**
（学校対抗　35,000円→40,000円、個人対抗3,500円→4,000円）
（公財）全国高体連各専門部徴収金、専門部運営負担金申請へ
（公財）全国高体連各専門部徴収金、専門部運営負担金4,000→3,000再申請
ウエアの袖に校章に準ずるもの10×10cm以内を改め、着衣上のロゴ等の表示は大会運営規程第24条（３）により、校章・学校名・名前・番号を可とする
（４）学校名・名前を可とする
（公財）日本協会登録IT化スタート
第44回全国高等学校選抜バドミントン大会開催（山形県鶴岡市）
参加料値上げ
（学校対抗　35,000円→40,000円、個人対抗3,500円→4,000円）
（公財）全国高体連各専門部徴収金、専門部運営負担金申請→継続審議

平成28年度　第67回全国高等学校バドミントン選手権大会開催（岡山県岡山市）
(2016年度)　2020年特別基金
熊本地震募金活動（専門部・全国高体連・日本協会）
東京都男女追加枠申請→承認→平成29年度山形総体より
（公財）全国高体連各専門部徴収金、専門部運営負担金3,000円→1,000円再申請→承認→平成29年度より徴収
2020年高校総体代替開催地→愛媛県受諾10/17付
（公財）全国高体連専門部研修合宿を和歌山県から鳥取県に変更
70周年記念Tシャツ販売
第45回記念全国高等学校選抜バドミントン大会開催（愛知県豊田市）
選抜大会個人対抗実施

平成29年度　第68回全国高等学校バドミントン選手権大会開催
(2017年度)　(山形県新庄市・鶴岡市・尾花沢市)
(公財) 全国高体連各専門部徴収金、専門部運営負担金1,000円徴収
東京都男女追加枠平成29年度山形総体実施
選抜大会個人対抗出場枠の拡大、委員長会議で承認
→ (5月11日) 基本問題検討委員会にて承認
→ (5月27日) (公財) 日本バドミントン協会にて承認
→ 全国選抜個人対抗出場枠拡大により各ブロック大会要項を変更
選抜大会個人対抗出場枠の拡大第46回大会から実施 (愛媛県松山市)
第46回全国高等学校選抜バドミントン大会開催 (愛媛県松山市)
個人出場男女DS各32 (北海道2・東北4・関東4・北信越3・東海3・
近畿4・中国3・四国3・九州4・開催地2)

平成30年度　第69回全国高等学校バドミントン選手権大会開催 (静岡県浜松市)
(2018年度)　ユーバー杯メイン会場に展示、ドーピングアウトリーチプログラム実施
平成30年7月豪雨募金活動
BWFルール改正に伴い、各委員長にルールブック、指導書を配布
審判用語訂正、入場時の挨拶、コイントス等を観客席側で実施
(TV放映は映る側)
運動部活動の在り方に関する総合的なガイドラインの策定開始
(公財) 全国高体連専門部研修合宿の次回予定地三重県を視察
第47回全国高等学校選抜バドミントン大会開催 (茨城県ひたちなか市)
サービスの高さ115cmに固定決定

平成31年度　**元号改定 (5月1日) 平成→令和へ**
(2019年度)　第70回全国高等学校バドミントン選手権大会開催 (熊本県八代市)
創立70周年記念式典・祝賀会
(八代市　ホワイトパレス　令和元年7月30日)
創立70周年記念として「創立70周年記念誌」発刊
全国高等学校バドミントン選手権大会の個人対抗単複優勝杯を作成
サービス時の高さ固定115cm実施 (平成31年4月～)
第48回全国高等学校選抜バドミントン大会開催
(鹿児島県鹿児島市・薩摩川内市)

(公財)全国高等学校体育連盟バドミントン専門部 10年間(60周年以降)のあゆみ



(公財)全国高等学校体育連盟
バドミントン専門部
前副部長　山　田　賢　一

月日の流れは早いもので、平成21年（2009年）８月１日大阪市（アウィーナ大阪）で開催された創立60周年記念式典から10年が経ちました。

創立70周年事業として３年前から全国専門部を、記念誌係・式典係・総務係・その他（会議日程調整等）に分け組織を作り、60周年記念誌をベースとして継続性をもたせる形で発刊の準備を進めて参りました。構成内容としては、この10年間の全国専門部・ブロック専門部・都道府県専門部の活動状況、さらにインターハイ・選抜大会の結果および写真、専門部内規定（改訂）等を盛り込んだものとなっておりますので、思い出の１ページとしてご覧いただければ幸いです。創立70周年記念誌作成にあたり、写真の提供や寄稿を戴きました皆様、貴重な資料を戴きました皆様、多大なる援助を賜りました皆様に心から感謝を申し上げます。

この10年間、特に全国専門部運営に関する出来事をいくつか紹介させて戴きます。

平成21年では、アドバイス席での監督及びコーチのあり方・長袖アンダーシャツの取り扱い・組み合わせ基準の見直し・学校対抗（試合前練習３分)・個人対抗（単は対戦相手と練習)・総体ブロック開催（平成23年実施、北東北大会)・選抜大会の方向性が話題となりました。平成22年では、総体の戦評について（試合のスコアシートを記載)・総体規模縮小問題から、選抜大会学校対抗出場枠の拡大検討（各ブロック同じ割合・登録人数を基準にし、平成24年度承認される)・学校名略号（７文字）統一がなされました。平成23年では、選抜大会会場の固定化・大会前日の練習日程を１日少なくする・並行試合・大会期間中の怪我や事故の取り扱いなど運営上の問題が話題となりました。平成24年では、前年度から問題となっていた総体規模縮小について、学校対抗（団体）登録費（仮称）の検討を始めました。平成25年では、蓋付きボトルの使用可・競技区域内でのタブレット使用禁止が決定し、総体時、ドーピング講習会が実施されました。平成26年では、財源確保の問題が大きく、全国委員長会議で承認を戴いたものの、全国高体連基本検討委員会で却下されました。その他、総体時の練習会場を縮小（１／２)・専門部規約の見直し改正などを行いました。平成27年では、大きな問題として東京オリンピック関係で総体（北関東）の開催が危ぶまれ、他地区を模索していました。また、選抜大会個人枠の検討・着衣のロゴは、校章、学校名、番号を可としました。平成28年では、長年の懸案事項だった専門部徴収金について金額￥1,000として申請し承認され次年度から徴収されました。平成29年では、念願の選抜大会個人対抗出場枠（ＤＳ）が拡大されました。平成30年では、ルール改正に伴う問題・運動部活動の在り方などが話題となりました。

ここ４年前から高校生の登録人数も10万人を超え、国内外の活躍に、今後、大きな飛躍を感じさせるものです。これからも、皆様方の益々のご尽力の程お願い申し上げます。

70年のあゆみ　ブロック高体連バドミントン専門部（10年のあゆみ）



全国高等学校体育連盟
バドミントン専門部
（北海道ブロック）
常任委員　宮　野　慎　哉
（北海道江別高等学校）

全国高体連バドミントン専門部が創立70周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

さて、北海道高体連バドミントン専門部のこの10年間において、部長は津田雅彰（H19～H21）、岩本隆（H22～H24）、吉村恭子（H25～H26）、川口淳（H27～）の４名の部長の下、委員長には渡邊励（H21～H26）、宮野慎哉（H27～）の２名、そして全10支部からの専門委員によりインターハイ予選、選抜予選の企画・運営にあたって参りました。

平成元年から平成20年度頃までの北海道の戦力的状況を見ると、男子は札幌第一、女子は札幌静修が常勝チームとして北海道を牽引してきましたが、団体戦におけるこの10年間では男子の札幌第一の牙城を脅かす旭川実業・札幌龍谷・帯広大谷が台頭、混戦状態が続いており、女子においては選手層の厚いとわの森三愛がこの10年間で６度の団体優勝を果たし安定した力を発揮している。それを追って旭川実業、深川西、札幌静修、帯広大谷が上位に進んでいる。特に私学優位の流れが続いている中、公立高校で着実に力をつけているのが深川西高校で、平成22年度・平成23年度と２連覇を果たしている。

個人戦男子においては札幌第一と旭川実業の力が拮抗しており、ダブルス・シングルス共にどちらが勝利するかはやってみなければわからない状況で、例年接戦が続いている。個人戦女子ダブルスにおいては、南北海道勢５回、北北海道勢５回とそれぞれ優勝を果たし、シングルスにおいては北北海道勢が好成績を残しておりここ10年で９回優勝を果たしている。全体的にこの10年間でいえることは、男女ともに力が接近しており戦国時代に入ってきた状況にある。北海道としては、ブロック内で切磋琢磨しインターハイでの上位進出を期待したい。

特に、ここ数年の日本代表選手の世界での大躍進の中、北海道出身選手で女子ダブルスの松本麻佑選手（とわの森三愛卒業）・永原和可那選手（青森山田卒業）や混合ダブルスでは東野有紗選手（富岡卒業）の活躍は北海道の高校生にとって大きな励みとなっており、北海道からさらに世界で活躍する選手が現れることを願っています。

以下、この10年間の高体連北海道ブロック大会の結果を掲載いたします。

【学校対抗　男子団体】

回	年度	開催地	第１位	第２位	第３位
61	21	旭川市	札幌第一	旭川実業	札幌龍谷学園
					帯広大谷
62	22	名寄市	旭川実業	札幌第一	帯広大谷
					函館工業
63	23	帯広市	札幌第一	旭川実業	札幌龍谷学園
					帯広大谷
64	24	江別市	札幌第一	旭川実業	札幌龍谷学園
					旭川工業
65	25	釧路市	札幌第一	旭川実業	札幌龍谷学園
					帯広大谷
66	26	小樽市	札幌第一	旭川実業	札幌北斗
					江陵
67	27	北見市	旭川実業	札幌第一	江陵
					札幌龍谷学園
68	28	伊達市	札幌龍谷学園	旭川実業	札幌第一
					江陵
69	29	滝川市	札幌第一	旭川実業	札幌龍谷学園
					帯広大谷
70	30	旭川市	帯広大谷	札幌第一	旭川実業
					北海

【学校対抗　女子団体】

回	年度	開催地	第１位	第２位	第３位
61	21	旭川市	旭川実業	札幌静修	帯広三条
					とわの森三愛
62	22	名寄市	深川西	札幌静修	旭川実業
					とわの森三愛
63	23	帯広市	深川西	とわの森三愛	旭川実業
					札幌静修
64	24	江別市	とわの森三愛	旭川実業	札幌静修
					帯広大谷
65	25	釧路市	札幌静修	帯広大谷	とわの森三愛
					旭川実業
66	26	小樽市	とわの森三愛	深川西	札幌静修
					旭川実業
67	27	北見市	とわの森三愛	旭川実業	札幌静修
					帯広大谷
68	28	伊達市	とわの森三愛	旭川実業	札幌静修
					深川西
69	29	滝川市	とわの森三愛	旭川実業	札幌静修
					旭川北
70	30	旭川市	とわの森三愛	深川西	札幌龍谷学園
					旭川実業

【個人対抗　男子ダブルス】

回	第１位	第２位	第３位
61	中木・島谷 （旭川実業）	尾野・佐久間 （札幌第一）	林・白川（帯広大谷） 小野・廣坂（札幌龍谷）
62	畑本・吉原 （札幌第一）	高田・渡部 （旭川実業）	藤井・山本（札幌第一） 白川・西條（帯広大谷）
63	秋田・宇野 （札幌第一）	渡部・川原 （旭川実業）	松尾・小坂（札幌第一） 能渡・松谷（帯広大谷）
64	三枝・山口 （札幌第一）	吉川・木村 （旭川実業）	水間・渡邊（札幌第一） 佐藤・西本（旭川工業）
65	吉川・青木 （旭川実業）	渡邊・武石 （札幌第一）	木村・岸田（旭川実業） 山口・塚本（札幌第一）
66	塚本・武石 （札幌第一）	牧野・谷尻 （帯広大谷）	三谷・能戸（札幌第一） 高畑・三浦（旭川実業）
67	坂牧・片桐 （旭川実業）	三谷・能戸 （札幌第一）	潟端・齋藤（帯広大谷） 中道・大滝（札幌龍谷）
68	白川・佐藤 （帯広大谷）	大滝・宇高 （札幌龍谷）	遠藤大・稲垣（旭川実業） 池田・伊藤（札幌第一）
69	池田・伊藤 （札幌第一）	蝦夷森・福村 （旭川実業）	深田・及川（札幌龍谷） 中山・鞠古（旭川実業）
70	蝦夷森・太田 （旭川実業）	野上・大井 （北海）	佐藤・上山（帯広大谷） 近藤・岡嶋（札幌第一）

【個人対抗　女子ダブルス】

回	第１位	第２位	第３位
61	坂本・稲田 （札幌静修）	緒方・坂本 （旭川実業）	庄山・渡辺（札幌静修） 小野寺・柴田（帯広大谷）
62	庄山・渡辺 （札幌静修）	安藤・本田 （深川西）	山家・鈴木（とわの森三愛） 小葉松・鈴木（旭川実業）
63	安藤・牧野 （深川西）	永原・尾野 （とわの森三愛）	本田・大塚（深川西） 鈴木・山家（とわの森三愛）
64	佐々木・鈴木 （旭川実業）	長瀬・松本 （とわの森三愛）	上坂・松本（帯広大谷） 泥川・穂苅（札幌静修）
65	上坂・松本 （帯広大谷）	長瀬・松本 （とわの森三愛）	野口・野村（旭川実業） 石澤・吉澤（札幌静修）
66	久保田・中野 （とわの森三愛）	上川・花田 （深川西）	高村・倉橋（札幌北斗） 舘野・内田（帯広南商）
67	松本・鈴木 （とわの森三愛）	佐々木・花田 （深川西）	林田・三上（札幌静修） 市橋・榎本（旭川実業）
68	藤井・布川 （旭川実業）	伊藤・安藤 （とわの森三愛）	花田・内山（深川西） 片桐・堀江（札幌静修）
69	西尾・山口 （とわの森三愛）	内山・佐藤 （深川西）	佐藤・髙橋（とわの森三愛） 布川・遠藤（旭川実業）
70	佐藤・内山 （深川西）	岩崎・大宮 （とわの森三愛）	遠藤・藤原（旭川実業） 開発・館（とわの森三愛）

【個人対抗　男子シングルス】

回	第１位	第２位	第３位
61	島谷　航平 （旭川実業）	佐久間浩平 （札幌第一）	中木（旭川実業） 尾野（札幌第一）
62	山本　皓策 （札幌第一）	渡部　大 （旭川実業）	松尾（札幌第一） 西條（帯広大谷）
63	渡部　大 （旭川実業）	松尾　龍斗 （札幌第一）	松倉（旭川実業） 宇野（札幌第一）
64	水間　陽介 （札幌第一）	溝口　祐太 （旭川実業）	渡邊（札幌第一） 吉川（旭川実業）
65	吉川　改 （旭川実業）	塚本　光希 （札幌第一）	岡村（帯広大谷） 渡邊（札幌第一）
66	塚本　光希 （札幌第一）	小竹　創貴 （旭川実業）	武石（札幌第一） 小山内（旭川実業）
67	片桐　悠輔 （旭川実業）	能戸孔太郎 （札幌第一）	坂牧（旭川実業） 大滝（札幌龍谷）
68	大滝　聖矢 （札幌龍谷）	遠藤　大輝 （旭川実業）	及川（札幌龍谷） 白川（帯広大谷）
69	池田　佑介 （札幌第一）	蝦夷森　駿 （旭川実業）	須藤（札幌第一） 橘（旭川実業）
70	蝦夷森　駿 （旭川実業）	岡嶋　慧 （札幌第一）	稲垣（旭川実業） 工藤（大谷室蘭）

【個人対抗　女子シングルス】

回	第１位	第２位	第３位
61	堀田　彩美 （旭川実業）	坂本　唯香 （札幌静修）	本田（深川西） 鈴木（とわの森三愛）
62	牧野　怜奈 （深川西）	鈴木　萌 （とわの森三愛）	小葉松（旭川実業） 渡辺（札幌静修）
63	牧野　怜奈 （深川西）	鈴木　萌 （とわの森三愛）	小葉松（旭川実業） 松本（とわの森三愛）
64	佐々木柚里菜 （旭川実業）	松本　麻佑 （とわの森三愛）	松本（帯広大谷） 藤田（とわの森三愛）
65	松本　麻佑 （とわの森三愛）	松本　理沙 （帯広大谷）	石澤（札幌静修） 関根（深川西）
66	大友　千種 （帯広大谷）	三上　夏世 （札幌静修）	関根（深川西） 池田（とわの森三愛）
67	佐藤　未唯 （旭川実業）	鈴木　優香 （とわの森三愛）	大友（帯広大谷） 三上（札幌静修）
68	大友　千種 （帯広大谷）	伊藤　佳織 （とわの森三愛）	花田（深川西） 西尾（とわの森三愛）
69	内山　真希 （深川西）	西尾　樹莉 （とわの森三愛）	布川（旭川実業） 石井（札幌静修）
70	内山　真希 （深川西）	村田　梨於 （とわの森三愛）	田嶋（帯広大谷） 佐藤（とわの森三愛）



全国高等学校体育連盟
バドミントン専門部
（東北ブロック）
常任委員 大 山 孝 光
（山形市立商業高等学校）

この10年間の歩みを振り返る上で決して忘れることができないのは、平成23年３月11日に発生した「東日本大震災」である。未曽有の大震災は東北地方だけでなく、東日本一帯に被害を及ぼした。中でも地震の震源域に近い太平洋側の岩手県、宮城県、福島県は特に甚大な被害を受け、現役の高校生はもちろんのこと、これまで指導者として大きな功績を残した方々が帰らぬ人となった。以来８年の歳月を経過して未だ自宅や母校に帰還することが叶わず、避難生活を強いられている選手等もいる。改めてお見舞いを申し上げるところである。また、この震災直後は多くの学校が校舎損壊、避難所への転用、停電等ライフラインの不全により、部活動はもちろん通常の学校生活がままならない事態となった。公共施設も使用不能となったところが多々あり、東北地方では多くの大会が開催見合わせとなった。東北のブロック大会も会場や日程を変更する方向で動いたものの、なかなか先が見えなかったことが思い出される。ましてこの年はブロック開催インターハイの初年度で、北東北・青森県弘前市で準備が進められていたため、東北専門部としても震災以降様々な課題や不安を抱えた状況であった。しかし一方、この震災で東北の高校生は多くの優しさや強さを身につけたと思われる。全国各地から義援金をいただいたほか、シャトル、ユニフォーム、練習用ウェア等の提供、合宿や大会への招待など有形無形の励ましを受けた。バドミントンを通して紡がれた「絆」がそれぞれの心に響き、様々な意味で貴重な財産を作ったとも言える。この場を借りて、いただいた多くの支援に改めて感謝申し上げるところである。

＜東北高体連バドミントン専門部部長＞

年　度	氏　名	県名	所属校
21～22年度	阿部　隆	福島	清陵情報
23～24年度	伊藤張二	岩手	大　迫
25～26年度	山口龍城	青森	浪　岡
27～28年度	大内高志	岩手	前　沢
29～30年度	百川弘通	青森	鰺ヶ沢

＜東北高体連バドミントン専門部委員長＞

年　度	氏　名	県名	所属校
21年度	沼澤　隆	宮城	生文大高
22～28年度	菊地　亨	岩手	前沢→ 花北青雲
29～30年度	大山孝光	山形	山形市商

＜インターハイ　上位入賞校＞

●平成21（2009）年度（大阪府大阪市）
女子学校対抗　優勝：青森山田
３位：聖ウルスラ学院英智

●平成22（2010）年度（沖縄県糸満市）
男子学校対抗　３位：富岡
女子学校対抗　優勝：聖ウルスラ学院英智
２位：青森山田　３位：富岡

●平成23（2011）年度（青森県弘前市）
男子学校対抗　３位：富岡
女子学校対抗　優勝：青森山田　３位：富岡

●平成24（2012）年度（福井県福井市ほか）
男子学校対抗　２位：富岡　３位：東奥学園
女子学校対抗　優勝：富岡
２位：聖ウルスラ学院英智

●平成25（2013）年度（福岡県北九州市）
男子学校対抗　優勝：富岡
女子学校対抗　優勝：青森山田　２位：富岡
３位　聖ウルスラ学院英智

●平成26（2014）年度（千葉県千葉市）
男子学校対抗　優勝：富岡
女子学校対抗　優勝：富岡　２位：青森山田

●平成27 (2015) 年度（京都府長岡京市ほか）
男子学校対抗　3位：富岡ふたば未来
聖ウルスラ学院英智
女子学校対抗　優勝：青森山田
2位：富岡ふたば未来
●平成28 (2016) 年度（岡山県岡山市）
男子学校対抗　2位：富岡ふたば未来
女子学校対抗　優勝：富岡ふたば未来
3位：聖ウルスラ学院英智
青森山田
●平成29 (2017) 年度（山形県新庄市ほか）
男子学校対抗　優勝：ふたば未来学園
2位：浪岡
女子学校対抗　優勝：ふたば未来学園
2位：青森山田
●平成30 (2018) 年度（静岡県浜松市）
女子学校対抗　優勝：ふたば未来学園
2位：青森山田
※「福島県立ふたば未来学園高校」の新設により、統合の対象となった福島県立富岡高校は、その過程でそれぞれの学校に所属する選手が統廃合特例の合同チームとして参加した（27～28年度）。

この10年の間に、東北ブロックとしてはインターハイを平成23年度に青森県弘前市、平成29年度に山形県新庄市、鶴岡市、尾花沢市にて開催した。また、平成27年度に第44回全国高校選抜大会を山形県鶴岡市で開催した。青森インターハイは前記したとおりブロック単位で開催となった初年度となり、趣旨に沿った大会にすべく様々な試みが行われた。実際に経費節減等の面で大きな成果を残し、新しいインターハイの形を作ることができたのではないかと思われる。山形インターハイでは会場が3市4会場の広域開催となり、多くの課題を抱えながらの大会運営となった。宿泊や移動の面で心配されたが、開催自治体等の物心両面にわたる厚い協力で何とか無事に開催することができた。いずれの全国大会でも大会運営や競技審判等の役員として、開催県はもちろん東北各県より多くの教職員が派遣され、ブロック一体となって大会成功に向けて協力体制が築かれたことに感謝申し上げたい。

上記の通り、インターハイ等の全国大会における選手の活躍は枚挙に暇がない。個人対抗戦の上位入賞選手についてはスペースの都合で割愛せざるを得ない、そのような好成績を残した10年間であった。インターハイでは特に女子学校対抗で21世紀に入った平成13 (2001) 年から東北の学校の連覇が続いており、「東北を制する者は全国を制す」とまで言われるようになった。成績を残すことでその練習環境を求めて有力選手が東北の学校に集まるようになり、競技レベルも高いものとなってきた。平成28 (2016) 年にロンドンで開催されたオリンピックでは、聖ウルスラ学院英智（宮城県）出身の高橋礼華・松友美佐紀が女子ダブルスにおいて日本としてバドミントン競技では史上初の金メダルを獲得した。東北縁の選手がより高いレベルで活躍することで「世界」が身近なものとなり、また、東北から選出されたジュニアナショナル等で活躍する選手を間近にすることは、他の選手にとっても大きな刺激をもたらしている。平成29 (2017) 年のインターハイでは実に男女6種目中5種目が東北同士の決勝となり、東北で5冠（男子シングルスも準優勝）を制した。選手諸君の日ごろの鍛錬と、指導者の熱い情熱の賜物と敬意を表すところである。

この稿を記している現在、BWF世界ランキング上位に名を連ねる選手の多くが東北の高校出身の選手達であり、後進に多くの勇気をもたらしている。この選手たちも高校時代にブロック大会や全国大会で結果を残し、それらを自信や教訓としてここから羽ばたいていった。今後ともその輝かしい活躍を継続し、より高めていけるようさらなる研鑽を期待したい。かねてより「東北はひとつ」の合言葉の下で、高体連の指導者は結束を高めてきた経緯がある。選手、指導者一丸となって切磋琢磨することを祈念し、次の10年にバトンを渡したい。



全国高等学校体育連盟
バドミントン専門部
（関東ブロック）
常任委員 関 根 忠
（淑徳巣鴨高等学校）

この度、全国高体連バドミントン専門部の創立70周年を迎えられましたことを心よりお喜び申し上げます。

関東高体連専門部の10年間を振り返りますと、平成27年度より高橋英夫部長に代わり實吉幹夫先生（東京女子学園校長・理事長）が就任され、委員長は岩崎盛和先生から関根忠に引き継がれました。この間の改訂も注目するところです。

東京都は加盟校が600校を越え、念願の全国総体の学校対抗の部が東西の２枠に改訂されました。また、全国選抜の個人対抗の部枠が４名になり、同都県から２名の参加が認められました。

『関東を制するものは全国を制す』の言葉があるように、関東が全国をリードしていると言っても過言ではありません。特に男子は、全国総体の10年間を見ますと埼玉栄高校が学校対抗の部で７度の全国制覇を成し遂げました。

この偉業を達成した監督と選手陣に、心から敬意を表します。

今後も関東高体連バドミントン専門部が発展してゆくことを願って止みません。かけがえのない青春時代を生きる生徒一人一人の夢が叶いますよう、情熱を注いでゆく所存です。

関東大会　栄光の記録

	《男　子》	《女　子》
第55回	【前橋】	
優　勝	埼玉栄（埼玉）	埼玉栄（埼玉）
準優勝	川崎総合科学（神奈川）	西武台千葉（千葉）
3　位	西武台千葉（千葉）	関東第一（東京）
	小松原（埼玉）	日本橋女学館（東京）
第56回	【町田】	
優　勝	埼玉栄（埼玉）	埼玉栄（埼玉）
準優勝	小松原（埼玉）	西武台千葉（千葉）
3　位	作新学院（栃木）	日本橋女学館（東京）
	淑徳巣鴨（東京）	小松原女子（埼玉）
第57回	【前橋】	
優　勝	埼玉栄（埼玉）	西武台千葉（千葉）
準優勝	関東第一（東京）	埼玉栄（埼玉）
3　位	法政第二（神奈川）	小松原女子（埼玉）
	小松原（埼玉）	大宮東（埼玉）
第58回	【千葉】	
優　勝	埼玉栄（埼玉）	埼玉栄（埼玉）
準優勝	関東第一（東京）	西武台千葉（千葉）
3　位	伊勢崎清明（群馬）	大宮東（埼玉）
	小松原（埼玉）	蒲田女子（東京）
第59回	【ひたちなか】	
優　勝	埼玉栄（埼玉）	埼玉栄（埼玉）
準優勝	関東第一（東京）	西武台千葉（千葉）
3　位	伊勢崎清明（群馬）	作新学院（栃木）
	西武台千葉（千葉）	日本橋女学館（東京）
第60回	【鴻巣】	
優　勝	埼玉栄（埼玉）	埼玉栄（埼玉）
準優勝	関東第一（東京）	西武台千葉（千葉）
3　位	伊勢崎清明（群馬）	作新学院（栃木）
	西武台千葉（千葉）	日本橋女学館（東京）
第61回	【甲府】	
優　勝	埼玉栄（埼玉）	埼玉栄（埼玉）
準優勝	関東第一（東京）	日本橋女学館（東京）
3　位	常総学院（茨城）	西武台千葉（千葉）
	作新学院（栃木）	作新学院（栃木）
第62回	【小田原】	
優勝	埼玉栄（埼玉）	埼玉栄（埼玉）
準優勝	淑徳巣鴨（東京）	西武台千葉（千葉）
3　位	作新学院（群馬）	作新学院（栃木）
	叡　明（埼玉）	伊勢崎清明（群馬）
第63回	【前橋】	
優　勝	淑徳巣鴨（東京）	埼玉栄（埼玉）
準優勝	埼玉栄（埼玉）	日本橋女学館（東京）
3　位	常総学院（茨城）	西武台千葉（千葉）
	叡　明（埼玉）	常総学院（茨城）
第64回	【世田谷】	
優　勝	埼玉栄（埼玉）	埼玉栄（埼玉）
準優勝	淑徳巣鴨（東京）	西武台千葉（千葉）
3　位	作新学院（群馬）	作新学院（栃木）
	叡　明（埼玉）	伊勢崎清明（群馬）

関東選抜大会　栄光の記録

	《男　子》	《女　子》
第38回 【世田谷】		
学校対抗		
優　勝	作新学院（栃木）	西武台千葉（千葉）
準優勝	中央学院（千葉）	作新学院（栃木）
3　位	茗溪学園（茨城）	太田商業（群馬）
	常総学院（茨城）	伊勢崎清明（群馬）
個人　単		
優　勝	飯村（作新学院）	白井（作新学院）
準優勝	関口（関東一）	高瀬（西武台千葉）
3　位	井上（甲府商業）	中井川（日本橋女学館）
	上野（作新学院）	谷口（作新学院）
個人　複		
優　勝	飯村・佐藤	白井・小林
	（作新学院）	（作新学院）
準優勝	広瀬・佐々木	岡田・只木
	（関東一）	（鵠　沼）
3　位	高島・村井	北川・高橋
	（中央学院）	（日本橋女学館）
	平田・國分	関根・中井川
	（横 浜）	（日本橋女学館）
第39回 【宇都宮】		
学校対抗		
優　勝	伊勢崎清明（群馬）	西武台千葉（千葉）
準優勝	常総学院（茨城）	作新学院（栃木）
3　位	桐生市立商業（群馬）	宇都宮南（栃木）
	宇都宮南（栃木）	常総学院（茨城）
個人　単		
優　勝	古賀（埼玉栄）	奥原（大宮東）
準優勝	関口（関東 -）	高瀬（西武台千葉）
3　位	金子（埼玉栄）	渡邉（埼玉栄）
	佐々木（関東 -）	阿部（甲府湯田）
個人　複		
優　勝	古賀・千葉	小橋・渡邉
	（埼玉栄）	（埼玉栄）
準優勝	井上・金子	飯高・俣野
	（埼玉栄）	（西武台千葉）
3　位	川崎・中村	長澤・佐川
	（常総学院）	（常総学院）
	相川・長島	小松・岡部
	（常総学院）	（西武台千葉）
第40回 【成田】		
学校対抗　記念大会の為個人戦のみ		
個人　単		
優　勝	金子（埼玉栄）	渡邉（埼玉栄）
準優勝	井上（埼玉栄）	道野（埼玉栄）
3　位	小野寺（埼玉栄）	栁（西武台千葉）
	西本（埼玉栄）	石田（千葉敬愛）
個人　複		
優　勝	井上・金子	渡邉・瀬川
	（埼玉栄）	（埼玉栄）
準優勝	高野・宮嶋	奥原・中西
	（埼玉栄）	（大宮東）
3　位	五十嵐・中里	小松・岡部
	（埼玉栄）	（西武台千葉）
	松本・山村	佐川・長澤
	（埼玉栄）	（常総学院）
第41回 【土浦】		
学校対抗		
優　勝	西武台千葉（千葉）	作新学院（栃木）
準優勝	常総学院（茨城）	常総学院（茨城）
3　位	石岡第一（茨城）	千葉敬愛（千葉）
	作新学院（栃木）	宇都宮南（栃木）
個人　単		
優　勝	小野寺（埼玉栄）	仲井（日本橋女学館）
準優勝	五十嵐（埼玉栄）	石田（千葉敬愛）
3　位	早乙女（伊勢崎清明）	川島（埼玉栄）
	大堀（作新学院）	加藤（埼玉栄）
個人　複		
優　勝	大関・川端	中西・清水
	（埼玉栄）	（大宮東）
準優勝	塩田・山崎	長谷川・関町
	（淑徳巣鴨）	（作新学院）
3　位	植木・内田	篠田・茂野
	（関東第 -）	（伊勢崎清明）
	蕪木・藤澤	齋藤・清水
	（桐生商業）	（桐生商業）
第42回 【さいたま】		
学校対抗		
優　勝	常総学院（茨城）	西武台千葉（千葉）

準優勝　西武台千葉（千葉）　常総学院（茨城）
3　位　甲斐清和（山梨）　作新学院（栃木）
　　作新学院（栃木）　桐生南（群馬）

個人　単
優　勝　下川（埼玉栄）　荒木（西武台千葉）
準優勝　林（常総学院）　仲井（日本橋女学館）
3　位　上村（西武台千葉）　川島（埼玉栄）
　　中家（横浜）　尾﨑（埼玉栄）

個人　複
優　勝　西方・下川　清水・高畑
　　（埼玉栄）　（大宮東）
準優勝　玉手・中田　桶田・片桐
　　（大宮東）　（西武台千葉）
3　位　森・山﨑　荒木・坂井
　　（西武台千葉）　（西武台千葉）
　　上村・森川　川島・尾﨑
　　（西武台千葉）　（埼玉栄）

第43回　【甲府】
学校対抗
優　勝　甲斐清和（山梨）　西武台千葉（千葉）
準優勝　常総学院（茨城）　作新学院（栃木）
3　位　作新学院（栃木）　甲斐清和（山梨）
　　西武台千葉（千葉）　常総学院（茨城）

個人　単
優　勝　小川（埼玉栄）　荒木（西武台千葉）
準優勝　小野寺（埼玉栄）　齋藤（埼玉栄）
3　位　小高（伊勢崎清明）　内田（甲斐清和）
　　古屋（甲斐清和）　海老原（作新学院）

個人　複
優　勝　小川・森岡　川島・上杉
　　（埼玉栄）　（埼玉栄）
準優勝　渡辺・小野寺　伊東・高畑
　　（埼玉栄）　（大宮東）
3　位　高橋・根本　岩谷・谷澤
　　（横浜）　（日本橋女学館）
　　久保田・細谷　有川・小沼
　　（千葉敬愛）　（西武台千葉）

第44回　【小田原】
学校対抗
優　勝　作新学院（栃木）　西武台千葉（千葉）
準優勝　西武台千葉（千葉）　作新学院（栃木）
3　位　常総学院（茨城）　伊勢崎清明（群馬）
　　宇都宮北（栃木）　常総学院（茨城）

個人　単
優　勝　渡邉（埼玉栄）　川島（埼玉栄）
準優勝　大平（埼玉栄）　海老原（作新学院）
3　位　相澤（西武台千葉）　中静（作新学院）
　　石井（横浜）　岡部（西武台千葉）

個人　複
優　勝　渡邉・岡村　川島・上杉
　　（埼玉栄）　（埼玉栄）
準優勝　小野寺・仁平　舟橋・山口
　　（埼玉栄）　（日本ウエルネス）
3　位　寺田・村井　大関・海老原
　　（作新学院）　（作新学院）
　　中島・深谷　有川・小沼
　　（常総学院）　（西武台千葉）

第45回　【前橋】
学校対抗　記念大会の為個人戦のみ

個人　単
優　勝　大林（埼玉栄）　林（埼玉栄）
準優勝　日光（埼玉栄）　島倉（千葉敬愛）
3　位　緑川（埼玉栄）　川村（伊勢崎清明）
　　中山（埼玉栄）　佐川（作新学院）

個人　複
優　勝　中山・緑川　吉田・斉藤
　　（埼玉栄）　（埼玉栄）
準優勝　大林・川端　林・正田
　　（埼玉栄）　（埼玉栄）
3　位　江越・上田　山口・巻口
　　（淑徳巣鴨）　（日本ウエルネス）
　　武井・加藤　上杉・阿部
　　（埼玉栄）　（埼玉栄）

第46回　【葛飾】
学校対抗
優　勝　常総学院（茨城）　作新学院（栃木）
準優勝　西武台千葉（千葉）　西武台千葉（千葉）
3　位　作新学院（栃木）　常総学院（茨城）
　　甲斐清和（山梨）　桐生市立商業（群馬）

個人　単
優　勝　中山（埼玉栄）　栗原（西武台千葉）
準優勝　小野里（淑徳巣鴨）　佐川（作新学院）

3　位	廣木（作新学院）	齋藤（埼玉栄）
	塩澤（西武台千葉）	溝口（法政第二）

個人　複

優　勝	武井・遠藤	吉田・齋藤
	（埼玉栄）	（埼玉栄）
準優勝	青木・水越	鈴木・大澤
	（茗溪学園）	（埼玉栄）
3　位	小室・野田	佐川・海老原
	（淑徳巣鴨）	（作新学院）
	中山・緑川	山田・淀
	（埼玉栄）	（西武台千葉）

第47回　【宇都宮】

学校対抗

優　勝	西武台千葉（千葉）	西武台千葉（千葉）
準優勝	宇都宮北（栃木）	作新学院（栃木）
3　位	伊勢崎清明（群馬）	甲斐清和（山梨）
	小山城南（栃木）	桐生市立商業（群馬）

個人　単

優　勝	秦野（埼玉栄）	栗原（西武台千葉）
準優勝	百上（埼玉栄）	宮﨑（埼玉栄）
3　位	山根（宇都宮北）	杉村（作新学院）
	北川（宇都宮北）	櫻井（作新学院）

個人　複

優　勝	川本・河村	鈴木・大澤
	（埼玉栄）	（埼玉栄）
準優勝	野田・小室	栗原・杉山
	（淑徳巣鴨）	（西武台千葉）
3　位	川島・池田	宮﨑・八角
	（埼玉栄）	（埼玉栄）
	塩澤・滝本	岩瀬・相葉
	（西武台千葉）	（千葉明徳）



全国高等学校体育連盟
バドミントン専門部
（北信越ブロック）
常任委員 藤澤 直方
（長野市立長野高等学校）

全国高等学校体育連盟バドミントン専門部が創立70周年を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

北信越ブロック専門員会は、60周年以降、平成21年度まで坂井茂則、平成26年度まで山縣泰弘先生（新潟県）、平成28年度まで新井研二先生（長野県）に委員長を歴任いただきました。ブロック大会として６月に行われる、学校対抗戦のみの北信越高校総体と１月に行われる学校対抗戦、個人対抗戦を行う全国高校選抜北信越予選会で各県代表が鎬を削っています。全国大会でも北信越ブロックの選手の全国大会での活躍は資料に示す通り数々の好成績を収めていることは私達の誇りでもあります。特に現在、日本を代表する選手である山口茜選手（福井県勝山高校出身）の全国高校総体３連覇という成績には目を見張るものがあります。今後も切磋琢磨し全国、世界で大いに活躍する選手が誕生することを願わずにはいられません。これからのますますの全国高体連バドミントン専門部の発展と北信越ブロックの活躍を祈念して、10年間の記録を記したいと思います。

【全国高校総体上位入賞記録】

『第60回大会（大阪市）』
女子団体２位　金沢向陽高校
女子複　優勝　髙橋・古西（高岡西）
女子単　優勝　三谷美菜津（金沢向陽）

『第61回大会（糸満市）』
男子団体２位　高岡第一高校
男子単　３位　山口容正（高岡第一）
女子複　２位　髙橋・古西（高岡西）
女子単　優勝　髙橋沙也加

『第62回大会（弘前市）』
女子単　３位　星　千智（金沢向陽）

『第63回大会（福井市）』
男子団体３位　金沢市立工業高校
女子複　優勝　長谷川・星（金沢向陽）
２位　山口・松田（富山国際大付）

『第64回大会（北九州市）』
女子団体３位　勝山高校
女子複　３位　松田・金浦（富山国際大付）
女子単　優勝　山口 茜（勝山）

『第65回大会（千葉市）』
男子団体３位　高岡第一高校
女子団体３位　勝山高校
金沢向陽高校
女子複　３位　山口・鈴木（勝山）
女子単　優勝　山口 茜（勝山）

『第66回大会（長岡京市・日向市・宇治市）』
女子団体３位　金沢向陽高校
勝山高校
女子複　２位　山口・鈴木（勝山）
女子単　優勝　山口 茜（勝山）
３位　大家夏稀（金沢向陽）

『第69回大会（浜松市）』
男子複　３位　農口・服部（福井工大福井）
男子単　３位　服部輝正（福井工大福井）

【全国高校選抜大会上位入賞記録】

『第38回大会（熊谷市）』
男子複　３位　吉森・南（金沢市立工業）
女子複　２位　髙橋・古西（高岡西）
女子単　優勝　髙橋沙也加

『第41回大会（北九州市）』
女子複　優勝　松田・金浦（富山国際大付）
３位　星・吉森（金沢向陽）
女子単　優勝　星 千智（金沢向陽）

『第42回大会（松本市）』
女子複　３位　山口・鈴木（勝山）
女子単　優勝　山口 茜（勝山）

『第43回大会（札幌市）』
男子複　３位　鍵谷・谷口（勝山）
女子複　優勝　山口・鈴木（勝山）
女子単　３位　山口 茜（勝山）

『第44回大会（鶴岡市）』
女子団体３位　金沢向陽高校

北信越総合体育大会
《学校対抗優勝校》

回	年	会場		学校
32	平21 (2009)	新潟 (上越市)	男子	北越 (新)
			女子	高岡西 (富)
33	平22 (2010)	福井 (福井市)	男子	金沢市立工業 (石)
			女子	高岡西 (富)
34	平23 (2011)	富山 (高岡市)	男子	金沢市立工業 (石)
			女子	富山商業 (富)
35	平24 (2012)	長野 (松本市)	男子	高岡第一 (富)
			女子	金沢向陽 (石)
36	平25 (2013)	石川 (金沢市)	男子	勝山 (福)
			女子	富山国際 (富)
37	平26 (2014)	新潟 (新潟市)	男子	高岡第一 (富)
			女子	富山国際大付 (富)
38	平27 (2015)	福井 (敦賀市)	男子	高岡第一 (富)
			女子	金沢向陽 (石)
39	平28 (2016)	富山 (高岡市)	男子	高岡第一 (富)
			女子	新潟青陵 (新)
40	平29 (2017)	長野 (長野市)	男子	高岡第一 (富)
			女子	富山国際大付 (富)
41	平30 (2018)	石川 (金沢市)	男子	高岡第一 (富)
			女子	勝山 (福)

全国高等学校選抜大会　北信越予選会
《学校対抗優勝校》

回	年	会場		学校
38	平21 (2009)	新潟 (長岡市)	男子	高岡第一 (富)
			女子	高岡西 (富)
39	平22 (2010)	石川 (金沢市)	男子	金沢市立工業 (石)
			女子	富山国際大付 (富)
40	平23 (2011)	長野 (長野市)	男子	高岡第一 (富)
			女子	富山国際大付 (富)
41	平24 (2012)	富山 (高岡市)	男子	高岡第一 (富)
			女子	富山国際 (富)
42	平25 (2013)	福井 (福井市)	男子	高岡第一 (富)
			女子	勝山 (福)
43	平26 (2014)	新潟 (上越市)	男子	高岡第一 (富)
			女子	勝山 (福)
44	平27 (2015)	石川 (金沢市)	男子	高岡第一 (富)
			女子	金沢向陽 (石)
45	平28 (2016)	長野 (松本市)	男子	高岡第一 (富)
			女子	金沢向陽 (石)
46	平29 (2017)	富山 (高岡市)	男子	高岡第一 (富)
			女子	富山国際大付 (富)

《個人対抗優勝者》

〈男子〉

		ダブルス優勝		シングルス優勝	
38	平21 (2009)	山口 容正 村上 慎道	高岡第一 (富山)	山口 容正	高岡第一 (富山)
39	平22 (2010)	日光 凌 荒井 大輝	金沢市立工業 (石川)	日光 凌	金沢市立工業 (石川)
40	平23 (2011)	記念大会			
41	平24 (2012)	前田賢史朗 谷口 友章	高岡第一 (富山)	服部 勇治	足羽 (福井)
42	平25 (2013)	西部 凌大 竹内 祐哉	高岡第一 (富山)	服部 勇治	足羽 (福井)
43	平26 (2014)	尾崎 公哉 河上 充哉	金沢市立工業 (石川)	吉村 徳仁	高岡第一 (富山)
44	平27 (2015)	長谷川貴士 鈴木 利拓	勝山 (福井)	土平 孟	金沢学院東 (石川)
45	平28 (2016)	斎藤 颯 南茂 蓮大	勝山 (福井)	高橋 久	高岡第一 (富山)
46	平29 (2017)	木田 能大 島田 淳生	高岡第一 (富山)	服部 輝正	福井工大福井 (福井)

〈女子〉

		ダブルス優勝		シングルス優勝	
38	平21 (2009)	高橋沙也加 吉西佳那子	高岡西 (富山)	高橋沙也加	高岡西 (富山)
39	平22 (2010)	小見山 彩 山口ソヨカ	富山国際大付 (富山)	小見山 彩	富山国際大付 (富山)
40	平23 (2011)	記念大会			
41	平24 (2012)	松田 蒼 金浦 紗樹	富山国際大付 (富山)	早 千智	金沢向陽 (石川)
42	平25 (2013)	山口 茜 鈴木 咲貴	勝山 (福井)	山口 茜	勝山 (福井)
43	平26 (2014)	山口 茜 鈴木 咲貴	勝山 (福井)	山口 茜	勝山 (福井)
44	平27 (2015)	大家 夏稀 楮 萌	金沢向陽 (石川)	大家 夏稀	金沢向陽 (石川)
45	平28 (2016)	生木 萌果 福島沙里奈	富山国際大付 (富山)	南部 一伽	金沢向陽 (石川)
46	平29 (2017)	北濱 英 吉浦 愛花	金沢二水 (石川)	山本 羽純	富山国際大付 (富山)



全国高等学校体育連盟
バドミントン専門部
（東海ブロック）
常任委員 山 本 泰 生
（暁高等学校）

全国高体連バドミントン専門部が創立70周年を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。東海は、平成15年度から下込貞司先生（岡崎城西高校）が23年度までの長きにわたりブロック長として地区の発展に貢献されました。尾関靖先生（名経大高蔵高校）、日詰彰則先生（愛工大名電高校）に受け継がれ全国選抜大会の愛知県開催等大いに活躍され、29年度から私がバトンをうけました。

10年前の平成21年度は、全日本ジュニア選手権大会女子複の部で、峰歩美・與猶くるみ組（岡崎城西高校）が優勝、峰歩美が単２連覇、インターハイでは個人女子複で、新玉美郷・城口優里花組（名経大市邨高校）が準優勝、その年度の全国選抜大会の男子学校対抗の部でも岡崎城西高校が準優勝など、「東海強し」と言わしめたそれまでの勢いそのままでした。22年度のインターハイでも、峰・與猶組（岡崎城西高校）が女子複３位、23年度もインターハイ男子単の部で間瀬亮介（岡崎城西高校）が３位、女子複も有吉佑有・樋口亜依美（名経大市邨高校）が３位でした。県立岐阜商業高校は、同年度の全国選抜大会で女子学校対抗の部３位につづき、翌年度のインターハイでも３位となり、同校の活躍はその年の地元岐阜国体に弾みをつけました。その後は、主に名経大市邨高校男女の選手たちが活躍し、インターハイ・全国選抜大会ともにベスト８入賞を果たしていましたが、30年度のインターハイで名経大市邨高校が女子学校対抗の部で３位となり、東海勢としては６年ぶりの表彰台に立つことができました。

東海地区の大会でも、男女ともに愛知県勢の活躍が目立ち、とくに名経大市邨高校男子が東海高校総体でこの10年間において８回優勝（最近は６連覇中）、同校女子も５回優勝、それでも県立岐阜商業高校女子が３回優勝、岡崎城西高校も男女ともに２回優勝しています。全国選抜大会学校対抗の部の出場枠が、平成25年度から愛知県単独で男女ともに１校いただけることとなりましたので、東海地区の予選会は、静岡県・岐阜県・三重県の男女１位校の総当たりでそれぞれ２枠を争う形となり、熾烈な試合が繰り広げられています。

ただ、東海地区内で切磋琢磨しながらも、選手のみならず顧問間も仲が良く協力的なことも全国に誇れる面です。年末に行われている東海オープン大会も平成30年度で第30回となり、東海４県のみならず他県からも多数参加いただいています。また東海バドミントン連盟の主催する高校生の強化事業して、23年度からマレーシアへの選手派遣が続き、東海のレベルアップに寄与しています。東海勢の活躍がますます期待されます。

東海高校総体　優勝校

（団体戦のみ実施）

年度	回数	開催地	男　子	女　子
2009	56	伊勢市	名経大市邨	名経大市邨
2010	57	豊川市	岡崎城西	岡崎城西
2011	58	磐田市	名経大市邨	岡崎城西
2012	59	池田市	岡崎城西	県岐阜商業
2013	60	伊勢市	名経大市邨	名経大市邨
2014	61	豊川市	名経大市邨	名経大市邨
2015	62	掛川市	名経大市邨	名経大市邨
2016	63	大垣市	名経大市邨	県岐阜商業
2017	64	伊勢市	名経大市邨	県岐阜商業
2018	65	岡崎市	名経大市邨	名経大市邨

全国高校選抜東海地区予選会　団体優勝校

年度	回数	開催地	男　子		女　子	
2008	37	湖西市	名経大市邨	(愛)	岡崎城西	(愛)
2009	38	大垣市	岡崎城西	(愛)	名経大市邨	(愛)
2010	39	伊勢市	県岐阜商業	(岐)	県岐阜商業	(岐)
2011	40	豊橋市	名経大市邨	(愛)	県岐阜商業	(岐)
2012	41	沼津市	名経大市邨	(愛)	県岐阜商業	(岐)
2013	42	大垣市	星陵	(静)	皇學館	(三)
2014	43	伊勢市	暁	(三)	県岐阜商業	(岐)
2015	44	豊橋市	皇學館	(三)	暁	(三)
2016	45	磐田市	皇學館	(三)	県岐阜商業	(岐)
2017	46	大垣市	富士見	(静)	大垣西	(岐)

愛知県優勝校

(愛知県は2013年度より
全国選抜大会団体単独出場)

男　子	女　子
名経大市邨	名経大市邨
名経大市邨	名経大市邨
岡崎城西	岡崎城西
名経大市邨	名経大市邨
名経大市邨	名経大市邨

全国高校選抜東海地区予選会　個人優勝選手

年度	回数	開催地		単　優勝		複　優勝	
2008	37	湖西市	男子	藤田　康史	岡崎城西	樋渡　元志 上田　拓郎	名経大市邨
			女子	峰　　歩美	岡崎城西	新玉　美郷 城口優里花	名経大市邨
2009	38	大垣市	男子	藤田　康史	岡崎城西	藤田　康史 浅井　豪太	岡崎城西
			女子	城口優里花	名経大市邨	城口優里花 樋口亜依美	名経大市邨
2010	39	伊勢市	男子	林　　昂宏	岡崎城西	河野　大地 樋口　翔太	星陵
			女子	坪井　梨恵	県岐阜商業	有吉　佑有 樋口亜依美	名経大市邨
2011	40	豊橋市	男子	小笠　裕貴	名経大市邨	後藤　圭亮 稲川　義樹	県岐阜商業
			女子	上野　亜実	県岐阜商業	上野　亜実 中村　朱里	県岐阜商業
2012	41	沼津市	男子	小笠　裕貴	名経大市邨	吉田　康平 北村　元人	岡崎城西
			女子	小川　由香	岡崎城西	岸澤妃那子 勝俣莉里香	御殿場西
2013	42	大垣市	男子	安藤　大地	名経大市邨	藤井　一貴 可児　駿弥	名経大市邨
			女子	貴虎　世奈	名経大市邨	川添麻依子 中川　祐希	皇學館
2014	43	伊勢市	男子	可児　駿弥	名経大市邨	鈴木　康宏 石塚　凌大	名経大市邨
			女子	貴虎　世奈	名経大市邨	貴虎　世奈 梶田　知沙	名経大市邨
2015	44	豊橋市	男子	村瀬康之介	名経大市邨	成田　圭佑 小西　真弘	愛工大名電
			女子	関矢　夕芽	暁	関矢　夕芽 成田　亜美	暁
2016	45	磐田市	男子	矢島　浩司	岐阜北	大西　　魁 荒木　那智	皇學館
			女子	柴田　志歩	県岐阜商業	日比　杏夏 柳瀬　麻里	県岐阜商業
2017	46	大垣市	男子	中林　寛貴	名経大市邨	中林　寛貴 青山　陸人	名経大市邨
			女子	縣　菜々美	岡崎城西	酒井すみれ 佐藤　絢音	名経大市邨



全国高等学校体育連盟
バドミントン専門部
（近畿ブロック）
常任委員 佐藤 浩
（親和女子高等学校）

全国高等学校体育連盟バドミントン専門部が創立70周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。近畿ブロック歴代の常任委員は山本博先生（京都府）が創立当初から長期に渡りお務めされ、その後、武田博利先生（奈良県）・成田光生先生（京都府）・濱久美雄先生（滋賀県）・錦秀知先生（奈良県）・寺田裕昭先生（京都府）・平成29年度からはこの私が引き継いでおります。歴代の委員長の先生方のお陰で、近畿の合宿や大会運営の基盤が整備され現在に至っております。この10年間の近畿勢の活躍を調べてみますと「強かった近畿」の時代には及ばないものの、第64回大会（福岡県）において、常山幹太（東大阪大学柏原高校）選手が男子シングルス優勝。第65回大会（千葉県）において、常山幹太・下農走（東大阪大学柏原高校）組が男子ダブルス優勝という成果を上げてくれました。また、第42・43回の全国選抜大会では男子学校対抗において東大阪大学柏原高校が２連覇を果たしてくれました。第42回大会では常山幹太（東大阪大学柏原高校）選手が男子シングルスと合わせて２冠を達成しました。現在もなお、常山幹太選手（現トナミ運輸）は2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて、世界で活躍中です。近畿専門部が主管して開催する大会の上位結果を掲載し、10年間の足跡とします。資料１は全国選抜近畿地区予選の上位結果、資料２は近畿高等学校選手権大会の上位結果です。

資料１　全国高等学校選抜バドミントン大会
近畿地区予選（学校対抗）上位結果

回数	年度	種別	１位	２位	３位	
第38回大阪府	2009年平成21年	男子	大・東大阪大柏原	滋・比叡山	兵・神戸村野工業	奈・奈良大附属
		女子	滋・滋賀短大付属	奈・添上	京・京都西山	兵・伊丹北
第39回兵庫県	2010年平成22年	男子	大・東大阪大柏原	滋・比叡山	兵・神戸村野工業	奈・奈良大附属
		女子	滋・大津商業	兵・夙川学院	京・京都西山	奈・添上
第40回京都府	2011年平成23年	男子	大・東大阪大柏原	滋・比叡山	兵・神戸村野工業	兵・社
		女子	大・四天王寺	兵・園田学園	京・乙訓	奈・添上
第41回滋賀県	2012年平成24年	男子	大・東大阪大柏原	滋・比叡山	兵・社	京・乙訓
		女子	兵・園田学園	滋・大津商業	京・乙訓	奈・添上
第42回奈良県	2013年平成25年	男子	大・東大阪大柏原	滋・比叡山	兵・神戸村野工業	京・乙訓
		女子	京・京都外大西	滋・大津商業	兵・園田学園	和・耐久
第43回和歌山県	2014年平成26年	男子	大・東大阪大柏原	滋・比叡山	兵・神戸村野工業	京・乙訓
		女子	兵・園田学園	京・京都外大西	滋・滋賀短大付属	奈・奈良大附属
第44回大阪府	2015年平成27年	男子	大・東大阪大柏原	滋・比叡山	兵・神戸村野工業	京・京都両洋
		女子	兵・園田学園	京・京都外大西	滋・滋賀短大付属	和・耐久
第45回兵庫県	2016年平成28年	男子	滋・比叡山	大・東大阪大柏原	兵・神戸村野工業	京・乙訓
		女子	兵・園田学園	大・四天王寺	京・京都外大西	大・アナン学園
第46回京都府	2017年平成29年	男子	大・東大阪大柏原	滋・比叡山	京・乙訓	兵・神戸村野工業
		女子	兵・園田学園	京・京都外大西	滋・滋賀短大付属	奈・育英西
第47回滋賀県	2018年平成30年	男子	大・東大阪大柏原	京・乙訓	滋・比叡山	兵・神戸村野工業
		女子	京・京都外大西	兵・園田学園	奈・高田商業	滋・滋賀短大付属

全国高等学校選抜バドミントン大会
近畿地区予選（個人戦）上位結果

回数	年度	種別	Ｄ１位	２位	Ｓ１位	２位
第38回大阪府	2009年平成21年	男子	大橋擁太郎・中村亮太（滋・比叡山）	植田将成・岡田淳平（兵・神戸村野工業）	植田将成（兵・神戸村野工業）	名田康平（大・東大阪大柏原）
		女子	安居里彩・近藤真央（滋・大津商業）	山本由里耶・前川尚子（奈・添上）	漆崎真子（兵・伊丹北）	樫山朋美（京・桂）
第39回兵庫県	2010年平成22年	男子	河崎駿輔・三津川剛史（滋・比叡山）	片平雄理・吉田剛（兵・神戸村野工業）	金浦大地（滋・比叡山）	森元大祐（奈・奈良大附属）
		女子	木村友都・三宅彩加（滋・滋賀短大附属）	岸田洋子・関川景子（奈・一条）	裏籠屋乃梨子（大・四天王寺）	木村友都（滋・滋賀短大附属）
第40回京都府	2011年平成23年	男子	記念大会のため個人戦はなし			
		女子				
第41回滋賀県	2012年平成24年	男子	西川裕次郎・宮雄大（滋・比叡山）	戸田貴大・竹村翔太（兵・社）	清水智彦（滋・比叡山）	水口恭兵（兵・神戸村野工業）
		女子	三津川有美・勝洋子（滋・大津商業）	和田輝里・川上優美奈（京・乙訓）	木村毬乃（滋・滋賀短大附属）	赤澤夏季（兵・園田学園）
第42回奈良県	2013年平成25年	男子	下農走・常山幹太（大・東大阪大柏原）	牛尾祐貴・佐藤康平（兵・神戸村野工業）	常山幹太（大・東大阪大柏原）	常塚光（京・乙訓）
		女子	藤元真美・宮原明日香（京・乙訓）	油上芽恵・下陸ひかる（兵・夙川学院）	山中芹里（京・京都外大西）	高橋はるか（大・四天王寺）
第43回和歌山県	2014年平成26年	男子	武本颯・唐津駿（兵・神戸村野工業）	馬場浩市・吉本尚樹（京・乙訓）	唐津駿（兵・神戸村野工業）	馬場浩市（京・乙訓）
		女子	石橋麻美子・岩崎楓由（京・京都外大西）	徳岡玲奈・畠中真奈美（大・四天王寺）	畠中真奈美（大・四天王寺）	金田明香里（兵・園田学園）
第44回大阪府	2015年平成27年	男子	高尾直佑樹・高橋瓊（大・東大阪大柏原）	戸内佑亮・友金利久斗（兵・神戸村野工業）	友金利久斗（兵・神戸村野工業）	川本虎之介（大・東大阪大柏原）
		女子	岩崎楓由・中島朱音（京・京都外大西）	伊藤亜珠香・川上めぐ（大・四天王寺）	京野沙耶（兵・園田学園）	徳岡美礼（大・四天王寺）
第45回兵庫県	2016年平成28年	男子	三宅将平・吉川理久（滋・比叡山）	川本虎之介・佐野大輔（大・東大阪大柏原）	川本虎之介（大・東大阪大柏原）	友金利久斗（兵・神戸村野工業）
		女子	小林果菜・川村彩菜（大・アナン学園）	小野美来・貴田真望子（京・京都外大西）	明地七海（京・京都外大西）	和田七海（大・四天王寺）
第46回京都府	2017年平成29年	男子	安井颯杜・鈴木勝也（兵・神戸村野工業）	寺田浩太郎・山下蒼羽（大・東大阪大柏原）	游政皇（大・東大阪大柏原）	鈴木勝也（兵・神戸村野工業）
		女子	関谷芽紅・徳岡梨々香（大・四天王寺）	明地七海・小野美晴（京・京都外大西）	明地七海（京・京都外大西）	櫻庭ほのか（京・京都外大西）
第47回滋賀県	2018年平成30年	男子	永井武蔵・河合則隆（兵・神戸村野工業）	岩橋稜典・柏木颯（和・耐久）	豊口竜一郎（滋・比叡山）	西大輝（京・乙訓）
		女子	徳岡梨々香・坂中琴音（大・四天王寺）	三輪音巴・尾上亜依（大・四天王寺）	奥村友梨（京・京都外大西）	大東川琴華（兵・育英）

資料２　近畿高等学校選手権大会上位結果

回数	年度	開催地		1　位		2　位		3　位	
第56回	2009	和歌山	男単	三浦　　昂	（滋・比叡山）	小高　拓也	（大・東大阪大学柏原）	植田　将成	（兵・神戸村野工業）
								相和　勇輝	（大・東大阪大学柏原）
			女単	下田菜都美	（大・樟蔭東）	樫山　朋美	（京・桂）	漆崎　真子	（兵・伊丹北）
								岡友　瑞貴	（滋・滋賀短大附）
			男複	小高　拓也 相和　勇輝	（大・東大阪大学柏原）	佐々木健斗 佐野　拓磨	（大・東大阪大学柏原）	河合　勇飛・平津　佳幸	（大・東大阪大学柏原）
								植田　将成・岡田　章平	（兵・神戸村野工業）
			女複	樋口帆渚実 宮原　　唯	（大・樟蔭東）	漆崎　真子 秋田　　楓	（兵・伊丹北）	樫山　朋美・吉田　瑠佳	（京・桂）
								森田　美穂・粟飯原乃梨子	（大・四天王寺）
第57回	2010	大　阪	男単	河合　勇飛	（大・東大阪大学柏原）	堀田　周吾	（滋・比叡山）	平津　佳幸	（大・東大阪大学柏原）
								佐野　拓磨	（大・東大阪大学柏原）
			女単	杉野　文保	（兵・園田学園）	粟飯原乃梨子	（大・四天王寺）	岸上　紗帆	（京・乙訓）
								宮原　　唯	（大・樟蔭東）
			男複	河合　勇飛 平津　佳幸	（大・東大阪大学柏原）	佐々木健斗 松田　　彬	（大・東大阪大学柏原）	金浦　大地・堀田　周吾	（滋・比叡山）
								佐野　拓磨・黄　　楨錮	（大・東大阪大学柏原）
			女複	樋口帆渚実 宮原　　唯	（大・樟蔭東）	粟飯原乃梨子 木戸　美咲	（大・四天王寺）	結城　　更・山中佐弥香	（大・四天王寺）
								木村　友都・三宅　彩加	（滋・滋賀短大附）
第58回	2011	兵　庫	男単	河崎　駿輔	（滋・比叡山）	常山　明良	（大・東大阪大学柏原）	清水　智彦	（滋・比叡山）
								宮　　雄大	（滋・比叡山）
			女単	木戸　美咲	（大・四天王寺）	森　みず穂	（大・四天王寺）	杉野　文保	（兵・園田学園）
								岸上　紗帆	（京・乙訓）
			男複	河崎　駿輔 三津川圏史	（滋・比叡山）	村瀬夢之介 西川裕次郎	（滋・比叡山）	原田　駿平・成松　一輝	（兵・神戸村野工業）
								竹村　翔大・戸田　貴大	（兵・社）
			女複	柏原　みき 宇都宮茉佑	（兵・園田学園）	三宅　彩加 北村　琹乃	（滋・滋賀短大附）	木戸　美咲・今井　優歩	（大・四天王寺）
								中村真瑠美・久保田法子	（奈・添上）
第59回	2012	京　都	男単	下農　　走	（大・東大阪大学柏原）	清水　智彦	（滋・比叡山）	常山　幹太	（大・東大阪大学柏原）
								宮　　雄大	（滋・比叡山）
			女単	森　みず穂	（大・四天王寺）	山中　芹里	（京・京都外大西）	植田いくみ	（大・四天王寺）
								溝端　彩起	（兵・園田学園）
			男複	下農　　走 常山　幹太	（大・東大阪大学柏原）	西川裕次郎 宮　　雄大	（滋・比叡山）	竹村　翔大・戸田　貴大	（兵・社）
								永口　恭平・三島　　優	（兵・神戸村野工業）
			女複	柏原　みき 宇都宮茉佑	（兵・園田学園）	森　みず穂 結城　　杏	（大・四天王寺）	溝端　彩起・北谷　美樹	（兵・園田学園）
								三津川有美・勝　　洋子	（滋・大津商業）
第60回	2013	滋　賀	男単	常山　幹太	（大・東大阪大学柏原）	疋田　聖也	（大・東大阪大学柏原）	下農　　走	（大・東大阪大学柏原）
								常塚　　光	（京・乙訓）
			女単	山中　芹里	（京・京都外大西）	池田　美里	（大・四天王寺）	勝　　洋子	（滋・大津商業）
								若林　千織	（大・四條畷学園）
			男複	下農　　走 常山　幹太	（大・東大阪大学柏原）	松井　大誠 小西　崇之	（滋・比叡山）	山下　大輔・上原　健太	（滋・比叡山）
								松浦　拓巳・佐藤　　烈	（大・東大阪大学柏原）
			女複	藤元　真美 宮原明日香	（京・乙訓）	西村　桃実 若林　千織	（大・四條畷学園）	山田　千晴・山中　芹里	（京・京都外大西）
								高橋はるか・池田　美里	（大・四天王寺）
第61回	2014	奈　良	男単	小倉　由嵩	（大・東大阪大学柏原）	中村　友哉	（大・東大阪大学柏原）	唐津　　駿	（兵・神戸村野工業）
								佐藤　　烈	（大・東大阪大学柏原）
			女単	中島　朱音	（京・京都外大西）	横山恵里香	（兵・園田学園）	岩崎　楓由	（京・京都外大西）
								石橋麻美子	（京・京都外大西）
			男複	小倉　由嵩 中村　友哉	（大・東大阪大学柏原）	武本　　颯 唐津　　駿	（兵・神戸村野工業）	馬場　清市・吉本　尚樹	（京・乙訓）
								吉屋　啓一・杉本　陽太	（滋・比叡山）
			女複	油上　芽恵 下隆ひかる	（兵・夙川学院）	田中　亜美 京野　沙耶	（兵・園田学園）	石上加奈子・横山恵里香	（兵・園田学園）
								草刈　真子・金田明香里	（兵・園田学園）
第62回	2015	和歌山	男単	藤原　圭祐	（滋・比叡山）	戸内　佑亮	（兵・神戸村野工業）	友金利玖斗	（兵・神戸村野工業）
								谷口　伯弥	（滋・比叡山）
			女単	中島　朱音	（京・京都外大西）	京野　沙耶	（兵・園田学園）	前野　彩帆	（兵・夙川学院）
								和田　七海	（大・四天王寺）
			男複	藤原　圭祐 三宅　将平	（滋・比叡山）	清水　滉平 堀井　大智	（滋・比叡山）	川瀬拑太郎・名草　智信	（滋・比叡山）
								高尾直佑樹・高橋　　瞭	（大・東大阪大学柏原）
			女複	石上　加奈子 横山　恵里香	（兵・園田学園）	中島　朱音 岩崎　楓由	（京・京都外大西）	伊藤亜珠香・川上　めぐ	（大・四天王寺）
								京野　沙耶・吉川　　恵	（兵・園田学園）
第63回	2016	大　阪	男単	川本　虎之介	（大・東大阪大学柏原）	清水　晃希	（大・東大阪大学柏原）	谷口　伯弥	（滋・比叡山）
								友金利玖斗	（兵・神戸村野工業）
			女単	明地　七海	（京・京都外大西）	小林　星菜	（大・アナン学園）	和田　七海	（大・四天王寺）
								徳岡　美礼	（大・四天王寺）
			男複	三宅　将平 吉川　理久	（滋・比叡山）	川本虎之介 佐野　大輔	（大・東大阪大学柏原）	谷口　伯弥・大谷　塀伸	（滋・比叡山）
								丹波　哲男・山中　一新	（大・東大阪大学柏原）
			女複	小林　星菜 川村　彩菜	（大・アナン学園）	明地　七海 伊藤　舞衣	（京・京都外大西）	山下　　玄・松下　羽衣	（和・耐久）
								杉原　早紀・田村　亮華	（兵・夙川学院）
第64回	2017	兵　庫	男単	宇治　巧登	（大・東大阪大学柏原）	游　政景	（大・東大阪大学柏原）	石澤　　樹	（大・東大阪大学柏原）
								高橋　流士	（大・東大阪大学柏原）
			女単	斉藤きくら	（兵・園田学園）	植村　理央	（大・四條畷学園）	櫻庭ほのか	（京・京都外大西）
								徳岡梨々香	（大・四天王寺）
			男複	宇治　巧登 佐野　大輔	（大・東大阪大学柏原）	寺田晶大朗 山下　音羽	（大・東大阪大学柏原）	塩谷　文也・百井　拓海	（大・東大阪大学柏原）
								高橋　流士・大出　竜伸	（大・東大阪大学柏原）
			女複	植村　理央 藤井　史織	（大・四條畷学園）	明地　七海 小野　美晴	（京・京都外大西）	藤本　未伯・青野　瑞穂	（兵・園田学園）
								音生　千凌・堀　有沙	（大・アナン学園）
第65回	2018	京　都	男単	高橋　流士	（大・東大阪大学柏原）	増本　康祐	（滋・比叡山）	百井　亮真	（大・東大阪大学柏原）
								吉水　鴻星	（滋・比叡山）
			女単	斉藤　きくら	（大・四天王寺）	堀村　友梨	（京・京都外大西）	堀　　有沙	（大・アナン学園）
								万井　梨乃	（大・アナン学園）
			男複	宇治　巧登 谷津　典祐	（大・東大阪大学柏原）	寺田晶大朗 山下　音羽	（大・東大阪大学柏原）	岡田　拓大・西　　大輔	（京・乙訓）
								水井　武蔵・河合　明暉	（兵・神戸村野工業）
			女複	大東明琴菜 大土野乃菜	（兵・有菜）	堀　　有沙 橋尾　佳那	（大・アナン学園）	藤本　未伯・青野　瑞穂	（兵・園田学園）
								徳岡梨々香・坂井　琴音	（大・四天王寺）



全国高等学校体育連盟
バドミントン専門部
（中国ブロック）
常任委員 山 下 幸 夫
（鳥取県立境高等学校）

全国高体連バドミントン専門部が創立70周年を迎えられましたことを、心よりお喜び申し上げます。

中国ブロック専門部の10年間を振り返って見ますと、大会運営に関する大きな変更点として、次に挙げる３つのことが大きく変わりました。一つは、平成23年度の中国高等学校バドミントン選手権大会から参加料を値上げし、積立金や広告料などに頼ることなく大会を運営できるようになりました。

次に平成26年度の全国選抜中国地区予選会から団体出場枠が１校から３校に変更になり、試合方法がトーナメント方式からリーグ戦方式に変更になりました。最後に、平成27年度の中国高等学校バドミントン選手権大会から初日の終了時間が遅いということから、開会式後に団体１回戦を行うように日程を変更し、２日目の終了時間が早く終えるようになりました。

この10年間で開催された全国大会は平成23年度に全国選抜大会（記念大会）が広島県広島市グリーンアリーナで開催され、平成28年度には岡山県岡山市ジップアリーナを中心に全国高校総体が実施されました。その他、全日本ジュニア・バドミントン研修合宿が平成28年度から３年間鳥取県鳥取市で行われ、全国大会等を無事に終えることができました。

最後に、全国総体・全国選抜大会でベスト８以上の学校及び選手の紹介と、中国高等学校選手権大会・中国選抜大会の団体成績を掲載し筆を置きます。

【全国高校総体】

2009年度60回大会（大阪）
男子D　青見領・田村翼（柳井商工）５位
2010年度61回大会（沖縄）
男子D　山下昴大・怒田裕也（水島工業）５位
2011年度62回大会（青森）
女子団体　松徳学院　２位
女子S　山本理香（鳥取敬愛）５位
2012年度63回大会（福井）
女子団体　倉敷中央　３位
2013年度64回大会（福岡）
女子団体　倉敷中央　５位
男子S　森田慎司（米子北）　５位
2014年度65回大会（千葉）
男子S　桐田和樹（柳井商工）３位
2015年度66回大会（京都）
男子団体　柳井商工　５位
女子団体　松徳学院　５位
男子D　山下恭平・奥山晃輔（水島工業）３位
2016年度67回大会（岡山）
男子団体　水島工業　５位
女子団体　倉敷中央　５位
男子D　山下恭平・井上健太（水島工業）５位
女子D　香山未帆・武田莉奈（倉敷中央）３位
女子D　岩永　鈴・水津優衣（柳井商工）５位
女子S　香山未帆（倉敷中央）３位
2017年度68回大会（山形）
男子団体　水島工業　５位
女子団体　柳井商工　３位
男子S　一井亮太（水島工業）５位
女子S　岩永　鈴（柳井商工）５位
2018年度69回大会（静岡）
男子団体　水島工業　５位
女子団体　柳井商工　５位
女子D　芦田奈美希・奥寺彩乃（倉敷中央）５位

【全国選抜大会】

2009年度38回大会（埼玉）
女子S　井田詩織（鳥取敬愛）３位
2011年度40回記念大会（広島）
男子団体　米子北　５位
女子団体　倉敷中央　５位
2012年度41回大会（福岡）
男子D　中野克哉・湯谷郁斗（鳥取敬愛）５位

男子D　岡本侑也・大島侑也（水島工業）5位
女子S　加藤美幸（倉敷中央）5位

2013年度42回大会（長野）
女子団体　倉敷中央　5位
男子S　中原拓也（米子北）5位
男子S　桐田和樹（柳井商工）5位
女子S　池内萌絵（松徳学院）5位

2014年度43回大会（北海道）
男子団体　柳井商工　5位
男子D　奥山晃輔・山下恭平（水島工業）5位
女子D　池内萌絵・三島由里（松徳学院）3位
男子S　山下恭平（水島工業）5位
女子S　池内萌絵（松徳学院）5位

2015年度44回大会（山形）
女子団体　倉敷中央　5位
女子D　青山栞子・香山未帆（倉敷中央）5位
女子D　永田瑞稀・新田琴乃（柳井商工）5位
男子S　山下恭平（水島工業）2位
女子S　香山未帆（倉敷中央）3位

2016年度45回記念大会（愛知）
男子団体　水島工業　5位
女子団体　柳井商工　5位
男子D　一井亮太・藤井凌（水島工業）5位
女子D　岩永鈴・水津優衣（柳井商工）5位
男子S　一井亮太（水島工業）5位
女子S　岩永鈴（柳井商工）5位

2017年度46回大会（愛媛）
女子団体　柳井商工　5位
男子D　一井亮太・藤井凌（水島工業）5位
男子S　一井亮太（水島工業）3位
男子S　藤井凌（水島工業）3位
女子S　善家百合子（山陽女子）5位

中国高校選手権大会　栄光の記録
学校対抗

《男子》　《女子》

2009年度52回大会（島根）
1位　水島工業　松徳学院
2位　柳井商工　倉敷中央
3位　米子北　熊毛北
3位　広島城北　鳥取敬愛

2010年度53回大会（山口）
1位　水島工業　松徳学院
2位　米子北　大東
3位　広島城北　清水ヶ丘
3位　柳井商工　米子北

2011年度54回大会（広島）
1位　水島工業　松徳学院
2位　柳井商工　鳥取敬愛
3位　米子北　清水ヶ丘
3位　大東　倉敷中央

2012年度55回大会（岡山）
1位　水島工業　倉敷中央
2位　米子北　鳥取敬愛
3位　大東　柳井商工
3位　柳井商工　安芸府中

2013年度56回大会（鳥取）
1位　水島工業　倉敷中央
2位　柳井商工　鳥取敬愛
3位　米子北　松徳学院
3位　大東　柳井商工

2014年度57回大会（島根）
1位　柳井商工　松徳学院
2位　水島工業　柳井商工
3位　安芸府中　鳥取敬愛
3位　米子北　倉敷中央

2015年度58回大会（山口）
1位　柳井商工　倉敷中央
2位　水島工業　柳井商工
3位　米子松蔭　鳥取敬愛
3位　米子北　松徳学院

2016年度59回大会（岡山）
1位　水島工業　柳井商工
2位　米子北　倉敷中央
3位　広島城北　山陽女子
3位　柳井商工　安田女子

2017年度60回大会（広島）
1位　水島工業　柳井商工
2位　柳井商工　山陽女子
3位　広島城北　安田女子
3位　鳥取敬愛　松江商業

2018年度61回大会（鳥取）

1位	水島工業	倉敷中央
2位	柳井商工	山陽女子
3位	松徳学院	松江商業
3位	広島城北	安田女子

中国高校選抜大会　栄光の記録
学校対抗

	《男子》	《女子》
2009年度38回大会		
1位	水島工業	松徳学院
2位	米子北	山陽女子
3位	徳山高専	鳥取敬愛
3位	広島城北	米子北
2010年度39回大会		
1位	柳井商工	松徳学院
2位	水島工業	倉敷中央
3位	米子北	鳥取敬愛
3位	大　東	大　東
2011年度40回大会		
1位	水島工業	倉敷中央
2位	米子北	鳥取敬愛
3位	安古市	松徳学院
3位	柳井商工	清水ヶ丘
2012年度41回大会		
1位	米子北	倉敷中央
2位	大　東	鳥取敬愛
3位	柳井商工	柳井商工
3位	安芸府中	松徳学院
2013年度42回大会		
1位	柳井商工	松徳学院
2位	米子北	柳井商工
3位	水島工業	倉敷中央
3位	安芸府中	鳥取敬愛
2014年度43回大会		
1位	水島工業	松徳学院
2位	柳井商工	倉敷中央
3位	米子松蔭	鳥取敬愛
3位	米子北	柳井商工
2015年度44回大会		
1位	水島工業	倉敷中央
2位	柳井商工	柳井商工
3位	米子北	米子北
3位	広島城北	安田女子
2016年度45回大会（山口）		
1位	柳井商工	柳井商工
2位	広島城北	山陽女子
3位	水島工業	松江商業
3位	鳥取敬愛	鳥取敬愛
2017年度46回大会（岡山）		
1位	水島工業	倉敷中央
2位	柳井商工	山陽女子
3位	広島城北	安田女子
3位	松徳学院	柳井商工



全国高等学校体育連盟
バドミントン専門部
（四国ブロック）
常任委員 秋 山 啓 太
（愛媛県立伊予農業高等学校）

近年の大会結果より、この10年の四国四県の選手たちの状況を振り返ってみたい。

四国高等学校総合体育大会男子団体は、平成23年から５年連続優勝を含む８回優勝を果たした新田高校（愛媛）が引っ張った10年であった。女子団体では、平成25年から４年連続優勝の高松商業高校（香川）に続き、英明高校（香川）が連続優勝を果たし、強豪香川県が後半期を引っ張る結果となった。

全国高等学校選抜大会四国地区予選会では、男子団体で新田高校と香川県の各校が優勝を分け合う結果であった。女子団体では新田高校、高松商業高校、英明高校、城東高校などが優勝を分け合った。

このように、以前のような香川県勢が独占している状態から四国の勢力関係が変化した10年間であったように思う。これも各県のお互いの交流や錬磨により起こった結果ではないかと思われる。今後もお互いのレベルを上げるよう努力していきたいものである。

四国高等学校総合体育大会（団体）成績

年度	男子優勝校	女子優勝校
H20	英　明（香川）	高松商業（香川）
H21	新　田（愛媛）	城　東（徳島）
H22	高松第一（香川）	新　田（愛媛）
H23	新　田（愛媛）	高松商業（香川）
H24	新　田（愛媛）	新　田（愛媛）
H25	新　田（愛媛）	高松商業（香川）
H26	新　田（愛媛）	高松商業（香川）
H27	新　田（愛媛）	高松商業（香川）
H28	香川中央（香川）	高松商業（香川）
H29	新　田（愛媛）	英　明（香川）
H30	新　田（愛媛）	英　明（香川）

全国高等学校選抜大会四国地区予選会　成績

年度	男子団体優勝校	女子団体優勝校
H20	新　田（愛媛）	新　田（愛媛）
H21	高松第一（香川）	新　田（愛媛）
H22	高松商業（香川）	城　東（徳島）
H23	新　田（愛媛）	新　田（愛媛）
H24	新　田（愛媛）	高松商業（香川）
H25	高松東（香川）	高松商業（香川）
H26	新　田（愛媛）	高松商業（香川）
H27	香川中央（香川）	新　田（愛媛）
H28	新　田（愛媛）	英　明（香川）
H29	新　田（愛媛）	英　明（香川）

さて、全国に目を向けてみるとこの10年、全国総合体育大会や全国選抜バドミントン大会においてベスト８以上の上位入賞を果たしたのは、男子団体で平成21年度選抜大会３位入賞を果たした高松第一高校（香川）を筆頭に香川中央高校を含む香川県勢３回、愛媛県新田高校２回の計５回、女子団体では、高松商業高校と英明高校の香川県勢が計２回という結果であった。

全国大会（男子学校対抗）成績ベスト８以上

年度	大会	学校名（県名）	成績
H21	**選抜**	**高松第一（香　川）**	**３位**
H22	総体	高松第一（香　川）	５位
H25	総体	新　田（愛　媛）	５位
H26	選抜	新　田（愛　媛）	５位
H27	選抜	香川中央（香　川）	５位

全国大会（女子学校対抗）成績ベスト８以上

年度	大会	学校名（県名）	成績
H24	選抜	高松商業（香　川）	５位
H29	総体	英　明（香　川）	５位

個人戦男子では、平成26年選抜大会シングルスで３位入賞した西野勝志（新田）と平成27年選抜大会ダブルスで３位入賞した伏見勇真・岡田竜征組（香川中央）を筆頭に、新田勢が中心

となって上位進出を果たした。女子では、ダブルスで香川県勢が３回、シングルスでは四国四県全てが１、２回の上位進出の結果を収めた。

全国大会（男子ダブルス）成績ベスト８以上

年度	大会	氏　名（校名）	成績
H21	選抜	木村健太朗 山中　一浩（高松第一）	５位
H24	選抜	吾野　文人 東　優太（新　田）	５位
H26	選抜	田中　大祐 西野　勝志（新　田）	５位
H27	**選抜**	**伏見　勇真 岡田　竜征（香川中央）**	**３位**

全国大会（男子シングルス）成績ベスト８以上

年度	大会	氏　名（校　名）	成績
H20	選抜	金森　優太（新　田）	５位
H21	総体	金森　優太（新　田）	５位
H23	総体	渡部　克栄（新　田）	５位
H24	選抜	木村大一朗（高松東）	５位
H25	選抜	西野　勝志（新　田）	５位
H26	総体	西野　勝志（新　田）	５位
H26	**選抜**	**西野　勝志（新　田）**	**３位**
〃	〃	稲盛　晃平（高知商）	５位
H27	選抜	中川　正麻（新　田）	５位
H30	総体	鎌田　雄太（新　田）	５位

全国大会（女子ダブルス）成績ベスト８以上

年度	大会	氏　名（校　名）	成績
H25	選抜	木場　叶華 十河　茉由（高松商）	５位
H28	選抜	新井田　楓 笹澤　美羽（英　明）	５位
H30	総体	新井田　楓 笹澤　美羽（英　明）	５位

全国大会（女子シングルス）成績ベスト８以上

年度	大会	氏　名（校　名）	成績
H20	選抜	水口　愛梨（城　東）	５位
H21	選抜	矢部　由貴（新　田）	５位
H24	選抜	木場　叶華（高松商）	５位
H26	総体	十河　茉由（高松商）	５位
H27	総体	上田　麻未（高知中央）	５位
H29	選抜	近藤　七帆（新居浜東）	５位

今までと比べこの10年は、残念ながら初めて四国勢が決勝まで上ることが出来なかった低調な結果となってしまった。この原因として考えられるのが、優秀な選手たちの県外流出である。以前からこの傾向はあったが、四国の小・中学生のレベルが上がるにつれ更に進んでいるように思う。リオデジャネイロオリンピック女子ダブルスで金メダルを獲った松友美佐紀選手（徳島県出身）やBWF2018男子シングルス世界ランキング１位の桃田賢斗選手（香川県出身）が県外高校へ進学したことがその最たる例である。その他にも、多くの四国出身選手が全国大会決勝の舞台に駒を進める状況であった。四国の土地では勝利を摑むことはできないのか、決してそんなことは無い、平成５年インターハイ男子団体優勝、平成10年インターハイ準優勝のどちらも高松商業高校（香川）の例がある。

四国の優秀な選手たちと、現存する四国各県の優秀な指導者の下でお互いが切磋琢磨し、再編四国として一丸となってレベル上昇に向かって頑張ってほしい。近年、愛媛県では全日本合宿や全国選抜大会の開催、2020年インターハイの誘致など、全国の晴れ舞台を準備開催することとなりました。今後も四国の先生方の力をお借りしながら、四国の地で四国の選手が再び活躍する。そういう場を目指してお互い進んで行きたいものである



全国高等学校体育連盟
バドミントン専門部
（九州ブロック）
常任委員 末次孝文
（佐賀県立佐賀工業高等学校）

全国高等学校体育連盟バドミントン専門部の創立70周年を心よりお祝い申し上げます。今日までの発展・運営にご尽力いただいた関係先輩方に敬意を表します。

私は、前委員長の九州国際大学付属高等学校の明神憲一先生より引き継ぎ、九州高等学校体育連盟バドミントン専門部委員長２年目です。これまで多くの先輩方が勤められ、すばらしい功績を残されました。私も微力ながら勤めさせていただいています。九州ブロックは、沖縄県を含め８県で運営を行い、「九州は一つ」を合い言葉に、選手を第一に考え競技力向上等に取り組んでいます。

さて、九州高等学校体育連盟バドミントン専門部では、年二つの大会と一回の合宿を九州バトミントン連盟と主催・共催して開催し、専門部主管として取り組んでいます。

全九州高等学校体育大会
全九州高等学校バドミントン競技大会

開催期日　６月第３週（金・土・日・月）
開催場所　九州８県で持ち回り
出場制限　団体：各県男女各２チーム
個人単：各県男女各４名
個人複：各県男女各４組

昭和41年度大分県日田市で開始されて以来、今年度で53回を重ねている。九州ブロックのバドミントンは、熊本県が他県を大きくリードしており、53回の大会で男子は42回、女子は27回優勝している。

しかし、近年に於いては、男女とも福岡・長崎・宮崎等の頑張りがめざましいものがある。

●学校対抗

年度	開催県	男子	女子
昭和41年～平成20年 ※○内数字は優勝回数		八代東 ⑬ 九州学院 ⑩ 熊本学園 ⑨ 瓊浦 ⑤ 芦北 ② 日田林工 ① 熊本 ① 長崎東 ① 西陵 ①	熊本中央 ⑯ 長崎商業 ⑥ 熊本信愛 ⑤ 九国大付 ⑤ 長崎女子 ③ 昭和学園 ② 佐賀女子 ② 八代白百合 ② 九州女学院 ① 精華女子 ①
21	宮崎	八代東	八代白百合
22	佐賀	自由ヶ丘	長崎女子
23	熊本	九国大付	九国大付
24	福岡	八代東	玉名女子
25	長崎	自由ヶ丘	九国大付
26	大分	八代東	九国大付
27	沖縄	八代東	九国大付
28	鹿児島	八代東	諫早商業
29	宮崎	八代東	佐賀女子
30	佐賀	八代東	八代白百合

●個人対抗：複

21	嘉村・坂中（熊本）	室園・小田（福岡）
22	岩崎・山口（熊本）	永田・深川（熊本）
23	石山・森田（福岡）	井上・深川（熊本）
24	原口・成富（福岡）	伊藤・廣田（熊本）
25	原口・成富（福岡）	櫻本・寺田（福岡）
26	新本・小本（熊本）	石橋・松山（福岡）
27	霜上・野田（熊本）	重田・田島（福岡）
28	小本・福嶋（熊本）	松山・縄田（福岡）
29	小本・福嶋（熊本）	平野・小西（福岡）
30	中島・杉本（長崎）	小西・田島（福岡）

●個人対抗：単

21	渡邊　達哉（宮崎）	上村　麻衣（沖縄）
22	山口　凌司（長崎）	小森　愛美（長崎）
23	松村　健太（長崎）	山本明希歩（熊本）
24	西　智寛（熊本）	中村　麻裕（福岡）
25	原口　拓巳（福岡）	櫻本　絢子（福岡）
26	霜上　雄一（熊本）	松山　奈未（福岡）
27	霜上　雄一（熊本）	樋口奈津樹（熊本）
28	小本　大佑（熊本）	松山　奈未（福岡）
29	小本　大佑（熊本）	岡　未涼（熊本）
30	田中　一成（熊本）	小西　春七（福岡）

全九州高等学校選抜バドミントン競技大会

開催期日　12月下旬
開催場所　九州８県で持ち回り
出場制限　団体：各県男女各２チーム
　　個人単：各県男女各２名
　　個人複：各県男女各２組

平成24年度までは、全国高等学校選抜バドミントン大会の参加枠は、記念大会を除き、九州ブロックから男女団体２チーム、個人戦単複２名２組（同一県は不可）であった。平成25年度から団体が男女５県５チームになり、さらに平成29年度からは個人戦の枠も４名４組（同一県は２名２組まで）に増え、試合も白熱した大会となってきた。また、大会運営も複雑になり、競技時間が長引くなどの問題も出てきている。今後、改善を図っていきたい。

以下に過去10年間の団体優勝校並びに個人戦優勝者を記載します。

●学校対抗（平成25年度からは、1位グループ優勝）

年度	開催県	男　子	女　子
21	沖　縄	自由ヶ丘	長崎女子
22	佐　賀	九国大付	九国大付
23	長　崎	自由ヶ丘	九国大付
24	熊　本	八代東	熊本中央
25	鹿児島	八代東	諫早商業
26	大　分	八代東	九国大付
27	熊　本	八代東	九国大付
28	福　岡	八代東	九国大付
29	長　崎	八代東	諫早商業
30	大　分	八代東	八代白百合

●個人対抗：複

21	佐々木・染木（熊本）	井上・深川（熊本）
22	森田・石山（福岡）	井上・深川（熊本）
23	松村・吉村（長崎）	廣田・伊藤（熊本）
24	西・藤（熊本）	前田・松本（長崎）
25	山下・小森園（宮崎）	川野・宅島（熊本）
26	松尾・鍛治屋（長崎）	重田・田島（福岡）
27	平川・山元（熊本）	松山・縄田（福岡）
28	田中・森田（熊本）	平野・小西（福岡）
29	小川・樋口（宮崎）	小西・田島（福岡）
30	小川・樋口（宮崎）	小方・小川（長崎）

●個人対抗：単

21	山口　凌司（長崎）	山本明希歩（熊本）
22	森田　浩平（福岡）	廣田　彩花（熊本）
23	新田　祥基（長崎）	中村　麻裕（福岡）
24	西　智寛（熊本）	毛利　未佳（佐賀）
25	小本　翔太（熊本）	毛利　未佳（佐賀）
26	霜上　雄一（熊本）	樋口奈津樹（熊本）
27	原口　翔多（長崎）	松山　奈未（福岡）
28	村本　竜馬（長崎）	黒岩はるな（佐賀）
29	小川　翔梧（宮崎）	小西　春七（福岡）
30	野田　統馬（熊本）	郡司　莉子（熊本）

九州地区ジュニアバドミントン強化合宿

開催期日　１月４日～７日（３泊４日）
開催場所　鹿児島県日置市
　　吹上浜公園体育館
　　日吉総合体育館
参加制限　各県男女各６名以内
　　（中学生２名以上含む）

昭和63年度より九州地区ジュニアの競技力向上を目指し、九州バドミントン連盟の主催により開催して、今年度で32回目となる。第１回（２泊３日、男女高校生各３名）は久留米市の久留米大学で開催し、平成８年度（３泊４日、男女高校生各４名）より福岡市の「アクシオン福岡」に移動した。平成19年度から現在開催している鹿児島県日置市の吹上浜公園体育館・日吉総合体育館で行っている。さらに、平成20年度からは中・高一貫の強化と連携を図るため中学生と指導者の参加を行った。また、数年に一度この合宿を沖縄県で開催している。

この合宿の成果で、男女の全国大会等での活躍があり、多くの日本を代表する選手を育成している。しかし、毎年行われている全日本ジュニアバドミントン研修合宿と日程が同じであり、何名かの優秀な選手が参加できないことがあるため、今後日程等も含めて検討していきたいと思います

70年のあゆみ

都道府県高体連バドミントン専門部（10年のあゆみ）



北海道高等学校体育連盟
バドミントン専門部
（北北海道ブロック）
委員長 水崎　忍
（北海道帯広三条高等学校）

北北海道は、名寄支部・旭川支部・空知支部・北見支部・十勝支部・釧根支部の６支部で構成されています。南北約500km（名寄支部稚内市～十勝支部広尾町）、東西約420km（空知支部岩見沢市～釧根支部根室市）、に166校（平成30年度高体連団体出場校数）の規模で活動をしています。インターハイ予選は、５月中旬から下旬にかけて各支部予選を行い、６月中旬に北海道予選会を支部持ち回りの当番校制で実施しています。平成30年度のインターハイ予選は、６支部男女団体166校・複212校・単212校の参加で支部予選を行い、予選上位校による北海道予選会を旭川支部で開催しました。10年前に比べると、各種目共に約１割～１割強、参加校が減少している状況です。また、インターハイ北海道予選会は、平日開催を行っていることもあり、審判員の確保が難しくなっていること、６支部持ち回りで行ってきた予選会が、学校数の減少により開催が困難な支部が出来たことなど、この10年で新たな課題も出てきている現状もあります。

上記の課題や、高校の統廃合・間口減などによる指導者や部員減少等の課題もありますが、各支部の専門委員と協力し、高校生に競技の普及や競技力向上は勿論のこと、競技を通じ人間的成長を促すような指導ができるよう微力ながら力を注ぎたいと考えております。

最後になりますが、全国高体連バドミントン専門部が70周年を期に、更なる発展を遂げますよう祈念いたします。



北海道高等学校体育連盟
バドミントン専門部
（南北海道ブロック）
委員長 宮野慎哉
（北海道江別高等学校）

全国高体連バドミントン専門部創立70周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

南北海道は札幌支部・室蘭支部・小樽支部・函館支部の４支部で区割りされており、各支部予選を勝ち抜き南北海道大会に進出しています。この４支部の中で学校数が特に多いのが札幌支部であるため予選を勝ち抜くことが非常に厳しい状況にあるため、南北海道大会に進出する札幌支部の学校・選手はレベルが高く、札幌支部予選上位校が南北海道大会においても上位を占めるケースが多くなっています。

ここ10年を振り返ると男子団体は実績のある札幌第一が９回、女子団体はとわの森三愛が７回優勝しており、安定した力を誇っている。しかし、ここ数年の男子については、札幌龍谷学園・北海が札幌第一を脅かす状況にあり、混戦が続いている。女子については、とわの森三愛がここ５年間連覇を果たしており、選手層の厚さを誇っている。以下札幌静修・札幌龍谷学園が追随している。

南北海道における上位校の指導者においては全国出場を果たした経験がある若手に世代が移ってきており、それぞれが独自の指導スタイルに磨きをかけながら北海道全体のレベルアップに尽力していただいています。

今後、インターハイ・国内大会・国際大会で活躍できる北海道出身選手を輩出できるよう北海道高体連専門部としても支援していきたいと考えています。

最後になりますが，全国高体連バドミントン専門部の今後のますますのご発展をお祈り申し上げます。



青森県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 八島 隆朗
（青森県立青森西高等学校）

この10年間の中で、本県高体連バドミントン専門部にとって最も大きな出来事と言えば、平成23年北東北インターハイバドミントン競技が本県弘前市において開催されたことである。多くの皆様の協力を得、見事な形で大会を成功裏に終えることができたことは、我々専門部に関わるものにとって大きな財産となり、その後も良い形で生かされ、今日までの円滑な運営に繋がっているものと感じております。

そうした中、平成10年以降本県高校バドミントンを牽引してきた青森山田高校では女子が安定した力を維持し、数多くの日本代表選手を輩出し本県のみならず日本をリードする活躍を見せている。一方、男子では青森山田高校と東奥学園高校が覇を競う流れが続いてきた中、数年前までは誰もが予想もしなかった流れが一気に進み定着しつつある。かつては上位を争う１校であったが長らく低迷が続いていた県立の浪岡高校に平成27年春、全中で上位入賞の地元浪岡中学のメンバーを中心に有望選手が大挙して入学。平成29年には県高校総体学校対抗で48年ぶりの優勝を果たしたのである。現在はオリンピック出場を目指す２年生エース奈良岡功大を中心に安定した戦いを見せている。

このように激戦激動の続く本県高校バドミントンですが、決してトップにばかり目を向けることなく、勝利至上主義に走ることなく、競技力向上とともに人間性豊かな人材を競技を通じて育てていくことのできる専門部であり続けていけるよう、より一層協力体制を強固なものとできるべく日々邁進していきたいと思っております。



岩手県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 渡邉 清一
（岩手県立前沢高等学校）

平成29年度から菊地亨前専門委員長から専門委員長を引き継ぎました。専門部の先生方に支えられ各大会、事業を運営することができています。また、東北大会開催の折には東北各県の委員長の先生方にお力添えをいただきながら開催して参りました。今後とも多くの皆様にお世話になりながらの専門部の運営になると思いますが、何卒よろしくお願いします。

さて、60周年から70周年までの10年間、本県選手のインターハイでの最高成績は男子単複でベスト16。JOC男子ダブルスベスト８。平成28年の岩手国体では県協会と連携した強化が実り、少年男子が５位入賞。今後も各種全国大会入賞に向けて専門部一丸となって頑張り続けたいと思います。私は「強化」と「普及」の２本柱での専門部運営を目指しています。強化ではトップ層と中間層の強化、普及については多くの選手がエントリーできる大会を新たに作っていきたいと考えています。そのためには強化・普及の組織づくりを兼ねて全国大会を開催することも考えております。

最後に、この10年間を振り返ってみて、大きな出来事といえば、やはり平成23年３月11日に起きた東日本大震災です。当たり前のようにバドミントンをしていたことが、実は当たり前でなかったことを痛感させられました。沿岸部を中心に甚大な被害がありましたが、全国の皆さんの多大なご支援のおかげで復興に向け頑張っています。本当にありがとうございました。



宮城県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 大沼良彰
（尚絅学院高等学校）

全国高体連バドミントン専門部70周年誠におめでとうございます。

去る平成23年３月11日に発生した東日本大震災により、大切に使ってきた用具を流され練習する環境や試合もままならない状況におかれた生徒の落胆はとても大きなものでした。しかし、その心を救ってくれたのはバドミントンでした。もう一度バドミントンが出来る環境が与えられた事で、生徒たちはもとより指導者である私たちも救われる思いがしました。各県専門部からいただいた多大なご厚情とご支援に、改めて本県専門部役員並びに各校顧問を代表し御礼申し上げます。

さて本県においては、学校対抗で優勝を続ける聖ウルスラ学院英智高等学校男子バドミントン部が、この数年で全国上位校へと躍進を遂げました。全国からの支援を力に変え勝つ事が恩返しと奮闘を続ける同校バドミントン部が、男子・女子共に本県専門部を全国トップレベルに引き上げています。さらに、同校バドミントン部出身の髙橋礼華・松友美佐紀組が平成28年のリオデジャネイロオリンピックにおいて女子ダブルスで日本人初の金メダルを獲得したことは、頑張れば夢は叶えられる事を証明し、復興途中の私達の強い励みとなっています。

きたる東京オリンピックにおいても、日本の選手が活躍される事を熱望すると共に、本県出身選手が各種大会で活躍できるような選手育成を目指して宮城県高体連バドミントン専門部としても一致団結して取り組んで参ります。こうした全国の力を結集し、全国高体連が益々発展されますよう祈念いたします。



秋田県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 小玉慎也
（秋田県立秋田北高等学校）

秋田県の高校生のバドミントン人口は、この10年間で増加しており、全国高校体育連盟の統計によると部活動に所属している人数は、平成21年に875人だったものが、平成29年には1,082人となっている。人口減が全国で最も深刻であり、高校の生徒減・統廃合も進んでいる秋田県で、他のほとんどの競技の生徒数が減っている中、バドミントンは高校の競技人口が増えている数少ない競技となっている。

その理由として、秋田県内でのバドミントン競技の活性化と盛り上がりが影響していることが考えられる。特に近年、北都銀行の選手が国内外の大会で素晴らしい成績を挙げており、秋田県民の注目も大変大きなものとなっている（昨年は全日本実業団準優勝、ＳＪリーグ３位、米元・田中組のスーパーシリーズファイナル優勝、今年も先日行われた世界選手権で永原・松本組が優勝、米元・田中組が３位）。県内のジュニア選手や高校の選手は全国的にも注目されている憧れの選手と接する機会や、指導を受ける機会もあり、バドミントン競技人口の増加につながっている。また、今年度からヨネックス秋田マスターズという国際大会が開催されており、世界トップレベルの選手たちのプレーを毎年体感する機会にも恵まれている。もう一つの理由として、高校からバドミントン競技を始める選手が多いことがある。これは県民体育大会や新人大会において２部制を採用して、高校初心者が試合を経験する機会を増やし、競技に対する意欲を高めてきたことや、上位大会での活躍を期待する選手のための強化練習会の他に、高校初心者が競技を継続していくための普及と強化を兼ねた練習会を毎年実施してきたことが効果的であったと考えている。

その一方で、高校生の競技力向上という点に

関しては、厳しい現状であり、多くの課題を抱えている。平成19年の秋田わか杉国体では少年女子が５位入賞、少年男子がベスト16に入り、国体までの強化が実を結んだ素晴らしい結果であった。その成果をうまく継承していくことが求められているがなかなかうまくいっていない。平成21年から平成30年のインターハイの成績をみると、学校対抗戦では男女ともに10年間で２度ずつしか一回戦勝利がない（いずれも二回戦敗退）。個人対抗でも男女ダブルス・シングルスで初戦に勝利したのは、延べ80回のうち16回で、二回戦に勝利したのは一度しかなく、全国の舞台でなかなか結果を出せない状況である。国体前年と国体の年には、インターハイで三回戦に進出した選手が複数出ており、やはり国体直前の成績に比べると見劣りする。東北大会では、上位に進出する学校・選手も出てきているので、より高いレベルで通用する選手を育成できるよう高体連専門部として強化の方法の模索・工夫に努めたい。



山形県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 大山孝光
（山形市立商業高等学校）

山形県専門部としてこの10年間のトピックは、本県専門部の主管で開催した２度の全国大会である。平成４年度の国体から20余年を経て、スタッフも大幅に顔ぶれが変わった中で準備を進め、何とか実施にこぎつけることができた。

まず平成28年３月には、鶴岡市の２会場において第44回全国高校選抜大会を開催した。２年後のインターハイ開催に向けたリハーサルと位置づけ、県専門部としては全県から顧問を動員して大会運営にあたった。サブ会場が手狭で参加選手にはご迷惑をおかけしたが、この選抜での経験は専門部にとって大きな財産となった。

平成29年には新庄市、鶴岡市、尾花沢市の３市４会場において、本県ではおよそ半世紀ぶりのインターハイを開催した。教員、生徒とも全県から招集し大会をサポートした。まずは規模の小さな専門部でよく乗り越えたことに安堵しつつ、開催地自治体など関係各機関のご協力に改めて感謝申し上げたい。

さて、上記大会を振り返りながら感じるのは、大会に関わる準備作業と選手強化が両輪として回らなかったことに対する反省である。県高体連の県内開催競技特別強化事業や、県協会指定選手強化事業などに頼ってしまい、専門部としては予算措置も特に講じることができず、結果的に各校にただお願いするのみになってしまった点が悔やまれる。

この10年間は、男子が鶴岡工業、山本学園、山形南、そして女子が山形城北、山形市商、山本学園と、それぞれ三つ巴の戦いを展開し続けた。地元開催全国大会が近づくにつれ、鶴工、城北、山本男女が抜け出し、これに個人で男子は米沢工業、女子は鶴岡北が頂点争いに絡む構図となった。今後とも競技レベルの高い東北ブロックにおいて、臆することなく目標高く鍛錬に励むことを期待したい。



福島県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 高 橋 寛 二
（福島県立郡山商業高等学校）

忘れもしない平成23年３月11日。東日本大震災で多くの方々の命を失い、福島県は失意のどん底にありました。大会開催が危ぶまれる中でも、生徒たちの今までの努力を無にしてはならないとして、開催地区の顧問の先生方だけでなく、多くの顧問の先生方の協力を得て、福島県高校体育大会を開催することができました。その翌年以降、全国高校総体学校対抗戦で平成24年富岡高校女子初優勝・平成25年富岡高校男子初優勝・平成26年富岡高校男女アベック優勝など多くの実績を残し、個人戦でも桃田賢斗選手や渡辺勇大選手・東野有紗・大堀彩選手など現在の日本を代表する選手が全国で活躍し、福島県を全国のトップレベルへと押し上げるとともに、私たちに元気を与えてくれました。今後も、福島県勢の全国での活躍に期待したいと思います。

この間、平成26年より近藤正俊前委員長から専門部委員長を引き継き、何もわからぬまま、がむしゃらに取り組んできました。顧問歴も短く経験も少ない私は、県専門部副委員長の先生方や事務局の先生方に支えられ、また東北大会開催の折には、東北各県委員長の先生方にお力添えを頂きながら、何とか大会を開催して参りました。今後とも多くの皆様にお世話になりながらの県専門部の運営になると思いますが、何卒よろしくお願いいたします。

2021年３月の全国選抜大会が、福島県郡山市で開催されることとなりました。本県専門部役員及び各校顧問の献身的協力体制は、この大会でも発揮されるものと自負しております。ハード面で過去の大会に見劣りするかと思いますが、役員・顧問・生徒のソフト面で、他県選手団をもてなしていきたいと意を強くしております。



茨城県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 山野井 利 明
（茨城県立笠崎高等学校）

（公財）全国高等学校体育連盟バドミントン専門部が創立70周年を迎えられ、記念誌を発行されるにあたり、心よりお祝い申し上げます。

さて、本県のここ10年間について振り返ってみたいと思います。

男子は、常総学院と茗渓学園の両校がここ10年の間、激しいライバル関係にあります。木内先生率いる常総学院の連覇を阻み、平成21年、22年に茗渓学園が２年連続でインターハイに出場しました。長年にわたって地道に指導されてきた小野満先生の努力が実った感があります。近年では新人大会を茗渓学園が、全国大会は常総学院が優勝するなど激しい戦いが続いています。また、その２強を追う形で、土浦三、牛久栄進、石岡一、下妻一、竹園などが常に上位に入るような状況が続きました。

女子は、磯部先生率いる常総学院が全国大会・新人大会の団体戦を連覇している状況にあります。平成29年度の愛媛国体では磯部監督のもと、少年女子（海老澤花・海老澤彩・島倉）が初優勝し、平成31年度に開催される茨城国体に向けて大きな弾みとなりました。個人戦では、平成30年度の全国大会県予選で、海老澤（石岡一）が二冠を達成、東北マークスを引退された青山先生が指導するつくば国際が全国大会に初出場（個人）するなど新しい芽吹きを感じるようになりました。近年は常総、石岡一、茗渓学園、つくば国際の４校による激しい戦いが繰り広げられました。

30年度は、茨城国体に向けて全国私学大会（H30）をはじめ、日本リーグ（H30）、全国選抜大会（H31年３月）など全国規模の大会が開催される予定です。大会の開催にあたっては、県内の先生方をはじめ茨城県協会や全国高体連専門部の皆様方の御協力をいただきながら頑張っていきたいと思います。

最後になりますが、全国高体連バドミントン専門部の今後のますますのご発展をお祈り申し上げます。



栃木県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 遠井 努
（栃木県立宇都宮南高等学校）

全国高体連バドミントン専門部創立70周年おめでとうございます。本県専門部は、平成20年度より、部長を植田俊夫氏から田中重夫氏、菊地透氏、上野修一氏と引き継ぎ、29年度より、新部長に大川直邦宇都宮南高等学校長が就任いたしました。私も舘野政男先生より専門部を引き継いでから10年を迎え、新たな気持ちで再スタートを切りたいと思っております。委員長として、現部長の大川直邦部長をはじめ、歴代の専門部長にご助言・ご教示をいただき、専門部役員の先生方とともに、この任を精一杯勤めて参ります。

また、各校顧問の先生方には、競技人口の一層の拡大とさらなる技術向上・精神面の強化に努めていただいており、ここ数年、加盟校は100校を超え、昨年度は、ついに日本協会加盟登録選手が2000名を超えました。さらに、10年前から取り組んでいる登録選手全員の公認審判員資格準３級取得も継続して実施できており、加盟校の顧問の先生方のご協力に感謝とお礼を申し上げます。

登録選手が2000名を超え、各学校の生徒がますます意欲的に活動していることは、専門部一同、大変うれしく思っております。今後、本県選手が全国で活躍し、オリンピックや世界選手権等の国際大会で戦い、活躍の場を広げることを夢みております。そのために、更なる普及・強化を目指し、県大会や講習会、強化練習会等、工夫と改善を心がけていきたいと思います。

「いちご一会とちぎ国体」～夢を感動へ、感動を未来へ 2022～のスローガンのもと、第77回国民体育大会本県開催に向け、より一層の競技力向上と底辺拡大をしっかりと行っていく所存です。

最後になりましたが、高体連事務局や関係団体各位には、日頃よりご指導とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。



群馬県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 板垣 巌
（群馬県立桐生南高等学校）

全国高体連バドミントン専門部が創立70周年を迎えられたとの由、心からお祝い申し上げます。本県専門部では、この10年のあゆみを全国高校総体での記録で振り返りたいと思います。

【平成21年度】学校対抗戦では、男女とも伊勢崎清明が出場。男子は２回戦で東大阪大柏原（大阪）に、女子は３回戦で九州国際大学付属（福岡）に敗れた。個人戦では男子単で、丸尾（清明）がベスト４進出という輝かしい成績を残した。

【平成22年度】学校対抗戦では、男女とも伊勢崎清明が出場。男子は１回戦で大町北（長野）に、女子は２回戦で高岡西（富山）に敗れた。個人戦では２回戦進出が最高であった。

【平成23年度】学校対抗戦では、男女とも伊勢崎清明が出場。男子は１回戦で聖ウルスラ学院英智（宮城）に、女子は２回戦で九州国際大学付属（福岡）に敗れた。個人戦では、男子複の高田・早川組（清明）が３回戦に進出した。

【平成24年度】学校対抗戦では、男子は伊勢崎清明が、女子は桐生商業が出場。女子は２回戦で青森山田に敗れるも、男子はベスト16に進出した。個人戦では、男子単では高田（清明）が４回戦まで勝ち進み、ベスト16入りを果たした。

【平成25年度】学校対抗戦では、男女とも伊勢崎清明が出場。男子は２回戦で青森山田に、女子は１回戦で聖心ウルスラ学園（宮崎）に敗れた。個人戦では、男子複で蕪木・藤沢組（桐生商業）が３回戦に進出した。

【平成26年度】学校対抗戦では、男子は９年ぶりに桐生商業が、女子は桐生南が初出場を果たした。男子は２回戦で富岡高校（福島）に、女子は１回戦で花北青雲（岩手）に敗れた。個人戦では、女子単の手塚（桐生南）の３回戦に

進出した。

【平成27年度】学校対抗戦では、男子は桐生商業が、女子は伊勢崎清明が出場。男子は２回戦で富岡ふたば未来（福島）に、女子は２回戦で金沢向陽（石川）に敗れた。個人戦では、男女とも２回戦が最高であった。

【平成28年度】学校対抗戦では、男子は桐生高校が、女子は伊勢崎清明が出場。男子は、２回戦で聖ウルスラ学院英智（宮城）に、女子は１回戦で山陽女子（岡山）に敗れた。個人戦では、女子単の川村（清明）が３回戦に進出した。

【平成29年度】学校対抗戦では、男子は桐生商業が、女子は伊勢崎清明が出場。男女ともに聖ウルスラ学院英智（宮城）に敗れた。個人戦では、女子単の小野（桐生商業）が４回戦まで進みベスト16となった。

【平成30年度】学校対抗戦では、男女ともに桐生商業が出場。男子は１回戦で星陵（静岡）に、女子は２回戦でふたば未来学園（福島）に敗れた。個人戦では、男子単で渡邉、女子単で小野が３回戦に進出した。

末筆ながら、全国高体連バドミントン専門部の今後ますますのご発展をお祈り申し上げます。



埼玉県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 矢島貴夫
（埼玉県立栗橋北彩高等学校）

全国高体連バドミントン専門部創立70周年おめでとうございます。70年の輝かしい歴史と伝統を築いてこられました諸先輩方に対し心から敬意と感謝の言葉を申し上げます。

埼玉県高体連バドミントン専門部は、昭和30年埼玉県高等学校体育連盟に加盟し、現在に至ります。各学校バドミントン部顧問の熱心な指導を受け、県内で活躍した選手が世界でも活躍するまでに至りました。埼玉県出身選手が卒業後も実業団や社会人選手として、又、生涯スポーツとして競技を続け、全国にも名をあげていることは非常に喜ばしいことであります。

この10年間の県内大会については男女とも埼玉栄高校を筆頭に、男子は叡明（旧小松原高校）、大宮東、川越東、越谷南、武蔵越生、鴻巣などが、女子は、本庄第一、叡明、大宮東、越谷南、浦和北、細田学園などがしのぎを削っています。全国大会では、男女ともに埼玉栄高校の活躍が輝かしく、ここでは書ききれないほどであります。

また、専門部ではこの10年間で大規模な大会を多数開催してきました。平成20年度に第59回全国高校総体（所沢市）開催、平成21年度に第38回全国選抜大会（熊谷市）開催、平成25年度に第42回関東選抜大会（さいたま市）開催、平成26年度に第60回記念関東大会（本庄市行田市鴻巣市）を開催しました。特筆すべきは平成20年度第59回全国高校総体（所沢市）です。インハイ学校対抗ベスト４に埼玉県代表男女３校が入賞、男子ダブルスのベスト４を埼玉栄高校ペアが独占したという快挙です。埼玉県のバドミントン競技力の高さを示した大会でありました。

また、平成26年度第60回記念関東大会では、その年２月の大雪で大会会場熊谷ドームの屋根が倒壊し使用不可、大会開催も危ぶまれた中、

急遽代替会場を見つけ無事開催につなげたことは当時の専門部の先生方の熱意とご尽力の賜物であり、よき思い出となりました。これからも埼玉県バドミントン専門部は、これまでの歴史と成果を引き継ぎ、さらに発展するよう取り組んでまいります。

最後になりましたが、全国高体連バドミントン専門部の今後益々のご発展を祈念申し上げます。

【歴代専門部長】

昭和30年～　下川辺貫明　(行田女子高)
昭和34年～　広沢　昭男　(浦和高・定)
昭和35年～　五十里光秋　(春日部高・川口女子高)
昭和46年～　唐沢　清一　(春日部高)
昭和53年～　柿沼　清　(川越西高)
昭和55年～　原田　節二　(川越西高)
昭和59年～　高橋　實　(行田女子高)
昭和60年～　黒木　隆　(与野高)
昭和63年～　星山　春雄　(行田女子高)
平成３年～　佐々木勝一　(行田女子高)
平成６年～　久保田宇作　(草加東高)
平成８年～　柿沼　清　(岩槻商業高)
平成11年～　吉野謙一郎　(越谷北高)
平成14年～　中野　伸　(鷲宮高)
平成16年～　國分　昌彦　(所沢西高)
平成19年～　岩崎　文雄　(所沢西高)
平成22年～　小林　典彦　(新座柳瀬高・鳩ケ谷高)
平成26年～　関根　務　(越谷南高)
平成29年～　岡　雅昭　(三郷高)

【歴代専門委員長】

昭和55年～　柿沼　清　(川越西高)
昭和59年～　伊佐山正和　(行田女子高)
平成８年～　帰山　好和　(小松原高)
平成16年～　土田　敏之　(所沢西高)
平成22年～　田部井秀郎　(越谷南高)
平成25年～　藤松　津吉　(岩槻商業高)
平成28年～　矢島　貴夫　(栗橋北彩高)

【平成21～30年度全国大会での戦績】

男子 **◎全国学校総合体育大会**

≪男子学校対抗≫
埼玉栄　優勝７回　準優勝１回　３位１回

≪男子シングルス≫
埼玉栄　優勝５名　準優勝３名　３位５名

≪男子ダブルス≫
埼玉栄　優勝５組　準優勝５組　３位５組

◎全国高等学校選抜大会

≪男子学校対抗≫
埼玉栄　優勝５回　準優勝１回　３位２回

≪男子シングルス≫
埼玉栄　優勝４名　準優勝２名　３位２名

≪男子ダブルス≫
埼玉栄　優勝３組　準優勝４組　３位２組

女子 **◎全国学校総合体育大会**

≪女子学校対抗≫
埼玉栄　３位４回

≪女子シングルス≫
大宮東　優勝２名　３位１名
埼玉栄　準優勝２名　３位３名

≪女子ダブルス≫
埼玉栄　優勝３組　準優勝２組　３位３組
大宮東　準優勝１組

◎全国高等学校選抜大会

≪女子学校対抗≫
埼玉栄　優勝１回　準優勝１回　３位４回

≪女子シングルス≫
埼玉栄　優勝１名　準優勝２名　３位１名

≪女子ダブルス≫
埼玉栄　準優勝２組
大宮東　３位１組



千葉県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 飯田武司
（中央学院高等学校）

全国高等学校体育連盟バドミントン専門部創立70周年記念誌発刊にあたり、心よりお喜び申し上げます。

千葉県高等学校体育連盟バドミントン専門部の前身のバドミントン部は昭和25（1950）年に発足し、翌年に第一回の全国高校選手権大会に２校が参加した。

その後、千葉国体に強化がなされ我孫子二階堂高がインターハイで準優勝の好成績を挙げました。高体連加盟校数は国体を契機に急激に伸びて昭和47（1974）年には男子33校・女子40校となり、平成29（2017）年には高等学校の加盟校数は男子153校、女子152校、登録生徒は男子2801名、女子2459名と全国でも６番目のバドミントン人口を維持しています。

本県では、バドミントン競技の普及の一端として忘れられない大会として平成17（2005）年の全国総合体育大会が千葉県野田市で開催され、さらに平成22（2010）年に千葉国体が実施され競技力向上はもとより、競技運営など全国大会を開催したことが力となり、全国高体連バドミントン専門部のサポートを受けながら、ブロック開催となったインターハイを平成26（2014）年南関東インターハイとして千葉ポートアリーナをメイン会場として、おもてなしの心と笑顔をもって対応し、競技結果も西武台千葉高校の女子がベスト８に入賞し、荒木萌恵選手（西武台千葉高）が３位に入賞した。

千葉県は成田国際空港があるおかげで、ＡＮＡジュニアユース大会や世界ジュニア大会を開催して、2020東京オリンピックでメダル獲得を有望視されているシングルス世界ランク１位の桃田賢斗選手、山口茜選手を地元で我々の眼前で躍動する勇姿を生で観戦できたことは、現在の千葉県の財産だと思います。世界に羽ばたく選手育成に全国高体連バドミントン専門部と共に千葉県高体連バドミントン専門部も微力ながら今後の100年に向けて力を注いでいきたいと切に思っております。



東京都高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 小野寺昭彦
（錦城高等学校）

全国高等学校体育連盟バドミントン部専門部創立70周年おめでとうございます。

この10年間を振り返り東京都として一番印象に残っていることは、平成25年度から全国高等学校選抜大会に東西２校が団体戦出場可能になり、平成29年度からは全国高等学校総合体育大会にも同様に東西２校が出場できるようになりました。平成13年度から平成27年度まで委員長を務めていた淑徳巣鴨高校の関根忠先生が熱心に働きかけてくれたおかげです。この場をお借りして感謝の意を表します。

また、学校登録数、登録人数も10年前に比べて増加傾向にあります。平成29年度は男女687校が登録、登録人数は8200名です。２年後の東京オリンピックを控えてバドミントンが更に普及して人気スポーツとしての地位を確保し、競技者が増えることを祈っています。

普及活動についても積極的に取り組み、東京都バドミントン協会と協力して小中高の合同強化練習を企画して競技力の向上を目指しています。また、毎年700名を超える生徒が公認審判検定準３級の試験を受験しています。取得を目指し専門部のホームページを利用してバドミントン競技への理解を深める取り組みを行っています。昨年からは大学に進学してからも競技を続けて欲しいので公認審判３級移行申請の手続きも代行しています。

この10年で東京都は指導者も入れ変わり、学校の経営方針により、上位の学校の勢力図も変わりました。都立学校も推薦で生徒を集め私学に対抗する力を身につけてきました。今後も役員、各学校の顧問の皆様とともに高校体育連盟専門部の円滑な運営と「生徒のために」尽力して参りたいです。



神奈川県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 水野勝美
（神奈川県立湘南台高等学校）

この度は、（公財）全国高等学校体育連盟バドミントン専門部の創立70周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。

さて、神奈川県専門部ではバドミントン部の設置校がこの10年間、男女合わせて480校程度に安定しています。その中でも加盟校部員数は年々増加しており、7500人に近づいています。これは「日本のバドミントン」が世界のトップに駆け上がったことが大きな要因と考えています。将来はたくさんの本県専門部出身者が世界の舞台で活躍してくれることを期待しています。

この10年を振り返ると、市立川崎総合科学高校が男女ともに安定して県内のトップクラスの座を維持していること、女子伝統校の鵠沼高校、男子伝統校の法政大学第二高校といった私学が共学化となるも、男女ともに県内のトップを争う強豪校となっていることは素晴らしいことと考えます。また横浜高校のような古豪に加え、公立高校の中にも上位を狙う学校が増え、本県専門部のバドミントンの層の厚さを感じることができます。

神奈川県には小学生時代に全国で活躍し、様々なタイトルを獲得している選手が多くいますが、中学校、高校にあがるタイミングで県外へ出てしまい、そこで活躍する選手が年々多くなっています。一方で学生時代に選手として活躍した若い指導者が増えてきていることは喜ばしいことと感じています。これを機に高体連バドミントン専門部が中心となり、小中高の連携を強化した選手育成を目指していかなければならないと考えます。

末筆ながら（公財）全国高等学校体育連盟バドミントン専門部のますますの発展を祈念いたしまして結びの言葉とさせていただきます。



山梨県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 瀧澤智顕
（山梨県立巨摩高等学校）

全国高等学校体育連盟バドミントン専門部創立70周年おめでとうございます。多くの諸先輩方、関係各位のご努力、ご功績に深く敬意を表します。

本県高校バドミントンのこの10年を振り返ってみますと、男子・女子ともに甲斐清和高校がインターハイ山梨県予選団体戦で８連覇と県内では常勝チームとなっています。しかし、全国大会においては、2015年に男子団体でベスト16という結果が最高成績であり、以前からの課題であるジュニアの育成強化・指導者の不足が現在でも大きな課題になっていると思われます。

しかしながら、過去に日川高校などで全国大会において活躍した選手のジュニア世代も出てきており、それに伴い指導者として携わっていただける方も増えてきています。

また、県の協会を中心として現在中高生の強化のために練習会を実施するなど競技力の低迷期を抜け出すための努力が続いています。

山梨県全体での高校生の人数が減少している中でバドミントンにおける競技登録者は年々増しており今年度は過去最高となる登録者数でした。中学でも過疎化が進む少人数の学校でのバドミントン競技の加盟校が増えるなど明るい話題も多くなってきています。

今後、協会や小学生連盟、中体連と連携を取りながら、また、各校バドミントン部顧問の先生方の力をお借りして環境を整え、山梨県一丸となり競技力向上を目指したいと考えています。



新潟県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 金井広喜
（新潟県立高田農業高等学校）

全国高等学校体育連盟バドミントン専門部が創立70周年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

新潟県高等学校体育連盟バドミントン専門部は５地区（新潟・上越・中越・下越・佐渡）に分かれており、それぞれの地区において全体での活動のほかにも各地区で活発に活動が行われております。毎年、各地区予選会をはじめ、県総体（男・女）・県選抜大会・県協会主催、県高体連後援の県１・２年生大会を佐渡を除く４地区で持ち回り開催することで、どの地区でも県大会レベルの運営を行える人材が育ってきています。また、数年前より高体連主催の指導者講習会を年一回ではありますが開催し、実績のある講師から指導を受け、指導者の育成にも力を入れているところです。

大会の結果に目を向けてみますと、平成20年度ではありますが、平成21年３月に新潟市を会場に第37回全国選抜バドミントン大会が二巡目国体のプレ大会として開催され、新潟青陵高校が学校対抗戦で３位となり国体へ弾みをつけました。その年の９月に五泉市で行われたトキめき新潟国体では、夏の近畿まほろば総体の学校対抗戦でベスト８に入った北越高校を中心とする少年男子がベスト８に入り地元をわかせました。しかし、それ以降、全国の舞台では本県の活躍は見られておらず、全国に通用する強化が本県の課題となっています。

県内大会に目を向けてみますと、県総体では男子が北越高校、女子では新潟青陵高校が勝負強さを発揮し、この10年間負けなしでした。県選抜大会では平成24年度に男子の佐渡高校が北越高校の牙城を唯一崩しましたが、女子は新潟青陵高校の壁をなかなか破れないでいます。しかし、以前に比べると競り合う場面が増え、実力が拮抗してきています。特に男子では、個人戦で北越高校以外の選手が優勝することもこの10年では増えてきました。また、女子では新しい勢力も出てきております。県全体で切磋琢磨してまた全国の舞台で選手たちが活躍できるよう取り組んでいきたいと考えております。



富山県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 中田真琴
（高岡第一高等学校）

全国高体連バドミントン専門部70周年おめでとうございます。

さて過去10年間を振り返りますと、前半は高岡第一（男子）と高岡西（女子）の活躍が光りました。高岡第一は平成22年全国高校総体において団体戦準優勝。シングルスでも山口容正が３位に入りました。高岡西は髙橋沙也加・古西佳那子組が大活躍し平成21年全国高校総体で２年生ながらダブルスで見事に優勝。選抜大会でもダブルス準優勝、シングルスでは髙橋選手が見事に優勝。平成22年の全国高校総体でもダブルス３位、シングルスで髙橋選手が優勝。その他全日本ジュニアや国体等数々の大会で上位入賞を果たしました。

中盤に入ると高岡第一（男子）と富山国際大学付属（女子）が活躍しました。平成24年の全国高校総体において国際大付属の山口ソヨカ・松田蒼組が準優勝。選抜大会においては松田蒼・金浦紗樹組が見事に優勝。翌年の全国高校総体でもダブルス３位に入賞しました。男子の高岡第一は平成26年に４年ぶりに団体戦でベスト４入りし、見事に３位入賞を果たしました。

この10年間で他の全国大会を含めると優勝４回、準優勝３回、３位11回、５位入賞多数とバドミントン王国富山の名に恥じぬ結果を残してくれました。

このような実績をあげることができたのも県協会や各市協会、また中学校の先生方やジュニア指導者の皆様のご支援・ご指導の賜であり、県高体連専門部の先生方のお力添えあってのことである。皆様方に心から感謝の意を表すとともに、更なる発展を目指し努力する次第であります。また平成33年には地元インターハイも開催されるのでより一層強化に励んでいかなければならないと思っています。

最後になりましたが全国高体連バドミントン専門部の今後益々の発展をお祈り申し上げます。



石川県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 寺西 了
（石川県立金沢桜丘高等学校）

石川県の近10年を３位以上の入賞でみてみると、平成21年度総体では、女子学校対抗の金沢向陽が準優勝、女子単の三谷美菜津（金沢向陽）が優勝。同年度選抜では、男子複の吉森・南組（金沢市工）が３位。平成23年度総体では女子単の星千智（金沢向陽）が３位。平成24年度総体では男子学校対抗の金沢市工が３位、女子複の長谷川・星（金沢向陽）組が優勝。同年度選抜では、女子単の星が優勝、女子複の星・吉森（金沢向陽）組が３位。平成26年度総体では、女子学校対抗の金沢向陽が３位。平成27年度総体では、女子学校対抗の金沢向陽が３位、女子単の大家（金沢向陽）も３位。同年度選抜では、女子学校対抗の金沢向陽が３位。以上のような入賞を果たしている。

顧みると、近10年後半では、３位以上の入賞がない年もあり、強化について見直しが必要となってきていることを強く感じる。他県の動向や日本のバドミントン自体が強くなっていることを踏まえ、選手・指導者両面の育成にも取り組まなければならないと考えている。

一方、底辺の拡大という点では成果が上がっている。学校の統廃合が行われた能登地区で２校に男子部が新設され、新人大会の男子単では100名近くの参加増と男子を中心に登録が増えている。

次の10年では、「競技力も向上し、登録数も増加した」。と、いうような明るい報告ができるよう、専門部一丸となって諸課題に取り組んでいく所存である。



福井県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 牧野 智幸
（福井県立勝山高等学校）

本県には、大会に出場する学校が26校（男子25校、女子24校）ある。平成30年度の部員登録数は974名である。

この10年を振り返ると本県の選手の活躍は過去にないものとなった。何と言っても平成28年のリオオリンピック５位入賞、今年度は、日本人女子初の世界ランク１位を記録した山口茜の存在だ。その他、全国での活躍する選手が多数現れた。

全国総体

学校対抗	３位	女子	勝山（H25.26.27）
個人シングルス	優勝	女子	山口茜（H25.26.27）
	３位	男子	服部輝正（H30）
個人ダブルス	２位	女子	山口・鈴木（H26.27）
	３位	男子	農口・服部輝（H30）

全国選抜

学校対抗	５位	男子	勝山（H25）
個人シングルス	優勝	女子	山口茜（H25）
	３位	女子	山口茜（H26）
	５位	男子	服部秀治（H25）
	５位	男子	服部輝正（H29）
個人ダブルス	優勝	女子	山口・鈴木（H26）
	３位	男子	鍵谷・谷口（H26）
	３位	男子	農口・服部輝（H29）
	３位	女子	山口・鈴木（H25）
	５位	男子	服部秀・江川（H25）

国民体育大会

	優勝	女子	山口・鈴木・西江（H27）
	５位	男子	農口・服部輝・松村（H30）

これらの成果は、本県が継続して行ってきた強化策の成果だと考える。本年度、福井国体が終了した。今後、有効な強化策を継続していけるかが課題となる。

また、今後、少子化に伴う選手数減少が予想される。昨今のバドミントン人気を本県でも継続させ、選手数の維持・増加を図りたい。



長野県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 藤澤直方
（長野市立長野高等学校）

全国高体連バドミントン専門部の創立70周年を迎えましたことを心よりお慶び申し上げます。

この10年間を振り返りますと、本県専門部は県内４地区から成り、昨年度から平成13年度より16年間、本県専門委員長としてご尽力いただいた新井研二先生から委員長を引き継ぎました。新井委員長の下、この10年間で本県では、それまでは長きにおいて開催していなかった全国大会を主管や協力も含め４大会が開催され、専門部としても関わることができた。特に平成25年度に松本市で開催された全国高校選抜バドミントン選手権大会では、運営、審判、補助員とて多くの顧問、選手が関わることができ、この経験は本県の選手も私達も全国基準というものを意識する大きな刺激として、何物にも変えられない宝となった事と同時に自信にも繋がった気がする。

ここ20年で長野県のジュニアチームの増加とともに盛んになり、それに伴いこの10年で長野県の競技力は少しずつ向上してきている。全国大会において上位に進出できる選手も出てきている。この少子化が進む中、選手減に歯止めが利かない専門部が多い中、本県高校登録者数は一定人数を確保している数少ない専門部の一つである。これから全国に通用する選手の育成も目標の一つである。それに加えこの多くの高校生が少しでもバドミントンのすばらしさを実感できる機会を作ることも大きな使命と感じ、全国専門部とともに飛躍したいと願っている。



岐阜県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 矢島伸行
（岐阜県立長良高等学校）

平成20年前後から、24年の「ぎふ清流国体」を控え、岐阜県協会強化本部を中心に、特にターゲットエイジの選手育成に努めた。県外遠征や成年チームとの強化練習などの強化対策を進め、特に女子は県岐阜商が同年の全国選抜、全国総体ともに団体３位入賞という平成14年以来の成果を残すことができた。「ぎふ清流国体」の結果としては少年男子、少年女子とも５位入賞であり、さらに上位を狙えたのではとも思われるが、男子は格上の相手に勝利し、よく健闘したといえる。また、国体に向けた強化練習によって、国体出場選手だけでなく、小中学生、高校生の競技力も向上した。大会運営については、12年の全国選抜、全国総体の開催経験を生かすとともに、岐阜県協会、開催地池田町をはじめとする西濃地区の協力体制のもと、滞りなく進めることができた。池田町には民泊で迎えていただき、民泊先が中心となって各都道府県を応援する体制で大会を盛り上げてくださったことにも感謝したい。

さて、少子化による生徒数減少が課題となっている昨今であるが、この10年間、岐阜県の高校生のバドミントン部員数はむしろ増加しており、大会によっては規模が拡大し、運営が厳しくなるほどの喜ばしい傾向もある。県総体団体において県岐阜商の男子が22連覇、女子が17連覇していたが、平成21年に大垣西が男女とも初優勝し県岐阜商の連覇を止めた。その後、県岐阜商が優勝を重ねているが、28年に岐阜北男子が初優勝、29年に大垣工男子が34年ぶり、30年に大垣西女子が優勝、県新人団体において27年に大垣東男子が初優勝するなど、他校の追い上げも見られる。「ぎふ清流国体」以降、東海では成績を残しても全国ではなかなか勝てない時期が続いている。各学校とも練習は充分行い選

手を育てているが、結果が出ない原因の一つは、中学生の進路希望が多種にわたるようになり、有力選手が強豪校に集中せず分散し、チームとして成績をあげにくい状況となっていることがある。特に男子はその傾向が強い。もう一つは有力選手の県外流出である。小中学校時代に全国大会で活躍した選手を県内で引き続き育成できる体制を構築していくことも重要である。

先述のとおり、以前よりジュニアの育成が盛んになってきた地区も増加し、さらに３年前より「チーム岐阜」として小中高社一貫の新しい強化体制が進められており、地元選手の育成にさらに期待ができるようになった。若い指導者が増え、全日本教職員バドミントン選手権大会において、近年では平成27年に一般男子団体優勝、平成30年に一般男子単複優勝など入賞が続いており、強化練習会にも活気をもたらしている。働き方改革が叫ばれ、部活動のあり方が見直されている現在であるが、県内高校に進学しても強化を継続できる環境を整え、今後も男女そろって成果の上がるような強化対策を進めていくことが課題であると考えている。



静岡県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 小田切 希 芳
（静岡県立藤枝北高等学校）

静岡県のバドミントンの歴史は、昭和22年静岡県教育委員会の学校体育モデル校に指定された富士中学校に於いて、その時の体育主任の塩川甫先生が教材としてバドミントンを取り入れたことに端を発する。

本県は、昭和30年代から40年代初頭にかけてはインターハイで活躍する選手を多数輩出したが、昭和42年度のインターハイでの男子複準優勝後は長いこと低迷していた。35年経ち、静岡県高体連バドミントン専門部始まって以来の輝かしい成績を収めたのが星陵高校である。平成14年度の全国選抜大会では女子学校対抗で優勝。翌15年度のインターハイでは、女子学校対抗で３位。女子複では、村松瑞穂・金森裕子組が優勝。単でも、両選手とも８強入りした。

さて、平成21年度からの10年間はというと、残念ながらインターハイや全国選抜大会での上位入賞はなかった。しかし、平成29年度のインターハイでは、女子複で野田彩夏・住吉琴菜組（星陵）がベスト16。平成30年度の地元静岡インターハイでは、男子学校対抗では星陵がベスト16、女子学校対抗では常葉大菊川がベスト16に入り、今後に期待ができる結果を収めたのは喜ばしいことである。

この10年間の県内情勢だが、男子は長い間星陵と伊東の一騎打ちだったところに近年力をつけてきた富士見が割って入り見事優勝を果たした。女子は混戦の10年であり、星陵・伊東・富士宮北・静岡女子・御殿場西・加藤学園・常葉大菊川の７校が優勝している。

専門委員長は、平成16年度から22年度までは高嶋政和先生が、23年度から26年度までは小島一郎先生が務め、27年度からは私が引き継いで30年度の静岡インターハイを終えたところである。本県専門部の更なる発展のために、微力ながら取り組んでいく所存である



愛知県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 日詰彰則
（愛知工業大学名電高等学校）

全国高体連バドミントン専門部創立70周年おめでとうございます。

この10年間を振り返ると、長きにわたり愛知県バドミントンの発展に尽力されてきた下込貞司先生が全国専門部常任委員として務められるなか、その意思を引き継がれて平成18年度より鈴木敏夫先生、平成21年度より尾関靖先生が委員長に就かれて、愛知県高体連バドミントン専門部をけん引されてきました。その先生方のもとで微力ながら私が平成26年度より委員長を仰せつかりました。

２年後に愛知県で開催の第45回全国選抜記念大会を控えて、前委員長尾関靖先生からのバトンタッチを言われたときは困惑しましたが、全国専門部の先生方は無論のこと、下込先生、鈴木先生、尾関先生の力添えと県内の先生方の協力により無事に大会を終えることができました。昭和58年度の第34回豊橋インターハイを最後に33年ぶりの全国大会開催を経験できたことは愛知県にとっても貴重な財産となりました。

県内おいては、平成29年度の高体連が登録した協会登録者数は6,500名を超えました。総体、新人戦の大会運営においても、県下を４支部分けて支部予選を実施していますが、限られた日程のなかで予選を終えるのは厳しい状況です。そのなかで全国で活躍する選手育成を課題として、協会、中体連、実業団との連携を密にはかりながら取り組んでいきたいと考えています。



三重県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 中村　功
（三重県立伊勢工業高等学校）

70周年誌の原稿を書くに当たり、60周年誌を読んでみることにした。そこには、今なお三重県のバドミントン界を引っ張ってくださる大世古吉弘先生・平田欽也先生の全国高体連バドミントン専門部での活躍や競技人口の増加、顧問の先生方の積極的な大会運営への参加、三重県高体連バドミントン専門部が抱える課題等が書かれていた。この10年間を振り返ってみると、10年前に書かれていたことがそのまま記載できるのではないかと思うほど安定した成長を続けている。大世古先生・平田先生に続き山本泰生先生が、東海ブロックを代表して全国専門部で活躍されている。その甲斐あって2019年度からは再び、全日本ジュニアバドミントン研修合宿を三重県津市のサオリーナで行うことになっている。また、10年前には1700名ほどであった県協会登録者数も、現在では生徒数が減少しているにも関わらず2500名にとどこうとしている。県大会の予選を行っていない三重県では、大会運営の仕方の工夫がこれからの課題の一つになっているほどだ。現在でも顧問の先生方は、大会運営等へ協力的に参加されるし、本部役員に若い先生が多いというのも三重県の強みになっている。しかし、10年前に課題としてあげられた、全国で活躍できる選手の育成が、今も課題の一つにあげられることは、次の10年に向けて見直しの必要な課題である。

2021年には、三重県で国体が開催される。体育館の改修や新設も進み、環境は十分に整えられつつある。先にも述べたように、やる気のある選手、指導者はたくさんいる。これらがうまく機能すれば、結果はついてくるはずである。80周年誌では、その成果を記せるように努力したい。



滋賀県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 森　豊幸
（滋賀県立八日市高等学校）

全国高体連バドミントン専門部70周年、おめでとうございます。平成21年度から30年度までの10年間、加盟校は40数校を継続していますが、部員については毎年少しずつ増加し、1700名を超えるまでになりました。この数年では、男子の増加が顕著です。少子化・部活動離れが進む中で、専門部としてはうれしいことである。

全国での成績としては、男子学校対抗で比叡山高校が、平成23年度にインターハイ３位、全国選抜２位、平成24年度の全国選抜３位、また、ベスト８にインターハイでは４回、全国選抜３回入賞しています。個人対抗では、インターハイのベスト８にダブルス３組、シングルス２人、全国選抜では、シングルスで平成24年度に３位清水（比叡山）、平成27年度に３位藤原（比叡山）と頂点までなかなか厳しい状況でありました。女子は、学校対抗、個人対抗ともベスト８以上の成績を残すことができず残念です。

しかし、比叡山出身の数野健太さん（現比叡山高校教諭）や早川賢一さん（現ナショナルB代表コーチ）がリオオリンピックで活躍されたことで、今後の滋賀県の躍進の一つになってくれれば、と期待をします。

また、2024年には、２巡目の滋賀国体を開催することになり、強化対策も進みつつあり、全国のトップを取り戻せるようにバドミントン専門部や協会が一つになり頑張っていきたいと思います。



京都府高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 中村　稔
（京都府立西城陽高等学校）

平成27年に京都インターハイを開催して、京都府の選手達にバドミントン熱を高めるきっかけとなり現在に至っております。その結果、日本協会の登録者数も平成29年度では2571名を数え過去最大の登録者数となっております。専門委員長は永年勤められていた寺田裕昭（西山高校）から昨年より私に代わり、歴代の先生方の後を継いでおります。

京都府では独自の取り組みとしてタレント発掘事業を７年前から導入、実施し小学４年生から６年間かけて世界に通用する選手育成を行ってきておりその１期生が高校生となり現在活躍しているところであります。

最近の競技実績においては、京都外大西高校の活躍がめざましく今年の全国高等学校選抜バドミントン選手権大会においては、女子学校対抗ベスト８，女子ダブルス明地・小野組第３位、女子シングルス明地七海選手がベスト８入賞を果たし、全国高等学校総合体育大会では、明地七海がベスト８入賞を果たしました。また、男子においては乙訓高校の神野圭吾選手が全国高等学校選抜バドミントン選手権大会の個人戦に出場しました。さらに乙訓高校の西大輝選手がU－19に選出されており（女子は明地七海選手もU－19に選出）それぞれ、今後の活躍が期待されています。

毎年２月には、各地から有力校を招き合同交流大会を開催し、昨年20回大会を終えることができました。今後も京都府全体の競技力向上と選手及び指導者の交流をはかり継続させたいと考えております。また、本年は日・韓高校生交流競技会も実施予定です。



大阪府高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 村 上 徹 嗣
（大阪府立山田高等学校）

第60回インターハイを大阪府で開催した後、この10年の大阪の大きな変化としてあげられることは他の都道府県も同じような状況にあるかもしれませんが、男子の競技人口が飛躍的に伸びたことです。女子は微増程度ですが、男子は10年前に比べると団体戦参加校、個人戦出場者数ともに倍以上の数になっています。バドミントンの競技人口が広がりを見せているのは非常に嬉しいことです。この広がりが一過性のものにならないように、微々たる力ですが専門部活動の一層の充実を図っていきたいと考えています。

府内の勢力図を見ると男子は10年前と変わらず東大阪大学柏原が抜けた存在として一強体制を維持しています。一方女子は、10年前、樟蔭東（現アナン学園）、四天王寺、四條畷学園の３強の時代から年ごとの強弱は移り変わりながら、徐々に四天王寺が頭一つ抜け出した存在になりつつあります。

全国大会での実績では、平成25年度の全国選抜大会で常山幹太、下農走を擁した東大阪大学柏原が男子団体戦初優勝を成し遂げ、続く26年度も小倉由嵩を中心に全員でよく戦い連覇を果たしました。個人戦でも25年度にシングルスで常山幹太がインターハイ・全国選抜の２冠を獲得。翌26年度には常山・下農がインターハイでダブルス優勝の栄冠を勝ち取りました。女子は優勝実績こそありませんが、３位入賞したのは団体戦での樟蔭東、個人戦での樟蔭東、四天王寺などがあります。これからも全国大会や世界での活躍選手が育ってくれることを願っています。



兵庫県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 高 橋 幸 治
（兵庫県立社高等学校）

兵庫県高等学校バドミントン部　現状

平成30年度の加盟校

男子：104校　　女子：119校

平成30年度の登録数

男子：2501名　女子：2787名

全国高等学校体育連盟バドミントン専門部が創立70周年を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

少子化といわれる中、兵庫県高等学校バドミントン部の登録数はこの10年間、増加をしてきた。このことは、大変喜ばしいことで今の兵庫県のバドミントンの競技力向上に繋がっている。

ここ数年、男女ともに全国総体での入賞が増えてきた。具体的には、男子団体では平成26年度に第５位神戸村野工業、女子団体では平成25,27年度に第５位園田学園、男子ダブルスでは平成29年度に第３位友金利玖斗・河野匠真（村野工）、男子シングルスでは平成29年度に第５位友金利玖斗（村野工）、女子ダブルスでは平成30年度に第３位斉藤さくら・松久紬（園田）となっている。兵庫国体以降、選手と指導者等が自己研鑽をし、その努力が実ってきた結果であり、この先も努力をし続けもう一つ上の結果を出してくれることを期待している。

大会の運営面では、パソコンによる運営に代わってきた。記録がしやすいだけでなく、運営もスムーズになってきている。この利点を活かして、大会中の指導をもっと大切にし競技力向上に繋げられたらと考えている。



奈良県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 金田美穂
（奈良県立平城高等学校）

全国高等学校体育連盟バドミントン専門部が創立70周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。全国高体連専門部副部長も務められた錦秀知氏（平成12～22年）から、真野功太郎氏（平成23～25年）にバトンタッチされ、平成26年より私が委員長を拝命し現在に至っております。

ここ10年間、奈良県の男子は奈良大学附属高等学校の台頭が目立ちました。全国高校総体団体対抗戦７回出場、個人対抗を含め毎年の出場を果たし、平成27年には団体ベスト16に入っています。それに対抗する存在として、添上高校（21、30年）と一条高校（23年）が団体個人ともに、奈良高校が個人戦に出場しています。女子は、戦国時代が続いており、全国高校総体団体では添上高校（21～24年、28、29年）を筆頭に、高田商業高校（25、26年）、郡山高校（27年）に加え、平成30年には育英西高校が団体初出場を果たしています。上記以外に個人戦では奈良大学附属、一条、奈良高校が出場しています。

残念ながら、ここ10年は全国大会でのベスト４以上の入賞はありませんが、平成29年度には、添上高校が過酷な近畿選抜を突破して全国選抜個人戦出場を果たすなど、強化事業や指導者講習会等の成果も出ております。平成18年の奈良インターハイに出場した選手も含め、本県で活躍した選手が指導者となって多数本県に戻ってきており、若手も多く非常に活気あふれる専門部となっております。さらなる競技力向上を目指し、奈良県高体連専門部一同努めてまいる所存です。



和歌山県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 山本慎二
（和歌山県立粉河高等学校）

70周年おめでとうございます。

全国高等学校体育連盟バドミントン専門部が、創立70周年を迎え、記念誌を発刊されますことを心よりお慶び申し上げます。創設はもとより、永年にわたる連盟の活動にご尽力くださった方々に深く御礼申し上げます。また、平成30年度から専門委員長を仰せつかりましたタイミングで、執筆依頼を受けましたことを大変光栄に思っております。

平成23年３月11日、東日本大震災が発生し東北地方および関連地域に甚大な災害が起こり、たくさんの方々が、被災されました。２週間後に控えていた「第39回全国高等学校選抜バドミントン大会和歌山大会」が、日本協会及び全国専門部・全国高体連との慎重な審議を行った結果、その後の状況を考慮し、被災地の状況及び全国の状況をふまえ、和歌山選抜大会が中止となりました。当時、準備を進めていた和歌山県専門部でしたが、全国高体連が出した決断については、当然であったと思うと同時に、「今は日本が一つになって乗り越えていくんだ」と決意したことを思い出します。

和歌山県の人口は100万人に満たない中、ここ10年間において高体連専門部への登録人数は、県内他競技に比べて多いのですが、全国高体連バドミントン部への加盟校・登録人数をみますと、まだまだ少ない現状にあります。しかしながら、生徒への指導・大会運営・競技力向上など先生方が一致団結し、他県に負けないよう、日々努力を続けております。特に、競技力向上については、2015年に開催された第70回国民体育大会“紀の国わかやま国体”を契機に、徐々にではありますが、成果を上げております。その背景には、何年も前から計画的に選手を指導したなかで指導者の意識改革や資質向上がで

きたこと、当時少年種別選手として出場した選手が、その後成年種別として和歌山県代表として活躍・後輩への指導に関わっていること、成年種別で出場した選手がジュニア層への積極的な指導への関わり等があげられます。

「働き方改革」が叫ばれると同時に、部活動のあり方や少子化等課題が山積みであります。そのような中、専門部がどのようなコンプライアンスをもち、生徒たちと関わりを持ちバドミントン競技を通じて幅広い教育を施すかを課題にし、これからも和歌山県一致団結し、次の世代に繋げられるよう一層努力し続けます。今後も、益々の全国高体連専門部の発展とご指導ご支援の程、宜しくお願いいたします。

※平成30年度の加盟校及び登録人数
男子：16校258名
女子：18校194名



鳥取県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 山 下 幸 夫
（鳥取県立境高等学校）

全国高等学校体育連盟バドミントン専門部が創立70周年を迎えられたことを、心よりお喜び申し上げます。

さて、この10年間の鳥取県高体連バドミントン専門部を振り返ってみたいと思います。まず、運営に関しては2005年から2012年まで８年間山下幸夫（当時米子東、現在境高）が、その後、西垣卓宏先生（当時鳥取商業、現在鳥取県教育委員会）2013年から４年間行い、2013年から山下幸夫が再び専門委員長として運営を行い、現在に至っています。この間、平成28年から30年の３年間全日本ジュニア合宿を鳥取市で行い、全国の先生方にはご協力いただき大変お世話になりました。

大会成績の方は、全国大会の入賞はH21選抜女子シングルス井田詩織（敬愛）３位、H23総体女子シングル山本理香（敬愛）５位H23選抜記念大会男子団体５位米子北、H24選抜男子ダブルス５位湯谷・中野（敬愛）、H25総体男子シングルス５位森田慎司（米子北）、H25選抜男子シングルス５位中原拓也（米子北）が入賞しており活躍が目覚ましい期間でもありました。しかし、現状では厳しい現実をつきつけられており、更なる強化が必要となっています。

終わりになりますが、本県の登録参加校や登録人数はほとんど変わることなく活動しています。これからの強化という点では大きな問題となっていますが、今後も専門部が一体となって頑張っていきたいと考えています。



島根県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 金山紀幸
（島根県立松江商業高等学校）

このたびは、全国高等学校体育連盟バドミントン専門部が70周年を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。これまでの70年を支えていらっしゃった先生方に深い敬意を表しますとともに感謝を申し上げます。

島根県は、女子については、60年間インターハイで１回戦を突破することも容易ではありませんでしたが、この10年間を振り返ってみると、松徳学院高校の活躍が大変光りました。インターハイにおいて、学校対抗戦で平成23年度に準優勝、平成27年度に第５位と全国の舞台で入賞を果たしました。個人戦では、入賞には至らないものの、浜崎真衣が平成22年から２年連続でシングルスベスト16に入り、27年には池内萌絵がベスト16に入りました。また、平成26年度全国選抜大会女子ダブルスにおいては、池内萌絵・三島由里組が第３位に入賞しました。こうした躍進を遂げた要因は、まずジュニア連盟を中心とした指導者の地道な指導があげられます。また、島根県内にはバドミントン部のある中学校が極端に少ないため、ジュニアから始めながらも中学時に、社会体育で週２回程度の練習を行ったり、競技を離れたりして、十分に成長できない選手も少なくありませんでした。松徳学院が中学校にも創部されたため、そうした選手の受け皿になりブランクなくしっかり強化が進められたことも理由の一つとして考えられます。松徳学院女子は、平成17年度から平成27年度まで11年連続で県総体において優勝してきましたが、この間実業団チームの山陰合同銀行の全面協力がありました。これは、技術的にも精神的にも高いレベルでのプレーを選手が常に肌で感じることができ、選手強化において一番大きなポイントとなりました。ちなみに、山陰合同銀行は平成５年に創部されましたが、平成28年度に悲願のSJリーグ入りを果たしました。

男子については、この10年間では女子ほどの活躍はありませんが、インターハイでは、個人シングルスにおいて平成23年度山﨑大貴（大東）と平成30年度佐野大地（松徳学院）がベスト16に入る健闘をみせ、その他でも高校卒業後、実業団で努力を続けている選手もいます。

現在の島根県高体連バドミントン専門部は、加盟校が男子13校、女子16校と全国で最も少ない状態にありますが、加盟人数は増加傾向です。中学校までの競技経験者は少なく、８割以上が高校に入学してからバドミントンを始めています。この初心者に対しても、顧問の先生方が大切にして丁寧に指導してきたことで、選手も成長し、専門部としても縮小することなくやってこられていると感じています。

専門部として、ここ10年の間に始めた取り組みとして、平成27年度から県内上位選手を定期的に集めて行っている強化練習会の開催があります。一般選手に練習相手をしてもらうことで、スピードやショットの正確性を磨き、全国で通用するためのプレーを獲得するいい機会となっています。県大会で入賞しなければ参加できないため、この練習会参加が選手の目標の一つにもなっています。また、県内大会は全選手が審判も行うことで運営しています。そのため、平成29年度から夏休みに審判講習会を実施し、１年生全員に審判資格を取得させています。この開催によって、審判技術の向上が図られるだけでなく、ルールをしっかり把握することで選手としての競技力アップにも一役買っています。また、この資格取得が生涯を通してバドミントンに関わる人材を拡大することにもつながると考えています。こういった様々な活動が専門部員の提案により実現する形で進められています。顧問については、近年本県で活躍した選手が教員となり、専門部の屋台骨を支える人材が少しずつ出て来ていて心強く感じています。しかし、大半の顧問はバドミントン競技に携わってきていませんので、自ら競技を学び、情熱をもって選手を指導しています。また、専門部の業務においても、責任感をもってあたり、協力し合ってまとまって選手育成できていることを感じます。今後も、選手はもとより、専門部も成長し続けていくように努力を重ねて参ります。

今後の全国高体連バドミントン部の更なる発展をお祈りします。



岡山県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 佐 藤 忠 裕
（山陽女子高等学校）

全国高体連バドミントン専門部が創立70周年を迎えられることを心よりお喜び申し上げます。また、70周年を迎え、専門部に貢献された先輩先生方に改めて深く敬意と感謝を表します。

この10年間を振り返ってみますと、大きなイベントとしては平成28年度中国総体が地元岡山県で開催されたことがあげられます。地元の方々の絶大な支援を受け成功を収めることができました。地元での開催ということで、Ｊｒ.クラブ・小学生連盟・中体連との連携を密に取り競技力向上をはかり、今まで以上に選手強化をすることができ、競技結果に繋げることができました。また、全国から参加していただく選手・関係者の皆様に感動感激の大会となるよう、競技面の充実、運営面でもおもてなしの意識を持って取り組むことで成功を収めることができました。ご尽力いただきました高体連の先生方に感謝申し上げます。これからの県専門部としてやるべき事は、まず、選手強化です。今まで以上に県内各連盟との連携を密に取り、全国優勝目指して一層の強化に取り組みたいと思います。また、その為には県専門部の組織作りが必要となります。最近では若い先生方が増えましたので、経験豊かな先生方のアドバイスを頂きながら、岡山総体に続く組織、そして円滑な組み合わせや大会運営が実施できるようにしたいと思います。このことが、次の大きな大会に於いての競技結果や円滑な運営等に繋がると確信しております。県内先生方のお知恵をお借りし、協力を頂きながら県専門部が充実発展するよう頑張ってまいります。

最後になりますが、全国高体連の益々の発展と先生方のご多幸を心よりお祈り申し上げます。



広島県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 久 田 和 典
（広島県立安芸南高等学校）

10年間（平成21年～30年）のあゆみ

１．戦績等

県総体学校対抗戦：男子は、19年から22年は広島城北が４連覇し、23年から26年は安芸府中が４連覇している。27年には崇徳が優勝したが，28年から30年は広島城北が３連覇を果たしている。女子は、21年は安芸府中が優勝したが,22年と23年は清水ヶ丘が優勝した。その後、24年から26年は安芸府中が３連覇を果たした。27年に高陽が優勝し，28年から30年は安田女子が３連覇を果たしている。

２．歴代委員長

21年～25年：赤川雅美先生。赤川先生は、平成18年に委員長に就任され25年までの８年間にわたり、全国高校選抜大会の成功をはじめ、本県専門部の隆盛期を支えられた。26年～29年：冨永克典先生。冨永先生は、専門部の組織を再編されよりスムーズな専門部の運営にご尽力された。30年～：久田和典。

３．おわりに

この10年間を振り返ると、平成23年度全国高校選抜大会の開催に向けた選手強化により、一定の成果が得られた。また、少子化に反して、県内高校の競技人口は拡大している。県協会主催の小中高合同練習会も長年にわたって継続しており、今後も小中高の一貫した指導体制を構築することと、指導者を育成することで、競技力の向上並びに専門部の発展につなげたいと考えている。



山口県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 河野強志
（山口県立下関南高等学校）

この10年間を振り返えると、山口県の高校バドミントンは大きく飛躍した10年間でした。競技力については、小・中学生からのジュニア育成が実を結ぶようになり、全国レベルでも結果を残せるようになりました。

県内大会では、男子は柳井商工、女子は熊毛北から華陵へ、そして現在の柳井商工へとその中心は移り変わり、競い合いました。全国レベルでは、インターハイにおいて男子は学校対抗戦で平成27年度に柳井商工が第５位に入賞しています。個人戦複では平成21年度に青見・田村組、平成23年度に飛高・藤本組が第５位に入賞、個人戦単では平成26年度に桐田が第３位に入賞しています。女子は柳井商工が学校対抗戦で平成29年度に第３位、平成30年度に第５位に入賞しています。個人戦複では平成28年度に岩永・水津組が第５位に入賞、個人戦単では平成29年度に岩永、水津が第５位に入賞しています。全国高校選抜大会において男子は学校対抗戦で平成26年度に柳井商工が第５位に入賞しています。個人戦単では平成25年度に桐田が第５位に入賞しています。女子は学校対抗戦で平成29年度に柳井商工が第５位に入賞しています。

また、競技の普及において、登録人数については、生徒数が減少する中、100名近くの登録者を増やすことができました（平成21年度784人、平成30年度880人）。これも各学校において顧問の先生方を含め、関係者の丁寧な指導、普及活動の成果だと思っています。

今後は、競技力の向上と普及はもちろんのこと、高校生の主体的な活動を支援できるようにしていきたいと考えています。



徳島県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 小寺由香
（徳島県立城東高等学校）

徳島県のバドミントン競技を振り返りますと、大きく躍進し、全国レベルに一気に近づいた10年間だったと考えます。特に女子においては、城東高校が県スポーツ強化指定校に選ばれ、優秀な選手が多く入学し、県外遠征や強化練習を積み重ねることにより、著しく競技力が向上しました。その結果、インターハイでは、平成19年から４年連続16強入り、また、平成20年の全国選抜大会個人戦ダブルスでは、水口・若田（城東）がベスト８に、平成21年国民体育大会では、少年女子の部で水口・若田・宮崎（３名とも城東）が第４位に入賞するなど、目覚ましい活躍を見せ、全国に強い存在感を示しました。

また、男子においても、徳島商業勢が着実に力をつけ、四国地区大会でも徐々に上位に入賞するようになり、平成22年のインターハイでは、庄野・齋藤（徳島商業）が16強入りを果たし、徳島県男子としては過去最高の地位に輝きました。

国際的に振り返りますと、2016年リオデジャネイロオリンピックで、本県出身の松友美佐紀選手がダブルスで金メダルを獲得したことは、高校生をはじめとするジュニア選手にも夢や希望を持つきっかけが与えられた素晴らしい出来事であり、県内関係者の大きな励みともなりました。その後も徳島県勢は、第２の松友選手を目指すべく各校が努力し、主要な大会で数々の好成績を残しています。

今後は、小中高の一貫指導体制をさらに充実させ、ジュニア選手にとって魅力的な環境を今以上に整える必要があります。とくに若手の指導者育成は急務であり、今後の最重要課題であると考えています。

最後に、創立70周年を心よりお慶び申し上げますとともに、バドミントン競技に取り組んでいる関係者の皆様に心から敬意を表します　今後ともどうぞよろしくお願いします



香川県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 河合雄太
（香川県立高松高等学校）

全国専門部が創立70周年を迎えられることを心よりお喜び申し上げます。

私が専門委員長を任されて４年になります。前任の宮西秀行先生、林一男先生からバトンを引き継ぎ、多くの香川県高体連バドミントン専門部の先生方から支えていただき何とか無事にやって来ることができたように思います。

この10年間を振り返ると、全国大会での結果から見ると、以前の香川県からすると少し物足りなく感じます。平成５年の東四国国体、平成10年の高松インターハイの年に男子の高松商業が学校対抗戦で優勝・準優勝をした時期と比べると全国大会での上位入賞が男女ともに少なくなってきています。

しかし、この10年の間も香川県では競技力向上、バドミントン競技の普及を目指し、県全体で多くの事業に取り組んできました。年間計画のもと、小・中・高・社会人合同での強化練習の実施、また強化練習への日本トップレベルのチーム・指導者の招聘を実施し、各カテゴリーの選手・指導者の意識付けに取り組んできました。また、若い先生方の指導者資格取得にも積極的に取り組み、多くの先生方に研修の機会を設けて指導者の資質向上に努めてきました。

この10年間、香川県から全国大会出場校は、男子が６校、女子が５校と香川県内での戦力が拮抗しております。全国的に見ても多い数ではないでしょうか。そこには、香川の高校で育ち大学へ進学し、地元香川で教職に就き、香川県の高校生のために情熱を持って指導にあたる若い指導者達の存在があります。香川県全体の取り組みが少しずつ結果に繋がってきていると考えています。

これからの新しい10年間で、その指導者達の下で育った高校生が全国大会で活躍することを期待します。そしてその高校生が今後の香川県バドミントン界の発展に尽力してくれる事を願います。



愛媛県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 奥田真司
（愛媛県立新居浜西高等学校）

平成20年から平成29年の10年間は、愛媛県高体連バドミントン専門部にとって更に飛躍することのできる期間となりました。

平成22年から３年間開催された全日本ジュニア合宿や平成29年度の全国選抜大会を経験させて頂いたことは県内指導者にとっても貴重なものとなりました。また、平成29年に開催された国体までの期間、愛媛県で多くの全国大会が行われました。その度に、愛媛県のバドミントン愛好者がレベルの高いプレーに触れることができたことは愛媛県の競技力向上につながったと考えております。

愛媛国体においては、成年・少年の部ともに県内選手の競技レベルは向上し、大きな前進を得ることができました。この成果が、高校生の競技力の向上と普及につながることを更に期待したいと思います。

全国高等学校総合体育大会

平成21年度　金森優太（新田）第５位
平成23年度　渡部克栄（新田）第５位
平成25年度　男子団体（新田）第５位
平成26年度　西野勝志（新田）第５位
平成30年度　鎌田雄太（新田）第５位

全国高等学校選抜大会

平成20年度　金森優太（新田）第５位
平成21年度　矢部由貴（新田）第５位
平成24年度　吾野文人・東勇太（新田）第５位
平成25年度　西野勝志（新田）第５位
平成26年度　男子団体（新田）第５位
　　西野勝志（新田）第３位
　　田中大祐・西野勝志（新田）第５位
平成27年度　中川正麻（新田）第５位
平成29年度　近藤七帆（新居浜東）第５位



高知県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 川 添 周 三
（高知市立商業高等学校）

全国専門部が創立70周年を迎えられることを心よりお喜び申し上げます。また、本県専門部が60有余年の歴史をきざみ、発展を続けてきたことは、歴代の専門委員長の先生方および関係諸兄のご尽力の賜と、心より感謝申し上げます。

私が専門委員長を任されて丁度３年になりますが、元年高知総体の開催を契機に整備された組織体制が、さらに充実・発展した状態でバトンタッチされたため、それほどの苦労もなく３年間その職務に当たらせていただきました。その中で、平成14年の「よさこい高知国体」開催以降、競技力向上面での体制整備等において大きな基礎となるものができ、ジュニアからの一貫した強化体制も行われてきました。全国に入賞するほどの競技力はないものの、ここ数年はジュニア層のレベルアップが見られるようになり、今後に期待が持てる状況となっています。

専門部の運営面では、若い専門の顧問（運営委員）の数が増え、大会運営や選手強化等において、今後さらに充実してくるものと期待されます。その中、大会運営をより効率よくするため、「大会運営ソフト」を導入して10数年、若い教員も増えてパソコンを使った大会運営もスムーズとなり登録・抽選・運営が滞りなく行えるようになりました。

また本県では登録数が年々増加しており、この10年で20％程の伸びが見られました。しかし、絶対数では全国的に最下位に近く、競技力も低い状況でありますので、今後も全国専門部のお力添えをいただきながら、今以上に高校生のより積極的な活動を支援できる組織となるように、取り組みを進めていきたいと考えています。



福岡県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 明 神 憲 一
（九州国際大学付属高等学校）

全国高体連バドミントン専門部創立70周年を迎えるにあたり今日の発展を皆さんと共に喜びたいと思います。合わせて70年の輝かしい歴史と伝統を築いてこられました諸先輩の方々に対し心から敬意と感謝の言葉を申し上げます。

自分が知る福岡県バドミントン専門部の歴史を振り返ってみると、平成５年から専門委員長の浜司晃（元精華女子）先生の時、本県の黄金期で前専門委員長の横溝安伸先生が「打倒熊本」を掲げ、強化合宿や県外遠征などを実施し、力をつけた。特に、女子の精華女子と九国大付の争いは熾烈なもので、「県を制すれば全国を制する」とまで言われた。

平成17年度より専門委員長を引継ぎ、県協会とも連携を密にし、一貫指導体制を構築し県全体のレベルがあがった。その成果が、平成20年度の大分国体で、福岡県生え抜き選手で初優勝。平成23年度の選抜でも九国大付属女子も優勝した。このような地道な強化が実を結び福岡県から、４大会連続４名のオリンピック選手を輩出した。2008アテネ（森かおり・九国大付）（吉冨桂子・精華女子）、2012北京・2016ロンドン（池田信太郎　潮田玲子・九国大付）、リオデジャネイロ（栗原文音）が出場した。特にオグシオを口火として、一躍人気スポーツとなり、関係者や子供達に大きな喜びを与えた。これからますます関心が高まり、競技人口も増加していくことを期待している。

最後に全国高体連バドミントン専門部の今後ますますのご発展をお祈り申し上げます。



佐賀県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 末次孝文
（佐賀県立佐賀工業高等学校）

全国高等学校体育連盟バドミントン専門部が創立70周年を迎えられることを心よりお喜び申し上げます。

私は平成23年度より本県専門委員長に就きました。それまで本県委員長として昭和51年度より平成22年度までの35年間の長きに渡り、本県専門部の運営・発展と選手の強化にご尽力頂いた佐賀女子高等学校の築地孝彦先生に感謝の意を表します。

さて、この10年を振り返り、県内の競技力について考えてみると、男子は団体戦では佐賀県立唐津南高等学校が現在13連覇をしており安定した力を持っている。ここ数年は個人戦のシングルス、ダブルスともにベスト４以上を独占している。しかし、全国大会となると学校対抗と個人対抗どちらも何とか１回戦を勝っても２回戦を勝ち抜くことができない現実がある。女子は佐賀女子高等学校が平成29年度まで45連覇をしていたが、本年度の県高校総体では昨年度の新人戦団体初優勝に続き佐賀県立多久高等学校が初優勝をした。個人戦ではこの２校を軸に他の高等学校も善戦をしている。全国大会については、平成２年度全国高等学校総合体育大会で佐賀女子高等学校が優勝するなど女子の活躍が目立っていたが、近年では３回戦への進出も難しくなってきている。

このような状況を踏まえ、来る平成35年度国民スポーツ大会佐賀大会に向け、競技力向上に小・中・高一貫となり、取り組んでいるところです。

末筆になりましたが、全国高等学校体育連盟バドミントン専門部のますますのご発展をお祈り申し上げます。



長崎県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 小松旭
（長崎県立長崎北高等学校）

平成21年度から平成30年度までの10年間には、本県バドミントン競技において大きな躍進をすることができた。これは平成26年度に、長崎市で開催された第69回国民体育大会に向けての選手強化事業の実施や、指導される監督の先生方の熱意とスキルアップの賜物であろう。

主な競技成績は、平成24年度全国高校総体個人シングルスにおいて男子は新田祥基（西陵）女子は前田悠希（諫早商業）がベスト８。平成26年度は、同女子団体で諫早商業ベスト８。平成28年度同男子団体で瓊浦高校が３位入賞、全国選抜大会個人シングルスで村本竜馬（瓊浦）３位入賞。平成29年度全国高校総体男子団体で瓊浦高校ベスト８、個人シングルスで辻凌也（瓊浦）がベスト８。同年全国選抜大会男子団体で瓊浦高校が準優勝、個人男子シングルス町祥英（瓊浦）ベスト８、女子シングルスで小方里羽（諫早商業）準優勝。平成30年度には、全国高校総体団体男子で瓊浦高校がベスト８、個人男子シングルスで中島巧・杉本一樹（瓊浦）がベスト８などである。

また、九州大会及び九州選抜大会では、男子団体が準優勝７回で３位入賞も９回、女子団体では、優勝５回・準優勝２回・３位入賞も７回であった。男子の優勝が無いことが惜しまれるところである。個人戦でも優勝は、男女合わせてシングルスで７人、ダブルスで５組、準優勝はシングルスで４人ダブルスで５組であった。これらは、いずれも女子は諫早商業高校（西山勝也監督）であり、男子は平成26年度までは西陵高校、それ以降は瓊浦高校である（ともに林貴昭監督）。



大分県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 渡邉仁友
（大分県立別府鶴見丘高等学校）

全国高等学校体育連盟バドミントン専門部創立70周年おめでとうございます。

振り返りますと私が本県専門委員長に就き、今年でちょうど10年が経ちます。平成20年大分国体を最後に退任された前専門委員長 阿南典久先生（現別府翔青高校校長）の後を引き継ぎました。平成11年度に大分県初の全国高校総体での優勝、それ以来、平成20年の大分国体へ向け強化を進め、国体では少年男女アベック入賞することができました。国体後は“チーム大分”を掲げ、さらなる競技力向上を目指し、現在に至るまで様々な強化策を展開してきました。特に小・中学生のジュニアの段階から“チーム大分”として強化練習を定期的に実施してきた結果、全国大会でのベスト８の実績を残すことも珍しくない程、全国で互角に戦える力をつけてきていると感じています。しかし力をつけてきた反面、近年、他県へ進学する選手が出てきているのが現状です。本県内の中学・高校を魅力ある学校として選択してもらえるよう一層の努力が求められており、その課題の解決へ向け、力を合わせさらなる努力していかなくてはなりません。

大分県の競技力向上を支え続け、輝かしい実績を積み上げてこられた昭和学園の元専門委員長である吉田信之先生、前専門委員長の阿南典久先生、そして長年に渡り、本県高体連専門部を支えご尽力頂いた、大木裕治・高椋規照（大分支部）、豊田悟・江藤義光（別杵支部）、吉田太郎（県北支部）、鈴木明（県南支部）の各支部長と共に力を合わせ専門部の発展に向け努めて参りました。

まだまだ本県の協会登録人数は少なく、全国的にみても小規模ですが、普及と強化の二本柱を掲げ、さらなるバドミントン競技の発展へ向け一丸となり、取り組んでいく所存です。

最後になりますが、これまで全国高体連バドミントン専門部をはじめ、各方面の方々に多大なるご指導とご協力をいただきましたことに感謝申し上げますとともに、全国高体連バドミントン専門部の今後ますますのご発展を祈念申し上げます



熊本県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 権藤浩二
（熊本県立八代東高等学校）

全国高等学校体育連盟バドミントン専門部が、創立70周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。また、ここまで築きあげられた歴代の諸先生方の御尽力に対して、深く敬意を表したいと思います。

熊本県の10年間を振り返ると少子化の影響を受けながらも県高校総体参加校は横ばいで、個人戦参加人数は増加傾向に有り、バドミントン人気がうかがえます。これは、日本代表選手が世界で活躍している結果が大きく影響していると思われます。本県の全国大会の試合結果は、学校対抗戦において八代東高校がインターハイで準優勝－２回（H21・H30）、３位－２回（H28・H29）、全国選抜大会で３位－２回（H28・H29）、個人戦においてもインターハイ男子ダブルスで３位に嘉村昌俊・坂中賢太（H21八代東）、男子シングルスで３位に小本大佑（H28同校）、女子シングルスで３位に郡司莉子（H30八代白百合）が入賞、全国選抜大会男子シングルスで３位に染木俊寛（H21八代東）、男子ダブルスで田中湧士・森田新太郎（H28同校）が入賞しています。

2019年には南部九州インターハイを八代市中心に実施いたしますので、全国高体連専門部の御指導・御協力をいただき、本県専門部が一丸となり参加した全ての皆様に心に残る大会になるよう全力を尽くす所存です。

最後に、本県初代専門委員長の（故）益田隷先生・（故）本郷節生先生・（故）南直治先生・工藤勇参先生・茂見正先生・井上哲章先生方の歴代専門委員長・各地区専門委員の先生方の御尽力に対して、心より感謝申し上げます。



宮崎県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 山内　勉
（宮崎県立佐土原高等学校）

本県専門委員長は平成22年に60周年記念誌に携わった石井正樹先生から鳩山浩基先生（小林高校）に替わられ、平成24年からは私が専門委員長をさせていただいております。これまで本専門部に携わられた方々のご尽力の賜で宮崎県としましては、この10年間に飛躍的に競技力向上を成し遂げて参りました。

宮崎県の飛躍は平成20年度の全日本ジュニア、同年度の全国選抜大会で男子シングルスを制した渡邊達哉（日章学園）の活躍から始まりました。日常的な強化環境が十分でない中、ジュニアナショナルの合宿や海外遠征の経験を活かし、チームメイトや県内強化選手、社会人にまで火をつけました。「自分たちにもできる」というやる気の火は現在でも宮崎県の力になっています。最後の全国総体は残念ながら季節外れのインフルエンザにより個人戦の棄権を余儀なくされましたが、第64回国民体育大会（新潟）で宮崎県勢初のベスト８入賞に大きく貢献しました。

宮崎県では年間を通した小中高の強化事業に取り組んでいます。その甲斐もあって現在では女子でジュニアナショナルに所属する選手の出現、全国でベスト８以上に入賞することが珍しくなくなってきました。特に平成28年度以降の活躍が目立ち、平成29年度全国高校総体の学校対抗戦で男子（日章学園）が３位、第72回国民体育大会（愛媛）での準優勝、平成30年度全国総体３位と輝かしい成績を修めました。

継続的な力を県全体でつけられるように今後も高体連専門部、県協会の協力を得ながら取り組んで参りたいと思います。

最後になりましたが、全国高体連バドミントン専門部の今後ますますのご発展をお祈り申し上げます。



鹿児島県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 古川博文
（鹿児島市立鹿児島女子高等学校）

全国高等学校体育連盟バドミントン専門部が創立70周年を迎えられたことを心からお喜び申し上げます。また、これまでの会長様をはじめ、本県バドミントン競技の発展や競技力向上に多大なご支援をいただいた関係の皆様に対しまして、心から感謝申し上げます。私が専門委員長を仰せつかったのが平成29年度からです。平成19年度から24年度まで現鹿児島工業の平岡旭洋先生、25年度から鹿児島高校の壱崎和彦先生が歴任され現在に至っております。今日までの鹿児島県の競技力は、歴代の専門委員長の先生方のご尽力により徐々にではありますが実績を上げてきているように思います。各種講習会や大会を企画していただき、各校顧問の先生方や選手が持ち帰って鍛錬している成果と実感しております。しかし、以前より本県の有望選手が県外の有力校に進学してしまう事も少なからずある現実です。これまでと同様に、魅力ある学校のチーム作りとは何かをテーマとして、さらに本県各校のバドミントン部を活性化させ、一人でも多くの有望選手を地元から活躍させることができればと考えております。その結果、さらなる競技力向上に繋がると期待を込めています。競技人口においても増加の一途をたどります。本県においては、高校の登録選手が約2,000人と競技力の高い地区と変わらない登録者数となっています。さて、本県専門部としても、来年の全国選抜鹿児島大会や、2020燃ゆる感動かごしま国体に照準を合わせ、なお一層の競技普及・競技力向上・選手育成・強化を推進してまいります。これからの全国高体連専門部の発展と充実に寄与できるようにありたいと考えております。今後ともこれまでと変わりなく、またこれまで以上にお力添えをいただきたいと思います。最後になりますが、全国高体連バドミントン専門部の今後ますますの御発展を御祈念申し上げます。



沖縄県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 下 地 敏 彦
（沖縄県立沖縄工業高等学校）

全国高等学校体育連盟バドミントン専門部創立70周年を、心からお祝い申し上げます。

この10年を振り返ると、やはり平成22年度全国高等学校総合体育大会「美ら島総体2010」の開催が大きな影響を与えました。

それまでの本県は、九州大会や全国大会での戦績は全く振るわない状況でした。が、全国総体へ向けての競技力向上事業や強化対策等が少しずつではあるが、花開いていきました。

平成21年度九州総体女子シングルス優勝や全国総体男子ダブルスベスト16に端を発し平成24年度の九州選抜男子シングルスとダブルスにおいて２位となり全国選抜出場権獲得・平成25年度全国総体男子ダブルスベスト16・平成26年度九州選抜男子団体４位入賞、県勢初の自力での全国選抜出場・平成27年度九州総体男子団体３位、全国選抜男子ダブルスベスト８進出と、これまでの低迷期からすれば考えられないような実績を残せました。これも強化部を中心とした強化練習等の賜だと思います。

競技面だけでなく、運営面でも全国総体での経験は大いに活かされ、県内各種大会や九州大会等では、専門部員や各顧問の連携が充実してスムーズな大会運営を行えるようになりました。

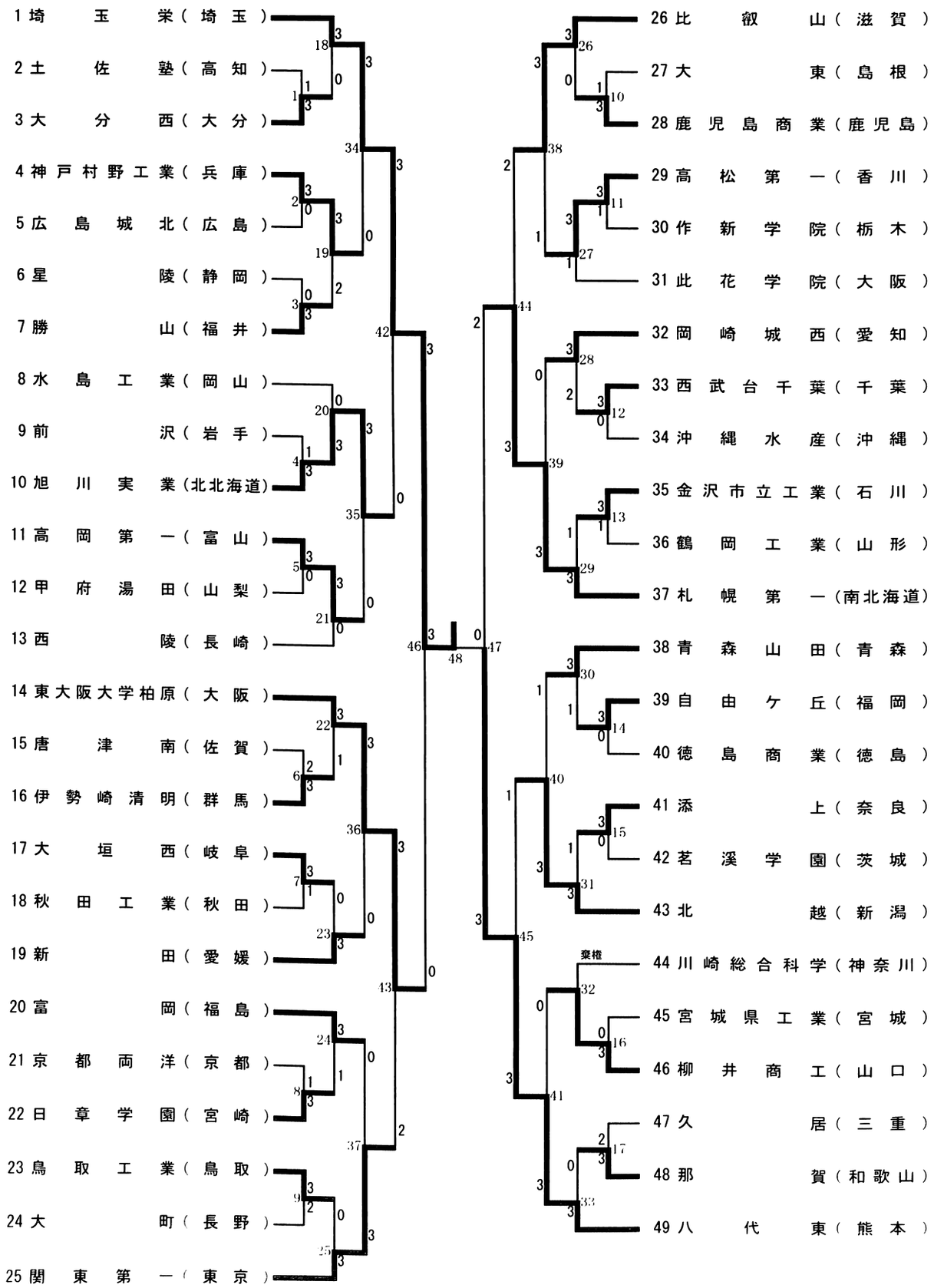
美ら島総体から今年度で８年目となりその好影響がだんだんと薄れつつありますが、2019年度に熊本で開催される南九州総体を次への更なる飛躍へのきっかけにし、いつの日か全国大会での優勝、さらには本県からのオリンピック選手が輩出されることを目指していきたいです。

全国高等学校総合体育大会の記録

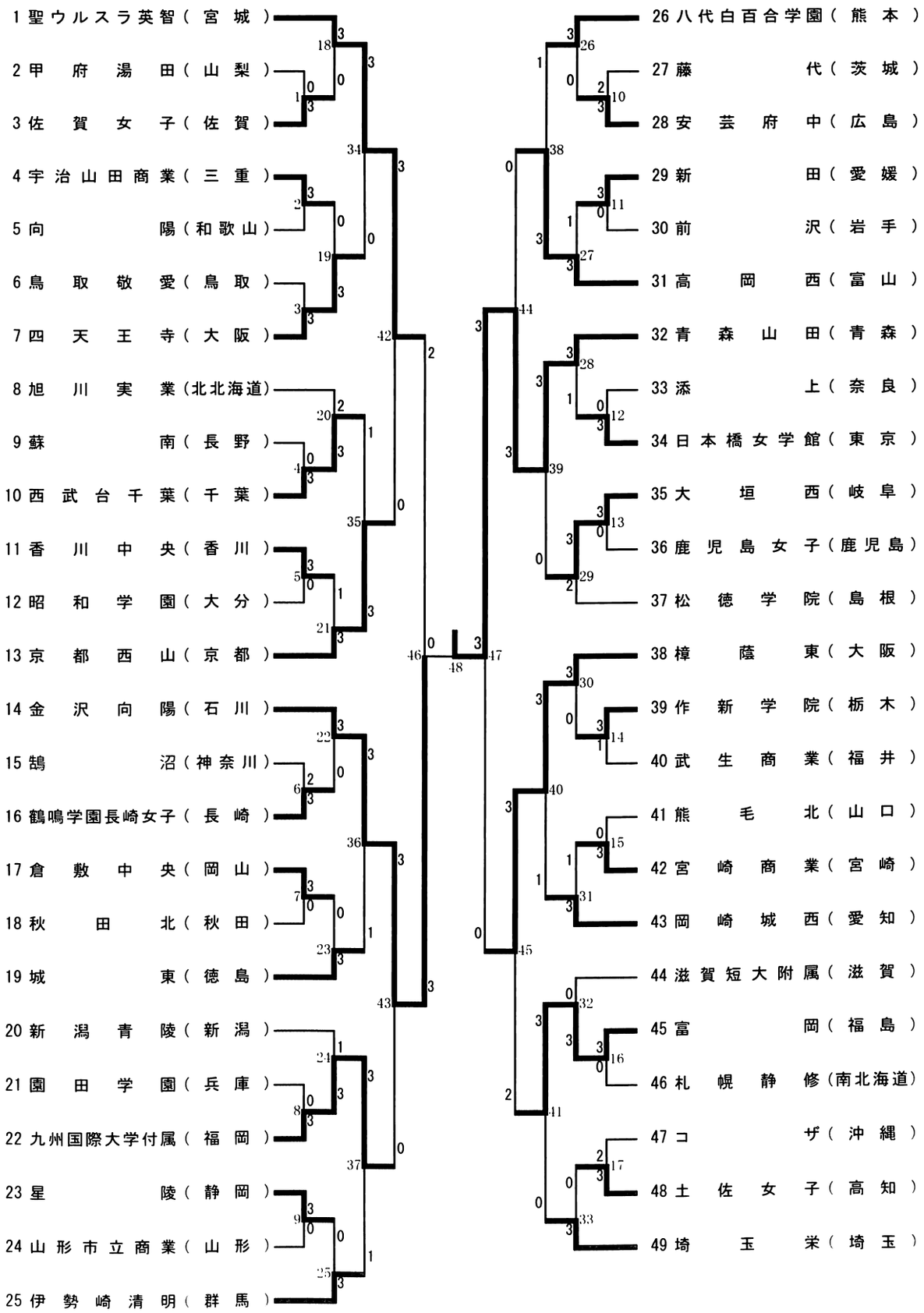
第60回全国高等学校バドミントン選手権大会（2009年度）

期　日▶平成21年８月２日（日）～７日（金）
会　場▶大阪府立体育会館・大阪市立住吉スポーツセンター・大阪市立浪速スポーツセンター

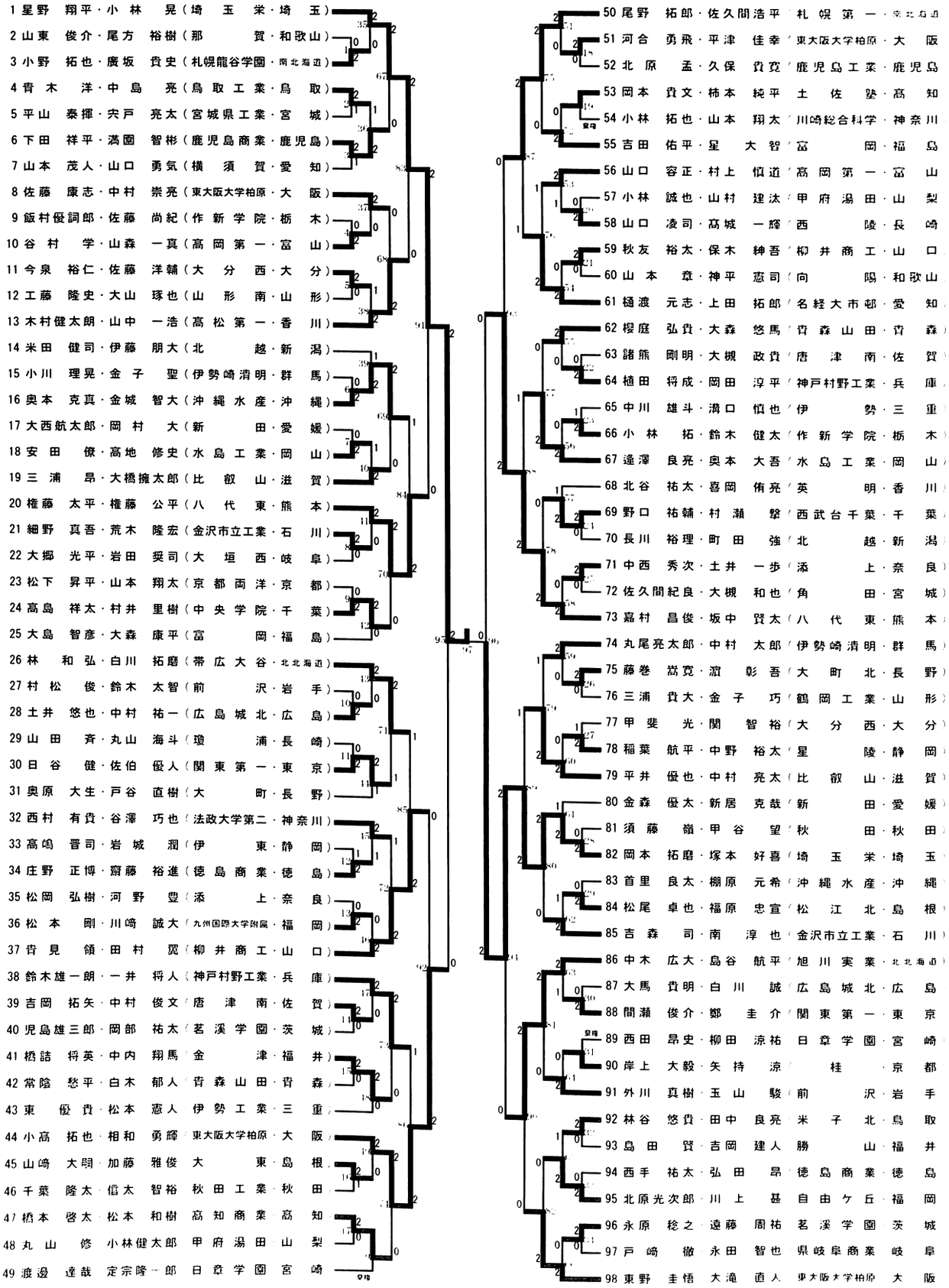
【 男 子 団 体 】



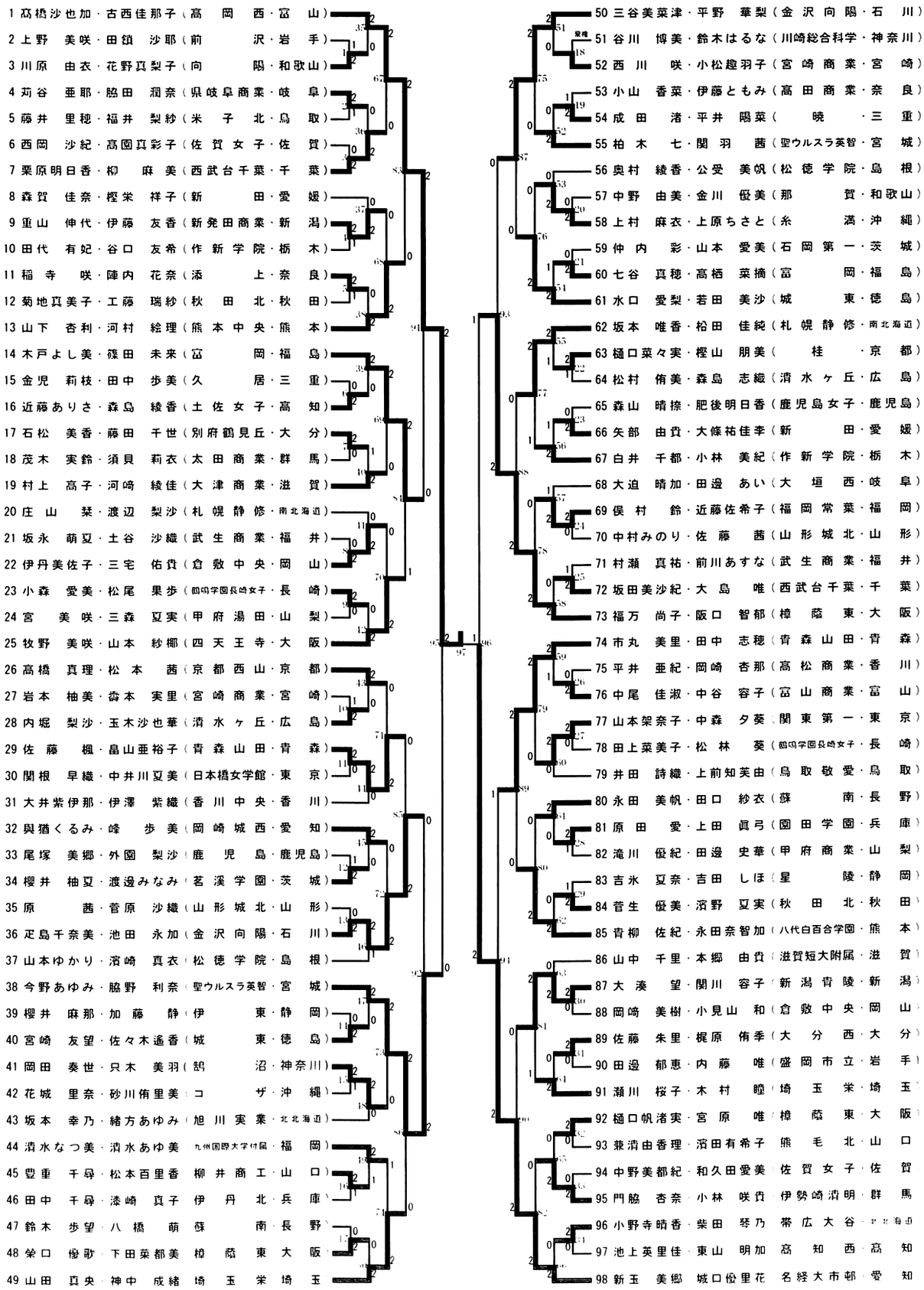
【女子団体】


1 聖ウルスラ英智（宮城）
2 甲府湯田（山梨）
3 佐賀女子（佐賀）
4 宇治山田商業（三重）
5 向陽（和歌山）
6 鳥取敬愛（鳥取）
7 四天王寺（大阪）
8 旭川実業（北北海道）
9 蘇南（長野）
10 西武台千葉（千葉）
11 香川中央（香川）
12 昭和学園（大分）
13 京都西山（京都）
14 金沢向陽（石川）
15 鵠沼（神奈川）
16 鶴鳴学園長崎女子（長崎）
17 倉敷中央（岡山）
18 秋田北（秋田）
19 城東（徳島）
20 新潟青陵（新潟）
21 園田学園（兵庫）
22 九州国際大学付属（福岡）
23 星陵（静岡）
24 山形市立商業（山形）
25 伊勢崎清明（群馬）
26 八代白百合学園（熊本）
27 藤代（茨城）
28 安芸府中（広島）
29 新田（愛媛）
30 前沢（岩手）
31 高岡西（富山）
32 青森山田（青森）
33 添上（奈良）
34 日本橋女学館（東京）
35 大垣西（岐阜）
36 鹿児島女子（鹿児島）
37 松徳学院（島根）
38 樟蔭東（大阪）
39 作新学院（栃木）
40 武生商業（福井）
41 熊毛北（山口）
42 宮崎商業（宮崎）
43 岡崎城西（愛知）
44 滋賀短大附属（滋賀）
45 富岡（福島）
46 札幌静修（南北海道）
47 コザ（沖縄）
48 土佐女子（高知）
49 埼玉栄（埼玉）

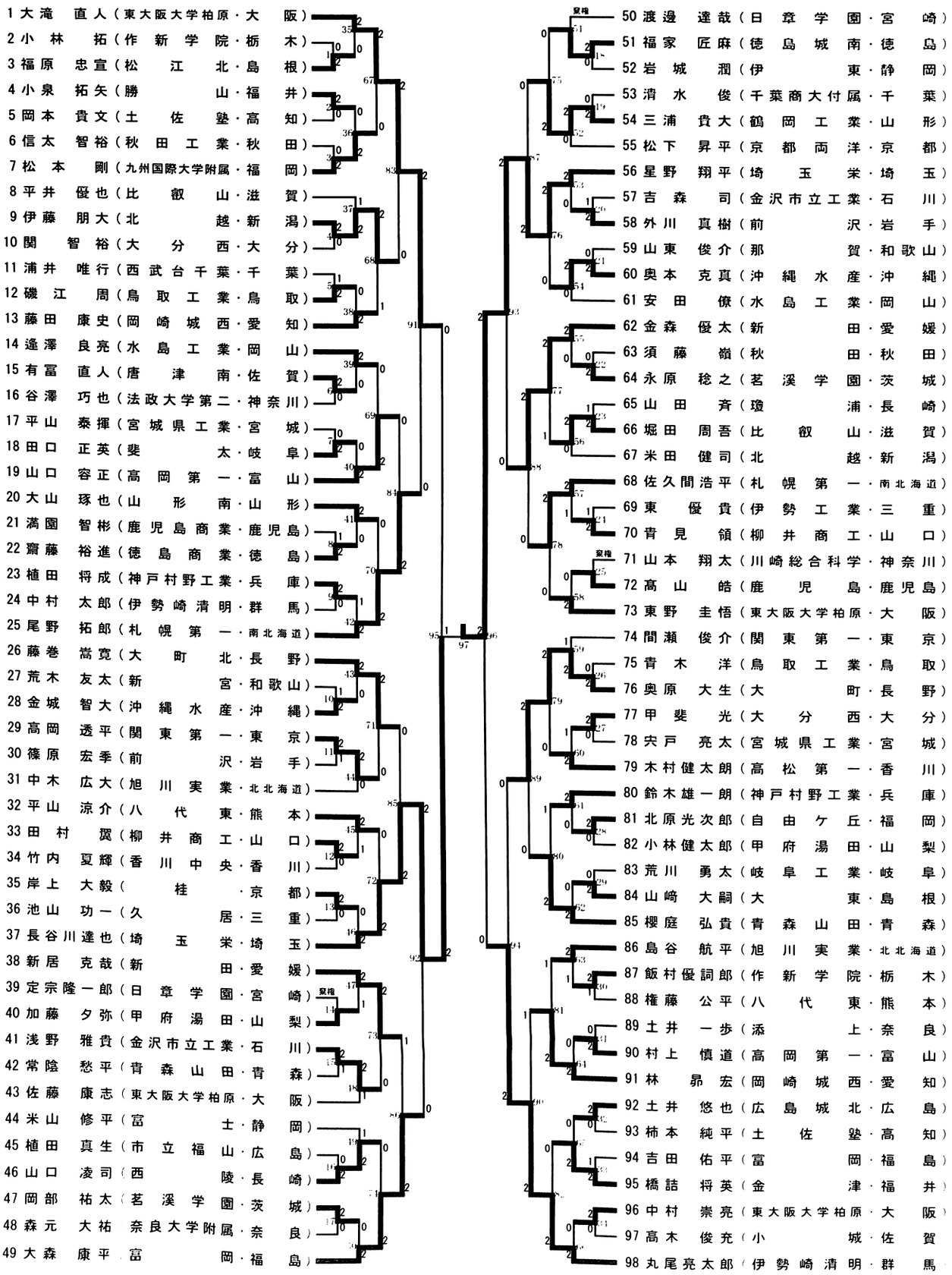
【男子ダブルス】


1 星野 翔平・小林 晃（埼 玉 栄・埼 玉）
2 山東 俊介・尾方 裕樹（那 賀・和歌山）
3 小野 拓也・廣坂 貴史（札幌龍谷学園・南北海道）
4 青木 洋・中島 亮（鳥取工業・鳥 取）
5 平山 泰揮・宍戸 亮太（宮城県工業・宮 城）
6 下田 祥平・満園 智彬（鹿児島商業・鹿児島）
7 山本 茂人・山口 勇気（横 須 賀・愛 知）
8 佐藤 康志・中村 崇亮（東大阪大学柏原・大 阪）
9 飯村優詞郎・佐藤 尚紀（作新学院・栃 木）
10 谷村 学・山森 一真（高岡第一・富 山）
11 今泉 裕仁・佐藤 洋輔（大 分 西・大 分）
12 工藤 隆史・大山 琢也（山 形 南・山 形）
13 木村健太朗・山中 一浩（高松第一・香 川）
14 米田 健司・伊藤 朋大（北 越・新 潟）
15 小川 理晃・金子 聖（伊勢崎清明・群 馬）
16 奥本 克真・金城 智大（沖縄水産・沖 縄）
17 大西航太郎・岡村 大（新 田・愛 媛）
18 安田 僚・高地 修史（水島工業・岡 山）
19 三浦 昂・大橋擁太郎（比 叡 山・滋 賀）
20 権藤 太平・権藤 公平（八 代 東・熊 本）
21 細野 真吾・荒木 隆宏（金沢市立工業・石 川）
22 大郷 光平・岩田 奨司（大 垣 西・岐 阜）
23 松下 昇平・山本 翔太（京都両洋・京 都）
24 高島 祥太・村井 里樹（中央学院・千 葉）
25 大島 智彦・大森 康平（富 岡・福 島）
26 林 和弘・白川 拓磨（帯広大谷・北北海道）
27 村松 俊・鈴木 太智（前 沢・岩 手）
28 土井 悠也・中村 祐一（広島城北・広 島）
29 山田 斉・丸山 海斗（瓊 浦・長 崎）
30 日谷 健・佐伯 優人（関東第一・東 京）
31 奥原 大生・戸谷 直樹（大 町・長 野）
32 西村 有貴・谷澤 巧也（法政大学第二・神奈川）
33 高嶋 晋司・岩城 潤（伊 東・静 岡）
34 庄野 正博・齋藤 裕進（徳島商業・徳 島）
35 松岡 弘樹・河野 豊（添 上・奈 良）
36 松本 剛・川崎 誠大（九州国際大学附属・福 岡）
37 青見 領・田村 罡（柳井商工・山 口）
38 鈴木雄一朗・一井 将人（神戸村野工業・兵 庫）
39 吉岡 拓矢・中村 俊文（唐 津 南・佐 賀）
40 児島雄三郎・岡部 祐太（茗渓学園・茨 城）
41 橋詰 将英・中内 翔馬（金 津・福 井）
42 常陰 悠平・白木 郁人（青森山田・青 森）
43 東 優貴・松本 恵人（伊勢工業・三 重）
44 小高 拓也・相和 勇輝（東大阪大学柏原・大 阪）
45 山崎 大朗・加藤 雅俊（大 東・島 根）
46 千葉 隆太・信太 智裕（秋田工業・秋 田）
47 橋本 啓太・松本 和樹（高知商業・高 知）
48 丸山 修・小林健太郎（甲府湯田・山 梨）
49 渡邊 達哉・定宗隆一郎（日章学園・宮 崎）
50 尾野 拓郎・佐久間浩平（札幌第一・南北海道）
51 河合 勇飛・平津 佳幸（東大阪大学柏原・大 阪）
52 北原 孟・久保 貴寛（鹿児島工業・鹿児島）
53 岡本 貴文・柿本 純平（土 佐 塾・高 知）
54 小林 拓也・山本 翔太（川崎総合科学・神奈川）
55 吉田 佑平・星 大智（富 岡・福 島）
56 山口 容正・村上 慎道（高岡第一・富 山）
57 小林 誠也・山村 建汰（甲府湯田・山 梨）
58 山口 凌司・高城 一輝（西 陵・長 崎）
59 秋友 裕太・保木 紳吾（柳井商工・山 口）
60 山本 章・神平 恵司（向 陽・和歌山）
61 樋渡 元志・上田 拓郎（名経大市邨・愛 知）
62 櫻庭 弘貴・大森 悠馬（青森山田・青 森）
63 諸熊 剛明・大槻 政貴（唐 津 南・佐 賀）
64 植田 将成・岡田 淳平（神戸村野工業・兵 庫）
65 中川 雄斗・溝口 慎也（伊 勢・三 重）
66 小林 拓・鈴木 健太（作新学院・栃 木）
67 遠澤 良亮・奥本 大吾（水島工業・岡 山）
68 北谷 祐太・喜岡 侑亮（英 明・香 川）
69 野口 祐輔・村瀬 肇（西武台千葉・千 葉）
70 長川 裕理・町田 強（北 越・新 潟）
71 中西 秀次・土井 一歩（添 上・奈 良）
72 佐久間紀良・大槻 和也（角 田・宮 城）
73 嘉村 昌俊・坂中 賢太（八 代 東・熊 本）
74 丸尾亮太郎・中村 太郎（伊勢崎清明・群 馬）
75 藤巻 嵩寛・濵 彰吾（大 町 北・長 野）
76 三浦 貴大・金子 巧（鶴岡工業・山 形）
77 甲斐 光・関 智裕（大 分 西・大 分）
78 稲葉 航平・中野 裕太（星 陵・静 岡）
79 平井 優也・中村 亮太（比 叡 山・滋 賀）
80 金森 優太・新居 克哉（新 田・愛 媛）
81 須藤 嶺・甲谷 望（秋 田・秋 田）
82 岡本 拓磨・塚本 好喜（埼 玉 栄・埼 玉）
83 首里 良太・棚原 元希（沖縄水産・沖 縄）
84 松尾 卓也・福原 忠宣（松 江 北・島 根）
85 吉森 司・南 淳也（金沢市立工業・石 川）
86 中木 広大・島谷 航平（旭川実業・北北海道）
87 大馬 貴明・白川 誠（広島城北・広 島）
88 間瀬 俊介・鄭 圭介（関東第一・東 京）
89 西田 昂史・柳田 涼祐（日章学園・宮 崎）
90 岸上 大毅・矢持 涼 桂（・京 都）
91 外川 真樹・玉山 駿（前 沢・岩 手）
92 林谷 悠貴・田中 良亮（米 子 北・鳥 取）
93 島田 賢・吉岡 建人（勝 山・福 井）
94 西手 祐太・弘田 昂（徳島商業・徳 島）
95 北原光次郎・川上 基自（由ケ丘・福 岡）
96 永原 稔之・遠藤 周祐（茗渓学園・茨 城）
97 戸崎 徹・永田 智也（県岐阜商業・岐 阜）
98 東野 圭悟・大滝 直人（東大阪大学柏原・大 阪）

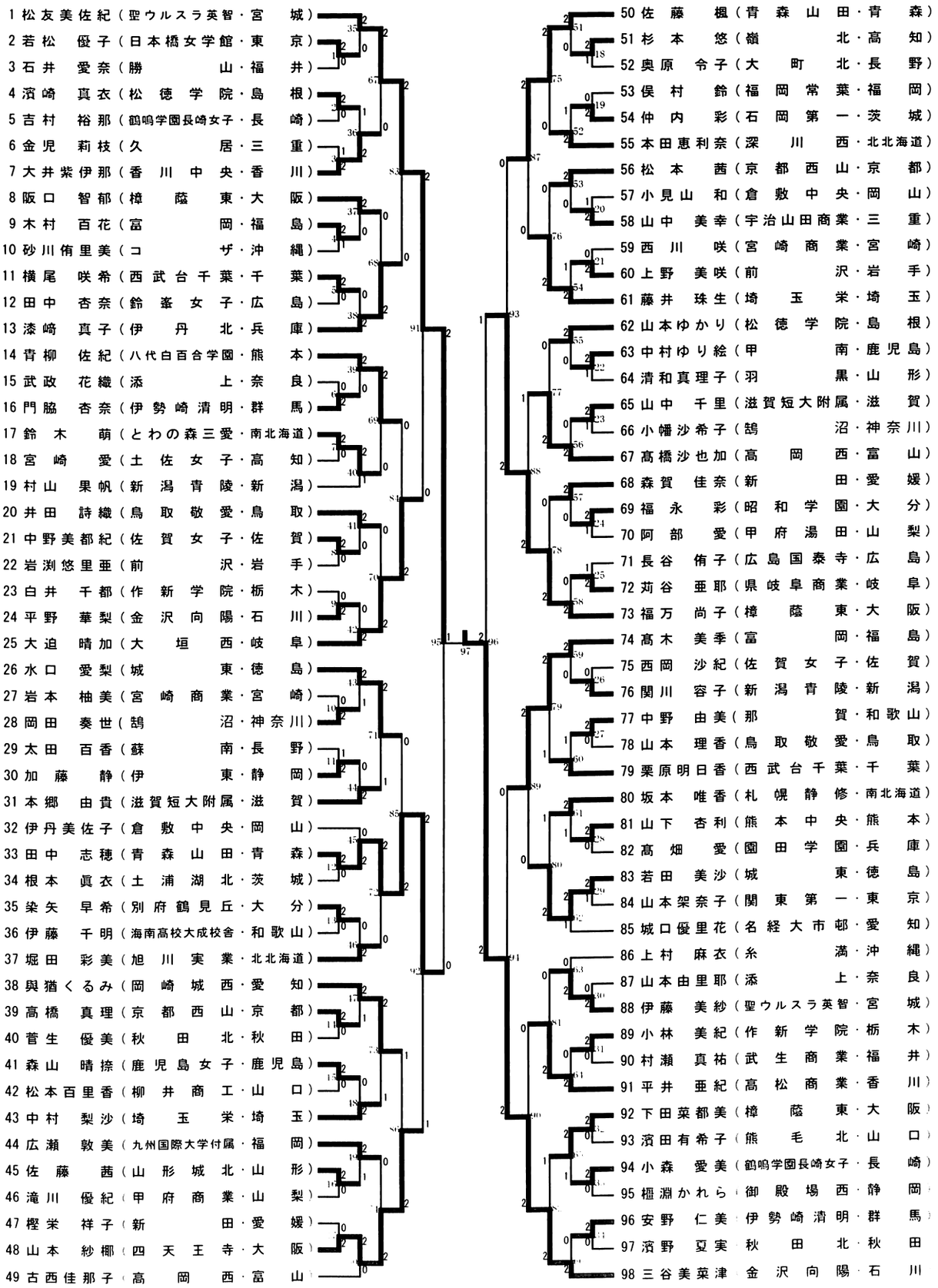
【女子ダブルス】


1 髙橋沙也加・古西佳那子（高　岡　西・富　山）
2 上野　美咲・田鎖　沙耶（前　沢・岩　手）
3 川原　由衣・花野真梨子（向　陽・和歌山）
4 苅谷　亜耶・脇田　潤奈（県岐阜商業・岐　阜）
5 藤井　里穂・福井　梨紗（米　子　北・鳥　取）
6 西岡　沙紀・髙園真彩子（佐賀女子・佐　賀）
7 栗原明日香・柳　麻美（西武台千葉・千　葉）
8 森賀　佳奈・樫栄　祥子（新　田・愛　媛）
9 重山　伸代・伊藤　友香（新発田商業・新　潟）
10 田代　有妃・谷口　友希（作新学院・栃　木）
11 稲寺　咲・陣内　花奈（添　上・奈　良）
12 菊地真美子・工藤　瑞紗（秋　田　北・秋　田）
13 山下　杏利・河村　絵理（熊本中央・熊　本）
14 木戸よし美・篠田　未来（富　岡・福　島）
15 金児　莉枝・田中　歩美（久　居・三　重）
16 近藤ありさ・森島　綾香（土佐女子・高　知）
17 石松　美香・藤田　千世（別府鶴見丘・大　分）
18 茂木　実鈴・須貝　莉衣（太田商業・群　馬）
19 村上　高子・河﨑　綾佳（大津商業・滋　賀）
20 庄山　栞・渡辺　梨沙（札幌静修・南北海道）
21 坂永　萌夏・土谷　沙織（武生商業・福　井）
22 伊丹美佐子・三宅　佑貴（倉敷中央・岡　山）
23 小森　愛美・松尾　果歩（鶴岡学園長崎女子・長　崎）
24 宮　美咲・三森　夏実（甲府湯田・山　梨）
25 牧野　美咲・山本　紗椰（四天王寺・大　阪）
26 髙橋　真理・松本　茜（京都西山・京　都）
27 岩本　柚美・壽本　実里（宮崎商業・宮　崎）
28 内堀　梨沙・玉木沙也華（清水ヶ丘・広　島）
29 佐藤　楓・畠山亜裕子（青森山田・青　森）
30 関根　早織・中井川夏美（日本橋女学館・東　京）
31 大井紫伊那・伊澤　紫織（香川中央・香　川）
32 與猶くるみ・峰　歩美（岡崎城西・愛　知）
33 尾塚　美郷・外園　梨沙（鹿　児　島・鹿児島）
34 櫻井　柚夏・渡邊みなみ（茗溪学園・茨　城）
35 原　茜・菅原　沙織（山形城北・山　形）
36 疋島千奈美・池田　永加（金沢向陽・石　川）
37 山本ゆかり・滑崎　真衣（松徳学院・島　根）
38 今野あゆみ・脇野　利奈（聖ウルスラ英智・宮　城）
39 櫻井　麻那・加藤　静（伊　東・静　岡）
40 宮崎　友望・佐々木遙香（城　東・徳　島）
41 岡田　奏世・只木　美羽（鵠　沼・神奈川）
42 花城　里奈・砂川侑里美（コ　ザ・沖　縄）
43 坂本　幸乃・緒方あゆみ（旭川実業・北北海道）
44 清水なつ美・清水あゆ美（九州国際大学付属・福　岡）
45 豊重　千尋・松本百里香（柳井商工・山　口）
46 田中　千尋・漆崎　真子（伊　丹　北・兵　庫）
47 鈴木　歩望・八橋　萌（蘇　南・長　野）
48 栄口　優歌・下田菜都美（樟　蔭　東・大　阪）
49 山田　真央・神中　成緒（埼　玉　栄・埼　玉）
50 三谷美菜津・平野　華梨（金沢向陽・石　川）
51 谷川　博美・鈴木はるな（川崎総合科学・神奈川）
52 西川　咲・小松趣羽子（宮崎商業・宮　崎）
53 小山　香菜・伊藤ともみ（高田商業・奈　良）
54 成田　渚・平井　陽菜（　暁　・三　重）
55 柏木　七・関羽　茜（聖ウルスラ英智・宮　城）
56 奥村　綾香・公受　美帆（松徳学院・島　根）
57 中野　由美・金川　優美（那　賀・和歌山）
58 上村　麻衣・上原ちさと（糸　満・沖　縄）
59 仲内　彩・山本　愛美（石岡第一・茨　城）
60 七谷　真穂・高栖　菜摘（富　岡・福　島）
61 水口　愛梨・若田　美沙（城　東・徳　島）
62 坂本　唯香・松田　佳純（札幌静修・南北海道）
63 樋口菜々実・樫山　朋美（　桂　・京　都）
64 松村　侑美・森島　志織（清水ヶ丘・広　島）
65 森山　晴捺・肥後明日香（鹿児島女子・鹿児島）
66 矢部　由貴・大條祐佳李（新　田・愛　媛）
67 白井　千都・小林　美紀（作新学院・栃　木）
68 大迫　晴加・田邊　あい（大　垣　西・岐　阜）
69 俣村　鈴・近藤佐希子（福岡常葉・福　岡）
70 中村みのり・佐藤　茜（山形城北・山　形）
71 村瀬　真祐・前川あすな（武生商業・福　井）
72 坂田美沙紀・大島　唯（西武台千葉・千　葉）
73 福万　尚子・阪口　智郁（樟　蔭　東・大　阪）
74 市丸　美里・田中　志穂（青森山田・青　森）
75 平井　亜紀・岡崎　杏那（高松商業・香　川）
76 中尾　佳淑・中谷　容子（富山商業・富　山）
77 山本架奈子・中森　夕葵（関東第一・東　京）
78 田上菜美子・松林　葵（鶴岡学園長崎女子・長　崎）
79 井田　詩織・上前知芙由（鳥取敬愛・鳥　取）
80 永田　美帆・田口　紗衣（蘇　南・長　野）
81 原田　愛・上田　眞弓（園田学園・兵　庫）
82 滝川　優紀・田邊　史華（甲府商業・山　梨）
83 吉氷　夏奈・吉田　しほ（星　陵・静　岡）
84 菅生　優美・滑野　夏実（秋　田　北・秋　田）
85 青柳　佐紀・永田奈智加（八代白百合学園・熊　本）
86 山中　千里・本郷　由貴（滋賀短大附属・滋　賀）
87 大湊　望・関川　容子（新潟青陵・新　潟）
88 岡崎　美樹・小見山　和（倉敷中央・岡　山）
89 佐藤　朱里・梶原　侑季（大　分　西・大　分）
90 田邊　郁恵・内藤　唯（盛岡市立・岩　手）
91 瀬川　桜子・木村　瞳（埼　玉　栄・埼　玉）
92 樋口帆渚実・宮原　唯（樟　蔭　東・大　阪）
93 兼清由香理・滑田有希子（熊　毛　北・山　口）
94 中野美都紀・和久田愛美（佐賀女子・佐　賀）
95 門脇　杏奈・小林　咲貴（伊勢崎清明・群　馬）
96 小野寺晴香・柴田　琴乃（帯　広　大　谷・北北海道）
97 池上英里佳・東山　明加（高　知　西・高　知）
98 新玉　美郷・城口優里花（名経大市邨・愛　知）

【男子シングルス】


1 大滝 直人（東大阪大学柏原・大阪）
2 小林 拓（作新学院・栃木）
3 福原 忠宣（松江北・島根）
4 小泉 拓矢（勝山・福井）
5 岡本 貴文（土佐塾・高知）
6 信太 智裕（秋田工業・秋田）
7 松本 剛（九州国際大学附属・福岡）
8 平井 優也（比叡山・滋賀）
9 伊藤 朋大（北越・新潟）
10 関 智裕（大分西・大分）
11 浦井 唯行（西武台千葉・千葉）
12 磯江 周（鳥取工業・鳥取）
13 藤田 康史（岡崎城西・愛知）
14 逢澤 良亮（水島工業・岡山）
15 有冨 直人（唐津南・佐賀）
16 谷澤 巧也（法政大学第二・神奈川）
17 平山 泰揮（宮城県工業・宮城）
18 田口 正英（斐太・岐阜）
19 山口 容正（高岡第一・富山）
20 大山 琢也（山形南・山形）
21 満園 智彬（鹿児島商業・鹿児島）
22 齋藤 裕進（徳島商業・徳島）
23 植田 将成（神戸村野工業・兵庫）
24 中村 太郎（伊勢崎清明・群馬）
25 尾野 拓郎（札幌第一・南北海道）
26 藤巻 嵩寛（大町北・長野）
27 荒木 友太（新宮・和歌山）
28 金城 智大（沖縄水産・沖縄）
29 高岡 透平（関東第一・東京）
30 篠原 宏季（前沢・岩手）
31 中木 広大（旭川実業・北北海道）
32 平山 涼介（八代東・熊本）
33 田村 翼（柳井商工・山口）
34 竹内 夏輝（香川中央・香川）
35 岸上 大毅（桂・京都）
36 池山 功一（久居・三重）
37 長谷川達也（埼玉栄・埼玉）
38 新居 克哉（新田・愛媛）
39 定宗隆一郎（日章学園・宮崎）
40 加藤 夕弥（甲府湯田・山梨）
41 浅野 雅貴（金沢市立工業・石川）
42 常陰 愁平（青森山田・青森）
43 佐藤 康志（東大阪大学柏原・大阪）
44 米山 修平（富士・静岡）
45 植田 真生（市立福山・広島）
46 山口 凌司（西陵・長崎）
47 岡部 祐太（茗渓学園・茨城）
48 森元 大祐（奈良大学附属・奈良）
49 大森 康平（富岡・福島）
50 渡邊 達哉（日章学園・宮崎）
51 福家 匠麻（徳島城南・徳島）
52 岩城 潤（伊東・静岡）
53 清水 俊（千葉商大付属・千葉）
54 三浦 貴大（鶴岡工業・山形）
55 松下 昇平（京都両洋・京都）
56 星野 翔平（埼玉栄・埼玉）
57 吉森 司（金沢市立工業・石川）
58 外川 真樹（前沢・岩手）
59 山東 俊介（那賀・和歌山）
60 奥本 克真（沖縄水産・沖縄）
61 安田 僚（水島工業・岡山）
62 金森 優太（新田・愛媛）
63 須藤 嶺（秋田・秋田）
64 永原 稔之（茗渓学園・茨城）
65 山田 斉（瓊浦・長崎）
66 堀田 周吾（比叡山・滋賀）
67 米田 健司（北越・新潟）
68 佐久間浩平（札幌第一・南北海道）
69 東優貴（伊勢工業・三重）
70 青見領（柳井商工・山口）
71 山本翔太（川崎総合科学・神奈川）
72 髙山皓（鹿児島・鹿児島）
73 東野圭悟（東大阪大学柏原・大阪）
74 間瀬俊介（関東第一・東京）
75 青木洋（鳥取工業・鳥取）
76 奥原大生（大町・長野）
77 甲斐光（大分西・大分）
78 宍戸亮太（宮城県工業・宮城）
79 木村健太朗（高松第一・香川）
80 鈴木雄一朗（神戸村野工業・兵庫）
81 北原光次郎（自由ケ丘・福岡）
82 小林健太郎（甲府湯田・山梨）
83 荒川勇太（岐阜工業・岐阜）
84 山崎大嗣（大東・島根）
85 櫻庭弘貴（青森山田・青森）
86 島谷航平（旭川実業・北北海道）
87 飯村優詞郎（作新学院・栃木）
88 権藤公平（八代東・熊本）
89 土井一歩（添上・奈良）
90 村上慎道（高岡第一・富山）
91 林昴宏（岡崎城西・愛知）
92 土井悠也（広島城北・広島）
93 柿本純平（土佐塾・高知）
94 吉田佑平（富岡・福島）
95 橋詰将英（金津・福井）
96 中村崇亮（東大阪大学柏原・大阪）
97 高木俊充（小城・佐賀）
98 丸尾亮太郎（伊勢崎清明・群馬）
不戦

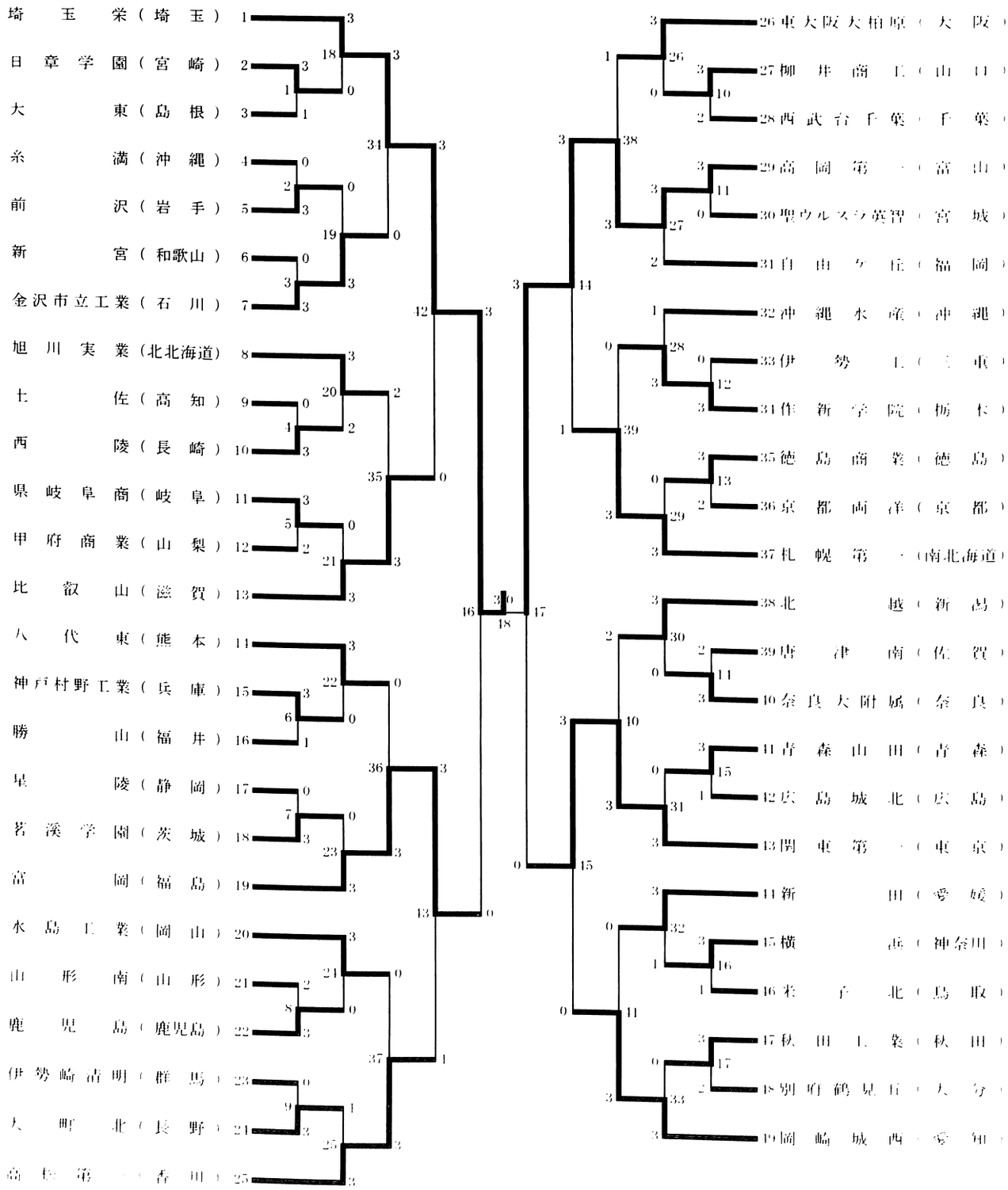
【女子シングルス】


1 松友美佐紀（聖ウルスラ英智・宮　城）
2 若松　佳子（日本橋女学館・東　京）
3 石井　愛奈（勝　山・福　井）
4 濱崎　真衣（松徳学院・島　根）
5 吉村　裕那（鶴鳴学園長崎女子・長　崎）
6 金児　莉枝（久　居・三　重）
7 大井紫伊那（香川中央・香　川）
8 阪口　智郁（樟　蔭　東・大　阪）
9 木村　百花（富　岡・福　島）
10 砂川侑里美（コ　ザ・沖　縄）
11 横尾　咲希（西武台千葉・千　葉）
12 田中　杏奈（鈴峯女子・広　島）
13 漆崎　真子（伊　丹　北・兵　庫）
14 青柳　佐紀（八代白百合学園・熊　本）
15 武政　花織（添　上・奈　良）
16 門脇　杏奈（伊勢崎清明・群　馬）
17 鈴木　萌（とわの森三愛・南北海道）
18 宮崎　愛（土佐女子・高　知）
19 村山　果帆（新潟青陵・新　潟）
20 井田　詩織（鳥取敬愛・鳥　取）
21 中野美都紀（佐賀女子・佐　賀）
22 岩渕悠里亜（前　沢・岩　手）
23 白井　千都（作新学院・栃　木）
24 平野　華梨（金沢向陽・石　川）
25 大迫　晴加（大　垣　西・岐　阜）
26 水口　愛梨（城　東・徳　島）
27 岩本　柚美（宮崎商業・宮　崎）
28 岡田　奏世（鵠　沼・神奈川）
29 太田　百香（蘇　南・長　野）
30 加藤　静（伊　東・静　岡）
31 本郷　由貴（滋賀短大附属・滋　賀）
32 伊丹美佐子（倉敷中央・岡　山）
33 田中　志穂（青森山田・青　森）
34 根本　眞衣（土浦湖北・茨　城）
35 染矢　早希（別府鶴見丘・大　分）
36 伊藤　千明（海南高校大成校舎・和歌山）
37 堀田　彩美（旭川実業・北北海道）
38 與猶くるみ（岡崎城西・愛　知）
39 高橋　真理（京都西山・京　都）
40 菅生　優美（秋　田　北・秋　田）
41 森山　晴捺（鹿児島女子・鹿児島）
42 松本百里香（柳井商工・山　口）
43 中村　梨沙（埼　玉　栄・埼　玉）
44 広瀬　敦美（九州国際大学付属・福　岡）
45 佐藤　茜（山形城北・山　形）
46 滝川　優紀（甲府商業・山　梨）
47 樫栄　祥子（新　田・愛　媛）
48 山本　紗椰（四天王寺・大　阪）
49 古西佳那子（高　岡　西・富　山）
50 佐藤　楓（青森山田・青　森）
51 杉本　悠（嶺　北・高　知）
52 奥原　令子（大　町　北・長　野）
53 俣村　鈴（福岡常葉・福　岡）
54 仲内　彩（石岡第一・茨　城）
55 本田恵利奈（深　川　西・北北海道）
56 松本　茜（京都西山・京　都）
57 小見山　和（倉敷中央・岡　山）
58 山中　美幸（宇治山田商業・三　重）
59 西川　咲（宮崎商業・宮　崎）
60 上野　美咲（前　沢・岩　手）
61 藤井　珠生（埼　玉　栄・埼　玉）
62 山本ゆかり（松徳学院・島　根）
63 中村ゆり絵（甲　南・鹿児島）
64 清和真理子（羽　黒・山　形）
65 山中　千里（滋賀短大附属・滋　賀）
66 小幡沙希子（鵠　沼・神奈川）
67 髙橋沙也加（高　岡　西・富　山）
68 森賀　佳奈（新　田・愛　媛）
69 福永　彩（昭和学園・大　分）
70 阿部　愛（甲府湯田・山　梨）
71 長谷　侑子（広島国泰寺・広　島）
72 苅谷　亜耶（県岐阜商業・岐　阜）
73 福万　尚子（樟　蔭　東・大　阪）
74 髙木　美季（富　岡・福　島）
75 西岡　沙紀（佐賀女子・佐　賀）
76 関川　容子（新潟青陵・新　潟）
77 中野　由美（那　賀・和歌山）
78 山本　理香（鳥取敬愛・鳥　取）
79 栗原明日香（西武台千葉・千　葉）
80 坂本　唯香（札幌静修・南北海道）
81 山下　杏利（熊本中央・熊　本）
82 髙畑　愛（園田学園・兵　庫）
83 若田　美沙（城　東・徳　島）
84 山本架奈子（関東第一・東　京）
85 城口優里花（名経大市邨・愛　知）
86 上村　麻衣（糸　満・沖　縄）
87 山本由里耶（添　上・奈　良）
88 伊藤　美紗（聖ウルスラ英智・宮　城）
89 小林　美紀（作新学院・栃　木）
90 村瀬　真祐（武生商業・福　井）
91 平井　亜紀（高松商業・香　川）
92 下田菜都美（樟　蔭　東・大　阪）
93 濱田有希子（熊　毛　北・山　口）
94 小森　愛美（鶴鳴学園長崎女子・長　崎）
95 椢淵かれら（御殿場西・静　岡）
96 安野　仁美（伊勢崎清明・群　馬）
97 濱野　夏実（秋　田　北・秋　田）
98 三谷美菜津（金沢向陽・石　川）

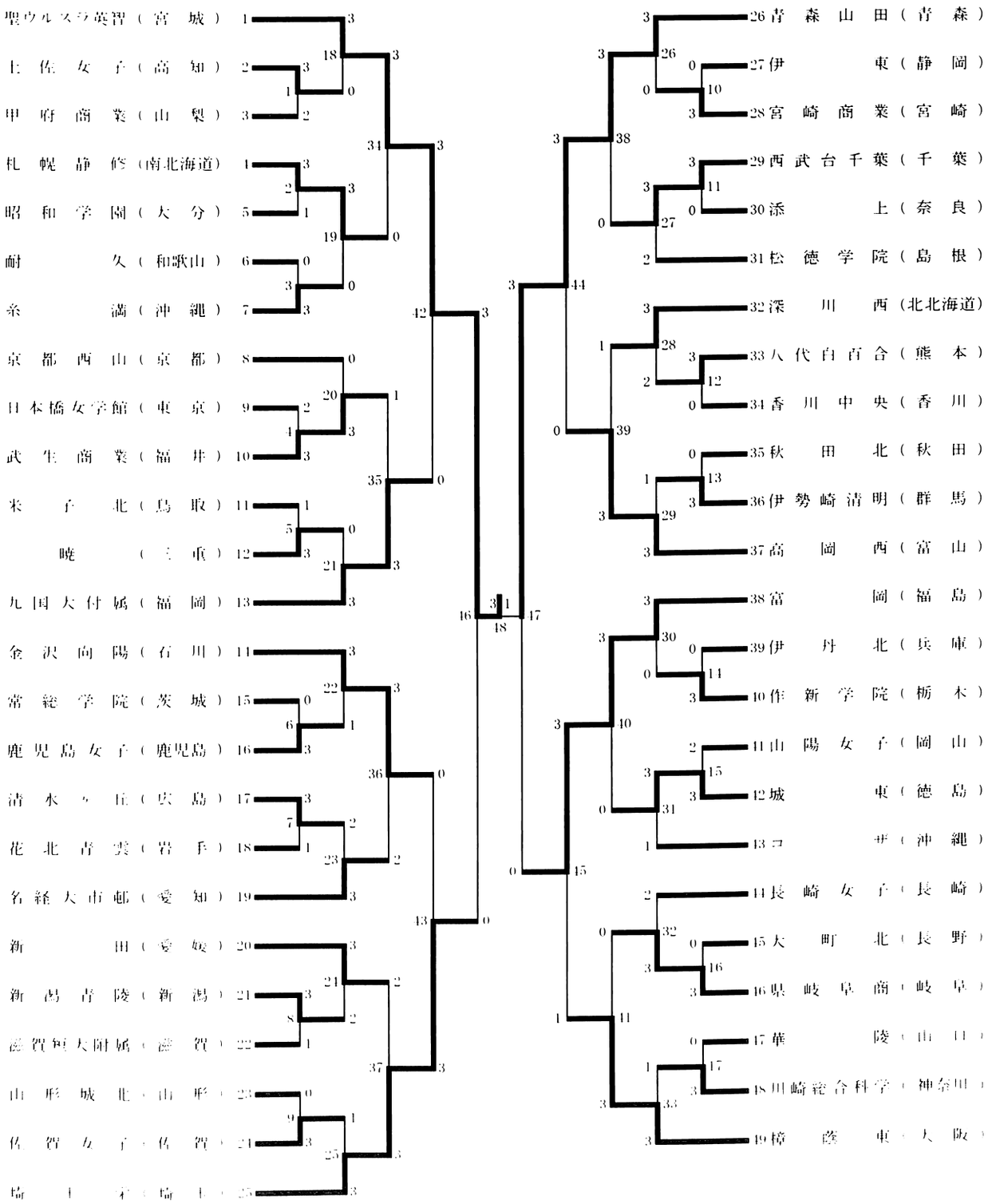
第61回全国高等学校バドミントン選手権大会（2010年度）

期　日▶平成22年７月28日（水）～８月２日（月）
会　場▶糸満市西崎総合体育館・沖縄水産高等学校体育館・豊見城南高等学校体育館
潮平中学校体育館・糸満高等学校体育館・三和中学校体育館・兼城中学校体育館

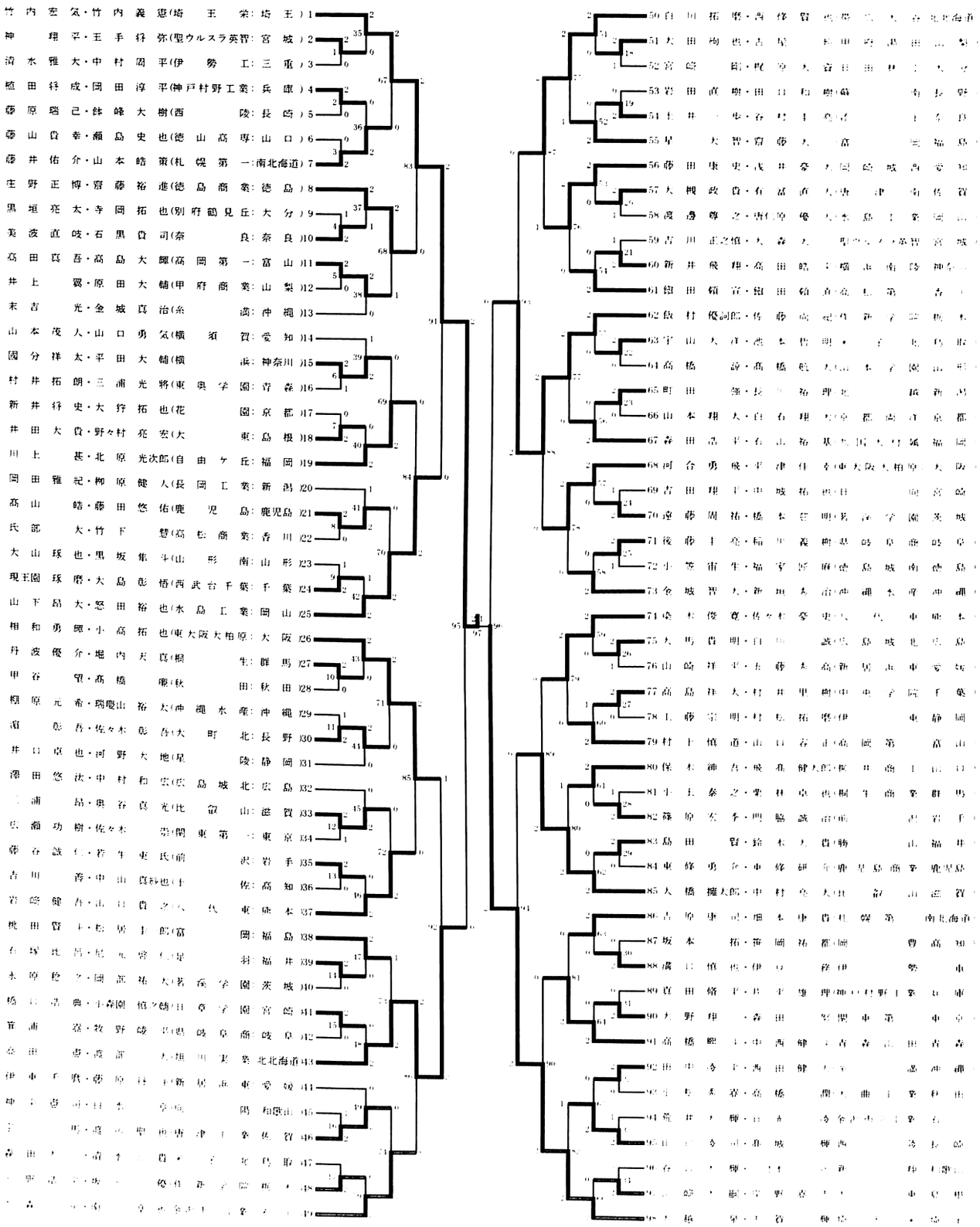
【 男 子 団 体 】



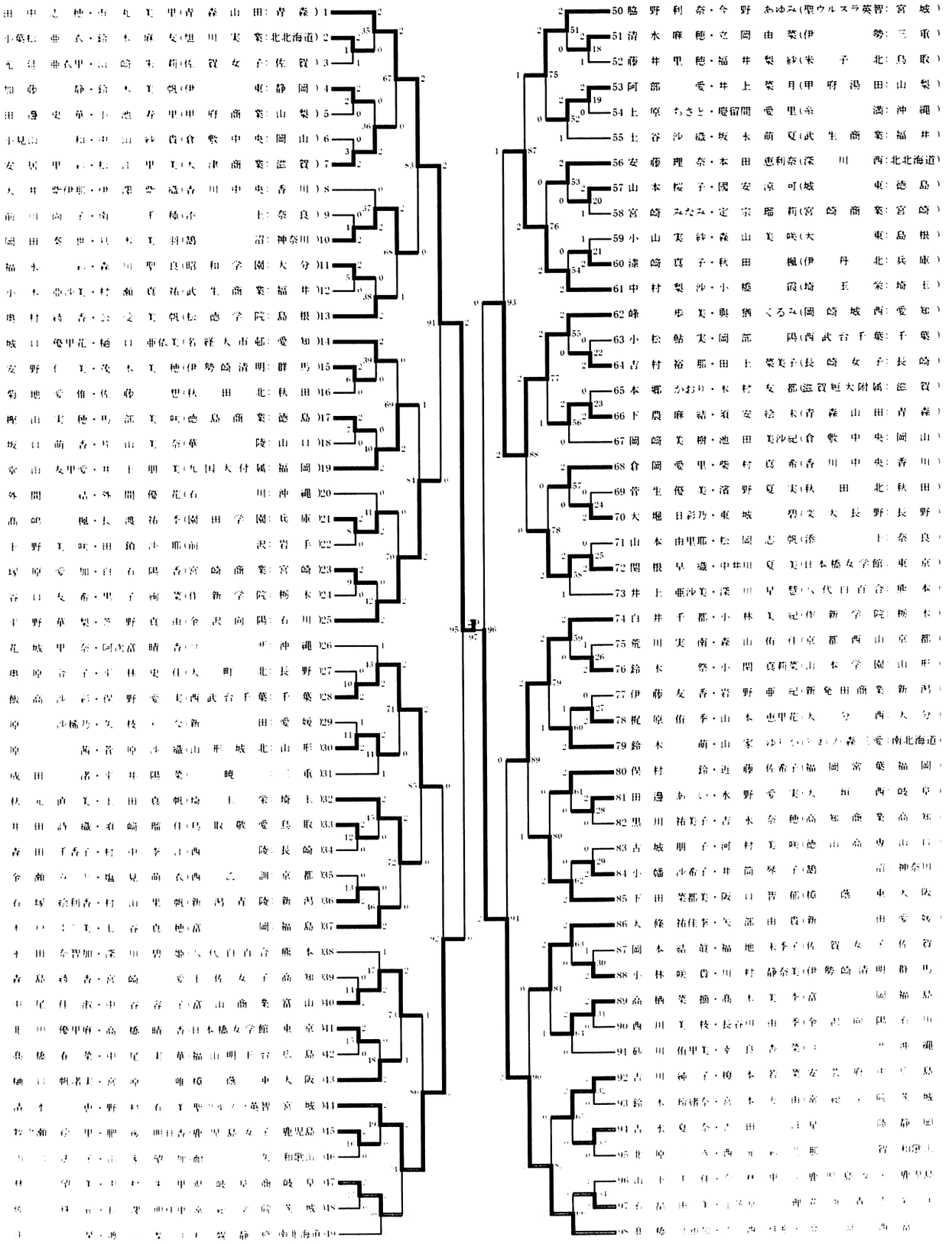
【女子団体】


聖ウルスラ英智（宮城）
土佐女子（高知）
甲府商業（山梨）
札幌静修（南北海道）
昭和学園（大分）
耐久（和歌山）
糸満（沖縄）
京都西山（京都）
日本橋女学館（東京）
武生商業（福井）
米子北（鳥取）
暁（三重）
九国大付属（福岡）
金沢向陽（石川）
常総学院（茨城）
鹿児島女子（鹿児島）
清水ヶ丘（広島）
花北青雲（岩手）
名経大市邨（愛知）
新田（愛媛）
新潟青陵（新潟）
滋賀短大附属（滋賀）
山形城北（山形）
佐賀女子（佐賀）
26 青森山田（青森）
27 伊東（静岡）
28 宮崎商業（宮崎）
29 西武台千葉（千葉）
30 添上（奈良）
31 松徳学院（島根）
32 深川西（北北海道）
33 八代白百合（熊本）
34 香川中央（香川）
35 秋田北（秋田）
36 伊勢崎清明（群馬）
37 高岡西（富山）
38 富岡（福島）
39 伊丹北（兵庫）
10 作新学院（栃木）
11 山陽女子（岡山）
12 城東（徳島）
13 コ（沖縄）
14 長崎女子（長崎）
15 大町北（長野）
16 県岐阜商（岐阜）
17 華陵（山口）
18 川崎総合科学（神奈川）
19 樟蔭東（大阪）

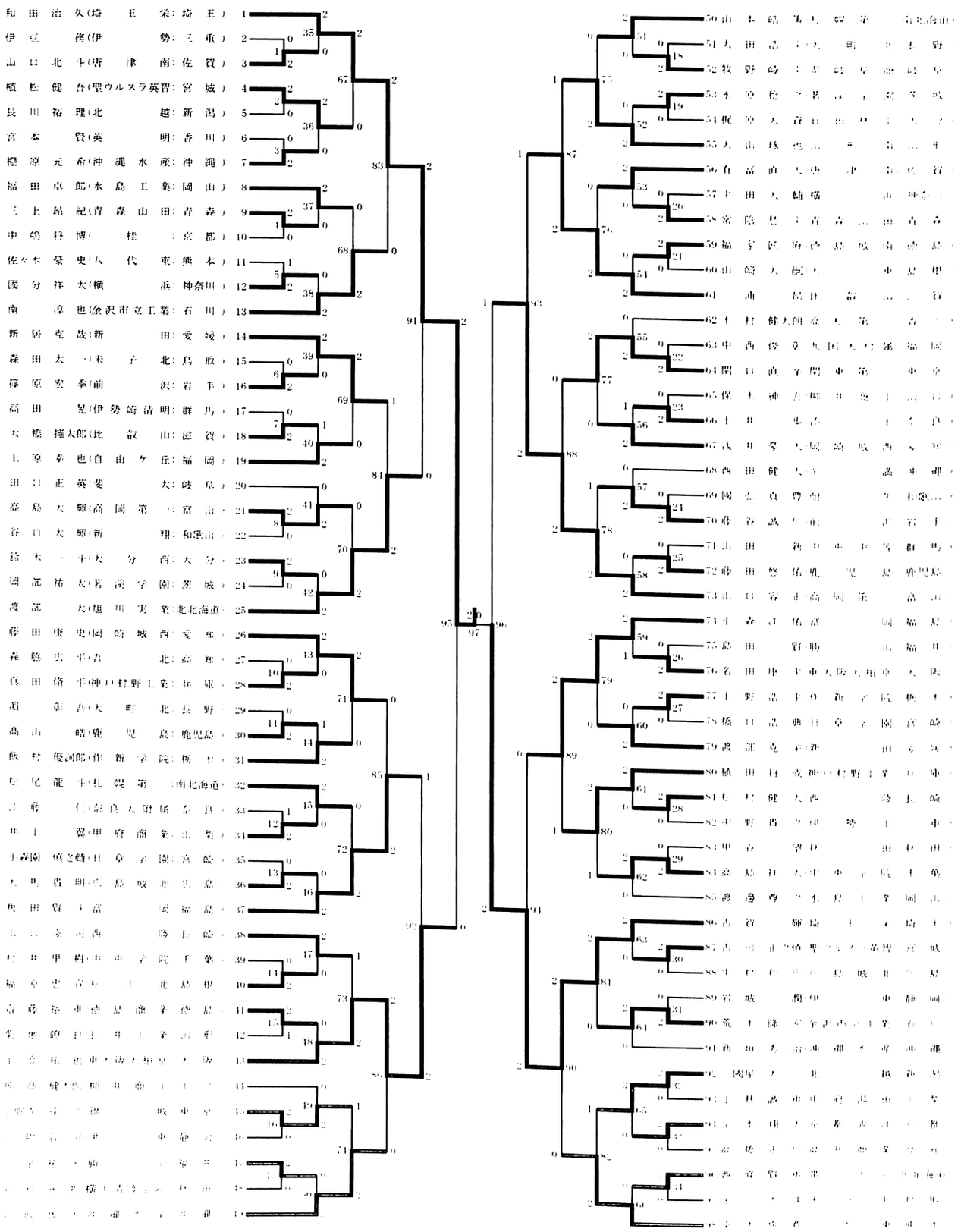
【男子ダブルス】



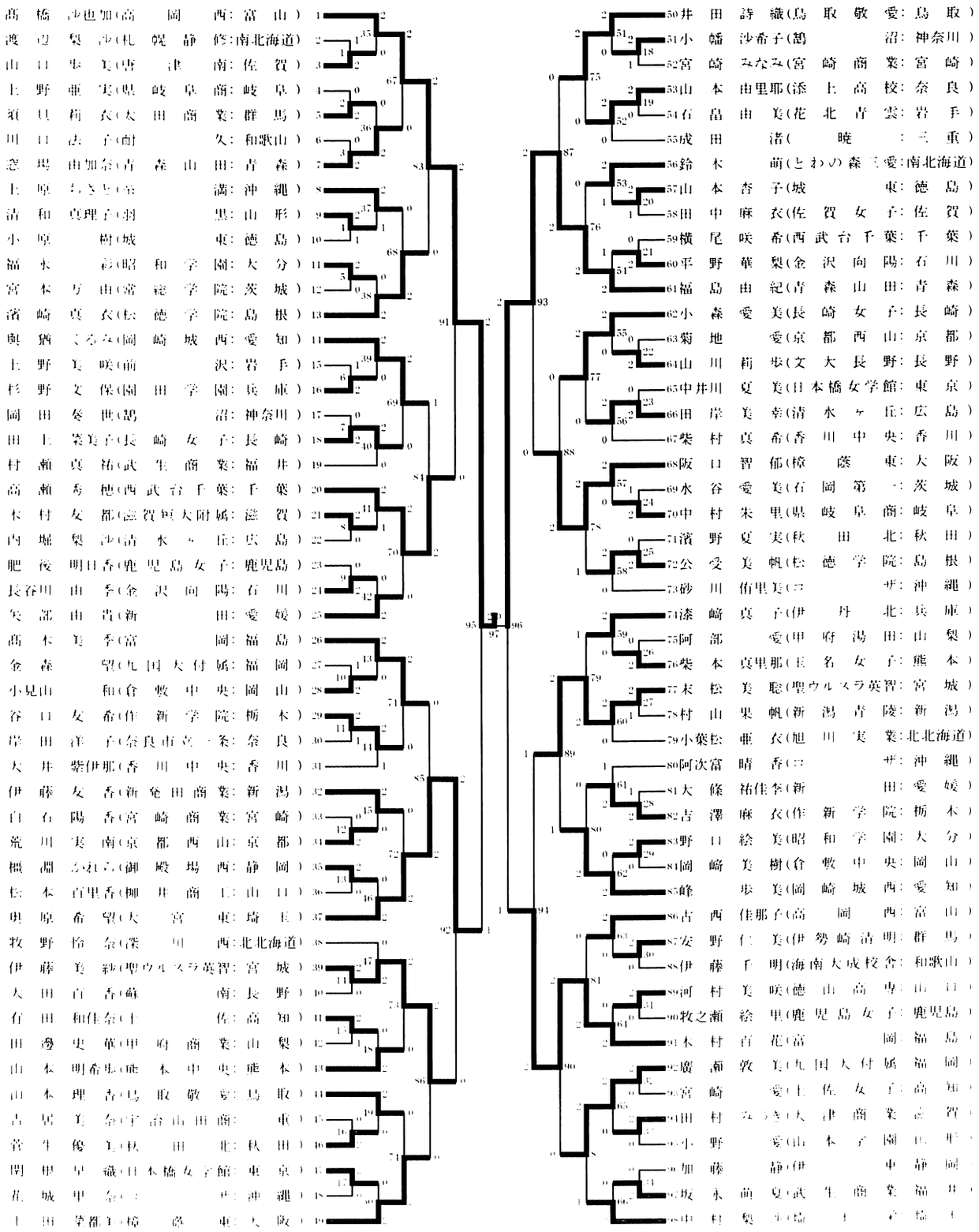
【女子ダブルス】



【男子シングルス】



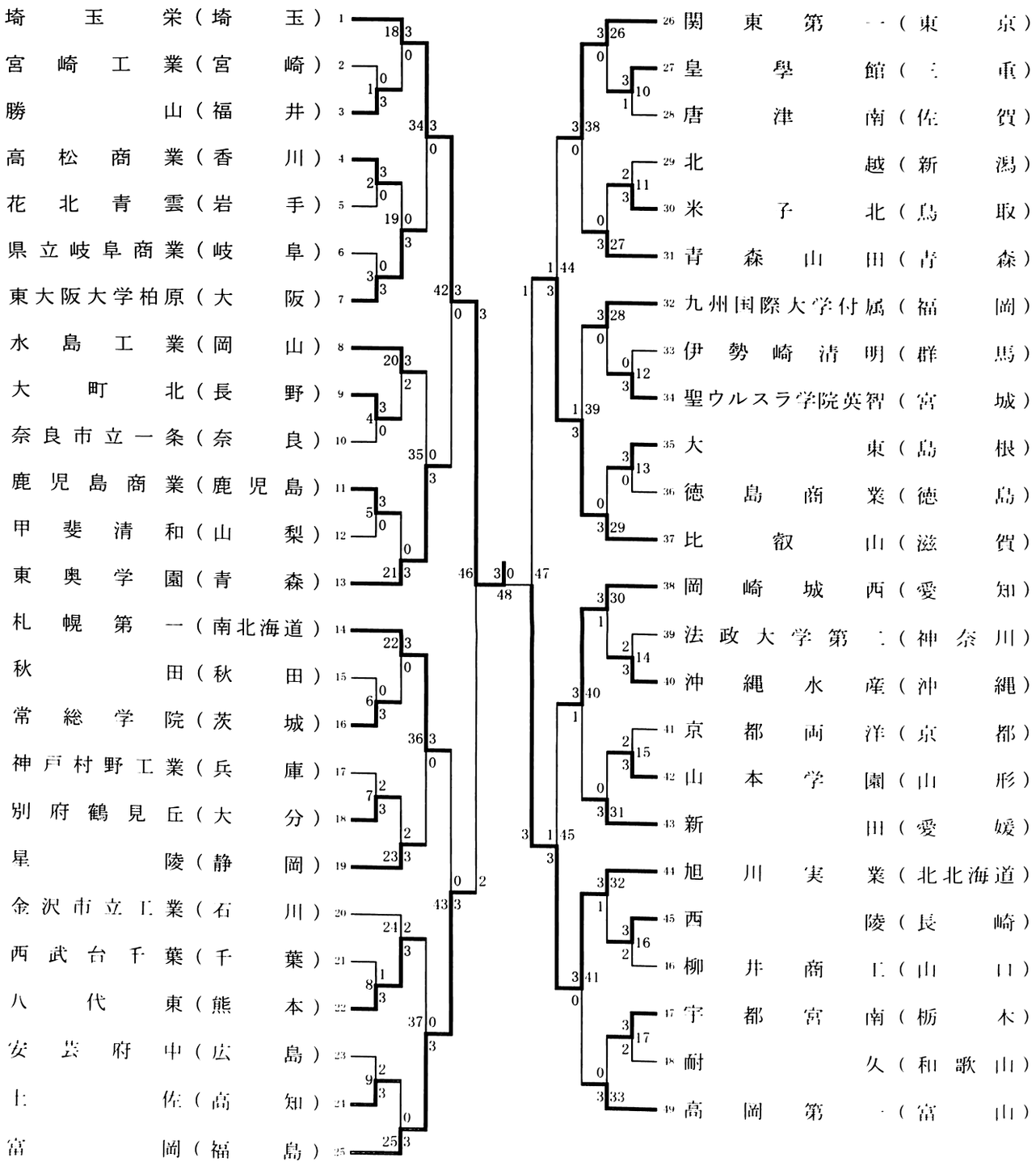
【女子シングルス】


髙橋沙也加(高岡西:富山)
渡辺梨沙(札幌静修:南北海道)
山口朱美(唐津南:佐賀)
上野亜実(県岐阜商:岐阜)
須貝莉衣(太田商業:群馬)
川口史子(耐久:和歌山)
意場由加奈(青森山田:青森)
上原ちさと(宜満:沖縄)
清和真理子(羽黒:山形)
小原樹(城東:徳島)
福永彩(昭和学園:大分)
宮本万由(常総学院:茨城)
濱崎真衣(松徳学院:島根)
奥猶こころ(岡崎城西:愛知)
上野美咲(前沢:岩手)
杉野文保(園田学園:兵庫)
岡田奏世(鵠沼:神奈川)
田上紫美子(長崎女子:長崎)
村瀬真祐(武生商業:福井)
高瀬秀穂(西武台千葉:千葉)
木村友都(滋賀短大附属:滋賀)
内堀梨沙(清水ヶ丘:広島)
肥後明日香(鹿児島女子:鹿児島)
長谷川由季(金沢向陽:石川)
矢部由貴(新田:愛媛)
髙木美季(富岡:福島)
金森望(九国大付属:福岡)
小見山和(倉敷中央:岡山)
谷口友希(作新学院:栃木)
岸田洋子(奈良市立一条:奈良)
大井紫伊那(香川中央:香川)
伊藤友香(新発田商業:新潟)
白石陽香(宮崎商業:宮崎)
荒川実南(京都西山:京都)
機淵ろれん(御殿場西:静岡)
松本百里香(柳井商工:山口)
明原希望(大宮東:埼玉)
牧野怜奈(深川西:北北海道)
伊藤美紗(聖ウルスラ英智:宮城)
太田百香(蘇南:長野)
有田和佳奈(土佐:高知)
田邊史華(甲府商業:山梨)
山本明希生(龍本中央:龍本)
山本理香(鳥取敬愛:鳥取)
吉居美奈(宇治山田商:三重)
菅生優美(秋田北:秋田)
関里早織(日本橋女子館:東京)
荒城甲奈(:沖縄)
上田茉都美(樟蔭東:大阪)
井田詩織(鳥取敬愛:鳥取)
小幡沙希子(鵠沼:神奈川)
宮崎みなみ(宮崎商業:宮崎)
山本由里耶(添上高校:奈良)
石畠由美(花北青雲:岩手)
成田清(暁:三重)
鈴木萌(とわの森三愛:南北海道)
山本杏子(城東:徳島)
田中麻衣(佐賀女子:佐賀)
横尾咲希(西武台千葉:千葉)
平野華梨(金沢向陽:石川)
福島由紀(青森山田:青森)
小森愛美(長崎女子:長崎)
菊地愛(京都西山:京都)
山川莉歩(文大長野:長野)
中井川夏美(日本橋女学館:東京)
田岸美幸(清水ヶ丘:広島)
柴村真希(香川中央:香川)
阪口智佑(樟蔭東:大阪)
水谷愛美(石岡第一:茨城)
中村朱里(県岐阜商:岐阜)
濱野夏実(秋田北:秋田)
公受美帆(松徳学院:島根)
砂川侑里美(:沖縄)
漆崎真子(伊丹北:兵庫)
阿部愛(甲府湯田:山梨)
柴本真里那(玉名女子:熊本)
末松美聡(聖ウルスラ英智:宮城)
村山果帆(新潟青陵:新潟)
小葉松亜衣(旭川実業:北北海道)
阿次富晴香(:沖縄)
大條祐佳李(新田:愛媛)
吉澤麻衣(作新学院:栃木)
野口絵美(昭和学園:大分)
岡崎美樹(倉敷中央:岡山)
峰歩美(岡崎城西:愛知)
古西佳那子(高岡西:富山)
安野仁美(伊勢崎清明:群馬)
伊藤千明(海南大成校舎:和歌山)
河村美咲(徳山高専:山口)
牧之瀬絵里(鹿児島女子:鹿児島)
木村百花(富岡:福島)
廣瀬敦美(九国大付属:福岡)
宮崎愛(土佐女子:高知)
田村みずき(大津商業:滋賀)
小野愛(山本学園:山形)
加藤静(伊賀:三重)
坂永萌夏(武生商業:福井)
中村梨生(塩尻:長野)

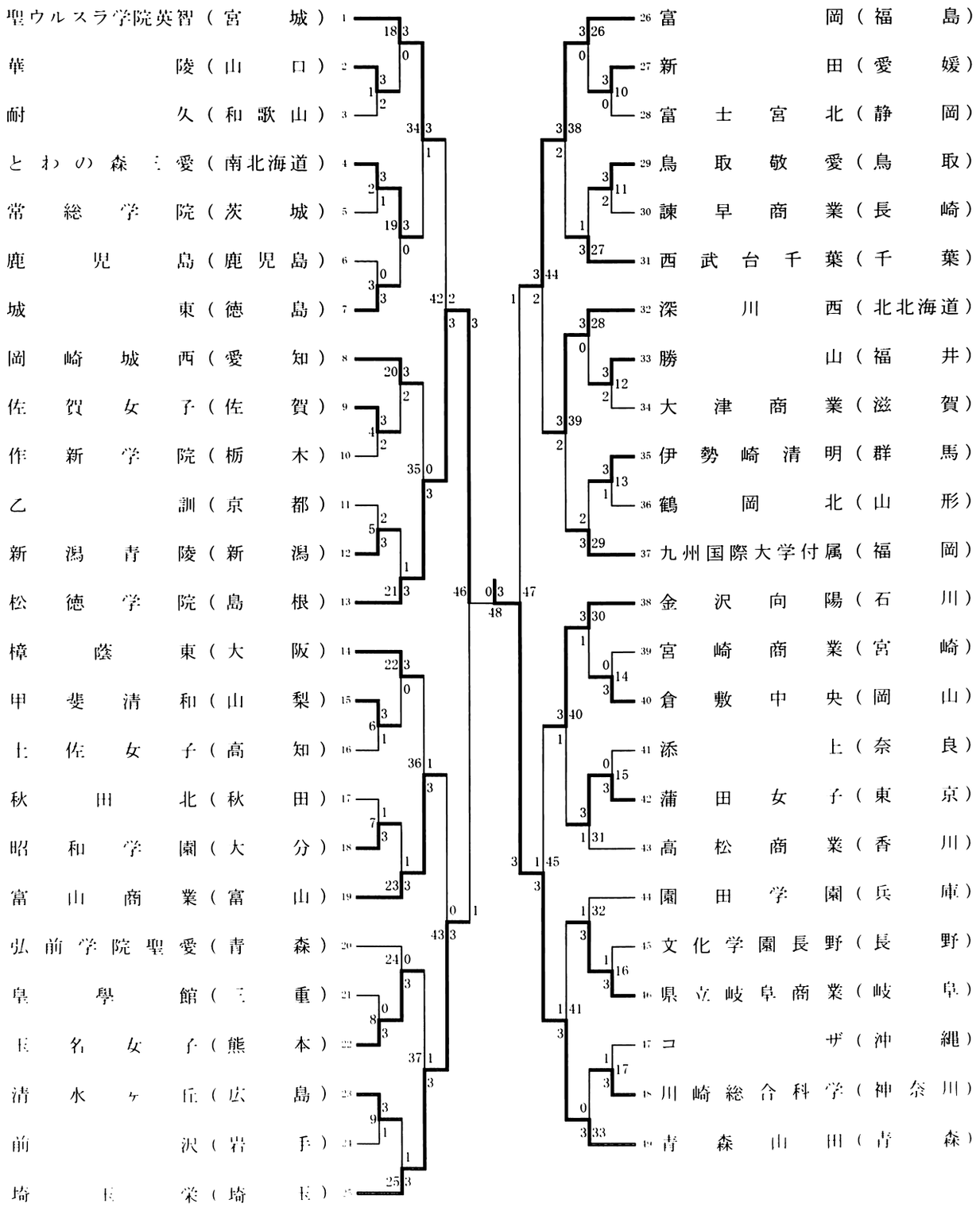
第62回全国高等学校バドミントン選手権大会（2011年度）

期　日▶平成23年８月15日（月）～20日（土）
会　場▶青森県武道館・弘前市民体育館・岩木山総合公園体育館・青森県立弘前高等学校体育館
　　青森県立弘前工業高等学校体育館

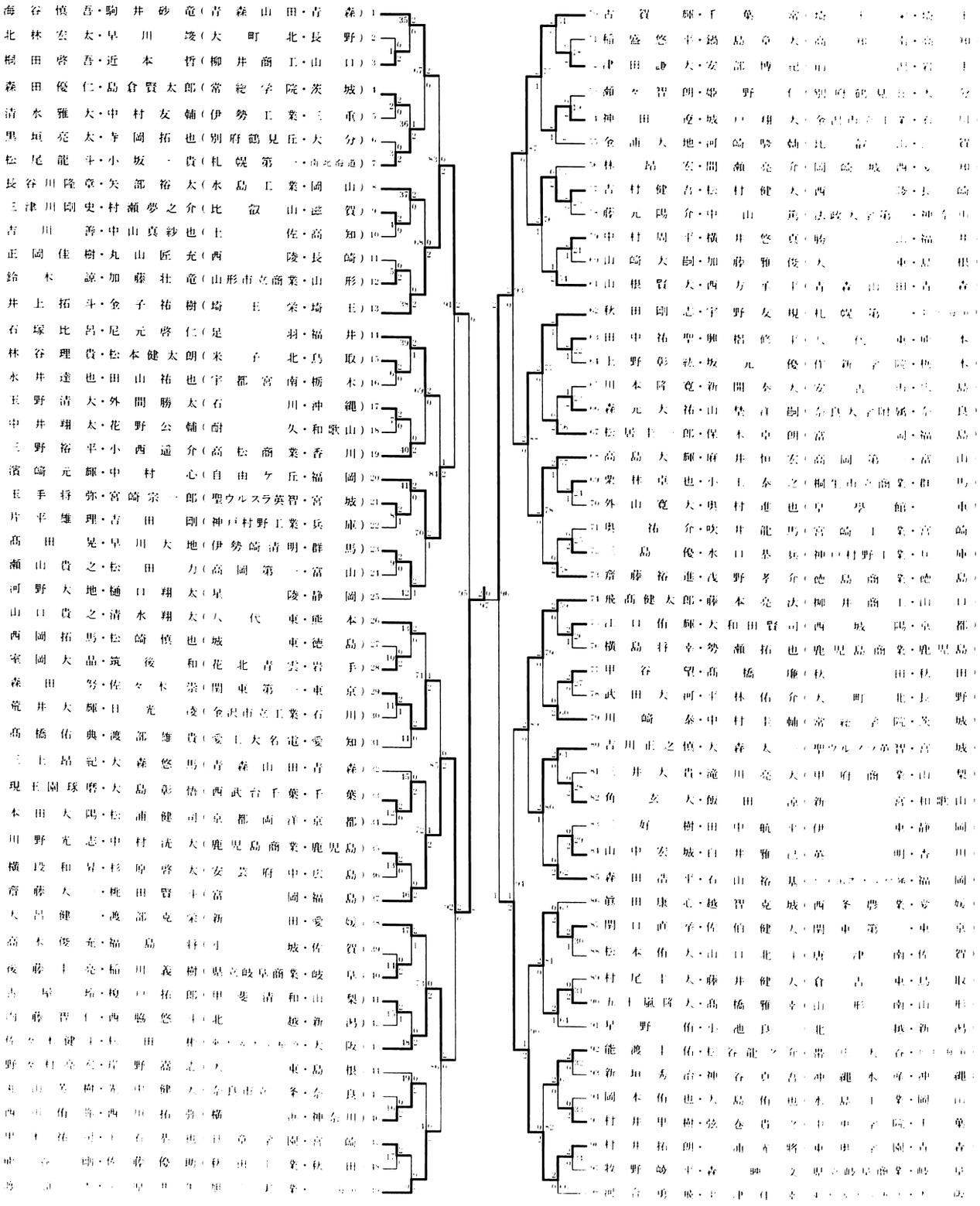
【 男 子 団 体 】



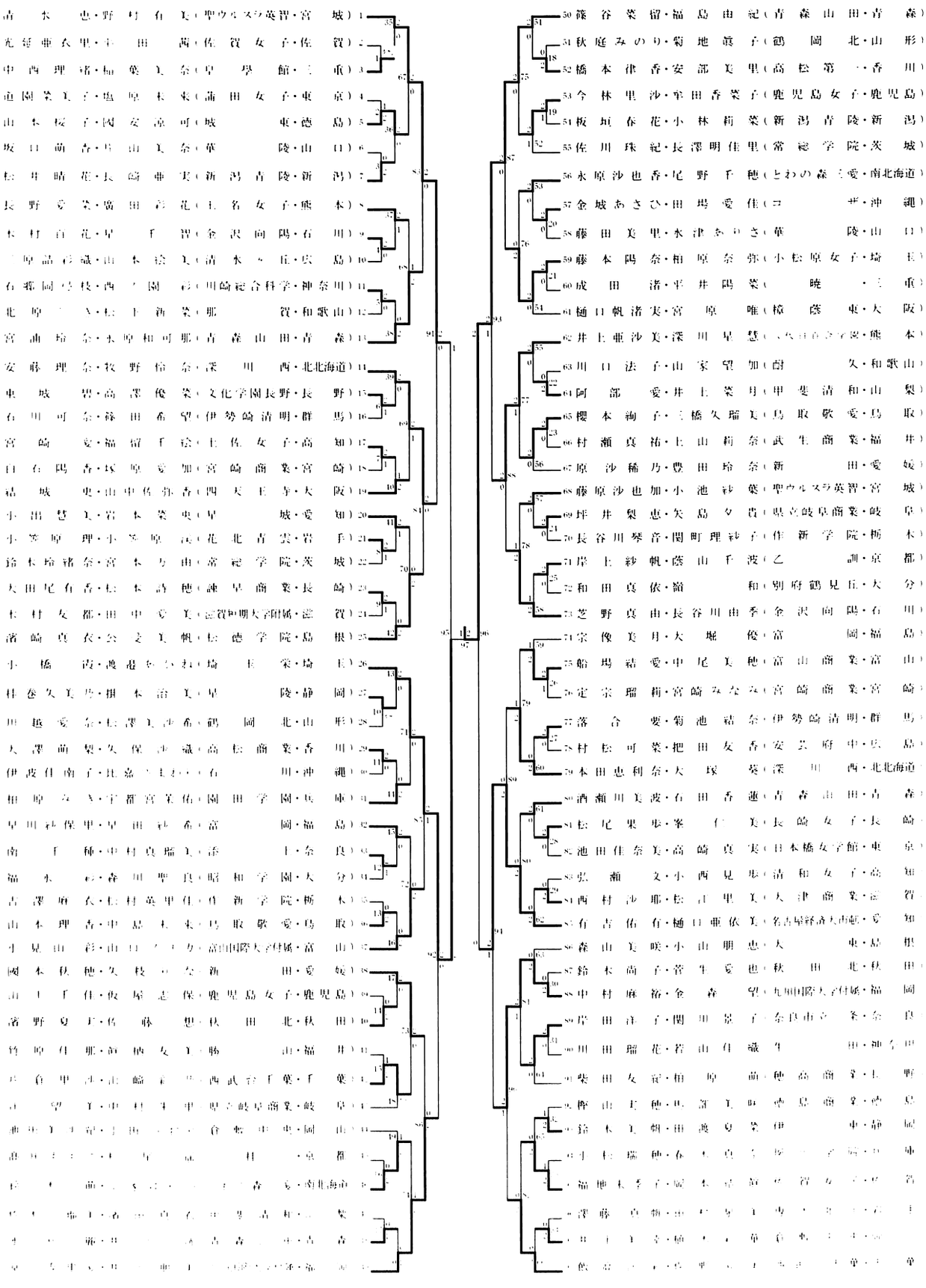
【女子団体】


聖ウルスラ学院英智（宮　城）
華　陵（山　口）
耐　久（和歌山）
とわの森三愛（南北海道）
常総学院（茨　城）
鹿児島（鹿児島）
城　東（徳　島）
岡崎城西（愛　知）
佐賀女子（佐　賀）
作新学院（栃　木）
乙　訓（京　都）
新潟青陵（新　潟）
松徳学院（島　根）
樟蔭東（大　阪）
甲斐清和（山　梨）
土佐女子（高　知）
秋田北（秋　田）
昭和学園（大　分）
富山商業（富　山）
弘前学院聖愛（青　森）
皇學館（三　重）
玉名女子（熊　本）
清水ヶ丘（広　島）
前　沢（岩　手）
埼玉栄（埼　玉）
富　岡（福　島）
新　田（愛　媛）
富士宮北（静　岡）
鳥取敬愛（鳥　取）
諫早商業（長　崎）
西武台千葉（千　葉）
深　川西（北北海道）
勝　山（福　井）
大津商業（滋　賀）
伊勢崎清明（群　馬）
鶴　岡北（山　形）
九州国際大学付属（福　岡）
金沢向陽（石　川）
宮崎商業（宮　崎）
倉敷中央（岡　山）
添　上（奈　良）
蒲田女子（東　京）
高松商業（香　川）
園田学園（兵　庫）
文化学園長野（長　野）
県立岐阜商業（岐　阜）
コ　ザ（沖　縄）
川崎総合科学（神奈川）
青森山田（青　森）

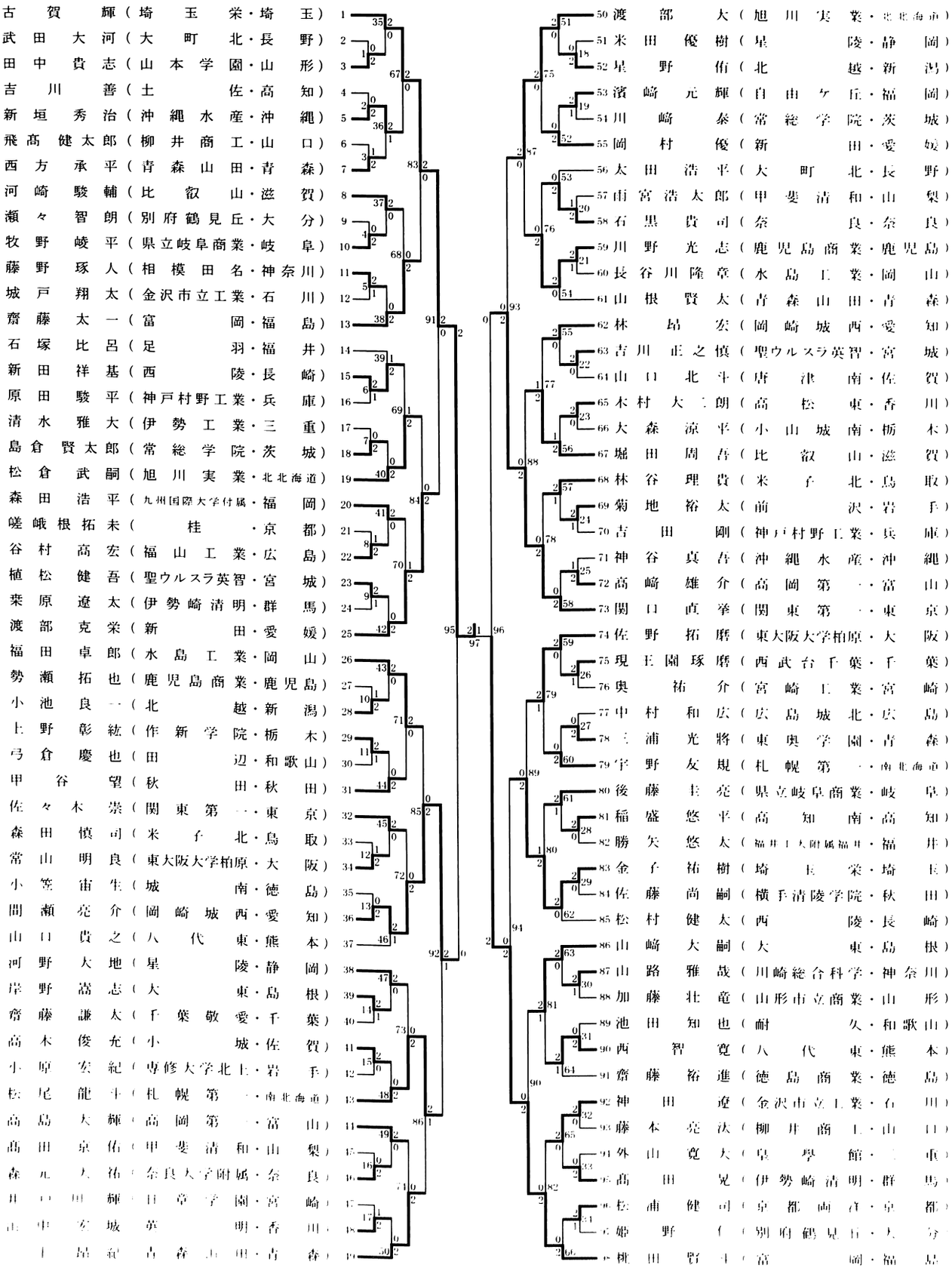
【男子ダブルス】



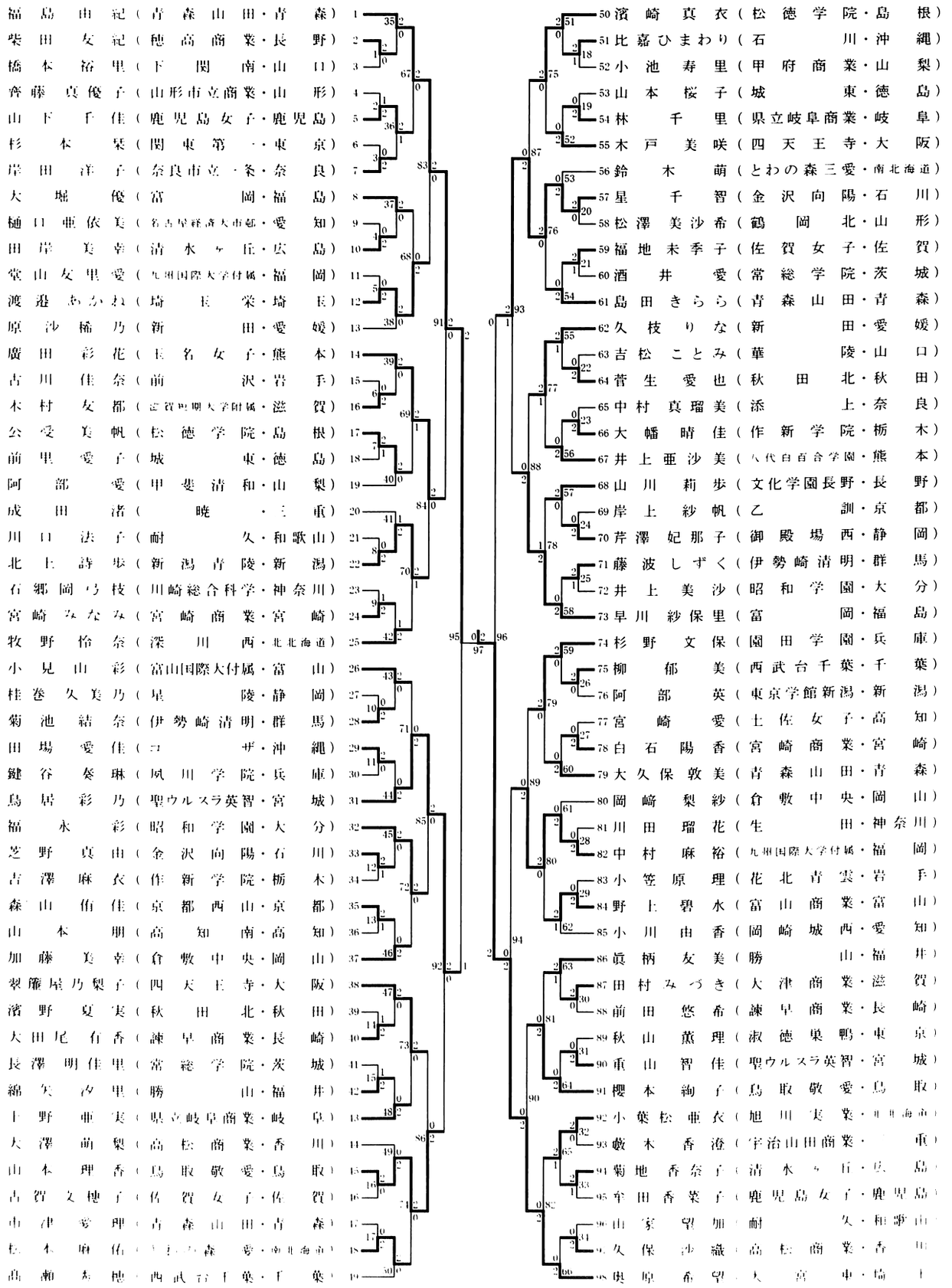
【女子ダブルス】



【男子シングルス】


古賀 輝（埼玉栄・埼玉）
武田大河（大町北・長野）
田中貴志（山本学園・山形）
吉川 善（土佐・高知）
新垣秀治（沖縄水産・沖縄）
飛高健太郎（柳井商工・山口）
西方承平（青森山田・青森）
河崎駿輔（比叡山・滋賀）
瀬々智朗（別府鶴見丘・大分）
牧野崚平（県立岐阜商業・岐阜）
藤野琢人（相模田名・神奈川）
城戸翔太（金沢市立工業・石川）
齋藤太一（富岡・福島）
石塚比呂（足羽・福井）
新田祥基（西陵・長崎）
原田駿平（神戸村野工業・兵庫）
清水雅大（伊勢工業・三重）
島倉賢太郎（常総学院・茨城）
松倉武嗣（旭川実業・北北海道）
森田浩平（九州国際大学付属・福岡）
嵯峨根拓未（桂・京都）
谷村高宏（福山工業・広島）
植松健吾（聖ウルスラ英智・宮城）
栗原遼太（伊勢崎清明・群馬）
渡部克栄（新田・愛媛）
福田卓郎（水島工業・岡山）
勢瀬拓也（鹿児島商業・鹿児島）
小池良一（北越・新潟）
上野彰紘（作新学院・栃木）
弓倉慶也（田辺・和歌山）
甲谷望（秋田・秋田）
佐々木崇（関東第一・東京）
森田慎司（米子北・鳥取）
常山明良（東大阪大学柏原・大阪）
小笠宙生（城南・徳島）
間瀬亮介（岡崎城西・愛知）
山口貴之（八代東・熊本）
河野大地（星陵・静岡）
岸野嵩志（大東・島根）
齋藤謙太（千葉敬愛・千葉）
高木俊允（小城・佐賀）
小原宏紀（専修大学北上・岩手）
松尾龍斗（札幌第一・南北海道）
高島大輝（高岡第一・富山）
畠田京佑（甲斐清和・山梨）
森元大祐（奈良大学附属・奈良）
井口田輝（日章学園・宮崎）
上甲玄城英明（香川）
十島紘（青森山田・青森）
渡部大（旭川実業・北北海道）
米田優樹（星陵・静岡）
星野侑（北越・新潟）
濱崎元輝（自由ケ丘・福岡）
川崎泰（常総学院・茨城）
岡村優（新田・愛媛）
太田浩平（大町北・長野）
雨宮浩太郎（甲斐清和・山梨）
石黒貴司（奈良・奈良）
川野光志（鹿児島商業・鹿児島）
長谷川隆章（水島工業・岡山）
山根賢太（青森山田・青森）
林晶宏（岡崎城西・愛知）
吉川正之慎（聖ウルスラ英智・宮城）
山口北斗（唐津南・佐賀）
木村大二朗（高松東・香川）
大森涼平（小山城南・栃木）
堀田周吾（比叡山・滋賀）
林谷理貴（米子北・鳥取）
菊地裕太（前沢・岩手）
吉田剛（神戸村野工業・兵庫）
神谷真吾（沖縄水産・沖縄）
高崎雄介（高岡第一・富山）
関口直拳（関東第一・東京）
佐野拓磨（東大阪大学柏原・大阪）
現王園琢磨（西武台千葉・千葉）
奥祐介（宮崎工業・宮崎）
中村和広（広島城北・広島）
三浦光将（東奥学園・青森）
宇野友規（札幌第一・南北海道）
後藤圭亮（県立岐阜商業・岐阜）
稲盛悠平（高知南・高知）
勝矢悠太（福井工大附属福井・福井）
金子祐樹（埼玉栄・埼玉）
佐藤尚嗣（横手清陵学院・秋田）
松村健太（西陵・長崎）
山崎大嗣（大東・島根）
山路雅哉（川崎総合科学・神奈川）
加藤壮竜（山形市立商業・山形）
池田知也（耐久・和歌山）
西智寛（八代東・熊本）
齋藤裕進（徳島商業・徳島）
神田遼（金沢市立工業・石川）
藤本亮汰（柳井商工・山口）
外山寛大（皇學館・三重）
畠田晃（伊勢崎清明・群馬）
松浦健司（京都両洋・京都）
姫野仁（別府鶴見丘・大分）
桃田賢斗（富岡・福島）

【女子シングルス】


福島由紀（青森山田・青森）1
柴田友紀（穂高商業・長野）2
橋本裕里（下関南・山口）3
齊藤真優子（山形市立商業・山形）4
山下千佳（鹿児島女子・鹿児島）5
杉本葉（関東第一・東京）6
岸田洋子（奈良市立一条・奈良）7
大堀優（富岡・福島）8
樋口亜依美（名古屋経済大市邨・愛知）9
田岸美幸（清水ヶ丘・広島）10
堂山友里愛（九州国際大学付属・福岡）11
渡邉あかね（埼玉栄・埼玉）12
原沙楠乃（新田・愛媛）13
廣田彩花（玉名女子・熊本）14
吉川佳奈（前沢・岩手）15
木村友都（近畿大学附属・滋賀）16
公受美帆（松徳学院・島根）17
前里愛子（城東・徳島）18
阿部愛（甲斐清和・山梨）19
成田渚（暁・三重）20
川口法子（耐久・和歌山）21
北上詩歩（新潟青陵・新潟）22
石郷岡弓枝（川崎総合科学・神奈川）23
宮崎みなみ（宮崎商業・宮崎）24
牧野怜奈（深川西・北北海道）25
小見山彩（富山国際大付属・富山）26
桂巻久美乃（星陵・静岡）27
菊池結奈（伊勢崎清明・群馬）28
田場愛佳（コザ・沖縄）29
鍵谷奏琳（凰川学院・兵庫）30
鳥居彩乃（聖ウルスラ英智・宮城）31
福永彩（昭和学園・大分）32
芝野真由（金沢向陽・石川）33
吉澤麻衣（作新学院・栃木）34
森山侑佳（京都西山・京都）35
山本朋（高知南・高知）36
加藤美幸（倉敷中央・岡山）37
梨籠屋乃梨子（四天王寺・大阪）38
渚野夏実（秋田北・秋田）39
大田尾有香（諫早商業・長崎）40
長澤明佳里（常総学院・茨城）41
綿矢汐里（勝山・福井）42
土野亜実（県立岐阜商業・岐阜）43
大澤萌梨（高松商業・香川）44
山本理香（鳥取敬愛・鳥取）45
古賀文穂子（佐賀女子・佐賀）46
市津愛理（青森山田・青森）47
松木唯佑（[illegible]森・南北海道）48
畠瀬志穂（西武台千葉・千葉）49
濱崎真衣（松徳学院・島根）50
比嘉ひまわり（石川・沖縄）51
小池寿里（甲府商業・山梨）52
山本桜子（城東・徳島）53
林千里（県立岐阜商業・岐阜）54
木戸美咲（四天王寺・大阪）55
鈴木萌（とわの森三愛・南北海道）56
星千智（金沢向陽・石川）57
松澤美沙希（鶴岡北・山形）58
福地未季子（佐賀女子・佐賀）59
酒井愛（常総学院・茨城）60
島田きらら（青森山田・青森）61
久枝りな（新田・愛媛）62
吉松ことみ（華陵・山口）63
菅生愛也（秋田北・秋田）64
中村真瑠美（添上・奈良）65
大幡晴佳（作新学院・栃木）66
井上亜沙美（八代白百合学園・熊本）67
山川莉歩（文化学園長野・長野）68
岸上紗帆（乙訓・京都）69
芹澤妃那子（御殿場西・静岡）70
藤波しずく（伊勢崎清明・群馬）71
井上美沙（昭和学園・大分）72
早川紗保里（富岡・福島）73
杉野文保（園田学園・兵庫）74
柳郁美（西武台千葉・千葉）75
阿部英（東京学館新潟・新潟）76
宮崎愛（土佐女子・高知）77
白石陽香（宮崎商業・宮崎）78
大久保敦美（青森山田・青森）79
岡崎梨紗（倉敷中央・岡山）80
川田瑠花（生田・神奈川）81
中村麻裕（九州国際大学付属・福岡）82
小笠原理（花北青雲・岩手）83
野上碧水（富山商業・富山）84
小川由香（岡崎城西・愛知）85
眞栖友美（勝山・福井）86
田村みづき（大津商業・滋賀）87
前田悠希（諫早商業・長崎）88
秋山薫理（淑徳巣鴨・東京）89
重山智佳（聖ウルスラ英智・宮城）90
櫻本絢子（鳥取敬愛・鳥取）91
小葉松亜衣（旭川実業・北北海道）92
嶽木香澄（宇治山田商業・三重）93
菊地香奈子（清水ヶ丘・広島）94
辛田香菜子（鹿児島女子・鹿児島）95
山家望加（耐久・和歌山）96
久保沙織（高松商業・香川）97
奥原希望（大宮・埼玉）98

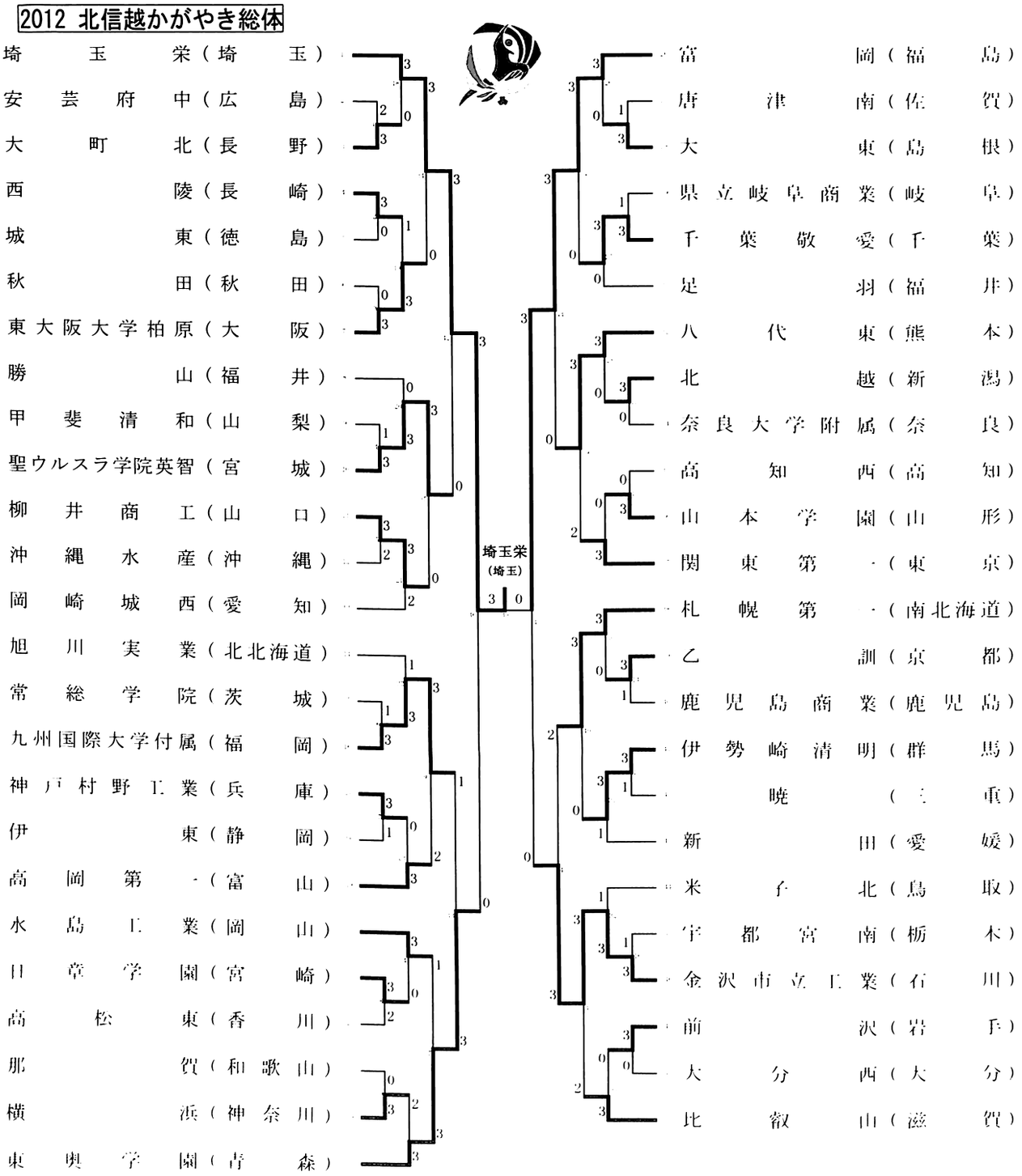
第63回全国高等学校バドミントン選手権大会（2012年度）

期　日▶平成24年８月１日（水）～６日（月）
会　場▶福井県営体育館・福井市体育館・北陸電力福井体育館「フレア」
　　永平寺緑の村ふれあいセンター

【 男 子 団 体 】

君は今 希望とともに 緑の大地をかけぬけろ

2012 北信越かがやき総体



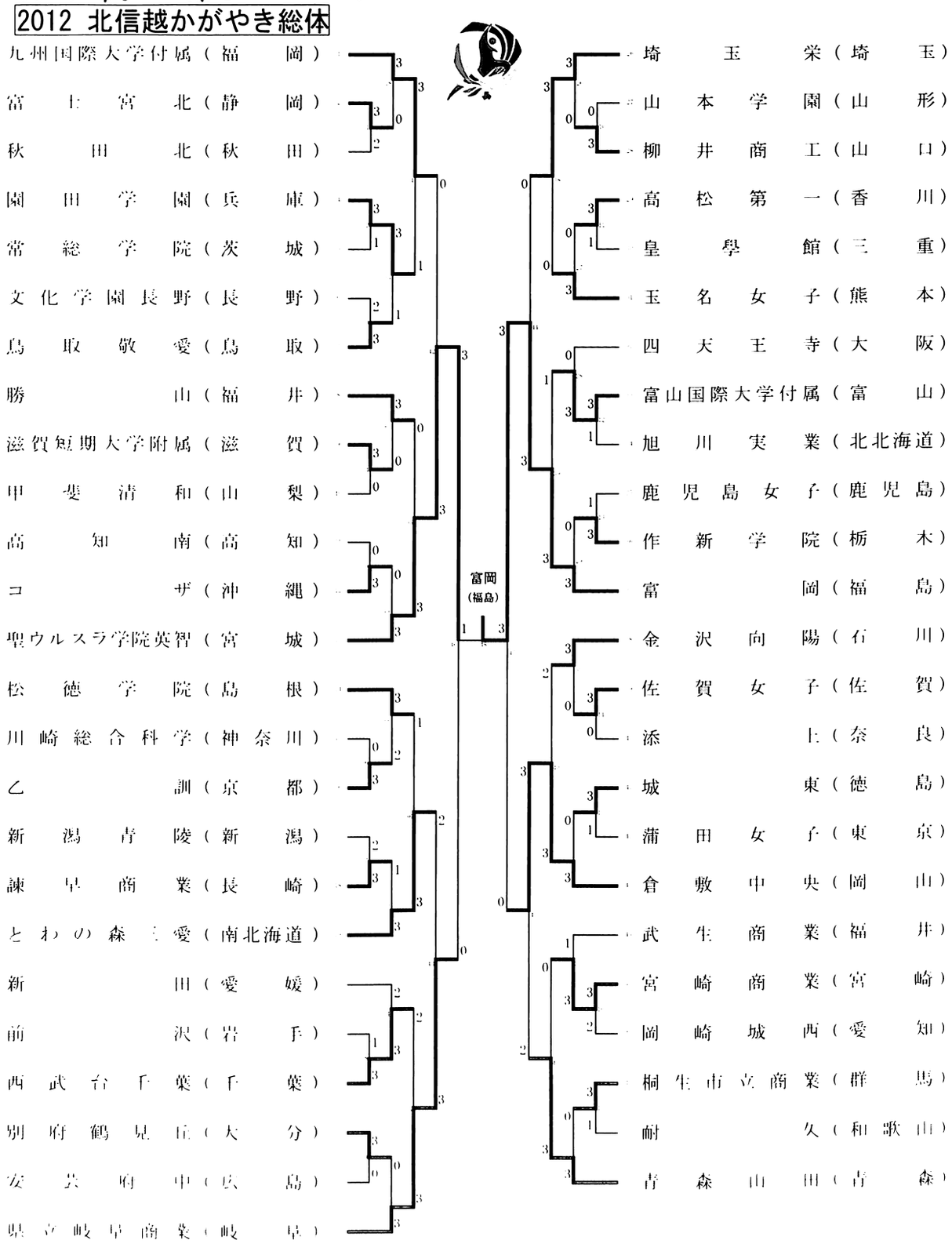
埼玉栄（埼玉）
安芸府中（広島）
大町北（長野）
西陵（長崎）
城東（徳島）
秋田（秋田）
東大阪大学柏原（大阪）
勝山（福井）
甲斐清和（山梨）
聖ウルスラ学院英智（宮城）
柳井商工（山口）
沖縄水産（沖縄）
岡崎城西（愛知）
旭川実業（北北海道）
常総学院（茨城）
九州国際大学付属（福岡）
神戸村野工業（兵庫）
伊東（静岡）
高岡第一（富山）
水島工業（岡山）
日章学園（宮崎）
高松東（香川）
那賀（和歌山）
横浜（神奈川）
東奥学園（青森）

富岡（福島）
唐津南（佐賀）
大東（島根）
県立岐阜商業（岐阜）
千葉敬愛（千葉）
足羽（福井）
八代東（熊本）
北越（新潟）
奈良大学附属（奈良）
高知西（高知）
山本学園（山形）
関東第一（東京）
札幌第一（南北海道）
乙訓（京都）
鹿児島商業（鹿児島）
伊勢崎清明（群馬）
暁（三重）
新田（愛媛）
米子北（鳥取）
宇都宮南（栃木）
金沢市立工業（石川）
前沢（岩手）
大分西（大分）
比叡山（滋賀）

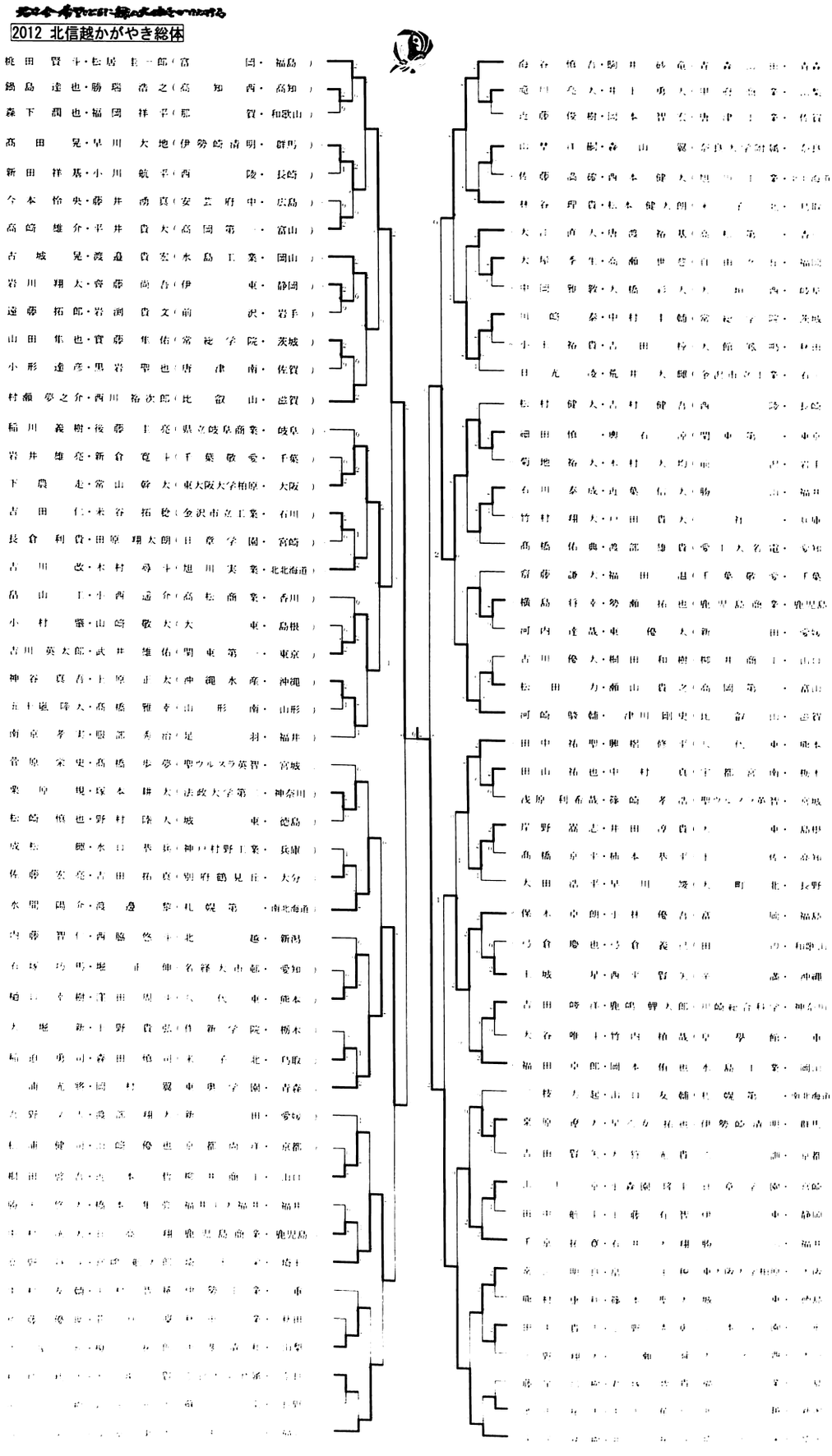
【女子団体】

君は今 希望とともに緑の大地をかけぬける

2012 北信越かがやき総体

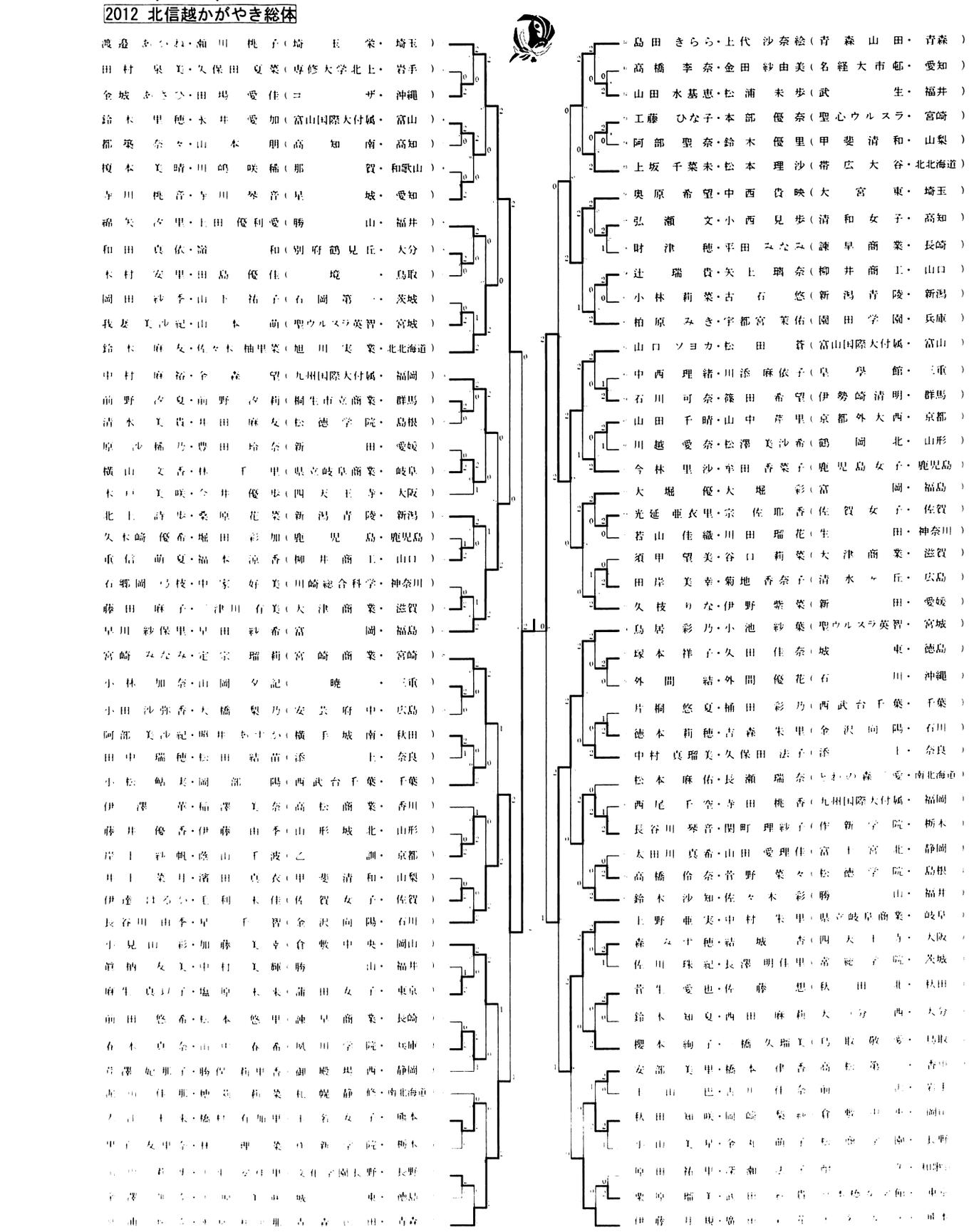


【男子ダブルス】

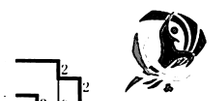


【女子ダブルス】

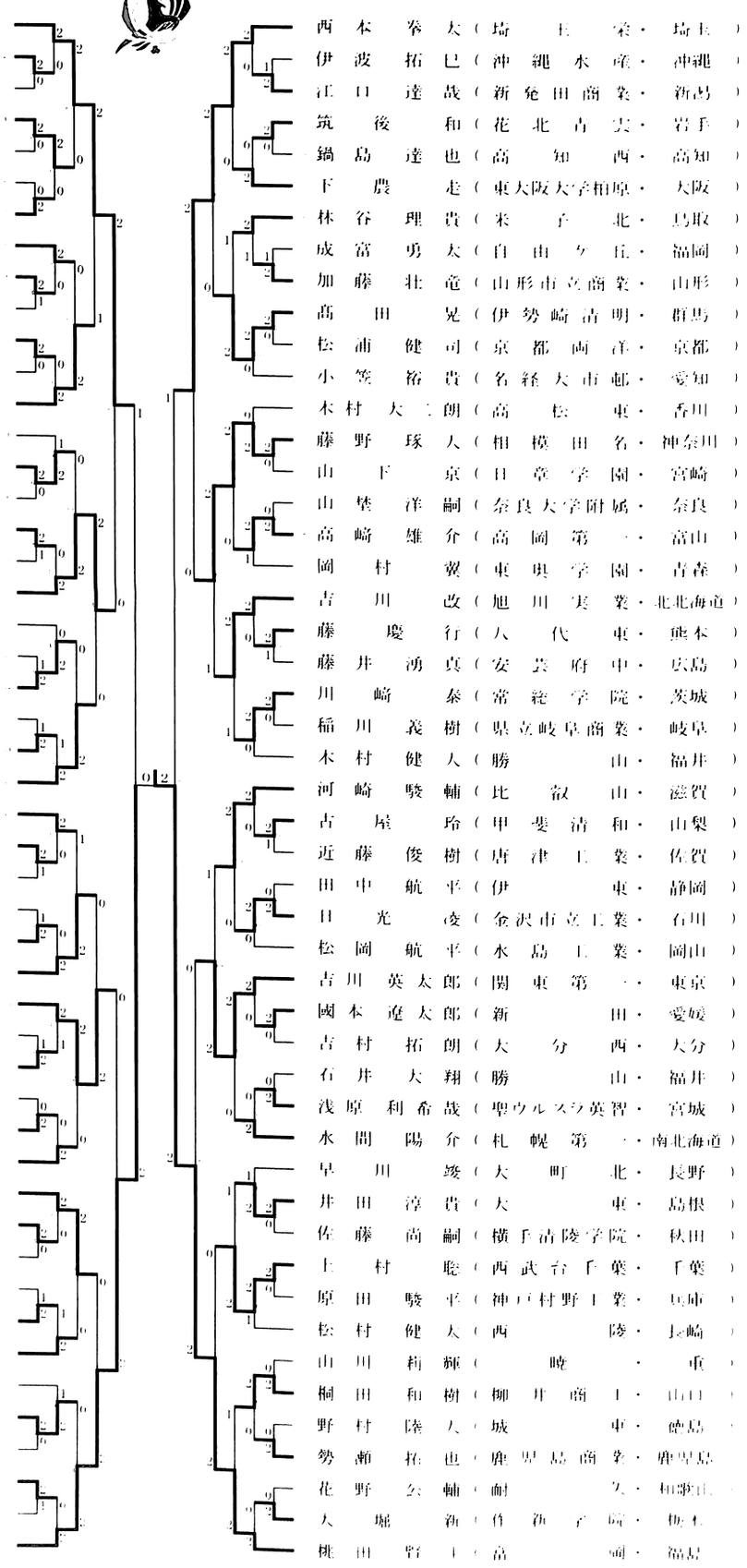
2012 北信越かがやき総体



【男子シングルス】



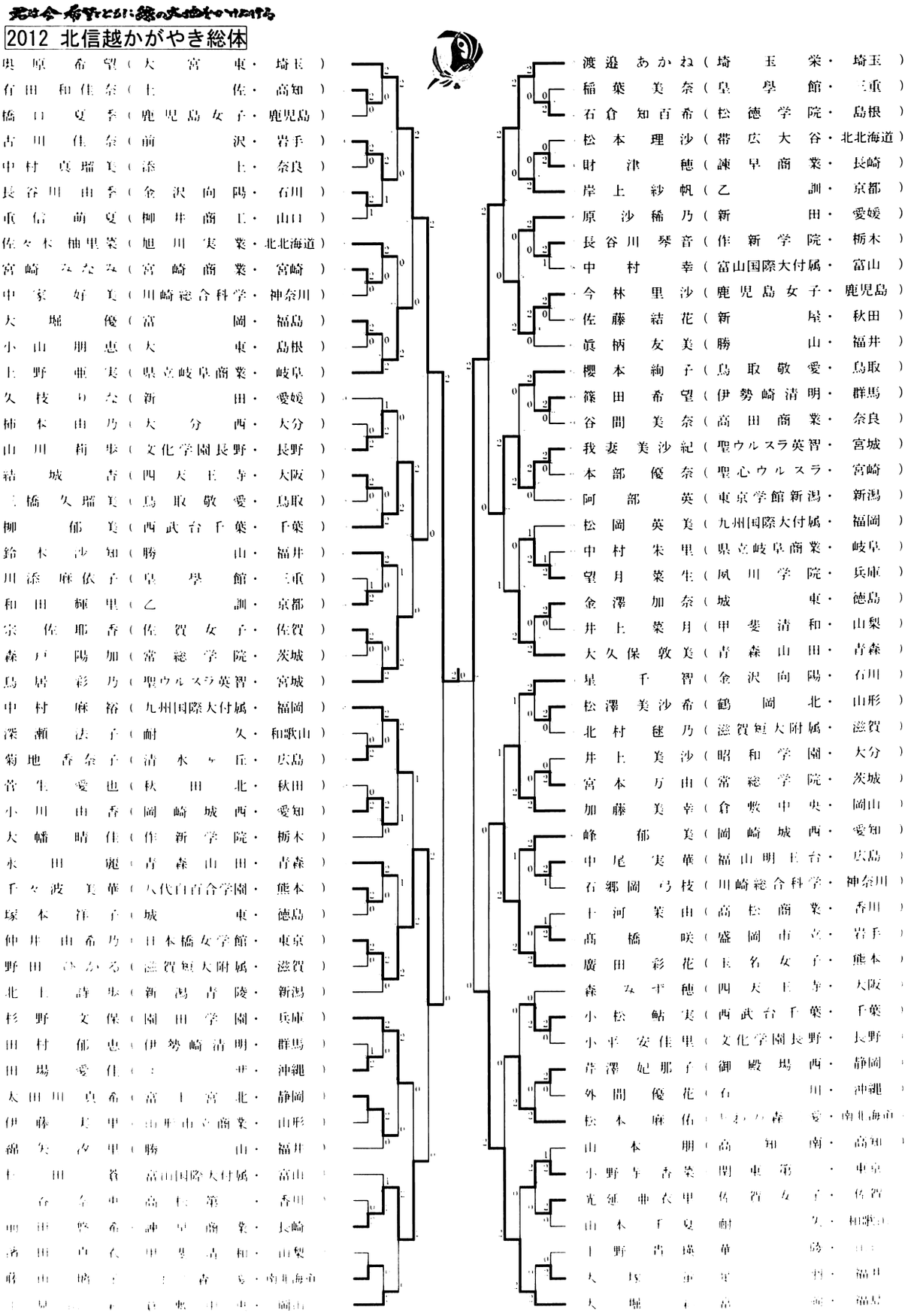
2012 北信越かがやき総体



井上拓斗（埼玉栄・埼玉）
濱岡航平（津・三重）
松崎慎也（城東・徳島）
神谷真吾（沖縄水産・沖縄）
菅原拓海（聖和学園・宮城）
林健太（呉三津田・広島）
勝矢悠太（福井工大福井・福井）
溝口祐太（旭川実業・北北海道）
岸野嵩志（大東・島根）
田山祐也（宇都宮南・栃木）
原口拓巳（自由ケ丘・福岡）
太田浩平（大町北・長野）
常山明良（東大阪大学柏原・大阪）
遠藤貴裕（北越・新潟）
栗原遼太（伊勢崎清明・群馬）
弓倉慶也（田辺・和歌山）
桐田啓吾（柳井商工・山口）
菊地裕太（前沢・岩手）
新田祥基（西陵・長崎）
大江直人（高松第一・香川）
齋藤謙太（千葉敬愛・千葉）
水口恭兵（神戸村野工業・兵庫）
佐藤宏亮（別府鶴見丘・大分）
田中貴志（山本学園・山形）
後藤圭亮（県立岐阜商業・岐阜）
福田卓郎（水島工業・岡山）
細田慎二（関東第一・東京）
佐々木秋星（秋田・秋田）
稲盛悠平（高知南・高知）
小森園隆平（日章学園・宮崎）
宮雄大（比叡山・滋賀）
荒井大輝（金沢市立工業・石川）
大狩光貴（乙訓・京都）
島倉賢太郎（常総学院・茨城）
川音勇稀（青森山田・青森）
北村元人（岡崎城西・愛知）
西智寛（八代東・熊本）
服部秀治（足羽・福井）
佐本健太朗（米子北・鳥取）
森山翼（奈良大学附属・奈良）
小形達彦（唐津南・佐賀）
吉田峻洋（川崎総合科学・神奈川）
渡部翔大（新田・愛媛）
渡邊智（札幌第一・南北海道）
横島拓幸（鹿児島商業・鹿児島）
西原直静（高岡第一・富山）
梶山拓郎（甲斐清和・山梨）
上田耕介（科学技術・静岡）
土林優介（高岡・福井）

西本拳太（埼玉栄・埼玉）
伊波拓巳（沖縄水産・沖縄）
江口達哉（新発田商業・新潟）
筑後和（花北青雲・岩手）
鍋島達也（高知西・高知）
下農走（東大阪大学柏原・大阪）
林谷理貴（米子北・鳥取）
成富勇太（自由ケ丘・福岡）
加藤壮竜（山形市立商業・山形）
髙田晃（伊勢崎清明・群馬）
松浦健司（京都両洋・京都）
小笠裕貴（名経大市邨・愛知）
木村大二朗（高松東・香川）
藤野琢人（相模田名・神奈川）
山下京（日章学園・宮崎）
山埜洋嗣（奈良大学附属・奈良）
高崎雄介（高岡第一・富山）
岡村翼（東奥学園・青森）
吉川改（旭川実業・北北海道）
藤慶行（八代東・熊本）
藤井勇真（安芸府中・広島）
川崎泰（常総学院・茨城）
稲川義樹（県立岐阜商業・岐阜）
木村健人（勝山・福井）
河崎駿輔（比叡山・滋賀）
古屋玲（甲斐清和・山梨）
近藤俊樹（唐津工業・佐賀）
田中航平（伊東・静岡）
日光凌（金沢市立工業・石川）
松岡航平（水島工業・岡山）
吉川英太郎（関東第一・東京）
國本遼太郎（新田・愛媛）
吉村拓朗（大分西・大分）
石井大翔（勝山・福井）
浅原利希哉（聖ウルスラ英智・宮城）
水間陽介（札幌第一・南北海道）
早川竣（大町北・長野）
井田淳貴（大東・島根）
佐藤尚嗣（横手清陵学院・秋田）
上村聡（西武台千葉・千葉）
原田駿平（神戸村野工業・兵庫）
松村健太（西陵・長崎）
山川莉輝（暁・三重）
桐田和樹（柳井商工・山口）
野村陸人（城東・徳島）
勢瀬拓也（鹿児島商業・鹿児島）
花野公輔（耐久・和歌山）
大堀渉（佐賀子ども・佐賀）
桃田賢斗（高岡・福井）

【女子シングルス】


2012 北信越かがやき総体
奥原希望（大宮東・埼玉）
有田和佳奈（土佐・高知）
橋口夏季（鹿児島女子・鹿児島）
吉川佳奈（前沢・岩手）
中村真瑞美（添上・奈良）
長谷川由季（金沢向陽・石川）
重信萌夏（柳井商工・山口）
佐々木柚里菜（旭川実業・北北海道）
宮崎ななみ（宮崎商業・宮崎）
中家好美（川崎総合科学・神奈川）
大堀優（富岡・福島）
小山朋恵（大東・島根）
上野亜実（県立岐阜商業・岐阜）
久枝りな（新田・愛媛）
柿本由乃（大分西・大分）
山川莉歩（文化学園長野・長野）
結城杏（四天王寺・大阪）
二橋久瑞美（鳥取敬愛・鳥取）
柳郁美（西武台千葉・千葉）
鈴木沙知（勝山・福井）
川添麻依子（皇學館・三重）
和田輝里（乙訓・京都）
宗佐耶香（佐賀女子・佐賀）
森戸陽加（常総学院・茨城）
鳥居彩乃（聖ウルスラ英智・宮城）
中村麻裕（九州国際大付属・福岡）
深瀬志子（耐久・和歌山）
菊地香奈子（清水ヶ丘・広島）
菅生愛也（秋田北・秋田）
小川由香（岡崎城西・愛知）
大幡晴佳（作新学院・栃木）
永田麗（青森山田・青森）
千々波美華（八代白百合学園・熊本）
塚本洋子（城東・徳島）
仲井由希乃（日本橋女学館・東京）
野田ひかる（滋賀短大附属・滋賀）
北上詩歩（新潟青陵・新潟）
杉野文保（園田学園・兵庫）
田村郁恵（伊勢崎清明・群馬）
田場愛佳（[illegible]・沖縄）
太田川真希（富士宮北・静岡）
伊藤美里（山形中央商業・山形）
福矢夕里（勝山・福井）
[illegible]（富山国際大付属・富山）
[illegible]（高松第一・香川）
[illegible]（神早商業・長崎）
[illegible]（甲斐吉和・山梨）
[illegible]（青森・南北海道）
[illegible]（倉敷中央・岡山）
渡邉あかね（埼玉栄・埼玉）
稲葉美奈（皇學館・三重）
石倉知百希（松徳学院・島根）
松本理沙（帯広大谷・北北海道）
財津穂（諫早商業・長崎）
岸上紗帆（乙訓・京都）
原沙稀乃（新田・愛媛）
長谷川琴音（作新学院・栃木）
中村幸（富山国際大付属・富山）
今林里沙（鹿児島女子・鹿児島）
佐藤結花（新屋・秋田）
眞柄友美（勝山・福井）
櫻本絢子（鳥取敬愛・鳥取）
篠田希望（伊勢崎清明・群馬）
谷間美奈（高田商業・奈良）
我妻美沙紀（聖ウルスラ英智・宮城）
本部優奈（聖心ウルスラ・宮崎）
阿部英（東京学館新潟・新潟）
松岡英美（九州国際大付属・福岡）
中村朱里（県立岐阜商業・岐阜）
望月菜生（凰川学院・兵庫）
金澤加奈（城東・徳島）
井上菜月（甲斐清和・山梨）
大久保敦美（青森山田・青森）
星千智（金沢向陽・石川）
松澤美沙希（鶴岡北・山形）
北村毬乃（滋賀短大附属・滋賀）
井上美沙（昭和学園・大分）
宮本万由（常総学院・茨城）
加藤美幸（倉敷中央・岡山）
峰郁美（岡崎城西・愛知）
中尾実華（福山明王台・広島）
石郷岡弓枝（川崎総合科学・神奈川）
十河茉由（高松商業・香川）
髙橋咲（盛岡市立・岩手）
廣田彩花（玉名女子・熊本）
森ななほ（四天王寺・大阪）
小松鮎実（西武台千葉・千葉）
小平安佳里（文化学園長野・長野）
岸澤妃那子（御殿場西・静岡）
外間優花（石川・沖縄）
松本麻佑（[illegible]・南北海道）
山本朋（高知南・高知）
小野寺杏菜（関東第一・東京）
[illegible]（佐賀女子・佐賀）
山本千夏（耐久・和歌山）
[illegible]（[illegible]・[illegible]）
[illegible]（[illegible]・福井）
[illegible]（[illegible]・福島）

第64回全国高等学校バドミントン選手権大会（2013年度）

期　日▶平成25年８月６日（火）～11日（日）
会　場▶北九州市立総合体育館・北九州メディアドーム

【 男 子 団 体 】

2013　未来をつなぐ北部九州総体

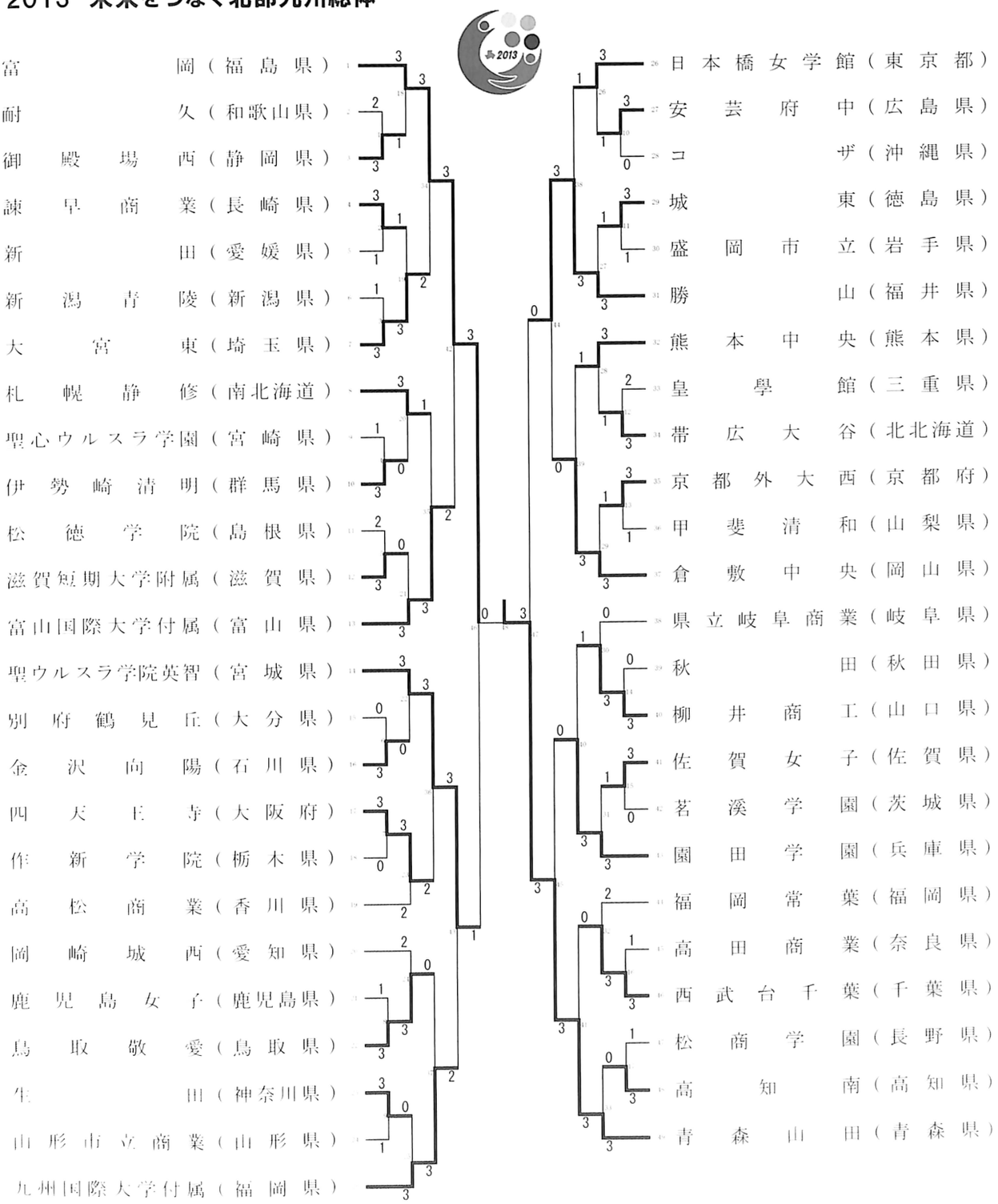


埼玉栄（埼玉県）
安芸府中（広島県）
新翔（和歌山県）
旭川実業（北北海道）
前沢（岩手県）
大分西（大分県）
高松東（香川県）
聖ウルスラ学院英智（宮城県）
県立岐阜商業（岐阜県）
高岡第一（富山県）
米子北（鳥取県）
横浜（神奈川県）
八代東（熊本県）
金沢市立工業（石川県）
奈良大学附属（奈良県）
唐津南（佐賀県）
青森山田（青森県）
伊勢崎清明（群馬県）
自由ケ丘（福岡県）
水島工業（岡山県）
西武台千葉（千葉県）
暁（三重県）
高知西（高知県）
鹿児島工業（鹿児島県）
比叡山（滋賀県）

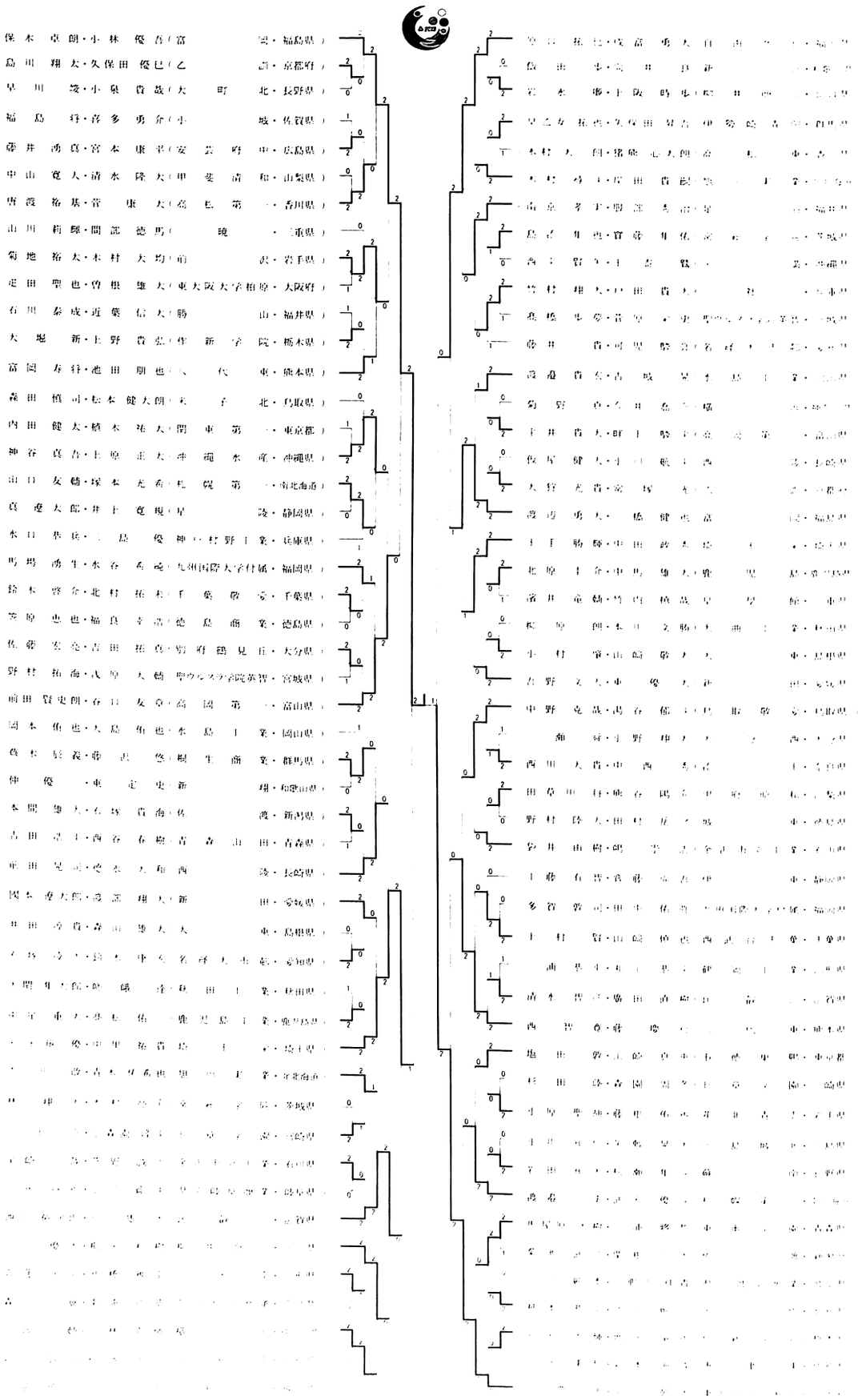
東大阪大学柏原（大阪府）
甲斐清和（山梨県）
秋田（秋田県）
柳井商工（山口県）
日章学園（宮崎県）
勝山（福井県）
名経大市邨（愛知県）
常総学院（茨城県）
乙訓（京都府）
山形南（山形県）
徳島商業（徳島県）
九州国際大学付属（福岡県）
札幌第一（南北海道）
作新学院（栃木県）
沖縄水産（沖縄県）
北越（新潟県）
神戸村野工業（兵庫県）
新田（愛媛県）
淑徳巣鴨（東京都）
蘇南（長野県）
西陵（長崎県）
大東（島根県）
星陵（静岡県）
富岡（福島県）

【女子団体】

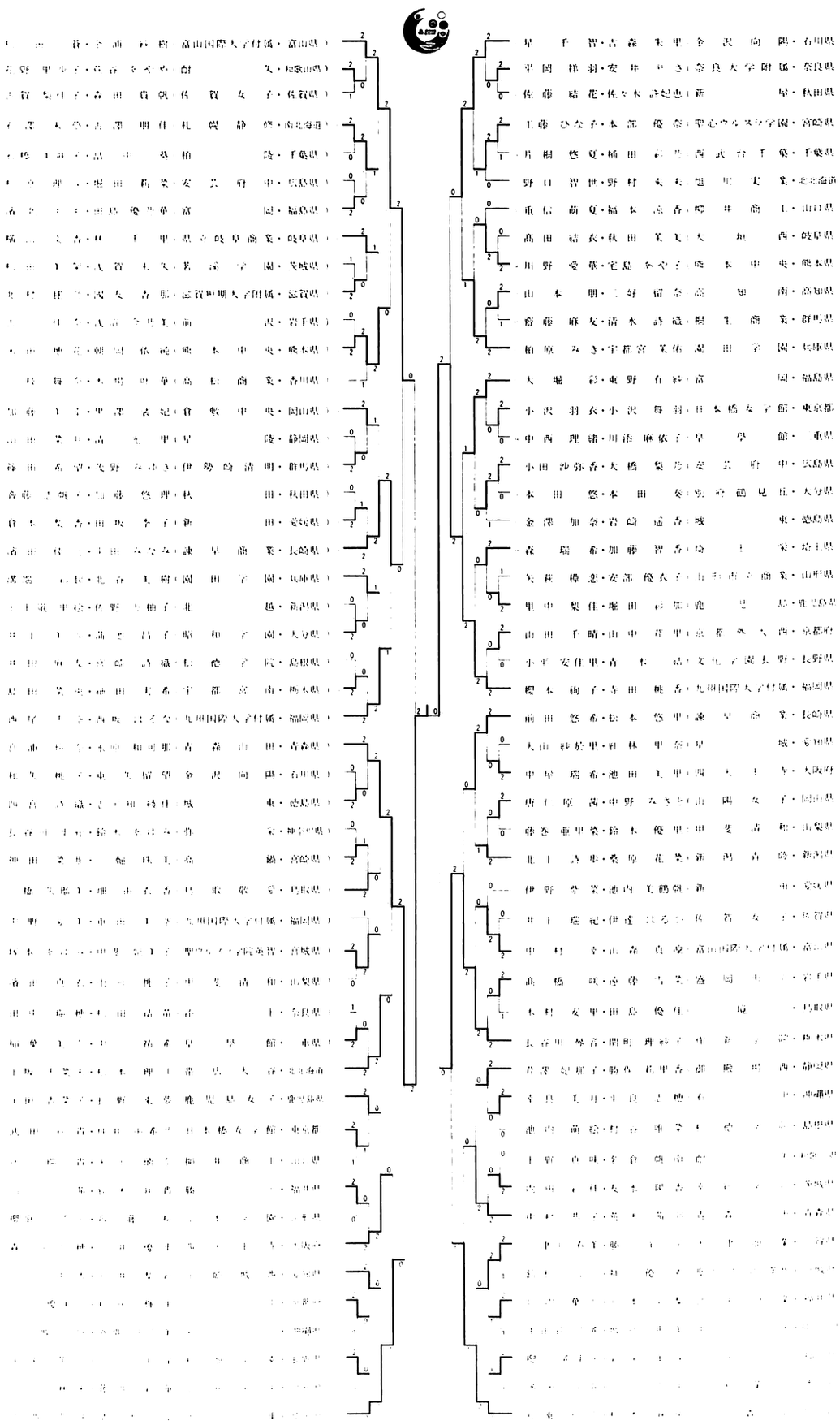
2013 未来をつなぐ北部九州総体



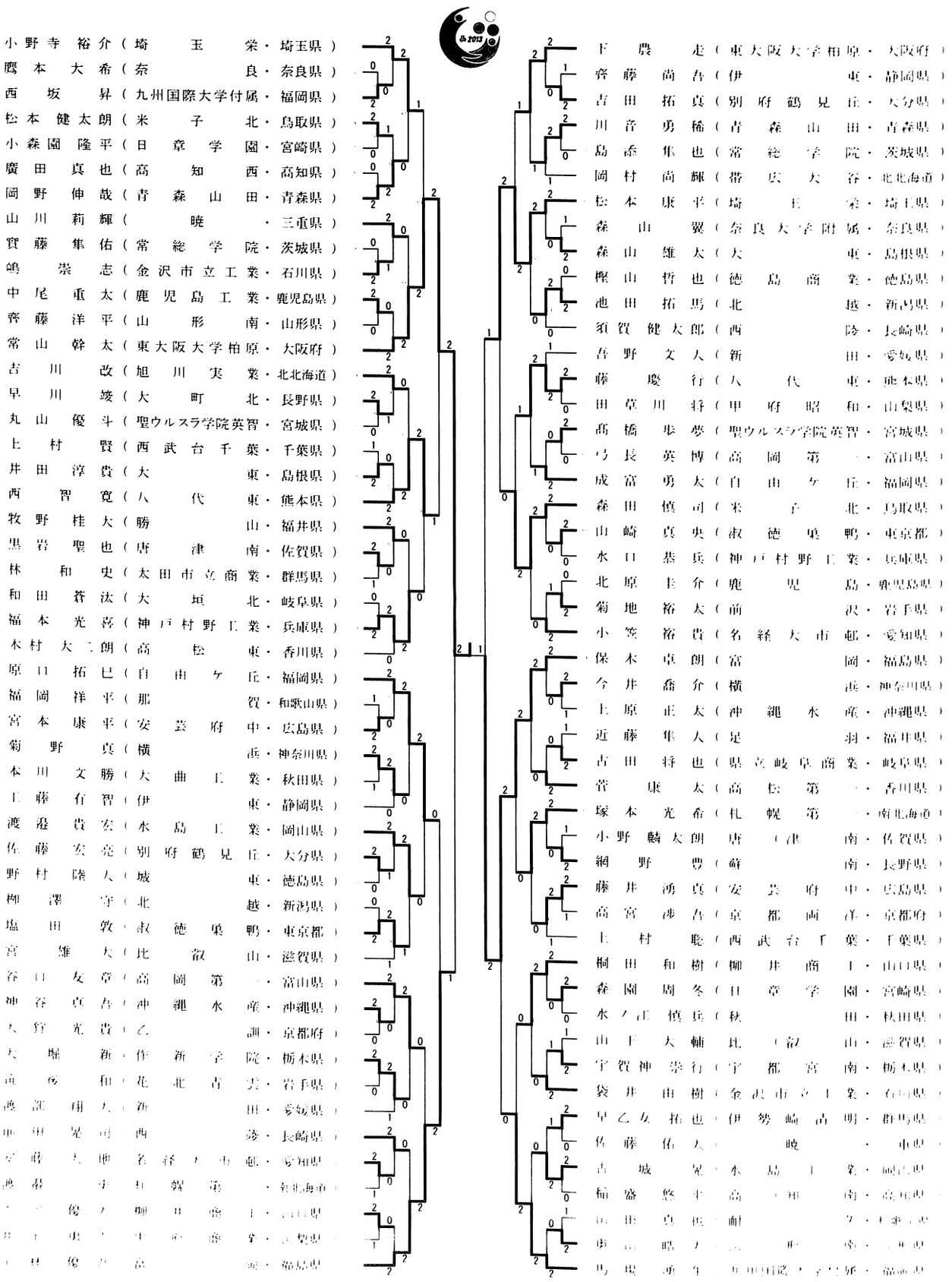
【男子ダブルス】



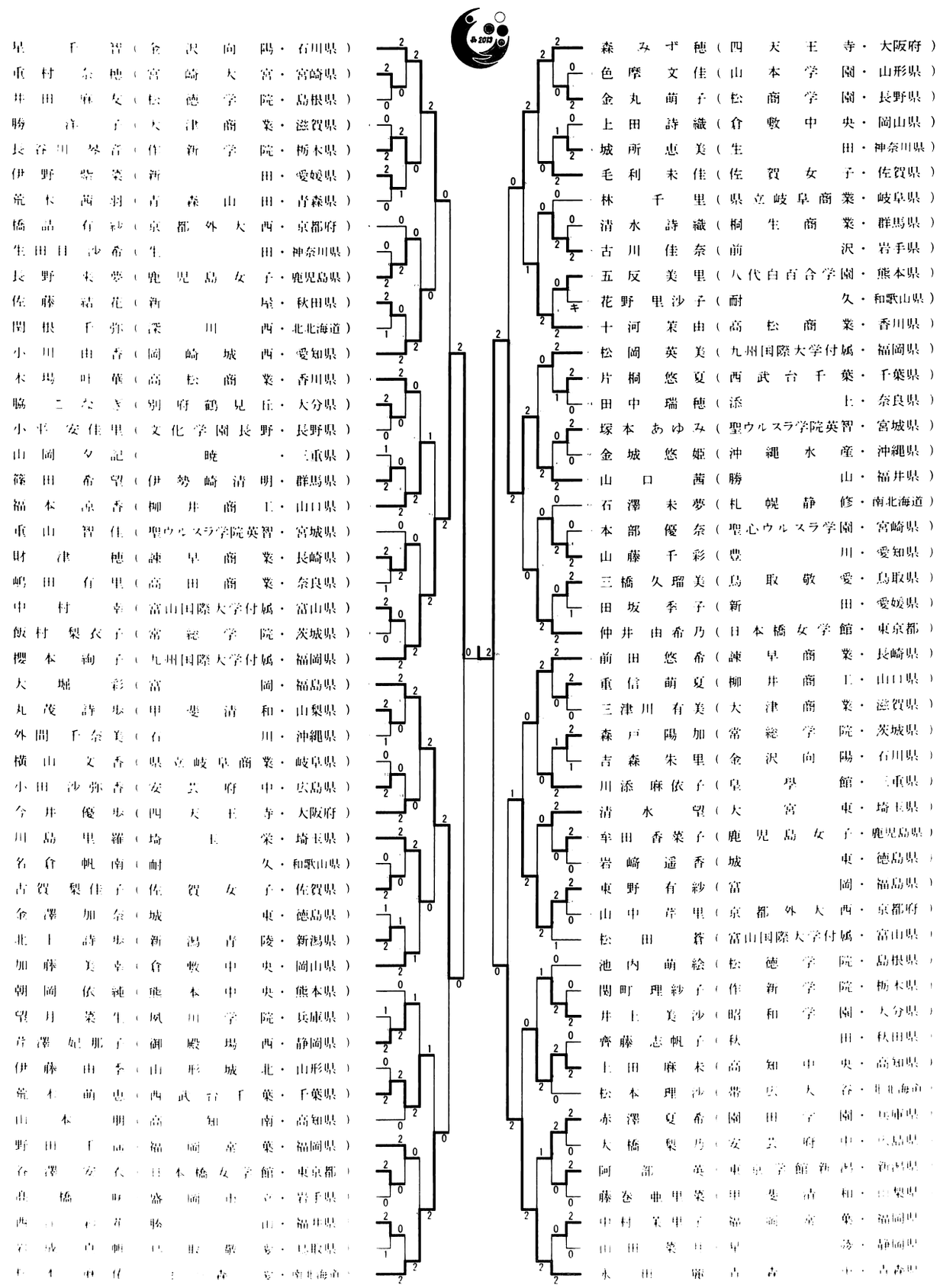
【女子ダブルス】



【男子シングルス】


小野寺 裕介（埼玉栄・埼玉県）
鷹本 大希（奈良・奈良県）
西坂 昇（九州国際大学付属・福岡県）
松本 健太朗（米子北・鳥取県）
小森園 隆平（日章学園・宮崎県）
廣田 真也（高知西・高知県）
岡野 伸哉（青森山田・青森県）
山川 莉輝（暁・三重県）
賀藤 隼佑（常総学院・茨城県）
嶋 崇志（金沢市立工業・石川県）
中尾 重太（鹿児島工業・鹿児島県）
齊藤 洋平（山形南・山形県）
常山 幹太（東大阪大学柏原・大阪府）
吉川 改（旭川実業・北北海道）
早川 竣（大町北・長野県）
丸山 優斗（聖ウルスラ学院英智・宮城県）
上村 賢（西武台千葉・千葉県）
井田 淳貴（大東・島根県）
西 智寛（八代東・熊本県）
牧野 桂大（勝山・福井県）
黒岩 聖也（唐津南・佐賀県）
林 和史（太田市立商業・群馬県）
和田 蒼汰（大垣北・岐阜県）
福本 光喜（神戸村野工業・兵庫県）
木村 大二朗（高松東・香川県）
原口 拓巳（自由ケ丘・福岡県）
福岡 洋平（那賀・和歌山県）
宮本 康平（安芸府中・広島県）
菊野 真（横浜・神奈川県）
本川 文勝（大曲工業・秋田県）
工藤 有智（伊東・静岡県）
渡邉 貴宏（水島工業・岡山県）
佐藤 宏亮（別府鶴見丘・大分県）
野村 陸人（城東・徳島県）
柳澤 宇（北越・新潟県）
塩田 敦（叡徳巣鴨・東京都）
宮 雄大（比叡山・滋賀県）
谷口 友章（高岡第一・富山県）
神谷 直吾（沖縄水産・沖縄県）
大狩 光貴（乙訓・京都府）
大堀 新（作新学院・栃木県）
[illegible] 和（花北青雲・岩手県）
[illegible] 翔大（新田・愛媛県）
[illegible] 晃司（西・長崎県）
[illegible] 大地（名経大市邨・愛知県）
[illegible] 幸（[illegible]・北北海道）
[illegible] 優介（[illegible]・[illegible]県）
[illegible] 直[illegible]（[illegible]・[illegible]県）
[illegible] 優[illegible]（[illegible]・福島県）
下農 走（東大阪大学柏原・大阪府）
齊藤 尚吾（伊東・静岡県）
吉田 拓真（別府鶴見丘・大分県）
川音 勇稀（青森山田・青森県）
島添 隼也（常総学院・茨城県）
岡村 尚輝（帯広大谷・北北海道）
松本 康平（埼玉栄・埼玉県）
森山 翼（奈良大学附属・奈良県）
森山 雄太（大東・島根県）
樫山 哲也（徳島商業・徳島県）
池田 拓馬（北越・新潟県）
須賀 健太郎（西陵・長崎県）
吉野 文人（新田・愛媛県）
藤 慶行（八代東・熊本県）
田草川 将（甲府昭和・山梨県）
髙橋 歩夢（聖ウルスラ学院英智・宮城県）
弓長 英博（高岡第一・富山県）
成富 勇太（自由ケ丘・福岡県）
森田 慎司（米子北・鳥取県）
山崎 真央（叡徳巣鴨・東京都）
水口 恭兵（神戸村野工業・兵庫県）
北原 圭介（鹿児島・鹿児島県）
菊地 裕太（前沢・岩手県）
小笠 裕貴（名経大市邨・愛知県）
保木 卓朗（富岡・福島県）
今井 喬介（横浜・神奈川県）
上原 正太（沖縄水産・沖縄県）
近藤 隼人（足羽・福井県）
吉田 将也（県立岐阜商業・岐阜県）
菅 康太（高松第一・香川県）
塚本 光希（札幌第一・南北海道）
小野 騎太朗（唐津南・佐賀県）
綱野 豊（蘇南・長野県）
藤井 湧真（安芸府中・広島県）
高宮 渉吾（京都両洋・京都府）
上村 聡（西武台千葉・千葉県）
桐田 和樹（柳井商工・山口県）
森園 周冬（日章学園・宮崎県）
水ノ江 慎兵（秋田・秋田県）
山下 大輔[illegible]（叡山・滋賀県）
宇賀神 崇行（宇都宮南・栃木県）
袋井 由樹（金沢市立工業・石川県）
早乙女 拓也（伊勢崎高明・群馬県）
佐藤 佑太（暁・三重県）
古城 晃（水島工業・岡山県）
福盛 悠斗（高[illegible]南・高知県）
[illegible] 真也（[illegible]・[illegible]県）
[illegible] 晴[illegible]（[illegible]・[illegible]県）
[illegible] 亜斗（[illegible]・福島県）

【女子シングルス】

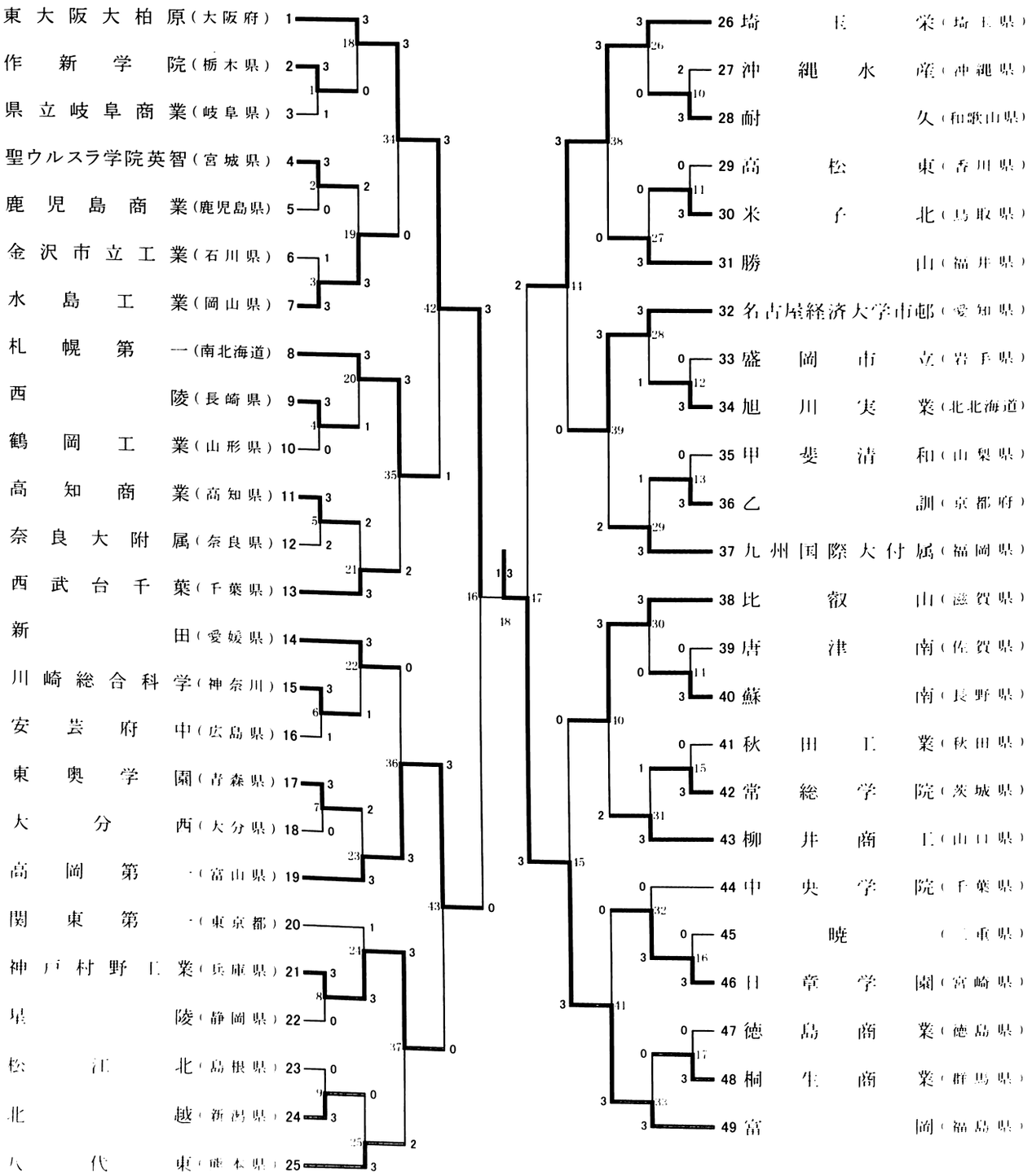

星　千智（金沢向陽・石川県）
重村朱穂（宮崎大宮・宮崎県）
井田亜友（松徳学院・島根県）
勝洋子（大津商業・滋賀県）
長谷川琴音（作新学院・栃木県）
伊野紗菜（新田・愛媛県）
荒木茜羽（青森山田・青森県）
橋詰有紗（京都外大西・京都府）
生田目沙希（生田・神奈川県）
長野未夢（鹿児島女子・鹿児島県）
佐藤結花（新屋・秋田県）
関根千弥（深川西・北北海道）
小川由香（岡崎城西・愛知県）
木場叶華（高松商業・香川県）
脇こなき（別府鶴見丘・大分県）
小平安佳里（文化学園長野・長野県）
山岡夕記（暁・三重県）
篠田希望（伊勢崎清明・群馬県）
福本凛香（柳井商工・山口県）
重山智佳（聖ウルスラ学院英智・宮城県）
財津穂（諫早商業・長崎県）
嶋田有里（高田商業・奈良県）
中村幸（富山国際大学付属・富山県）
飯村梨衣子（常総学院・茨城県）
櫻本絢子（九州国際大学付属・福岡県）
大堀彩（富岡・福島県）
丸茂詩歩（甲斐清和・山梨県）
外間千奈美（石川・沖縄県）
横山文香（県立岐阜商業・岐阜県）
小田沙弥香（安芸府中・広島県）
今井優歩（四天王寺・大阪府）
川島里蘭（埼玉栄・埼玉県）
名倉帆南（耐久・和歌山県）
古賀梨佳子（佐賀女子・佐賀県）
金澤加奈（城東・徳島県）
北上詩歩（新潟青陵・新潟県）
加藤美幸（倉敷中央・岡山県）
朝岡依純（熊本中央・熊本県）
望月菜生（凰雅学院・兵庫県）
芦澤妃那子（御殿場西・静岡県）
伊藤由季（山形城北・山形県）
荒木萌恵（千葉西武台・千葉県）
山本明（高知南・高知県）
野田千晶（福岡産業・福岡県）
谷澤安衣（日本橋女学館・東京都）
直橋町（盛岡中央・岩手県）
西（福井県）
安城内帆（鳥取敬愛・鳥取県）
千（南北海道）
森みず穂（四天王寺・大阪府）
色摩文佳（山本学園・山形県）
金丸萌子（松商学園・長野県）
上田詩織（倉敷中央・岡山県）
城所恵美（生田・神奈川県）
毛利未佳（佐賀女子・佐賀県）
林千里（県立岐阜商業・岐阜県）
清水詩織（桐生商業・群馬県）
古川佳奈（前沢・岩手県）
五反美里（八代白百合学園・熊本県）
花野里沙子（耐久・和歌山県）
十河茉由（高松商業・香川県）
松岡英美（九州国際大学付属・福岡県）
片桐悠夏（西武台千葉・千葉県）
田中瑞穂（添上・奈良県）
塚本あゆみ（聖ウルスラ学院英智・宮城県）
金城悠姫（沖縄水産・沖縄県）
山口茜（勝山・福井県）
石澤未夢（札幌静修・南北海道）
本部優奈（聖心ウルスラ学園・宮崎県）
山藤千彩（豊川・愛知県）
三橋久瑠美（鳥取敬愛・鳥取県）
田坂季子（新田・愛媛県）
仲井由希乃（日本橋女学館・東京都）
前田悠希（諫早商業・長崎県）
重信萌夏（柳井商工・山口県）
三津川有美（大津商業・滋賀県）
森戸陽加（常総学院・茨城県）
吉森朱里（金沢向陽・石川県）
川添麻依子（皇學館・三重県）
清水望（大宮東・埼玉県）
牟田香菜子（鹿児島女子・鹿児島県）
岩崎遥香（城東・徳島県）
東野有紗（富岡・福島県）
山中芹里（京都外大西・京都府）
松田蒼（富山国際大学付属・富山県）
池内萌絵（松徳学院・島根県）
関町理紗子（作新学院・栃木県）
井上美沙（昭和学園・大分県）
齊藤志帆子（秋田・秋田県）
上田麻未（高知中央・高知県）
松本理沙（帯広大谷・北北海道）
赤澤夏希（園田学園・兵庫県）
大橋梨乃（安芸府中・広島県）
阿部華（東京学館新潟・新潟県）
藤巻亜里紗（甲斐清和・山梨県）
中村茉里子（福岡産業・福岡県）
山田葉月（早稲・静岡県）
永田雅吉（吉森・青森県）

第65回全国高等学校バドミントン選手権大会（2014年度）

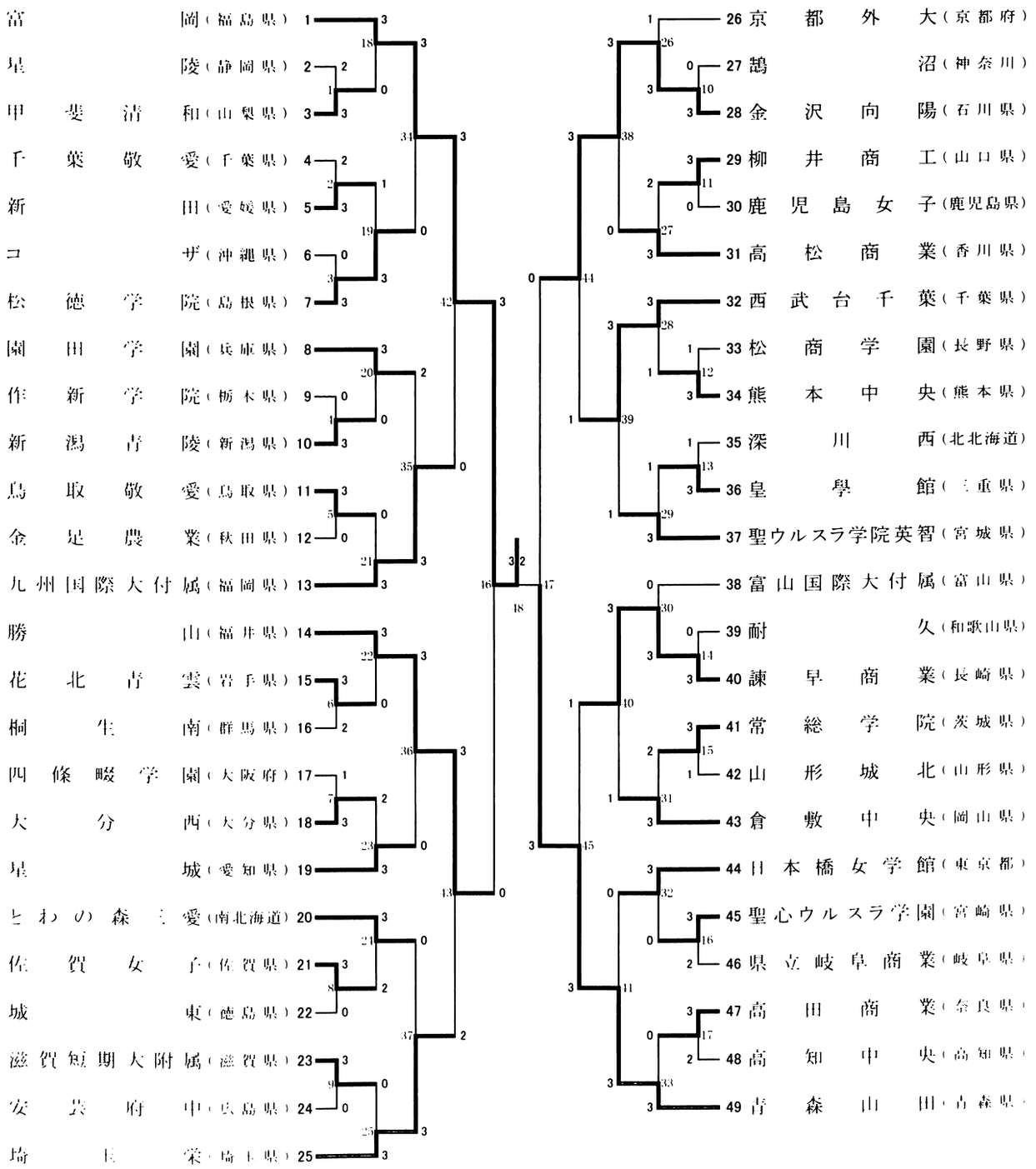
期　日▶平成26年８月１日（金）～６日（水）
会　場▶千葉ポートアリーナ・千葉県総合スポーツセンター体育館・JFE千葉体育館
千葉県立幕張総合高等学校体育館・千葉県立生浜高等学校体育館

【 男 子 団 体 】

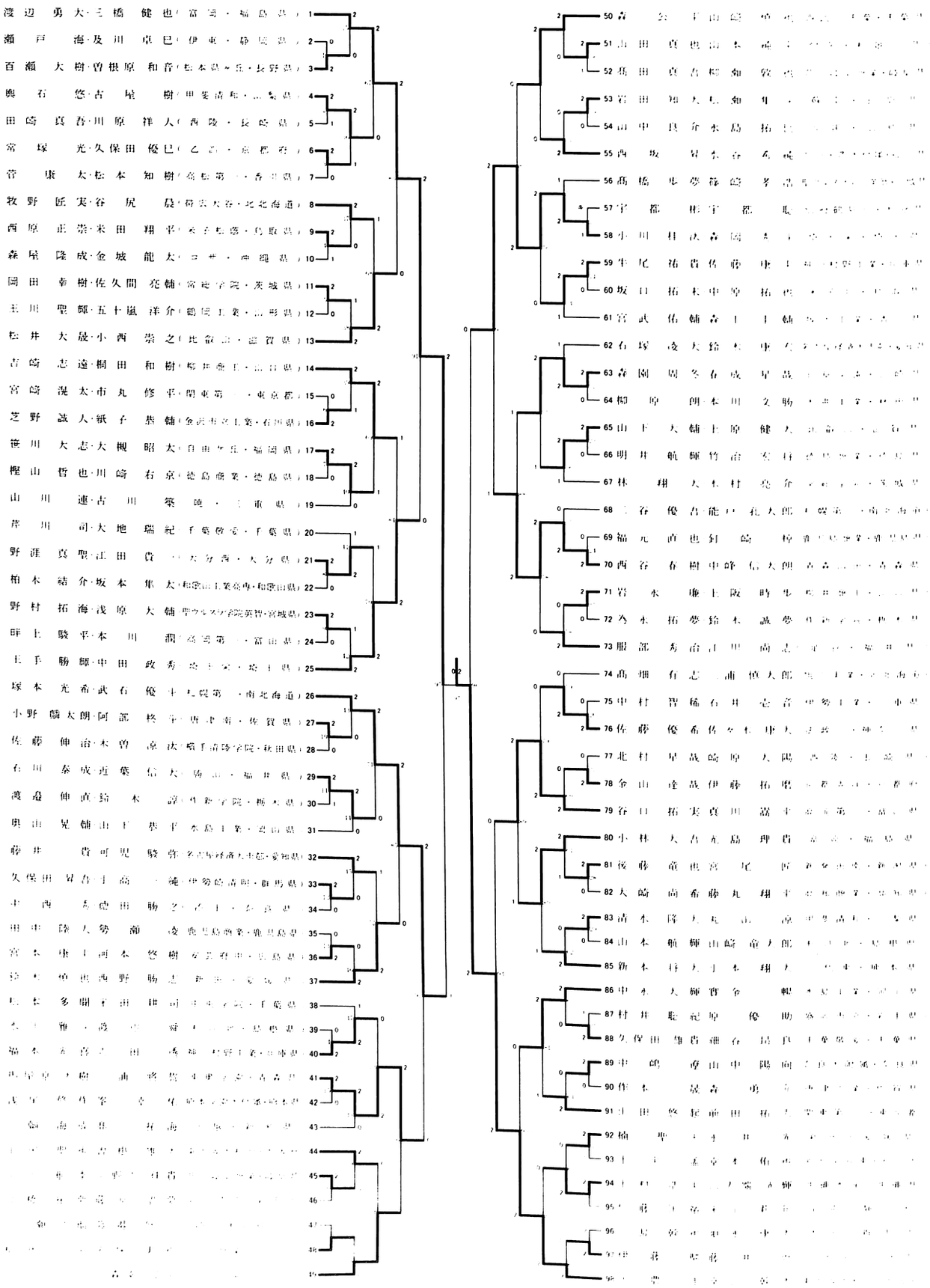




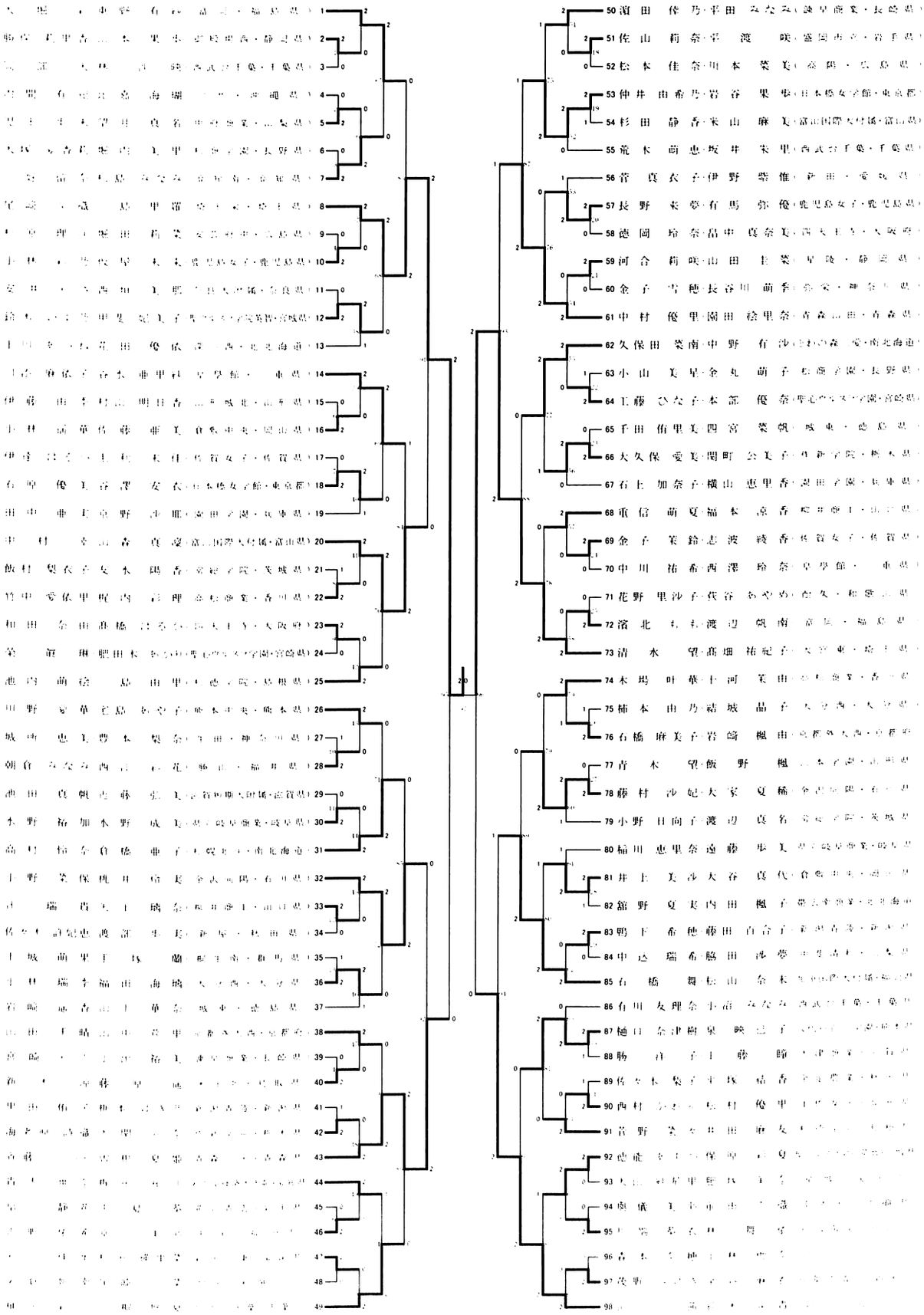
【女子団体】


富岡（福島県） 1
星陵（静岡県） 2
甲斐清和（山梨県） 3
千葉敬愛（千葉県） 4
新田（愛媛県） 5
コザ（沖縄県） 6
松徳学院（島根県） 7
園田学園（兵庫県） 8
作新学院（栃木県） 9
新潟青陵（新潟県） 10
鳥取敬愛（鳥取県） 11
金足農業（秋田県） 12
九州国際大付属（福岡県） 13
勝山（福井県） 14
花北青雲（岩手県） 15
桐生南（群馬県） 16
四條畷学園（大阪府） 17
大分西（大分県） 18
星城（愛知県） 19
とわの森三愛（南北海道） 20
佐賀女子（佐賀県） 21
城東（徳島県） 22
滋賀短期大附属（滋賀県） 23
安芸府中（広島県） 24
埼玉栄（埼玉県） 25
26 京都外大（京都府）
27 鵠沼（神奈川）
28 金沢向陽（石川県）
29 柳井商工（山口県）
30 鹿児島女子（鹿児島県）
31 高松商業（香川県）
32 西武台千葉（千葉県）
33 松商学園（長野県）
34 熊本中央（熊本県）
35 深川西（北北海道）
36 皇學館（三重県）
37 聖ウルスラ学院英智（宮城県）
38 富山国際大付属（富山県）
39 耐久（和歌山県）
40 諫早商業（長崎県）
41 常総学院（茨城県）
42 山形城北（山形県）
43 倉敷中央（岡山県）
44 日本橋女学館（東京都）
45 聖心ウルスラ学園（宮崎県）
46 県立岐阜商業（岐阜県）
47 高田商業（奈良県）
48 高知中央（高知県）
49 青森山田（青森県）

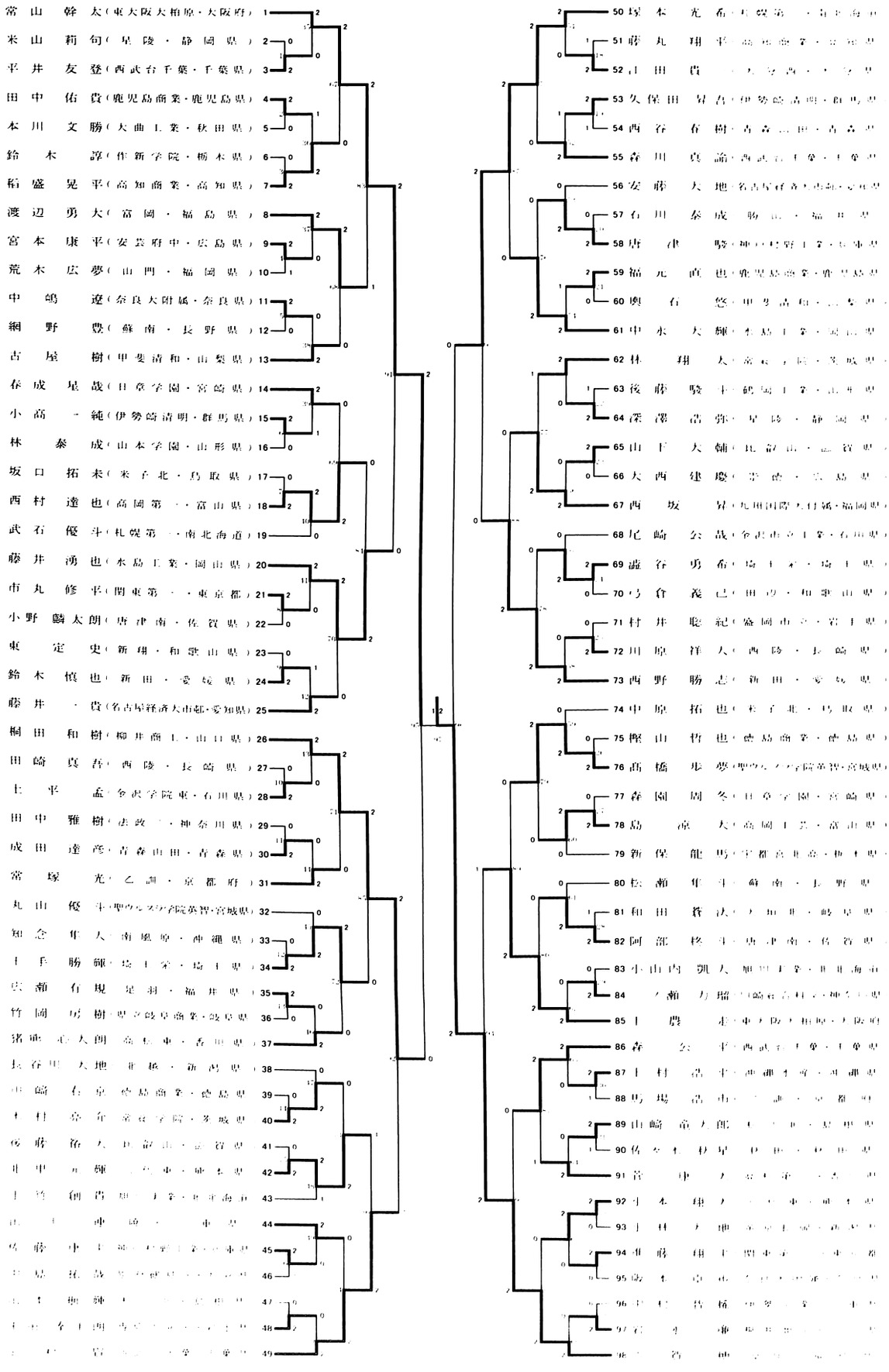
【男子ダブルス】



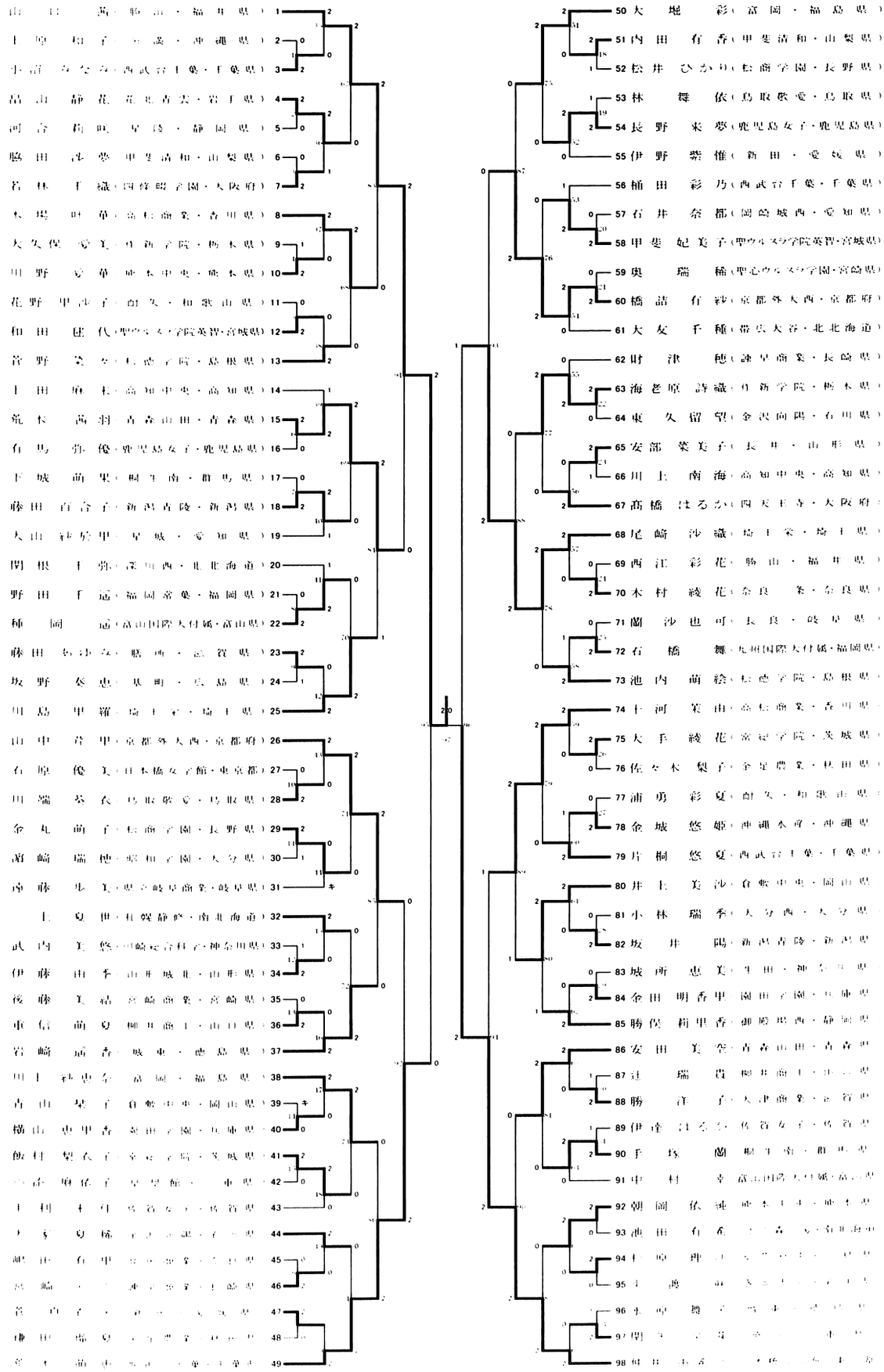
【女子ダブルス】



【男子シングルス】


常山 幹太（東大阪大柏原・大阪府）1
米山 莉句（星陵・静岡県）2
平井 友登（西武台千葉・千葉県）3
田中 佑貴（鹿児島商業・鹿児島県）4
本川 文勝（大曲工業・秋田県）5
鈴木 譚（作新学院・栃木県）6
稲盛 晃平（高知商業・高知県）7
渡辺 勇大（富岡・福島県）8
宮本 康平（安芸府中・広島県）9
荒木 広夢（山門・福岡県）10
中嶋 遼（奈良大附属・奈良県）11
綱野 豊（蘇南・長野県）12
古屋 樹（甲斐清和・山梨県）13
春成 星哉（日章学園・宮崎県）14
小高 一純（伊勢崎清明・群馬県）15
林 泰成（山本学園・山形県）16
坂口 拓未（米子北・鳥取県）17
西村 達也（高岡第一・富山県）18
武石 優斗（札幌第一・南北海道）19
藤井 湧也（水島工業・岡山県）20
市丸 修平（関東第一・東京都）21
小野 鷸太朗（唐津南・佐賀県）22
東 定史（新翔・和歌山県）23
鈴木 慎也（新田・愛媛県）24
藤井 一貴（名古屋経済大市邨・愛知県）25
桐田 和樹（柳井商工・山口県）26
田崎 真善（西陵・長崎県）27
土平 孟（金沢学院東・石川県）28
田中 雅樹（走政一・神奈川県）29
成田 達彦（青森山田・青森県）30
常塚 光（乙訓・京都府）31
丸山 優斗（甲南フェニックス学院英智・宮城県）32
知念 隼大（南風原・沖縄県）33
土手 勝輝（埼玉栄・埼玉県）34
安藤 有規（足羽・福井県）35
竹岡 房樹（県立岐阜商業・岐阜県）36
猪俣 正大朗（高松中・香川県）37
長谷川 大地（開志・新潟県）38
中島 右京（徳島商業・徳島県）39
土村 京介（金沢学院・茨城県）40
後藤 浩大（山形北・山形県）41
井上 輝（八女中・福岡県）42
上野 創吾（明豊・大分県）43
[illegible] 44
[illegible] 45
[illegible] 46
[illegible] 47
[illegible] 48
[illegible] 49
塚本 光希（札幌第一・南北海道）50
藤丸 翔平（高岡第一・富山県）51
[illegible] 52
久保田 晃吾（伊勢崎清明・群馬県）53
西谷 春樹（青森山田・青森県）54
森川 真論（西武台千葉・千葉県）55
安藤 大地（名古屋経済大市邨・愛知県）56
石川 泰成（勝山・福井県）57
唐津 駿（神辺旭・広島県）58
福元 直也（鹿児島商業・鹿児島県）59
奥石 悠（甲斐清和・山梨県）60
中水 大輝（水島工業・岡山県）61
林 翔大（高松北・香川県）62
後藤 駿斗（鶴翔・山梨県）63
深澤 蒼弥（星陵・静岡県）64
山下 大輔（比叡山・滋賀県）65
大西 建瞭（宇部・広島県）66
西坂 昇（九州国際大付属・福岡県）67
尾崎 公哉（金沢市立工業・石川県）68
澁谷 勇希（埼玉栄・埼玉県）69
乃倉 義己（田辺・和歌山県）70
村井 聡紀（盛岡市立・岩手県）71
川原 洋大（西陵・長崎県）72
西野 勝志（新田・愛媛県）73
中原 拓也（米子北・鳥取県）74
塹山 哲也（徳島商業・徳島県）75
西橋 北夢（甲南フェニックス学院英智・宮城県）76
森園 周冬（日章学園・宮崎県）77
島 凉大（高岡工芸・富山県）78
新保 龍馬（宇都宮北斗・栃木県）79
松瀬 隼斗（蘇南・長野県）80
和田 蒼汰（大垣北・岐阜県）81
阿部 柊斗（唐津南・佐賀県）82
小山内 凱大（旭川工業・北海道）83
[illegible] 84
[illegible] 85
森 公平（西武台千葉・千葉県）86
上村 浩平（沖縄尚学・沖縄県）87
馬場 浩由（[illegible]・京都府）88
山崎 竜大郎（[illegible]・鳥取県）89
佐々木 杉星（[illegible]・[illegible]）90
[illegible] 91
[illegible] 92
[illegible] 93
[illegible] 94
[illegible] 95
[illegible] 96
[illegible] 97
[illegible] 98

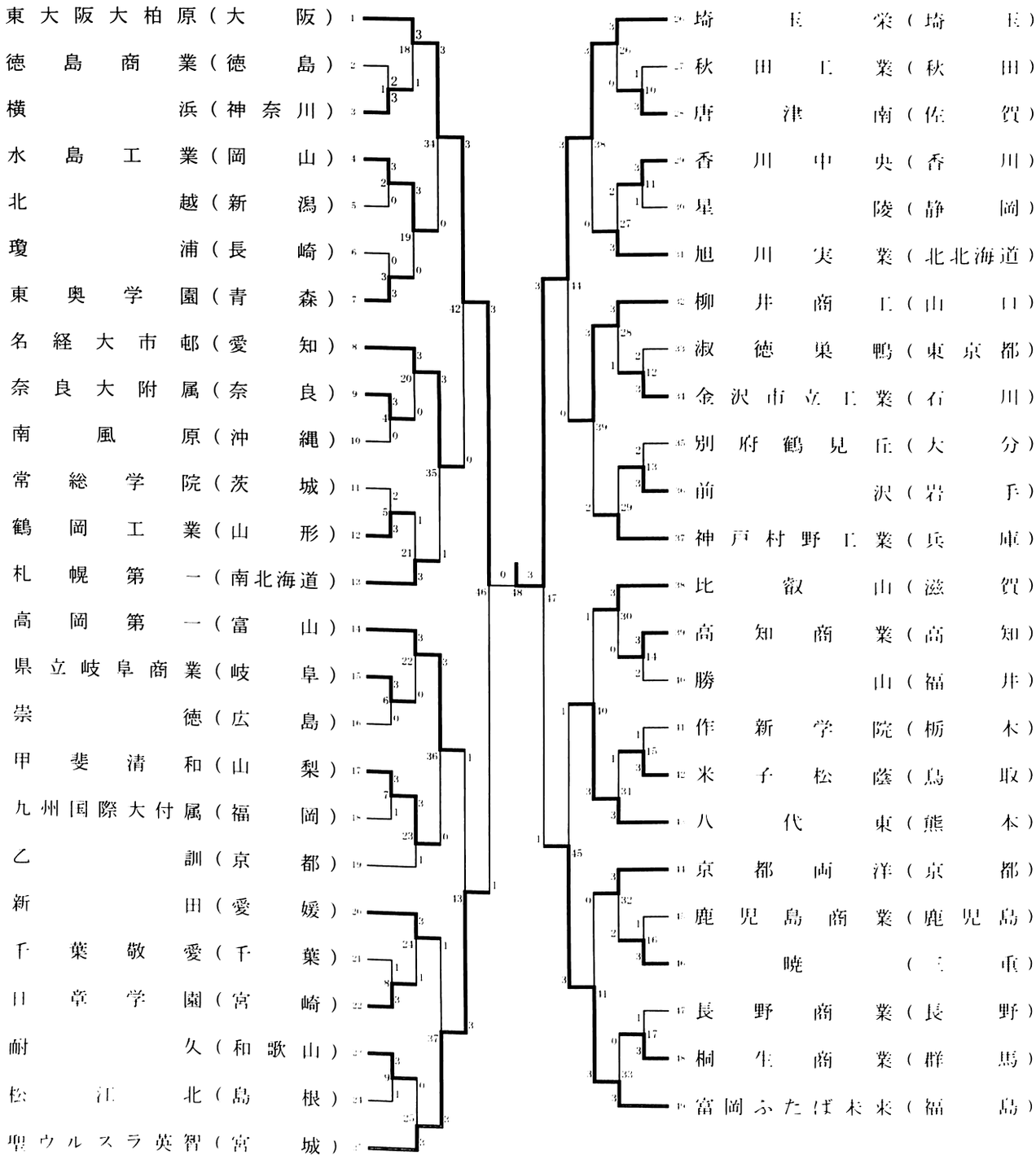
【女子シングルス】



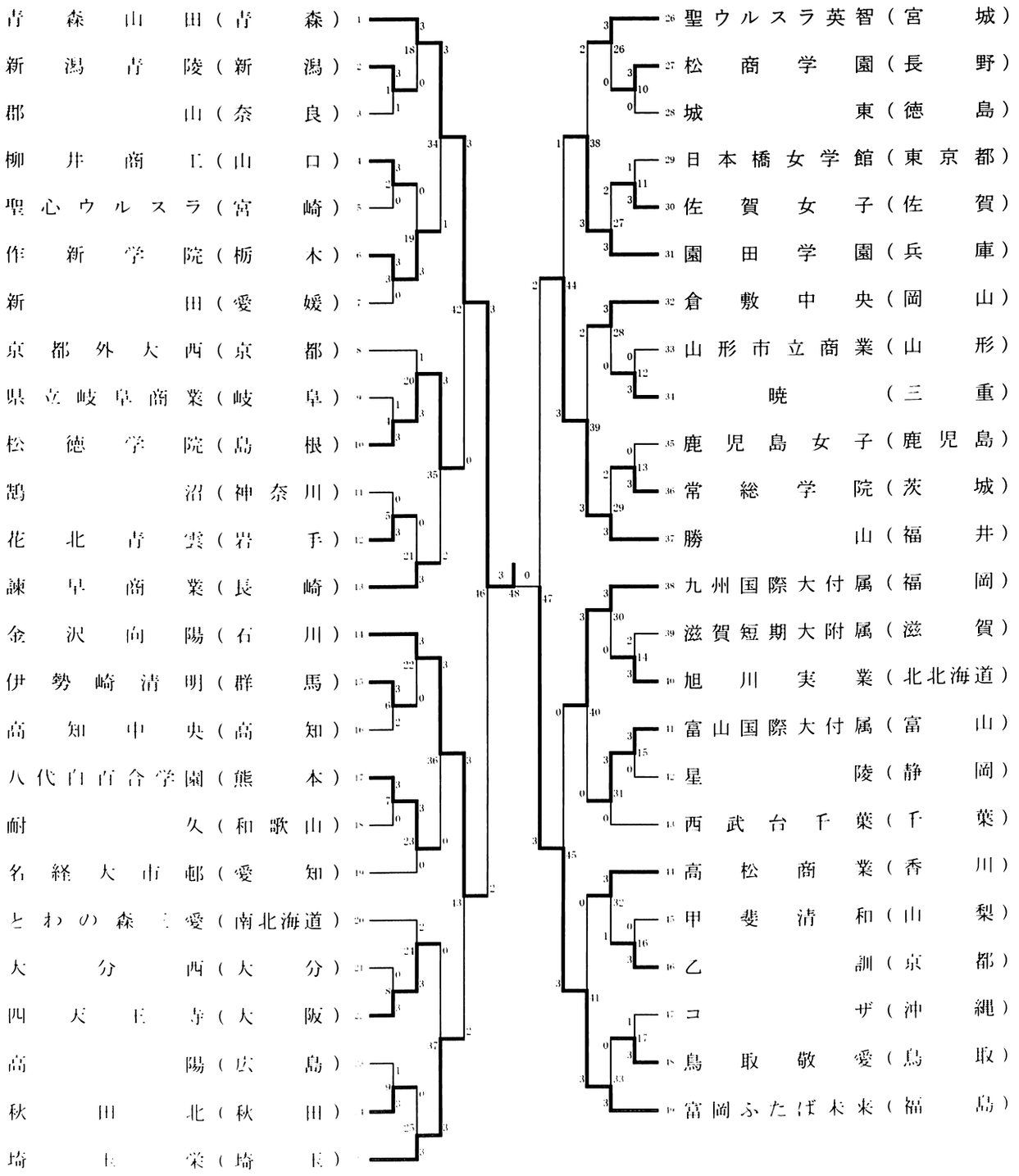
第66回全国高等学校バドミントン選手権大会（2015年度）

期　日▶平成27年８月６日（木）～11日（火）
会　場▶西山公園体育館・向日市民体育館・京都府立山城総合運動公園体育館

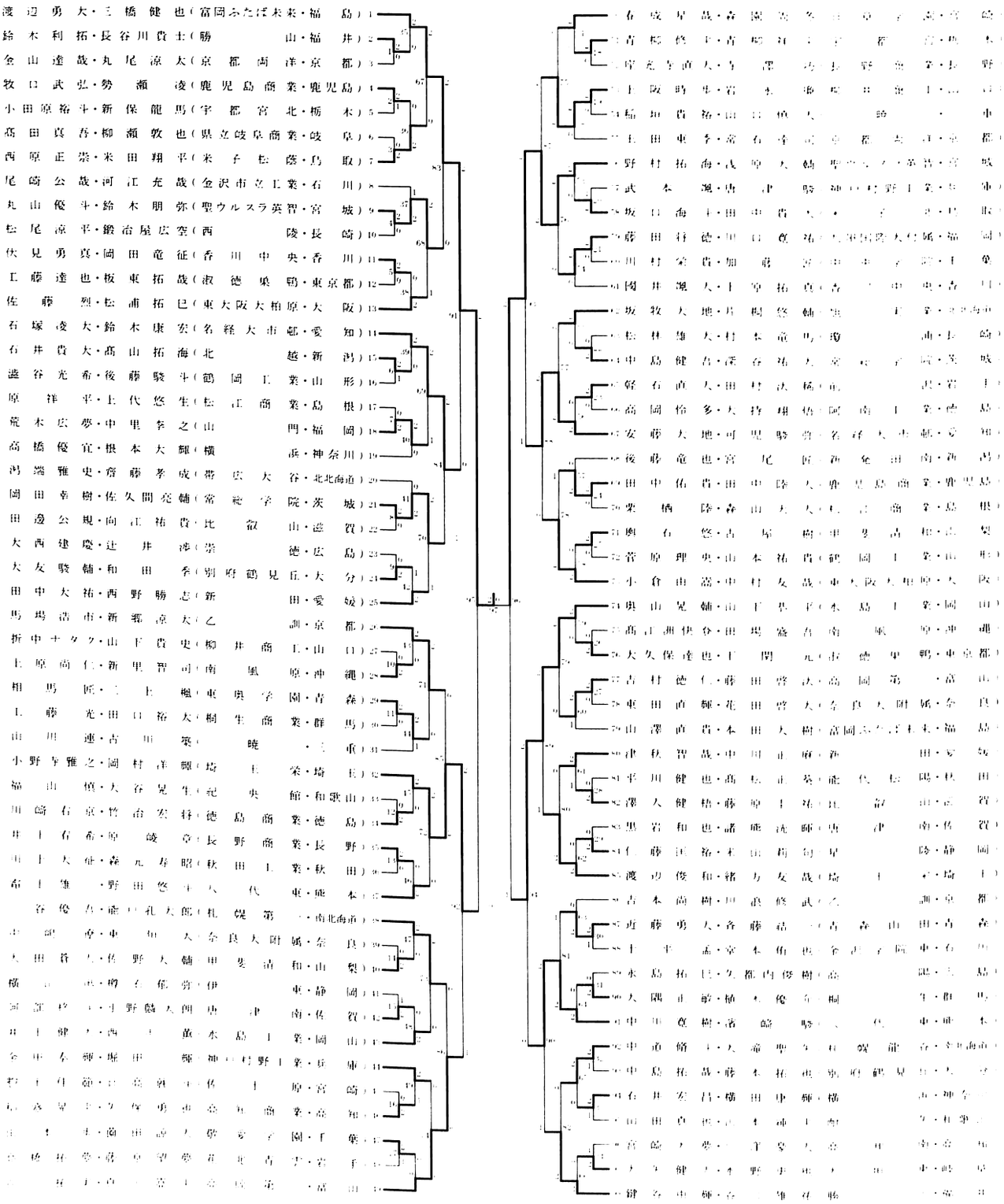
【 男 子 団 体 】



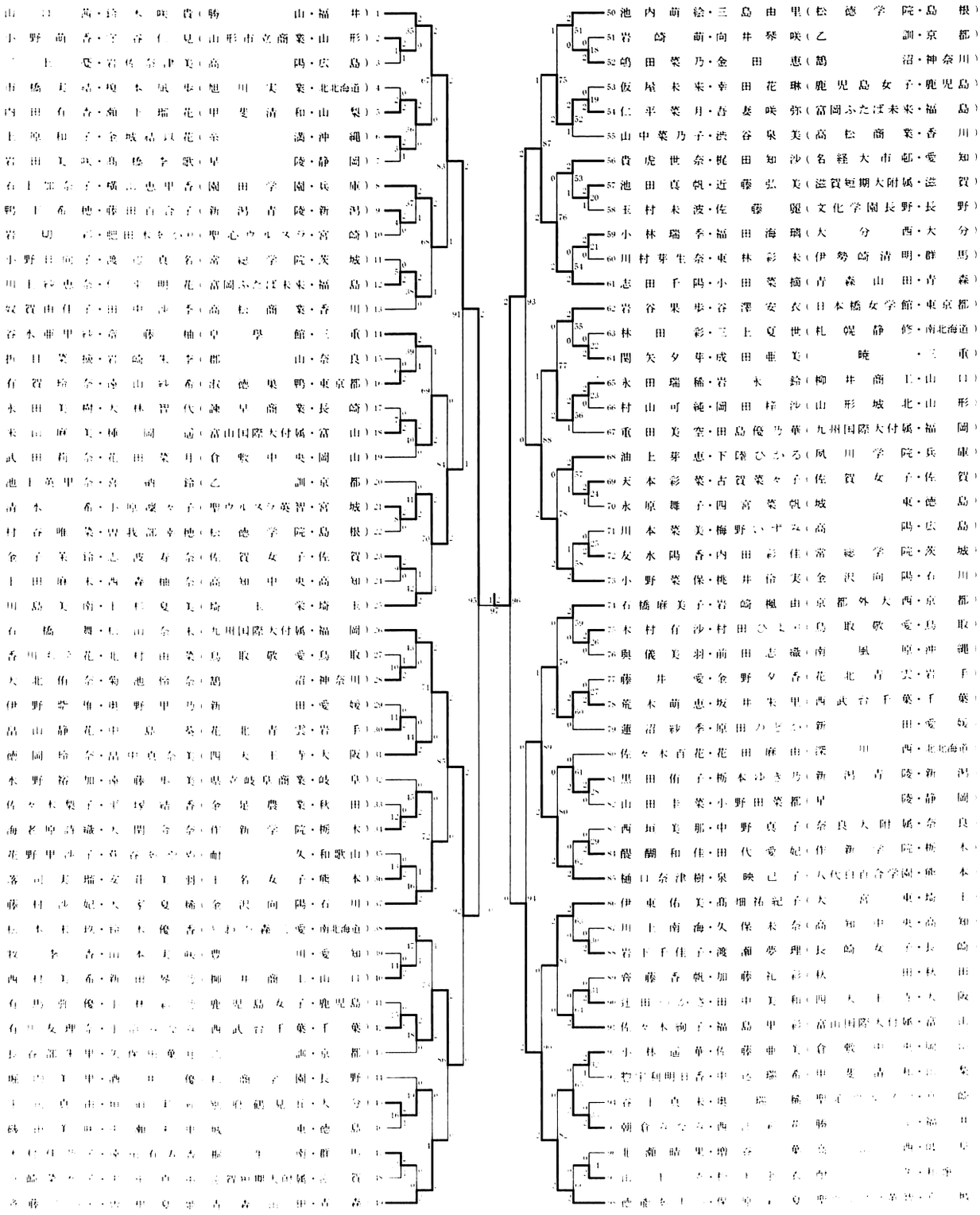
【女子団体】


青森山田（青森）
新潟青陵（新潟）
郡山（奈良）
柳井商工（山口）
聖心ウルスラ（宮崎）
作新学院（栃木）
新田（愛媛）
京都外大西（京都）
県立岐阜商業（岐阜）
松徳学院（島根）
鵠沼（神奈川）
花北青雲（岩手）
諫早商業（長崎）
金沢向陽（石川）
伊勢崎清明（群馬）
高知中央（高知）
八代白百合学園（熊本）
耐久（和歌山）
名経大市邨（愛知）
とわの森三愛（南北海道）
大分西（大分）
四天王寺（大阪）
高陽（広島）
秋田北（秋田）
埼玉栄（埼玉）
聖ウルスラ英智（宮城）
松商学園（長野）
城東（徳島）
日本橋女学館（東京都）
佐賀女子（佐賀）
園田学園（兵庫）
倉敷中央（岡山）
山形市立商業（山形）
暁（三重）
鹿児島女子（鹿児島）
常総学院（茨城）
勝山（福井）
九州国際大付属（福岡）
滋賀短期大附属（滋賀）
旭川実業（北北海道）
富山国際大付属（富山）
星陵（静岡）
西武台千葉（千葉）
高松商業（香川）
甲斐清和（山梨）
乙訓（京都）
コザ（沖縄）
鳥取敬愛（鳥取）
富岡ふたば未来（福島）

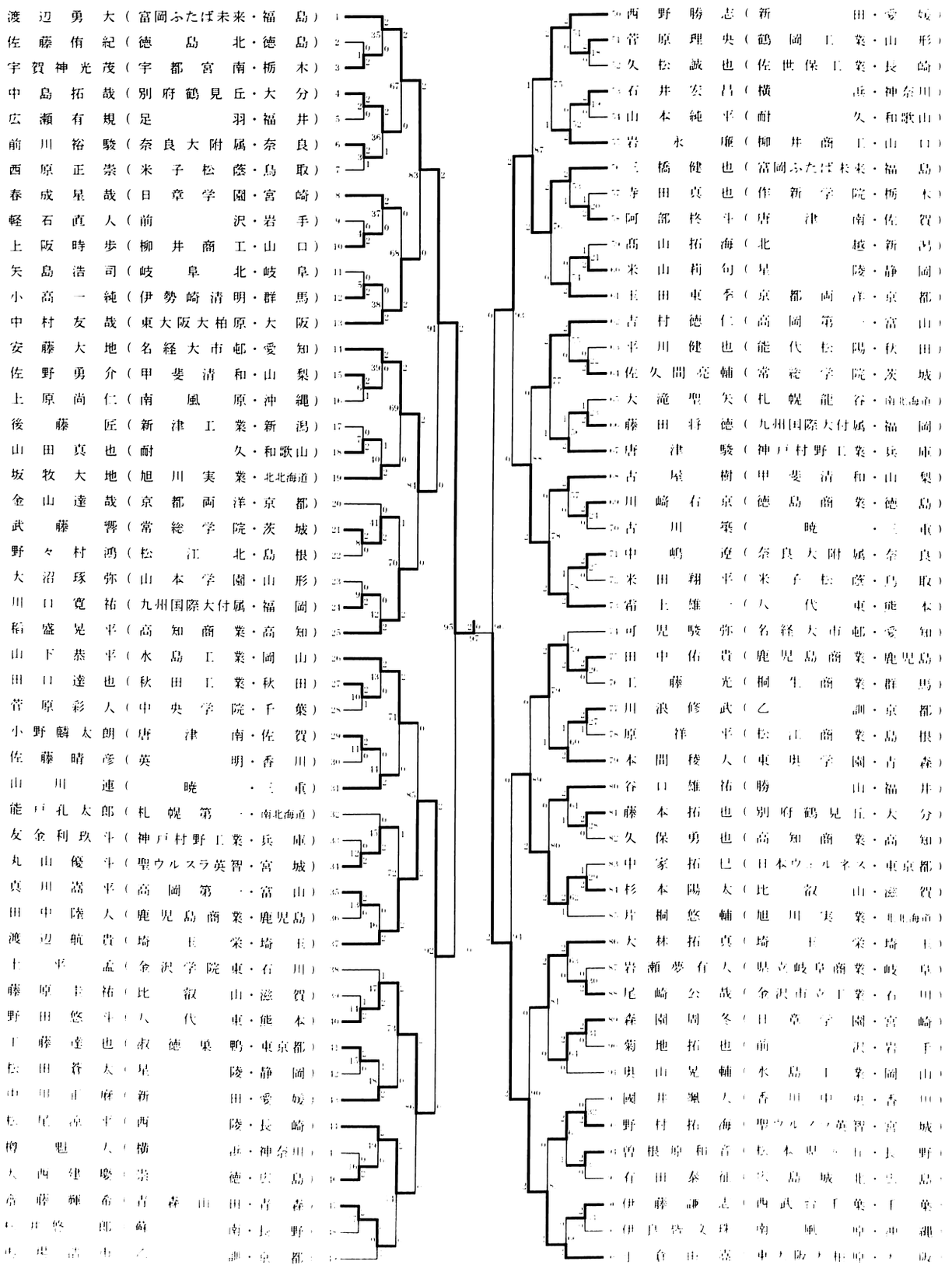
【男子ダブルス】



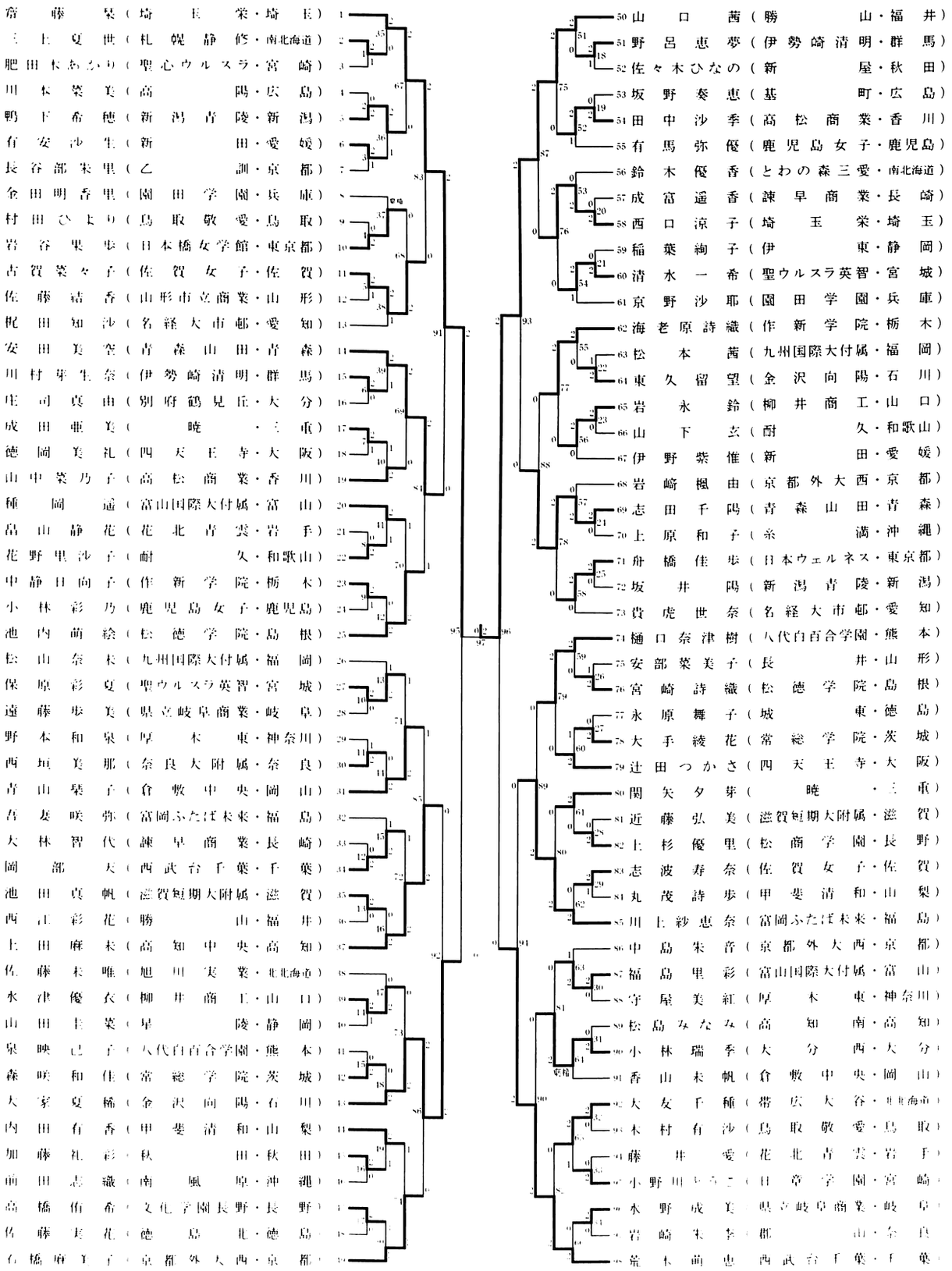
【女子ダブルス】



【男子シングルス】


渡辺勇大（富岡ふたば未来・福島）
佐藤侑紀（徳島北・徳島）
宇賀神光茂（宇都宮南・栃木）
中島拓哉（別府鶴見丘・大分）
広瀬有規（足羽・福井）
前川裕駿（奈良大附属・奈良）
西原正崇（米子松蔭・鳥取）
春成星哉（日章学園・宮崎）
軽石直人（前沢・岩手）
上阪時歩（柳井商工・山口）
矢島浩司（岐阜北・岐阜）
小高一純（伊勢崎清明・群馬）
中村友哉（東大阪大柏原・大阪）
安藤大地（名経大市邨・愛知）
佐野勇介（甲斐清和・山梨）
上原尚仁（南風原・沖縄）
後藤匠（新津工業・新潟）
山田真也（耐久・和歌山）
坂牧大地（旭川実業・北北海道）
金山達哉（京都両洋・京都）
武藤響（常総学院・茨城）
野々村鴻（松江北・島根）
大沼琢弥（山本学園・山形）
川口寛祐（九州国際大付属・福岡）
稲盛晃平（高知商業・高知）
山下恭平（水島工業・岡山）
田口達也（秋田工業・秋田）
菅原彩人（中央学院・千葉）
小野麟太朗（唐津南・佐賀）
佐藤晴彦（英明・香川）
山川連（暁・三重）
能戸孔太郎（札幌第一・南北海道）
友金利玖斗（神戸村野工業・兵庫）
丸山優斗（聖ウルスラ英智・宮城）
真川嵩平（高岡第一・富山）
田中陸人（鹿児島商業・鹿児島）
渡辺航貴（埼玉栄・埼玉）
土平孟（金沢学院東・石川）
藤原主祐（比叡山・滋賀）
野田悠斗（八代東・熊本）
工藤達也（叡徳巣鴨・東京都）
佐田蒼太（星陵・静岡）
中川正麻（新田・愛媛）
佐尾卓平（西陵・長崎）
樽聖人（横浜・神奈川）
大西建優（誉・徳島）
斎藤禅希（青森山田・青森）
中井悠凱（南・長野）
西畑高志（御・京都）
西野勝志（新田・愛媛）
菅原理央（鶴岡工業・山形）
久松誠也（佐世保工業・長崎）
石井宏昌（横浜・神奈川）
山本純平（耐久・和歌山）
岩永廉（柳井商工・山口）
三橋健也（富岡ふたば未来・福島）
井田真也（作新学院・栃木）
阿部柊斗（唐津南・佐賀）
髙山拓海（北越・新潟）
米山莉句（星陵・静岡）
上田東季（京都両洋・京都）
吉村徳仁（高岡第一・富山）
平川健也（能代松陽・秋田）
佐久間亮輔（常総学院・茨城）
大滝聖矢（札幌龍谷・南北海道）
藤田将徳（九州国際大付属・福岡）
唐津駿（神戸村野工業・兵庫）
吉屋樹（甲斐清和・山梨）
川崎右京（徳島商業・徳島）
吉川築（暁・三重）
中嶋遼（奈良大附属・奈良）
米田翔平（米子松蔭・鳥取）
霜上雄一（八代東・熊本）
可児駿弥（名経大市邨・愛知）
田中佑貴（鹿児島商業・鹿児島）
工藤光（桐生商業・群馬）
川浪修武（乙訓・京都）
原洋平（松江商業・島根）
本間稜人（東奥学園・青森）
谷口雄祐（勝山・福井）
藤本拓也（別府鶴見丘・大分）
久保勇也（高知商業・高知）
中家拓巳（日本ウェルネス・東京都）
杉本陽太（比叡山・滋賀）
片桐悠輔（旭川実業・北北海道）
大林拓真（埼玉栄・埼玉）
岩瀬夢有人（県立岐阜商業・岐阜）
尾崎公哉（金沢市立工業・石川）
森園周冬（日章学園・宮崎）
菊地拓也（前沢・岩手）
奥山晃輔（水島工業・岡山）
國井颯人（香川中央・香川）
野村拓海（聖ウルスラ英智・宮城）
曽根原和音（松本県ヶ丘・長野）
有田泰征（宮島城北・広島）
伊藤静走（西武台千葉・千葉）
伊良皆文珠（南風原・沖縄）
上倉田壱（東大阪大柏原・大阪）

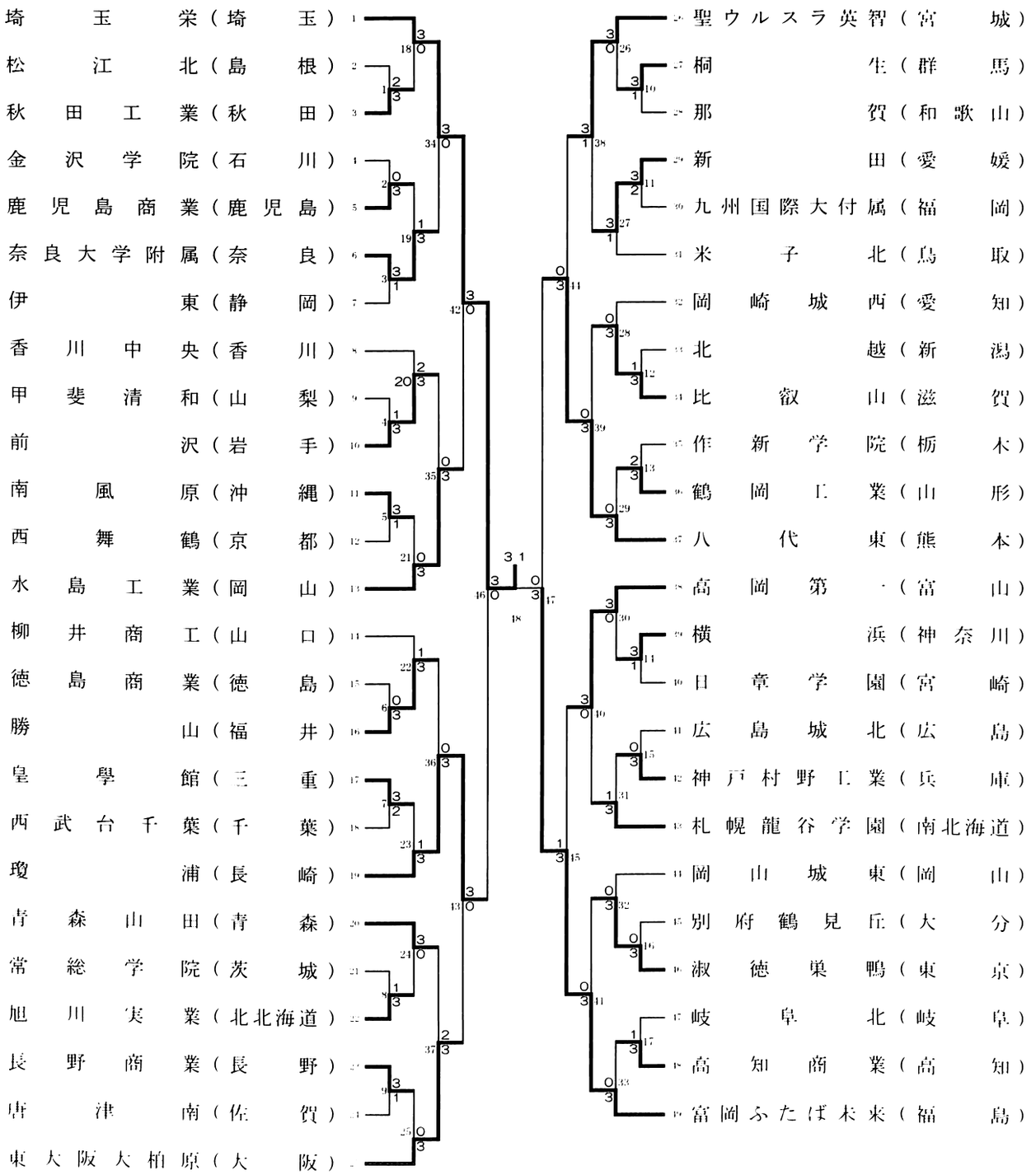
【女子シングルス】


斎藤 栞（埼玉栄・埼玉）
三上夏世（札幌静修・南北海道）
肥田木あおり（聖心ウルスラ・宮崎）
川本菜美（高陽・広島）
鴨下希穂（新潟青陵・新潟）
有安沙生（新田・愛媛）
長谷部朱里（乙訓・京都）
金田明香里（園田学園・兵庫）
村田ひより（鳥取敬愛・鳥取）
岩谷果歩（日本橋女学館・東京都）
古賀菜々子（佐賀女子・佐賀）
佐藤結香（山形市立商業・山形）
梶田知沙（名経大市邨・愛知）
安田美空（青森山田・青森）
川村華生奈（伊勢崎清明・群馬）
庄司真由（別府鶴見丘・大分）
成田亜美（暁・三重）
徳岡美礼（四天王寺・大阪）
山中菜乃子（高松商業・香川）
種岡遥（富山国際大付属・富山）
畠山静花（花北青雲・岩手）
花野里沙子（耐久・和歌山）
中静日向子（作新学院・栃木）
小林彩乃（鹿児島女子・鹿児島）
池内萌絵（松徳学院・島根）
松山奈未（九州国際大付属・福岡）
保原彩夏（聖ウルスラ英智・宮城）
遠藤歩美（県立岐阜商業・岐阜）
野本和泉（厚木東・神奈川）
西垣美那（奈良大附属・奈良）
青山葉子（倉敷中央・岡山）
吾妻咲弥（富岡ふたば未来・福島）
大林智代（諫早商業・長崎）
岡部大（西武台千葉・千葉）
池田真帆（滋賀短期大附属・滋賀）
西山彩花（勝山・福井）
上田麻未（高知中央・高知）
佐藤未唯（旭川実業・北北海道）
水津優衣（柳井商工・山口）
山田佳菜（星陵・静岡）
泉映己子（八代白百合学園・熊本）
森咲和佳（富総学院・茨城）
大家夏楠（金沢向陽・石川）
内田有香（甲斐清和・山梨）
加藤礼彩（秋田・秋田）
前田志織（南風・沖縄）
高橋侑希（文化学園長野・長野）
佐藤美花（徳島北・徳島）
石橋麻美子（京都外大西・京都）
山口茜（勝山・福井）
野呂恵夢（伊勢崎清明・群馬）
佐々木ひなの（新屋・秋田）
坂野奏恵（基町・広島）
田中沙季（高松商業・香川）
有馬弥優（鹿児島女子・鹿児島）
鈴木優香（とわの森三愛・南北海道）
成富遥香（諫早商業・長崎）
西口涼子（埼玉栄・埼玉）
稲葉絢子（伊東・静岡）
清水一希（聖ウルスラ英智・宮城）
京野沙耶（園田学園・兵庫）
海老原詩織（作新学院・栃木）
松本茜（九州国際大付属・福岡）
東久留望（金沢向陽・石川）
岩永鈴（柳井商工・山口）
山下玄（耐久・和歌山）
伊野紫惟（新田・愛媛）
岩崎楓由（京都外大西・京都）
志田千陽（青森山田・青森）
上原和子（糸満・沖縄）
舟橋佳歩（日本ウェルネス・東京都）
坂井陽（新潟青陵・新潟）
貴虎世奈（名経大市邨・愛知）
樋口奈津樹（八代白百合学園・熊本）
安部菜美子（長井・山形）
宮崎詩織（松徳学院・島根）
永原舞子（城東・徳島）
大手綾花（常総学院・茨城）
辻田つかさ（四天王寺・大阪）
関矢夕芽（暁・三重）
近藤弘美（滋賀短期大附属・滋賀）
上杉優里（松商学園・長野）
志波寿奈（佐賀女子・佐賀）
丸茂詩歩（甲斐清和・山梨）
川上紗恵奈（富岡ふたば未来・福島）
中島朱音（京都外大西・京都）
福島里彩（富山国際大付属・富山）
守屋美紅（厚木東・神奈川）
松島なな（高知南・高知）
小林瑞季（大分西・大分）
香山未帆（倉敷中央・岡山）
大友千種（帯広大谷・北北海道）
木村有沙（鳥取敬愛・鳥取）
藤井愛（花北青雲・岩手）
小野田ゆうこ（日章学園・宮崎）
水野成美（県立岐阜商業・岐阜）
岩崎朱李（都山・奈良）
荒木萌恵（西武台千葉・千葉）

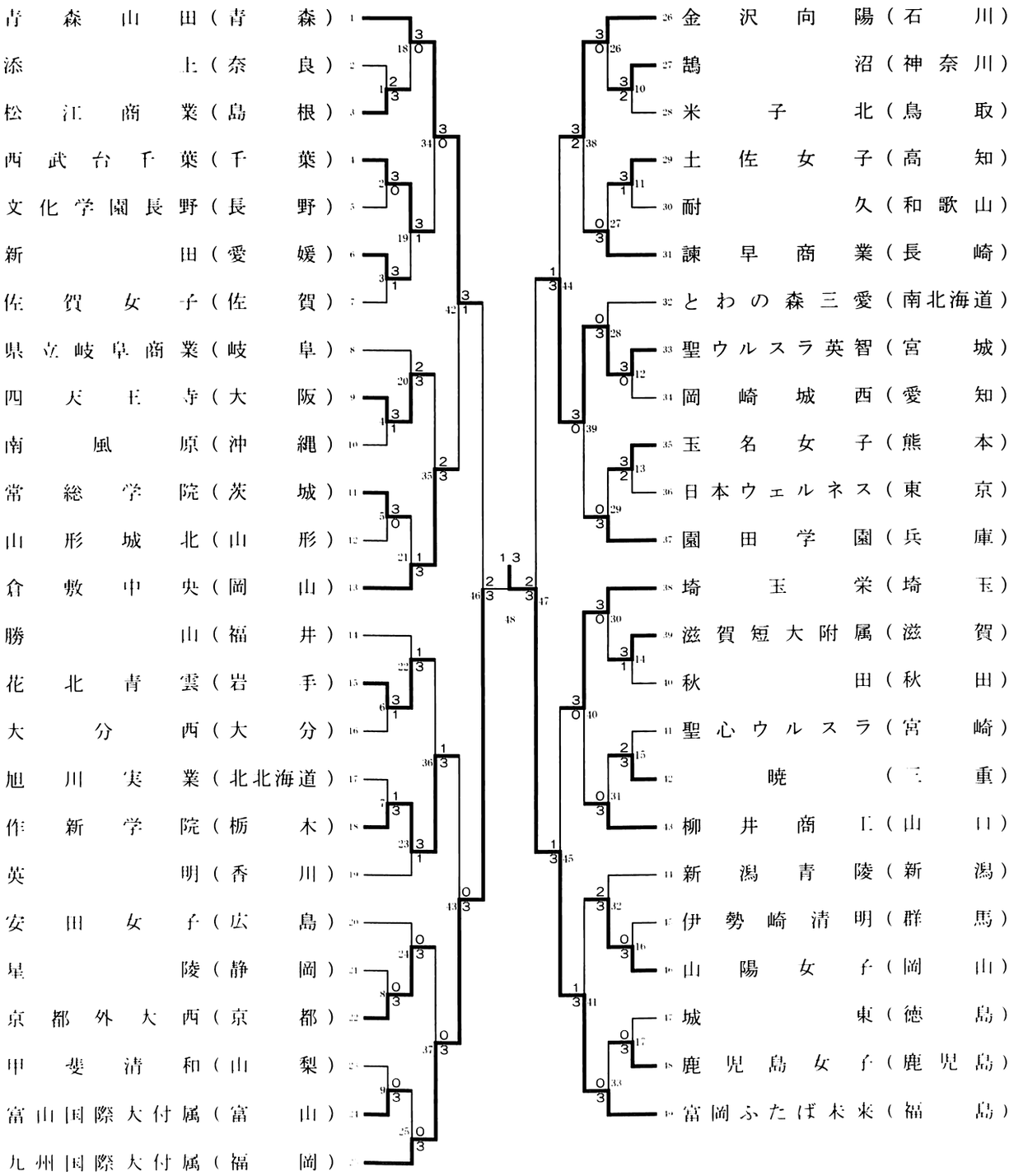
第67回全国高等学校バドミントン選手権大会（2016年度）

期　日▶平成28年８月８日（月）～12日（金）
会　場▶ジップアリーナ岡山（岡山県総合グラウンド体育館）・岡山市総合文化体育館

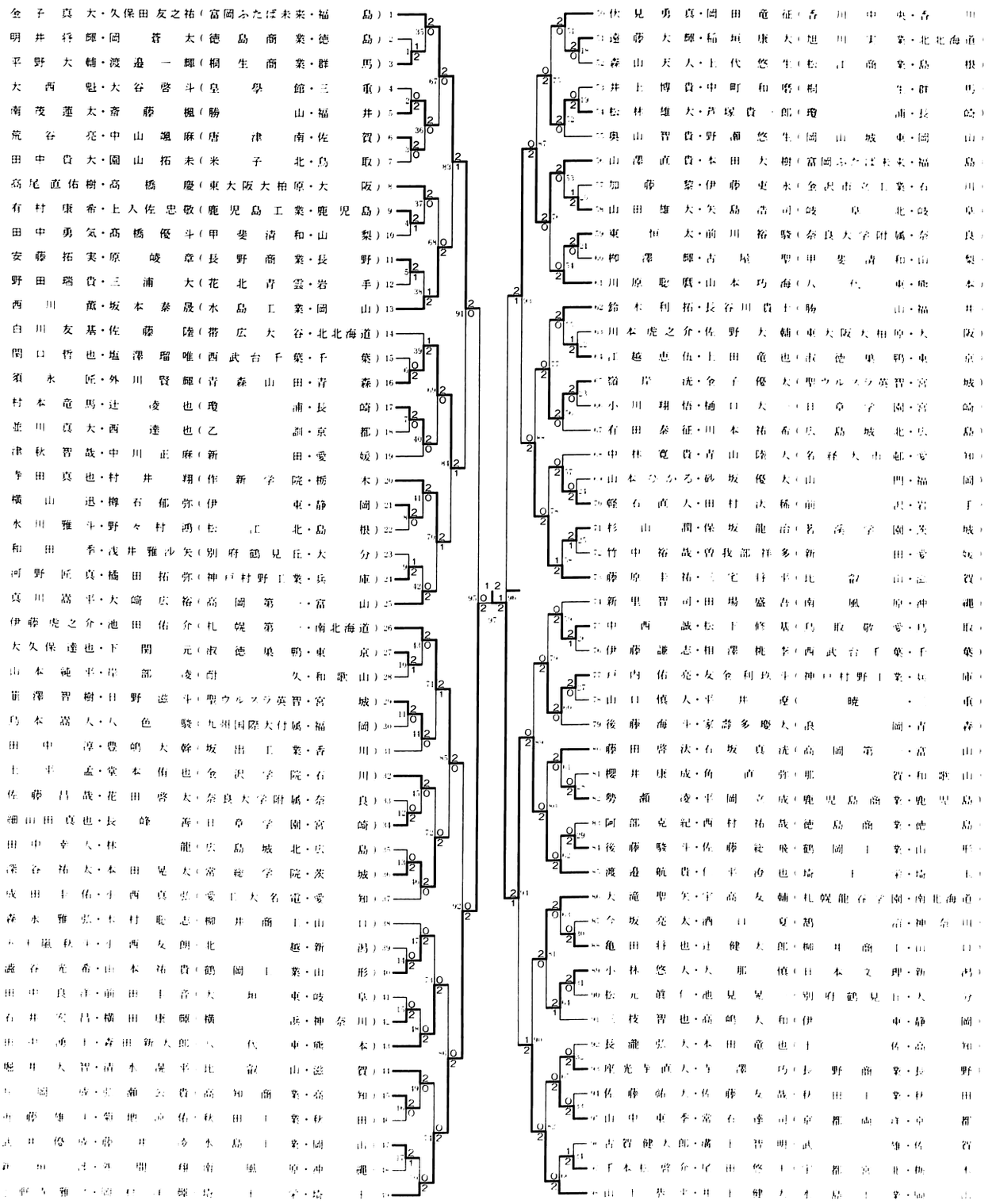
【 男 子 団 体 】



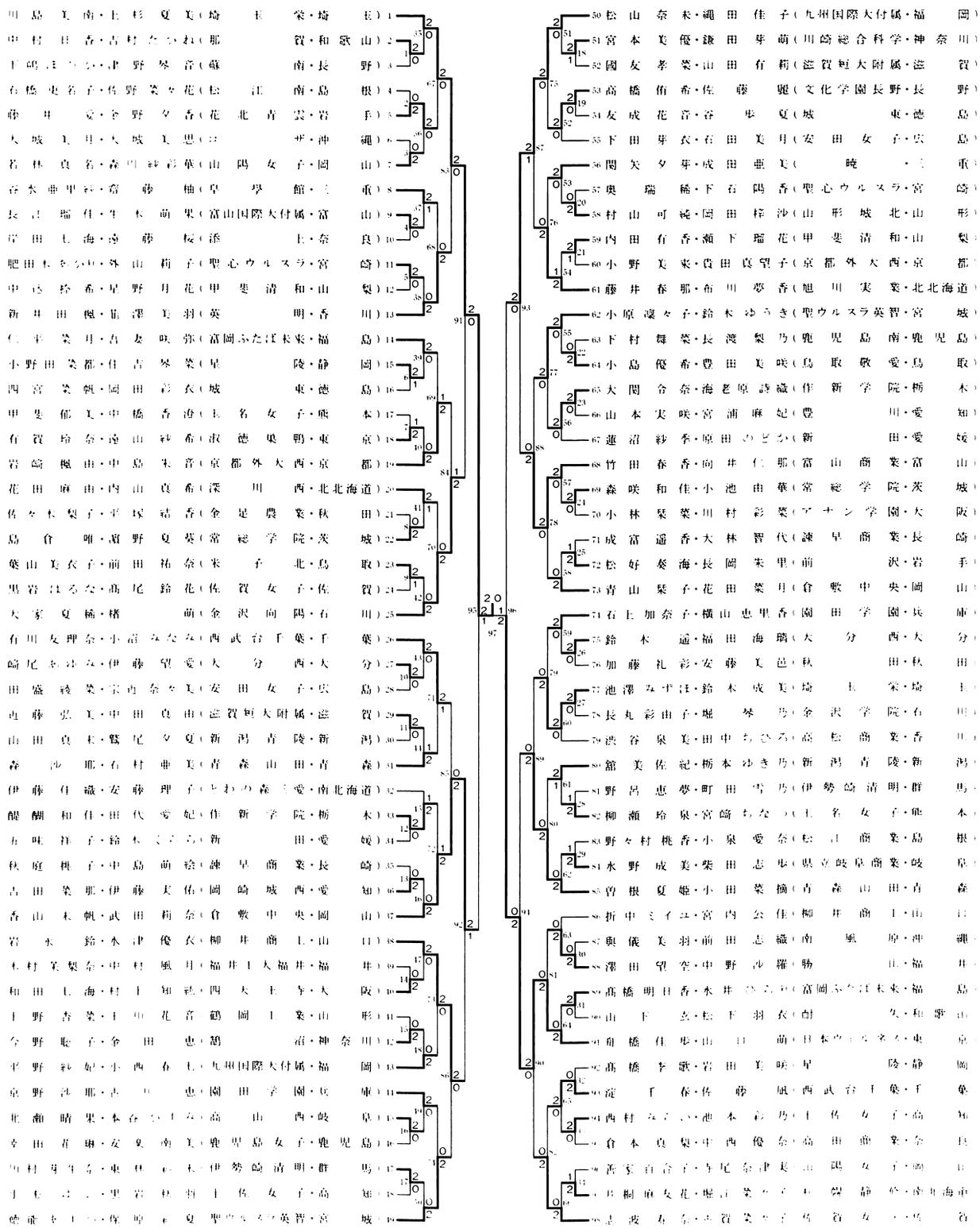
【女子団体】


青森山田（青森）
添上（奈良）
松江商業（島根）
西武台千葉（千葉）
文化学園長野（長野）
新田（愛媛）
佐賀女子（佐賀）
県立岐阜商業（岐阜）
四天王寺（大阪）
南風原（沖縄）
常総学院（茨城）
山形城北（山形）
倉敷中央（岡山）
勝山（福井）
花北青雲（岩手）
大分西（大分）
旭川実業（北北海道）
作新学院（栃木）
英明（香川）
安田女子（広島）
星陵（静岡）
京都外大西（京都）
甲斐清和（山梨）
富山国際大付属（富山）
九州国際大付属（福岡）
金沢向陽（石川）
鵠沼（神奈川）
米子北（鳥取）
土佐女子（高知）
耐久（和歌山）
諫早商業（長崎）
とわの森三愛（南北海道）
聖ウルスラ英智（宮城）
岡崎城西（愛知）
玉名女子（熊本）
日本ウェルネス（東京）
園田学園（兵庫）
埼玉栄（埼玉）
滋賀短大附属（滋賀）
秋田（秋田）
聖心ウルスラ（宮崎）
暁（三重）
柳井商工（山口）
新潟青陵（新潟）
伊勢崎清明（群馬）
山陽女子（岡山）
城東（徳島）
鹿児島女子（鹿児島）
富岡ふたば未来（福島）

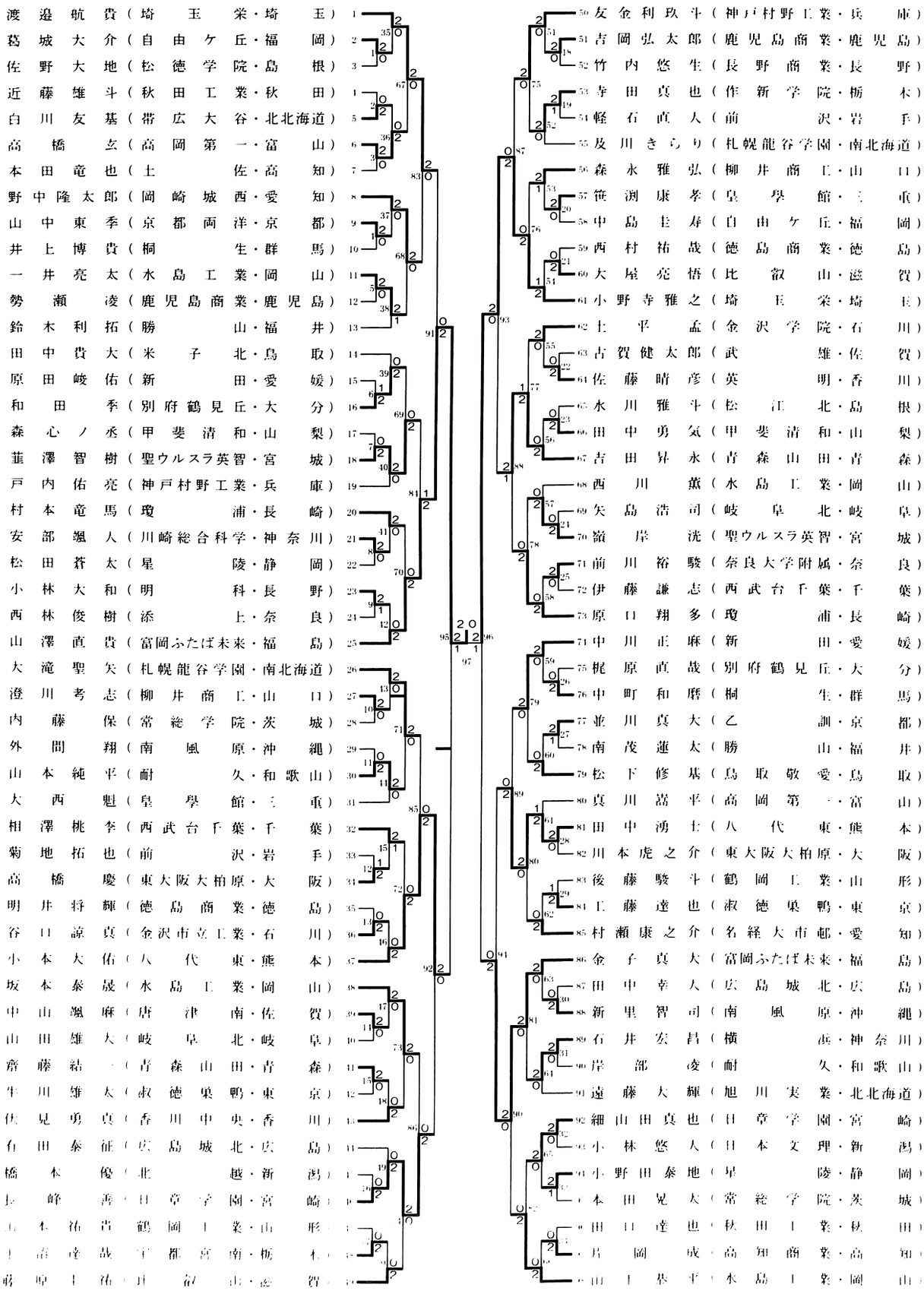
【男子ダブルス】



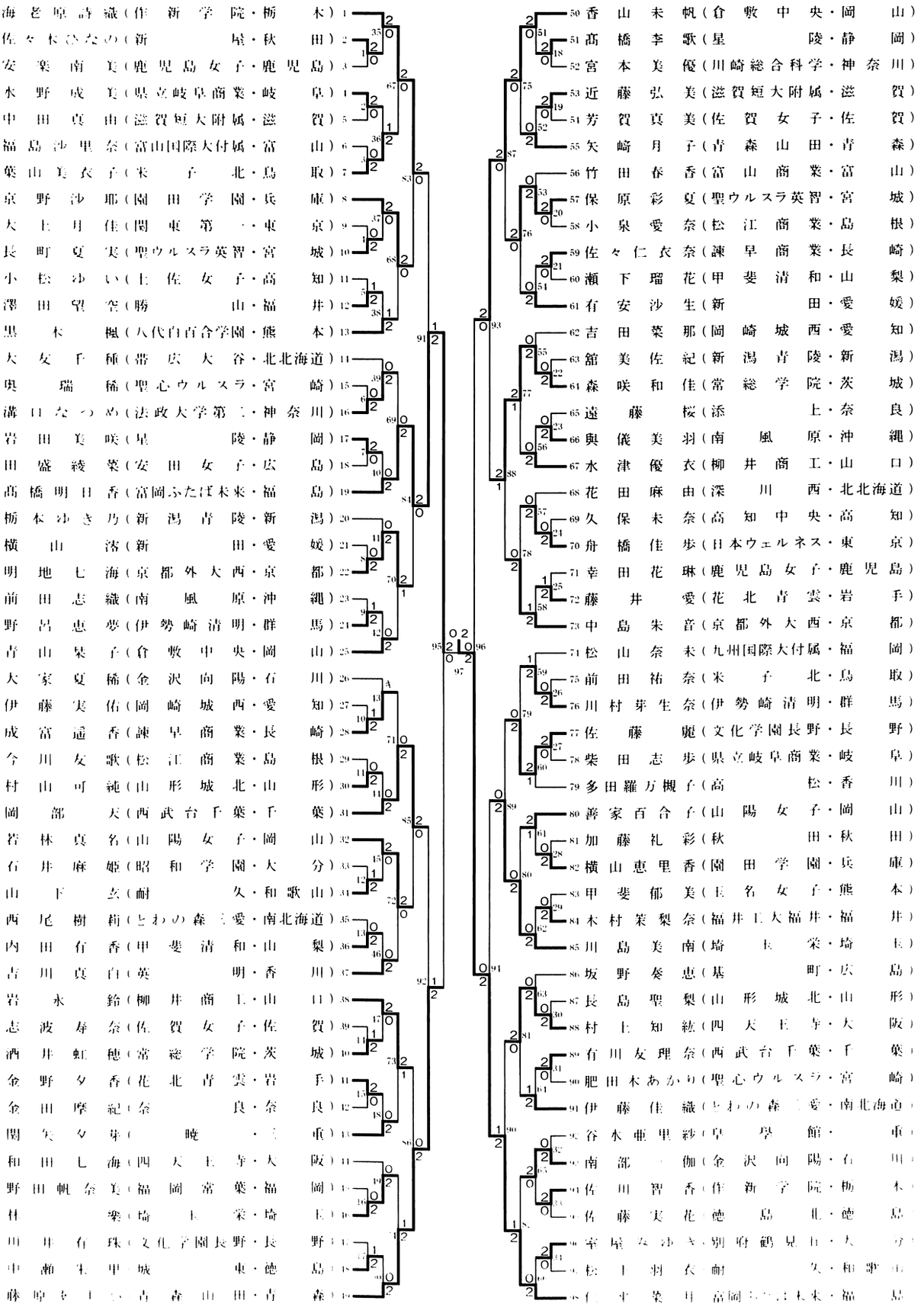
【女子ダブルス】



【男子シングルス】


渡邉航貴（埼玉栄・埼玉）1
葛城大介（自由ケ丘・福岡）2
佐野大地（松徳学院・島根）3
近藤雄斗（秋田工業・秋田）4
白川友基（帯広大谷・北北海道）5
高橋玄（高岡第一・富山）6
本田竜也（土佐・高知）7
野中隆太郎（岡崎城西・愛知）8
山中東季（京都両洋・京都）9
井上博貴（桐生・群馬）10
一井亮太（水島工業・岡山）11
勢瀬凌（鹿児島商業・鹿児島）12
鈴木利拓（勝山・福井）13
田中貴大（米子北・鳥取）14
原田峻佑（新田・愛媛）15
和田季（別府鶴見丘・大分）16
森心ノ丞（甲斐清和・山梨）17
韮澤智樹（聖ウルスラ英智・宮城）18
戸内佑亮（神戸村野工業・兵庫）19
村本竜馬（瓊浦・長崎）20
安部颯人（川崎総合科学・神奈川）21
松田蒼太（星陵・静岡）22
小林大和（明科・長野）23
西林俊樹（添上・奈良）24
山澤直貴（富岡ふたば未来・福島）25
大滝聖矢（札幌龍谷学園・南北海道）26
澄川考志（柳井商工・山口）27
内藤保（常総学院・茨城）28
外間翔（南風原・沖縄）29
山本純平（耐久・和歌山）30
大西魁（皇學館・三重）31
相澤桃李（西武台千葉・千葉）32
菊地拓也（前沢・岩手）33
高橋慶（東大阪大柏原・大阪）34
明井将輝（徳島商業・徳島）35
谷口諒真（金沢市立工業・石川）36
小本大佑（八代東・熊本）37
坂本泰晟（水島工業・岡山）38
中山颯麻（唐津南・佐賀）39
山田雄大（岐阜北・岐阜）40
齋藤結一（青森山田・青森）41
牛川雄太（淑徳巣鴨・東京）42
伏見勇真（香川中央・香川）43
有田泰征（広島城北・広島）44
橋本優（北越・新潟）45
長峰善（日章学園・宮崎）46
山本祐貴（鶴岡工業・山形）47
上畠達哉（宇都宮南・栃木）48
前原士祐（耳成・奈良）49
友金利玖斗（神戸村野工業・兵庫）50
吉岡弘太郎（鹿児島商業・鹿児島）51
竹内悠生（長野商業・長野）52
寺田真也（作新学院・栃木）53
軽石直人（前沢・岩手）54
及川きらり（札幌龍谷学園・南北海道）55
森永雅弘（柳井商工・山口）56
笹渕康孝（皇學館・三重）57
中島圭寿（自由ケ丘・福岡）58
西村祐哉（徳島商業・徳島）59
大屋亮悟（比叡山・滋賀）60
小野寺雅之（埼玉栄・埼玉）61
土平孟（金沢学院・石川）62
古賀健太郎（武雄・佐賀）63
佐藤晴彦（英明・香川）64
水川雅斗（松江北・島根）65
田中勇気（甲斐清和・山梨）66
吉田昇永（青森山田・青森）67
西川薫（水島工業・岡山）68
矢島浩司（岐阜北・岐阜）69
嶺岸洸（聖ウルスラ英智・宮城）70
前川裕駿（奈良大学附属・奈良）71
伊藤謙志（西武台千葉・千葉）72
原口翔多（瓊浦・長崎）73
中川正麻（新田・愛媛）74
梶原直哉（別府鶴見丘・大分）75
中町和磨（桐生・群馬）76
並川真大（乙訓・京都）77
南茂蓮太（勝山・福井）78
松下修基（鳥取敬愛・鳥取）79
真川嘉平（高岡第一・富山）80
田中湧士（八代東・熊本）81
川本虎之介（東大阪大柏原・大阪）82
後藤駿斗（鶴岡工業・山形）83
工藤達也（淑徳巣鴨・東京）84
村瀬康之介（名経大市邨・愛知）85
金子真大（富岡ふたば未来・福島）86
田中幸大（広島城北・広島）87
新里智司（南風原・沖縄）88
石井宏昌（横浜・神奈川）89
岸部凌（耐久・和歌山）90
遠藤大輝（旭川実業・北北海道）91
細山田真也（日章学園・宮崎）92
小林悠人（日本文理・新潟）93
小野田泰地（星陵・静岡）94
本田晃太（常総学院・茨城）95
田口達也（秋田工業・秋田）96
片岡成（高知商業・高知）97
田上基平（水島工業・岡山）98

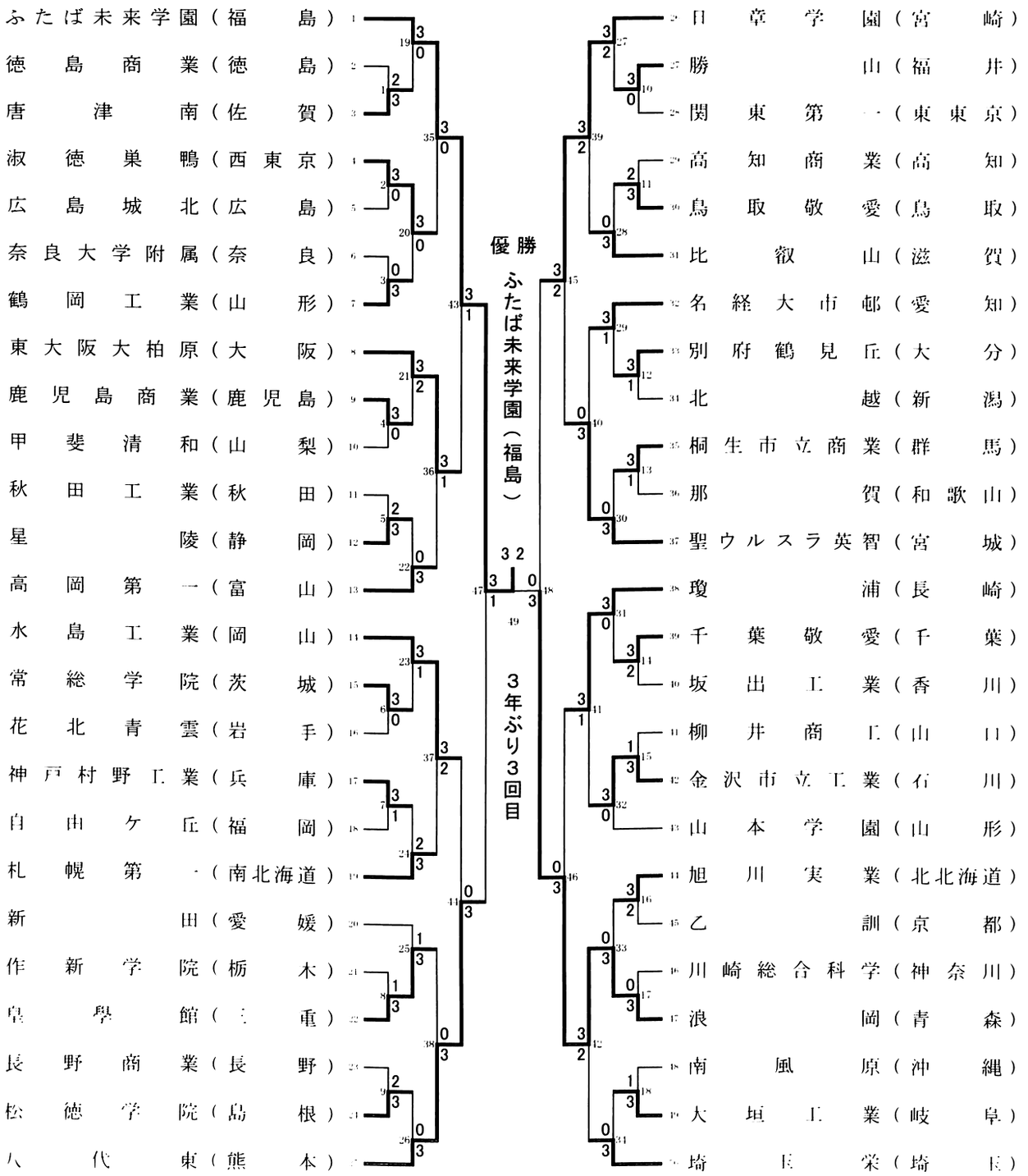
【女子シングルス】


1 海老原詩織（作新学院・栃木）
2 佐々木ひなの（新屋・秋田）
3 安楽南美（鹿児島女子・鹿児島）
4 水野成美（県立岐阜商業・岐阜）
5 中田真由（滋賀短大附属・滋賀）
6 福島沙里奈（富山国際大付属・富山）
7 菓山美衣子（米子北・鳥取）
8 京野沙耶（園田学園・兵庫）
9 大上月佳（関東第一・東京）
10 長町夏実（聖ウルスラ英智・宮城）
11 小松ゆい（土佐女子・高知）
12 澤田望空（勝山・福井）
13 黒木楓（八代白百合学園・熊本）
14 大友千種（帯広大谷・北北海道）
15 奥瑞稀（聖心ウルスラ・宮崎）
16 溝口なつめ（法政大学第二・神奈川）
17 岩田美咲（星陵・静岡）
18 田盛綾菜（安田女子・広島）
19 髙橋明日香（富岡ふたば未来・福島）
20 栃本ゆき乃（新潟青陵・新潟）
21 横山澪（新田・愛媛）
22 明地七海（京都外大西・京都）
23 前田志織（南風原・沖縄）
24 野呂恵夢（伊勢崎清明・群馬）
25 青山梨子（倉敷中央・岡山）
26 大家夏稀（金沢向陽・石川）
27 伊藤実佑（岡崎城西・愛知）
28 成富遥香（諫早商業・長崎）
29 今川友歌（松江商業・島根）
30 村山可純（山形城北・山形）
31 岡部天（西武台千葉・千葉）
32 若林真名（山陽女子・岡山）
33 石井麻姫（昭和学園・大分）
34 山下玄（耐久・和歌山）
35 西尾樹莉（とわの森三愛・南北海道）
36 内田有香（甲斐清和・山梨）
37 吉川真白（英明・香川）
38 岩永鈴（柳井商工・山口）
39 志波寿奈（佐賀女子・佐賀）
40 酒井虹穂（常総学院・茨城）
41 金野夕香（花北青雲・岩手）
42 金田摩紀奈（奈良・奈良）
43 関矢々芽（暁・三重）
44 和田七海（四天王寺・大阪）
45 野田帆奈美（福岡常葉・福岡）
46 桂楽（埼玉栄・埼玉）
47 田井有珠（文化学園長野・長野）
48 中瀬生甲城（東・徳島）
49 藤原ゆい（青森山田・青森）
50 香山未帆（倉敷中央・岡山）
51 髙橋李歌（星陵・静岡）
52 宮本美優（川崎総合科学・神奈川）
53 近藤弘美（滋賀短大附属・滋賀）
54 芳賀真美（佐賀女子・佐賀）
55 矢崎月子（青森山田・青森）
56 竹田春香（富山商業・富山）
57 保原彩夏（聖ウルスラ英智・宮城）
58 小泉愛奈（松江商業・島根）
59 佐々仁衣奈（諫早商業・長崎）
60 瀬下瑠花（甲斐清和・山梨）
61 有安沙生（新田・愛媛）
62 吉田菜那（岡崎城西・愛知）
63 舘美佐紀（新潟青陵・新潟）
64 森咲和佳（常総学院・茨城）
65 遠藤桜（添上・奈良）
66 與儀美羽（南風原・沖縄）
67 水津優衣（柳井商工・山口）
68 花田麻由（深川西・北北海道）
69 久保未奈（高知中央・高知）
70 舟橋佳歩（日本ウェルネス・東京）
71 幸田花琳（鹿児島女子・鹿児島）
72 藤井愛（花北青雲・岩手）
73 中島朱音（京都外大西・京都）
74 松山奈未（九州国際大付属・福岡）
75 前田祐奈（米子北・鳥取）
76 川村芽生奈（伊勢崎清明・群馬）
77 佐藤麗（文化学園長野・長野）
78 柴田志歩（県立岐阜商業・岐阜）
79 多田羅万槻子（高松・香川）
80 善家百合子（山陽女子・岡山）
81 加藤礼彩（秋田・秋田）
82 横山恵里香（園田学園・兵庫）
83 甲斐郁美（玉名女子・熊本）
84 木村茉梨奈（福井工大福井・福井）
85 川島美南（埼玉栄・埼玉）
86 坂野奏恵（基町・広島）
87 長島聖梨（山形城北・山形）
88 村上知紘（四天王寺・大阪）
89 有川友理奈（西武台千葉・千葉）
90 肥田木あかり（聖心ウルスラ・宮崎）
91 伊藤佳織（とわの森三愛・南北海道）
92 谷水亜里紗（早学館・三重）
93 南部一伽（金沢向陽・石川）
94 佐川智香（作新学院・栃木）
95 佐藤実花（徳島北・徳島）
96 幸屋なおき（別府鶴見丘・大分）
97 松上羽衣（耐久・和歌山）
98 仁平菜月（富岡ふたば未来・福島）

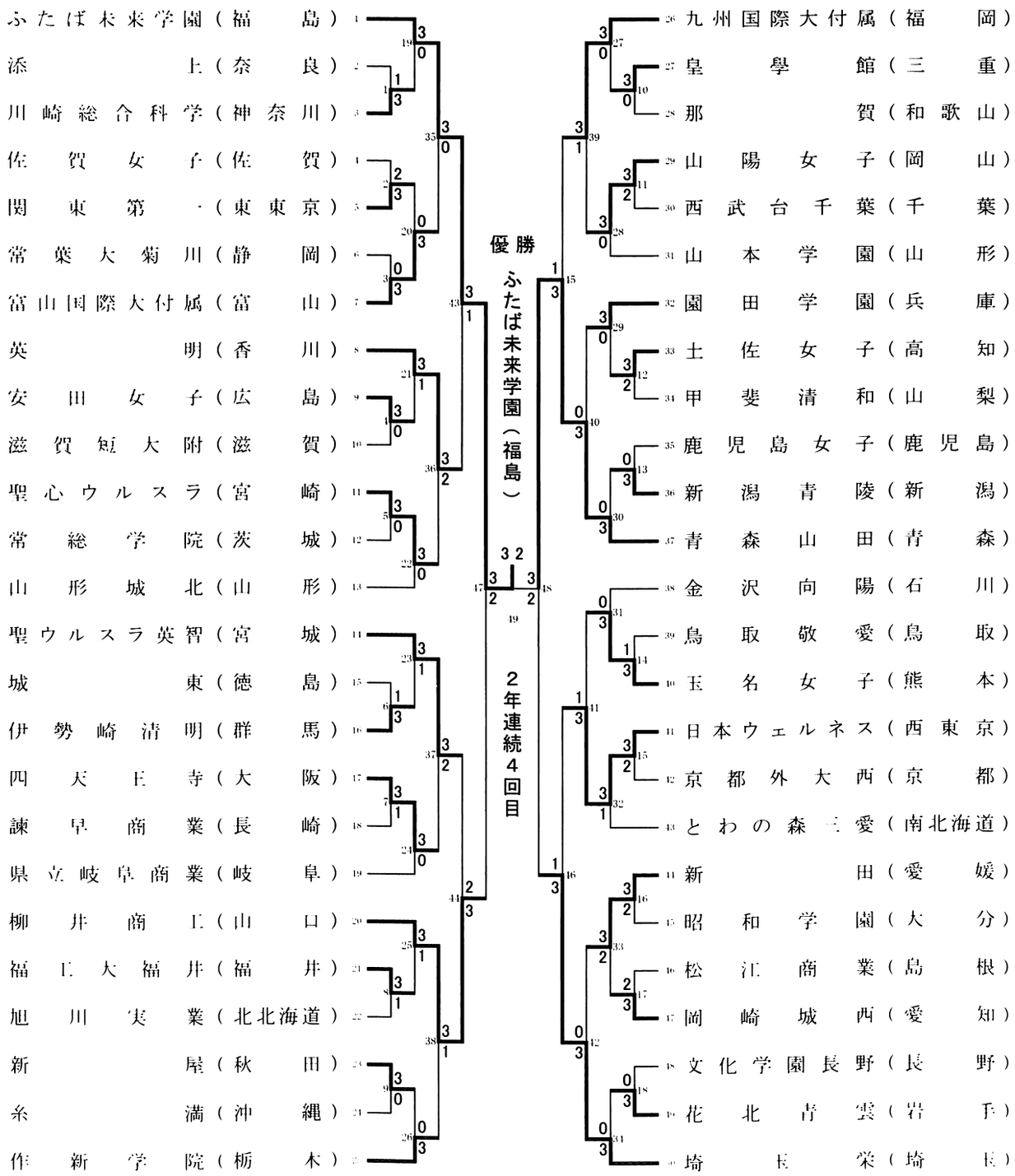
第68回全国高等学校バドミントン選手権大会（2017年度）

期　日▶平成29年７月29日（土）～８月３日（木）
会　場▶鶴岡市小真木原総合体育館・鶴岡市藤島体育館・新庄市体育館
尾花沢市文化体育施設「サルナート」

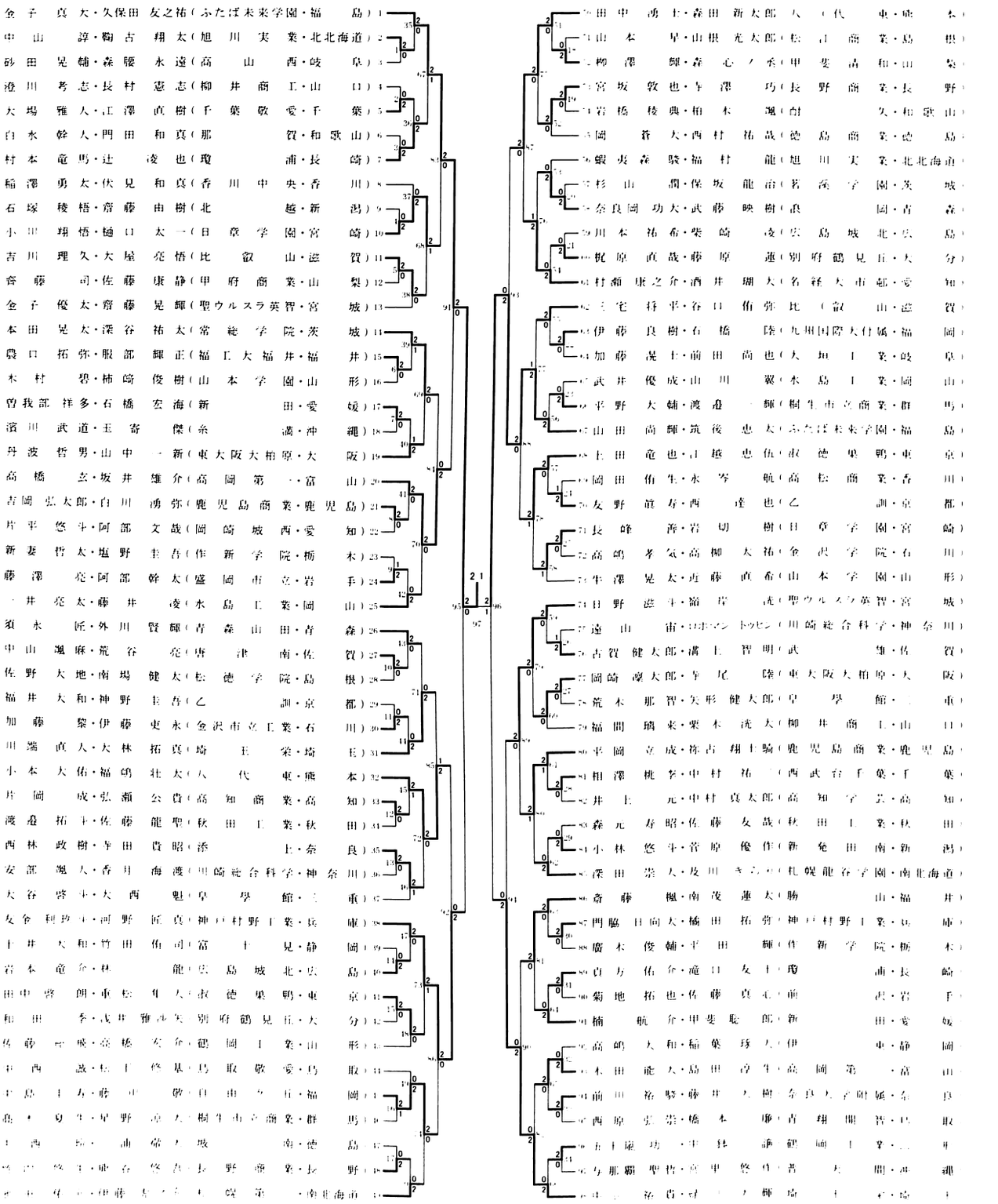
【男子団体】



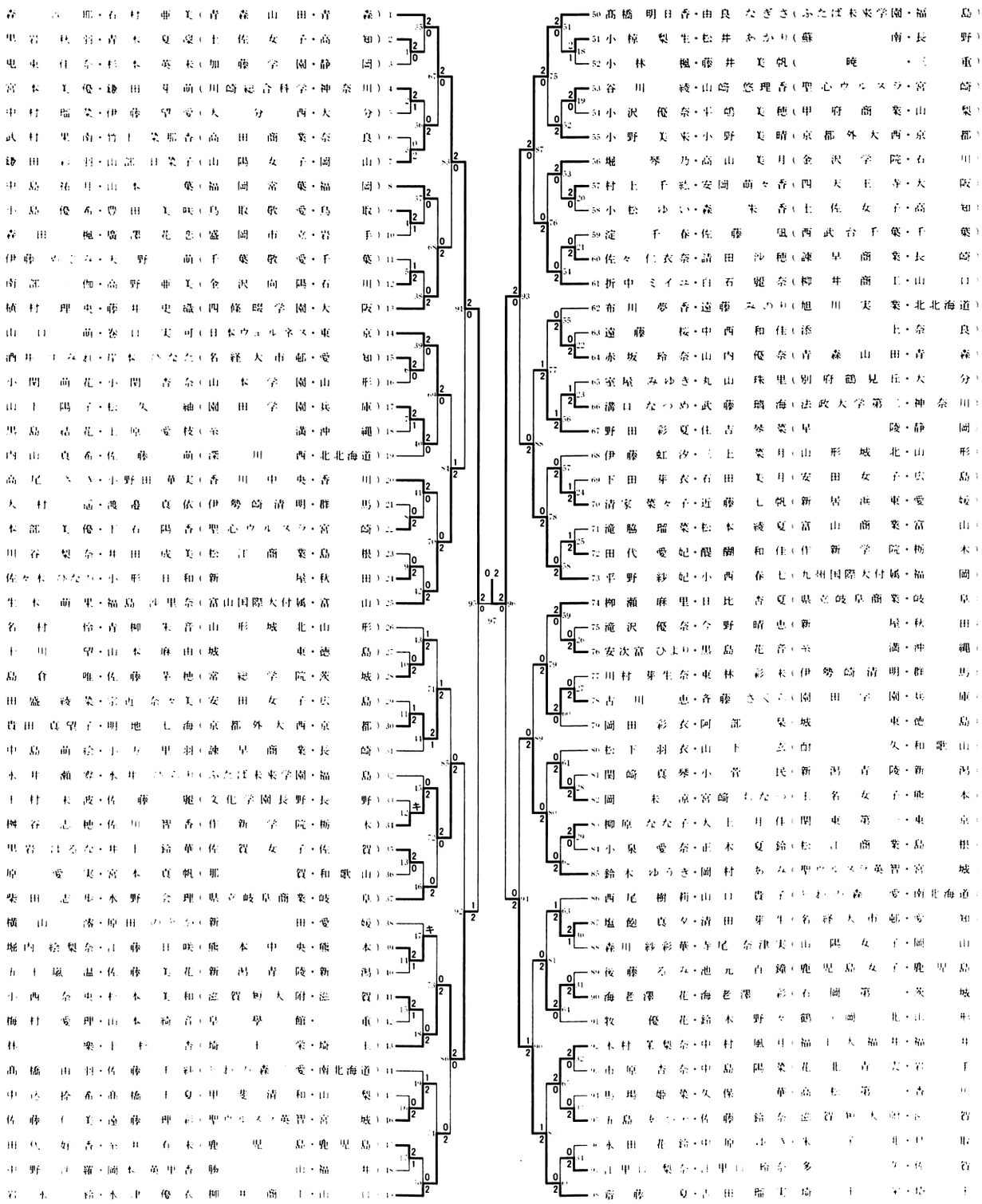
【女子団体】


ふたば未来学園（福島）
添上（奈良）
川崎総合科学（神奈川）
佐賀女子（佐賀）
関東第一（東東京）
常葉大菊川（静岡）
富山国際大付属（富山）
英明（香川）
安田女子（広島）
滋賀短大附（滋賀）
聖心ウルスラ（宮崎）
常総学院（茨城）
山形城北（山形）
聖ウルスラ英智（宮城）
城東（徳島）
伊勢崎清明（群馬）
四天王寺（大阪）
諫早商業（長崎）
県立岐阜商業（岐阜）
柳井商工（山口）
福工大福井（福井）
旭川実業（北北海道）
新屋（秋田）
糸満（沖縄）
作新学院（栃木）
優勝
ふたば未来学園（福島）
2年連続4回目
九州国際大付属（福岡）
皇學館（三重）
那賀（和歌山）
山陽女子（岡山）
西武台千葉（千葉）
山本学園（山形）
園田学園（兵庫）
土佐女子（高知）
甲斐清和（山梨）
鹿児島女子（鹿児島）
新潟青陵（新潟）
青森山田（青森）
金沢向陽（石川）
鳥取敬愛（鳥取）
玉名女子（熊本）
日本ウェルネス（西東京）
京都外大西（京都）
とわの森三愛（南北海道）
新田（愛媛）
昭和学園（大分）
松江商業（島根）
岡崎城西（愛知）
文化学園長野（長野）
花北青雲（岩手）
埼玉栄（埼玉）

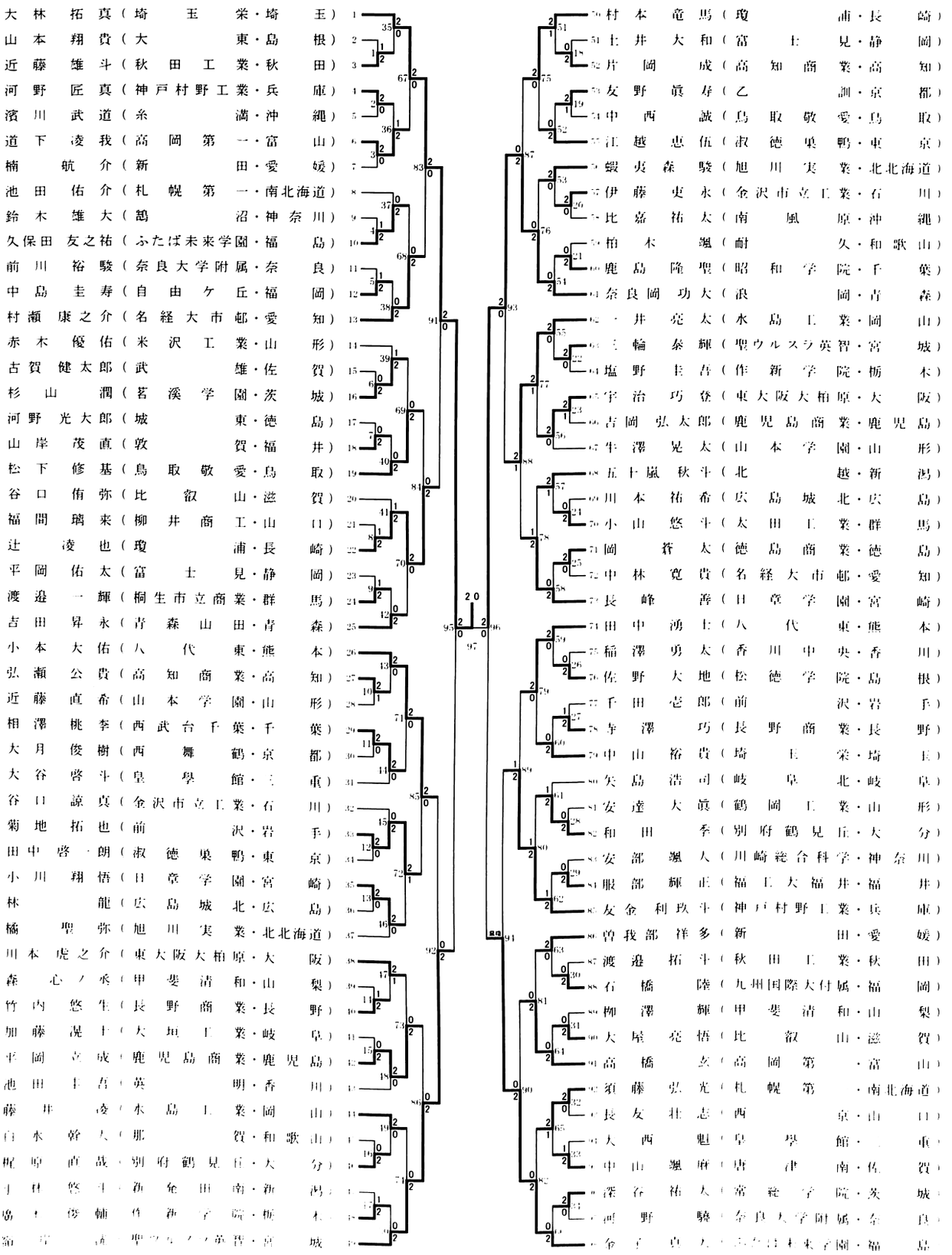
【男子ダブルス】



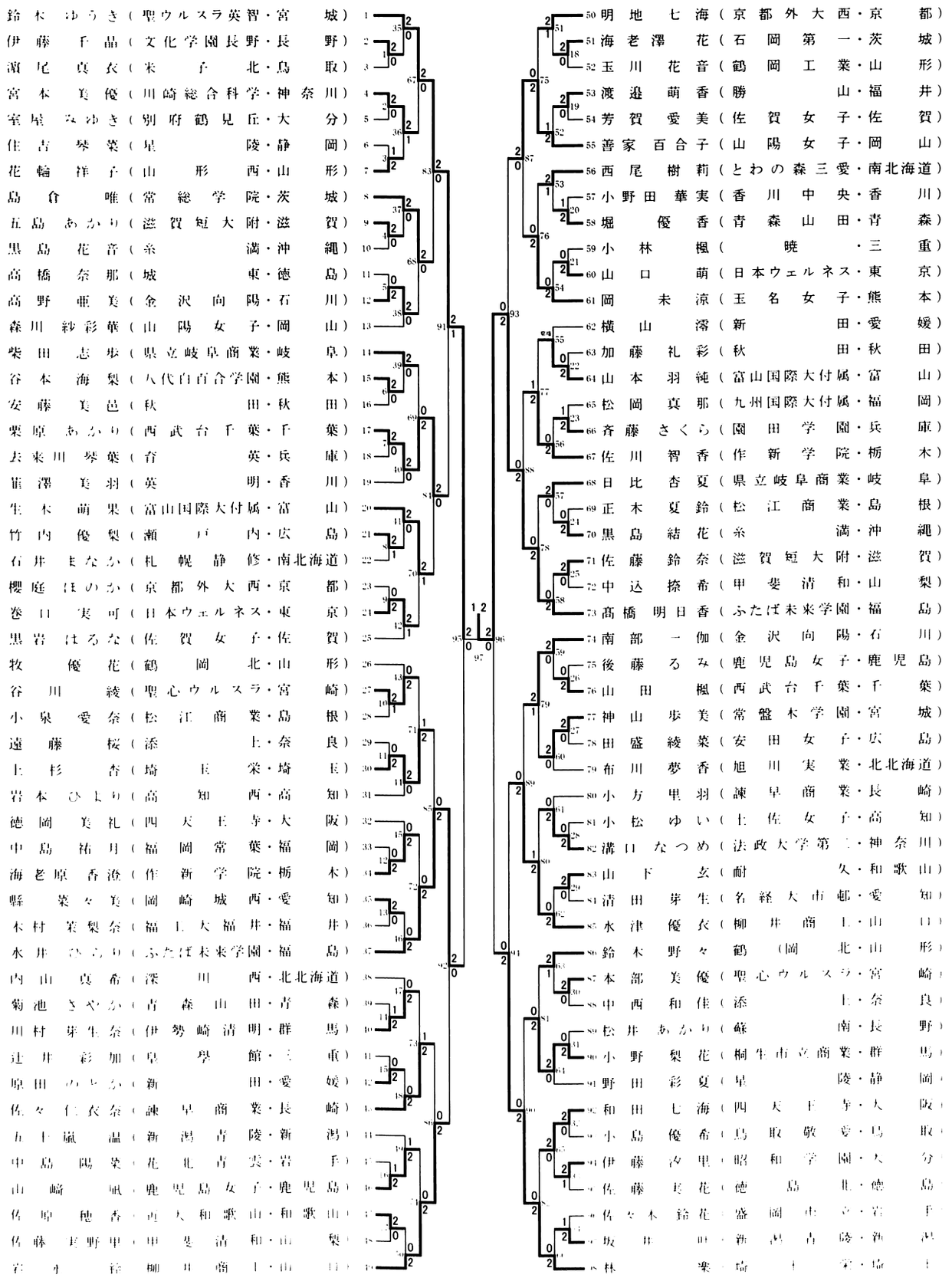
【女子ダブルス】



【男子シングルス】


大林拓真（埼玉栄・埼玉）
山本翔貴（大東・島根）
近藤雄斗（秋田工業・秋田）
河野匠真（神戸村野工業・兵庫）
濱川武道（糸満・沖縄）
道下凌我（高岡第一・富山）
楠航介（新田・愛媛）
池田佑介（札幌第一・南北海道）
鈴木雄大（鶴沼・神奈川）
久保田友之祐（ふたば未来学園・福島）
前川裕駿（奈良大学附属・奈良）
中島圭寿（自由ケ丘・福岡）
村瀬康之介（名経大市邨・愛知）
赤木優佑（米沢工業・山形）
古賀健太郎（武雄・佐賀）
杉山潤（茗渓学園・茨城）
河野光大郎（城東・徳島）
山岸茂直（敦賀・福井）
松下修基（鳥取敬愛・鳥取）
谷口侑弥（比叡山・滋賀）
福間璃来（柳井商工・山口）
辻凌也（瓊浦・長崎）
平岡佑太（富士見・静岡）
渡邉一輝（桐生市立商業・群馬）
吉田昇永（青森山田・青森）
小本大佑（八代東・熊本）
弘瀬公貴（高知商業・高知）
近藤直希（山本学園・山形）
相澤桃李（西武台千葉・千葉）
大月俊樹（西舞鶴・京都）
大谷啓斗（皇學館・三重）
谷口諒真（金沢市立工業・石川）
菊地拓也（前沢・岩手）
田中啓一朗（淑徳巣鴨・東京）
小川翔悟（日章学園・宮崎）
林龍（広島城北・広島）
橘聖弥（旭川実業・北北海道）
川本虎之介（東大阪大柏原・大阪）
森心ノ承（甲斐清和・山梨）
竹内悠生（長野商業・長野）
加藤滉士（大垣工業・岐阜）
平岡立成（鹿児島商業・鹿児島）
池田圭吾（英明・香川）
藤井凌（水島工業・岡山）
白水幹人（那賀・和歌山）
堀卓直哉（別府鶴見丘・大分）
寺田悠斗（勿来田南・新潟）
島本優輔（作新学院・栃木）
斎藤遥（聖ウルスラ英智・宮城）
村本竜馬（瓊浦・長崎）
土井大和（富士見・静岡）
片岡成（高知商業・高知）
友野眞寿（乙訓・京都）
中西誠（鳥取敬愛・鳥取）
江越恵伍（淑徳巣鴨・東京）
蝦夷森駿（旭川実業・北北海道）
伊藤吏永（金沢市立工業・石川）
比嘉祐太（南風原・沖縄）
栢木颯（耐久・和歌山）
鹿島隆聖（昭和学院・千葉）
奈良岡功大（浪岡・青森）
一井亮太（水島工業・岡山）
三輪泰輝（聖ウルスラ英智・宮城）
塩野圭吾（作新学院・栃木）
宇治巧登（東大阪大柏原・大阪）
吉岡弘太郎（鹿児島商業・鹿児島）
牛澤晃太（山本学園・山形）
五十嵐秋斗（北越・新潟）
川本祐希（広島城北・広島）
小山悠斗（太田工業・群馬）
岡蒼太（徳島商業・徳島）
中林寛貴（名経大市邨・愛知）
長峰善（日章学園・宮崎）
田中湧士（八代東・熊本）
稲澤勇太（香川中央・香川）
佐野大地（松徳学院・島根）
千田壱郎（前沢・岩手）
隼澤巧（長野商業・長野）
中山裕貴（埼玉栄・埼玉）
矢島浩司（岐阜北・岐阜）
安達大眞（鶴岡工業・山形）
和田季（別府鶴見丘・大分）
安部颯人（川崎総合科学・神奈川）
服部輝正（福工大福井・福井）
友金利玖斗（神戸村野工業・兵庫）
曽我部洋多（新田・愛媛）
渡邉拓斗（秋田工業・秋田）
石橋陸（九州国際大付属・福岡）
柳澤輝（甲斐清和・山梨）
大屋亮悟（比叡山・滋賀）
高橋玄（高岡第一・富山）
須藤弘光（札幌第一・南北海道）
長友壮志（西京・山口）
大西魁（皇學館・三重）
中山颯磨（唐津南・佐賀）
深谷祐大（常総学院・茨城）
西野駿（奈良大学附属・奈良）
金子直人（ふたば未来学園・福島）

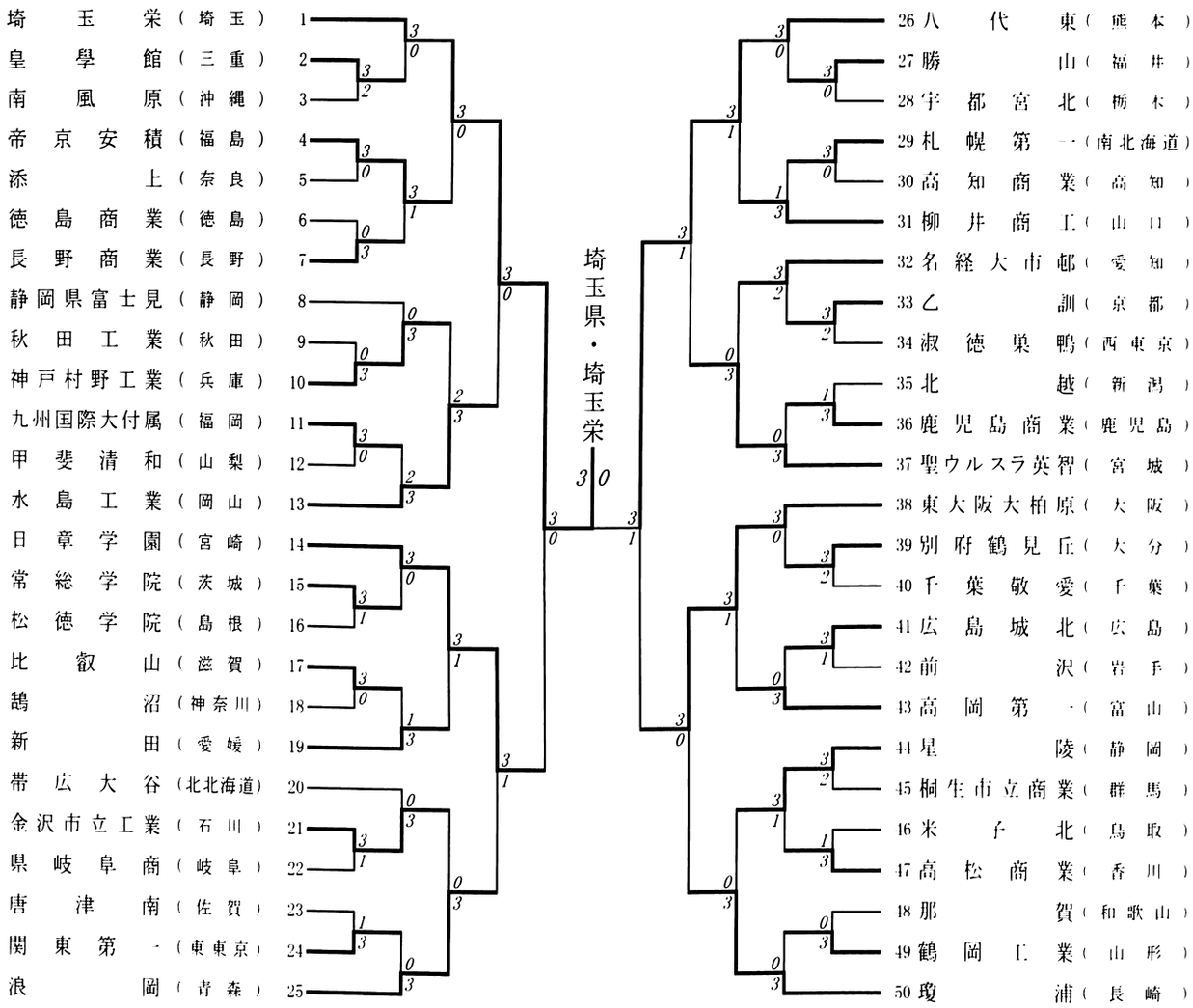
【女子シングルス】


鈴木　ゆうき（聖ウルスラ英智・宮　城）
伊藤　千晶（文化学園長野・長　野）
瀬尾　真衣（米　子　北・鳥　取）
宮本　美優（川崎総合科学・神奈川）
室屋　なゆき（別府鶴見丘・大　分）
住吉　琴葉（星　　陵・静　岡）
花輪　洋子（山　形　西・山　形）
島倉　　唯（常総学院・茨　城）
五島　あかり（滋賀短大附・滋　賀）
黒島　花音（糸　　満・沖　縄）
高橋　奈那（城　　東・徳　島）
高野　亜美（金沢向陽・石　川）
森川　紗彩華（山陽女子・岡　山）
柴田　志歩（県立岐阜商業・岐　阜）
谷本　海梨（八代白百合学園・熊　本）
安藤　美邑（秋　　田・秋　田）
栗原　あかり（西武台千葉・千　葉）
吉東川　琴葉（育　　英・兵　庫）
崔澤　美羽（英　　明・香　川）
生木　萌果（富山国際大付属・富　山）
竹内　優梨（瀬　戸　内・広　島）
石井　まなか（札　幌　静　修・南北海道）
櫻庭　ほのか（京都外大西・京　都）
巻口　実可（日本ウェルネス・東　京）
黒岩　はるな（佐賀女子・佐　賀）
牧　　優花（鶴　岡　北・山　形）
谷川　　綾（聖心ウルスラ・宮　崎）
小泉　愛奈（松江商業・島　根）
遠藤　　桜（添　　上・奈　良）
上杉　　杏（埼　玉　栄・埼　玉）
岩本　ひより（高　知　西・高　知）
徳岡　美礼（四天王寺・大　阪）
中島　祐月（福岡常葉・福　岡）
海老原　香澄（作新学院・栃　木）
縣　菜々美（岡崎城西・愛　知）
木村　茉梨奈（福工大福井・福　井）
水井　ひより（ふたば未来学園・福　島）
内山　真希（深　　川　西・北北海道）
菊池　さやか（青森山田・青　森）
川村　琴生奈（伊勢崎清明・群　馬）
辻井　彩加（皇　學　館・三　重）
原田　のどか（新　　田・愛　媛）
佐々木仁衣奈（諫早商業・長　崎）
五十嵐　温（新潟青陵・新　潟）
中島　陽菜（花北青雲・岩　手）
山崎　　凪（鹿児島女子・鹿児島）
佐原　穂香（高　野　和歌山・和歌山）
佐藤　玉野甲（甲　斐　清　和・山　梨）
石　　音（柳井商工・山　口）
明地　七海（京都外大西・京　都）
海老澤　花（石岡第一・茨　城）
玉川　花音（鶴岡工業・山　形）
渡邉　萌香（勝　　山・福　井）
芳賀　愛美（佐賀女子・佐　賀）
善家　百合子（山陽女子・岡　山）
西尾　樹莉（とわの森三愛・南北海道）
小野田　華実（香川中央・香　川）
堀　　優香（青森山田・青　森）
小林　　楓（暁　　・三　重）
山口　　萌（日本ウェルネス・東　京）
岡　　未涼（玉名女子・熊　本）
横山　　澪（新　　田・愛　媛）
加藤　礼彩（秋　　田・秋　田）
山本　羽純（富山国際大付属・富　山）
松岡　真那（九州国際大付属・福　岡）
斉藤　さくら（園田学園・兵　庫）
佐川　智香（作新学院・栃　木）
日比　杏夏（県立岐阜商業・岐　阜）
正木　夏鈴（松江商業・島　根）
黒島　結花（糸　　満・沖　縄）
佐藤　鈴奈（滋賀短大附・滋　賀）
中込　捺希（甲　斐　清　和・山　梨）
髙橋　明日香（ふたば未来学園・福　島）
南部　一伽（金沢向陽・石　川）
後藤　るみ（鹿児島女子・鹿児島）
山田　　楓（西武台千葉・千　葉）
神山　歩美（常盤木学園・宮　城）
田盛　綾菜（安田女子・広　島）
布川　夢香（旭川実業・北北海道）
小方　里羽（諫早商業・長　崎）
小松　ゆい（土佐女子・高　知）
溝口　なつめ（法政大学第二・神奈川）
山下　　玄（耐　　久・和歌山）
清田　芽生（名経大市邨・愛　知）
水津　優衣（柳井商工・山　口）
鈴木野々鶴（岡　北・山　形）
本部　美優（聖心ウルスラ・宮　崎）
中西　和佳（添　　上・奈　良）
松井　あかり（蘇　　南・長　野）
小野　梨花（桐生市立商業・群　馬）
野田　彩夏（星　　陵・静　岡）
和田　七海（四天王寺・大　阪）
小島　優希（鳥取敬愛・鳥　取）
伊藤　夕里（昭和学園・大　分）
佐藤　玉花（徳　　島　北・徳　島）
佐々木　鈴花（盛　岡　市　立・岩　手）
坂井　　叶（新潟青陵・新　潟）
林　　楽（琴　　丘　東・鳥　取）

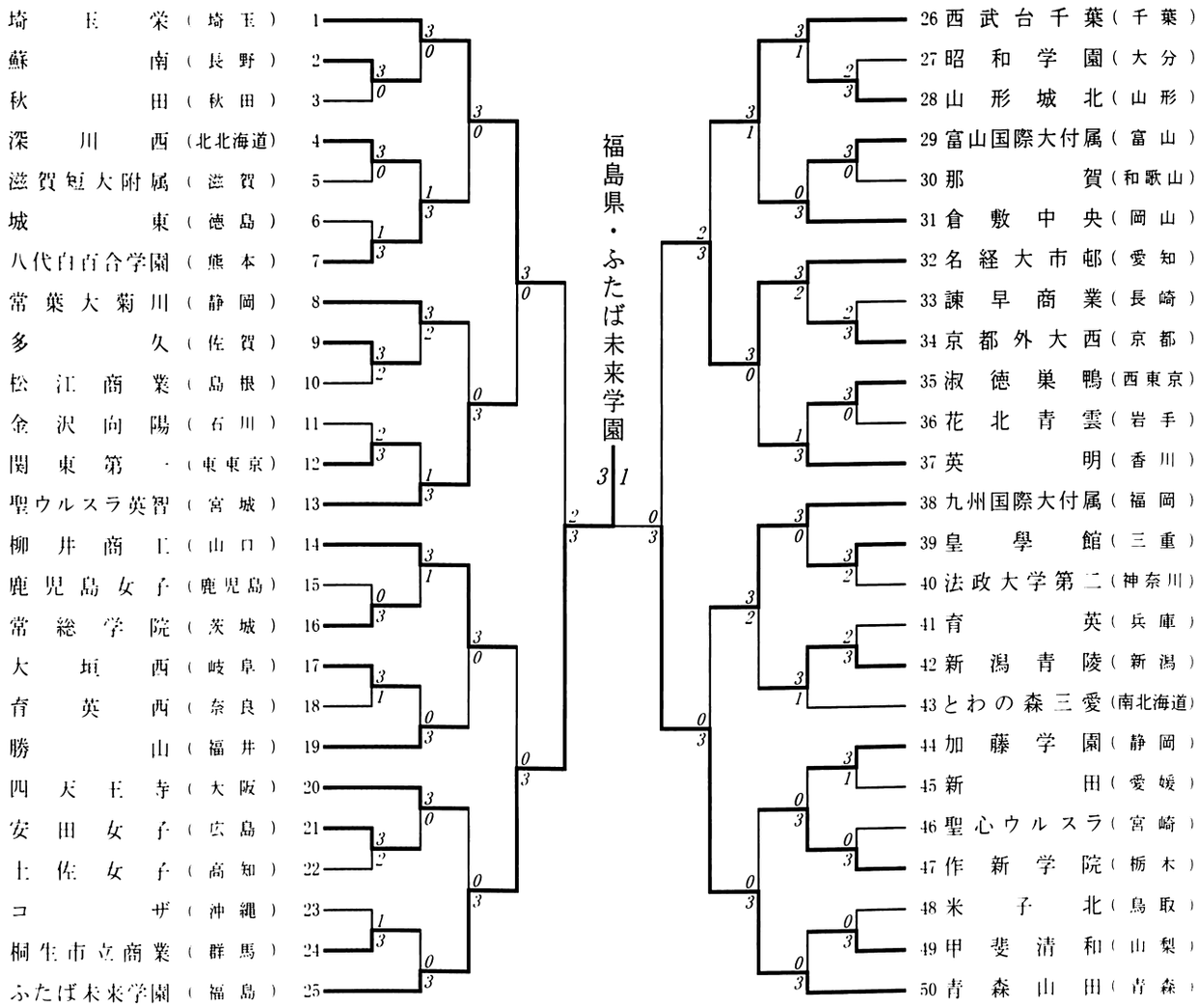
第69回全国高等学校バドミントン選手権大会（2018年度）

期　日▶平成30年８月４日（土）～９日（木）
会　場▶浜松アリーナ・浜北総合体育館「グリーンアリーナ」

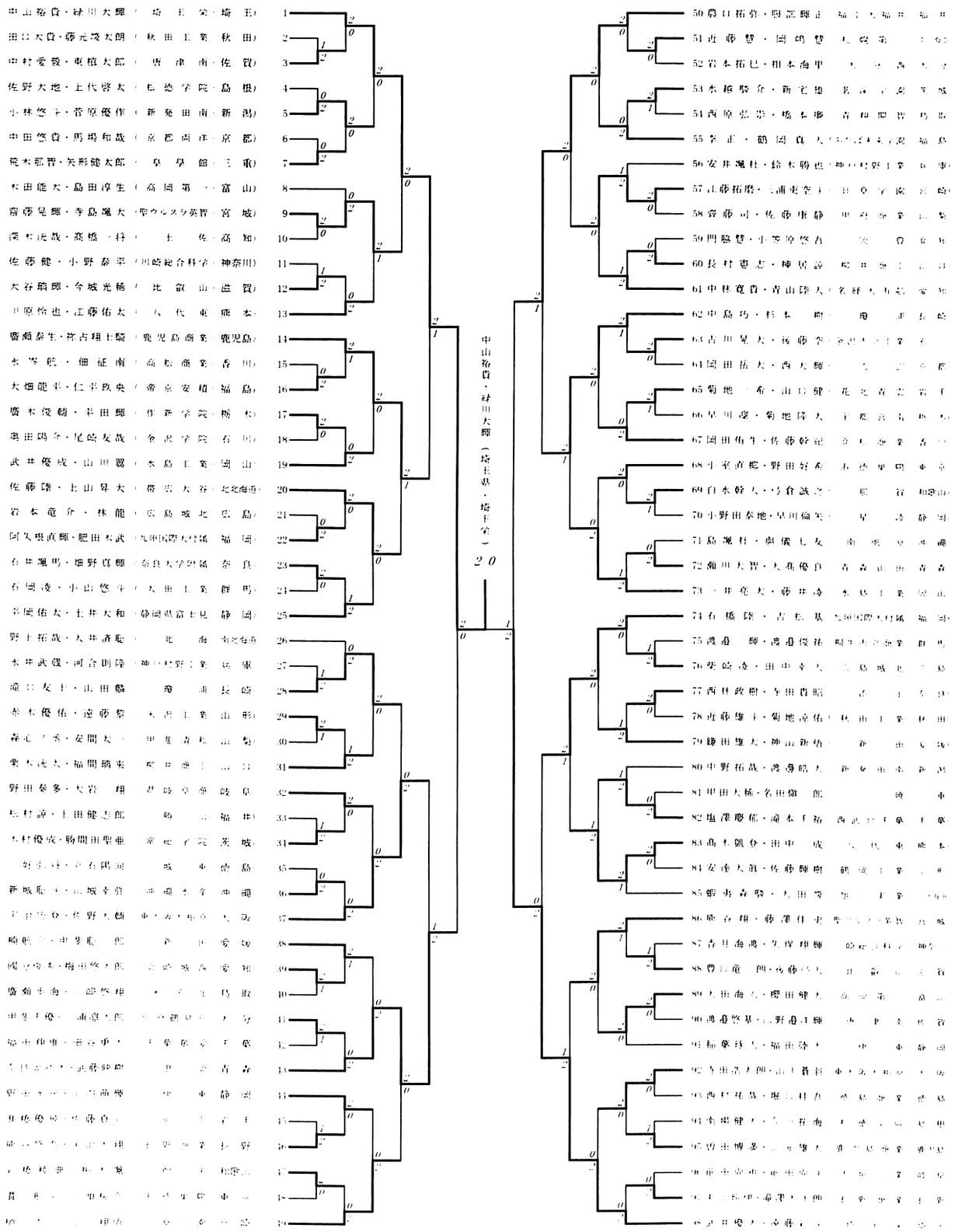
【 男 子 団 体 】



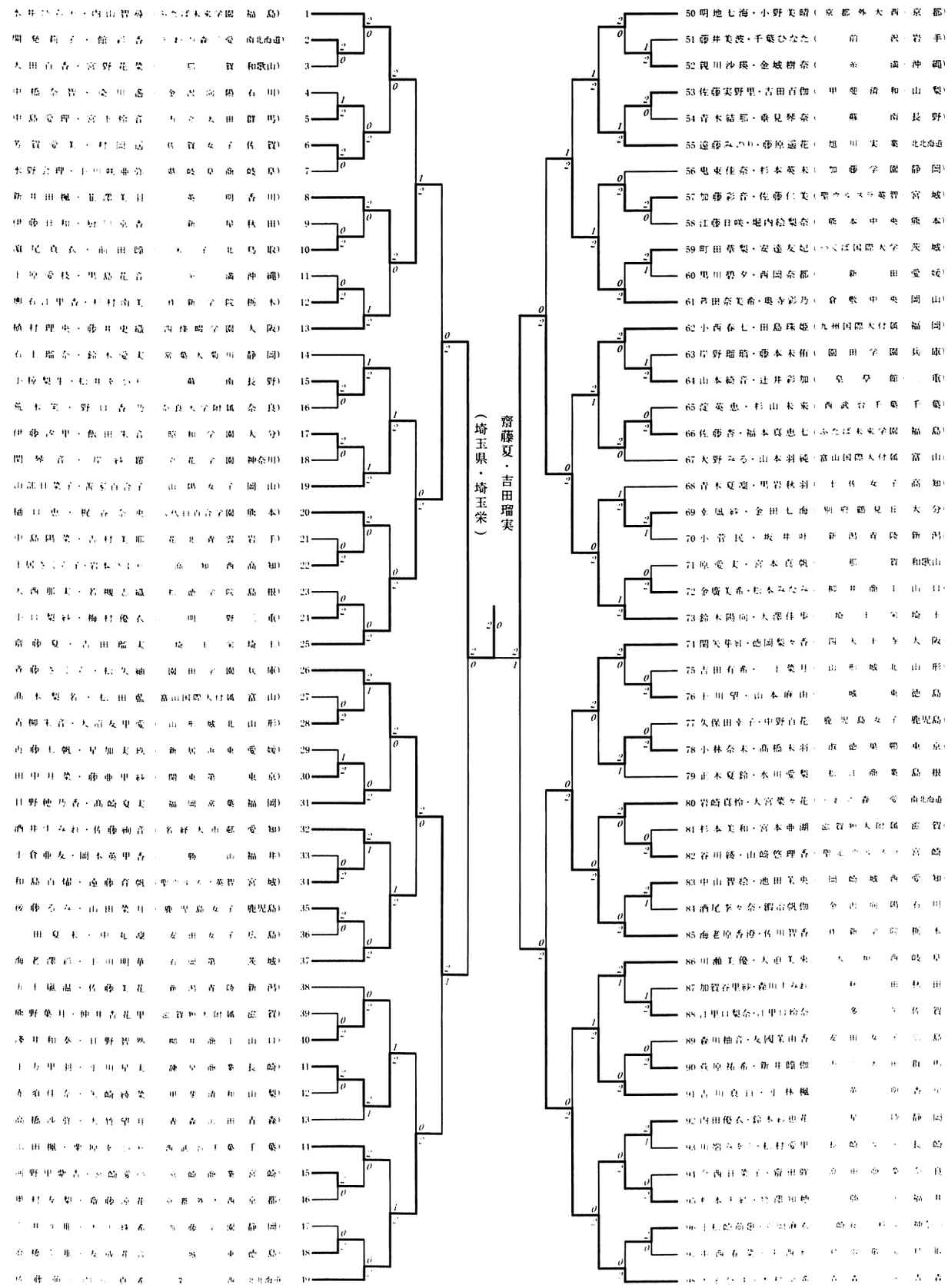
【女子団体】


埼玉栄（埼玉） 1
蘇南（長野） 2
秋田（秋田） 3
深川西（北北海道） 4
滋賀短大附属（滋賀） 5
城東（徳島） 6
八代白百合学園（熊本） 7
常葉大菊川（静岡） 8
多久（佐賀） 9
松江商業（島根） 10
金沢向陽（石川） 11
関東第一（東東京） 12
聖ウルスラ英智（宮城） 13
柳井商工（山口） 14
鹿児島女子（鹿児島） 15
常総学院（茨城） 16
大垣西（岐阜） 17
育英西（奈良） 18
勝山（福井） 19
四天王寺（大阪） 20
安田女子（広島） 21
土佐女子（高知） 22
コザ（沖縄） 23
桐生市立商業（群馬） 24
ふたば未来学園（福島） 25
福島県・ふたば未来学園
26 西武台千葉（千葉）
27 昭和学園（大分）
28 山形城北（山形）
29 富山国際大付属（富山）
30 那賀（和歌山）
31 倉敷中央（岡山）
32 名経大市邨（愛知）
33 諫早商業（長崎）
34 京都外大西（京都）
35 淑徳巣鴨（西東京）
36 花北青雲（岩手）
37 英明（香川）
38 九州国際大付属（福岡）
39 皇學館（三重）
40 法政大学第二（神奈川）
41 育英（兵庫）
42 新潟青陵（新潟）
43 とわの森三愛（南北海道）
44 加藤学園（静岡）
45 新田（愛媛）
46 聖心ウルスラ（宮崎）
47 作新学院（栃木）
48 米子北（鳥取）
49 甲斐清和（山梨）
50 青森山田（青森）

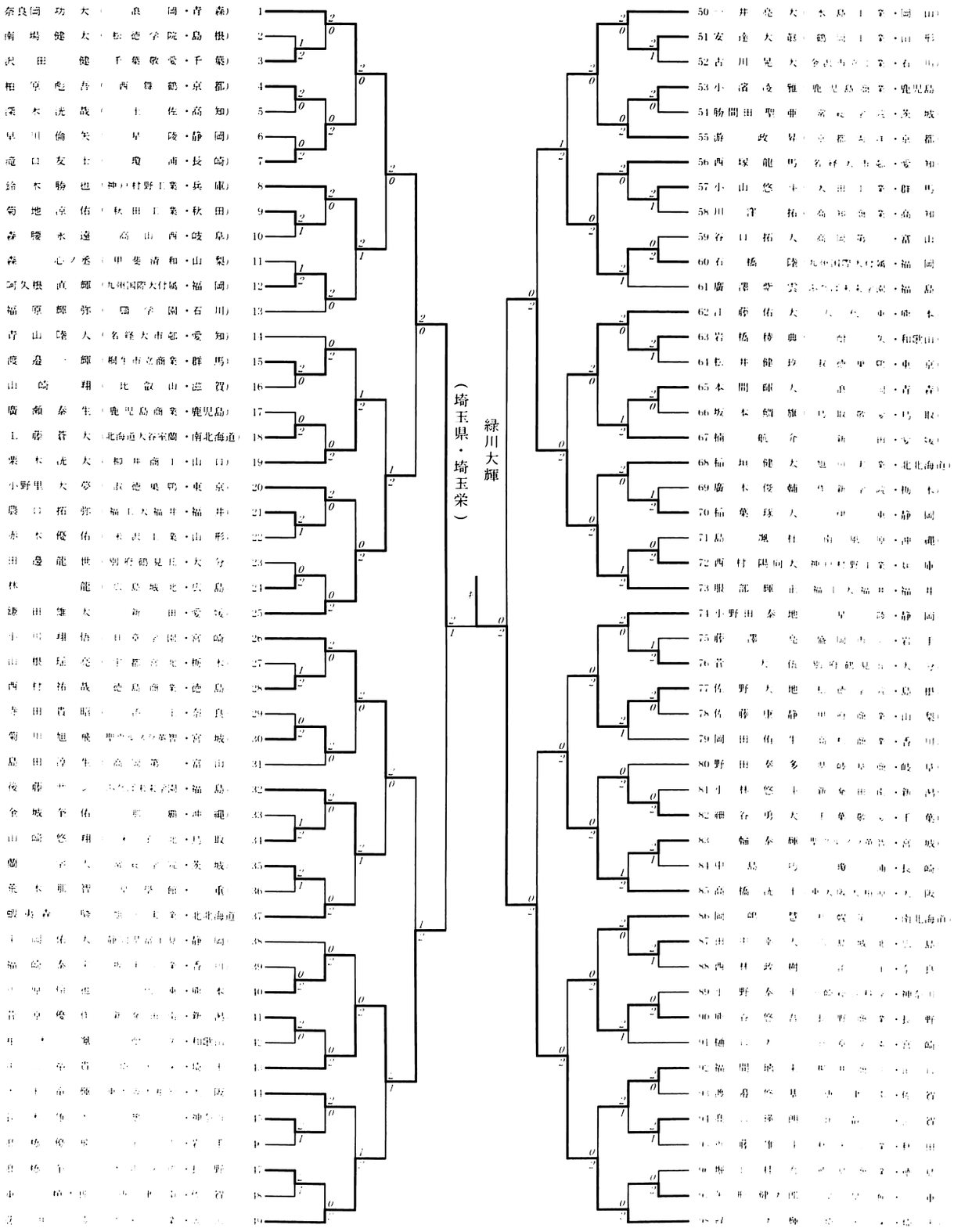
【男子ダブルス】



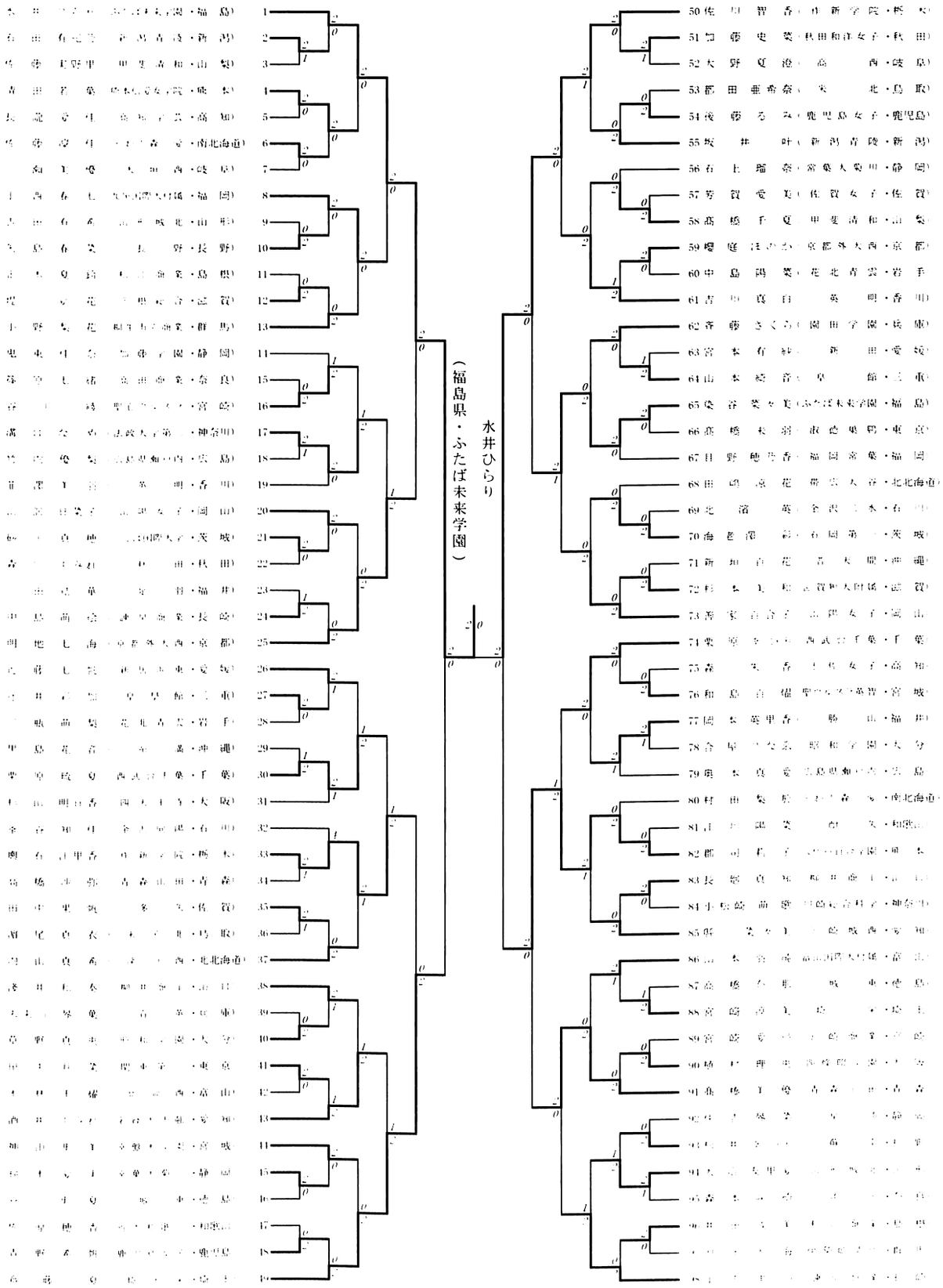
【女子ダブルス】



【男子シングルス】



【女子シングルス】



全国高等学校総合体育大会　入賞校・入賞者一覧

回数	種別	1位	2位	3位	
第60回 2009年度（平成21年度） 大阪府大阪市 大阪府立体育会館 大阪市立住吉スポーツセンター 大阪市立浪速スポーツセンター 8月2日～8月7日	男子団体	埼玉栄 （埼玉）	八代東 （熊本）	東大阪大学柏原 （大阪）	札幌第一 （南北海道）
	女子団体	青森山田 （青森）	金沢向陽 （石川）	樟蔭東 （大阪）	聖ウルスラ学院英智 （宮城）
	男複	星野　翔平・小林　晃 （埼玉栄・埼玉）	岡本　拓磨・塚本　好喜 （埼玉栄・埼玉）	小高　拓也・相和　勇輝 （東大阪大学柏原・大阪）	嘉村　昌俊・坂中　賢太 （八代東・熊本）
	女複	髙橋沙也加・古西佳那子 （高岡西・富山）	新玉　美郷・城口優里花 （名古屋経済大学市邨・愛知）	今野あゆみ・脇野　利奈 （聖ウルスラ学院英智・宮城）	福万　尚子・阪口　智郁 （樟蔭東・大阪）
	男単	星野　翔平 （埼玉栄・埼玉）	長谷川達也 （埼玉栄・埼玉）	丸尾亮太郎 （伊勢崎清明・群馬）	大滝　直人 （東大阪大学柏原・大阪）
	女単	三谷美菜津 （金沢向陽・石川）	松友美佐紀 （聖ウルスラ学院英智・宮城）	福万　尚子 （樟蔭東・大阪）	田中　志穂 （青森山田・青森）
第61回 2010年度（平成22年度） 沖縄県糸満市 糸満市西崎総合体育館 沖縄水産高等学校体育館 豊見城南高等学校体育館 潮平中学校体育館 糸満高等学校体育館 三和中学校体育館 兼城中学校体育館 7月28日～8月2日	男子団体	埼玉栄 （埼玉）	高岡第一 （富山）	富岡 （福島）	関東第一 （東京）
	女子団体	聖ウルスラ学院英智 （宮城）	青森山田 （青森）	埼玉栄 （埼玉）	富岡 （福島）
	男複	竹内　宏気・竹内　義憲 （埼玉栄・埼玉）	大越　泉・古賀　輝 （埼玉栄・埼玉）	髙田　憲・渡部　大 （旭川実業・北北海道）	飯村優詞郎・佐藤　尚紀 （作新学院・栃木）
	女複	田中　志穂・市丸　美里 （青森山田・青森）	髙橋沙也加・古西佳那子 （高岡西・富山）	清水　恵・野村　有美 （聖ウルスラ学院英智・宮城）	峰　歩美・與猶くるみ （岡崎城西・愛知）
	男単	和田　治久 （埼玉栄・埼玉）	古賀　輝 （埼玉栄・埼玉）	小高　拓也 （東大阪大学柏原・大阪）	山口　容正 （高岡第一・富山）
	女単	髙橋沙也加 （高岡西・富山）	福島　由紀 （青森山田・青森）	奥原　希望 （大宮東・埼玉）	木村　百花 （富岡・福島）
第62回 2011年度（平成23年度） 青森県弘前市 青森県武道館 弘前市民体育館 岩木山総合公園体育館 青森県立弘前高等学校体育館 青森県立弘前工業高等学校体育館 8月15日～8月20日	男子団体	埼玉栄 （埼玉）	旭川実業 （北北海道）	富岡 （福島）	比叡山 （滋賀）
	女子団体	青森山田 （青森）	松徳学院 （島根）	富岡 （福島）	埼玉栄 （埼玉）
	男複	齋藤　太一・桃田　賢斗 （富岡・福島）	古賀　輝・千葉　常 （埼玉栄・埼玉）	井上　拓斗・金子　祐樹 （埼玉栄・埼玉）	村井　拓朗・三浦　光将 （東奥学園・青森）
	女複	篠谷　菜留・福島　由紀 （青森山田・青森）	小橋　霞・渡邉あかね （埼玉栄・埼玉）	清水　恵・野村　有美 （聖ウルスラ学院英智・宮城）	有吉　佑有・樋口亜依美 （名古屋経済大学市邨・愛知）
	男単	古賀　輝 （埼玉栄・埼玉）	桃田　賢斗 （富岡・福島）	間瀬　亮介 （岡崎城西・愛知）	関口　直挙 （関東第一・東京）
	女単	奥原　希望 （大宮東・埼玉）	福島　由紀 （青森山田・青森）	鳥居　彩乃 （聖ウルスラ学院英智・宮城）	星　千智 （金沢向陽・石川）
第63回 2012年度（平成24年度） 福井県福井市・永平寺町 福井県営体育館 福井市体育館 北陸電力福井体育館「フレア」 永平寺緑の村ふれあいセンター 8月1日～8月6日	男子団体	埼玉栄 （埼玉）	富岡 （福島）	東奥学園 （青森）	金沢市立工業 （石川）
	女子団体	富岡 （福島）	聖ウルスラ学院英智 （宮城）	倉敷中央 （岡山）	県立岐阜商業 （岐阜）
	男複	金子　祐樹・井上　拓斗 （埼玉栄・埼玉）	桃田　賢斗・松居圭一郎 （富岡・福島）	細田　慎二・興石　涼 （関東第一・東京）	三浦　光将・岡村　翼 （東奥学園・青森）
	女複	長谷川由季・星　千智 （金沢向陽・石川県）	山口ソヨカ・松田　蒼 （富山国際大学付属・富山）	渡邉あかね・瀬川　桃子 （埼玉栄・埼玉）	鳥居　彩乃・小池　紗葉 （聖ウルスラ学院英智・宮城）
	男単	桃田　賢斗 （富岡・福島）	小林　優吾 （富岡・福島）	西本　拳太 （埼玉栄・埼玉）	井上　拓斗 （埼玉栄・埼玉）
	女単	奥原　希望 （大宮東・埼玉）	渡邉あかね （埼玉栄・埼玉）	仲井由希乃 （日本橋女学館・東京）	大堀　彩 （富岡・福島）
第64回 2013年度（平成25年度） 福岡県北九州市 北九州市立総合体育館 北九州メディアドーム 8月6日～8月11日	男子団体	富岡 （福島）	埼玉栄 （埼玉）	東大阪大学柏原 （大阪）	自由ケ丘 （福岡）
	女子団体	青森山田 （青森）	富岡 （福島）	勝山 （福井）	聖ウルスラ学院英智 （宮城）
	男複	保木　卓朗・小林　優吾 （富岡・福島）	下農　走・常山　幹太 （東大阪大学柏原・大阪）	五十嵐　優・中里　裕貴 （埼玉栄・埼玉）	原口　拓巳・成富　勇太 （自由ケ丘・福岡）
	女複	宮浦　玲奈・永原和可那 （青森山田・青森）	櫻本　絢子・寺田　桃香 （九州国際大学付属・福岡）	松田　蒼・金浦　紗樹 （富山国際大付属・富山）	長谷川琴音・関町理紗子 （作新学院・栃木）
	男単	常山　幹太 （東大阪大学柏原・大阪）	保木　卓朗 （富岡・福島）	小林　優吾 （富岡・福島）	松本　康平 （埼玉栄・埼玉）
	女単	山口　茜 （勝山・福井）	櫻本　絢子 （九州国際大学付属・福岡）	永田　麗 （青森山田・青森）	大堀　彩 （富岡・福島）

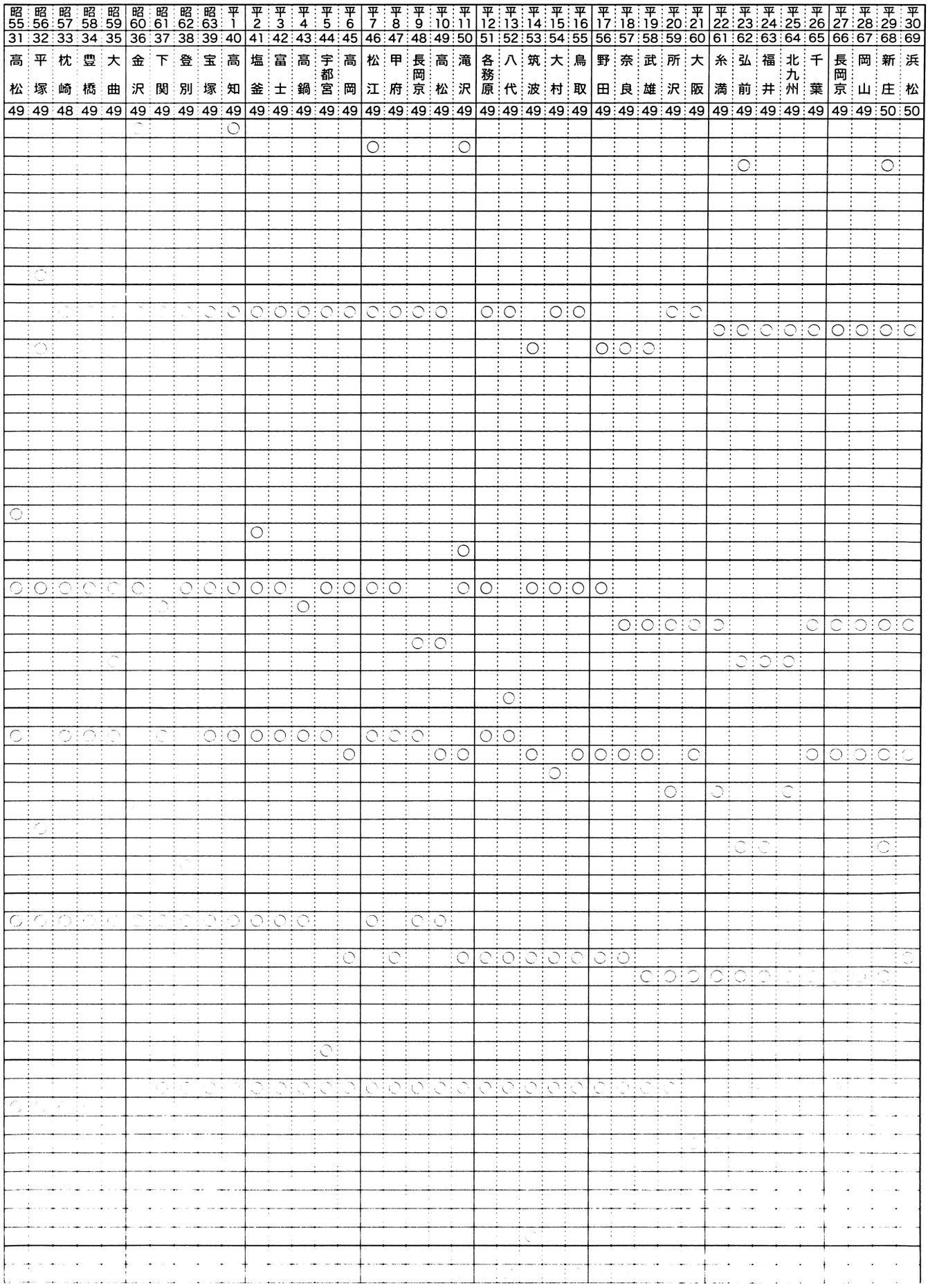
回数	種別	1位	2位	3位	
第65回 2014年度（平成26年度） 千葉県千葉市 千葉ポートアリーナ 千葉県総合スポーツセンター体育館 ＪＦＥ千葉体育館 千葉県立幕張総合高等学校体育館 千葉県立生浜高等学校体育館 ８月１日～８月６日	男子団体	富岡 （福島）	東大阪大学柏原 （大阪）	埼玉栄 （埼玉）	高岡第一 （富山）
	女子団体	富岡 （福島）	青森山田 （青森）	勝山 （福井）	金沢向陽 （石川）
	男複	下農　走・常山　幹太 （東大阪大学柏原・大阪）	渡辺　勇大・三橋　健也 （富岡・福島）	小川　桂汰・森岡　秀斗 （埼玉栄・埼玉）	塚本　光希・武石　優斗 （札幌第一・南北海道）
	女複	尾崎　沙織・川島　里羅 （埼玉栄・埼玉）	清水　望・髙畑祐紀子 （大宮東・埼玉）	斉藤ひかり・曽根　夏姫 （青森山田・青森）	山口　茜・鈴木　咲貴 （勝山・福井）
	男単	古賀　穂 （富岡・福島）	常山　幹太 （東大阪大学柏原・大阪）	塚本　光希 （札幌第一・南北海道）	桐田　和樹 （柳井商工・山口）
	女単	山口　茜 （勝山・福井）	仲井由希乃 （日本橋女学館・東京）	荒木　萌恵 （西武台千葉・千葉）	尾崎　沙織 （埼玉栄・埼玉）
第66回 2015年度（平成27年度） 京都府長岡京市・向日市・宇治市 西山公園体育館 向日市民体育館 京都府立山城総合運動公園体育館 ８月６日～８月11日	男子団体	埼玉栄 （埼玉）	東大阪大学柏原 （大阪）	富岡ふたば未来学園 （福島）	聖ウルスラ学院英智 （宮城）
	女子団体	青森山田 （青森）	富岡ふたば未来学園 （福島）	金沢向陽 （石川）	勝山 （福井）
	男複	渡辺　勇大・三橋　健也 （富岡ふたば未来学園・福島）	野村　拓海・浅原　大輔 （聖ウルスラ学院英智・宮城）	小野寺雅之・岡村　洋輝 （埼玉栄・埼玉）	奥山　晃輔・山下　恭平 （水島工業・岡山）
	女複	志田　千陽・小田　菜摘 （青森山田・青森）	山口　茜・鈴木　咲貴 （勝山・福井）	徳能あすか・保原　彩夏 （聖ウルスラ学院英智・宮城）	石橋　舞・松山　奈未 （九州国際大学付属・福岡）
	男単	渡辺　勇大 （富岡ふたば未来学園・福島）	小倉　由嵩 （東大阪大学柏原・大阪）	渡辺　航貴 （埼玉栄・埼玉）	三橋　健也 （富岡ふたば未来学園・福島）
	女単	山口　茜 （勝山・福井）	齋藤　栞 （埼玉栄・埼玉）	荒木　萌恵 （西武台千葉・千葉）	大家　夏稀 （金沢向陽・石川）
第67回 2016年度（平成28年度） 岡山県岡山市 ジップアリーナ岡山 岡山市総合文化体育館 ８月７日～８月12日	男子団体	埼玉栄 （埼玉）	富岡ふたば未来学園 （福島）	瓊浦 （長崎）	八代東 （熊本）
	女子団体	富岡ふたば未来学園 （福島）	九州国際大学付属 （福岡）	聖ウルスラ学院英智 （宮城）	青森山田 （青森）
	男複	渡邉　航貴・仁平　澄也 （埼玉栄・埼玉）	小野寺雅之・岡村　洋輝 （埼玉栄・埼玉）	山澤　直貴・本田　大樹 （富岡ふたば未来学園・福島）	金子　真大・久保田友之祐 （富岡ふたば未来学園・福島）
	女複	川島　美南・上杉　夏美 （埼玉栄・埼玉）	舟橋　佳歩・山口　萌 （日本ウェルネス・東京）	香山　未帆・武田　莉奈 （倉敷中央・岡山）	松山　奈未・縄田　佳子 （九州国際大学付属・福岡）
	男単	山澤　直貴 （富岡ふたば未来学園・福島）	小野寺雅之 （埼玉栄・埼玉）	小本　大佑 （八代東・熊本）	金子　真大 （富岡ふたば未来学園・福島）
	女単	仁平　菜月 （富岡ふたば未来学園・福島）	髙橋明日香 （富岡ふたば未来学園・福島）	香山　未帆 （倉敷中央・岡山）	藤原あすか （青森山田・青森）
第68回 2017年度（平成29年度） 山形県鶴岡市・新庄市・尾花沢市 鶴岡市小真木原総合体育館 鶴岡市藤島体育館 新庄市体育館 尾花沢市文化体育施設 「サルナート」 ７月29日～８月３日	男子団体	ふたば未来学園 （福島）	浪岡 （青森）	八代東 （熊本）	日章学園 （宮崎）
	女子団体	ふたば未来学園 （福島）	青森山田 （青森）	柳井商工 （山口）	埼玉栄 （埼玉）
	男複	金子　真大・久保田友之祐 （ふたば未来学園・福島）	山田　尚輝・筑後　恵太 （ふたば未来学園・福島）	友金利玖斗・河野　匠真 （神戸村野工業・兵庫）	中山　裕貴・緑川　大輝 （埼玉栄・埼玉）
	女複	髙橋明日香・由良なぎさ （ふたば未来学園・福島）	森　沙耶・石村　亜美 （青森山田・青森）	齋藤　夏・吉田　瑠実 （埼玉栄・埼玉）	林　　樂・上杉　杏 （埼玉栄・埼玉）
	男単	大林　拓真 （埼玉栄・埼玉）	奈良岡功大 （浪岡・青森）	嶺岸　洸 （聖ウルスラ学院英智・宮城）	金子　真大 （ふたば未来学園・福島）
	女単	髙橋明日香 （ふたば未来学園・福島）	鈴木ゆうき （聖ウルスラ学院英智・宮城）	林　　樂 （埼玉栄・埼玉）	水井ひらり （ふたば未来学園・福島）
第69回 2018年度（平成30年度） 静岡県浜松市 浜松アリーナ 浜北総合体育館 「グリーンアリーナ」 ８月４日～８月９日	男子団体	埼玉栄 （埼玉）	八代東 （熊本）	日章学園 （宮崎）	東大阪大学柏原 （大阪）
	女子団体	ふたば未来学園 （福島）	青森山田 （青森）	埼玉栄 （埼玉）	名古屋経済大学市邨 （愛知）
	男複	中山　裕貴・緑川　大輝 （埼玉栄・埼玉）	武井　優太・遠藤　彩斗 （埼玉栄・埼玉）	奈良岡功大・武藤　映樹 （浪岡・青森）	農口　拓弥・服部　輝正 （福井工業大学附属福井・福井）
	女複	齋藤　夏・吉田　瑠実 （埼玉栄・埼玉）	鈴木　陽向・大澤　佳歩 （埼玉栄・埼玉）	斉藤さくら・松久　紬 （園田学園・兵庫）	大石　悠生・木村　早希 （青森山田・青森）
	男単	緑川　大輝 （埼玉栄・埼玉）	奈良岡功大 （浪岡・青森）	服部　輝正 （福井工業大学附属福井・福井）	中山　裕貴 （埼玉栄・埼玉）
	女単	水井ひらり （ふたば未来学園・福島）	佐川　智香 （作新学院・栃木）	齋藤　夏 （埼玉栄・埼玉）	郡司　莉子 （八代白百合学園・熊本）

全国高等学校総合体育大会　男子学校対抗出場校一覧

都道府県 学校名	年度	昭25	昭26	昭27	昭28	昭29	昭30	昭31	昭32	昭33	昭34	昭35	昭36	昭37	昭38	昭39	昭40	昭41	昭42	昭43	昭44	昭45	昭46	昭47	昭48	昭49	昭50	昭51	昭52	昭53	昭54
	回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	開催地	横浜	札幌	善通寺	山形	金沢	神戸	仙台	松江	新潟	会津若松	久留米	弘前	高岡	鶴岡	京都	熊本	弘前	金沢	福山	桐生	名古屋	善通寺	新庄	四日市	嬉野	水戸	中野	倉敷	会津若松	大津
	出場数	42	42	63	65	69	38	40	41	40	44	43	42	42	44	45	47	46	46	47	48	47	47	47	49	49	49	49	49	48	49
北北海道																															
旭川実業	14																														
旭川工業	14																														
帯広三条	9	○	○			○	○			○	○	○	○		○																
帯広柏葉	8	○																								○	○		○		
帯広農業	6																	○	○		○		○		○						
滝川工業	4																														
帯広大谷	2																														
旭川北	2													○			○														
釧路商業・定	2																							○							
釧路湖陵	1					○																									
釧路江南	1								○																						
旭川商業	1															○															
留萌	1																			○											
羽幌	1																					○									
滝川西	1																														
滝川	1																														
南北海道																															
札幌第一	35																														
北海	13	○	○	○	○			○	○	○		○											○	○	○			○			
札幌工業（札幌伏見）	5		○	○		○							○		○																
札幌東	3	○														○		○													
函館東	3										○			○												○					
江別	3																		○	○		○									
札幌南	2		○					○																							
札幌商業	2	○															○														
札幌清田	2																														
小樽商業（小樽緑陵）	2		○	○																											
小樽湖陵	2		○		○																										
函館工業	2	○	○																												
小樽工業（小樽千秋）	1		○																												
札幌創成	1																												○		
札幌西	1																				○										
札幌北	1	○																													
夕張緑ヶ丘（夕張北）	1		○																												
函館中部	1																										○				
栗山	1																														
森	1																														
登別南	1																														
札幌龍谷学園	1																														
青森																															
東奥義塾	26		○	○	○												○	○		○			○		○	○	○		○		
青森山田	15																														
弘前工業	8																														
弘前実業（弘前商業）	6			○			○			○	○			○				○													
黒石	5				○	○		○	○										○												
青森商業	4											○	○		○	○															
東奥学園	4																														
青森	3	○	○										○																		
弘前	3					○																									
浪岡	3																				○										
弘前南	1																														
岩手																															
前沢	25								○																						
千厩	6																														
専修大学北上	6																														
花巻農業	5																														
盛岡第一	4																														
岩谷堂	4																														
盛岡市立	4																														
盛岡第三	3																														
盛岡第四	3																														

昭55	昭56	昭57	昭58	昭59	昭60	昭61	昭62	昭63	平1	平2	平3	平4	平5	平6	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69
高松	平塚	枕崎	豊橋	大曲	金沢	下関	登別	宝塚	高知	塩釜	富士	高鍋	宇都宮	高岡	松江	甲府	長岡京	高松	滝沢	各務原	八代	筑波	大村	鳥取	野田	奈良	武雄	所沢	大阪	糸満	弘前	福井	北九州	千葉	長岡京	岡山	新庄	浜松
49	49	48	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	50	50
																○							○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
									○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○													
																									○													○

都道府県 学校名	年度	昭25	昭26	昭27	昭28	昭29	昭30	昭31	昭32	昭33	昭34	昭35	昭36	昭37	昭38	昭39	昭40	昭41	昭42	昭43	昭44	昭45	昭46	昭47	昭48	昭49	昭50	昭51	昭52	昭53	昭54
	回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	開催地	横浜	札幌	善通寺	山形	金沢	神戸	仙台	松江	新潟	会津若松	久留米	弘前	高岡	鶴岡	京都	熊本	弘前	金沢	福山	桐生	名古屋	善通寺	新庄	四日市	嬉野	水戸	中野	倉敷	会津若松	大津
	出場数	42	42	63	65	69	38	40	41	40	44	43	42	42	44	45	47	46	46	47	48	47	47	47	49	49	49	49	49	48	49
花北商業	2																														
盛岡大学附属	2																														
花北青雲	2																														
一関（一ノ関）	1	○																													
盛岡	1	○																													
遠野	1				○																										
東和	1																		○												
岩谷堂農業	1																													○	
水沢農業	1																														
宮城																															
宮城県工業	34								○		○	○		○	○		○	○	○	○	○	○									
聖ウルスラ学院英智(聖ウルスラ学院)	9																														
仙台商業	8																		○								○		○		
白石	7		○	○	○	○	○	○					○																		
仙台第二	4			○	○	○																			○						
仙台育英	3							○		○														○							
大河原商業	2																													○	○
仙台	1															○															
東北工大(東北工大電子工業)	1																						○								
佐沼	1																							○							
塩釜	1																											○			
仙台第一	1																														
角田	1																														
米谷工業	1																														
秋田																															
横手工業	22																														○
秋田経法大附属(秋田経大付)	14						○			○	○			○		○	○	○			○	○	○	○						○	
秋田工業	13														○											○	○					
秋田中央（秋田市立）	11	○			○	○							○						○	○					○			○	○		
秋田	9				○	○		○	○			○																			
秋田中央・定	1		○																												
大曲工業	1																														
山形																															
日大山形	33														○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鶴岡工業	14																														
山形市立商業	11				○		○	○	○	○	○	○	○	○	○																
山形南	9		○		○	○				○	○	○																			
新庄北（新庄）	6		○	○	○	○							○																		
山形東	3		○		○																										
山本学園	3																														
鶴岡南（鶴岡）	2	○																													
山形工業	1																							○							
福島																															
会津工業	29			○	○	○					○						○	○			○	○		○	○			○	○	○	
若松商業	15			○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○			○								○			○	
帝京安積	11																														
ふたば未来学園（富岡）	11																														
福島商業	4	○																		○			○			○					
会津	1												○																		
郡山商業	1																														○
白河	1																														
茨城																															
常総学院	31																														
石岡第一	13																								○	○	○	○	○	○	○
土浦第一	2															○	○														
茗渓学園	2																														
高萩	1										○																				
谷田部	1																				○										
霞ヶ浦	1																														
江戸崎西	1																														
藤代	1																														
栃木																															
作新学院	26									○																					


昭55 昭56 昭57 昭58 昭59 昭60 昭61 昭62 昭63 平1 平2 平3 平4 平5 平6 平7 平8 平9 平10 平11 平12 平13 平14 平15 平16 平17 平18 平19 平20 平21 平22 平23 平24 平25 平26 平27 平28 平29 平30
31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69
高松 平塚 枕崎 豊橋 大曲 金沢 下関 登別 宝塚 高知 塩釜 富士 高鍋 宇都宮 高岡 松江 甲府 長岡京 高松 滝沢 各務原 八代 筑波 大村 鳥取 野田 奈良 武雄 所沢 大阪 糸満 弘前 福井 北九州 千葉 長岡京 岡山 新庄 浜松
49 49 48 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 50 50

都道府県 学校名	年度	昭25	昭26	昭27	昭28	昭29	昭30	昭31	昭32	昭33	昭34	昭35	昭36	昭37	昭38	昭39	昭40	昭41	昭42	昭43	昭44	昭45	昭46	昭47	昭48	昭49	昭50	昭51	昭52	昭53	昭54
	回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	開催地	横浜	札幌	善通寺	山形	金沢	神戸	仙台	松江	新潟	会津若松	久留米	弘前	高岡	鶴岡	京都	熊本	弘前	金沢	福山	桐生	名古屋	善通寺	新庄	四日市	嬉野	水戸	中野	倉敷	会津若松	大津
	出場数	42	42	63	65	69	38	40	41	40	44	43	42	42	44	45	47	46	46	47	48	47	47	47	49	49	49	49	49	48	49
宇都宮工業	13					○		○	○		○				○	○	○	○													
宇都宮南	12																													
今市	5																													
真岡工業	3																				○									
宇都宮商業	2				○	○																								
石橋	2												○							○										
真岡農業	2																													
宇都宮商業・定	1						○																							
宇都宮工業・定	1											○																		
宇都宮北	1																													
群馬																														
桐生市立商業	25										○	○				○	○	○		○	○									
前橋東	15																													
桐生	14	○	○	○	○	○			○				○	○																
前橋商業	10	○		○	○	○	○	○		○									○											
伊勢崎清明	6																													
太田市立商業	2																													
前橋	1		○																											
東京農業大学第二	1																				○									
新島学園	1																													
埼玉																														
埼玉栄	20																													
上尾	12																													
小松原	8											○	○	○			○		○											
越谷南	6																													
春日部	5										○				○			○						○						
浦和・定	3							○	○	○																				
浦和西	3															○					○									
大宮西	3																											○		
越ヶ谷	2																													
川口工業・定	1																			○										
鴻巣	1																													
千葉																														
千葉敬愛	21																													
木更津（木更津第一）	19	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○									
西武台千葉	13																													
千葉南	4																													
千葉商業	3			○		○								○																
中央学院	3																													
成田農業	2																													
京葉	2																													
印旛	2																													
我孫子	1																													
君津商業	1																													
若松	1																													
東東京																														
関東第一	27																													
聖学院	18																													
麻布	8																													
都立港	1																													
都立九段	1																													
西東京																														
日本大学鶴ヶ丘	18																													
淑徳巣鴨（巣鴨女子）	6																													
都立第四商業	1																													
神奈川																														
川崎総合科学(川崎市立工業)	16																													
関東学院六浦	12																													
横浜緑ヶ丘	7																													
日本大学	7																													
関東学院	6																													
逗子開成	6																													
横浜	6																													

昭55	昭56	昭57	昭58	昭59	昭60	昭61	昭62	昭63	平1	平2	平3	平4	平5	平6	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69
高松	平塚	枕崎	豊橋	大曲	金沢	下関	登別	宝塚	高知	塩釜	富士	高鍋	宇都宮	高岡	松江	甲府	長岡京	高松	滝沢	各務原	八代	筑波	大村	鳥取	野田	奈良	武雄	所沢	大阪	糸満	弘前	福井	北九州	千葉	長岡京	岡山	新庄	浜松
49	49	48	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	50	50
								○	○	○			○																									
											○	○	○	○	○	○	○								○			○			○	○						
																																						○
																				○						○								○	○		○	○
										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○												
									○														○												○			
																												○	○	○	○	○	○					
																											○											
																			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																					
																												○										
									○																														

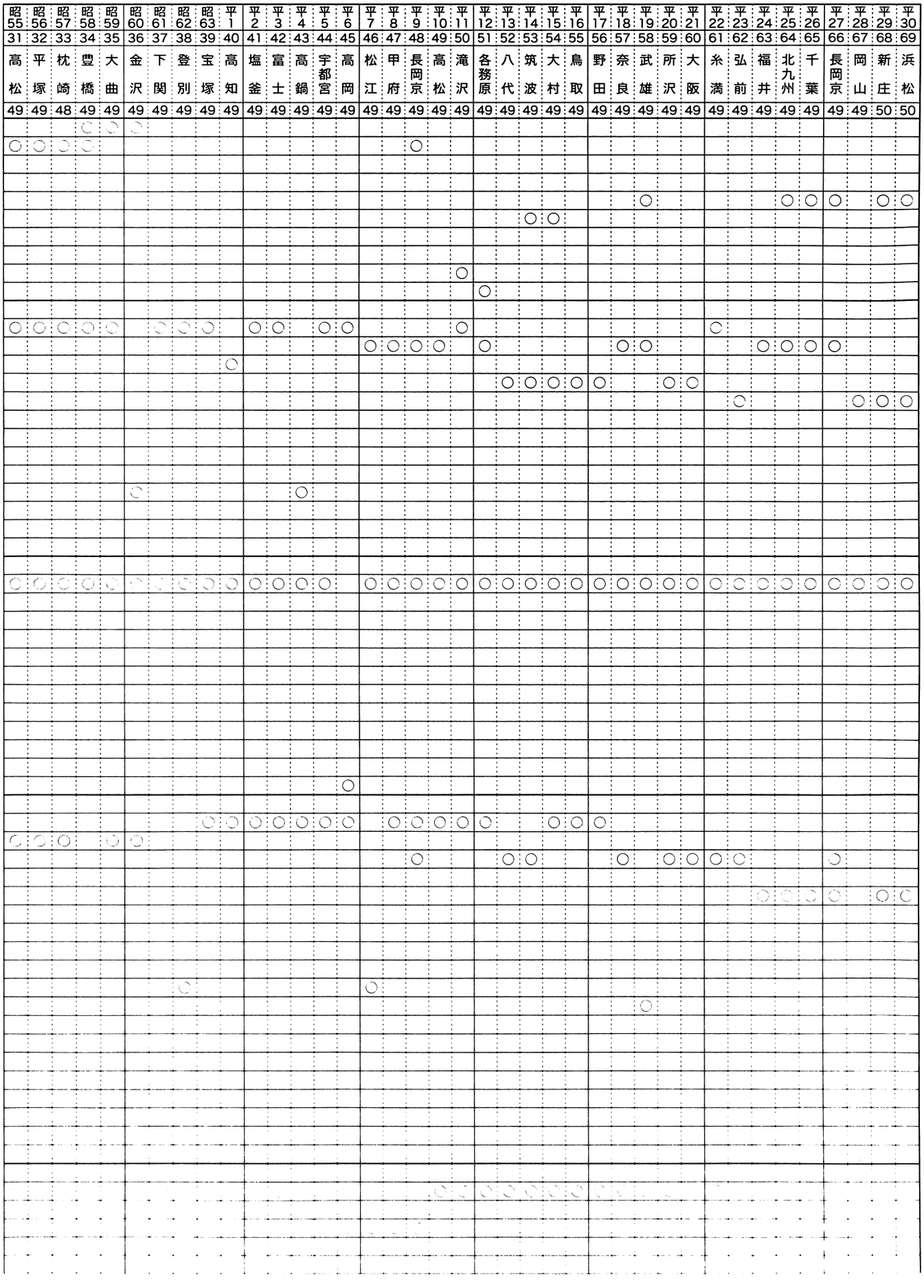
都道府県 学校名	年度	昭25	昭26	昭27	昭28	昭29	昭30	昭31	昭32	昭33	昭34	昭35	昭36	昭37	昭38	昭39	昭40	昭41	昭42	昭43	昭44	昭45	昭46	昭47	昭48	昭49	昭50	昭51	昭52	昭53	昭54
	回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	開催地	横浜	札幌	善通寺	山形	金沢	神戸	仙台	松江	新潟	会津若松	久留米	弘前	高岡	鶴岡	京都	熊本	弘前	金沢	福山	桐生	名古屋	善通寺	新庄	四日市	嬉野	水戸	中野	倉敷	会津若松	大津
	出場数	42	42	63	65	69	38	40	41	40	44	43	42	42	44	45	47	46	46	47	48	47	47	47	49	49	49	49	49	48	49
横浜立野	4																						○				○	○			
法政大学第二	4																														
鶴見工業	2	○	○																												
藤沢翔陵	2																														
翠嵐	1	○																													
関東学院商工	1	○																													
横須賀	1	○																													
希望ヶ丘	1	○																													
慶應義塾	1													○																	
横浜商業	1																	○													
平塚商業	1																					○									
県立商工	1																								○						
横浜商科大学	1																														
元石川	1																														
鵠沼	1																														
山梨																															
甲府商業	34		○				○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○				○		
日川	13																					○									○
甲府工業（山梨工業）	10	○	○	○	○	○		○											○												
甲斐清和（甲府湯田）	9																														
巨摩	3			○	○																					○					
機山工業	2																										○			○	
東海大甲府	2																											○			
甲府第一	1		○																												
甲府西（甲府第二）	1					○																									
新潟																															
北越（北越商業）	35					○										○	○														
新潟	12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○											○						
新潟商業	10											○	○	○	○	○		○	○		○	○		○							
三条商業（三条実業）	7									○										○						○	○		○		
新潟市立工業(新潟市立)	4	○	○	○	○																										
吉田商業	3																						○							○	○
中条工業	2																										○				
燕	2																														
村上	1		○																												
新潟東	1																														
長岡工業	1																														
富山																															
高岡第一	22																														
富山商業	15										○		○	○	○	○	○	○			○	○	○		○		○				
高岡工芸	15	○								○																					
高岡商業	10																○	○	○	○	○		○	○				○	○	○	
高岡	5					○	○	○	○			○																			
福野	2	○																													○
不二越工業	2																														
高岡工業	1					○																									
新湊	1			○																											
富山中部	1				○																										
富山工業	1													○																	
滑川	1																									○					
石川																															
金沢市立工業	50																	○													
金沢二水	9																									○					
金沢泉ヶ丘	6																														
津幡	5																														
金沢	4																														
七尾工業	3																														
金沢桜ヶ丘	2																														
大聖寺	2																														
金沢辰巳丘	1																														
羽咋	1																														
七尾	1																														
小松実業	1																														

昭55	昭56	昭57	昭58	昭59	昭60	昭61	昭62	昭63	平1	平2	平3	平4	平5	平6	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69
高松	平塚	枕崎	豊橋	大曲	金沢	下関	登別	宝塚	高知	塩釜	富士	高鍋	宇都宮	高岡	松江	甲府	長岡京	高松	滝沢	各務原	八代	筑波	大村	鳥取	野田	奈良	武雄	所沢	大阪	糸満	弘前	福井	北九州	千葉	長岡京	岡山	新庄	浜松
49	49	48	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	50	50

都道府県 学校名	年度	昭25	昭26	昭27	昭28	昭29	昭30	昭31	昭32	昭33	昭34	昭35	昭36	昭37	昭38	昭39	昭40	昭41	昭42	昭43	昭44	昭45	昭46	昭47	昭48	昭49	昭50	昭51	昭52	昭53	昭54
	回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	開催地	横浜	札幌	善通寺	山形	金沢	神戸	仙台	松江	新潟	会津若松	久留米	弘前	高岡	鶴岡	京都	熊本	弘前	金沢	福山	桐生	名古屋	善通寺	新庄	四日市	嬉野	水戸	中野	倉敷	会津若松	大津
	出場数	42	42	63	65	69	38	40	41	40	44	43	42	42	44	45	47	46	46	47	48	47	47	47	49	49	49	49	49	48	49
小松	1											○																			
石川県立工業	1																														
金沢学院	1																														
福井																															
勝山	30																						○								
足羽	15																														○
武生	6				○	○		○		○	○		○																		
大野	6						○		○			○		○		○		○													
敦賀	4														○		○			○	○										
勝山精華	3				○	○													○												
福井商業	2																														
三国	1			○																											
鯖江	1			○																											
福井	1																														
藤島	1																														
北陸	1																														
長野																															
長野商業	11																														
松本深志	8	○		○	○	○	○	○		○																					
中野実業	8																														
伊那北	7											○	○			○		○		○	○	○									
大町北	7																														
長野	5								○		○				○																
諏訪清陵	3																○		○												
須坂	3																						○								
上田	2																														
更級農業	2																														
中野	2																														
小諸商業	2																														
蘇南	2																														
岡谷南	1					○																									
須坂西	1													○																	
長野東	1																														
長野中央	1																														
木曽	1																														
松代	1																														
岡谷工業	1																														
大町	1																														
岐阜																															
県立岐阜商業	34							○	○	○	○																				
岐阜工業	14		○	○	○	○						○				○		○													
岐阜東	11																														
本巣	4					○																									
大垣工業	3																														
岐阜	2																														
加納	2																														
鷲谷	1																														
大垣西	1																														
岐阜北	1																														
静岡																															
星陵	15																														
富士	13																														
吉原工業	8																														
沼津学園	8																														
伊東	8																														
沼津東	7																														
伊東商業	5																														
富士宮北	3																														
沼津商業	2																														
沼津工業	2																														
富士見	1																														
愛知																															
岡崎城西	22																														

昭55	昭56	昭57	昭58	昭59	昭60	昭61	昭62	昭63	平1	平2	平3	平4	平5	平6	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69
高松	平塚	枕崎	豊橋	大曲	金沢	下関	登別	宝塚	高知	塩釜	富士	高鍋	宇都宮	高岡	松江	甲府	長岡京	高松	滝沢	各務原	八代	筑波	大村	鳥取	野田	奈良	武雄	所沢	大阪	糸満	弘前	福井	北九州	千葉	長岡京	岡山	新庄	浜松
49	49	48	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	50	50

都道府県 学校名	年度	昭25	昭26	昭27	昭28	昭29	昭30	昭31	昭32	昭33	昭34	昭35	昭36	昭37	昭38	昭39	昭40	昭41	昭42	昭43	昭44	昭45	昭46	昭47	昭48	昭49	昭50	昭51	昭52	昭53	昭54
	回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	開催地	横浜	札幌	善通寺	山形	金沢	神戸	仙台	松江	新潟	会津若松	久留米	弘前	高岡	鶴岡	京都	熊本	弘前	金沢	福山	桐生	名古屋	善通寺	新庄	四日市	嬉野	水戸	中野	倉敷	会津若松	大津
	出場数	42	42	63	65	69	38	40	41	40	44	43	42	42	44	45	47	46	46	47	48	47	47	47	49	49	49	49	49	48	49
愛知工大名電(名古屋電気工業)	14																○	○	○	○	○	○	○	○		○	○			○	
東海	9																					○			○				○		○
松蔭	8	○		○	○	○							○	○	○	○															
瑞陵	8			○	○	○	○		○	○	○	○																			
名経大市邨	6																														
大府	2																														
名古屋西	1							○																							
時習館	1																											○			
天白	1																														
向陽	1																														
三重																															
伊勢工業	26														○	○			○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	
暁	11																														
宇治山田	9			○			○	○	○					○			○									○					○
久居	7																														
皇學館	4																														
宇治山田商業	3										○	○	○																		
四日市	2			○	○																										
河原田	2				○	○																									
四日市工業	2																	○							○						
鳥羽	2																														
宇治山田商工	1					○																									
松坂工業	1									○																					
相可	1																										○				
滋賀																															
比叡山	44																									○	○	○	○	○	○
長浜商工	6														○	○	○	○		○			○								
彦根西	5							○	○		○	○	○																		
長浜西	3				○	○				○																					
彦根工業	3													○					○			○									
滋賀短大付属工業	2					○	○																								
草津	2																							○							○
彦根	1			○																											
長浜中	1			○																											
能登川	1																			○											
石山	1																								○						
近江兄弟社	1																														
京都																															
西乙訓	15																														
洛星	9																				○	○							○		○
京都両洋	9																														
鴨沂	7							○		○		○	○	○	○					○											
乙訓	6																														
平安	5		○	○	○	○	○																								
東山	5																							○		○	○	○		○	
紫野	3			○					○										○												
洛北	3			○		○					○																				
洛水	2																														
桂	2																○														
伏見工業	1														○																
朱雀	1														○																
東舞鶴	1																○														
京都商業	1																														
嵯峨野	1																														
同志社	1																														
洛西	1																														
西舞鶴	1																														
大阪																															
東大阪大学柏原（柏原）	33																														
茨木（三島野）	15																														
大阪学芸（成器）	4																														
此花学院	3																														
生野	2																														


昭55 昭56 昭57 昭58 昭59 昭60 昭61 昭62 昭63 平1 平2 平3 平4 平5 平6 平7 平8 平9 平10 平11 平12 平13 平14 平15 平16 平17 平18 平19 平20 平21 平22 平23 平24 平25 平26 平27 平28 平29 平30
31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69
高松 平塚 枕崎 豊橋 大曲 金沢 下関 登別 宝塚 高知 塩釜 富士 高鍋 宇都宮 高岡 松江 甲府 長岡京 高松 滝沢 各務原 八代 筑波 大村 鳥取 野田 奈良 武雄 所沢 大阪 糸満 弘前 福井 北九州 千葉 長岡京 岡山 新庄 浜松
49 49 48 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 50 50

都道府県 学校名	年度	昭25	昭26	昭27	昭28	昭29	昭30	昭31	昭32	昭33	昭34	昭35	昭36	昭37	昭38	昭39	昭40	昭41	昭42	昭43	昭44	昭45	昭46	昭47	昭48	昭49	昭50	昭51	昭52	昭53	昭54
	回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	開催地	横浜	札幌	善通寺	山形	金沢	神戸	仙台	松江	新潟	会津若松	久留米	弘前	高岡	鶴岡	京都	熊本	弘前	金沢	福山	桐生	名古屋	善通寺	新庄	四日市	嬉野	水戸	中野	倉敷	会津若松	大津
	出場数	42	42	63	65	69	38	40	41	40	44	43	42	42	44	45	47	46	46	47	48	47	47	47	49	49	49	49	49	48	49
高津	2																○	○													
茨木工業	2																					○			○						
交野	2																												○	○	
西野田工業	1			○																											
近畿大付属	1															○															
佐野工業	1																		○												
市岡	1																							○							
布施工業	1																									○					
大和川	1																										○				
枚方	1																											○			
大阪桐蔭	1																														
兵庫																															
神戸村野工業	19																														
三田学園	10																									○		○	○	○	○
神戸商業	8								○	○	○	○	○		○	○											○				
甲南	7																	○	○	○		○		○	○						
星陵	6			○	○	○	○	○															○								
神戸	6				○	○	○							○			○				○										
市立尼崎	3																														
加古川西	3																														
東播磨	3																														
加古川東	3																														
御影工業	1																														
北須磨	1																														
加古川北	1																														
奈良																															
奈良大学附属（正強）	24																○					○	○	○	○	○	○			○	○
奈良一条	20							○											○					○			○	○	○		
添上	13																				○				○						
奈良商工	12			○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○		○													
奈良	5	○	○	○	○								○																		
奈良女子大学附属	1					○																									
天理	1																			○											
和歌山																															
新宮	26							○	○	○						○	○	○	○	○	○		○	○		○	○				
那賀	12		○		○						○	○																			
新宮商業	10																					○									○
向陽	4			○		○							○																		
御坊商工	4																								○						
耐久	4																												○		
和歌山工業	3				○	○								○																	
星林	3																														
光風工業	1			○																											
大成	1														○																
近畿大学附属和歌山	1																														
新翔	1																														
鳥取																															
境港工業	24																							○							
倉吉東	8						○	○	○	○	○			○	○	○															
米子北	8																														
鳥取西	5											○	○				○														
倉吉工業	4																														
鳥取工業	3																														
米子商業（米子松蔭）	3																														
境	2																														
由良育英	2																														
倉吉総合産業	2																														
倉吉西	1																														
米子東	1																														
米子西	1																														
鳥取敬愛	1																														
島根																															
松江商業	20																														

昭55	昭56	昭57	昭58	昭59	昭60	昭61	昭62	昭63	平1	平2	平3	平4	平5	平6	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69
高松	平塚	枕崎	豊橋	大曲	金沢	下関	登別	宝塚	高知	塩釜	富士	高鍋	宇都宮	高岡	松江	甲府	長岡京	高松	滝沢	各務原	八代	筑波	大村	鳥取	野田	奈良	武雄	所沢	大阪	糸満	弘前	福井	北九州	千葉	長岡京	岡山	新庄	浜松
49	49	48	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	50	50

都道府県 学校名	年度	昭25	昭26	昭27	昭28	昭29	昭30	昭31	昭32	昭33	昭34	昭35	昭36	昭37	昭38	昭39	昭40	昭41	昭42	昭43	昭44	昭45	昭46	昭47	昭48	昭49	昭50	昭51	昭52	昭53	昭54
	回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	開催地	横浜	札幌	善通寺	山形	金沢	神戸	仙台	松江	新潟	会津若松	久留米	弘前	高岡	鶴岡	京都	熊本	弘前	金沢	福山	桐生	名古屋	善通寺	新庄	四日市	嬉野	水戸	中野	倉敷	会津若松	大津
	出場数	42	42	63	65	69	38	40	41	40	44	43	42	42	44	45	47	46	46	47	48	47	47	47	49	49	49	49	49	48	49
松江北（松江高）	19				○	○			○								○				○	○			○					○	
大東	19																														
出雲農林	4																										○	○			○
松江西	4																														
松徳学院	2																														
松江産	1			○																											
出雲	1																												○		
出雲商業	1																														
岡山																															
水島工業	29																						○						○		
倉敷工業（倉敷老松）	19		○	○	○	○														○		○				○	○	○		○	○
西大寺	12			○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○														○		
倉敷青陵	4		○		○																			○	○						
備南	4															○	○	○	○												
玉野光南	2																														
天城	1																				○										
東岡山工業	1																														
瀬戸南	1																														
岡山城東	1																														
広島																															
広島国泰寺	8																														
広島城北	8																														
福山葦陽	7								○											○					○	○	○	○		○	
安佐北	6																														
北川工業	4																○	○				○	○								
広島電機大学附属	4																														
安芸府中	4																														
福山電波工業	3																		○	○	○										
福山	3																												○		
広島大学附属福山(広島大学附属)	3			○			○				○																				
府中	2																														○
安古市	2																														
近畿大学附属福山	1																							○							
福山南	1	○																													
呉港	1			○																											
安芸	1																														
祇園北	1																														
広島桜が丘	1																														
崇徳	1																														
山口																															
柳井商工(柳井工業・柳井商工)	37							○			○				○		○			○								○	○		
山口	12			○			○		○	○		○	○	○		○													○		
下関中央工業	8																								○						○
下関商業	5																				○	○	○	○		○					
野田学園	1																														
西京	1																														
徳島																															
徳島商業	19																											○			
日和佐	17								○						○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○				
城東	11																														
徳島市立	5																														
小松島西	1																			○											
阿南工業	1																														
小松島	1																														
富岡西	1																														
城南	1																														
香川																															
高松商業	42																														
高松	5																														
高松第一	5																														
高松西	4																														
坂出	3																														
英明	3																														

昭55	昭56	昭57	昭58	昭59	昭60	昭61	昭62	昭63	平1	平2	平3	平4	平5	平6	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69
高松	平塚	枕崎	豊橋	大曲	金沢	下関	登別	宝塚	高知	塩釜	富士	高鍋	宇都宮	高岡	松江	甲府	長岡京	高松	滝沢	各務原	八代	筑波	大村	鳥取	野田	奈良	武雄	所沢	大阪	糸満	弘前	福井	北九州	千葉	長岡京	岡山	新庄	浜松
49	49	48	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	50	50

都道府県 学校名	年度	昭25	昭26	昭27	昭28	昭29	昭30	昭31	昭32	昭33	昭34	昭35	昭36	昭37	昭38	昭39	昭40	昭41	昭42	昭43	昭44	昭45	昭46	昭47	昭48	昭49	昭50	昭51	昭52	昭53	昭54
	回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	開催地	横浜	札幌	善通寺	山形	金沢	神戸	仙台	松江	新潟	会津若松	久留米	弘前	高岡	鶴岡	京都	熊本	弘前	金沢	福山	桐生	名古屋	善通寺	新庄	四日市	嬉野	水戸	中野	倉敷	会津若松	大津
	出場数	42	42	63	65	69	38	40	41	40	44	43	42	42	44	45	47	46	46	47	48	47	47	47	49	49	49	49	49	48	49
高松東	3																						○								
坂出工業	3															○													○		
高松南（香川）	2																														
香川中央	2																														
丸亀商業（丸亀第二）	1			○																											
高松・定	1				○																										
善通寺第一	1																				○										
愛媛																															
新田	20																														
西条農業	14																											○		○	○
松山商業	9			○	○				○	○	○									○	○		○				○				
今治北	8				○	○		○				○			○	○													○		
松山南	8			○			○							○				○						○							
松山東	6					○											○		○			○			○	○					
新居浜東	3																														
西条	1																														
松山	1												○																		
高知																															
高知商業	24			○	○	○			○	○	○	○	○	○	○		○					○									
土佐	20																			○				○	○	○	○			○	○
高知西	8																														
須崎	6			○	○		○	○								○		○													
高知学芸	6																				○		○								
高知追手前	2																											○	○		
高知	1		○																												
高知小津	1																		○												
高知東工業	1																														
高知東	1																														
土佐塾	1																														
福岡																															
九州国際大学付属(八幡大学付属)	21																														
明善	20			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○		○			○			
福岡大学付属大濠	7																														
自由ヶ丘	6																														
明善・定	4											○							○					○		○					
山門	4																										○		○		
城南	2																													○	○
大牟田北	1																	○													
北九州	1																														
田川東	1																														
大川工業	1																														
春日	1																														
佐賀																															
唐津南	17																														
唐津工業	10																								○						
塩田工業	6																									○	○	○			
佐賀工業	6																												○		○
白石	4																									○				○	
嬉野商業	3																														
佐賀北	1																														
龍谷	1																														
長崎																															
瓊浦	33															○															
西陵	14																														
長崎東	7																														
長崎日大	1																														
佐世保南	1																														
大村	1																														
長崎北	1																														
佐世保北	1																														
大分																															
別府鶴見丘	15																														
日田林工	13																														

昭55	昭56	昭57	昭58	昭59	昭60	昭61	昭62	昭63	平1	平2	平3	平4	平5	平6	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69
高松	平塚	枕崎	豊橋	大曲	金沢	下関	登別	宝塚	高知	塩釜	富士	高鍋	宇都宮	高岡	松江	甲府	長岡京	高松	滝沢	各務原	八代	筑波	大村	鳥取	野田	奈良	武雄	所沢	大阪	糸満	弘前	福井	北九州	千葉	長岡京	岡山	新庄	浜松
49	49	48	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	50	50

都道府県 学校名	年度	昭25	昭26	昭27	昭28	昭29	昭30	昭31	昭32	昭33	昭34	昭35	昭36	昭37	昭38	昭39	昭40	昭41	昭42	昭43	昭44	昭45	昭46	昭47	昭48	昭49	昭50	昭51	昭52	昭53	昭54
	回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	開催地	横浜	札幌	善通寺	山形	金沢	神戸	仙台	松江	新潟	会津若松	久留米	弘前	高岡	鶴岡	京都	熊本	弘前	金沢	福山	桐生	名古屋	善通寺	新庄	四日市	嬉野	水戸	中野	倉敷	会津若松	大津
	出場数	42	42	63	65	69	38	40	41	40	44	43	42	42	44	45	47	46	46	47	48	47	47	47	49	49	49	49	49	48	49
大分西	5																														
竹田商業	4																														
三重農業久住分校	3																														○
日田三隅	2																														
情報科学	2																														
別府青山	1																														
白杵商業	1																														
熊本																															
八代東	23																														
九州学院	15																					○	○	○		○	○	○	○	○	○
熊本	11										○	○	○	○	○	○	○	○	○		○				○						
熊本学園大学付属(熊本商科大学附属)	11																○			○											
芦北	2																														
宮崎																															
宮崎工業	19																												○	○	○
日章学園	11																														
妻	8																														
日向工業	3																								○	○		○			
富島	2																										○				
高千穂	2																														
日向	2																														
鹿児島																															
鹿児島商業	36																				○				○	○				○	○
鹿児島	17											○	○		○	○		○	○	○		○	○	○			○				
川内	3										○																	○			
串木野	1																○														
川内商工	1																												○		
鹿児島中央	1																														
鹿児島工業	1																														
沖縄																															
那覇商業	9																	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
糸満	9																													○	
沖縄水産	9																														
南風原	8																														
豊見城	4																														
那覇	3																										○	○			
豊見城南	3																														
与勝	2																														
石川	2																												○		○
読谷	2																														
那覇工業	1																														
南部商業	1																														
首里	1																														

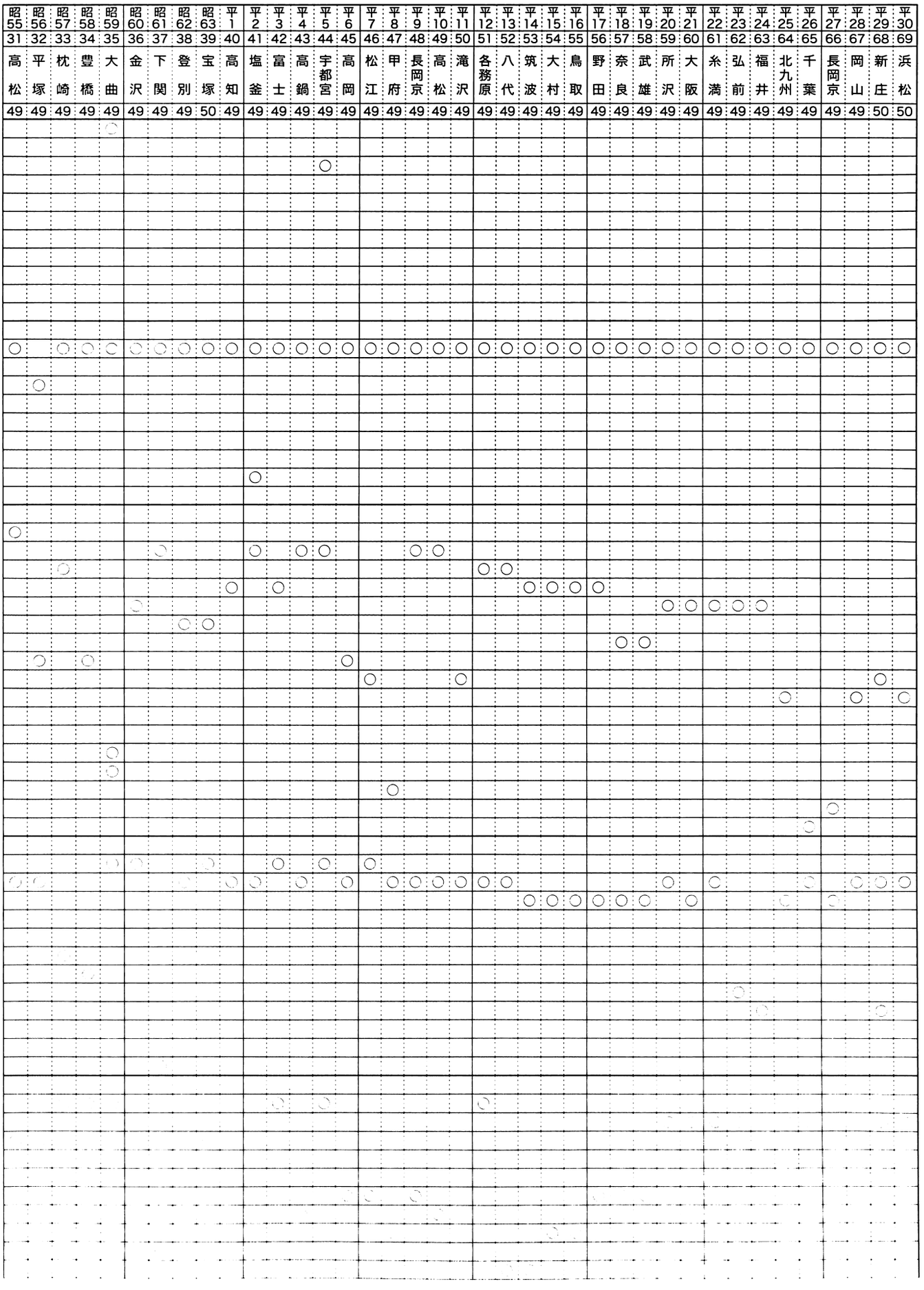
昭55	昭56	昭57	昭58	昭59	昭60	昭61	昭62	昭63	平1	平2	平3	平4	平5	平6	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69
高松	平塚	枕崎	豊橋	大曲	金沢	下関	登別	宝塚	高知	塩釜	富士	高鍋	宇都宮	高岡	松江	甲府	長岡京	高松	滝沢	各務原	八代	筑波	大村	鳥取	野田	奈良	武雄	所沢	大阪	糸満	弘前	福井	北九州	千葉	長岡京	岡山	新庄	浜松
49	49	48	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	50	50
								○			○														○				○			○	○	○				
							○	○	○																													
○	○																																					
													○	○																								
												○																										
																○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○					○															○																	
		○			○		○	○	○	○			○	○	○																							
											○	○																										
○	○	○	○			○	○				○	○					○			○	○		○	○	○	○					○							
																											○	○	○	○			○	○	○	○	○	○
				○		○			○				○	○	○			○				○																
								○				○																										
										○		○																										
																○			○																			
															○																							
○		○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○		○	○	○		○	○		○	○	○	○
	○								○							○					○		○			○					○							
		○																																				
			○																																			
		○			○				○	○															○	○				○								
																		○									○	○	○	○	○	○	○	○	○				
												○				○	○				○															○	○	○	○
○						○	○	○																														
	○																																					
														○					○					○														
			○								○																												
																						○	○																
				○								○																											
															○																								

全国高等学校総合体育大会　女子学校対抗出場校一覧

都道府県 学校名	年度	昭25	昭26	昭27	昭28	昭29	昭30	昭31	昭32	昭33	昭34	昭35	昭36	昭37	昭38	昭39	昭40	昭41	昭42	昭43	昭44	昭45	昭46	昭47	昭48	昭49	昭50	昭51	昭52	昭53	昭54
	回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	開催地	横浜	札幌	善通寺	山形	金沢	神戸	仙台	松江	新潟	会津若松	久留米	弘前	高岡	鶴岡	京都	熊本	弘前	金沢	福山	桐生	名古屋	善通寺	新庄	四日市	嬉野	水戸	中野	倉敷	会津若松	大津
	出場数	30	38	61	66	71	39	40	40	40	41	43	42	43	45	46	45	47	48	48	48	47	49	49	50	50	50	50	50	49	49
北北海道																															
旭川実業	21										○	○	○											○	○	○					
帯広大谷	9								○	○				○	○		○														
芽室	5																											○			
砂川南	5																														
旭川商業	4																														
深川西	4																														
帯広三条	3	○	○		○																										
帯広柏葉	2			○																											
釧路江南	2		○	○																											
名寄	2															○		○													
新得	2																				○		○								
滝川西	2																													○	○
釧路商業	1																										○				
釧路商業・定	1																											○			
釧路星園	1																														
旭川西	1																		○												
旭川大学（北日本学院）	1																			○											
留萌	1																					○									
旭川北都商業	1																														
南北海道																															
札幌静修	31										○		○								○	○		○					○		○
とわの森三愛	10																														
札幌北斗	8									○		○		○	○	○	○	○					○								
函館東	5		○				○	○	○										○												
札幌東	4	○	○	○		○																									
札幌南	3		○	○				○																							
札幌啓北商業	3																										○			○	
室蘭栄	2		○			○																									
函館白百合	2		○		○																										
江別	2																			○					○						
北星学園女子	2																														
登別南	2																														
長沼	1																											○			
札幌星園	1		○																												
札幌東商業	1																														
札幌開成	1																														
小樽桜陽	1		○																												
小樽工業（小樽千秋）	1				○																										
倶知安	1		○																												
青森																															
千葉学園	20																											○	○		○
青森山田	19																														
弘前学院聖愛	12																	○	○	○		○									
黒石	6																														
青森中央	6																														
柴田女子	4																														
浪岡	3																														
青森商業	2																														
八戸東	2																														
東奥義塾	1																														
木造	1																														
白菊学園	1																														
岩手																															
前沢	19																														
盛岡市立	12																														
花北青雲	7																														
盛岡第二	5																														
花巻農業	5																														
千厩	4																														
遠野	3																														
黒沢尻北	3																														

昭55	昭56	昭57	昭58	昭59	昭60	昭61	昭62	昭63	平1	平2	平3	平4	平5	平6	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69
高松	平塚	枕崎	豊橋	大曲	金沢	下関	登別	宝塚	高知	塩釜	富士	高鍋	宇都宮	高岡	松江	甲府	長岡京	高松	滝沢	各務原	八代	筑波	大村	鳥取	野田	奈良	武雄	所沢	大阪	糸満	弘前	福井	北九州	千葉	長岡京	岡山	新庄	浜松
49	49	49	49	49	49	49	49	50	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	50	50
											○	○	○	○						○	○	○	○	○			○	○	○			○			○	○	○	
										○																							○					
○	○	○	○																																			
						○	○	○										○																					
																														○	○			○				○
				○																																		
									○																													
																										○												
	○		○			○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					○			○					
																										○	○	○			○	○		○	○	○	○	○
○																																						
		○			○				○																													
							○		○																													
				○																																		
○			○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○																			
																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○							○							○															○							

都道府県 学校名	年度	昭25	昭26	昭27	昭28	昭29	昭30	昭31	昭32	昭33	昭34	昭35	昭36	昭37	昭38	昭39	昭40	昭41	昭42	昭43	昭44	昭45	昭46	昭47	昭48	昭49	昭50	昭51	昭52	昭53	昭54
	回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	開催地	横浜	札幌	善通寺	山形	金沢	神戸	仙台	松江	新潟	会津若松	久留米	弘前	高岡	鶴岡	京都	熊本	弘前	金沢	福山	桐生	名古屋	善通寺	新庄	四日市	嬉野	水戸	中野	倉敷	会津若松	大津
	出場数	30	38	61	66	71	39	40	40	40	41	43	42	43	45	46	45	47	48	48	48	47	49	49	50	50	50	50	50	49	49
黒沢尻南	2																	○													
岩谷堂	2						○			○																					
花北商業	2																										○				
千厩農業	2																											○	○		
盛岡白梅	1	○																													
盛岡	1				○																										
釜石	1								○																						
盛岡白百合学園	1																○														
釜石南	1																					○									
盛岡第四	1																						○								
水沢商業	1																														○
宮城																															
聖ウルスラ学院英智(聖ウルスラ学院)	40																													○	○
尚絅女学院	17		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○		○			○	○	○				○	○				
宮城第二女子	4										○							○	○												
常盤木学園	4		○			○		○						○																	
塩釜女子	4															○							○		○				○		
古川女子	3			○	○	○																									
聖和学園(聖和学園吉田)	1																							○							
角田女子	1																														
宮城第三女子	1																											○			
秋田																															
国学館（敬愛学園）	25			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○		○	○	○	○	
能代西（能代農業）	6																														
羽後	6																		○		○		○								
横手城南	6																														
秋田北	6																														
能代北	4					○																									○
秋田和洋女子	4													○												○					
秋田経法大附属(秋田経大付)	3																														
新屋	3																														
秋田	3																														
秋田中央（秋田市立）	1		○																												
秋田南	1																○														
米内沢	1																														
大館桂	1																														
大曲工業	1																														
高陽	1																														
金足農業	1																														
山形																															
新庄南	27					○	○	○			○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		
山形城北(山形城北女子)	24				○									○	○										○						○
山形市立商業	10									○																					
新庄北（新庄）	3		○	○	○																										
鶴岡南（鶴岡）	3	○	○		○																										
山形北	2				○																										
真室川	2																							○							
鶴岡北	2					○																									
山本学園	2																														
山形中央	1								○																						
山形南	1		○																												
鶴岡家政	1																														
福島																															
若松女子	21				○	○			○	○	○	○		○	○			○		○										○	○
ふたば未来学園（富岡）	11																														
磐城女子	7					○										○	○														
安積女子	6			○			○						○																		
平商業	6																					○									
尚志	6																														
会津女子	5																														
帝京安積	3																														
郡山商業	2																														
清陵情報	2																														


昭55 昭56 昭57 昭58 昭59 昭60 昭61 昭62 昭63 平1 平2 平3 平4 平5 平6 平7 平8 平9 平10 平11 平12 平13 平14 平15 平16 平17 平18 平19 平20 平21 平22 平23 平24 平25 平26 平27 平28 平29 平30
31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69
高松 平塚 枕崎 豊橋 大曲 金沢 下関 登別 宝塚 高知 塩釜 富士 高鍋 宇都宮 高岡 松江 甲府 長岡京 高松 滝沢 各務原 八代 筑波 大村 鳥取 野田 奈良 武雄 所沢 大阪 糸満 弘前 福井 北九州 千葉 長岡京 岡山 新庄 浜松
49 49 49 49 49 49 49 49 50 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 50 50

都道府県 学校名	年度	昭25	昭26	昭27	昭28	昭29	昭30	昭31	昭32	昭33	昭34	昭35	昭36	昭37	昭38	昭39	昭40	昭41	昭42	昭43	昭44	昭45	昭46	昭47	昭48	昭49	昭50	昭51	昭52	昭53	昭54
	回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	開催地	横浜	札幌	善通寺	山形	金沢	神戸	仙台	松江	新潟	会津若松	久留米	弘前	高岡	鶴岡	京都	熊本	弘前	金沢	福山	桐生	名古屋	善通寺	新庄	四日市	嬉野	水戸	中野	倉敷	会津若松	大津
	出場数	30	38	61	66	71	39	40	40	40	41	43	42	43	45	46	45	47	48	48	48	47	49	49	50	50	50	50	50	49	49
郡山女子	1																														
川俣	1																														
会津若松ザベリオ学園	1																														
郡山東	1																														
茨城																															
常総学院	27																														
大成女子	5										○	○	○	○					○												
土浦第三	5																														
太田第二	4														○	○		○											○		
石岡第二	4																○					○	○					○			
下館第二	4																			○						○	○				
鉾田第二	4																								○						○
明野	3																													○	
日立第二	2																							○			○				
小瀬	1																				○										
伊奈	1																														
藤代	1																														
茗渓学園	1																														
栃木																															
真岡女子	26										○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
小山城南	18																														○
作新学院	15							○		○																					
宇都宮南	4																														
宇都宮女子商業	3					○	○											○													
宇都宮松原	2				○	○																									
宇都宮学園	1				○																										
宇都宮女子	1								○																						
真岡農業	1																						○								
群馬																															
前橋東	15																														
渋川女子	14	○	○		○	○															○		○	○	○		○	○		○	○
伊勢崎清明	11																														
桐生女子	9	○		○	○	○					○	○	○	○			○														
市立前橋(前橋市立女子)	8	○	○				○	○	○	○					○						○										
前橋東商業	5																											○			
桐生市立商業	5																					○				○					
境	4															○		○	○	○											
新島学園	2																														
群馬桐ヶ丘	1	○																													
明照学園樹徳	1																														
桐生南	1																														
埼玉																															
埼玉栄	26																														
川口総合（川口女子）	10															○	○	○	○	○		○	○								○
上尾	6																														
行田女子	5					○		○	○			○	○																		
小松原女子	5					○	○			○	○																				
越谷南	5																														
熊谷女子	4													○	○																
川越女子	4																														
宮崎高等家政	1																														
鴻巣	1																														
越ヶ谷	1																														
大宮東	1																														
千葉																															
西武台千葉	20																														
木更津東（木更津第二）	16																														
昭和学院	10																														
東葉（船橋学園女子）	6																														
茂原	5																														
千葉敬愛	5																														
我孫子二階堂	4																														
千葉女子（千葉第二）	3																														

昭55	昭56	昭57	昭58	昭59	昭60	昭61	昭62	昭63	平1	平2	平3	平4	平5	平6	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69
高松	平塚	枕崎	豊橋	大曲	金沢	下関	登別	宝塚	高知	塩釜	富士	高鍋	宇都宮	高岡	松江	甲府	長岡京	高松	滝沢	各務原	八代	筑波	大村	鳥取	野田	奈良	武雄	所沢	大阪	糸満	弘前	福井	北九州	千葉	長岡京	岡山	新庄	浜松
49	49	49	49	49	49	49	49	50	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	50	50

都道府県 学校名	年度	昭25	昭26	昭27	昭28	昭29	昭30	昭31	昭32	昭33	昭34	昭35	昭36	昭37	昭38	昭39	昭40	昭41	昭42	昭43	昭44	昭45	昭46	昭47	昭48	昭49	昭50	昭51	昭52	昭53	昭54
	回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	開催地	横浜	札幌	善通寺	山形	金沢	神戸	仙台	松江	新潟	会津若松	久留米	弘前	高岡	鶴岡	京都	熊本	弘前	金沢	福山	桐生	名古屋	善通寺	新庄	四日市	嬉野	水戸	中野	倉敷	会津若松	大津
	出場数	30	38	61	66	71	39	40	40	40	41	43	42	43	45	46	45	47	48	48	48	47	49	49	50	50	50	50	50	49	49
木更津	1			○																											
渋谷教育学園幕張	1																														
中央学院	1																														
東東京																															
日本橋女学館	16																														
女子聖学院	7			○	○	○	○	○	○		○																				
関東第一	5																														
八潮	4	○	○		○	○																									
十文字	3												○	○	○																
淑徳学園	3																○		○	○											
蒲田女子	2																														
都立九段	2	○		○																											
都立白鴎	1	○																													
武蔵	1		○																												
千代田女学院	1									○																					
都立第三商業	1											○																			
都立南葛飾	1															○															
西東京																															
淑徳巣鴨（巣鴨女子）	17																								○	○	○	○	○	○	
桐朋女子	3																				○	○	○								
日本大学鶴ヶ丘	3																														○
桜華女学院（日体桜華女子）	3																														
二階堂	2																	○						○							
日本ウエルネス	2																														
神奈川																															
富士見丘	9																														
川崎総合科学	8																														
北鎌倉女子学園	7																														
鵠沼	6																														
横浜立野	5																												○	○	○
横須賀第二	4	○	○			○						○																			
横浜緑ヶ丘	4			○	○				○	○																					
伊勢原	4												○	○		○	○														
平塚商業	4																			○	○	○		○							
横須賀第一	3						○	○							○																
厚木東	3										○							○					○								
横浜女子商業	3																		○						○						
川崎工業	3																									○	○	○			
関東学院	2			○	○																										
県立柏陽	2																														
関東学院六浦	1	○																													
横浜国大神奈川師範分校	1	○																													
希望ヶ丘	1	○																													
平沼	1		○																												
県立川崎	1		○																												
小田原城内	1					○																									
多摩	1																														
県立弥栄西	1																														
大和西	1																														
生田	1																														
法政大学第二	1																														
山梨																															
甲斐清和（甲府湯田・伊藤学園）	30																														
甲府西（甲府第二）	14																														
甲府商業	13																														
増穂商業	5																														
山梨	4																														
巨摩	2																														
東海大甲府	2																														
山梨英和	1																														
都留	1																														
新潟																															
新潟青陵（新潟女子工芸）	57																														

昭55	昭56	昭57	昭58	昭59	昭60	昭61	昭62	昭63	平1	平2	平3	平4	平5	平6	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69
高松	平塚	枕崎	豊橋	大曲	金沢	下関	登別	宝塚	高知	塩釜	富士	高鍋	宇都宮	高岡	松江	甲府	長岡京	高松	滝沢	各務原	八代	筑波	大村	鳥取	野田	奈良	武雄	所沢	大阪	糸満	弘前	福井	北九州	千葉	長岡京	岡山	新庄	浜松
49	49	49	49	49	49	49	49	50	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	50	50

都道府県 学校名	年度	昭25	昭26	昭27	昭28	昭29	昭30	昭31	昭32	昭33	昭34	昭35	昭36	昭37	昭38	昭39	昭40	昭41	昭42	昭43	昭44	昭45	昭46	昭47	昭48	昭49	昭50	昭51	昭52	昭53	昭54
	回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	開催地	横浜	札幌	善通寺	山形	金沢	神戸	仙台	松江	新潟	会津若松	久留米	弘前	高岡	鶴岡	京都	熊本	弘前	金沢	福山	桐生	名古屋	善通寺	新庄	四日市	嬉野	水戸	中野	倉敷	会津若松	大津
	出場数	30	38	61	66	71	39	40	40	40	41	43	42	43	45	46	45	47	48	48	48	47	49	49	50	50	50	50	50	49	49
新潟中央	14	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○		○				○							○				
三条東	4	○		○	○																	○									
新発田商業	2																														
中越（長岡家政学園）	1					○																									
北越	1																														
富山																															
高岡西（高岡女子）	33										○	○	○	○	○	○											○	○	○		
高岡商業	9								○						○		○	○	○	○	○				○						○
富山国際大学付属	7																														
富山商業	6																														
上市	4			○										○								○		○							
富山北部	3	○			○	○																									
富山中部	3					○	○	○																							
藤園女子	2																									○				○	
滑川	2																														
富山北	1			○																											
高岡	1									○																					
清光女子	1																						○								
高岡龍谷	1																														
石川																															
金沢向陽	35																														○
藤花	10													○	○	○	○	○	○	○	○					○	○				
金沢二水	9	○		○	○		○	○																					○		
津幡	9	○		○	○	○						○										○	○	○	○						
金城	8								○	○	○		○															○		○	
金沢泉ヶ丘	2	○				○																									
金沢桜ヶ丘	1		○																												
七尾	1		○																												
金沢革台	1					○																									
小松	1					○																									
金沢商業	1																		○												
藤花学園尾山台	1																														
福井																															
勝山	24																		○								○				
足羽	10																														
武生	7					○		○	○			○	○	○			○														
大野	6			○	○	○	○			○	○																				
福井工業大学附属福井(福井)	6																														○
福井商業	5																							○	○			○	○	○	
武生商業	3																														
敦賀	3																	○		○	○										
藤島	2														○	○															
高志	2																					○	○								
乾徳	1			○																											
勝山精華	1				○																										
羽水	1																									○					
長野																															
諏訪二葉	10								○								○					○	○		○				○	○	
長野西	9				○					○		○	○	○		○		○			○										
長野商業	6																														
岡谷東	5					○		○							○				○	○											
須坂東	5																														
蘇南	5																														
文化女子大学附属長野	5																														
伊那弥生ヶ丘	4																														
中野実業	4																														
篠ノ井	3																														
松商学園	3																														
松代	2																														
須坂	2																														
大町北	2																														
伊那北	1																														
飯田	1																														

昭55	昭56	昭57	昭58	昭59	昭60	昭61	昭62	昭63	平1	平2	平3	平4	平5	平6	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69
高松	平塚	枕崎	豊橋	大曲	金沢	下関	登別	宝塚	高知	塩釜	富士	高鍋	宇都宮	高岡	松江	甲府	長岡京	高松	滝沢	各務原	八代	筑波	大村	鳥取	野田	奈良	武雄	所沢	大阪	糸満	弘前	福井	北九州	千葉	長岡京	岡山	新庄	浜松
49	49	49	49	49	49	49	49	50	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	50	50
																										○	○											
○	○	○			○	○	○	○	○		○	○		○	○	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○									
																																○	○	○	○	○	○	○
										○			○	○			○					○									○							
			○	○																																		
																					○																	
					○		○																																
					○																																	
						○		○		○				○	○		○		○	○		○		○	○	○	○	○	○			○	○	○	○				
			○	○			○		○		○	○	○			○	○				○																	
○	○	○			○																																	

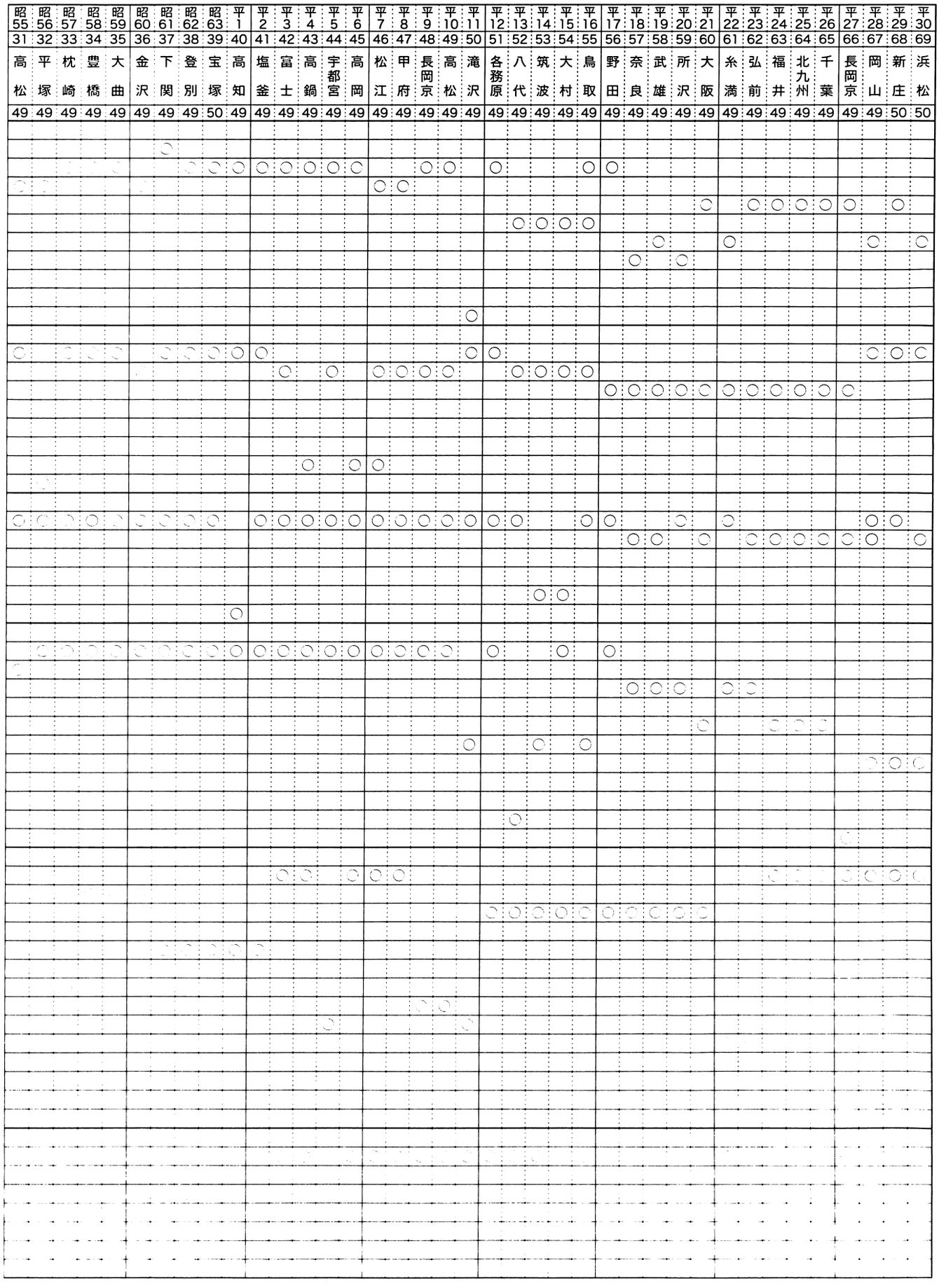
都道府県 学校名	年度	昭25	昭26	昭27	昭28	昭29	昭30	昭31	昭32	昭33	昭34	昭35	昭36	昭37	昭38	昭39	昭40	昭41	昭42	昭43	昭44	昭45	昭46	昭47	昭48	昭49	昭50	昭51	昭52	昭53	昭54
	回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	開催地	横浜	札幌	善通寺	山形	金沢	神戸	仙台	松江	新潟	会津若松	久留米	弘前	高岡	鶴岡	京都	熊本	弘前	金沢	福山	桐生	名古屋	善通寺	新庄	四日市	嬉野	水戸	中野	倉敷	会津若松	大津
	出場数	30	38	61	66	71	39	40	40	40	41	43	42	43	45	46	45	47	48	48	48	47	49	49	50	50	50	50	50	49	49
田川	1																														
小諸	1																														
岐阜																															
県立岐阜商業	29											○																			
富田（富田女子）	18									○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岐阜女子商業	11																														○
岐阜	5			○	○	○		○	○																						
本巣	2				○						○																				
高山	2					○	○																								
大垣西	2																														
済美女子	1			○																											
多治見西	1																														
静岡																															
吉原	22			○	○	○						○				○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
富士見	13			○	○	○	○	○		○	○			○	○				○												
星陵	12																														
富士宮東	8																														
静岡城北	4																														
伊東	3																														
掛川西	2								○				○																		
常葉菊川	2																														
富士宮北	2																														
藤枝西	1																												○		
伊東商業	1																														
御殿場西	1																														
加藤学園	1																														
愛知																															
愛知淑徳	18																														○
名経大市引市引学園・名古屋女子商業	16																					○				○					
高蔵女子商業	10													○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								
瑞陵	9			○	○	○		○	○	○	○	○	○																		
岡崎城西	8																														
名古屋西	3	○		○	○																										
松蔭	2					○	○																								
守山女子商業	2																							○	○						
大府	2																														
名古屋女子大学	1																														
佐屋	1																														
星城	1																														
三重																															
暁	19																														
宇治山田	15			○	○	○		○	○	○	○			○	○			○													
松阪	12											○	○																		
皇學館	6																														
宇治山田商業	4																														
河原田	3					○																									
久居	3																														
四日市商業	2																														
四日市農芸	1																														
亀山	1																														
員弁	1																														
長島	1																														
四日市	1																														
松阪商業	1																														
鳥羽	1																														
滋賀																															
滋賀短大附属（滋賀女子）	31																														
彦根西	15																														
比叡山	11																														
大津	4																														
彦根東	2																														
伊香	2																														
大津商業	2																														

昭55	昭56	昭57	昭58	昭59	昭60	昭61	昭62	昭63	平1	平2	平3	平4	平5	平6	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69
高松	平塚	枕崎	豊橋	大曲	金沢	下関	登別	宝塚	高知	塩釜	富士	高鍋	宇都宮	高岡	松江	甲府	長岡京	高松	滝沢	各務原	八代	筑波	大村	鳥取	野田	奈良	武雄	所沢	大阪	糸満	弘前	福井	北九州	千葉	長岡京	岡山	新庄	浜松
49	49	49	49	49	49	49	49	50	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	50	50

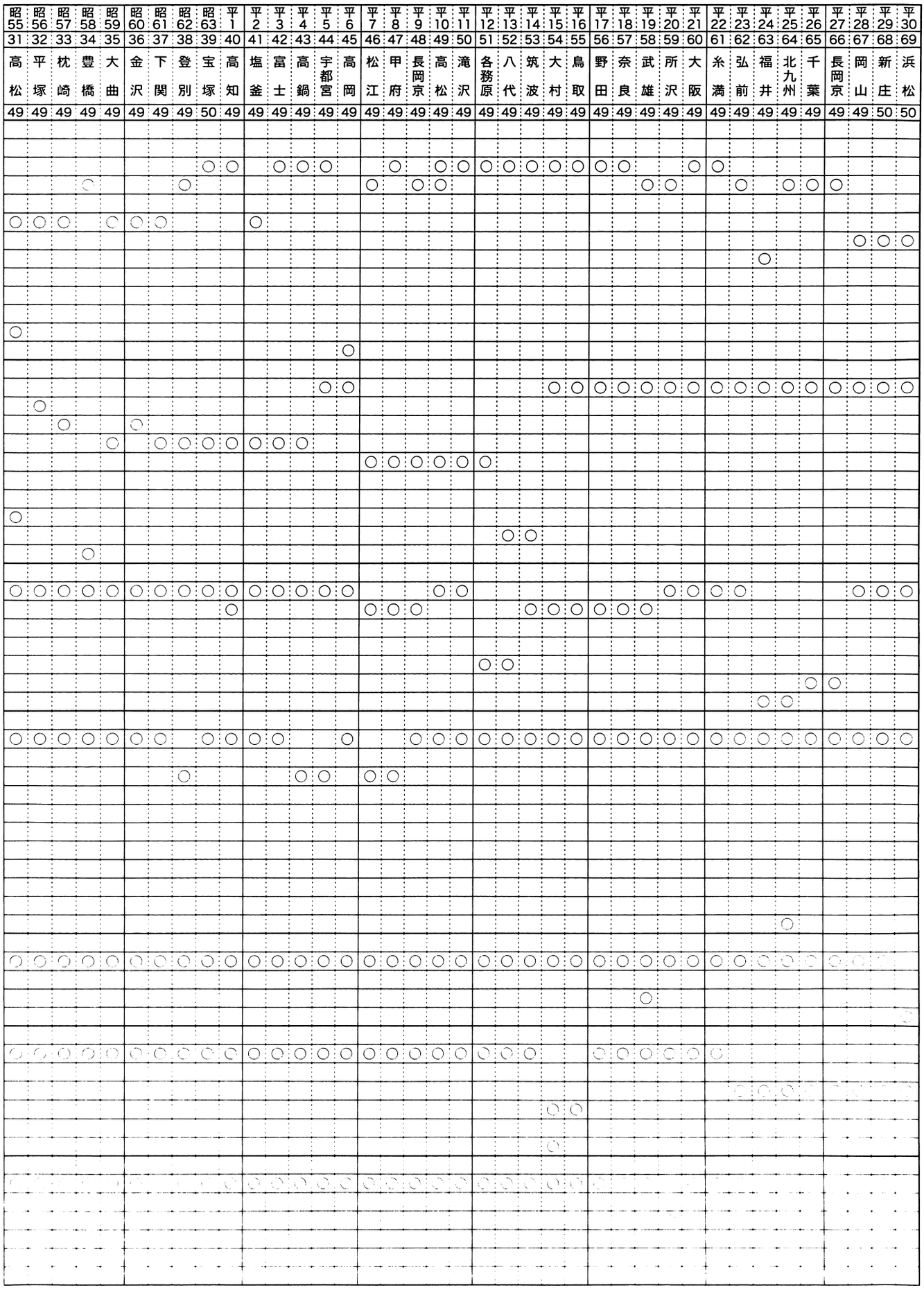
都道府県 学校名	年度	昭25	昭26	昭27	昭28	昭29	昭30	昭31	昭32	昭33	昭34	昭35	昭36	昭37	昭38	昭39	昭40	昭41	昭42	昭43	昭44	昭45	昭46	昭47	昭48	昭49	昭50	昭51	昭52	昭53	昭54
	回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	開催地	横浜	札幌	善通寺	山形	金沢	神戸	仙台	松江	新潟	会津若松	久留米	弘前	高岡	鶴岡	京都	熊本	弘前	金沢	福山	桐生	名古屋	善通寺	新庄	四日市	嬉野	水戸	中野	倉敷	会津若松	大津
	出場数	30	38	61	66	71	39	40	40	40	41	43	42	43	45	46	45	47	48	48	48	47	49	49	50	50	50	50	50	49	49
草津	1																						○								
京都																															
成安女子	30															○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
西己訓	9																														
西山（京都西山）	7																														
平安女学院	6			○	○	○			○	○																			○		
京都外大西	6																														
朱雀	3			○	○			○																							
鴨沂	3										○	○	○																		
桂	3													○	○	○															
己訓	3																														
同志社女子	2					○	○																								
洛水	1																														
大阪																															
四条畷学園	30																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
四天王寺	13																														
東大阪（布施女子）	10											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○										
アナン学園（樟蔭東）	10			○	○		○			○	○																				
此花学院	3																														
大阪女子(大阪女子商業)	2							○	○																						
大谷	2																							○		○					
茨木（三島野）	2				○	○																									
扇町	1			○																											
梅花	1					○																									
精華女子	1																								○						
市岡商業	1																											○			
大阪薫英女学院（薫英）	1																												○		
兵庫																															
園田学園	31																					○			○	○	○	○		○	○
親和女子	14	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○					○	○									
夙川学院	10																														
加古川東	4			○	○		○																								
神戸野田	3																○	○	○												
日ノ本学園	3																														
神戸商業	2											○				○															
園田女子	1	○																													
加古川西	1					○																									
尼崎西	1																						○								
松蔭	1																							○							
尼崎	1																												○		
伊丹北	1																														
育英	1																														
奈良																															
奈良一条	34				○	○				○	○			○					○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	
添上	13																			○											
高田商業	7																														
郡山	5					○	○	○	○																						
奈良商工	3											○	○		○																
帝塚山	3																○														○
奈良女子大学附属	2		○	○																											
奈良育英	2			○	○																										
天理	2															○		○													
育英西	1																														
和歌山																															
耐久	22				○				○	○		○			○	○	○														
新宮	16																	○	○	○		○		○			○				
新宮商業	8																											○			
那賀	8									○				○																	
御坊商工	7																														
向陽	5																														
星林	2																														
伊都	1																														

昭55	昭56	昭57	昭58	昭59	昭60	昭61	昭62	昭63	平1	平2	平3	平4	平5	平6	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69
高松	平塚	枕崎	豊橋	大曲	金沢	下関	登別	宝塚	高知	塩釜	富士	高鍋	宇都宮	高岡	松江	甲府	長岡京	高松	滝沢	各務原	八代	筑波	大村	鳥取	野田	奈良	武雄	所沢	大阪	糸満	弘前	福井	北九州	千葉	長岡京	岡山	新庄	浜松
49	49	49	49	49	49	49	49	50	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	50	50

都道府県 学校名	年度	昭25	昭26	昭27	昭28	昭29	昭30	昭31	昭32	昭33	昭34	昭35	昭36	昭37	昭38	昭39	昭40	昭41	昭42	昭43	昭44	昭45	昭46	昭47	昭48	昭49	昭50	昭51	昭52	昭53	昭54
	回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	開催地	横浜	札幌	善通寺	山形	金沢	神戸	仙台	松江	新潟	会津若松	久留米	弘前	高岡	鶴岡	京都	熊本	弘前	金沢	福山	桐生	名古屋	善通寺	新庄	四日市	嬉野	水戸	中野	倉敷	会津若松	大津
	出場数	30	38	61	66	71	39	40	40	40	41	43	42	43	45	46	45	47	48	48	48	47	49	49	50	50	50	50	50	49	49
鳥取																															
倉吉西	20					○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○		○	○	○	○	○	○					
境	17																											○			
米子西	8																												○	○	○
鳥取敬愛	7																														
倉吉工業	4																														
米子北	4																														
倉吉東	3														○																
鳥取西	1																	○													
鳥取東	1																			○											
米子東	1																														
島根																															
松江商業（松江産業）	31			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○				○					○			○
大東	12																												○		
松徳学院	11																														
松江家政	5																			○	○	○			○				○		
松江市立女子	4													○			○									○					
松江	3				○	○			○																						
松江西	3																														
隠岐	2																							○							
岡山																															
山陽女子（山陽学園）	53			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
倉敷中央	12																											○	○		
倉敷青陵	4		○	○	○														○												
井原	3		○			○		○																							
笠岡商業	2																														
倉敷翠松	1																														
広島																															
鈴峯女子	21																														
福山葦陽	12						○	○											○	○	○	○	○	○	○	○					○
清水ヶ丘	6																			○											
広島第一女子商業	4																												○	○	
安芸府中	4																														
広島桜が丘	3																														
安田女子	3																														
福山南	1	○																													
門田	1			○																											
祇園北	1																														
高陽	1																														
山口																															
柳井商工（柳井工業）	14								○						○																
下関南	13						○											○	○	○	○									○	○
熊毛北	10																														
徳山	7									○	○	○		○		○	○									○					
高森	6																														
下関商業	2																														
岩陽	2																														
中村女子	2																														
山口中央	2																														
華陵	2																														
山口	1																														
長府	1																														
早鞆	1																														
新南陽	1																														
徳島																															
城東	27																														
日和佐	20																														
徳島商業	3																														
小松島西	2																														
富岡東	1																														
富岡西	1																														
徳島北	1																														


昭55 昭56 昭57 昭58 昭59 昭60 昭61 昭62 昭63 平1 平2 平3 平4 平5 平6 平7 平8 平9 平10 平11 平12 平13 平14 平15 平16 平17 平18 平19 平20 平21 平22 平23 平24 平25 平26 平27 平28 平29 平30
31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69
高松 平塚 枕崎 豊橋 大曲 金沢 下関 登別 宝塚 高知 塩釜 富士 高鍋 宇都宮 高岡 松江 甲府 長岡京 高松 滝沢 各務原 八代 筑波 大村 鳥取 野田 奈良 武雄 所沢 大阪 糸満 弘前 福井 北九州 千葉 長岡京 岡山 新庄 浜松
49 49 49 49 49 49 49 49 50 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 50 50

都道府県 学校名	年度	昭25	昭26	昭27	昭28	昭29	昭30	昭31	昭32	昭33	昭34	昭35	昭36	昭37	昭38	昭39	昭40	昭41	昭42	昭43	昭44	昭45	昭46	昭47	昭48	昭49	昭50	昭51	昭52	昭53	昭54
	回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	開催地	横浜	札幌	善通寺	山形	金沢	神戸	仙台	松江	新潟	会津若松	久留米	弘前	高岡	鶴岡	京都	熊本	弘前	金沢	福山	桐生	名古屋	善通寺	新庄	四日市	嬉野	水戸	中野	倉敷	会津若松	大津
	出場数	30	38	61	66	71	39	40	40	40	41	43	42	43	45	46	45	47	48	48	48	47	49	49	50	50	50	50	50	49	49
香川																															
善通寺第一	27		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○
香川中央	17																														
高松商業	11																														
坂出	10		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○																		
高松中央(高松女子商業)	8																						○								
英明	3																														
高松第一	2																													○	
高松南（香川）	1			○																											
高松	1			○																											
琴平	1																										○				
高松西	1																														
明善	1																														
愛媛																															
新田	18																														
松山南	11			○	○		○	○			○	○	○		○			○													○
今治北	10				○	○														○		○	○	○			○			○	
西条	8																														
新居浜西	8			○		○																									
松山商業	7								○	○				○			○				○				○	○					
松山東	3															○			○										○		
西条農業	2																											○			
新居浜東	2																														
東温	1																														
高知																															
土佐女子	42									○	○		○		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
清和女子	10																														
高知丸の内	5								○			○		○		○	○														
須崎	3			○			○	○																							
安芸	2																														
高知中央	2																														
高知南	2																														
福岡																															
九州国際大学付属(八幡大学付属)	35																												○		
明善	16			○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○					○	○	○		○			○				
精華女子	5																														
門司南	3											○	○			○															
門司商業	3																○	○	○												
九州女子	3																						○		○	○					
大牟田北	1					○																									
明善・定	1																											○			
福岡女子	1																													○	
大川	1																														○
常葉	1																														
佐賀																															
佐賀女子	45																								○	○	○	○	○	○	○
嬉野商業	1																									○					
唐津南	1																														
多久	1																														
長崎																															
長崎女子（鶴鳴女子）	35														○	○			○				○			○				○	○
長崎商業	9													○						○	○			○	○		○	○	○		
諫早商業	8																														
長崎東	4												○					○													
活水	2														○		○														
聖和女子学院	1																														
大分																															
昭和女子（昭和学園）	45																							○	○						○
扇城	3																														
別府鶴見丘	3																														
大分西	3																														
東豊	1																														
大分女子	1																														


昭55 昭56 昭57 昭58 昭59 昭60 昭61 昭62 昭63 平1 平2 平3 平4 平5 平6 平7 平8 平9 平10 平11 平12 平13 平14 平15 平16 平17 平18 平19 平20 平21 平22 平23 平24 平25 平26 平27 平28 平29 平30
31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69
高松 平塚 枕崎 豊橋 大曲 金沢 下関 登別 宝塚 高知 塩釜 富士 高鍋 宇都宮 高岡 松江 甲府 長岡京 高松 滝沢 各務原 八代 筑波 大村 鳥取 野田 奈良 武雄 所沢 大阪 糸満 弘前 福井 北九州 千葉 長岡京 岡山 新庄 浜松
49 49 49 49 49 49 49 49 50 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 49 50 50

都道府県 学校名	年度	昭25	昭26	昭27	昭28	昭29	昭30	昭31	昭32	昭33	昭34	昭35	昭36	昭37	昭38	昭39	昭40	昭41	昭42	昭43	昭44	昭45	昭46	昭47	昭48	昭49	昭50	昭51	昭52	昭53	昭54
	回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	開催地	横浜	札幌	善通寺	山形	金沢	神戸	仙台	松江	新潟	会津若松	久留米	弘前	高岡	鶴岡	京都	熊本	弘前	金沢	福山	桐生	名古屋	善通寺	新庄	四日市	嬉野	水戸	中野	倉敷	会津若松	大津
	出場数	30	38	61	66	71	39	40	40	40	41	43	42	43	45	46	45	47	48	48	48	47	49	49	50	50	50	50	50	49	49
熊本																															
熊本中央(熊本中央女子)	21																												○	○	○
熊本信愛女学院	18											○	○	○		○	○										○	○			
九州女学院	7														○		○	○		○	○			○	○						
八代白百合	7																														
玉名女子	4																														
熊本市立	3																		○			○	○								
熊本国府(熊本女子商業)	1																									○					
宮崎																															
宮崎商業	29																														○
聖心ウルスラ学園	6																														
都城商業	5																							○	○	○	○		○		
宮崎女子	2																						○								
富島	2																											○		○	
都城聖ドミニコ学園	2																														
宮崎工業	2																														
延岡商業	1																														
鹿児島																															
鹿児島女子	30																														
川内	7											○			○		○	○	○	○			○								
鹿児島	7																							○	○				○		
鹿児島南	4																										○				
串木野	3																				○	○				○					
知覧	3																													○	
鹿児島純心女子	1															○															
伊集院	1																											○			
川内商工	1																														○
沖永良部	1																														
沖縄																															
糸満	13																														
那覇商業	11																	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○		
南風原	10																														
コザ	8																														
石川	3																											○		○	
小禄	2																														
豊見城南	2																														
首里	1																									○					
那覇	1																														○
南部商業	1																														
知念	1																														
北谷	1																														

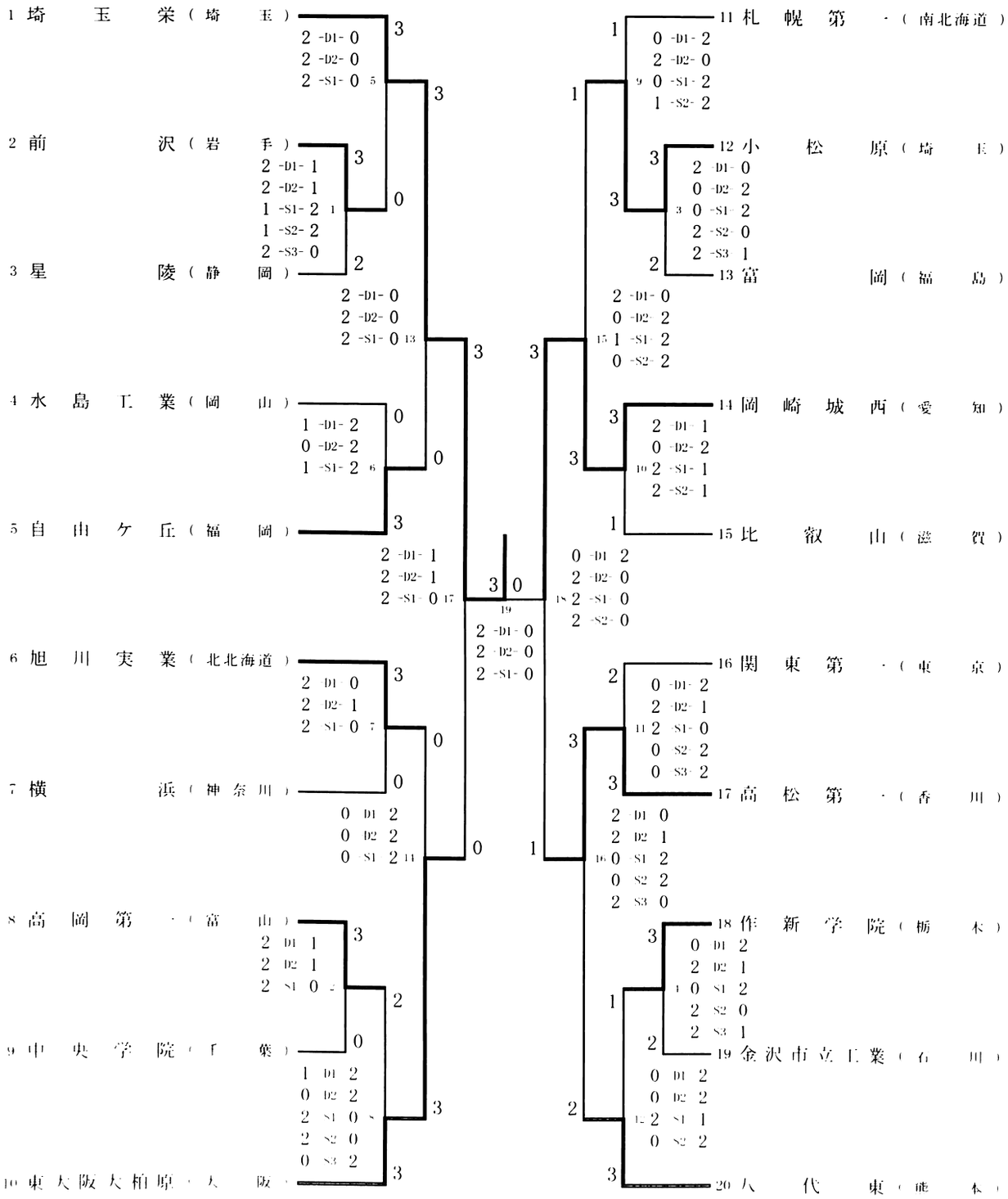
昭55	昭56	昭57	昭58	昭59	昭60	昭61	昭62	昭63	平1	平2	平3	平4	平5	平6	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69
高松	平塚	枕崎	豊橋	大曲	金沢	下関	登別	宝塚	高知	塩釜	富士	高鍋	宇都宮	高岡	松江	甲府	長岡京	高松	滝沢	各務原	八代	筑波	大村	鳥取	野田	奈良	武雄	所沢	大阪	糸満	弘前	福井	北九州	千葉	長岡京	岡山	新庄	浜松
49	49	49	49	49	49	49	49	50	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	50	50
○	○		○			○	○	○	○		○	○		○	○		○				○	○	○	○								○	○				
										○			○			○		○	○		○				○	○											
																											○	○	○	○					○		○
																															○	○				○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○					
																																	○	○	○	○	○	○	○
									○																													
															○	○									○	○												
																									○	○												
												○																										
						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
											○									○												○						
																	○			○	○				○		○	○	○	○		○					○		
									○																													
		○	○							○	○	○	○	○	○	○																			○		
																													○	○	○	○	○	○	○			○
				○	○																																	
																		○	○																			
																						○																
																								○														

全国高等学校選抜
バドミントン大会の記録

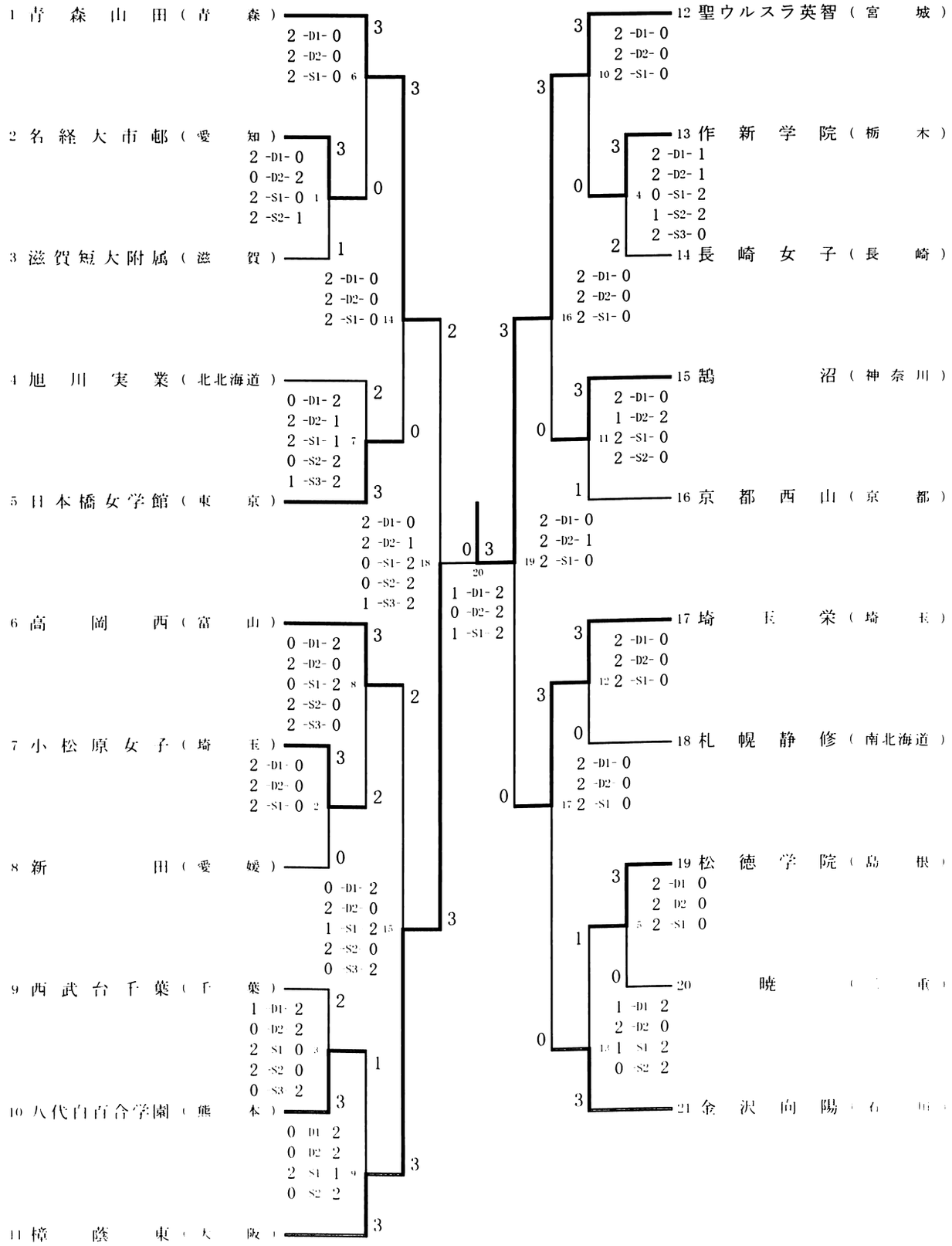
第38回全国高等学校選抜バドミントン大会（2009年度）

期　日▶平成22年３月25日（木）～28日（日）
会　場▶熊谷スポーツ文化公園体育館「彩の国くまがやドーム」

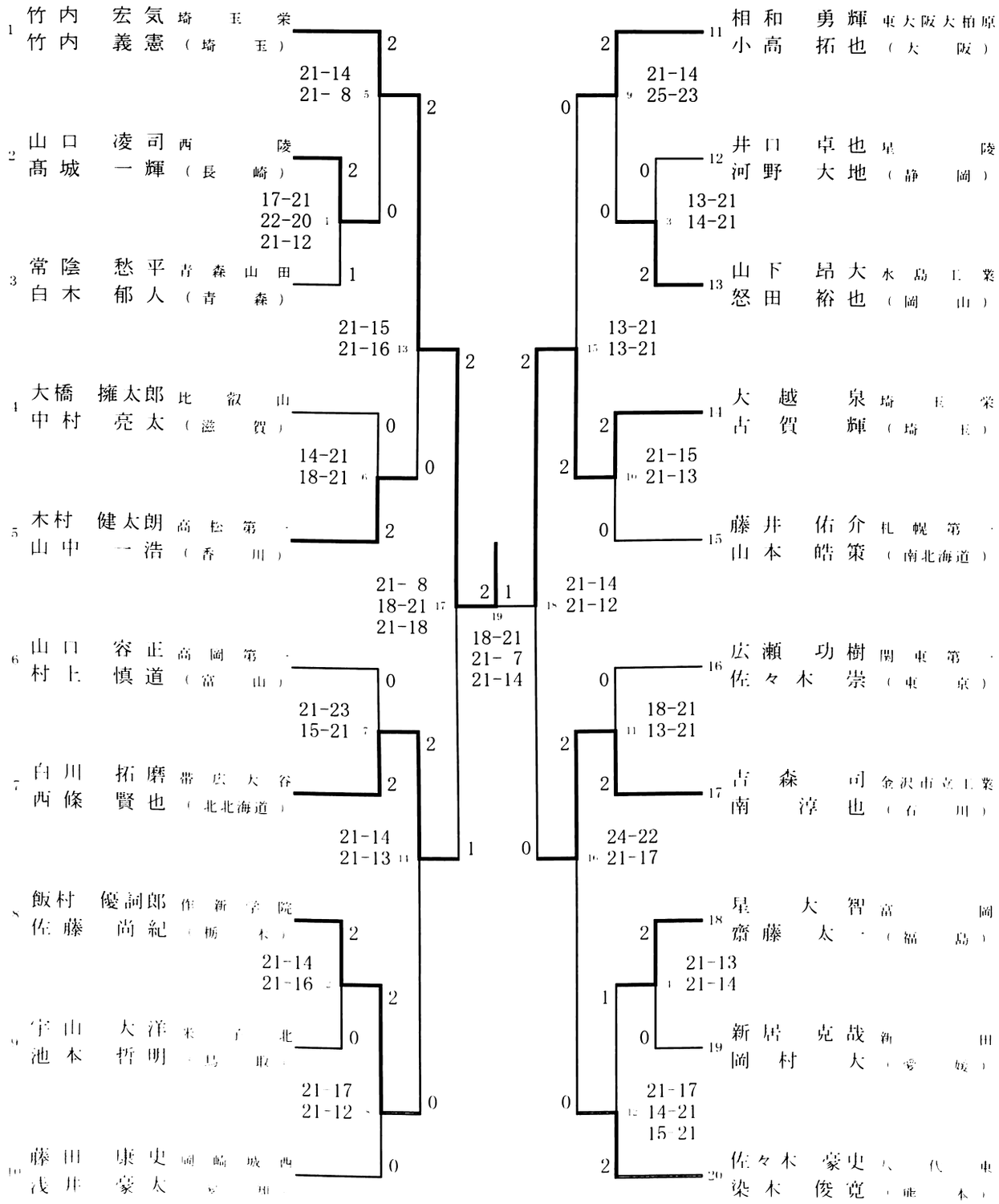
【 男 子 団 体 】



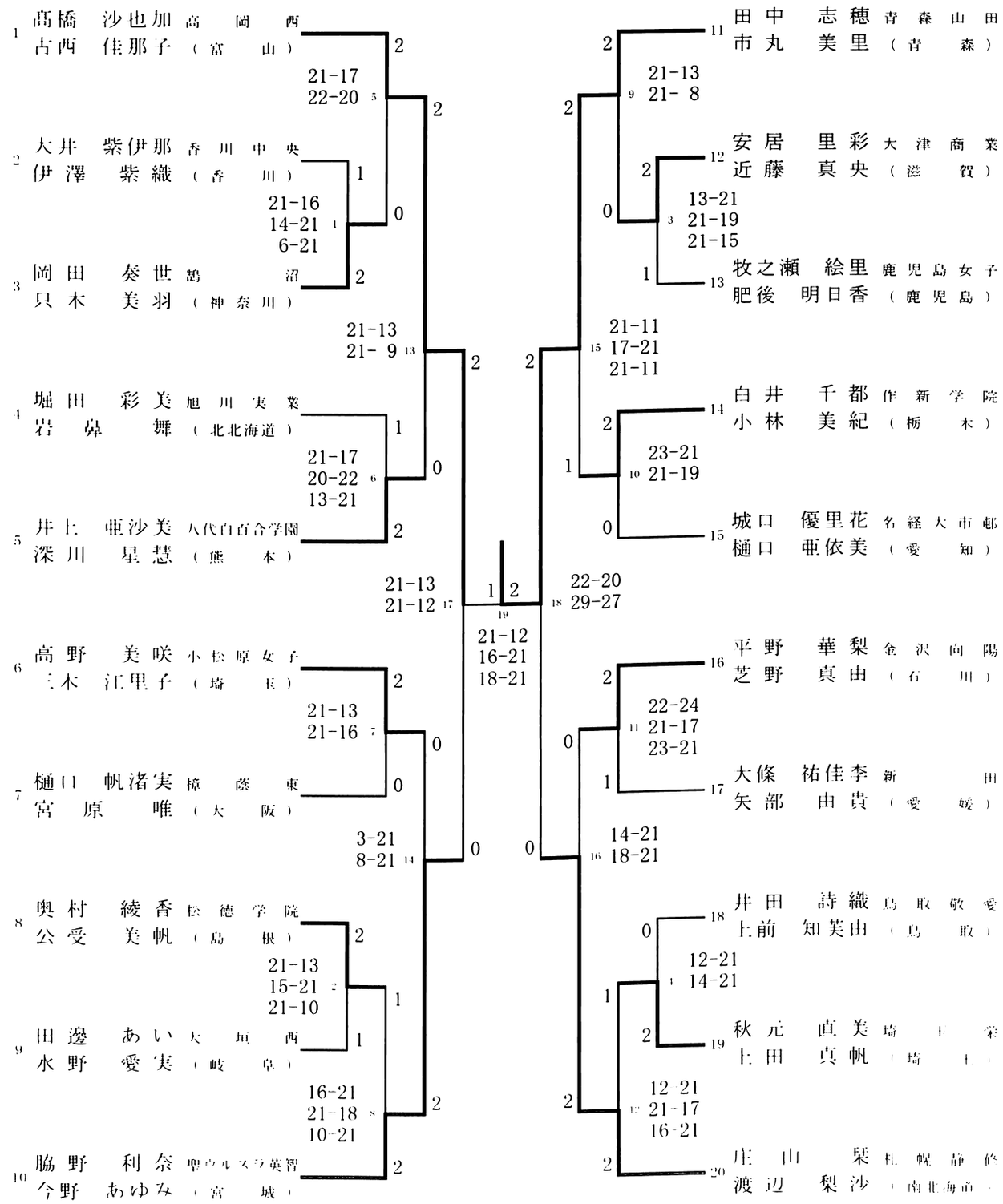
【女子団体】


1 青森山田（青森）
2 名経大市邨（愛知）
3 滋賀短大附属（滋賀）
4 旭川実業（北北海道）
5 日本橋女学館（東京）
6 高岡西（富山）
7 小松原女子（埼玉）
8 新田（愛媛）
9 西武台千葉（千葉）
10 八代白百合学園（熊本）
11 樟蔭東（大阪）
12 聖ウルスラ英智（宮城）
13 作新学院（栃木）
14 長崎女子（長崎）
15 鵠沼（神奈川）
16 京都西山（京都）
17 埼玉栄（埼玉）
18 札幌静修（南北海道）
19 松徳学院（島根）
20 暁（三重）
21 金沢向陽（石川）

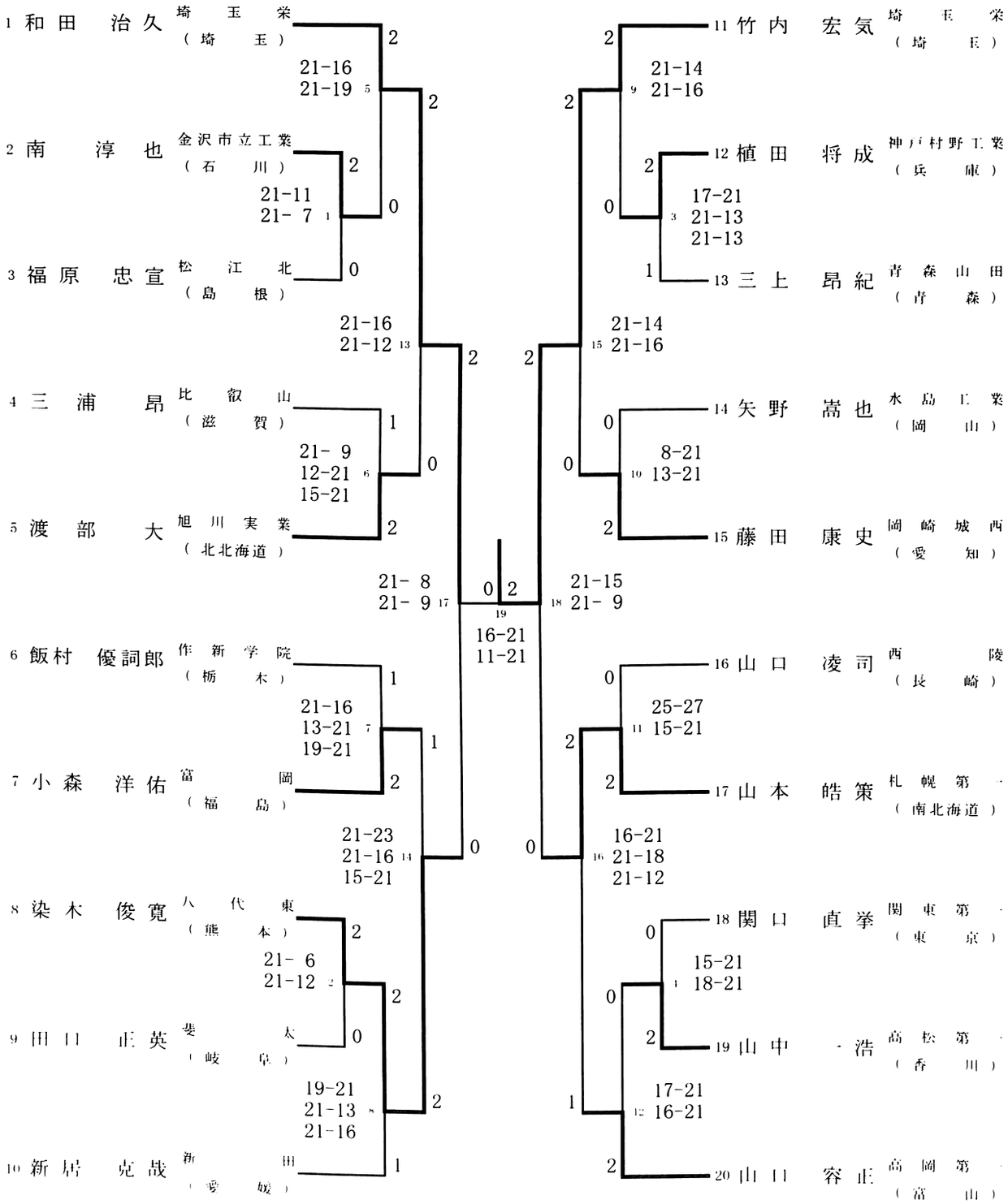
【男子ダブルス】


1 竹内 宏気 埼玉栄
竹内 義憲 (埼玉)
2 山口 凌司 西陵
髙城 一輝 (長崎)
3 常陰 愁平 青森山田
白木 郁人 (青森)
4 大橋 擁太郎 比叡山
中村 亮太 (滋賀)
5 木村 健太朗 高松第一
山中 一浩 (香川)
6 山口 容正 高岡第一
村上 慎道 (富山)
7 白川 拓磨 帯広大谷
西條 賢也 (北北海道)
8 飯村 優詞郎 作新学院
佐藤 尚紀 (栃木)
9 宇山 大洋 米子北
池本 哲明 (鳥取)
10 藤田 康史 岡崎城西
浅井 豪太 (愛知)
11 相和 勇輝 東大阪大柏原
小高 拓也 (大阪)
12 井口 卓也 星陵
河野 大地 (静岡)
13 山下 昂大 水島工業
怒田 裕也 (岡山)
14 大越 泉 埼玉栄
古賀 輝 (埼玉)
15 藤井 佑介 札幌第一
山本 皓策 (南北海道)
16 広瀬 功樹 関東第一
佐々木 崇 (東京)
17 吉森 司 金沢市立工業
南 淳也 (石川)
18 星 大智 富岡
齋藤 太一 (福島)
19 新居 克哉 新田
岡村 大 (愛媛)
20 佐々木 豪史 八代東
染木 俊寛 (熊本)
21-14
21- 8
21-15
21-16
17-21
22-20
21-12
14-21
18-21
21- 8
18-21
21-18
21-23
15-21
21-14
21-13
21-14
21-16
21-17
21-12
13-21
14-21
21-14
25-23
13-21
13-21
21-15
21-13
21-14
21-12
18-21
21- 7
21-14
18-21
13-21
24-22
21-17
21-13
21-14
21-17
14-21
15-21

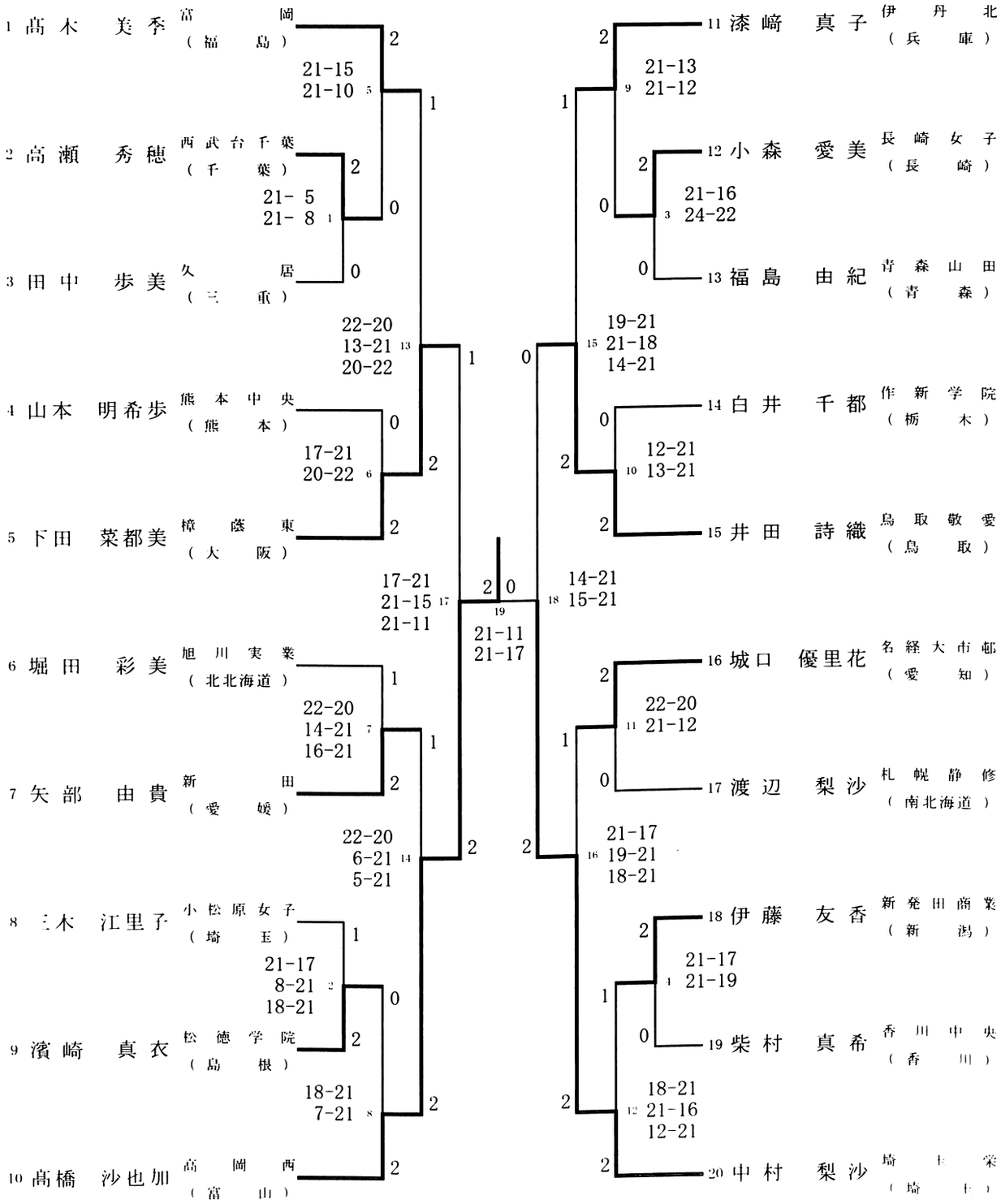
【女子ダブルス】


1 髙橋 沙也加 高岡西
古西 佳那子 (富山)
21-17
22-20 5
2
2 大井 紫伊那 香川中央
伊澤 紫織 (香川)
1
21-16
14-21 1
6-21
0
3 岡田 奏世 鶴沼
只木 美羽 (神奈川)
2
21-13
21- 9 13
2
4 堀田 彩美 旭川実業
岩鼻 舞 (北北海道)
1
21-17
20-22 6
13-21
0
5 井上 亜沙美 八代白百合学園
深川 星慧 (熊本)
2
21-13
21-12 17
1 2
19
21-12
16-21
18-21
6 高野 美咲 小松原女子
三木 江里子 (埼玉)
2
21-13
21-16 7
0
7 樋口 帆渚実 樟蔭東
宮原 唯 (大阪)
0
3-21
8-21 14
0
8 奥村 綾香 松徳学院
公受 美帆 (島根)
2
21-13
15-21 2
21-10
1
9 田邊 あい 大垣西
水野 愛実 (岐阜)
1
16-21
21-18 8
10-21
2
10 脇野 利奈 聖ウルスラ英智
今野 あゆみ (宮城)
2
2
2
2
2
21-11
15 17-21
21-11
22-20
18 29-21
11 田中 志穂 青森山田
市丸 美里 (青森)
2
21-13
9 21- 8
2
12 安居 里彩 大津商業
近藤 真央 (滋賀)
2
13-21
3 21-19
21-15
0
13 牧之瀬 絵里 鹿児島女子
肥後 明日香 (鹿児島)
1
14 白井 千都 作新学院
小林 美紀 (栃木)
2
23-21
10 21-19
1
15 城口 優里花 名経大市邨
樋口 亜依美 (愛知)
0
16 平野 華梨 金沢向陽
芝野 真由 (石川)
2
22-24
11 21-17
23-21
0
17 大條 祐佳李 新田
矢部 由貴 (愛媛)
1
14-21
16 18-21
0
18 井田 詩織 鳥取敬愛
上前 知美由 (鳥取)
0
12-21
4 14-21
1
19 秋元 直美 埼玉栄
上田 真帆 (埼玉)
2
12-21
12 21-17
16-21
2
20 庄山 栞 札幌静修
渡辺 梨沙 (南北海道)
2

【男子シングルス】


1 和田 治久 埼玉栄 (埼玉) 2
21-16 21-19 5
2 南 淳也 金沢市立工業 (石川) 2
21-11 21-7 1
0
3 福原 忠宣 松江北 (島根) 0
21-16 21-12 13
2
4 三浦 昂 比叡山 (滋賀) 1
21-9 12-21 15-21 6
0
5 渡部 大 旭川実業 (北北海道) 2
21-8 21-9 17
0
6 飯村 優詞郎 作新学院 (栃木) 1
21-16 13-21 19-21 7
1
7 小森 洋佑 富岡 (福島) 2
21-23 21-16 15-21 14
0
8 染木 俊寛 八代東 (熊本) 2
21-6 21-12 2
2
9 田口 正英 斐太 (岐阜) 0
19-21 21-13 21-16 8
2
10 新居 克哉 新田 (愛媛) 1
2
19
16-21 11-21
0
2
18 21-15 21-9
11 竹内 宏気 埼玉栄 (埼玉) 2
21-14 21-16 9
2
12 植田 将成 神戸村野工業 (兵庫) 2
17-21 21-13 21-13 3
0
13 三上 昂紀 青森山田 (青森) 1
2
15 21-14 21-16
14 矢野 嵩也 水島工業 (岡山) 0
8-21 13-21 10
0
15 藤田 康史 岡崎城西 (愛知) 2
16 山口 凌司 西陵 (長崎) 0
25-27 15-21 11
2
17 山本 皓策 札幌第一 (南北海道) 2
16-21 21-18 21-12 16
0
18 関口 直挙 関東第一 (東京) 0
15-21 18-21 1
0
19 山中 浩 高松第一 (香川) 2
17-21 16-21 12
1
20 山口 容正 高岡第一 (富山) 2

【女子シングルス】

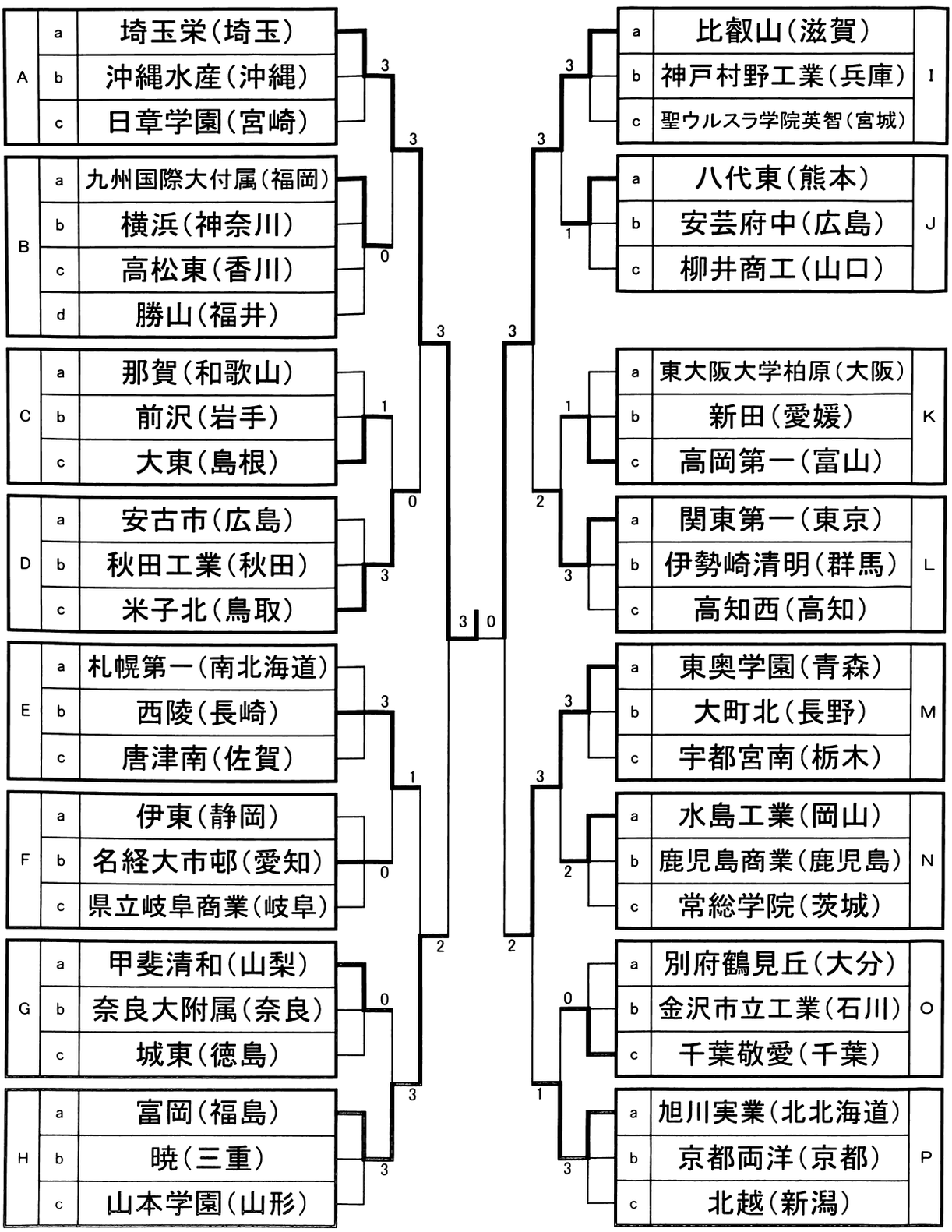

1 髙木 美季 富岡（福島）
2 高瀬 秀穂 西武台千葉（千葉）
21-15 21-10
3 田中 歩美 久居（三重）
21-5 21-8
22-20 13-21 20-22
4 山本 明希歩 熊本中央（熊本）
5 下田 菜都美 樟蔭東（大阪）
17-21 20-22
6 堀田 彩美 旭川実業（北北海道）
7 矢部 由貴 新田（愛媛）
22-20 14-21 16-21
8 三木 江里子 小松原女子（埼玉）
9 濱崎 真衣 松徳学院（島根）
21-17 8-21 18-21
10 髙橋 沙也加 高岡西（富山）
18-21 7-21
11 漆崎 真子 伊丹北（兵庫）
12 小森 愛美 長崎女子（長崎）
21-13 21-12
13 福島 由紀 青森山田（青森）
21-16 24-22
14 白井 千都 作新学院（栃木）
15 井田 詩織 鳥取敬愛（鳥取）
19-21 21-18 14-21
16 城口 優里花 名経大市邨（愛知）
17 渡辺 梨沙 札幌静修（南北海道）
12-21 13-21
18 伊藤 友香 新発田商業（新潟）
19 柴村 真希 香川中央（香川）
22-20 21-12
20 中村 梨沙 埼玉栄（埼玉）
21-17 19-21 18-21
21-17 21-19
18-21 21-16 12-21
14-21 15-21
17-21 21-15 21-11
21-11 21-17

※ 39 回大会は中止

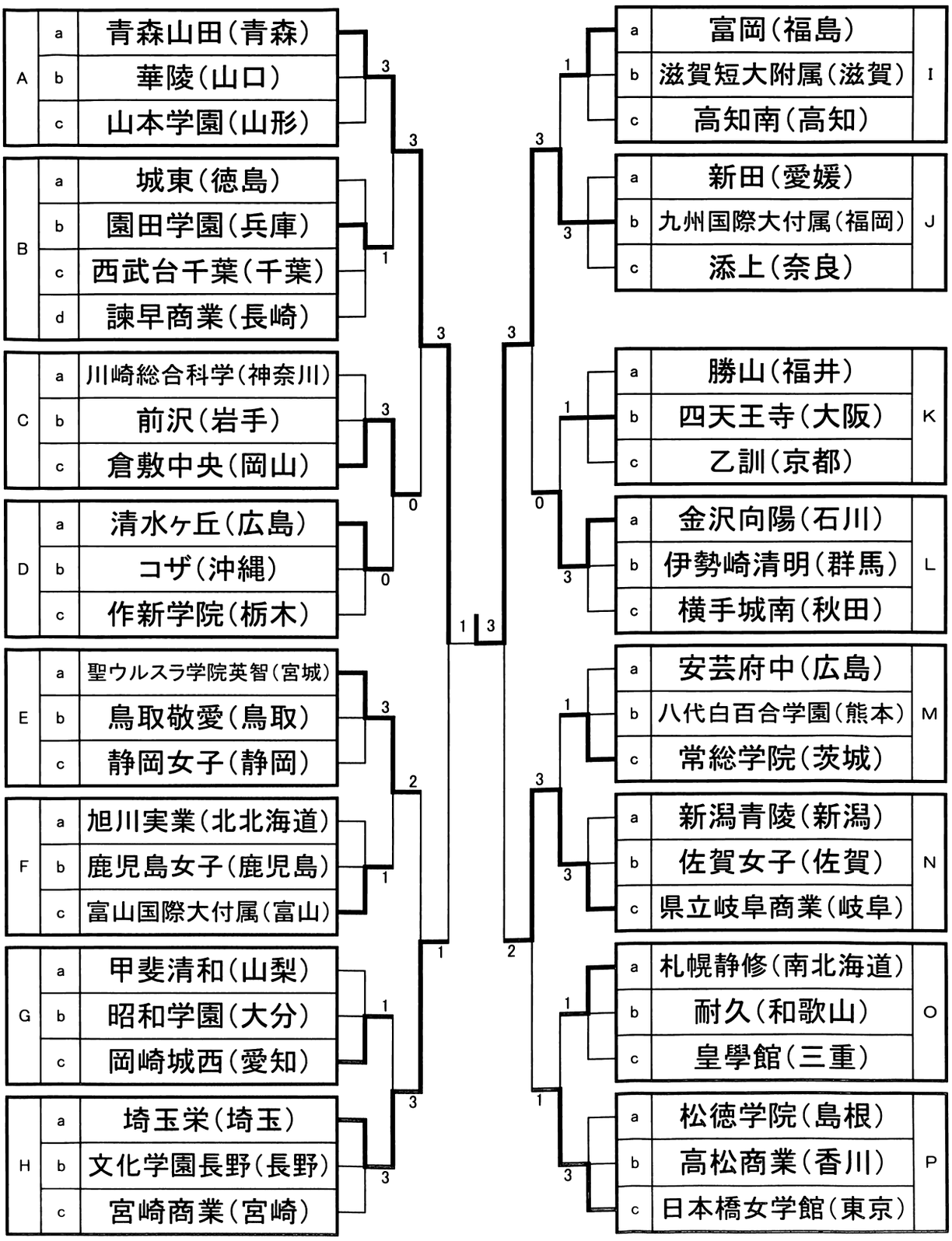
第40回記念全国高等学校選抜バドミントン大会（2011年度）

期　日▶平成24年３月24日（土）～27日（火）
会　場▶広島県立総合体育館「グリーンアリーナ」

【 男 子 団 体 】



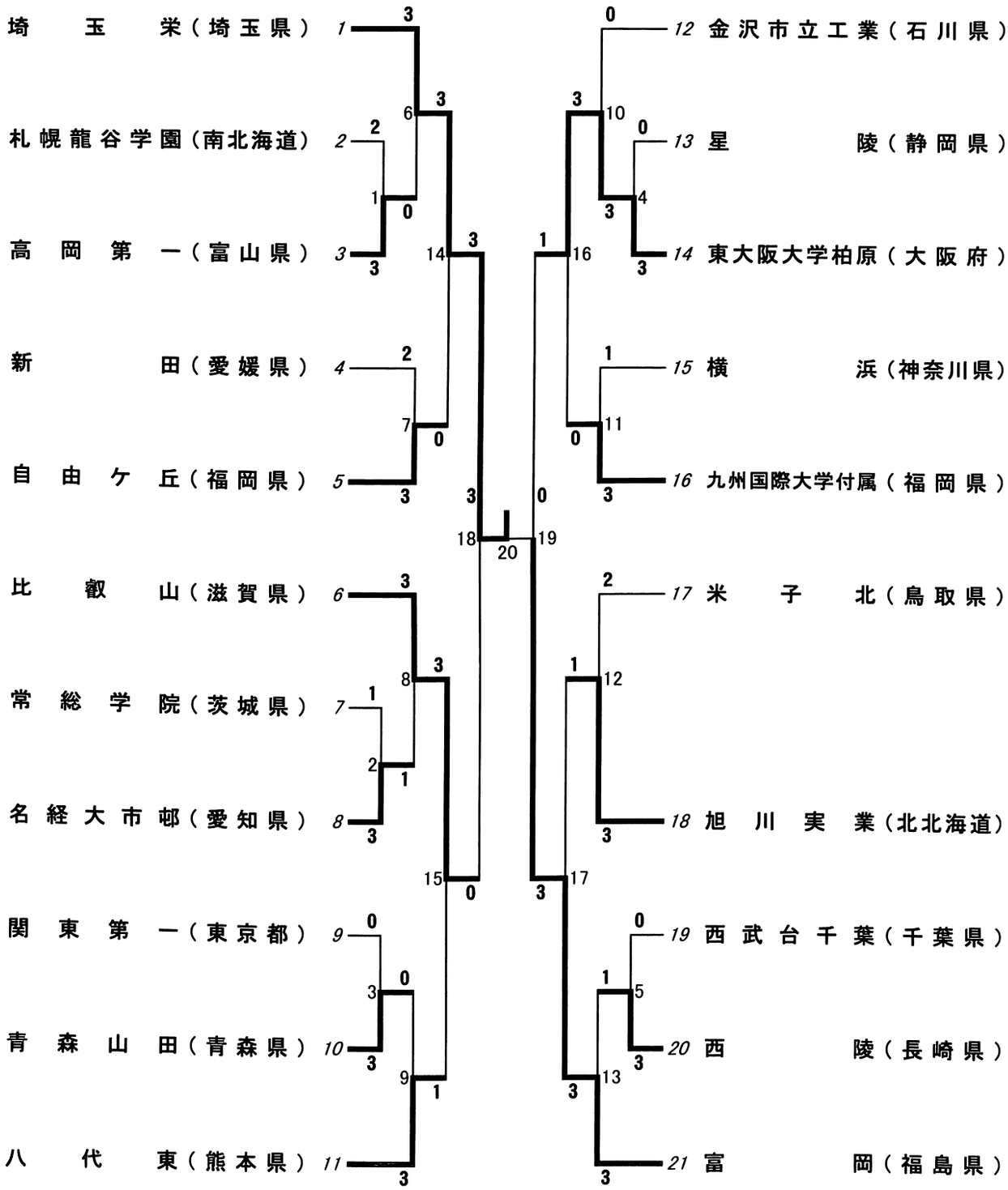
【女子団体】


A
a 青森山田(青森)
b 華陵(山口)
c 山本学園(山形)
B
a 城東(徳島)
b 園田学園(兵庫)
c 西武台千葉(千葉)
d 諫早商業(長崎)
C
a 川崎総合科学(神奈川)
b 前沢(岩手)
c 倉敷中央(岡山)
D
a 清水ヶ丘(広島)
b コザ(沖縄)
c 作新学院(栃木)
E
a 聖ウルスラ学院英智(宮城)
b 鳥取敬愛(鳥取)
c 静岡女子(静岡)
F
a 旭川実業(北北海道)
b 鹿児島女子(鹿児島)
c 富山国際大付属(富山)
G
a 甲斐清和(山梨)
b 昭和学園(大分)
c 岡崎城西(愛知)
H
a 埼玉栄(埼玉)
b 文化学園長野(長野)
c 宮崎商業(宮崎)
I
a 富岡(福島)
b 滋賀短大附属(滋賀)
c 高知南(高知)
J
a 新田(愛媛)
b 九州国際大付属(福岡)
c 添上(奈良)
K
a 勝山(福井)
b 四天王寺(大阪)
c 乙訓(京都)
L
a 金沢向陽(石川)
b 伊勢崎清明(群馬)
c 横手城南(秋田)
M
a 安芸府中(広島)
b 八代白百合学園(熊本)
c 常総学院(茨城)
N
a 新潟青陵(新潟)
b 佐賀女子(佐賀)
c 県立岐阜商業(岐阜)
O
a 札幌静修(南北海道)
b 耐久(和歌山)
c 皇學館(三重)
P
a 松徳学院(島根)
b 高松商業(香川)
c 日本橋女学館(東京)

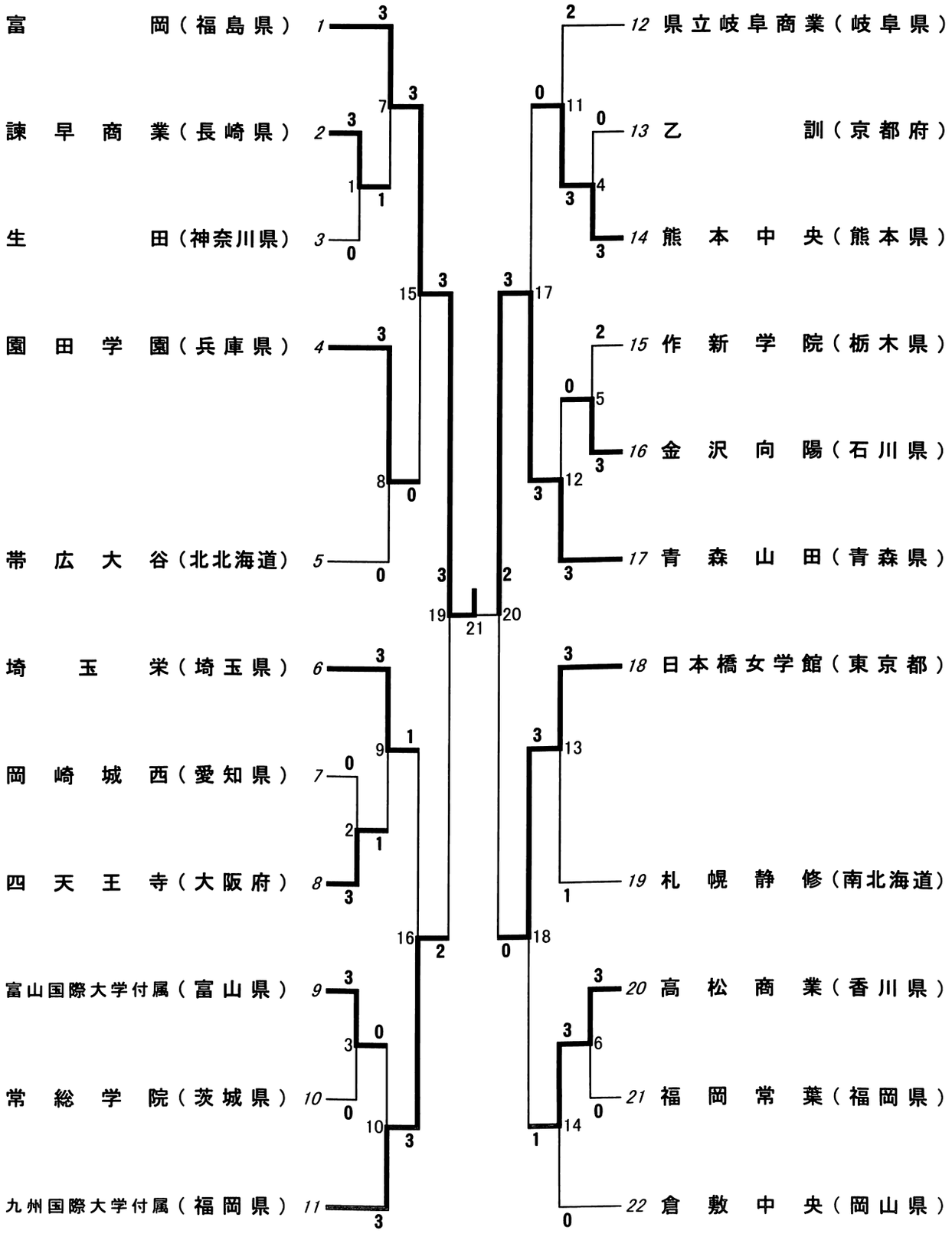
第41回全国高等学校選抜バドミントン大会（2012年度）

期　日▶平成25年３月25日（月）～28日（木）
会　場▶北九州市立総合体育館

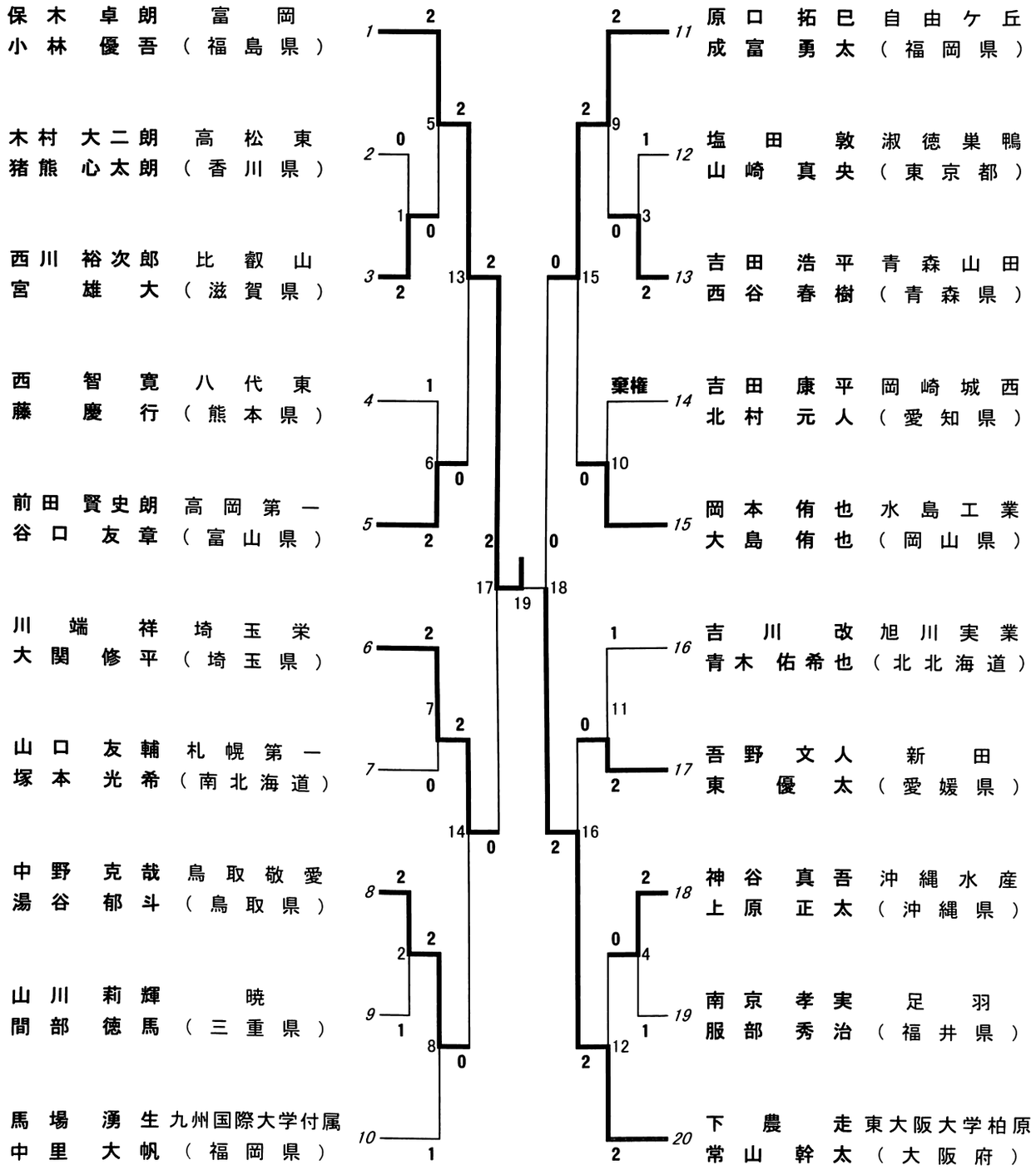
【 男 子 団 体 】



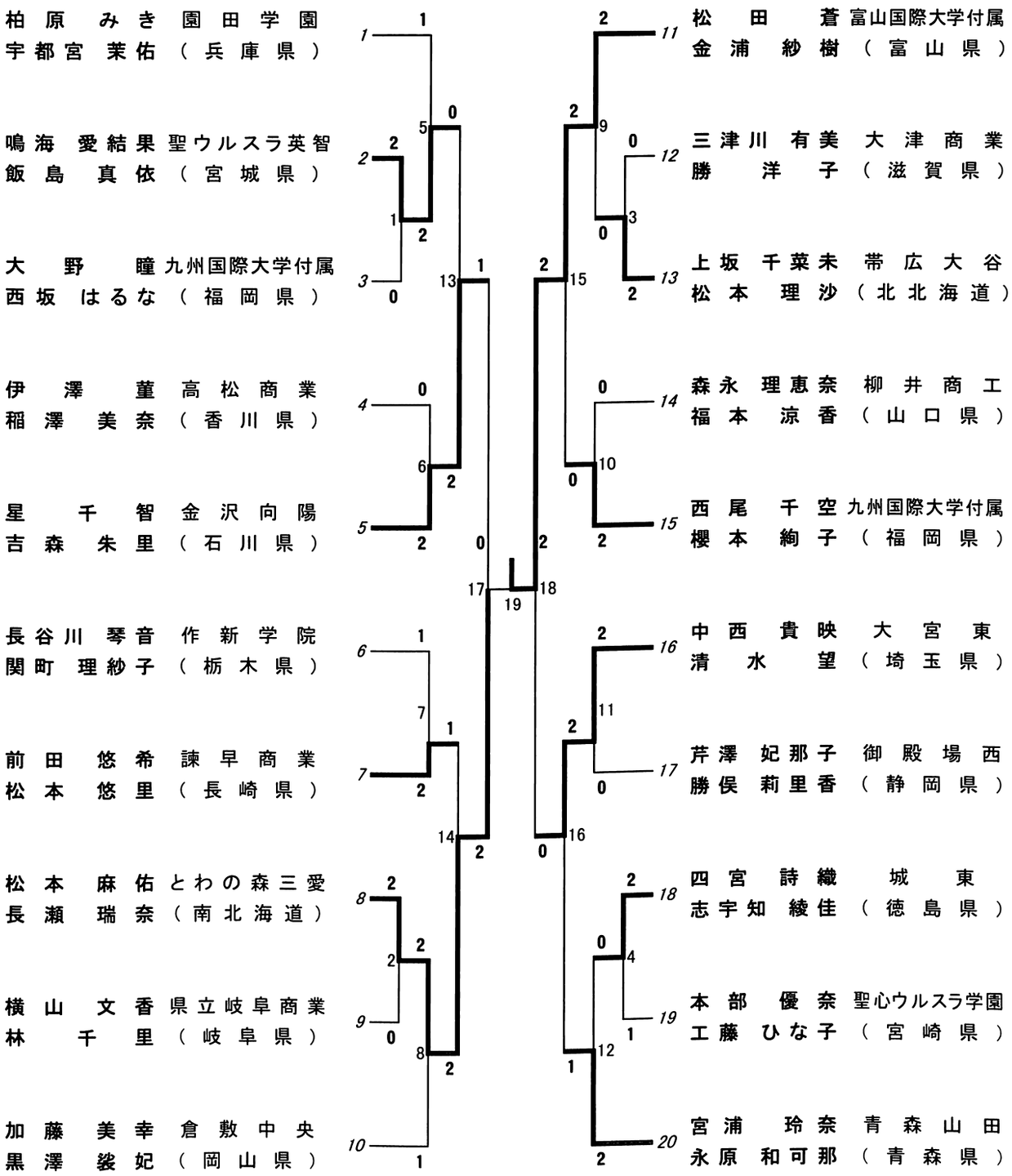
【女子団体】


富岡（福島県） 1
諫早商業（長崎県） 2
生田（神奈川県） 3
園田学園（兵庫県） 4
帯広大谷（北北海道） 5
埼玉栄（埼玉県） 6
岡崎城西（愛知県） 7
四天王寺（大阪府） 8
富山国際大学付属（富山県） 9
常総学院（茨城県） 10
九州国際大学付属（福岡県） 11
12 県立岐阜商業（岐阜県）
13 乙訓（京都府）
14 熊本中央（熊本県）
15 作新学院（栃木県）
16 金沢向陽（石川県）
17 青森山田（青森県）
18 日本橋女学館（東京都）
19 札幌静修（南北海道）
20 高松商業（香川県）
21 福岡常葉（福岡県）
22 倉敷中央（岡山県）

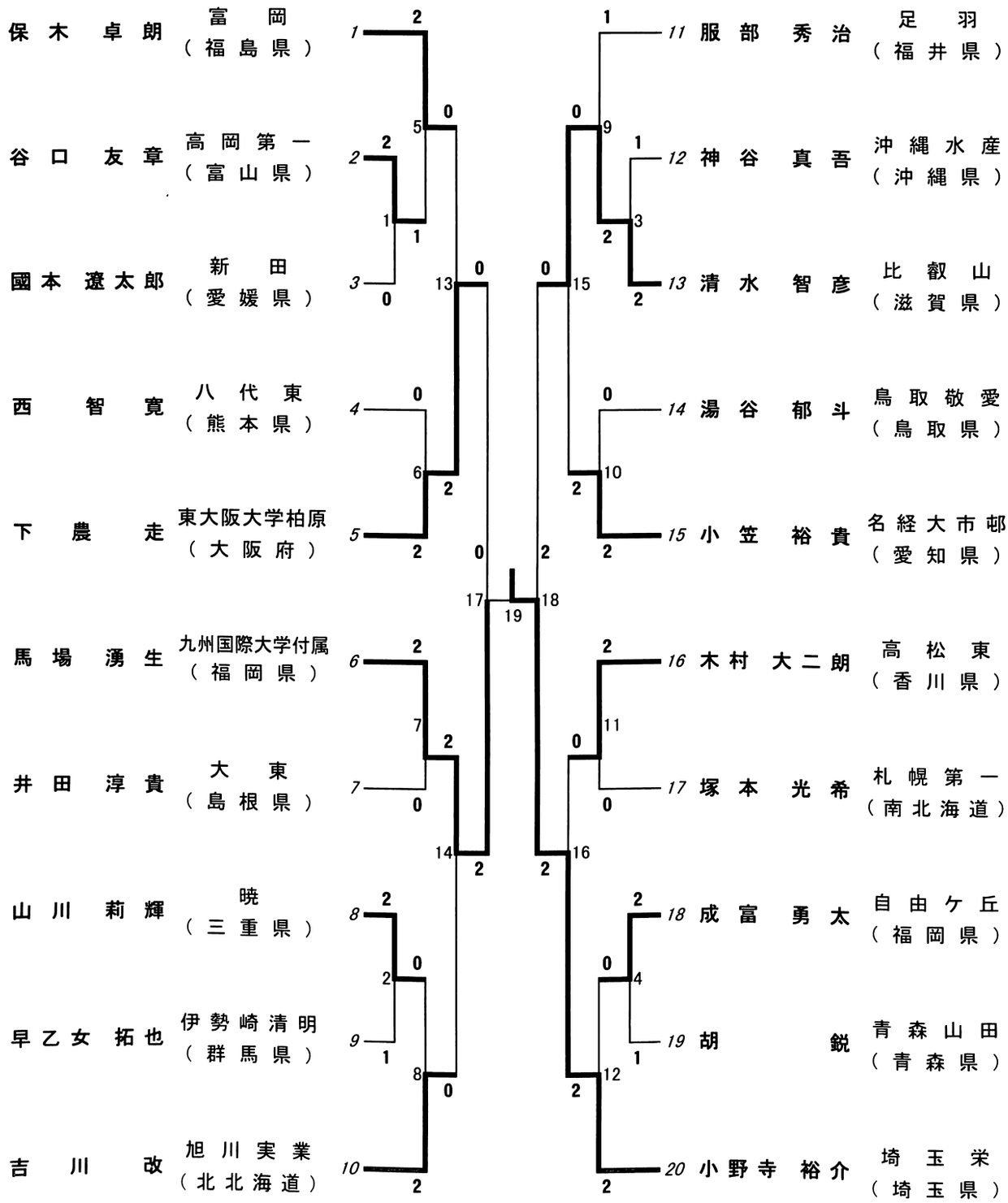
【男子ダブルス】


保木 卓朗 富岡
小林 優吾 （福島県）
木村 大二朗 高松東
猪熊 心太朗 （香川県）
西川 裕次郎 比叡山
宮 雄大 （滋賀県）
西 智寛 八代東
藤 慶行 （熊本県）
前田 賢史朗 高岡第一
谷口 友章 （富山県）
川端 祥 埼玉栄
大関 修平 （埼玉県）
山口 友輔 札幌第一
塚本 光希 （南北海道）
中野 克哉 鳥取敬愛
湯谷 郁斗 （鳥取県）
山川 莉輝 暁
間部 徳馬 （三重県）
馬場 湧生 九州国際大学付属
中里 大帆 （福岡県）
原口 拓巳 自由ケ丘
成富 勇太 （福岡県）
塩田 敦淑 徳巣鴨
山崎 真央 （東京都）
吉田 浩平 青森山田
西谷 春樹 （青森県）
吉田 康平 岡崎城西
北村 元人 （愛知県）
岡本 侑也 水島工業
大島 侑也 （岡山県）
吉川 改 旭川実業
青木 佑希也 （北北海道）
吾野 文人 新田
東 優太 （愛媛県）
神谷 真吾 沖縄水産
上原 正太 （沖縄県）
南京 孝実 足羽
服部 秀治 （福井県）
下農 走 東大阪大学柏原
常山 幹太 （大阪府）
棄権

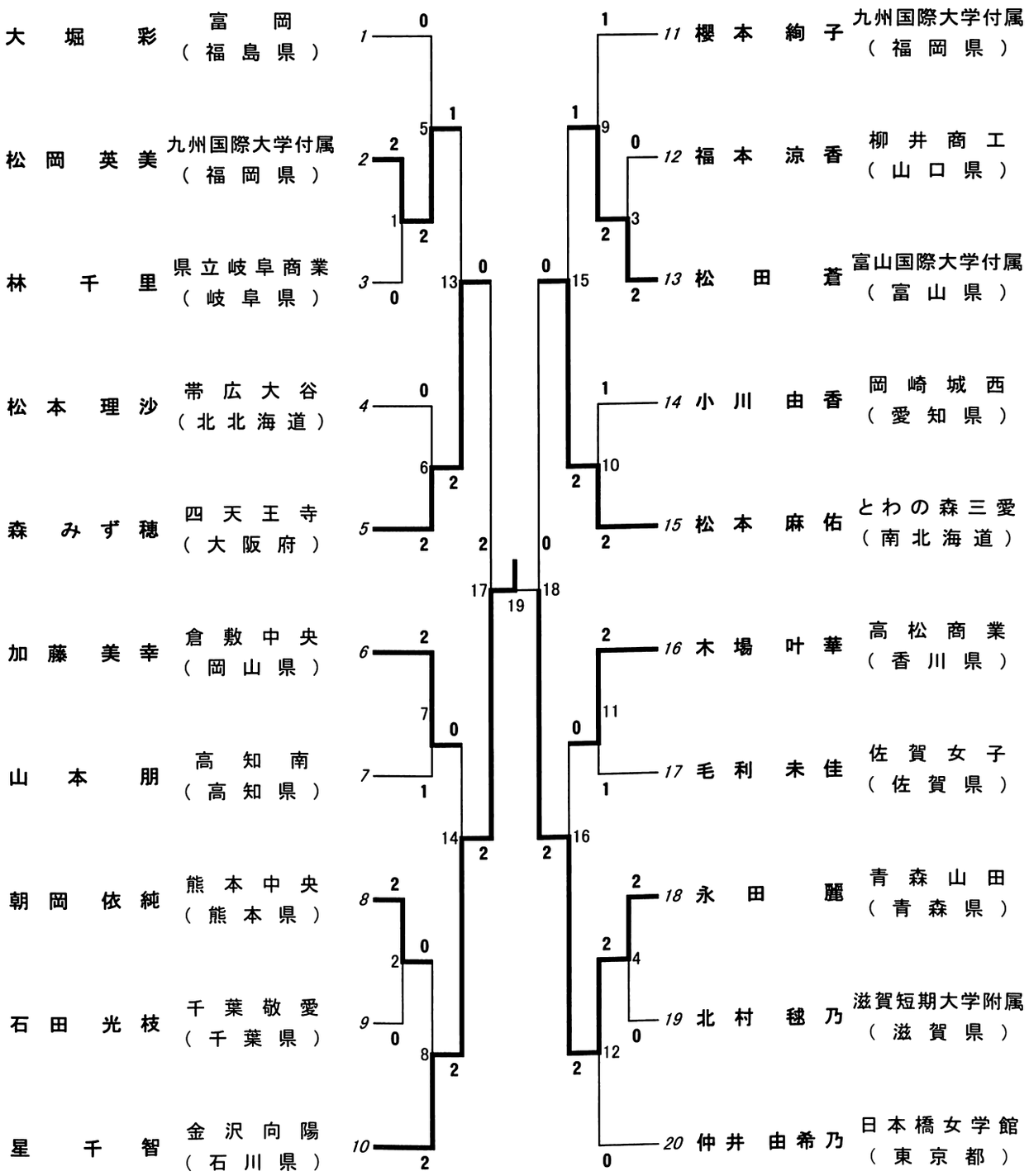
【女子ダブルス】


柏原みき園田学園
宇都宮茉佑（兵庫県）
鳴海愛結果聖ウルスラ英智
飯島真依（宮城県）
大野瞳九州国際大学付属
西坂はるな（福岡県）
伊澤董高松商業
稲澤美奈（香川県）
星千智金沢向陽
吉森朱里（石川県）
長谷川琴音作新学院
関町理紗子（栃木県）
前田悠希諫早商業
松本悠里（長崎県）
松本麻佑とわの森三愛
長瀬瑞奈（南北海道）
横山文香県立岐阜商業
林千里（岐阜県）
加藤美幸倉敷中央
黒澤裟妃（岡山県）
松田蒼富山国際大学付属
金浦紗樹（富山県）
三津川有美大津商業
勝洋子（滋賀県）
上坂千菜未帯広大谷
松本理沙（北北海道）
森永理恵奈柳井商工
福本涼香（山口県）
西尾千空九州国際大学付属
櫻本絢子（福岡県）
中西貴映大宮東
清水望（埼玉県）
芹澤妃那子御殿場西
勝俣莉里香（静岡県）
四宮詩織城東
志宇知綾佳（徳島県）
本部優奈聖心ウルスラ学園
工藤ひな子（宮崎県）
宮浦玲奈青森山田
永原和可那（青森県）

【男子シングルス】


1 保木 卓朗 富岡（福島県）
2 谷口 友章 高岡第一（富山県）
3 國本 遼太郎 新田（愛媛県）
4 西 智寛 八代東（熊本県）
5 下 農走 東大阪大学柏原（大阪府）
6 馬場 湧生 九州国際大学付属（福岡県）
7 井田 淳貴 大東（島根県）
8 山川 莉輝 暁（三重県）
9 早乙女 拓也 伊勢崎清明（群馬県）
10 吉川 改 旭川実業（北北海道）
11 服部 秀治 足羽（福井県）
12 神谷 真吾 沖縄水産（沖縄県）
13 清水 智彦 比叡山（滋賀県）
14 湯谷 郁斗 鳥取敬愛（鳥取県）
15 小笠 裕貴 名経大市邨（愛知県）
16 木村 大二朗 高松東（香川県）
17 塚本 光希 札幌第一（南北海道）
18 成富 勇太 自由ケ丘（福岡県）
19 胡 鋭 青森山田（青森県）
20 小野寺 裕介 埼玉栄（埼玉県）

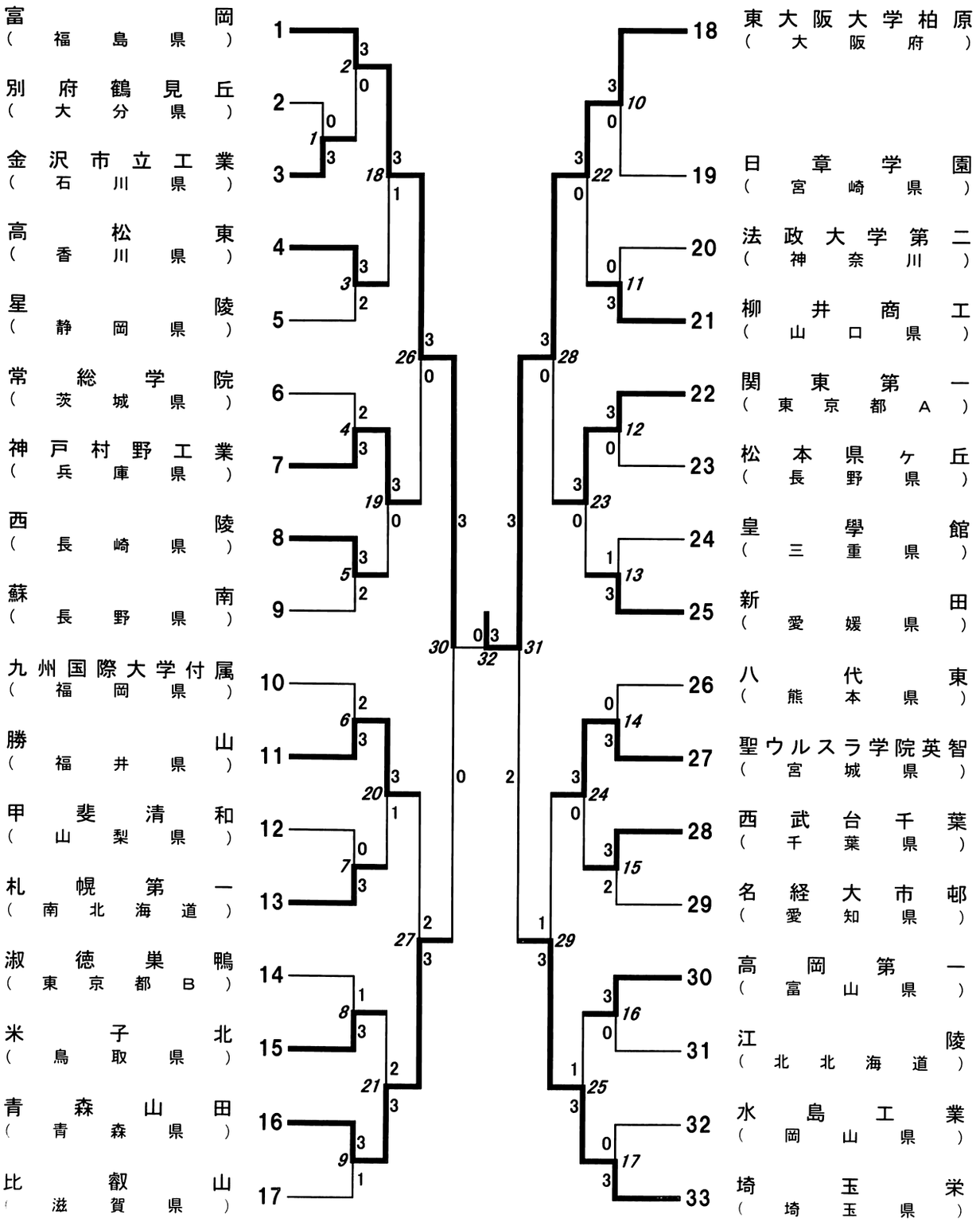
【女子シングルス】


1 大堀彩 富岡（福島県）
2 松岡英美 九州国際大学付属（福岡県）
3 林千里 県立岐阜商業（岐阜県）
4 松本理沙 帯広大谷（北北海道）
5 森みず穂 四天王寺（大阪府）
6 加藤美幸 倉敷中央（岡山県）
7 山本朋 高知南（高知県）
8 朝岡依純 熊本中央（熊本県）
9 石田光枝 千葉敬愛（千葉県）
10 星千智 金沢向陽（石川県）
11 櫻本絢子 九州国際大学付属（福岡県）
12 福本涼香 柳井商工（山口県）
13 松田蒼 富山国際大学付属（富山県）
14 小川由香 岡崎城西（愛知県）
15 松本麻佑 とわの森三愛（南北海道）
16 木場叶華 高松商業（香川県）
17 毛利未佳 佐賀女子（佐賀県）
18 永田麗 青森山田（青森県）
19 北村毬乃 滋賀短期大学附属（滋賀県）
20 仲井由希乃 日本橋女学館（東京都）

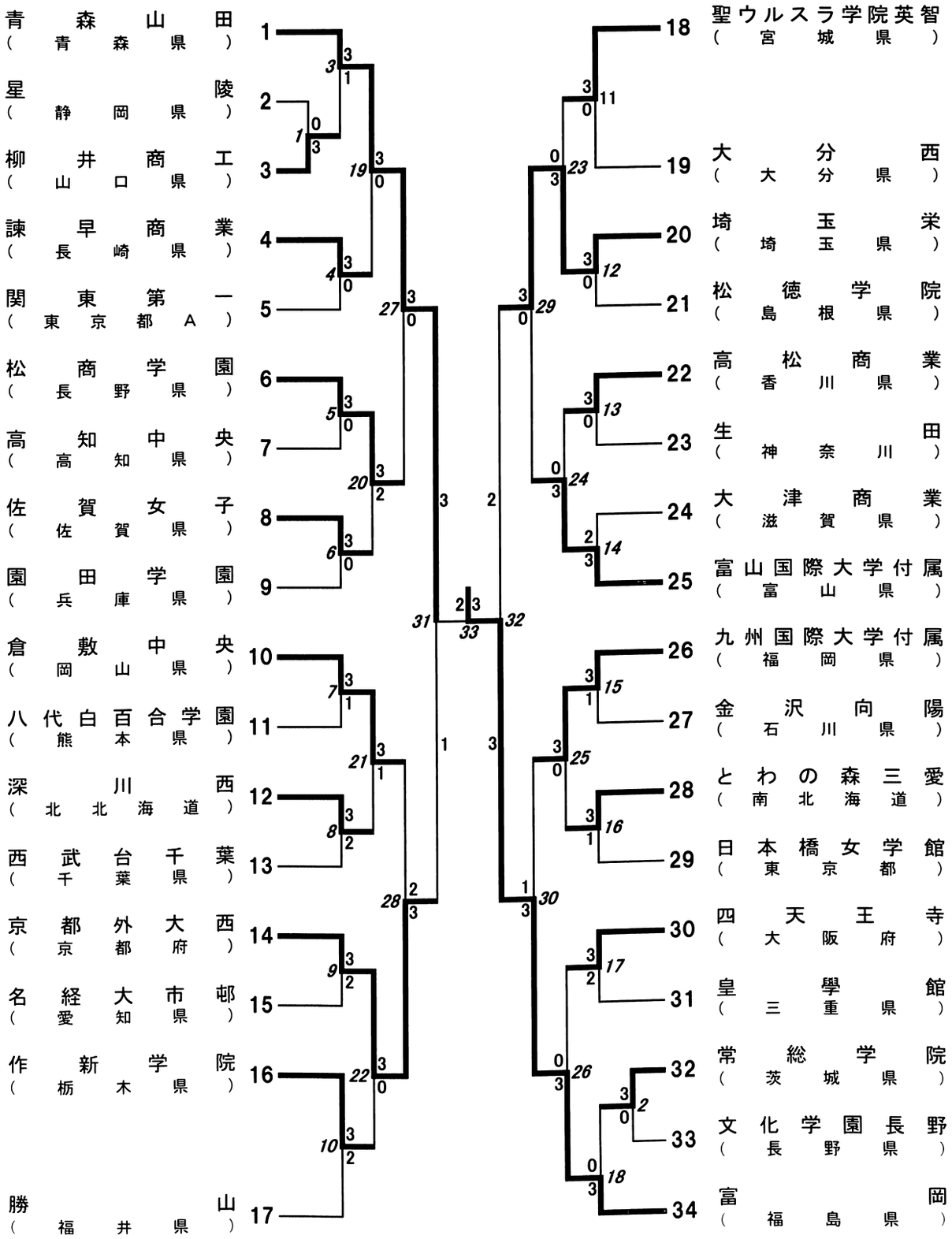
第42回全国高等学校選抜バドミントン大会（2013年度）

期　日▶平成26年３月20日（木）～24日（月）
会　場▶松本市総合体育館・信州スカイパーク体育館

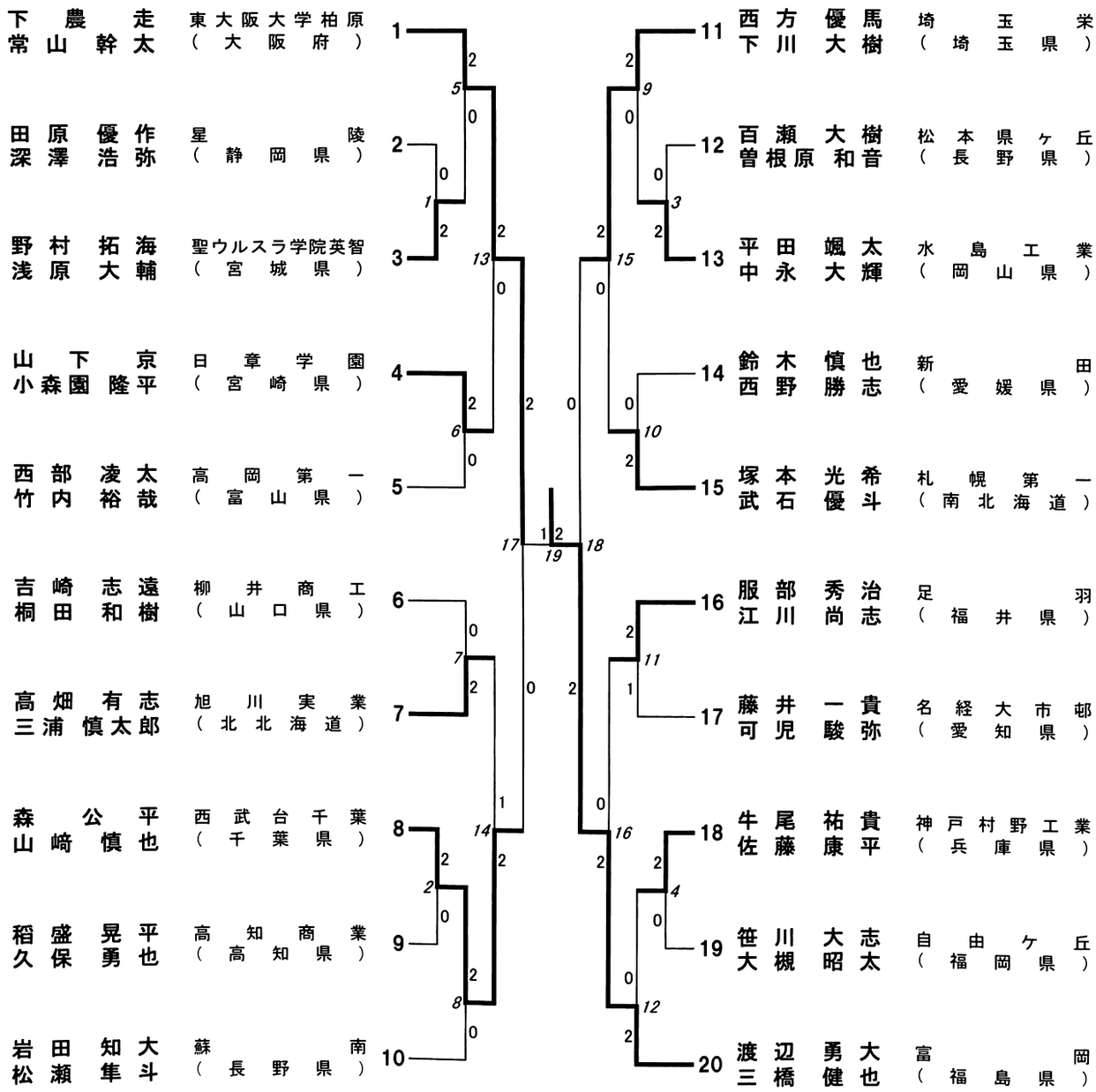
【 男 子 団 体 】



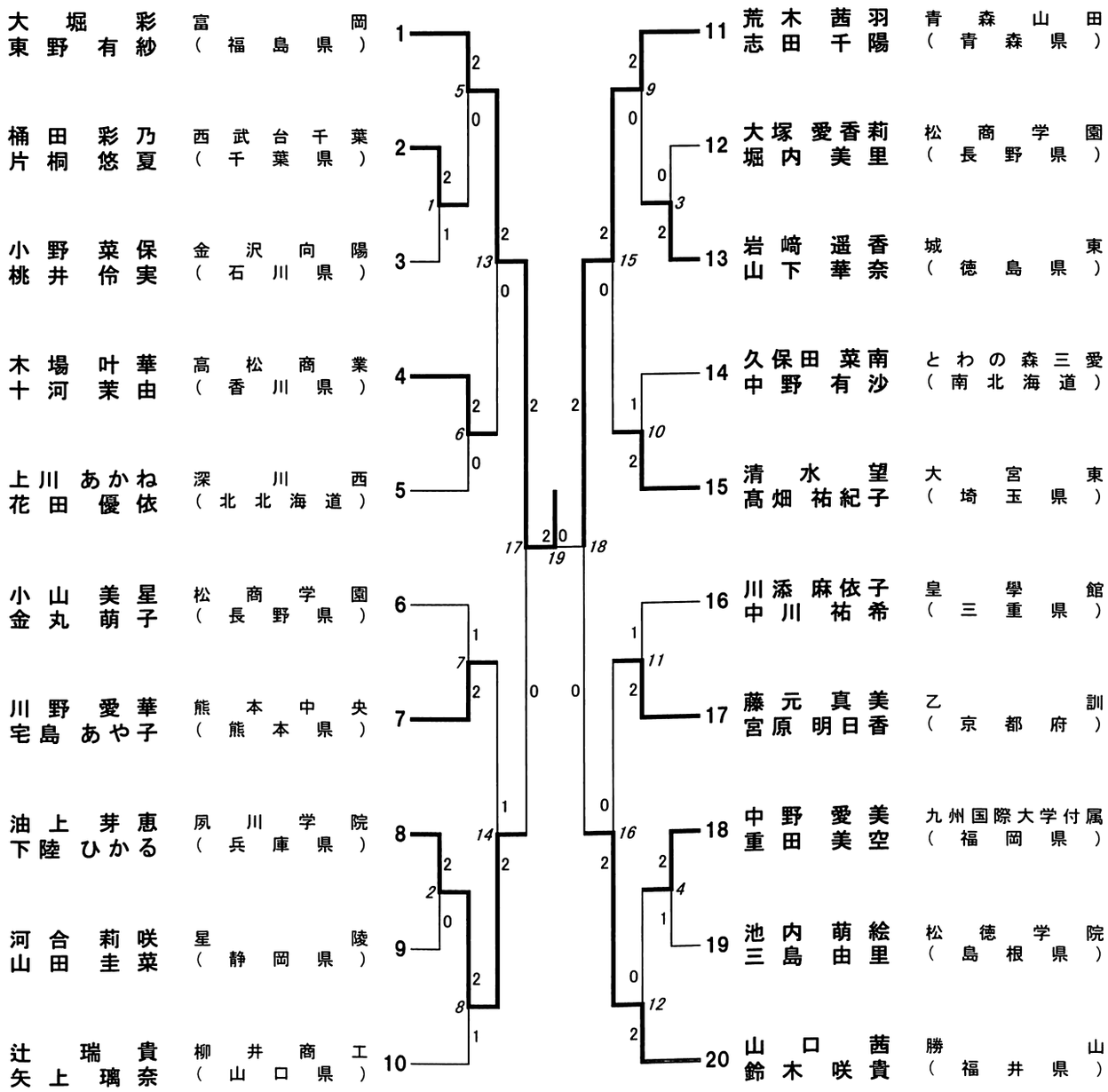
【女子団体】


青森山田（青森県）
星陵（静岡県）
柳井商工（山口県）
諫早商業（長崎県）
関東第一（東京都A）
松商学園（長野県）
高知中央（高知県）
佐賀女子（佐賀県）
園田学園（兵庫県）
倉敷中央（岡山県）
八代白百合学園（熊本県）
深川西（北北海道）
西武台千葉（千葉県）
京都外大西（京都府）
名経大市邨（愛知県）
作新学院（栃木県）
勝山（福井県）
聖ウルスラ学院英智（宮城県）
大分西（大分県）
埼玉栄（埼玉県）
松徳学院（島根県）
高松商業（香川県）
生田（神奈川）
大津商業（滋賀県）
富山国際大学付属（富山県）
九州国際大学付属（福岡県）
金沢向陽（石川県）
とわの森三愛（南北海道）
日本橋女学館（東京都）
四天王寺（大阪府）
皇學館（三重県）
常総学院（茨城県）
文化学園長野（長野県）
富岡（福島県）

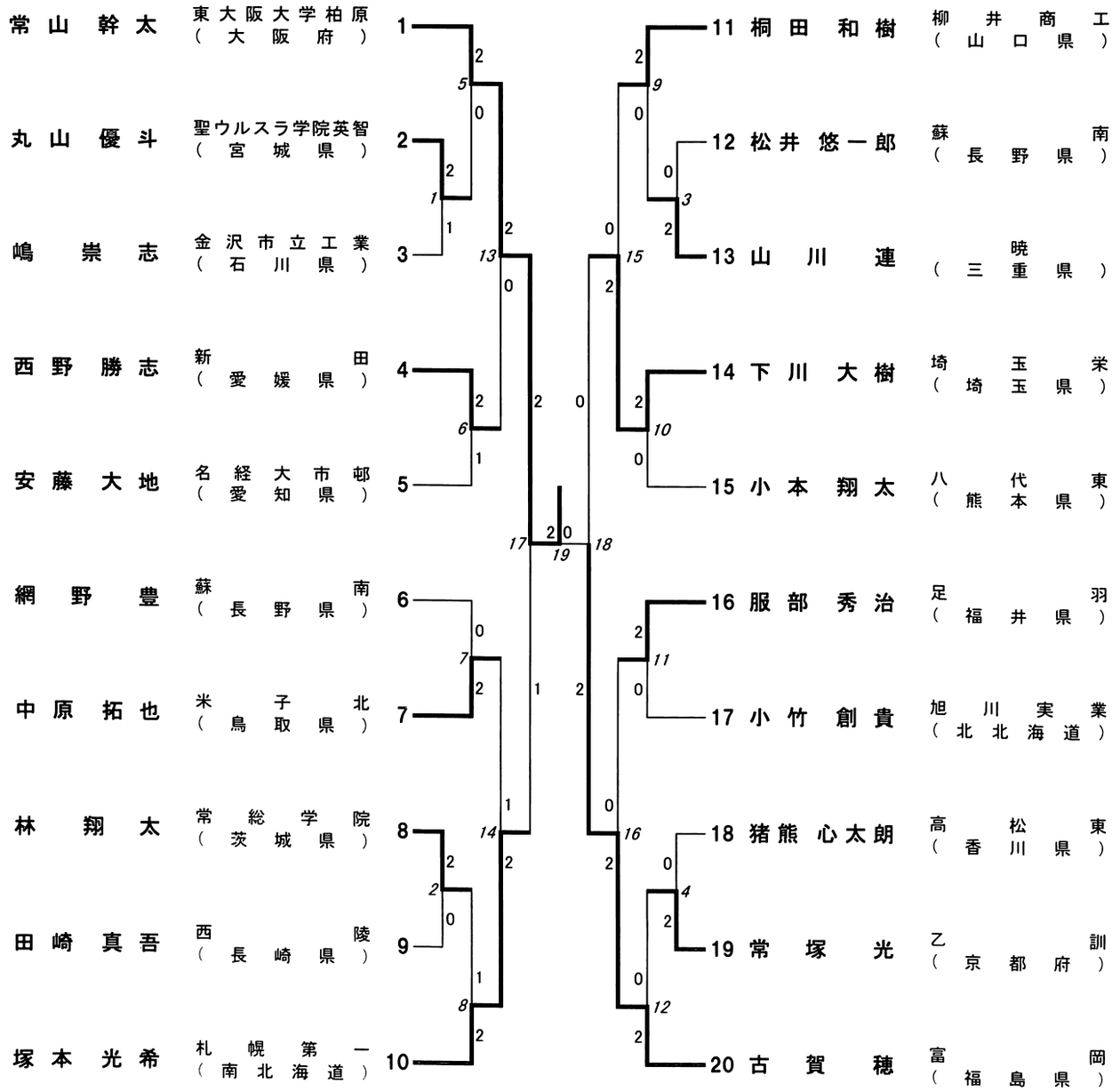
【男子ダブルス】


1 下農走 常山幹太 東大阪大学柏原 (大阪府)
2 田原優作 深澤浩弥 星陵 (静岡県)
3 野村拓海 浅原大輔 聖ウルスラ学院英智 (宮城県)
4 山下京 小森園隆平 日章学園 (宮崎県)
5 西部凌太 竹内裕哉 高岡第一 (富山県)
6 吉崎志遠 桐田和樹 柳井商工 (山口県)
7 高畑有志 三浦慎太郎 旭川実業 (北北海道)
8 森公平 山崎慎也 西武台千葉 (千葉県)
9 稲盛晃平 久保勇也 高知商業 (高知県)
10 岩田知大 松瀬隼斗 蘇南 (長野県)
11 西方優馬 下川大樹 埼玉栄 (埼玉県)
12 百瀬大樹 曽根原和音 松本県ヶ丘 (長野県)
13 平田颯太 中永大輝 水島工業 (岡山県)
14 鈴木慎也 西野勝志 新田 (愛媛県)
15 塚本光希 武石優斗 札幌第一 (南北海道)
16 服部秀治 江川尚志 足羽 (福井県)
17 藤井一貴 可児駿弥 名経大市邨 (愛知県)
18 牛尾祐貴 佐藤康平 神戸村野工業 (兵庫県)
19 笹川大志 大槻昭太 自由ケ丘 (福岡県)
20 渡辺勇大 三橋健也 富岡 (福島県)

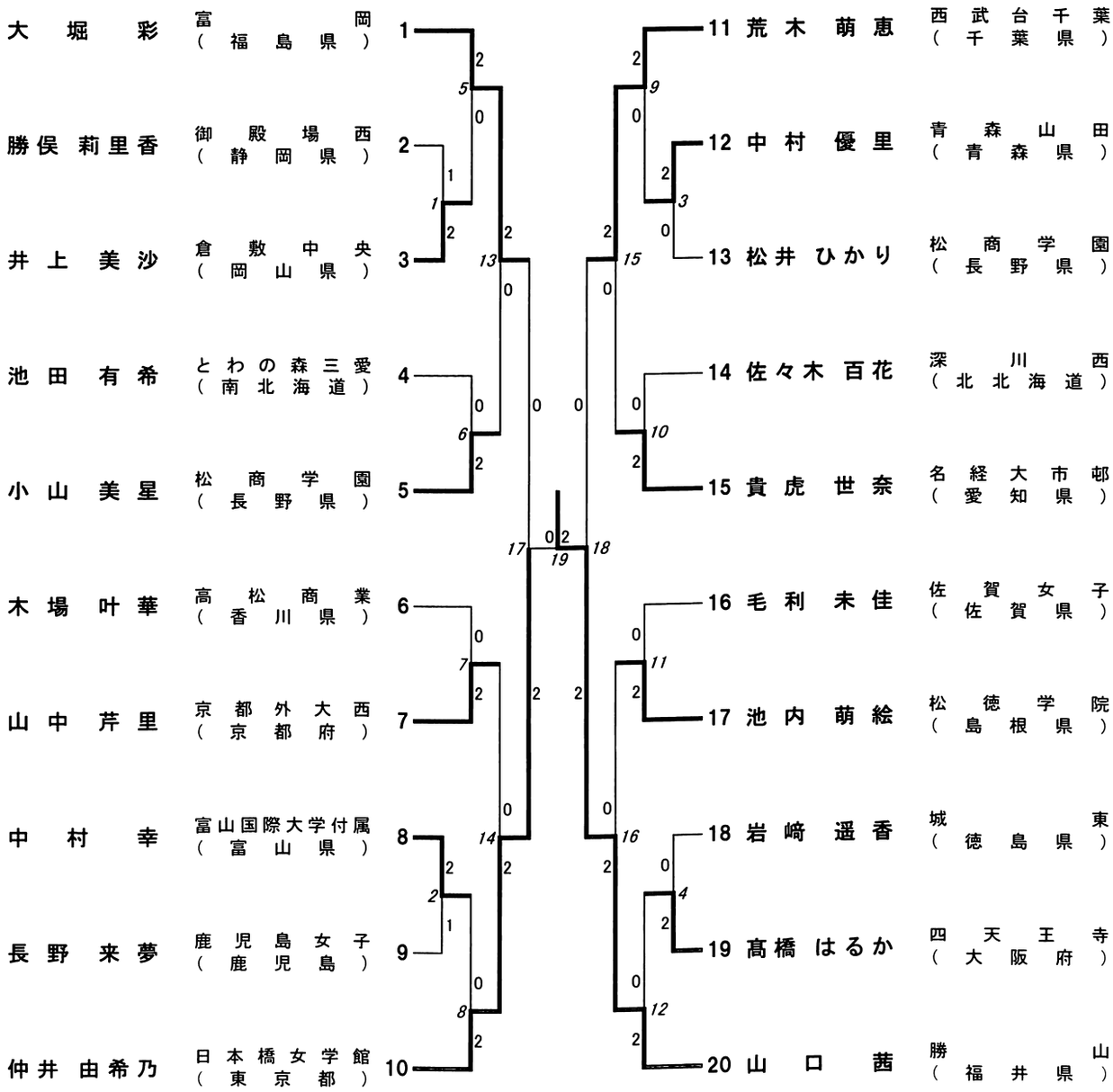
【女子ダブルス】


1 大堀 彩 富岡
東野 有紗 (福島県)
2 桶田 彩乃 西武台千葉
片桐 悠夏 (千葉県)
3 小野 菜保 金沢向陽
桃井 伶実 (石川県)
4 木場 叶華 高松商業
十河 茉由 (香川県)
5 上川 あかね 深川西
花田 優依 (北北海道)
6 小山 美星 松商学園
金丸 萌子 (長野県)
7 川野 愛華 熊本中央
宅島 あや子 (熊本県)
8 油上 芽恵 夙川学院
下陸 ひかる (兵庫県)
9 河合 莉咲 星陵
山田 圭菜 (静岡県)
10 辻 瑞貴 柳井商工
矢上 璃奈 (山口県)
11 荒木 茜羽 青森山田
志田 千陽 (青森県)
12 大塚 愛香莉 松商学園
堀内 美里 (長野県)
13 岩崎 遥香 城東
山下 華奈 (徳島県)
14 久保田 菜南 とわの森三愛
中野 有沙 (南北海道)
15 清水 望 大宮東
髙畑 祐紀子 (埼玉県)
16 川添 麻依子 皇學館
中川 祐希 (三重県)
17 藤元 真美 乙訓
宮原 明日香 (京都府)
18 中野 愛美 九州国際大学付属
重田 美空 (福岡県)
19 池内 萌絵 松徳学院
三島 由里 (島根県)
20 山口 茜 勝山
鈴木 咲貴 (福井県)

【男子シングルス】


1 常山幹太 東大阪大学柏原（大阪府）
2 丸山優斗 聖ウルスラ学院英智（宮城県）
3 嶋崇志 金沢市立工業（石川県）
4 西野勝志 新田（愛媛県）
5 安藤大地 名経大市邨（愛知県）
6 網野豊 蘇南（長野県）
7 中原拓也 米子北（鳥取県）
8 林翔太 常総学院（茨城県）
9 田崎真吾 西陵（長崎県）
10 塚本光希 札幌第一（南北海道）
11 桐田和樹 柳井商工（山口県）
12 松井悠一郎 蘇南（長野県）
13 山川連 暁（三重県）
14 下川大樹 埼玉栄（埼玉県）
15 小本翔太 八代東（熊本県）
16 服部秀治 足羽（福井県）
17 小竹創貴 旭川実業（北北海道）
18 猪熊心太朗 高松東（香川県）
19 常塚光 乙訓（京都府）
20 古賀穂 富岡（福島県）

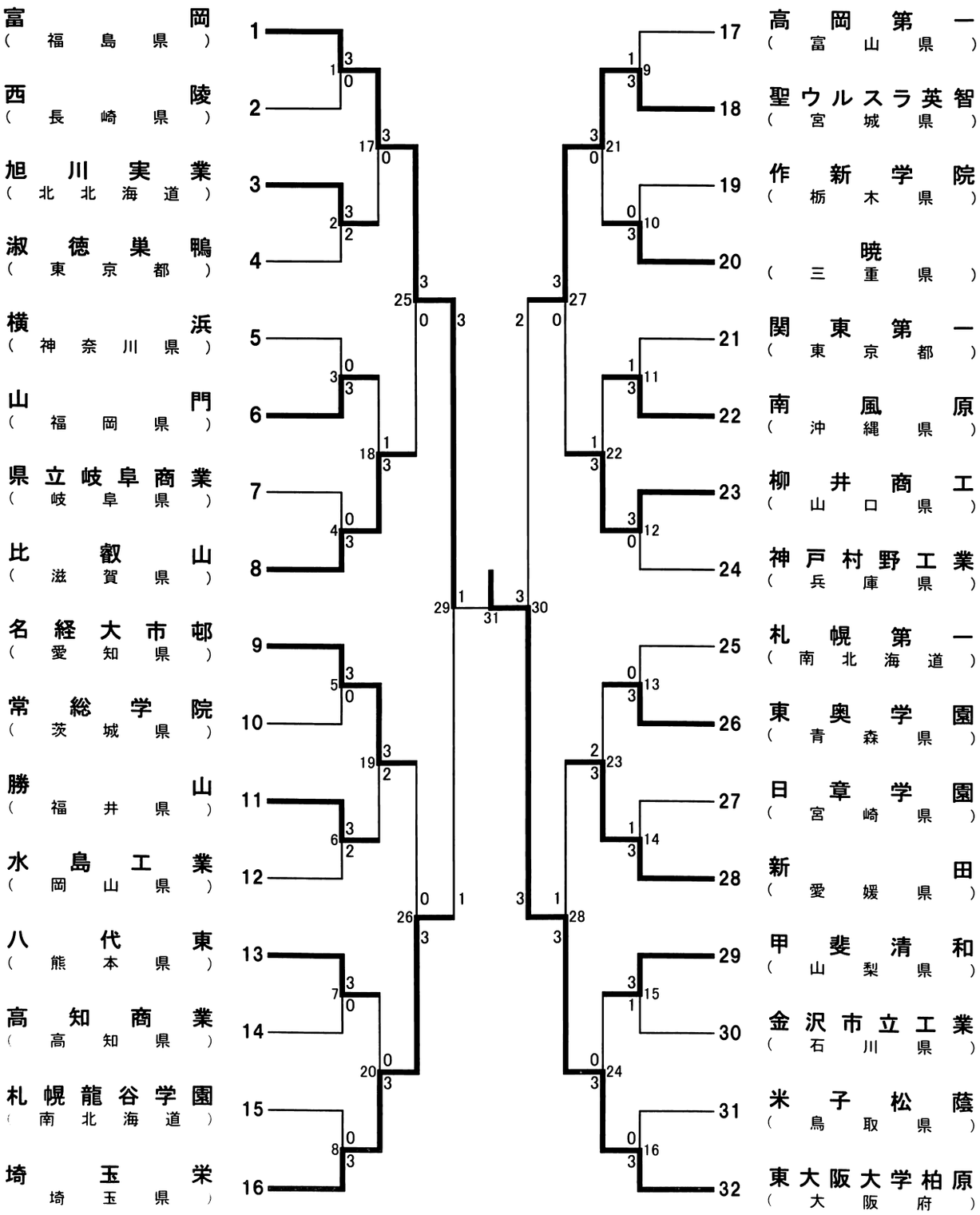
【女子シングルス】


大堀彩 富岡（福島県）
勝俣莉里香 御殿場西（静岡県）
井上美沙 倉敷中央（岡山県）
池田有希 とわの森三愛（南北海道）
小山美星 松商学園（長野県）
木場叶華 高松商業（香川県）
山中芹里 京都外大西（京都府）
中村幸 富山国際大学付属（富山県）
長野来夢 鹿児島女子（鹿児島）
仲井由希乃 日本橋女学館（東京都）
荒木萌恵 西武台千葉（千葉県）
中村優里 青森山田（青森県）
松井ひかり 松商学園（長野県）
佐々木百花 深川西（北北海道）
貴虎世奈 名経大市邨（愛知県）
毛利未佳 佐賀女子（佐賀県）
池内萌絵 松徳学院（島根県）
岩﨑遥香 城東（徳島県）
髙橋はるか 四天王寺（大阪府）
山口茜 勝山（福井県）

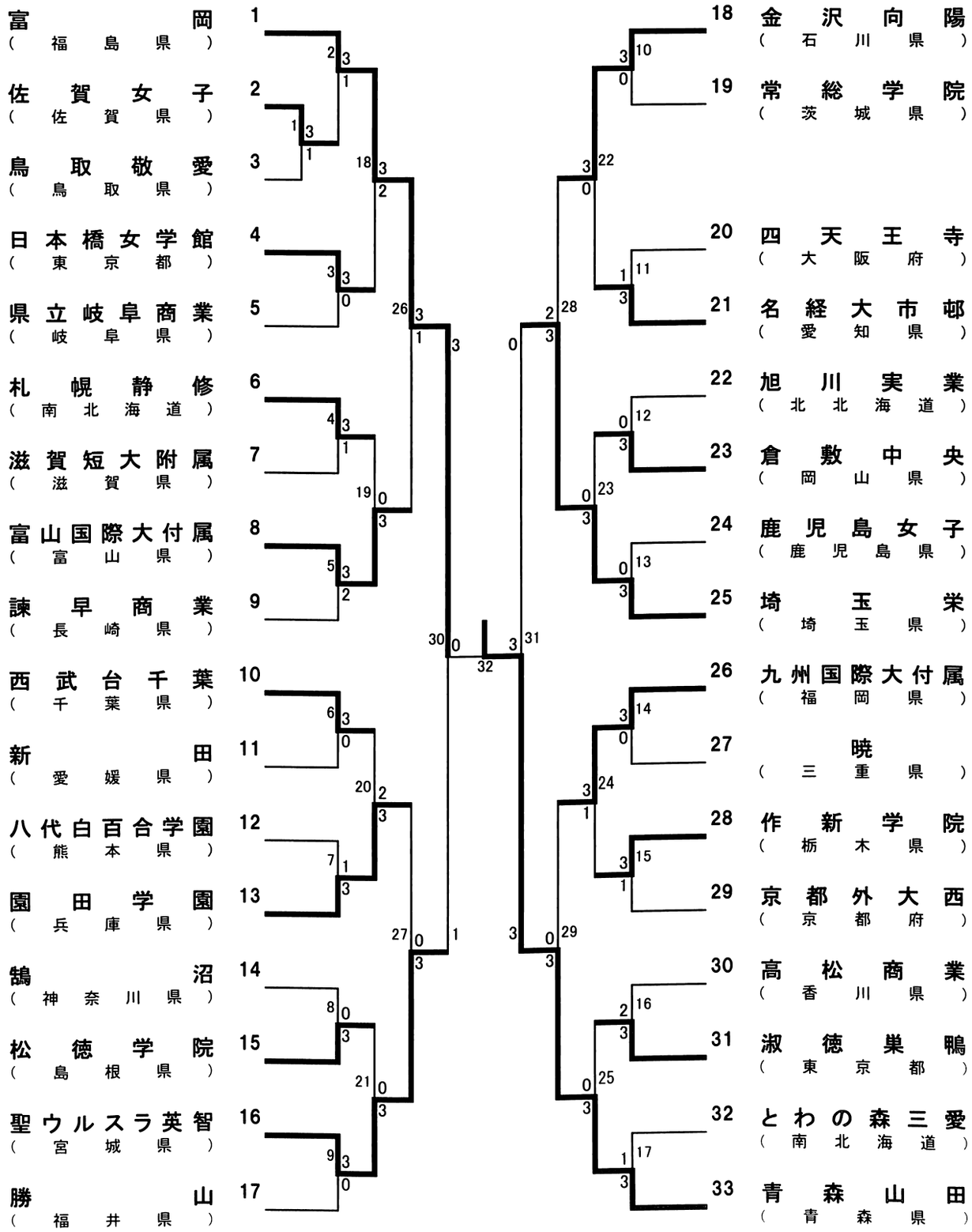
第43回全国高等学校選抜バドミントン大会（2014年度）

期　日▶平成27年３月24日（火）～28日（土）
会　場▶北海道立総合体育センター「北海きたえーる」

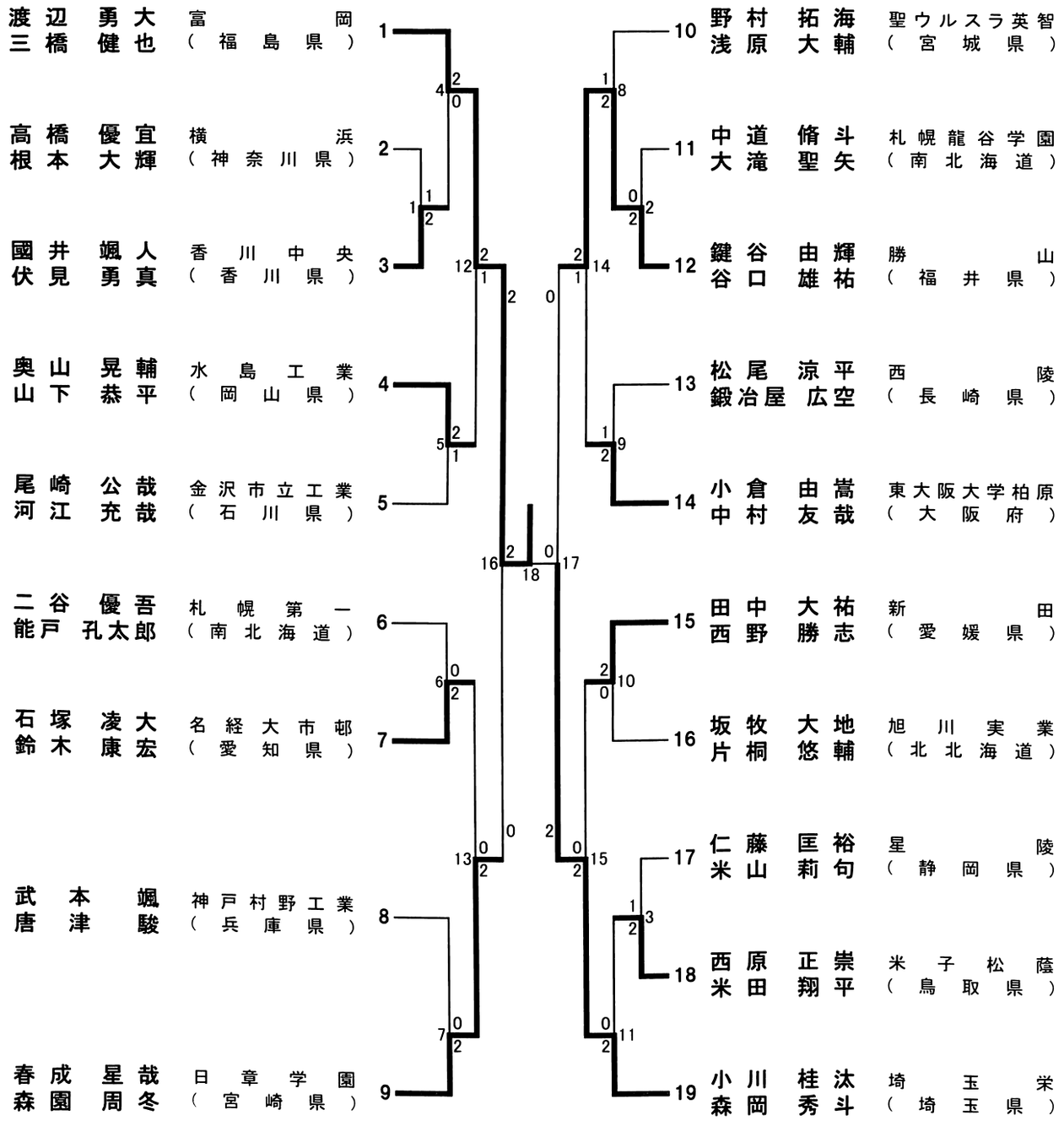
【 男 子 団 体 】



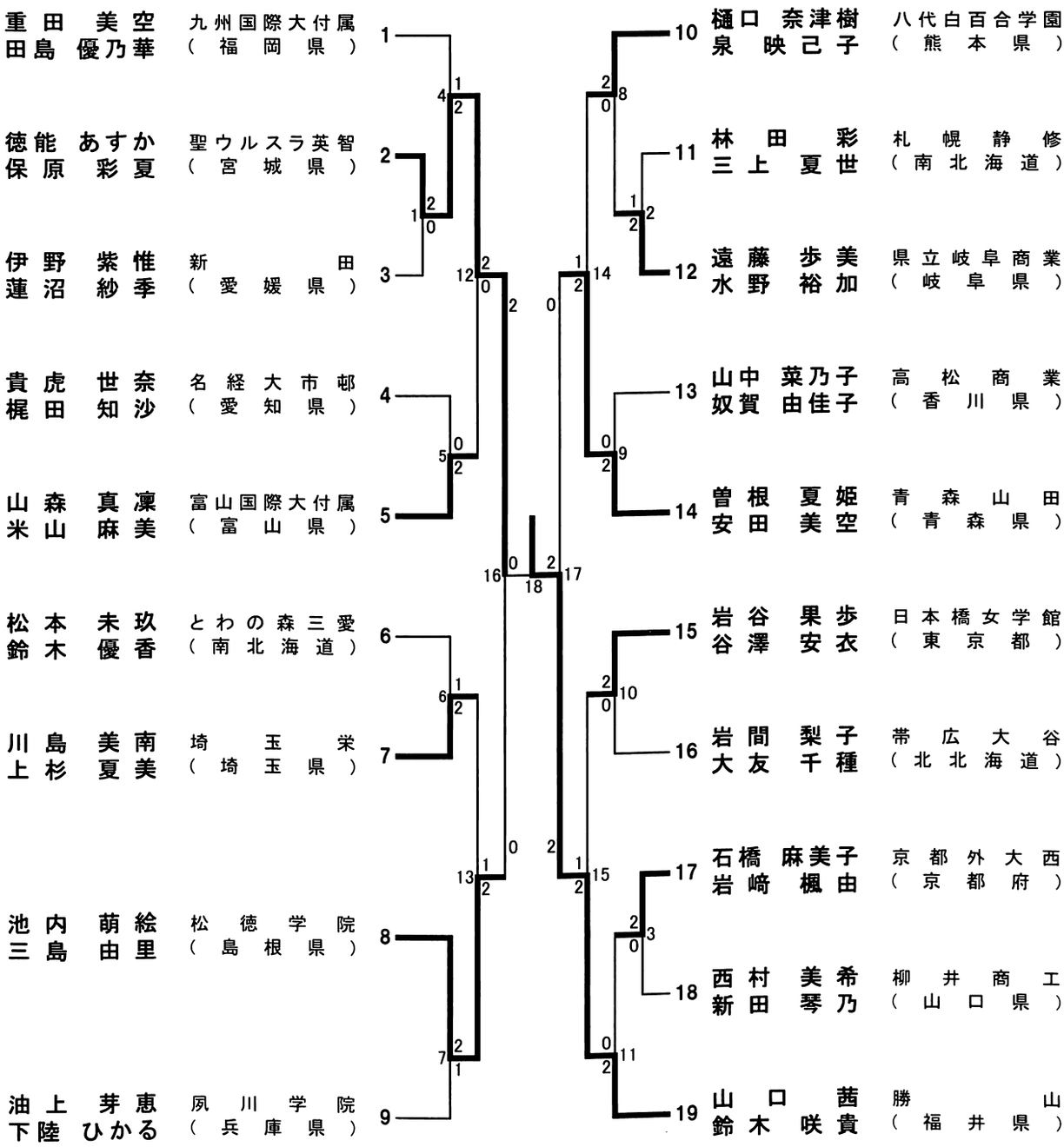
【女子団体】


1 富岡（福島県）
2 佐賀女子（佐賀県）
3 鳥取敬愛（鳥取県）
4 日本橋女学館（東京都）
5 県立岐阜商業（岐阜県）
6 札幌静修（南北海道）
7 滋賀短大附属（滋賀県）
8 富山国際大付属（富山県）
9 諫早商業（長崎県）
10 西武台千葉（千葉県）
11 新田（愛媛県）
12 八代白百合学園（熊本県）
13 園田学園（兵庫県）
14 鵠沼（神奈川県）
15 松徳学院（島根県）
16 聖ウルスラ英智（宮城県）
17 勝山（福井県）
18 金沢向陽（石川県）
19 常総学院（茨城県）
20 四天王寺（大阪府）
21 名経大市邨（愛知県）
22 旭川実業（北北海道）
23 倉敷中央（岡山県）
24 鹿児島女子（鹿児島県）
25 埼玉栄（埼玉県）
26 九州国際大付属（福岡県）
27 暁（三重県）
28 作新学院（栃木県）
29 京都外大西（京都府）
30 高松商業（香川県）
31 淑徳巣鴨（東京都）
32 とわの森三愛（南北海道）
33 青森山田（青森県）

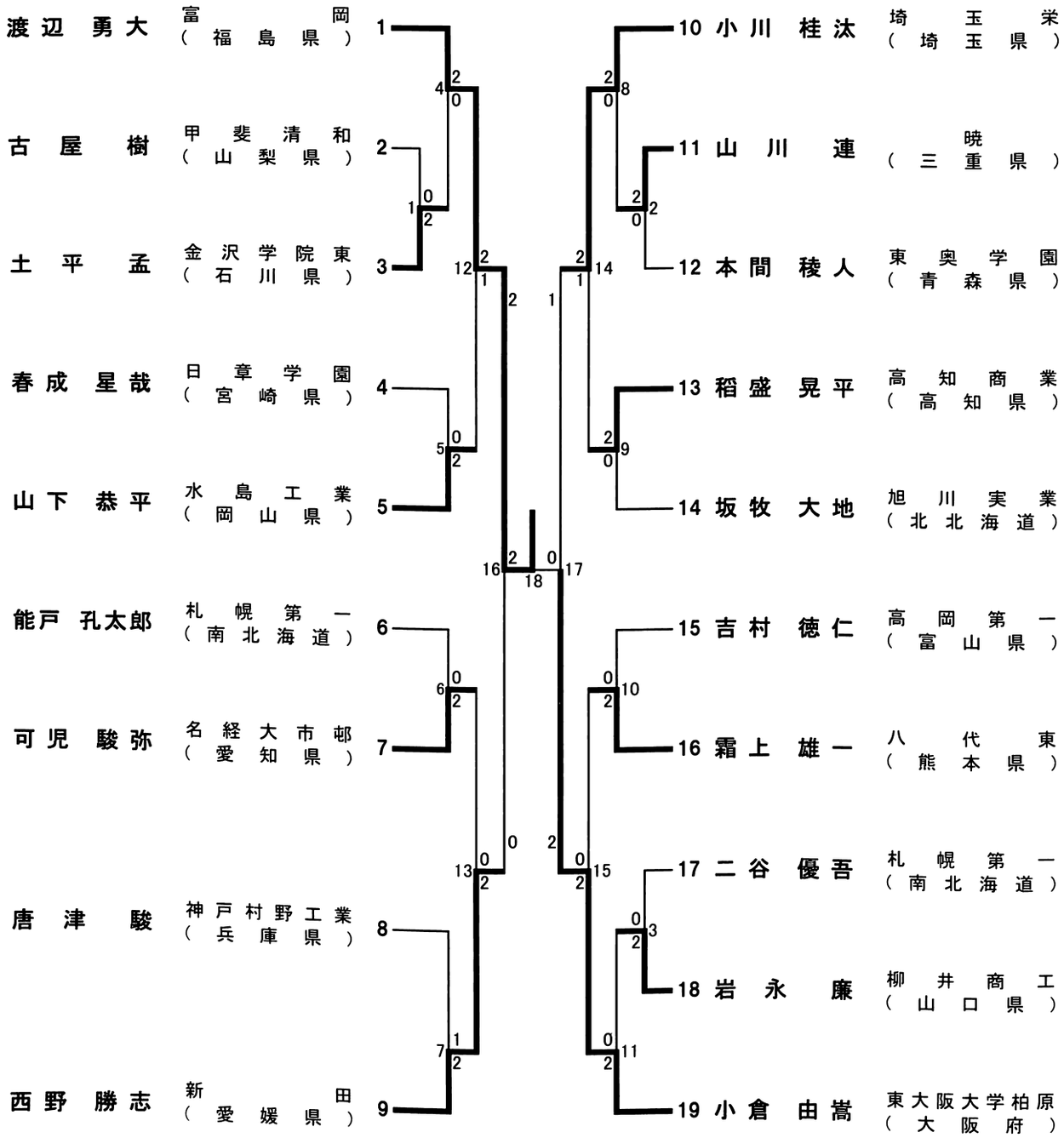
【男子ダブルス】


1 渡辺 勇大 三橋 健也 富岡（福島県）
2 高橋 優宜 根本 大輝 横浜（神奈川県）
3 國井 颯人 伏見 勇真 香川中央（香川県）
4 奥山 晃輔 山下 恭平 水島工業（岡山県）
5 尾崎 公哉 河江 充哉 金沢市立工業（石川県）
6 二谷 優吾 能戸 孔太郎 札幌第一（南北海道）
7 石塚 凌大 鈴木 康宏 名経大市邨（愛知県）
8 武本 颯 唐津 駿 神戸村野工業（兵庫県）
9 春成 星哉 森園 周冬 日章学園（宮崎県）
10 野村 拓海 浅原 大輔 聖ウルスラ英智（宮城県）
11 中道 脩斗 大滝 聖矢 札幌龍谷学園（南北海道）
12 鍵谷 由輝 谷口 雄祐 勝山（福井県）
13 松尾 涼平 鍛冶屋 広空 西陵（長崎県）
14 小倉 由嵩 中村 友哉 東大阪大学柏原（大阪府）
15 田中 大祐 西野 勝志 新田（愛媛県）
16 坂牧 大地 片桐 悠輔 旭川実業（北北海道）
17 仁藤 匡裕 米山 莉句 星陵（静岡県）
18 西原 正崇 米田 翔平 米子松蔭（鳥取県）
19 小川 桂汰 森岡 秀斗 埼玉栄（埼玉県）

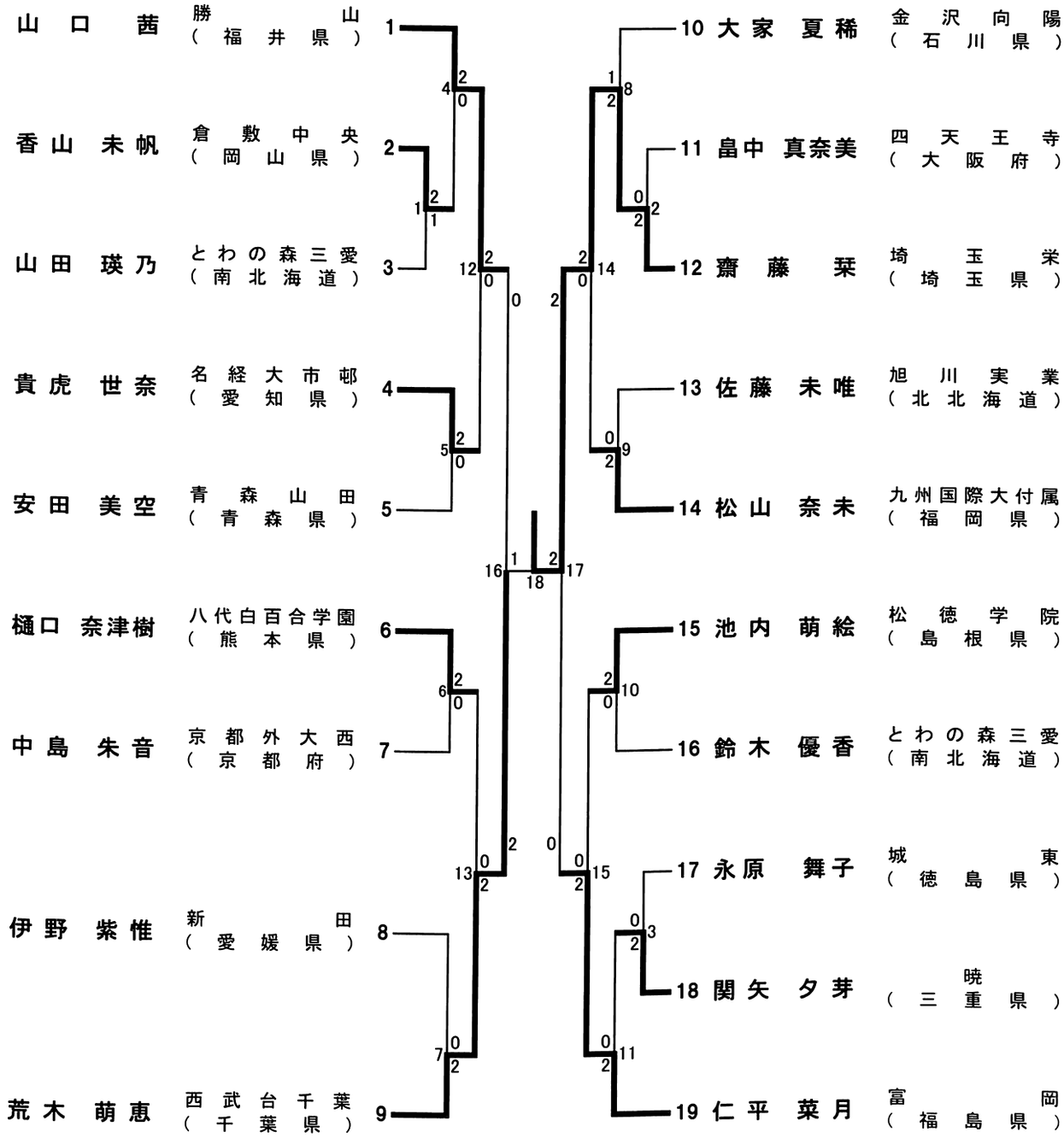
【女子ダブルス】


重田 美空
田島 優乃華
九州国際大付属
（福岡県）
1
徳能 あすか
保原 彩夏
聖ウルスラ英智
（宮城県）
2
伊野 紫惟
蓮沼 紗季
新田
（愛媛県）
3
貴虎 世奈
梶田 知沙
名経大市邨
（愛知県）
4
山森 真凜
米山 麻美
富山国際大付属
（富山県）
5
松本 未玖
鈴木 優香
とわの森三愛
（南北海道）
6
川島 美南
上杉 夏美
埼玉栄
（埼玉県）
7
池内 萌絵
三島 由里
松徳学院
（島根県）
8
油上 芽恵
下陸 ひかる
夙川学院
（兵庫県）
9
樋口 奈津樹
泉 映己子
八代白百合学園
（熊本県）
10
林田 彩
三上 夏世
札幌静修
（南北海道）
11
遠藤 歩美
水野 裕加
県立岐阜商業
（岐阜県）
12
山中 菜乃子
奴賀 由佳子
高松商業
（香川県）
13
曽根 夏姫
安田 美空
青森山田
（青森県）
14
岩谷 果歩
谷澤 安衣
日本橋女学館
（東京都）
15
岩間 梨子
大友 千種
帯広大谷
（北北海道）
16
石橋 麻美子
岩崎 楓由
京都外大西
（京都府）
17
西村 美希
新田 琴乃
柳井商工
（山口県）
18
山口 茜
鈴木 咲貴
勝山
（福井県）
19

【男子シングルス】


渡辺 勇大 富岡（福島県）
古屋 樹 甲斐清和（山梨県）
土平 孟 金沢学院東（石川県）
春成 星哉 日章学園（宮崎県）
山下 恭平 水島工業（岡山県）
能戸 孔太郎 札幌第一（南北海道）
可児 駿弥 名経大市邨（愛知県）
唐津 駿 神戸村野工業（兵庫県）
西野 勝志 新田（愛媛県）
小川 桂汰 埼玉栄（埼玉県）
山川 連 暁（三重県）
本間 稜人 東奥学園（青森県）
稲盛 晃平 高知商業（高知県）
坂牧 大地 旭川実業（北北海道）
吉村 徳仁 高岡第一（富山県）
霜上 雄一 八代東（熊本県）
二谷 優吾 札幌第一（南北海道）
岩永 廉 柳井商工（山口県）
小倉 由嵩 東大阪大学柏原（大阪府）

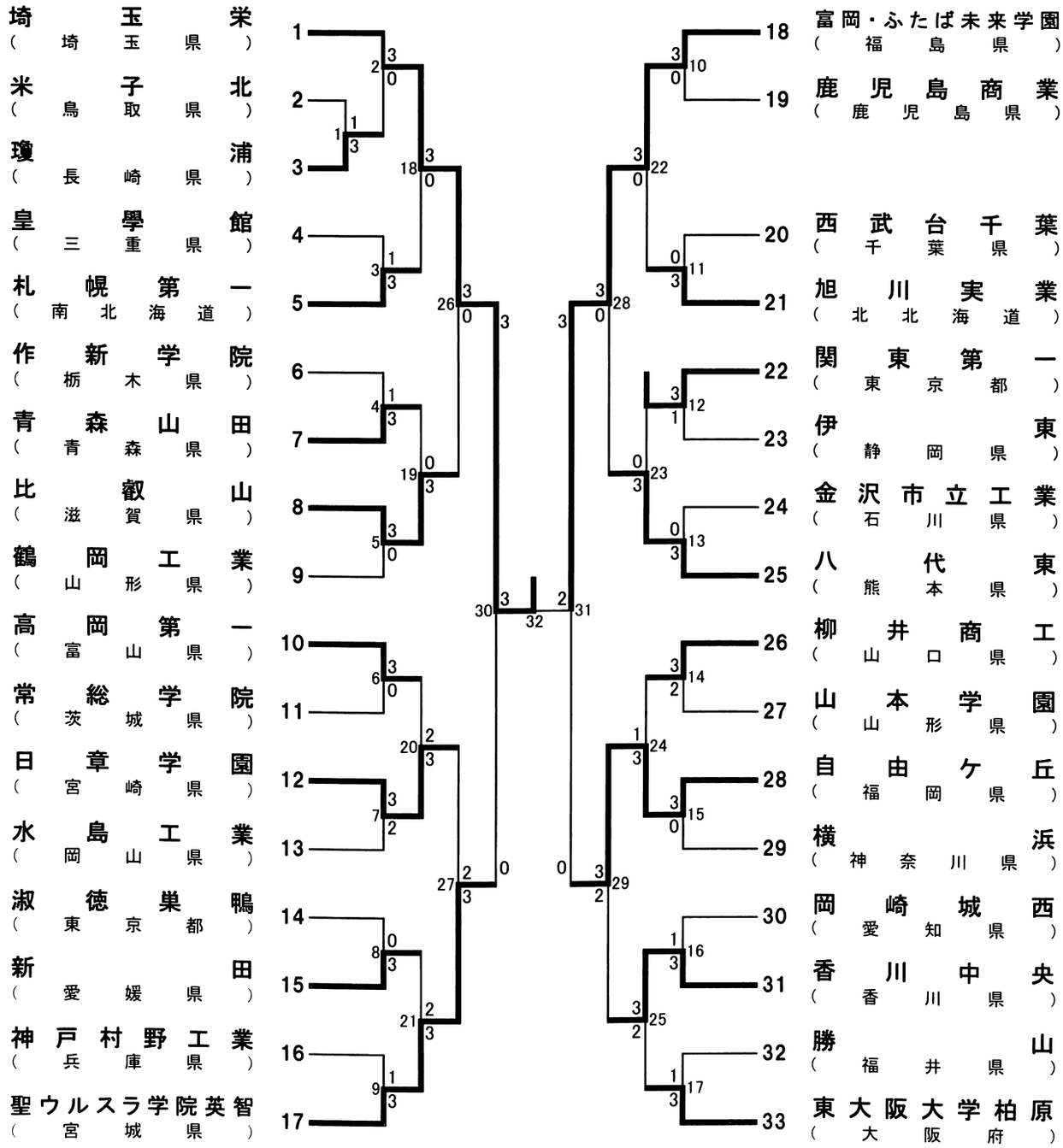
【女子シングルス】


山口 茜 勝山 (福井県) 1
香山 未帆 倉敷中央 (岡山県) 2
山田 瑛乃 とわの森三愛 (南北海道) 3
貴虎 世奈 名経大市邨 (愛知県) 4
安田 美空 青森山田 (青森県) 5
樋口 奈津樹 八代白百合学園 (熊本県) 6
中島 朱音 京都外大西 (京都府) 7
伊野 紫惟 新田 (愛媛県) 8
荒木 萌恵 西武台千葉 (千葉県) 9
10 大家 夏稀 金沢向陽 (石川県)
11 畠中 真奈美 四天王寺 (大阪府)
12 齋藤 栞 埼玉栄 (埼玉県)
13 佐藤 未唯 旭川実業 (北北海道)
14 松山 奈未 九州国際大付属 (福岡県)
15 池内 萌絵 松徳学院 (島根県)
16 鈴木 優香 とわの森三愛 (南北海道)
17 永原 舞子 城東 (徳島県)
18 関矢 夕芽 暁 (三重県)
19 仁平 菜月 富岡 (福島県)

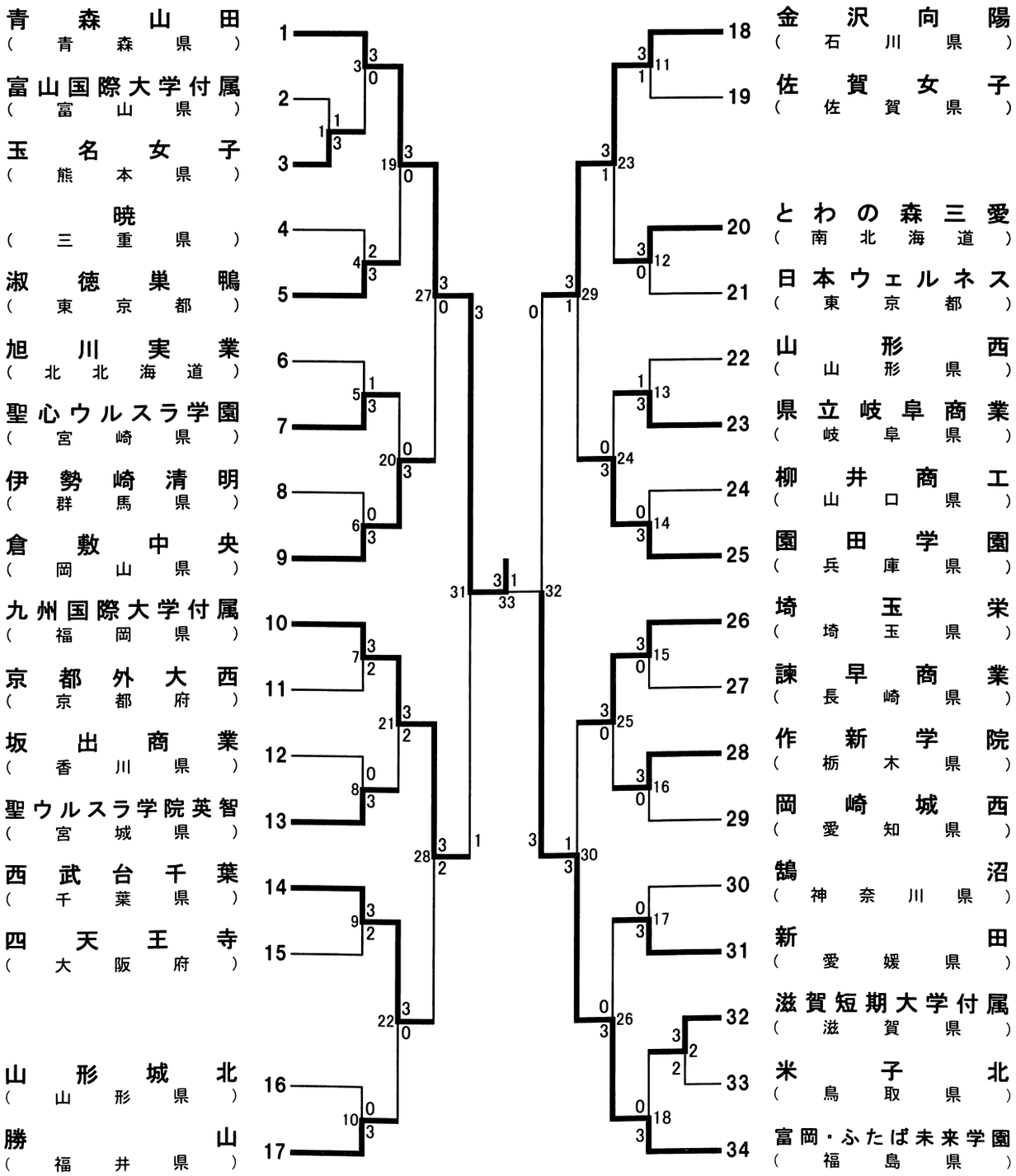
第44回全国高等学校選抜バドミントン大会（2015年度）

期　日▶平成28年３月24日（木）～28日（月）
会　場▶鶴岡市小真木原総合体育館・鶴岡市櫛引スポーツセンター体育館

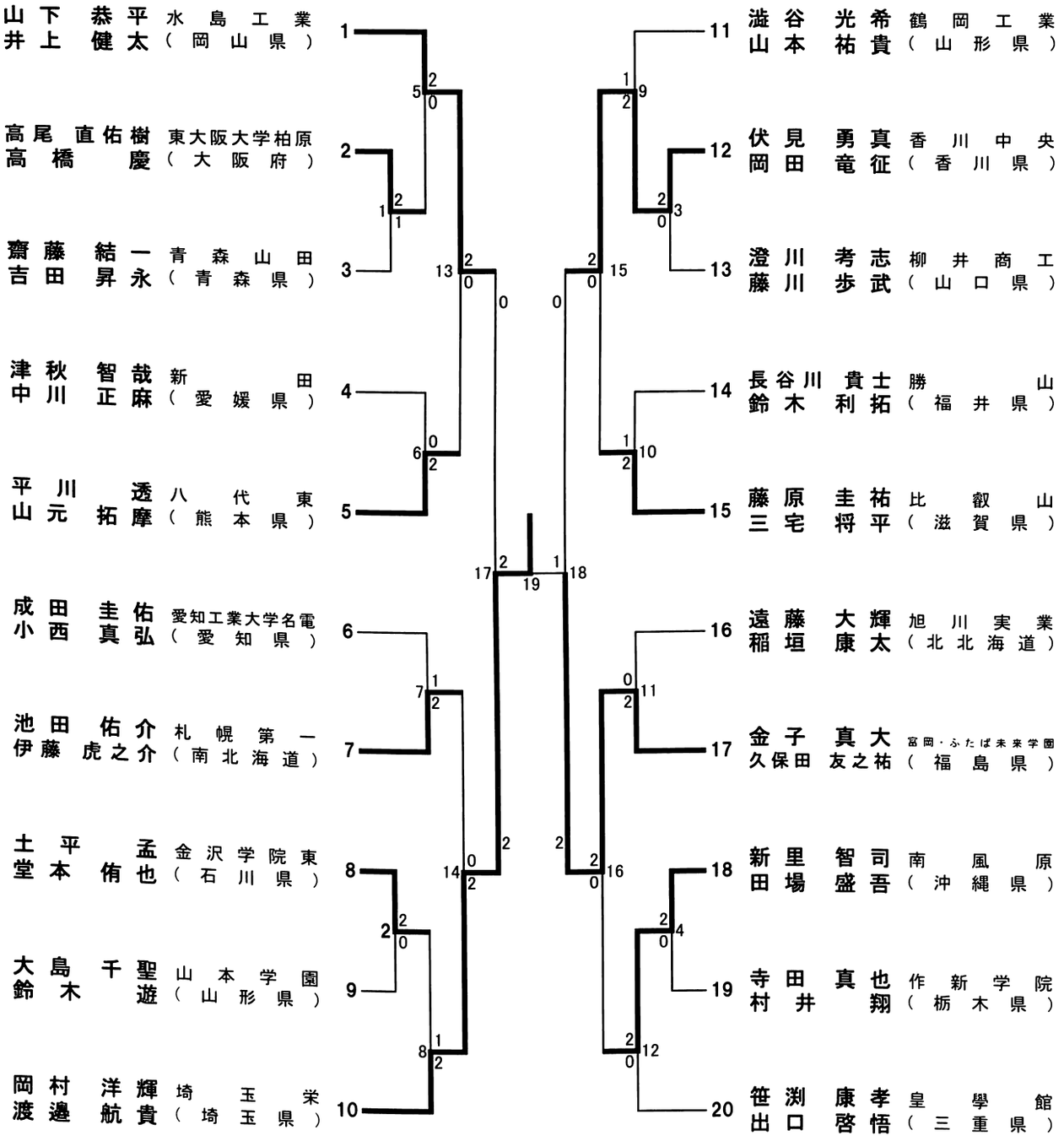
【 男 子 団 体 】



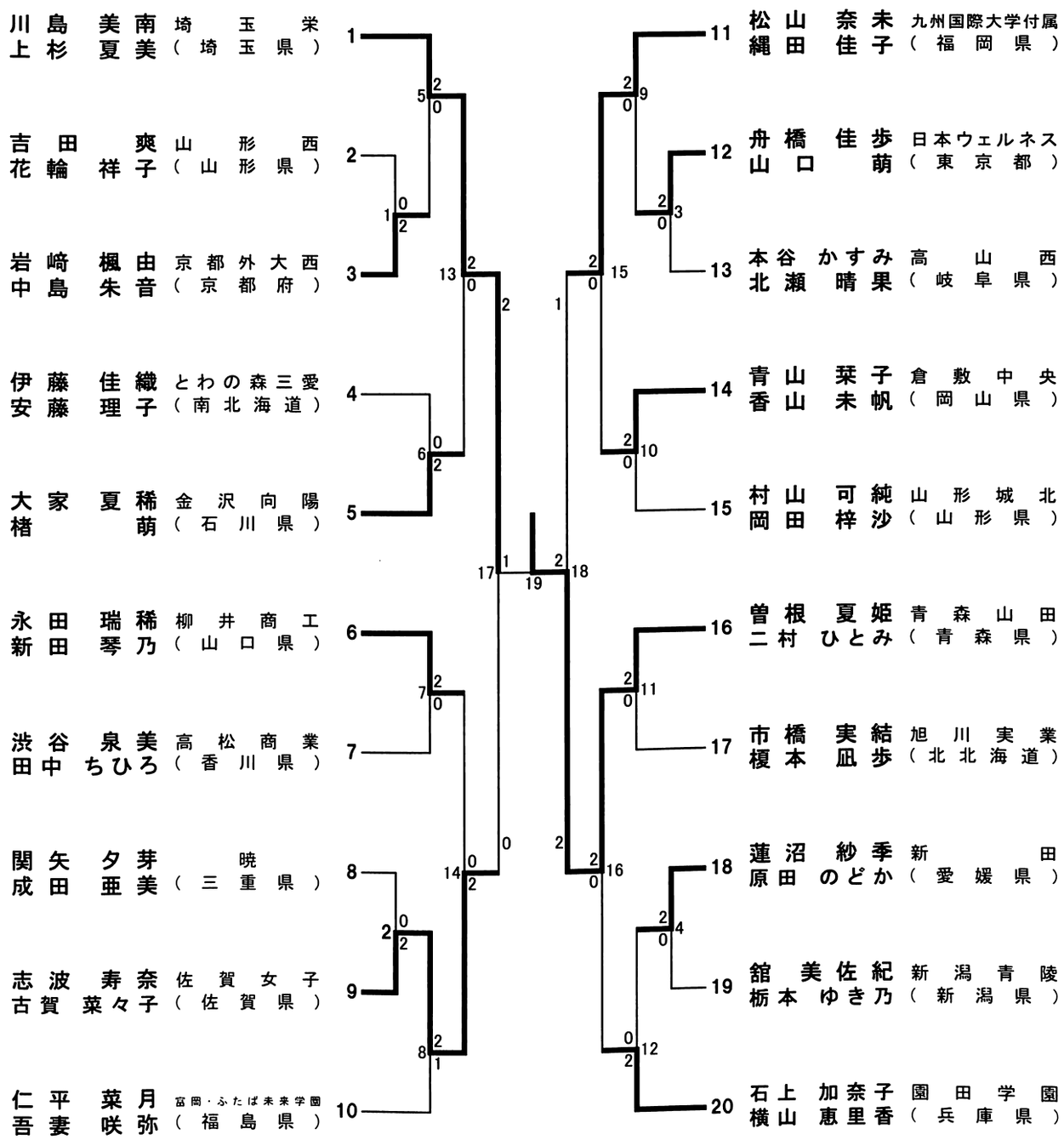
【女子団体】


1 青森山田（青森県）
2 富山国際大学付属（富山県）
3 玉名女子（熊本県）
4 暁（三重県）
5 淑徳巣鴨（東京都）
6 旭川実業（北北海道）
7 聖心ウルスラ学園（宮崎県）
8 伊勢崎清明（群馬県）
9 倉敷中央（岡山県）
10 九州国際大学付属（福岡県）
11 京都外大西（京都府）
12 坂出商業（香川県）
13 聖ウルスラ学院英智（宮城県）
14 西武台千葉（千葉県）
15 四天王寺（大阪府）
16 山形城北（山形県）
17 勝山（福井県）
18 金沢向陽（石川県）
19 佐賀女子（佐賀県）
20 とわの森三愛（南北海道）
21 日本ウェルネス（東京都）
22 山形西（山形県）
23 県立岐阜商業（岐阜県）
24 柳井商工（山口県）
25 園田学園（兵庫県）
26 埼玉栄（埼玉県）
27 諫早商業（長崎県）
28 作新学院（栃木県）
29 岡崎城西（愛知県）
30 鵠沼（神奈川県）
31 新田（愛媛県）
32 滋賀短期大学付属（滋賀県）
33 米子北（鳥取県）
34 富岡・ふたば未来学園（福島県）

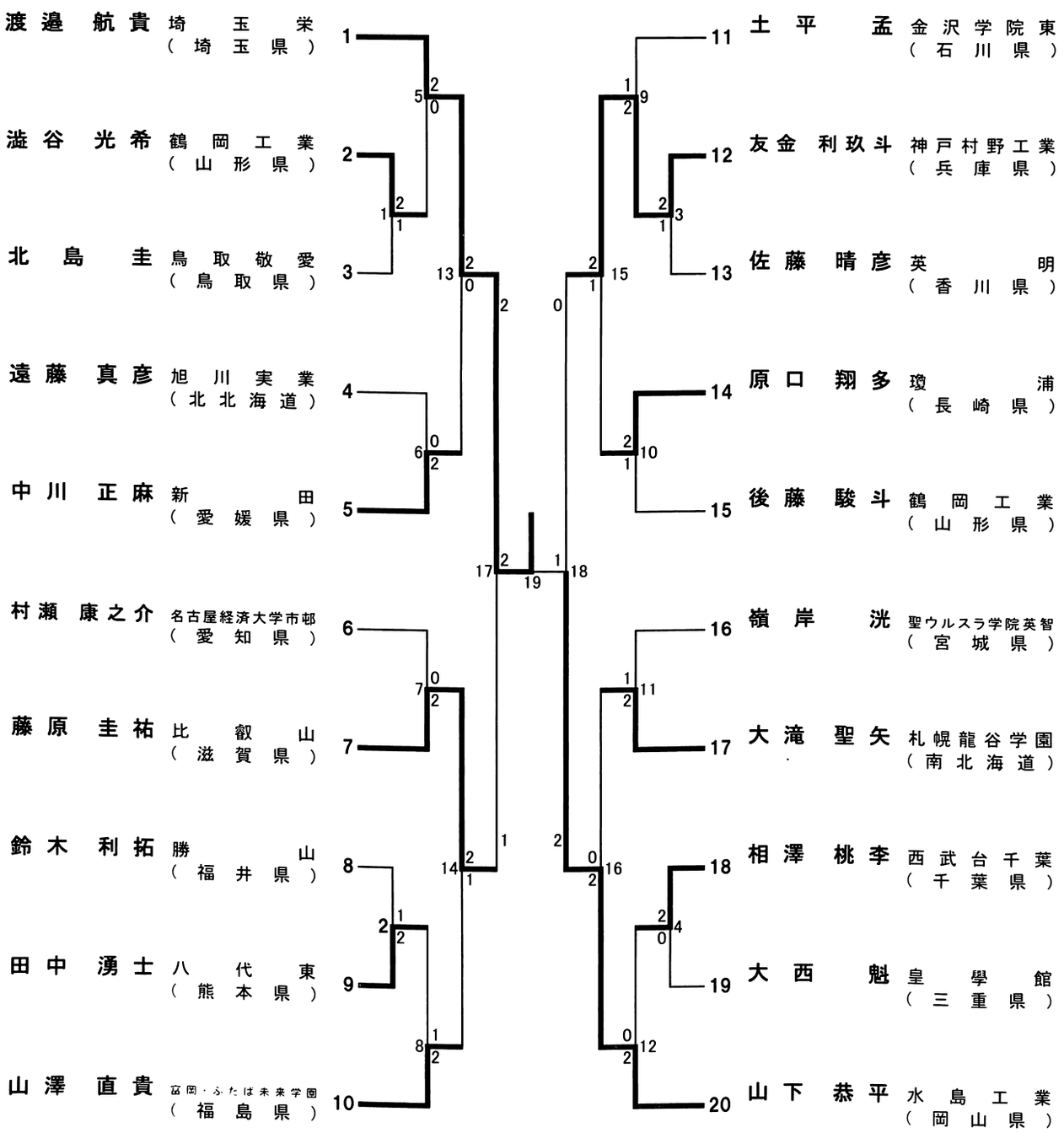
【男子ダブルス】


1 山下 恭平 水島工業
井上 健太 (岡山県)
2 高尾 直佑樹 東大阪大学柏原
高橋 慶 (大阪府)
3 齋藤 結一 青森山田
吉田 昇永 (青森県)
4 津秋 智哉 新田
中川 正麻 (愛媛県)
5 平川 透 八代東
山元 拓摩 (熊本県)
6 成田 圭佑 愛知工業大学名電
小西 真弘 (愛知県)
7 池田 佑介 札幌第一
伊藤 虎之介 (南北海道)
8 土平 孟 金沢学院東
堂本 侑也 (石川県)
9 大島 千聖 山本学園
鈴木 遊 (山形県)
10 岡村 洋輝 埼玉栄
渡邉 航貴 (埼玉県)
11 澁谷 光希 鶴岡工業
山本 祐貴 (山形県)
12 伏見 勇真 香川中央
岡田 竜征 (香川県)
13 澄川 考志 柳井商工
藤川 歩武 (山口県)
14 長谷川 貴士 勝山
鈴木 利拓 (福井県)
15 藤原 圭祐 比叡山
三宅 将平 (滋賀県)
16 遠藤 大輝 旭川実業
稲垣 康太 (北北海道)
17 金子 真大 富岡・ふたば未来学園
久保田 友之祐 (福島県)
18 新里 智司 南風原
田場 盛吾 (沖縄県)
19 寺田 真也 作新学院
村井 翔 (栃木県)
20 笹渕 康孝 皇學館
出口 啓悟 (三重県)

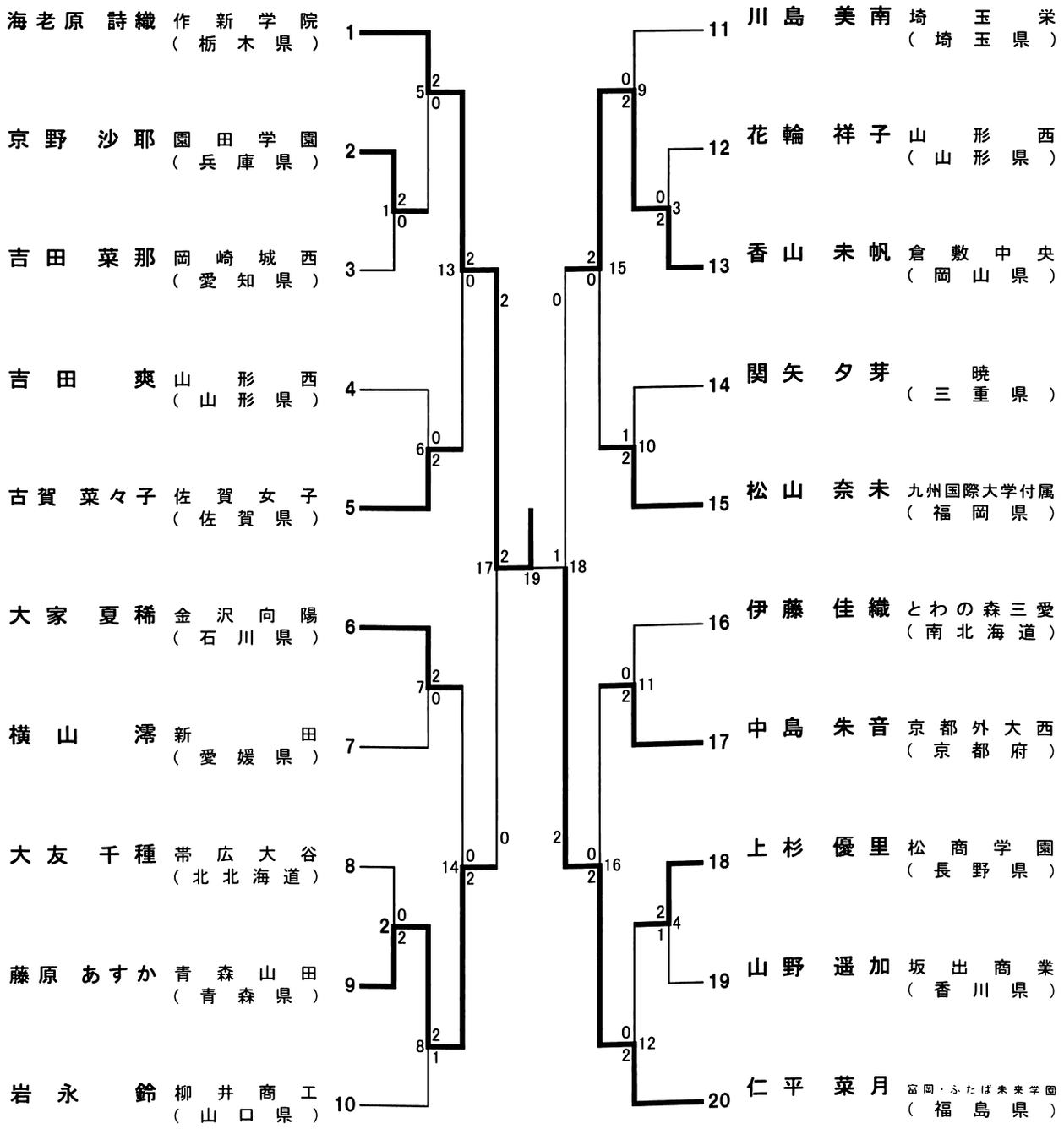
【女子ダブルス】


川島 美南 埼玉栄
上杉 夏美 (埼玉県)
吉田 爽 山形西
花輪 祥子 (山形県)
岩崎 楓由 京都外大西
中島 朱音 (京都府)
伊藤 佳織 とわの森三愛
安藤 理子 (南北海道)
大家 夏稀 金沢向陽
椿 萌 (石川県)
永田 瑞稀 柳井商工
新田 琴乃 (山口県)
渋谷 泉美 高松商業
田中 ちひろ (香川県)
関矢 夕芽 暁
成田 亜美 (三重県)
志波 寿奈 佐賀女子
古賀 菜々子 (佐賀県)
仁平 菜月 富岡・ふたば未来学園
吾妻 咲弥 (福島県)
松山 奈未 九州国際大学付属
縄田 佳子 (福岡県)
舟橋 佳歩 日本ウェルネス
山口 萌 (東京都)
本谷 かすみ 高山西
北瀬 晴果 (岐阜県)
青山 栞子 倉敷中央
香山 未帆 (岡山県)
村山 可純 山形城北
岡田 梓沙 (山形県)
曽根 夏姫 青森山田
二村 ひとみ (青森県)
市橋 実結 旭川実業
榎本 凪歩 (北北海道)
蓮沼 紗季 新田
原田 のどか (愛媛県)
舘 美佐紀 新潟青陵
栃本 ゆき乃 (新潟県)
石上 加奈子 園田学園
横山 恵里香 (兵庫県)

【男子シングルス】


1 渡邉 航貴 埼玉栄（埼玉県）
2 澁谷 光希 鶴岡工業（山形県）
3 北島 圭 鳥取敬愛（鳥取県）
4 遠藤 真彦 旭川実業（北北海道）
5 中川 正麻 新田（愛媛県）
6 村瀬 康之介 名古屋経済大学市邨（愛知県）
7 藤原 圭祐 比叡山（滋賀県）
8 鈴木 利拓 勝山（福井県）
9 田中 湧士 八代東（熊本県）
10 山澤 直貴 富岡・ふたば未来学園（福島県）
11 土平 孟 金沢学院東（石川県）
12 友金 利玖斗 神戸村野工業（兵庫県）
13 佐藤 晴彦 英明（香川県）
14 原口 翔多 瓊浦（長崎県）
15 後藤 駿斗 鶴岡工業（山形県）
16 嶺岸 洸 聖ウルスラ学院英智（宮城県）
17 大滝 聖矢 札幌龍谷学園（南北海道）
18 相澤 桃李 西武台千葉（千葉県）
19 大西 魁 皇學館（三重県）
20 山下 恭平 水島工業（岡山県）

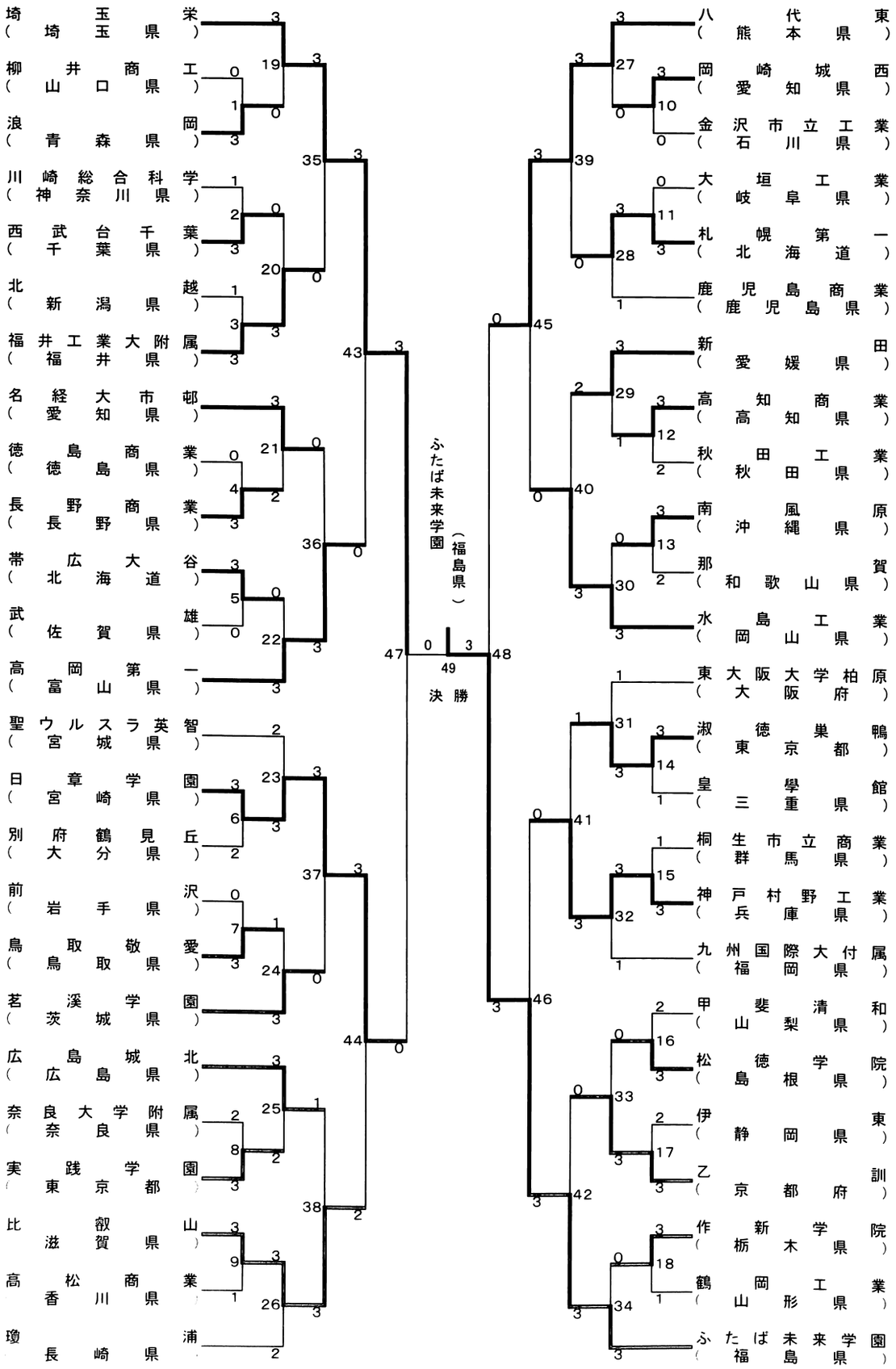
【女子シングルス】


1 海老原 詩織 作新学院（栃木県）
2 京野 沙耶 園田学園（兵庫県）
3 吉田 菜那 岡崎城西（愛知県）
4 吉田 爽 山形西（山形県）
5 古賀 菜々子 佐賀女子（佐賀県）
6 大家 夏稀 金沢向陽（石川県）
7 横山 澪 新田（愛媛県）
8 大友 千種 帯広大谷（北北海道）
9 藤原 あすか 青森山田（青森県）
10 岩永 鈴 柳井商工（山口県）
11 川島 美南 埼玉栄（埼玉県）
12 花輪 祥子 山形西（山形県）
13 香山 未帆 倉敷中央（岡山県）
14 関矢 夕芽 暁（三重県）
15 松山 奈未 九州国際大学付属（福岡県）
16 伊藤 佳織 とわの森三愛（南北海道）
17 中島 朱音 京都外大西（京都府）
18 上杉 優里 松商学園（長野県）
19 山野 遥加 坂出商業（香川県）
20 仁平 菜月 富岡・ふたば未来学園（福島県）

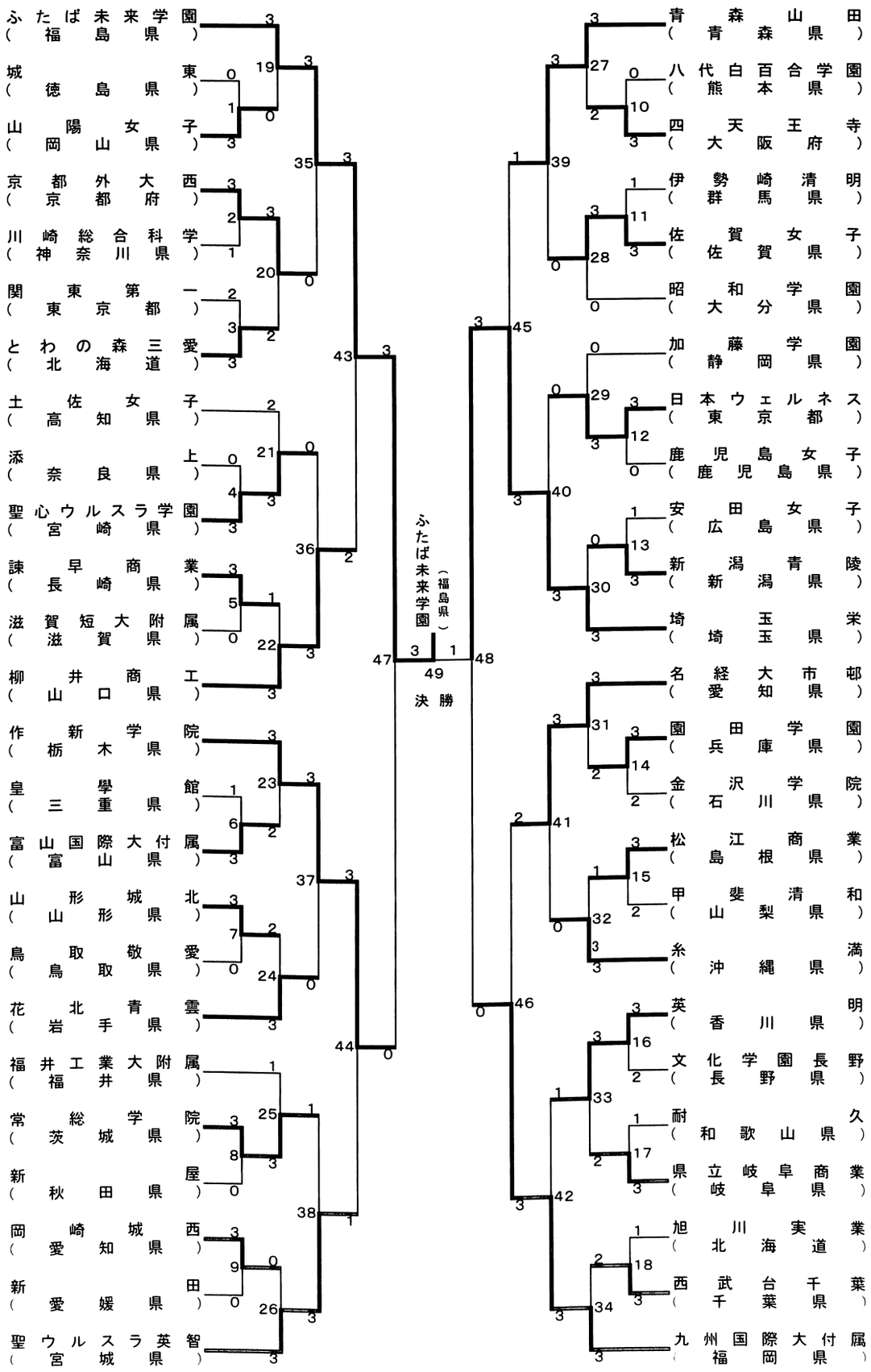
第45回記念全国高等学校選抜バドミントン大会（2016年度）

期　日▶平成29年３月22日（水）～26日（日）
会　場▶豊田市総合体育館「スカイホール豊田」・岡崎中央総合体育館

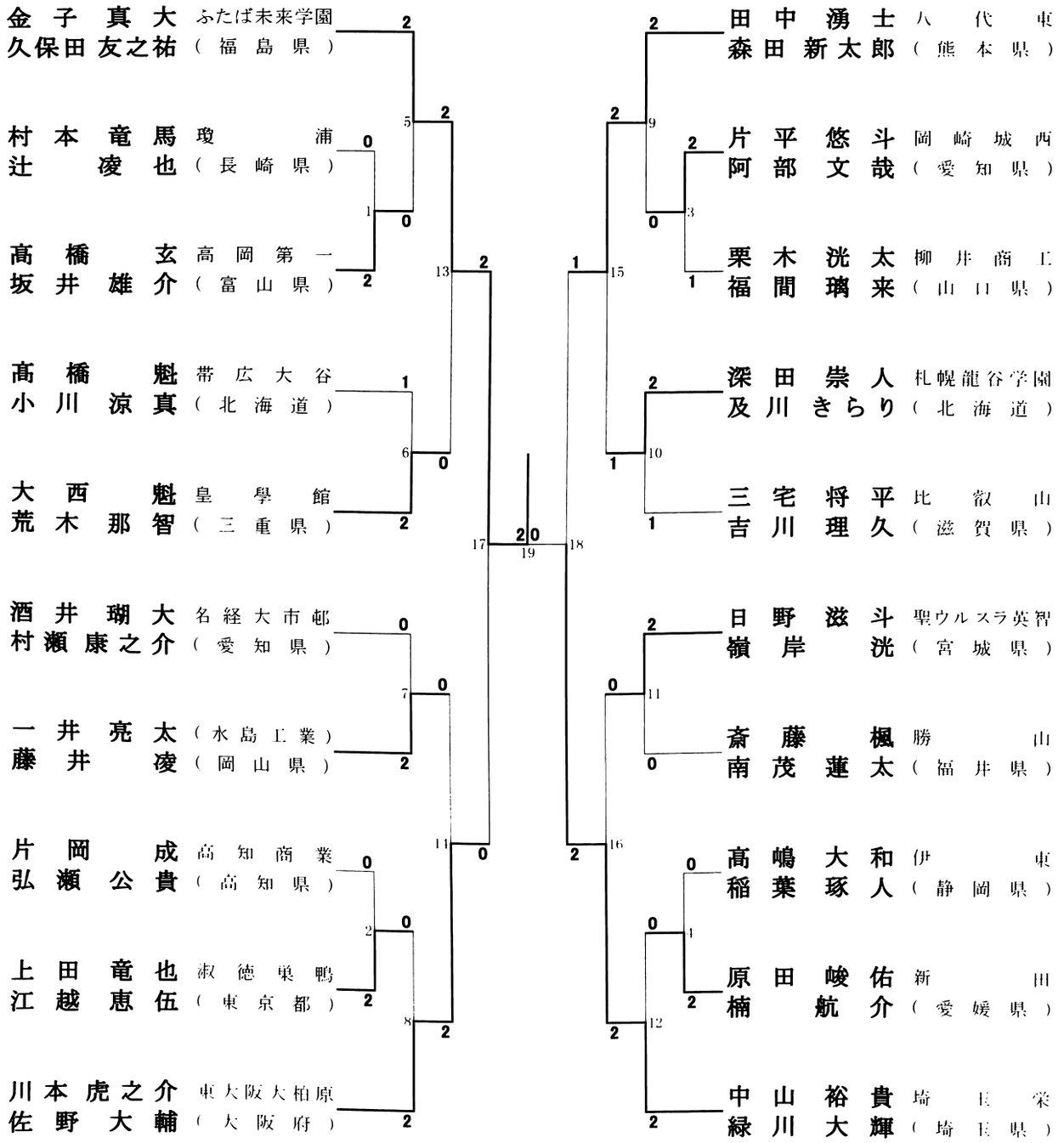
【 男 子 団 体 】



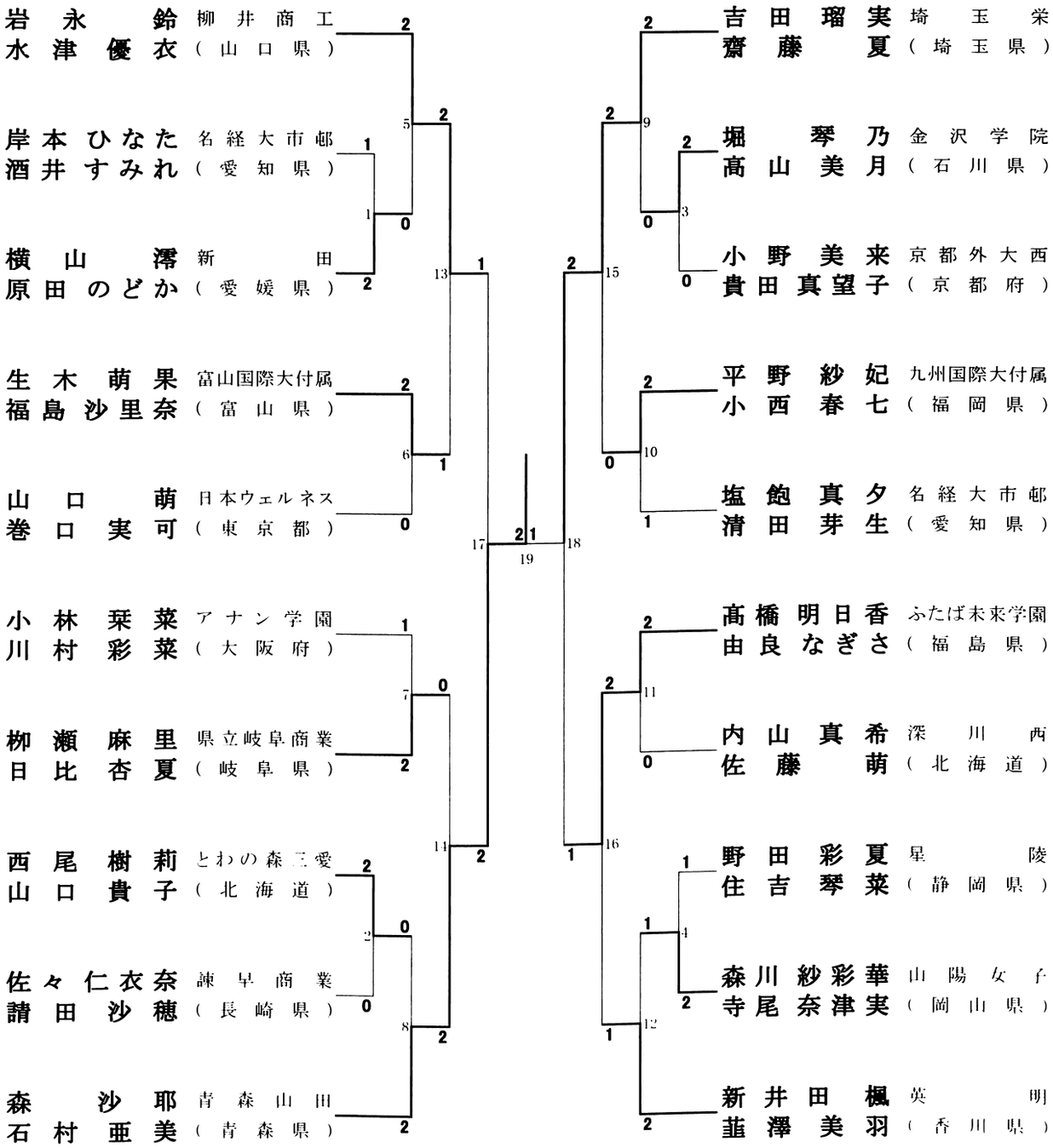
【女子団体】


ふたば未来学園（福島県）
城東（徳島県）
山陽女子（岡山県）
京都外大西（京都府）
川崎総合科学（神奈川県）
関東第一（東京都）
とわの森三愛（北海道）
土佐女子（高知県）
添上（奈良県）
聖心ウルスラ学園（宮崎県）
諫早商業（長崎県）
滋賀短大附属（滋賀県）
柳井商工（山口県）
作新学院（栃木県）
皇學館（三重県）
富山国際大付属（富山県）
山形城北（山形県）
鳥取敬愛（鳥取県）
花北青雲（岩手県）
福井工業大附属（福井県）
常総学院（茨城県）
新屋（秋田県）
岡崎城西（愛知県）
新田（愛媛県）
聖ウルスラ英智（宮城県）
青森山田（青森県）
八代白百合学園（熊本県）
四天王寺（大阪府）
伊勢崎清明（群馬県）
佐賀女子（佐賀県）
昭和学園（大分県）
加藤学園（静岡県）
日本ウェルネス（東京都）
鹿児島女子（鹿児島県）
安田女子（広島県）
新潟青陵（新潟県）
埼玉栄（埼玉県）
名経大市邨（愛知県）
園田学園（兵庫県）
金沢学院（石川県）
松江商業（島根県）
甲斐清和（山梨県）
糸満（沖縄県）
英明（香川県）
文化学園長野（長野県）
耐久（和歌山県）
県立岐阜商業（岐阜県）
旭川実業（北海道）
西武台千葉（千葉県）
九州国際大付属（福岡県）
ふたば未来学園（福島県）
決勝

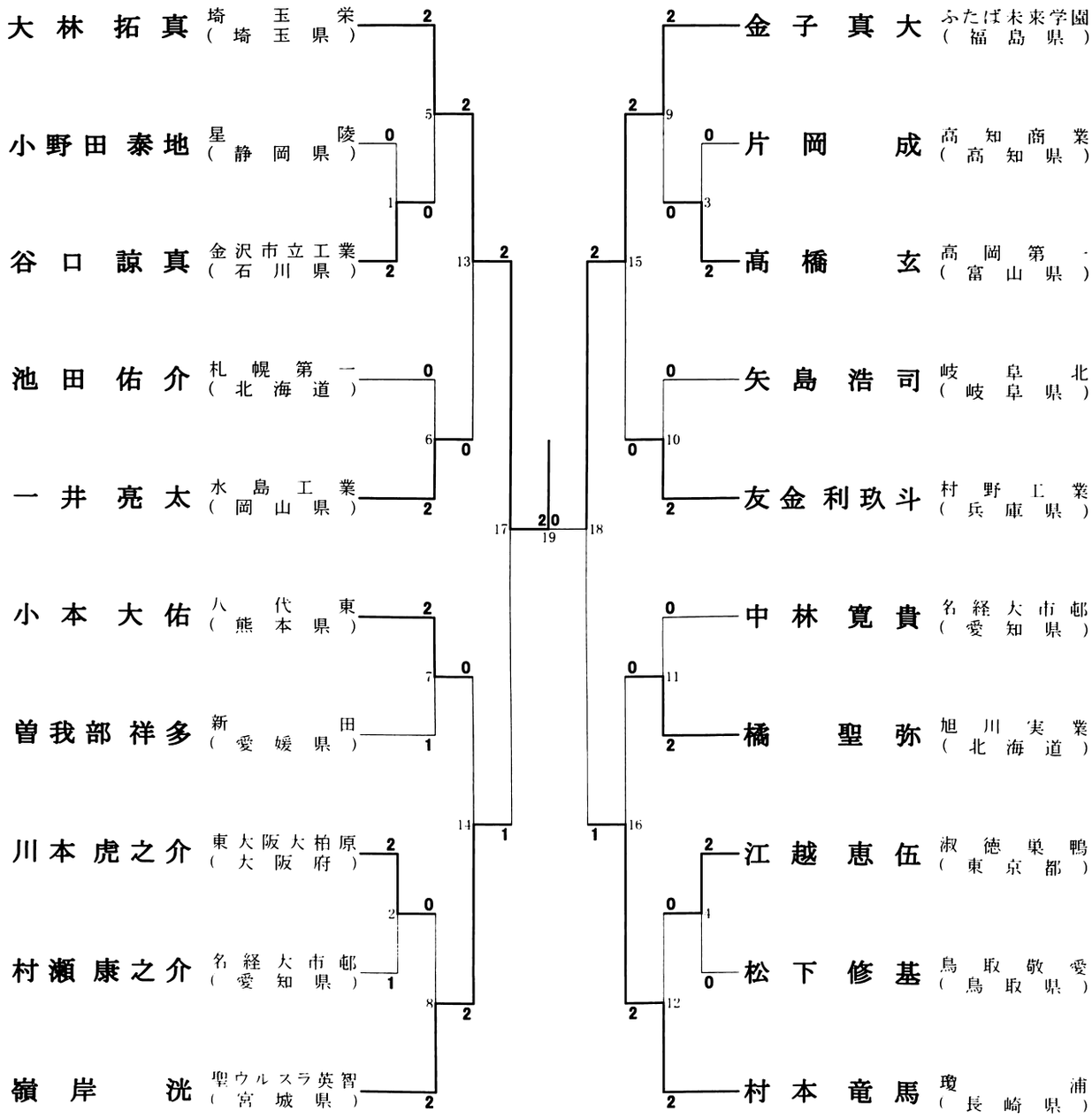
【男子ダブルス】


金子真大 ふたば未来学園
久保田友之祐 (福島県)
村本竜馬 瓊浦
辻凌也 (長崎県)
髙橋玄 高岡第一
坂井雄介 (富山県)
髙橋魁 帯広大谷
小川涼真 (北海道)
大西魁 皇學館
荒木那智 (三重県)
酒井瑚大 名経大市邨
村瀬康之介 (愛知県)
一井亮太 (水島工業)
藤井凌 (岡山県)
片岡成 高知商業
弘瀬公貴 (高知県)
上田竜也 淑徳巣鴨
江越恵伍 (東京都)
川本虎之介 東大阪大柏原
佐野大輔 (大阪府)
田中湧士 八代東
森田新太郎 (熊本県)
片平悠斗 岡崎城西
阿部文哉 (愛知県)
栗木洸太 柳井商工
福間璃来 (山口県)
深田崇人 札幌龍谷学園
及川きらり (北海道)
三宅将平 比叡山
吉川理久 (滋賀県)
日野滋斗 聖ウルスラ英智
嶺岸洸 (宮城県)
斎藤楓 勝山
南茂蓮太 (福井県)
髙嶋大和 伊東
稲葉琢人 (静岡県)
原田峻佑 新田
楠航介 (愛媛県)
中山裕貴 埼玉栄
緑川大輝 (埼玉県)

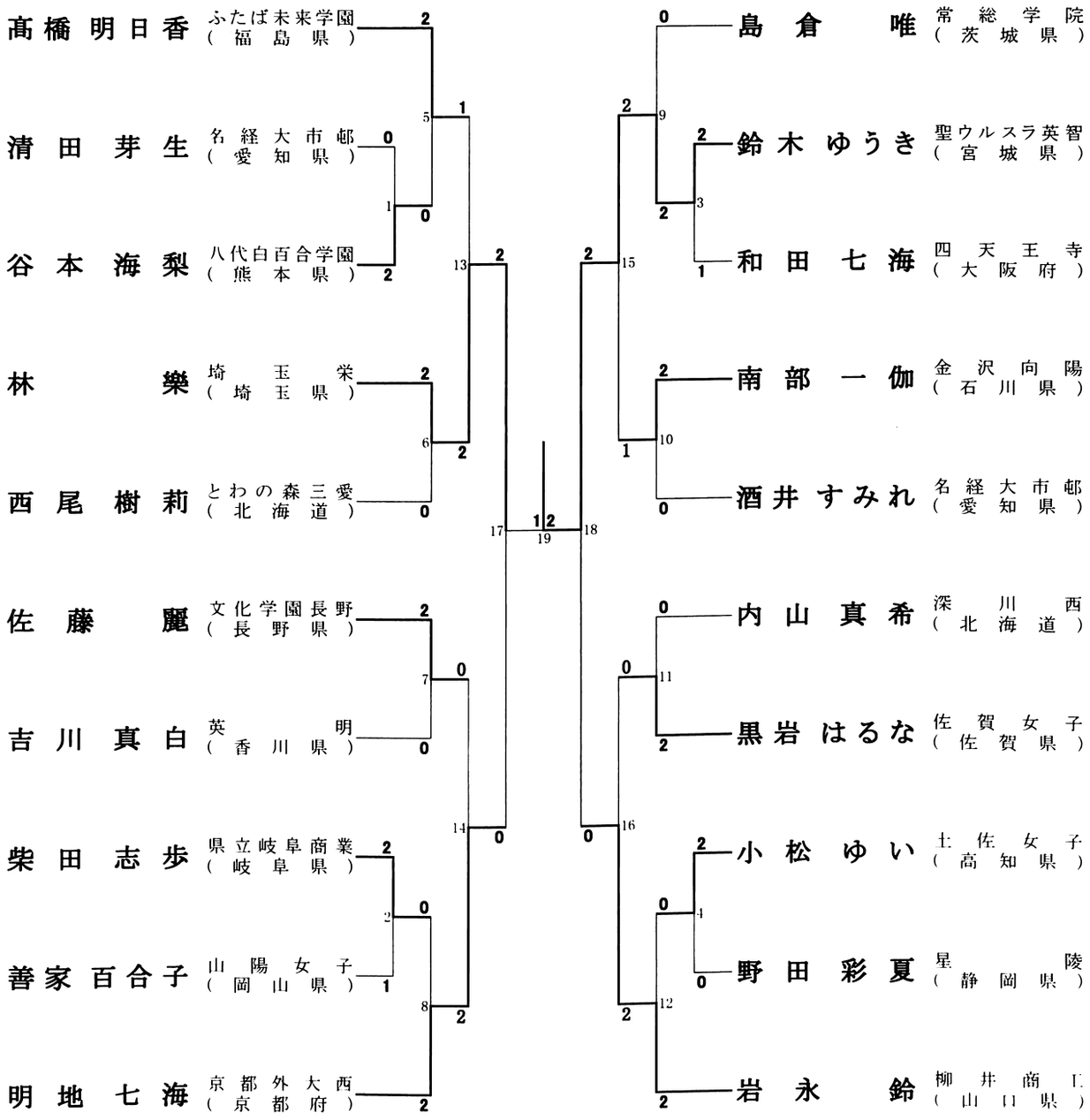
【女子ダブルス】


岩永　鈴 柳井商工
水津優衣（山口県）
岸本ひなた 名経大市邨
酒井すみれ（愛知県）
横山　澪 新田
原田のどか（愛媛県）
生木萌果 富山国際大付属
福島沙里奈（富山県）
山口　萌 日本ウェルネス
巻口実可（東京都）
小林栞菜 アナン学園
川村彩菜（大阪府）
柳瀬麻里 県立岐阜商業
日比杏夏（岐阜県）
西尾樹莉 とわの森三愛
山口貴子（北海道）
佐々仁衣奈 諫早商業
請田沙穂（長崎県）
森　沙耶 青森山田
石村亜美（青森県）
吉田瑠実 埼玉栄
齋藤　夏（埼玉県）
堀　琴乃 金沢学院
高山美月（石川県）
小野美来 京都外大西
貴田真望子（京都府）
平野紗妃 九州国際大付属
小西春七（福岡県）
塩飽真夕 名経大市邨
清田芽生（愛知県）
髙橋明日香 ふたば未来学園
由良なぎさ（福島県）
内山真希 深川西
佐藤　萌（北海道）
野田彩夏 星陵
住吉琴菜（静岡県）
森川紗彩華 山陽女子
寺尾奈津実（岡山県）
新井田楓 英明
韮澤美羽（香川県）

【男子シングルス】


大林拓真 埼玉栄（埼玉県）
小野田泰地 星陵（静岡県）
谷口諒真 金沢市立工業（石川県）
池田佑介 札幌第一（北海道）
一井亮太 水島工業（岡山県）
小本大佑 八代東（熊本県）
曽我部祥多 新田（愛媛県）
川本虎之介 東大阪大柏原（大阪府）
村瀬康之介 名経大市邨（愛知県）
嶺岸洸 聖ウルスラ英智（宮城県）
金子真大 ふたば未来学園（福島県）
片岡成 高知商業（高知県）
高橋玄 高岡第一（富山県）
矢島浩司 岐阜北（岐阜県）
友金利玖斗 村野工業（兵庫県）
中林寛貴 名経大市邨（愛知県）
橘聖弥 旭川実業（北海道）
江越恵伍 淑徳巣鴨（東京都）
松下修基 鳥取敬愛（鳥取県）
村本竜馬 瓊浦（長崎県）

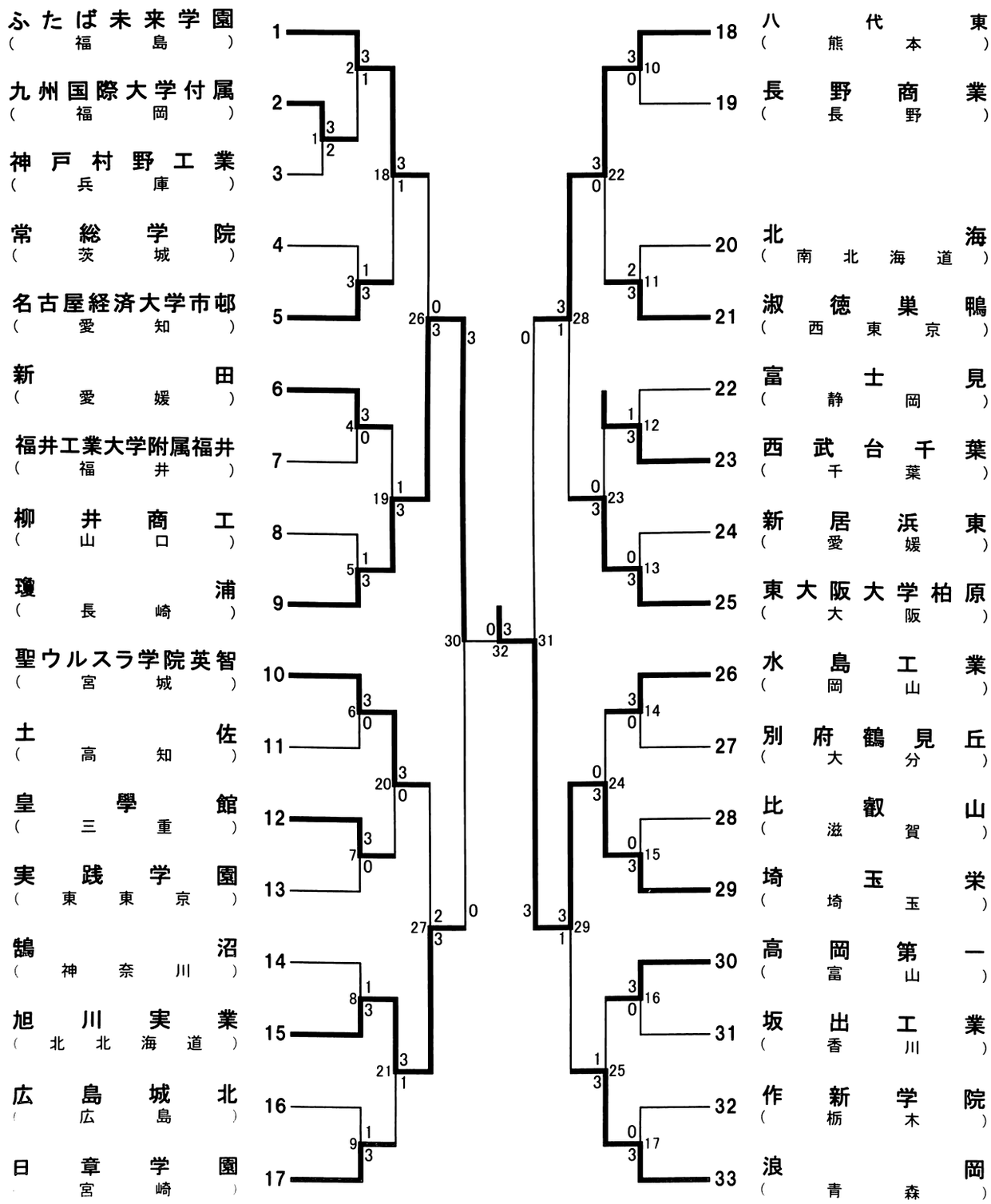
【女子シングルス】


髙橋明日香 ふたば未来学園（福島県）
清田芽生 名経大市邨（愛知県）
谷本海梨 八代白百合学園（熊本県）
林樂 埼玉栄（埼玉県）
西尾樹莉 とわの森三愛（北海道）
佐藤麗 文化学園長野（長野県）
吉川真白 英明（香川県）
柴田志歩 県立岐阜商業（岐阜県）
善家百合子 山陽女子（岡山県）
明地七海 京都外大西（京都府）
島倉唯 常総学院（茨城県）
鈴木ゆうき 聖ウルスラ英智（宮城県）
和田七海 四天王寺（大阪府）
南部一伽 金沢向陽（石川県）
酒井すみれ 名経大市邨（愛知県）
内山真希 深川西（北海道）
黒岩はるな 佐賀女子（佐賀県）
小松ゆい 土佐女子（高知県）
野田彩夏 星陵（静岡県）
岩永鈴 柳井商工（山口県）

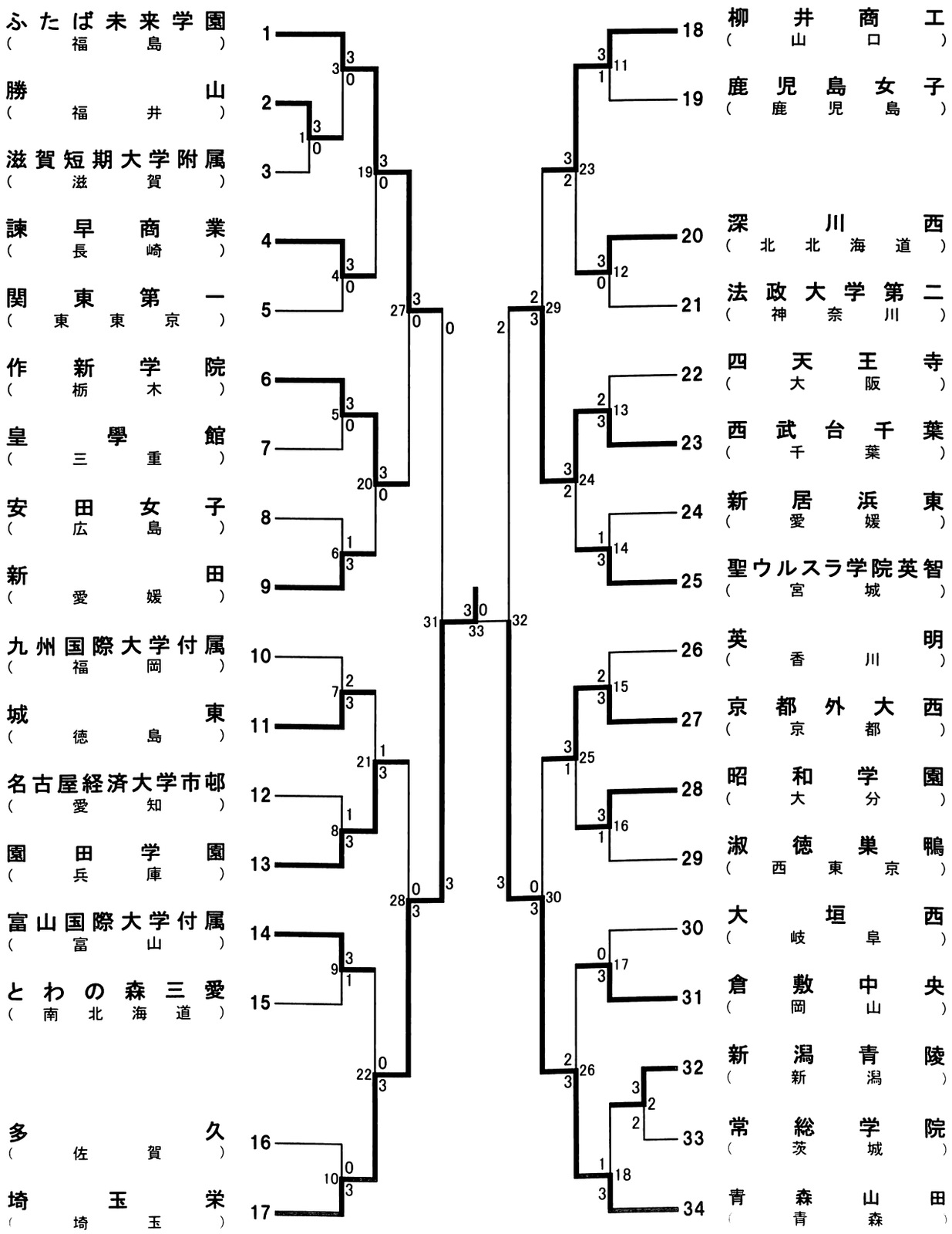
第46回全国高等学校選抜バドミントン大会（2017年度）

期　日▶平成30年３月24日（土）～28日（水）
会　場▶愛媛県武道館・松山市総合コミュニティセンター体育館

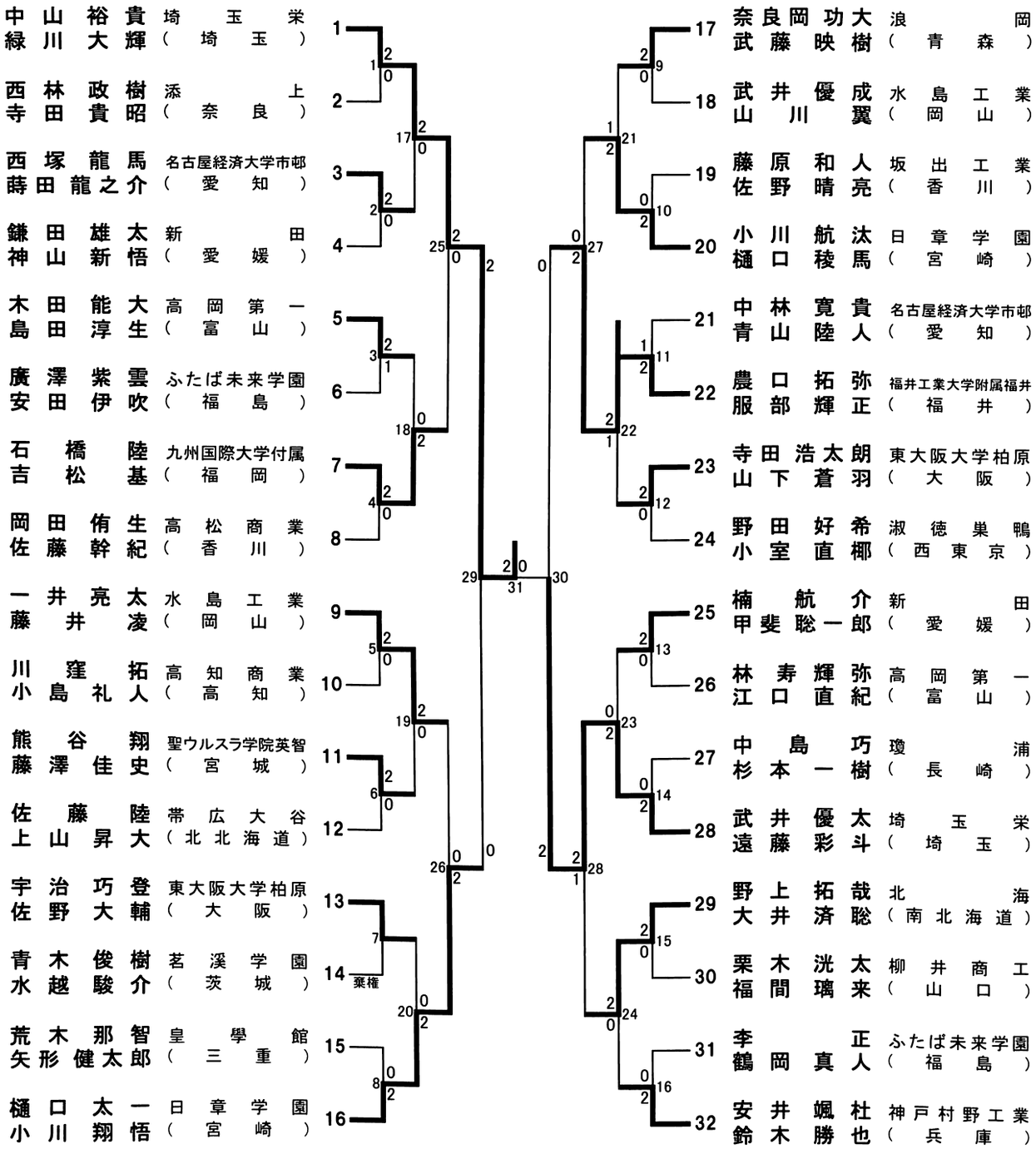
【 男 子 団 体 】



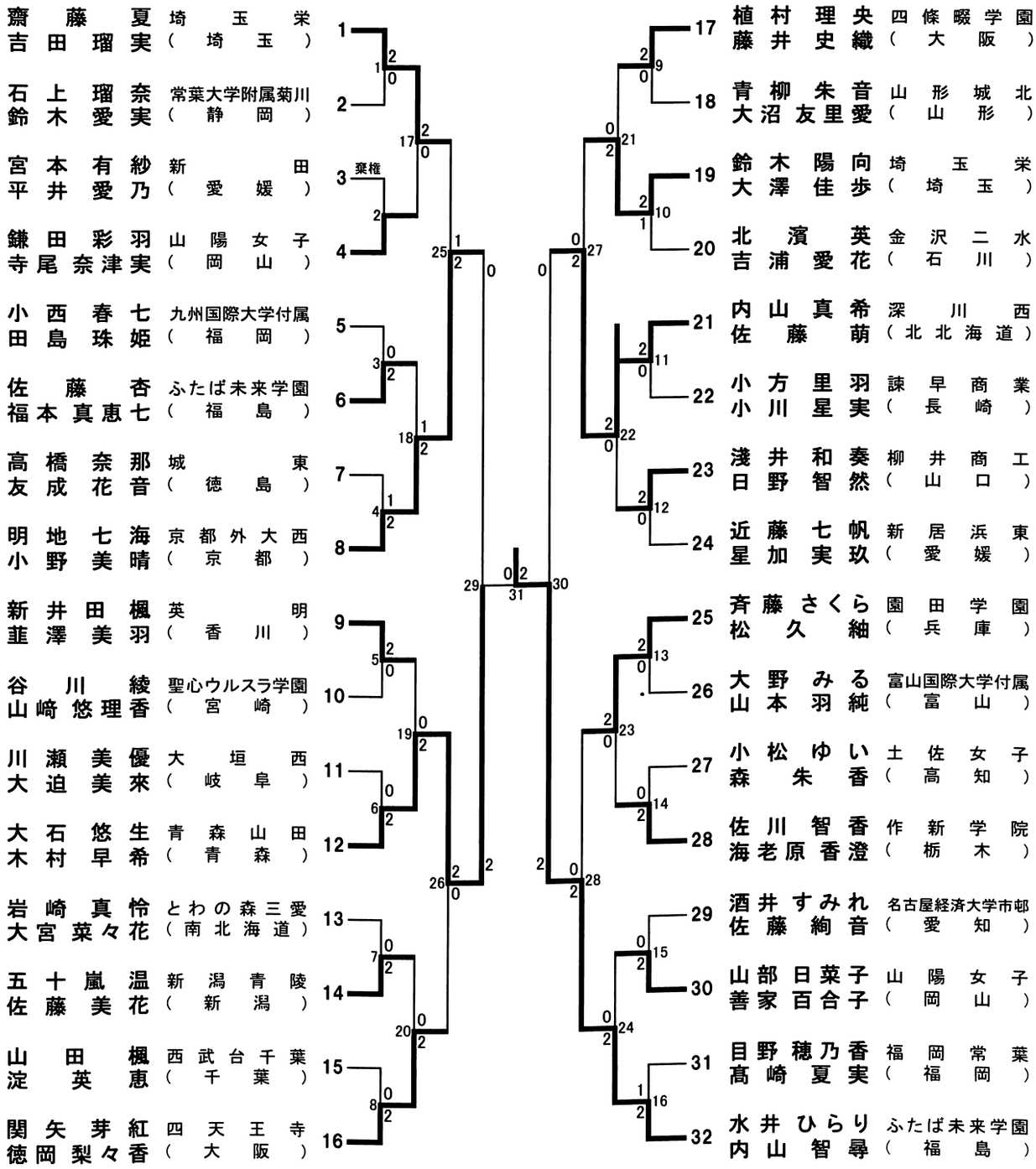
【女子団体】


ふたば未来学園 (福島)
勝山 (福井)
滋賀短期大学附属 (滋賀)
諫早商業 (長崎)
関東第一 (東東京)
作新学院 (栃木)
皇學館 (三重)
安田女子 (広島)
新田 (愛媛)
九州国際大学付属 (福岡)
城東 (徳島)
名古屋経済大学市邨 (愛知)
園田学園 (兵庫)
富山国際大学付属 (富山)
とわの森三愛 (南北海道)
多久 (佐賀)
埼玉栄 (埼玉)
柳井商工 (山口)
鹿児島女子 (鹿児島)
深川西 (北北海道)
法政大学第二 (神奈川)
四天王寺 (大阪)
西武台千葉 (千葉)
新居浜東 (愛媛)
聖ウルスラ学院英智 (宮城)
英明 (香川)
京都外大西 (京都)
昭和学園 (大分)
淑徳巣鴨 (西東京)
大垣西 (岐阜)
倉敷中央 (岡山)
新潟青陵 (新潟)
常総学院 (茨城)
青森山田 (青森)

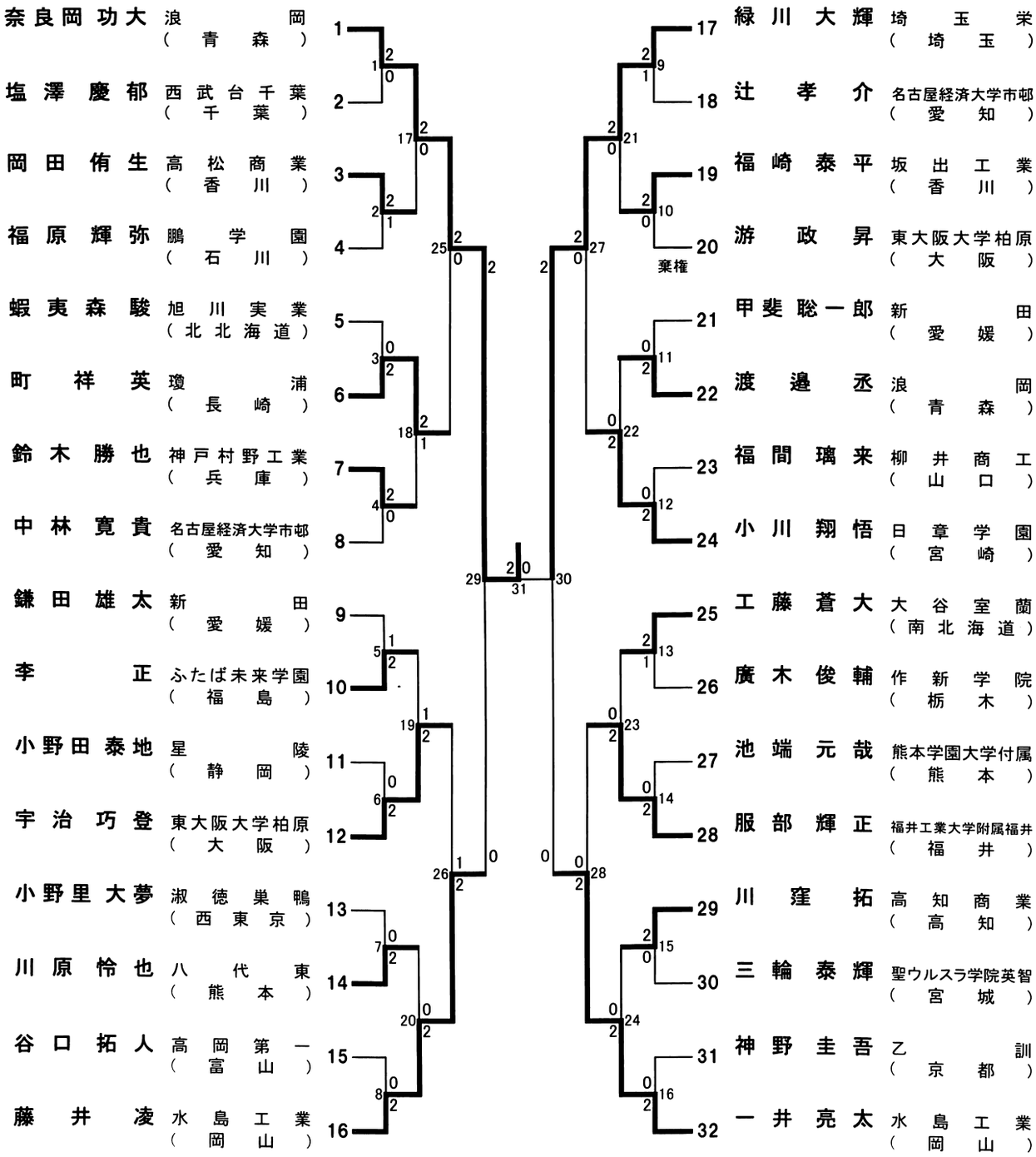
【男子ダブルス】


1 中山裕貴 埼玉栄 / 緑川大輝 (埼玉)
2 西林政樹 添上 / 寺田貴昭 (奈良)
3 西塚龍馬 名古屋経済大学市邨 / 蒔田龍之介 (愛知)
4 鎌田雄太 新田 / 神山新悟 (愛媛)
5 木田能大 高岡第一 / 島田淳生 (富山)
6 廣澤紫雲 ふたば未来学園 / 安田伊吹 (福島)
7 石橋陸 九州国際大学付属 / 吉松基 (福岡)
8 岡田侑生 高松商業 / 佐藤幹紀 (香川)
9 一井亮太 水島工業 / 藤井凌 (岡山)
10 川窪拓 高知商業 / 小島礼人 (高知)
11 熊谷翔 聖ウルスラ学院英智 / 藤澤佳史 (宮城)
12 佐藤陸 帯広大谷 / 上山昇大 (北北海道)
13 宇治巧登 東大阪大学柏原 / 佐野大輔 (大阪)
14 青木俊樹 茗渓学園 / 水越駿介 (茨城) 棄権
15 荒木那智 皇學館 / 矢形健太郎 (三重)
16 樋口太一 日章学園 / 小川翔悟 (宮崎)
17 奈良岡功大 浪岡 / 武藤映樹 (青森)
18 武井優成 水島工業 / 山川翼 (岡山)
19 藤原和人 坂出工業 / 佐野晴亮 (香川)
20 小川航汰 日章学園 / 樋口稜馬 (宮崎)
21 中林寛貴 名古屋経済大学市邨 / 青山陸人 (愛知)
22 農口拓弥 福井工業大学附属福井 / 服部輝正 (福井)
23 寺田浩太朗 東大阪大学柏原 / 山下蒼羽 (大阪)
24 野田好希 淑徳巣鴨 / 小室直椰 (西東京)
25 楠航介 新田 / 甲斐聡一郎 (愛媛)
26 林寿輝弥 高岡第一 / 江口直紀 (富山)
27 中島巧 瓊浦 / 杉本一樹 (長崎)
28 武井優太 埼玉栄 / 遠藤彩斗 (埼玉)
29 野上拓哉 北海 / 大井済聡 (南北海道)
30 栗木洸太 柳井商工 / 福間璃来 (山口)
31 李正 ふたば未来学園 / 鶴岡真人 (福島)
32 安井颯杜 神戸村野工業 / 鈴木勝也 (兵庫)

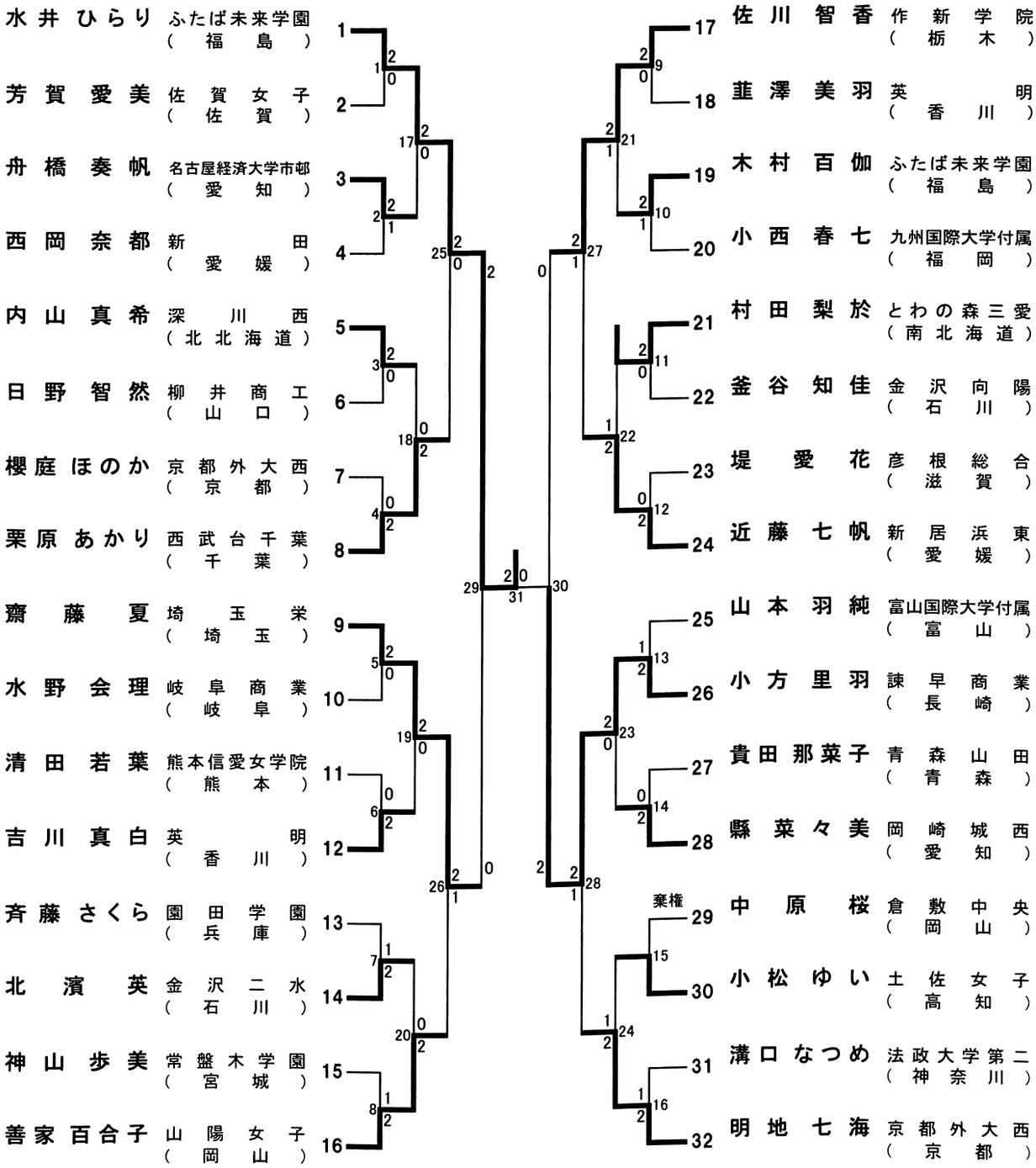
【女子ダブルス】


1 齋藤 夏 埼玉栄
2 吉田 瑠実 (埼玉)
3 石上 瑠奈 常葉大学附属菊川
4 鈴木 愛実 (静岡)
5 宮本 有紗 新田
6 平井 愛乃 (愛媛)
7 鎌田 彩羽 山陽女子
8 寺尾 奈津実 (岡山)
9 小西 春七 九州国際大学付属
10 田島 珠姫 (福岡)
11 佐藤 杏 ふたば未来学園
12 福本 真恵七 (福島)
13 高橋 奈那 城東
14 友成 花音 (徳島)
15 明地 七海 京都外大西
16 小野 美晴 (京都)
17 植村 理央 四條畷学園
18 藤井 史織 (大阪)
19 青柳 朱音 山形城北
20 大沼 友里愛 (山形)
21 鈴木 陽向 埼玉栄
22 大澤 佳歩 (埼玉)
23 北濱 英 金沢二水
24 吉浦 愛花 (石川)
25 内山 真希 深川西
26 佐藤 萌 (北北海道)
27 小方 里羽 諫早商業
28 小川 星実 (長崎)
29 淺井 和奏 柳井商工
30 日野 智然 (山口)
31 近藤 七帆 新居浜東
32 星加 実玖 (愛媛)
新井田 楓 英明
韮澤 美羽 (香川)
谷川 綾 聖心ウルスラ学園
山崎 悠理香 (宮崎)
川瀬 美優 大垣西
大迫 美來 (岐阜)
大石 悠生 青森山田
木村 早希 (青森)
岩崎 真怜 とわの森三愛
大宮 菜々花 (南北海道)
五十嵐 温 新潟青陵
佐藤 美花 (新潟)
山田 楓 西武台千葉
淀 英恵 (千葉)
関矢 芽紅 四天王寺
徳岡 梨々香 (大阪)
斉藤さくら 園田学園
松久 紬 (兵庫)
大野 みる 富山国際大学付属
山本 羽純 (富山)
小松 ゆい 土佐女子
森 朱香 (高知)
佐川 智香 作新学院
海老原 香澄 (栃木)
酒井 すみれ 名古屋経済大学市邨
佐藤 絢音 (愛知)
山部 日菜子 山陽女子
善家 百合子 (岡山)
目野 穂乃香 福岡常葉
髙崎 夏実 (福岡)
水井 ひらり ふたば未来学園
内山 智尋 (福島)
棄権

【男子シングルス】


奈良岡功大 浪岡（青森）
塩澤慶郁 西武台千葉（千葉）
岡田侑生 高松商業（香川）
福原輝弥 鵬学園（石川）
蝦夷森駿 旭川実業（北北海道）
町祥英 瓊浦（長崎）
鈴木勝也 神戸村野工業（兵庫）
中林寛貴 名古屋経済大学市邨（愛知）
鎌田雄太 新田（愛媛）
李正 ふたば未来学園（福島）
小野田泰地 星陵（静岡）
宇治巧登 東大阪大学柏原（大阪）
小野里大夢 淑徳巣鴨（西東京）
川原怜也 八代東（熊本）
谷口拓人 高岡第一（富山）
藤井凌 水島工業（岡山）
緑川大輝 埼玉栄（埼玉）
辻孝介 名古屋経済大学市邨（愛知）
福崎泰平 坂出工業（香川）
游政昇 東大阪大学柏原（大阪）
棄権
甲斐聡一郎 新田（愛媛）
渡邉丞 浪岡（青森）
福間璃来 柳井商工（山口）
小川翔悟 日章学園（宮崎）
工藤蒼大 大谷室蘭（南北海道）
廣木俊輔 作新学院（栃木）
池端元哉 熊本学園大学付属（熊本）
服部輝正 福井工業大学附属福井（福井）
川窪拓 高知商業（高知）
三輪泰輝 聖ウルスラ学院英智（宮城）
神野圭吾 乙訓（京都）
一井亮太 水島工業（岡山）

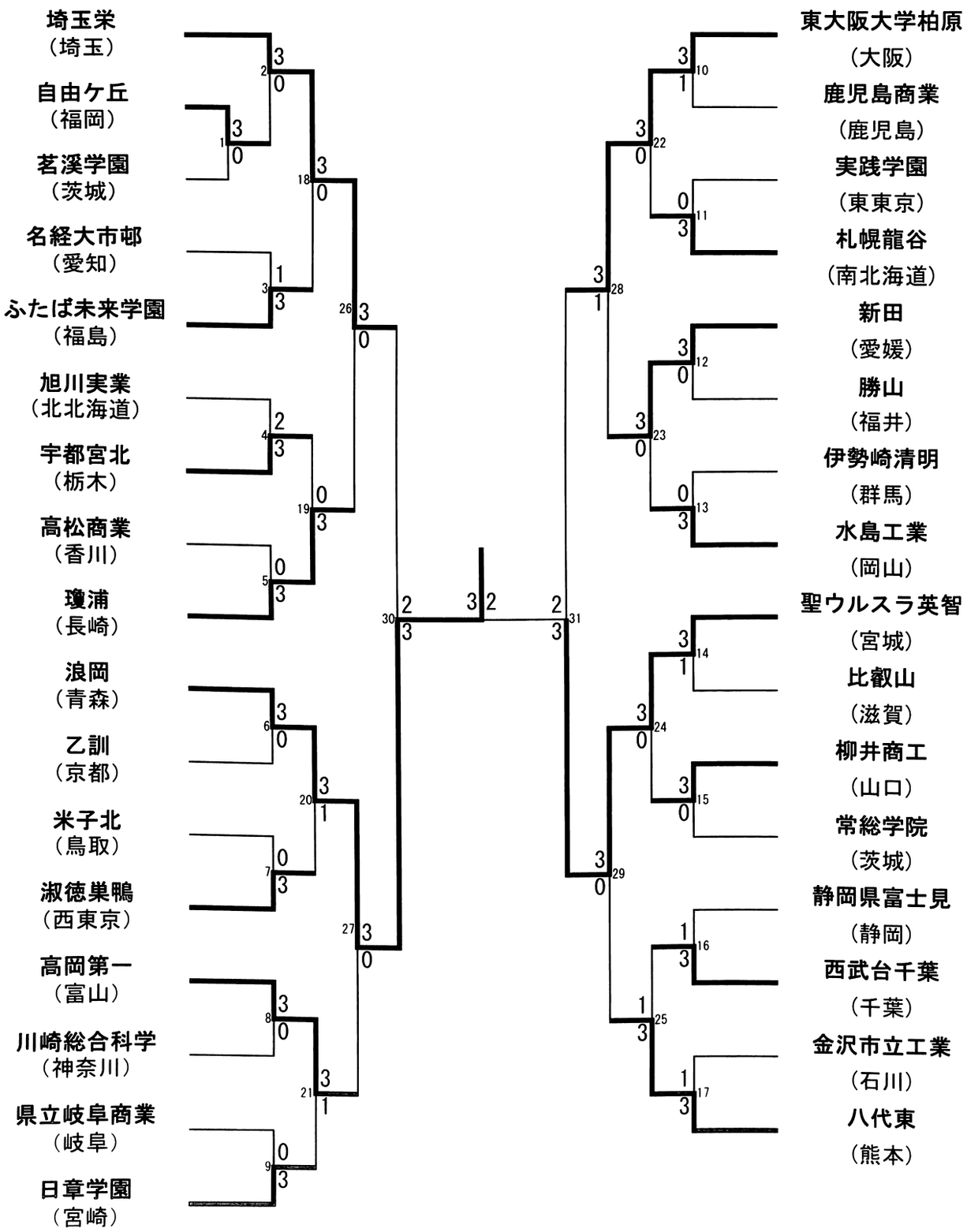
【女子シングルス】


1 水井ひらり ふたば未来学園 (福島)
2 芳賀愛美 佐賀女子 (佐賀)
3 舟橋奏帆 名古屋経済大学市邨 (愛知)
4 西岡奈都 新田 (愛媛)
5 内山真希 深川西 (北北海道)
6 日野智然 柳井商工 (山口)
7 櫻庭ほのか 京都外大西 (京都)
8 栗原あかり 西武台千葉 (千葉)
9 齋藤夏 埼玉栄 (埼玉)
10 水野会理 岐阜商業 (岐阜)
11 清田若葉 熊本信愛女学院 (熊本)
12 吉川真白 英明 (香川)
13 斉藤さくら 園田学園 (兵庫)
14 北濱英 金沢二水 (石川)
15 神山歩美 常盤木学園 (宮城)
16 善家百合子 山陽女子 (岡山)
17 佐川智香 作新学院 (栃木)
18 韮澤美羽 英明 (香川)
19 木村百伽 ふたば未来学園 (福島)
20 小西春七 九州国際大学付属 (福岡)
21 村田梨於 とわの森三愛 (南北海道)
22 釜谷知佳 金沢向陽 (石川)
23 堤愛花 彦根総合 (滋賀)
24 近藤七帆 新居浜東 (愛媛)
25 山本羽純 富山国際大学付属 (富山)
26 小方里羽 諫早商業 (長崎)
27 貴田那菜子 青森山田 (青森)
28 縣菜々美 岡崎城西 (愛知)
棄権
29 中原桜 倉敷中央 (岡山)
30 小松ゆい 土佐女子 (高知)
31 溝口なつめ 法政大学第二 (神奈川)
32 明地七海 京都外大西 (京都)

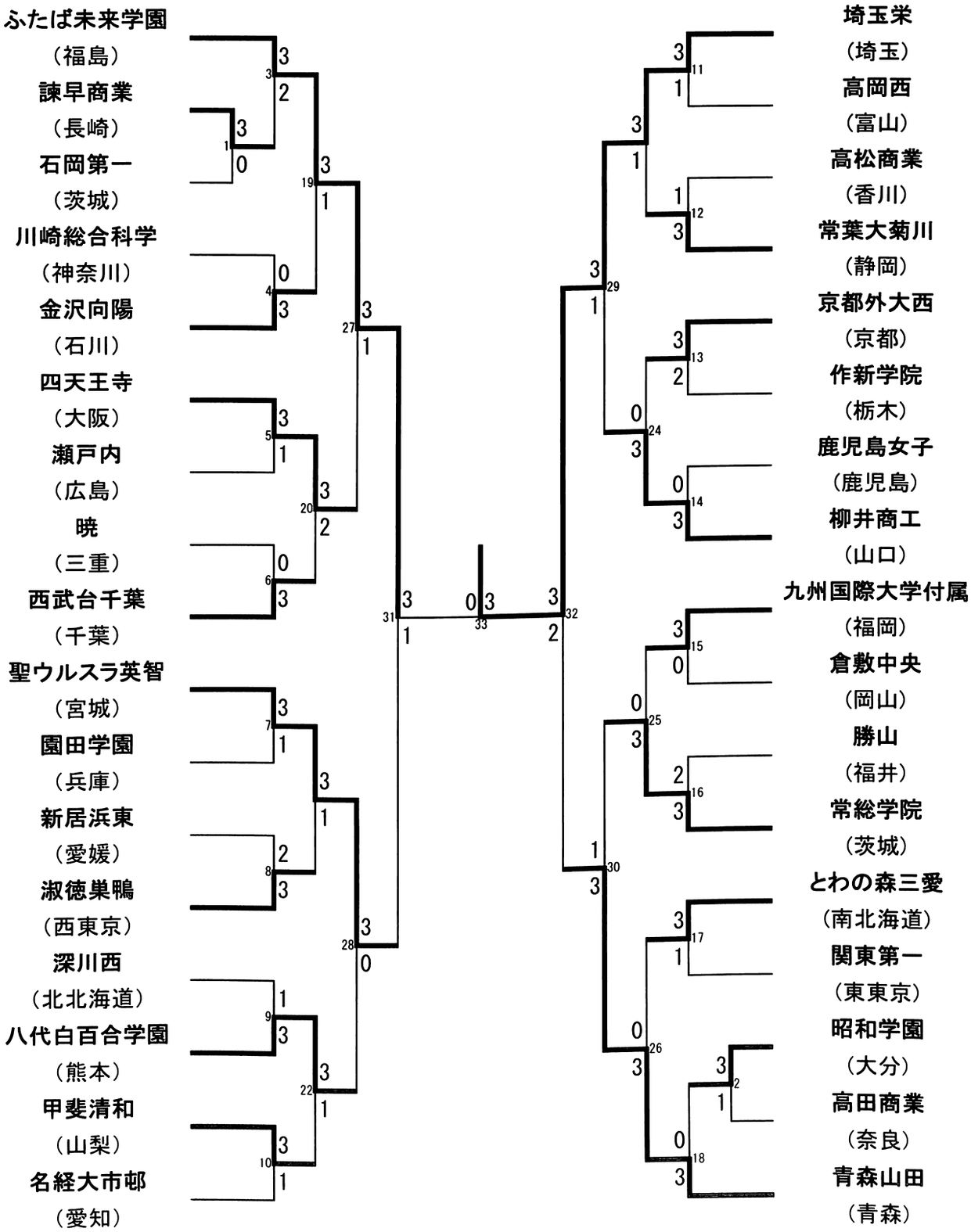
第47回全国高等学校選抜バドミントン大会（2018年度）

期　日▶平成31年３月23日（土）～27日（水）
会　場▶ひたちなか市総合運動公園総合体育館・笠松運動公園体育館

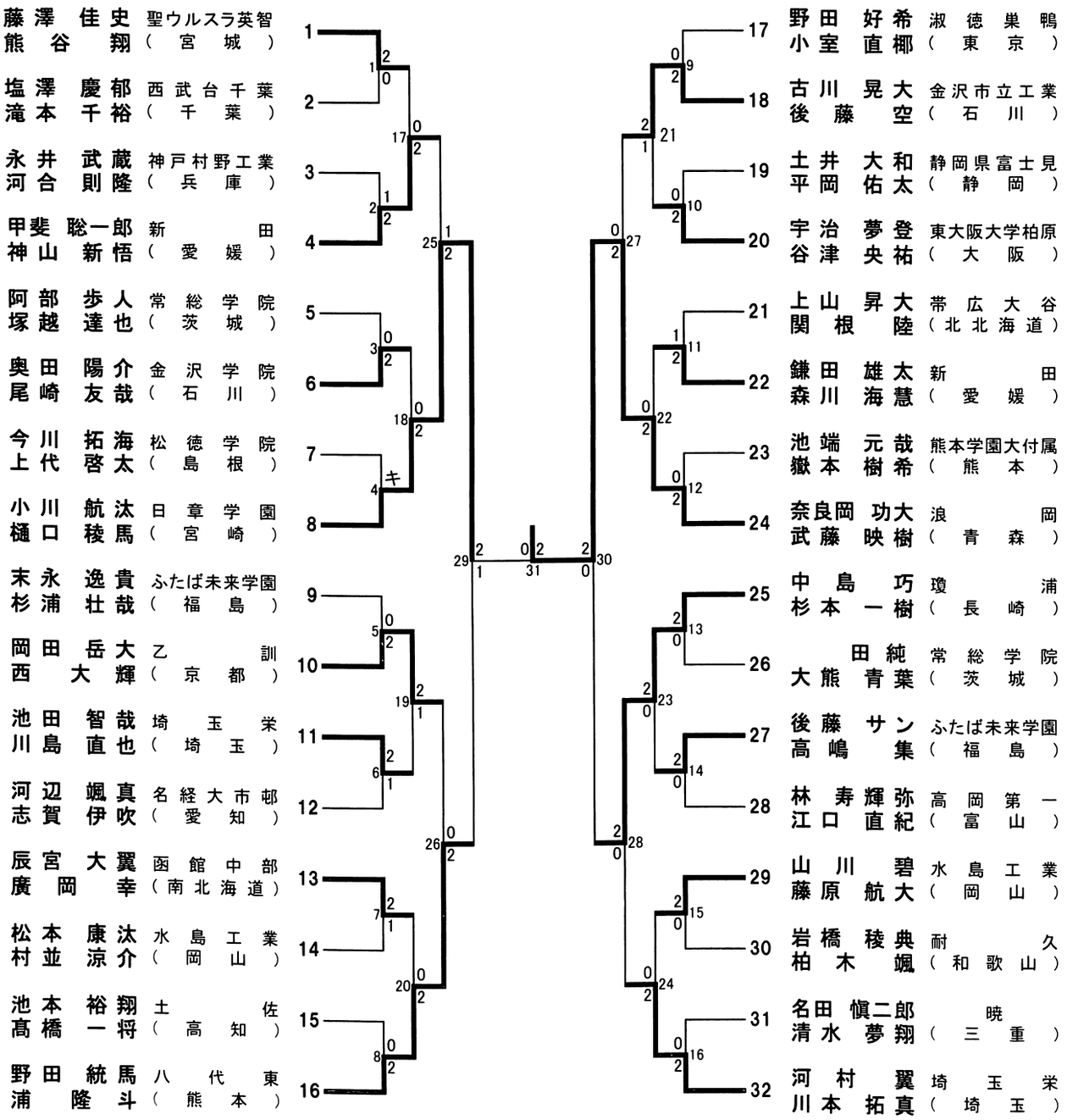
【 男 子 団 体 】



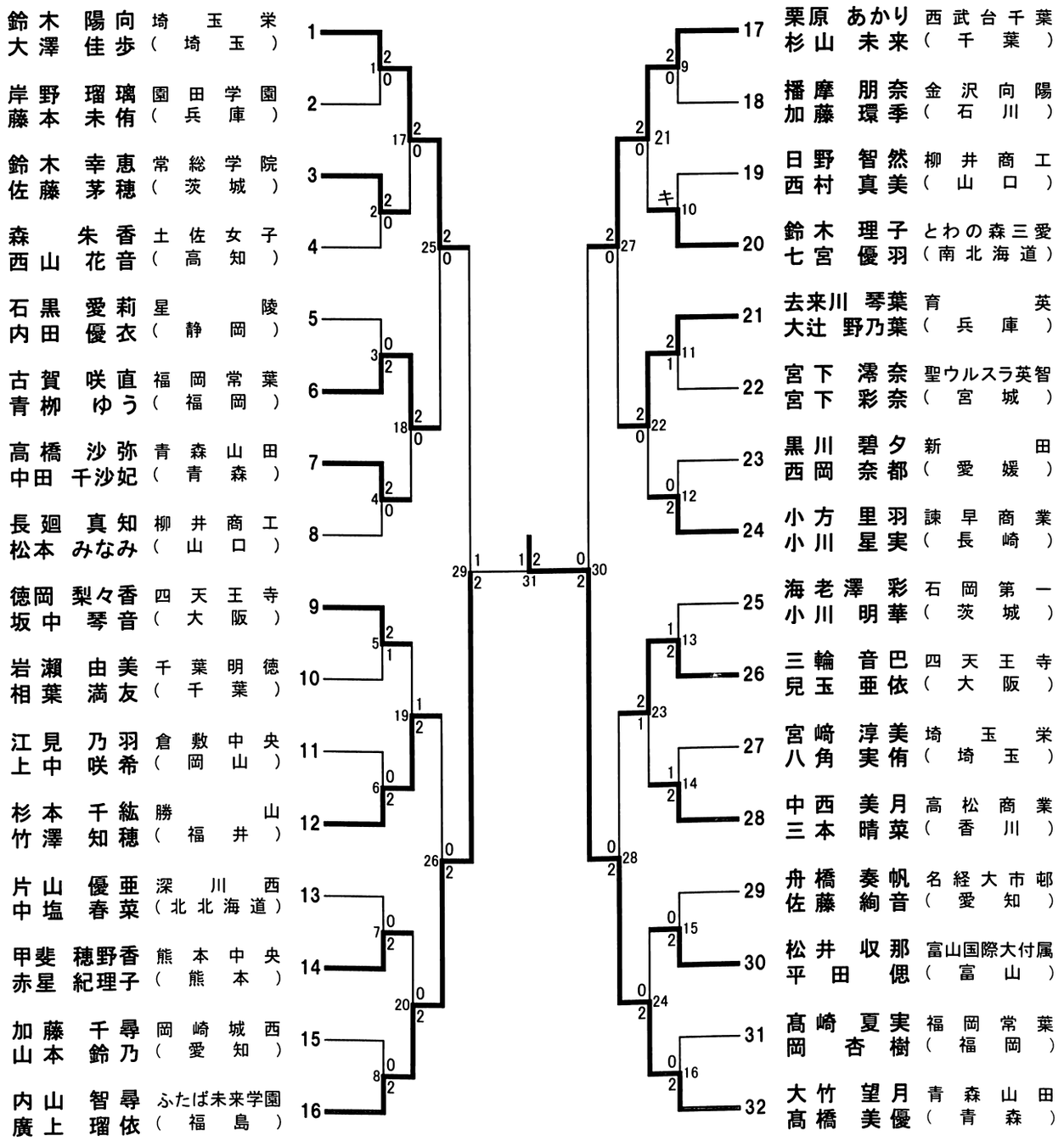
【女子団体】


ふたば未来学園
（福島）
諫早商業
（長崎）
石岡第一
（茨城）
川崎総合科学
（神奈川）
金沢向陽
（石川）
四天王寺
（大阪）
瀬戸内
（広島）
暁
（三重）
西武台千葉
（千葉）
聖ウルスラ英智
（宮城）
園田学園
（兵庫）
新居浜東
（愛媛）
淑徳巣鴨
（西東京）
深川西
（北北海道）
八代白百合学園
（熊本）
甲斐清和
（山梨）
名経大市邨
（愛知）
埼玉栄
（埼玉）
高岡西
（富山）
高松商業
（香川）
常葉大菊川
（静岡）
京都外大西
（京都）
作新学院
（栃木）
鹿児島女子
（鹿児島）
柳井商工
（山口）
九州国際大学付属
（福岡）
倉敷中央
（岡山）
勝山
（福井）
常総学院
（茨城）
とわの森三愛
（南北海道）
関東第一
（東東京）
昭和学園
（大分）
高田商業
（奈良）
青森山田
（青森）

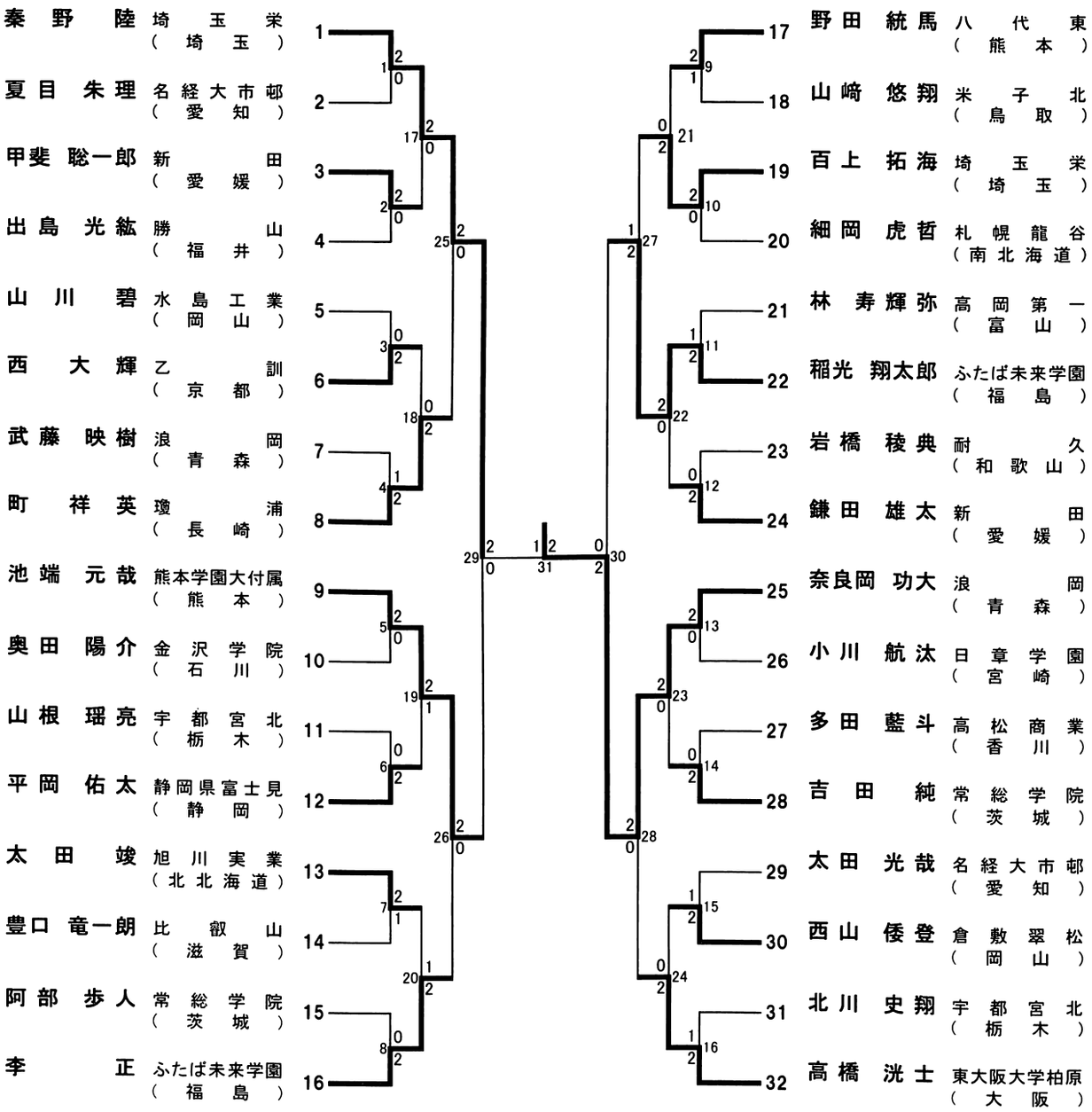
【男子ダブルス】


藤澤 佳史 聖ウルスラ英智
熊谷 翔 （宮城）
塩澤 慶郁 西武台千葉
滝本 千裕 （千葉）
永井 武蔵 神戸村野工業
河合 則隆 （兵庫）
甲斐 聡一郎 新田
神山 新悟 （愛媛）
阿部 歩人 常総学院
塚越 達也 （茨城）
奥田 陽介 金沢学院
尾崎 友哉 （石川）
今川 拓海 松徳学院
上代 啓太 （島根）
小川 航汰 日章学園
樋口 稜馬 （宮崎）
末永 逸貴 ふたば未来学園
杉浦 壮哉 （福島）
岡田 岳大 乙訓
西 大輝 （京都）
池田 智哉 埼玉栄
川島 直也 （埼玉）
河辺 颯真 名経大市邨
志賀 伊吹 （愛知）
辰宮 大翼 函館中部
廣岡 幸 （南北海道）
松本 康汰 水島工業
村並 涼介 （岡山）
池本 裕翔 土佐
髙橋 一将 （高知）
野田 統馬 八代東
浦 隆斗 （熊本）
野田 好希 淑徳巣鴨
小室 直椰 （東京）
古川 晃大 金沢市立工業
後藤 空 （石川）
土井 大和 静岡県富士見
平岡 佑太 （静岡）
宇治 夢登 東大阪大学柏原
谷津 央祐 （大阪）
上山 昇大 帯広大谷
関根 陸 （北北海道）
鎌田 雄太 新田
森川 海慧 （愛媛）
池端 元哉 熊本学園大付属
嶽本 樹希 （熊本）
奈良岡 功大 浪岡
武藤 映樹 （青森）
中島 巧瓊 浦
杉本 一樹 （長崎）
田 純 常総学院
大熊 青葉 （茨城）
後藤 サン ふたば未来学園
高嶋 集 （福島）
林 寿輝弥 高岡第一
江口 直紀 （富山）
山川 碧 水島工業
藤原 航大 （岡山）
岩橋 稜典 耐久
柏木 颯 （和歌山）
名田 愼二郎 暁
清水 夢翔 （三重）
河村 翼 埼玉栄
川本 拓真 （埼玉）

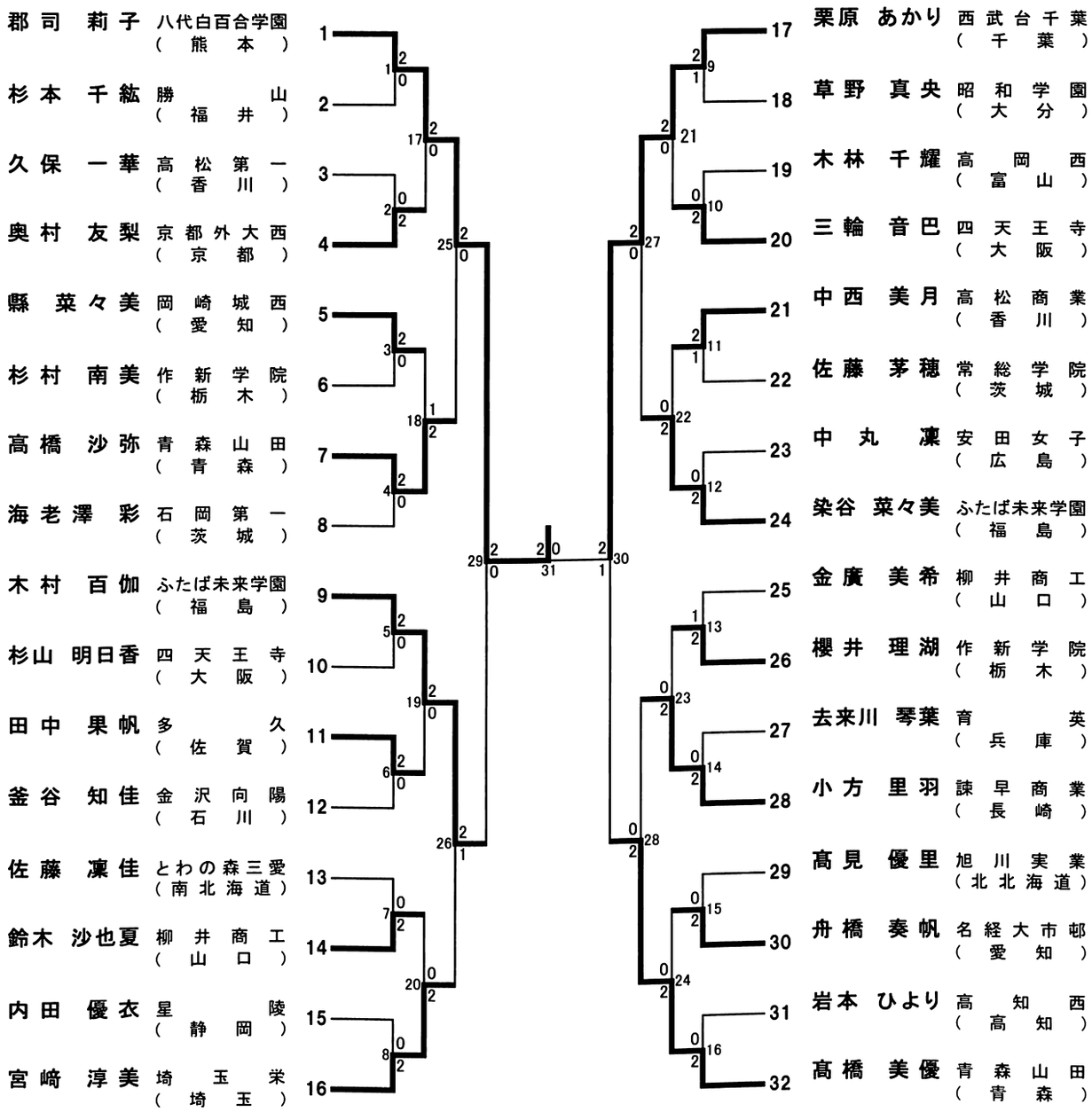
【女子ダブルス】


1 鈴木 陽向 埼玉栄
2 大澤 佳歩 (埼玉)
3 岸野 瑠璃 園田学園
4 藤本 未侑 (兵庫)
5 鈴木 幸恵 常総学院
6 佐藤 茅穂 (茨城)
7 森 朱香 土佐女子
8 西山 花音 (高知)
9 石黒 愛莉 星陵
10 内田 優衣 (静岡)
11 古賀 咲直 福岡常葉
12 青柳 ゆう (福岡)
13 高橋 沙弥 青森山田
14 中田 千沙妃 (青森)
15 長廻 真知 柳井商工
16 松本 みなみ (山口)
17 栗原 あかり 西武台千葉
18 杉山 未来 (千葉)
19 播摩 朋奈 金沢向陽
20 加藤 環季 (石川)
21 日野 智然 柳井商工
22 西村 真美 (山口)
23 鈴木 理子 とわの森三愛
24 七宮 優羽 (南北海道)
25 去来川 琴葉 育英
26 大辻 野乃葉 (兵庫)
27 宮下 澪奈 聖ウルスラ英智
28 宮下 彩奈 (宮城)
29 黒川 碧夕 新田
30 西岡 奈都 (愛媛)
31 小方 里羽 諫早商業
32 小川 星実 (長崎)
33 海老澤 彩 石岡第一
34 小川 明華 (茨城)
35 三輪 音巴 四天王寺
36 兒玉 亜依 (大阪)
37 宮崎 淳美 埼玉栄
38 八角 実侑 (埼玉)
39 中西 美月 高松商業
40 三本 晴菜 (香川)
41 舟橋 奏帆 名経大市邨
42 佐藤 絢音 (愛知)
43 松井 収那 富山国際大付属
44 平田 偲 (富山)
45 髙崎 夏実 福岡常葉
46 岡 杏樹 (福岡)
47 大竹 望月 青森山田
48 髙橋 美優 (青森)

【男子シングルス】


1 秦野 陸 埼玉栄（埼玉）
2 夏目 朱理 名経大市邨（愛知）
3 甲斐 聡一郎 新田（愛媛）
4 出島 光紘 勝山（福井）
5 山川 碧 水島工業（岡山）
6 西 大輝 乙訓（京都）
7 武藤 映樹 浪岡（青森）
8 町 祥英 瓊浦（長崎）
9 池端 元哉 熊本学園大付属（熊本）
10 奥田 陽介 金沢学院（石川）
11 山根 瑠亮 宇都宮北（栃木）
12 平岡 佑太 静岡県富士見（静岡）
13 太田 竣 旭川実業（北北海道）
14 豊口 竜一朗 比叡山（滋賀）
15 阿部 歩人 常総学院（茨城）
16 李 正 ふたば未来学園（福島）
17 野田 統馬 八代東（熊本）
18 山崎 悠翔 米子北（鳥取）
19 百上 拓海 埼玉栄（埼玉）
20 細岡 虎哲 札幌龍谷（南北海道）
21 林 寿輝弥 高岡第一（富山）
22 稲光 翔太郎 ふたば未来学園（福島）
23 岩橋 稜典 耐久（和歌山）
24 鎌田 雄太 新田（愛媛）
25 奈良岡 功大 浪岡（青森）
26 小川 航汰 日章学園（宮崎）
27 多田 藍斗 高松商業（香川）
28 吉田 純 常総学院（茨城）
29 太田 光哉 名経大市邨（愛知）
30 西山 倭登 倉敷翠松（岡山）
31 北川 史翔 宇都宮北（栃木）
32 高橋 洸士 東大阪大学柏原（大阪）

【女子シングルス】


1 郡司 莉子 八代白百合学園 (熊本)
2 杉本 千紘 勝山 (福井)
3 久保 一華 高松第一 (香川)
4 奥村 友梨 京都外大西 (京都)
5 縣 菜々美 岡崎城西 (愛知)
6 杉村 南美 作新学院 (栃木)
7 高橋 沙弥 青森山田 (青森)
8 海老澤 彩 石岡第一 (茨城)
9 木村 百伽 ふたば未来学園 (福島)
10 杉山 明日香 四天王寺 (大阪)
11 田中 果帆 多久 (佐賀)
12 釜谷 知佳 金沢向陽 (石川)
13 佐藤 凜佳 とわの森三愛 (南北海道)
14 鈴木 沙也夏 柳井商工 (山口)
15 内田 優衣 星陵 (静岡)
16 宮崎 淳美 埼玉栄 (埼玉)
17 栗原 あかり 西武台千葉 (千葉)
18 草野 真央 昭和学園 (大分)
19 木林 千耀 高岡西 (富山)
20 三輪 音巴 四天王寺 (大阪)
21 中西 美月 高松商業 (香川)
22 佐藤 茅穂 常総学院 (茨城)
23 中丸 凜 安田女子 (広島)
24 染谷 菜々美 ふたば未来学園 (福島)
25 金廣 美希 柳井商工 (山口)
26 櫻井 理湖 作新学院 (栃木)
27 去来川 琴葉 育英 (兵庫)
28 小方 里羽 諫早商業 (長崎)
29 高見 優里 旭川実業 (北北海道)
30 舟橋 奏帆 名経大市邨 (愛知)
31 岩本 ひより 高知西 (高知)
32 髙橋 美優 青森山田 (青森)

全国高等学校選抜バドミントン大会　入賞校・入賞者一覧

回数	種別	1位	2位	3位	
第38回 2009年度(平成21年度) 埼玉県熊谷市 熊谷スポーツ文化公園 3月25日～28日	男子団体	埼玉栄 (埼玉)	岡崎城西 (愛知)	東大阪大学柏原 (大阪)	高松第一 (香川)
	女子団体	聖ウルスラ学院英智 (宮城)	樟蔭東 (大阪)	埼玉栄 (埼玉)	青森山田 (青森)
	男複	竹内　宏気・竹内　義憲 (埼玉栄・埼玉)	大越　泉・古賀　輝 (埼玉栄・埼玉)	白川　拓磨・西條　賢也 (帯広大谷・北北海道)	青森　司・南　淳也 (金沢市立工業・石川)
	女複	田中　志穂・市丸　美里 (青森山田・青森)	髙橋沙也加・古西佳那子 (高岡西・富山)	庄山　栞・渡辺　梨沙 (札幌静修・南北海道)	脇野　利奈・今野あゆみ (聖ウルスラ学院英智・宮城)
	男単	竹内　宏気 (埼玉栄・埼玉)	和田　治久 (埼玉栄・埼玉)	山本　皓策 (札幌第一・南北海道)	染木　俊寛 (八代東・熊本)
	女単	髙橋沙也加 (高岡西・富山)	中村　梨沙 (埼玉栄・埼玉)	下田菜都美 (樟蔭東・大阪)	井田　詩織 (鳥取敬愛・鳥取)
第39回 2010年度(平成22年度) 和歌山県和歌山市 和歌山ビッグホエール 3月25日～28日	男子団体	東日本大震災のため大会中止			
	女子団体				
	男複				
	女複				
	男単				
	女単				
第40回 2011年度(平成23年度) 広島県広島市 広島県立総合体育館 グリーンアリーナ 3月24日～27日	男子団体	埼玉栄 (埼玉)	比叡山 (滋賀)	富岡 (福島)	東奥学園 (青森)
	女子団体	九州国際大学付属 (福岡)	青森山田 (青森)	県立岐阜商業 (岐阜)	埼玉栄 (埼玉)
	男複	第40回記念大会のため、個人戦は実施せず			
	女複				
	男単				
	女単				
第41回 2012年度(平成24年度) 福岡県北九州市 北九州市立総合体育館 3月25日～28日	男子団体	埼玉栄 (埼玉)	富岡 (福島)	比叡山 (滋賀)	東大阪大学柏原 (大阪)
	女子団体	富岡 (福島)	青森山田 (青森)	九州国際大学付属 (福岡)	日本橋女学館 (東京)
	男複	保木　卓朗・小林　優吾 (富岡・福島)	下農　走・常山　幹太 (東大阪大学柏原・大阪)	川端　祥・大関　修平 (埼玉栄・埼玉)	原口　拓己・成富　勇太 (自由ケ丘・福岡)
	女複	松田　蒼・金浦　紗樹 (富山国際大学付属・富山)	松本　麻佑・長瀬　瑞奈 (とわの森三愛・南北海道)	中西　貴映・清水　望 (大宮東・埼玉)	星　千智・青森　朱里 (金沢向陽・石川)
	男単	小野寺裕介 (埼玉栄・埼玉)	馬場　祐生 (九州国際大学付属・福岡)	清水　智彦 (比叡山・滋賀)	下農　走 (東大阪大学柏原・大阪)
	女単	星　千智 (金沢向陽・石川)	永田　麗 (青森山田・青森)	森　みず穂 (四天王寺・大阪)	松本　麻佑 (とわの森三愛・南北海道)
第42回 2013年度(平成25年度) 長野県松本市 松本市総合体育館 信州スカイパーク体育館 3月20日～24日	男子団体	東大阪大学柏原 (大阪)	富岡 (福島)	埼玉栄 (埼玉)	青森山田 (青森)
	女子団体	富岡 (福島)	青森山田 (青森)	埼玉栄 (埼玉)	京都外大西 (京都)
	男複	渡辺　勇大・王橋　健也 (富岡・福島)	下農　走・常山　幹太 (東大阪大学柏原・大阪)	西方　優馬・下川　大樹 (埼玉栄・埼玉)	森　公平・山崎　慎也 (西武台千葉・千葉)
	女複	大堀　彩・東野　有紗 (富岡・福島)	荒木　茜羽・志田　千陽 (青森山田・青森)	油上　芽恵・下隆ひかる (凰川学院・兵庫)	山口　茜・鈴木　咲貴 (勝山・福井)
	男単	常山　幹太 (東大阪大学柏原・大阪)	古賀　穂 (富岡・福島)	塚本　光希 (札幌第一・南北海道)	下川　大樹 (埼玉栄・埼玉)
	女単	山口　茜 (勝山・福井)	仲井由希乃 (日本橋女学館・東京)	荒木　萌恵 (西武台千葉・千葉)	大堀　彩 (富岡・福島)

回数	種別	1位	2位	3位	
第43回 2014年度（平成26年度） 北海道札幌市 北海道立総合体育センター 北海きたえーる 3月24日～28日	男子団体	東大阪大学柏原 （大阪）	富岡 （福島）	聖ウルスラ学院英智 （宮城）	埼玉栄 （埼玉）
	女子団体	青森山田 （青森）	富岡 （福島）	埼玉栄 （埼玉）	聖ウルスラ学院英智 （宮城）
	男複	渡辺　勇大・三橋　健也 （富岡・福島）	小川　桂汰・森岡　秀斗 （埼玉栄・埼玉）	春成　星哉・森園　周冬 （日章学園・宮崎）	鍵谷　由輝・谷口　雄祐 （勝山・福井）
	女複	山口　茜・鈴木　咲貴 （勝山・福井）	徳能あすか・保原　彩夏 （聖ウルスラ学院英智・宮城）	曽根　夏姫・安田　美空 （青森山田・青森）	池内　萌絵・三島　由里 （松徳学院・島根）
	男単	渡辺　勇大 （富岡・福島）	小倉　由嵩 （東大阪大学柏原・大阪）	西野　勝志 （新田・愛媛）	小川　桂汰 （埼玉栄・埼玉）
	女単	齋藤　栞 （埼玉栄・埼玉）	荒木　萌恵 （西武台千葉・千葉）	仁平　菜月 （富岡・福島）	山口　茜 （勝山・福井）
第44回 2015年度（平成27年度） 山形県鶴岡市 鶴岡市小真木原総合体育館 鶴岡市櫛引スポーツセンター体育館 3月24日～28日	男子団体	埼玉栄 （埼玉）	富岡・ふたば未来学園 （福島）	聖ウルスラ学院英智 （宮城）	自由ケ丘 （福岡）
	女子団体	青森山田 （青森）	富岡・ふたば未来学園 （福島）	九州国際大学付属 （福岡）	金沢向陽 （石川）
	男複	岡村　洋輝・渡邉　航貴 （埼玉栄・埼玉）	金子　真大・久保田友之祐 （富岡・ふたば未来学園・福島）	山下　恭平・井上　健太 （水島工業・岡山）	伏見　勇真・岡田　竜征 （香川中央・香川）
	女複	曽根　夏姫・二村ひとみ （青森山田・青森）	川島　美南・上杉　夏美 （埼玉栄・埼玉）	松山　奈未・縄田　佳子 （九州国際大学付属・福岡）	志波　寿奈・古賀菜々子 （佐賀女子・佐賀）
	男単	渡邉　航貴 （埼玉栄・埼玉）	山下　恭平 （水島工業・岡山）	藤原　圭祐 （比叡山・滋賀）	友金利玖斗 （神戸村野工業・兵庫）
	女単	海老原詩織 （作新学院・栃木）	仁平　菜月 （富岡・ふたば未来学園・福島）	藤原あすか （青森山田・青森）	香山　未帆 （倉敷中央・岡山）
第45回 2016年度（平成28年度） 愛知県豊田市・岡崎市 豊田市総合体育館 「スカイホール豊田」 岡崎中央総合公園体育館 3月22日～26日	男子団体	ふたば未来学園 （福島）	埼玉栄 （埼玉）	八代東 （熊本）	日章学園 （宮崎）
	女子団体	ふたば未来学園 （福島）	埼玉栄 （埼玉）	作新学院 （栃木）	九州国際大学付属 （福岡）
	男複	金子　真大・久保田友之祐 （ふたば未来学園・福島）	中山　裕貴・緑川　大輝 （埼玉栄・埼玉）	川本虎之介・佐野　大輔 （東大阪大柏原・大阪）	田中　汐士・森田新太郎 （八代東・熊本）
	女複	森　沙耶・石村　亜美 （青森山田・青森）	吉田　瑠実・齋藤　夏 （埼玉栄・埼玉）	岩永　鈴・水津　優衣 （柳井商工・山口）	髙橋明日香・由良なぎさ （ふたば未来学園・福島）
	男単	大林　拓真 （埼玉栄・埼玉）	金子　真大 （ふたば未来学園・福島）	嶺岸　洸 （聖ウルスラ学院英智・宮城）	村本　竜馬 （瓊浦・長崎）
	女単	鈴木ゆうき （聖ウルスラ学院英智・宮城）	林　樂 （埼玉栄・埼玉）	岩永　鈴 （柳井商工・山口）	明地　七海 （京都外大西・京都）
第46回 2017年度（平成29年度） 愛媛県松山市 愛媛県武道館 松山市コミュニティセンター体育館 3月24日～28日	男子団体	埼玉栄 （埼玉）	瓊浦 （長崎）	八代東 （熊本）	旭川実業 （北北海道）
	女子団体	埼玉栄 （埼玉）	青森山田 （青森）	ふたば未来学園 （福島）	西武台千葉 （千葉）
	男複	中山　裕貴・緑川　大輝 （埼玉栄・埼玉）	武井　優太・遠藤　彩斗 （埼玉栄・埼玉）	樋口　太一・小川　翔悟 （日章学園・宮崎）	農口　拓弥・服部　輝正 （福井工業大学附属福井・福井）
	女複	水井ひらり・内山　智尋 （ふたば未来学園・福島）	大石　悠生・木村　早希 （青森山田・青森）	内山　真希・佐藤　萌 （深川西・北北海道）	明地　七海・小野　美晴 （京都外大西・京都）
	男単	奈良岡功大 （浪岡・青森）	緑川　大輝 （埼玉栄・埼玉）	藤井　凌 （水島工業・岡山）	井　亮太 （水島工業・岡山）
	女単	水井ひらり （ふたば未来学園・福島）	小方　里羽 （諫早商業・長崎）	齋藤　夏 （埼玉栄・埼玉）	佐川　智香 （作新学院・栃木）
第47回 2018年度（平成30年度） 茨城県ひたちなか市 ひたちなか市総合運動公園 総合体育館 笠松運動公園体育館 3月23日～27日	男子団体	浪岡 （青森）	聖ウルスラ学院英智 （宮城）	埼玉栄 （埼玉）	東大阪大学柏原 （大阪）
	女子団体	埼玉栄 （埼玉）	ふたば未来学園 （福島）	青森山田 （青森）	聖ウルスラ学院英智 （宮城）
	男複	奈良岡功大・武藤　映樹 （浪岡・青森）	小川　航汰・樋口　稜馬 （日章学園・宮崎）	中島　巧・杉本　一樹 （瓊浦・長崎）	野田　統馬・浦　隆斗 （八代東・熊本）
	女複	大竹　望月・髙橋　美優 （青森山田・青森）	内山　智尋・廣上　瑠依 （ふたば未来学園・福島）	栗原あかり・杉山　未来 （西武台千葉・千葉）	鈴木　陽向・大澤　佳歩 （埼玉栄・埼玉）
	男単	奈良岡功大 （浪岡・青森）	泰野　陸 （埼玉栄・埼玉）	稲光翔太郎 （ふたば未来学園・福島）	池端　元哉 （熊本学園大付属・熊本）
	女単	郡司　莉子 （八代白百合学園・熊本）	栗原あかり （西武台千葉・千葉）	木村　百伽 （ふたば未来学園・福島）	髙橋　美優 （青森山田・青森）

全国高等学校選抜バドミントン大会　男子学校対抗出場校一覧

都道府県 学校名	年度	昭47	昭48	昭49	昭50	昭51	昭52	昭53	昭54	昭55	昭56	昭57	昭58	昭59	昭60	昭61	昭62	昭63	平1	平2	平3	平4	平5	平6	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
	回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
	開催地	栃木県	東京都	東京都	群馬県	福島県	奈良県	東京都	栃木県	滋賀県	群馬県	島根県	栃木県	石川県	沖縄県	北海道	兵庫県	栃木県	東京都	富山県	栃木県	新潟県	愛知県	埼玉県	北海道	京都府	東京都	岩手県	岐阜県	滋賀県	長崎県	静岡県	山口県	愛媛県	福井県	北海道	大分県	新潟県	埼玉県	和歌山県	広島県	福岡県	長野県	北海道	山形県	愛知県	愛媛県	茨城県
	出場数	0	0	10	10	10	10	10	10	10	16	16	16	16	16	20	20	21	20	21	49	21	21	20	20	49	20	21	21	21	49	21	21	21	21	49	21	21	20	21	49	21	33	32	33	50	33	33
北海道	5			○	○	○	○	○																																								
北北海道																																																	
旭川工業	14																○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○																		
旭川実業	14																							○								○		○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○			○	○
帯広大谷	3																															○			○											○		
帯広緑陽	2													○		○																																		
帯広柏葉	1								○																																								
滝川	1										○																																						
滝川工業	1															○																																	
江陵	1																																													○			
南北海道																																																
札幌第一	34									○			○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		
札幌龍谷学園	3																																										○		○			○
札幌新川	1																								○																								
北海学園札幌	1																																		○													
北海	1																																														○	
青森	1				○																																											
青森山田	11																												○	○	○		○	○	○			○	○			○	○			○			
東奥義塾	10										○	○	○	○	○	○					○	○			○	○	○																				
東奥学園	5																															○			○					○	○			○				
弘前工業	3																○	○							○																								
浪岡	3																																													○	○	○
弘前実業	1									○																																						
岩手	0																																															
前沢	9																			○						○		○		○				○	○			○	○						○		
盛岡大学附属	1																											○																			
宮城	1			○																																												
宮城県工業	16											○	○			○			○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○			○			○												
聖ウルスラ学院英智	8																																							○	○				○	○	○	○	○	○
仙台商業	2																													○	○																	
秋田	0																																														
秋田工業	3																																		○						○						
横手工業	2													○																○																		
秋田経法大附属(秋田経大付属)	1																			○																												
国学館(敬愛学園)	1																									○																						
山形	3						○	○																																								
日大山形	9								○		○				○		○	○	○	○	○					○																						
鶴岡工業	5																											○		○					○										○			
山本学園	2																																								○				○			
福島	1				○																																										
富岡(ふたば未来学園)	11																																						○	○			○						
帝京安積	6																						○							○	○																	
会津工業	4																			○					○		○	○																				
茨城	2																																															
常総学院	26													○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○				○								○	○			○	○				
茗渓学園	3																													○																		
石岡第一	1													○																																		
藤代	1																																															
栃木	1																																															
作新学院 作新学院高等部	16																																														
宇都宮南	4																																														
宇都宮工業	2																																														
今市	1																																														

都道府県 学校名	年度	昭47	昭48	昭49	昭50	昭51	昭52	昭53	昭54	昭55	昭56	昭57	昭58	昭59	昭60	昭61	昭62	昭63	平1	平2	平3	平4	平5	平6	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
	回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
	開催地	栃木県	東京都	東京都	群馬県	福島県	奈良県	東京都	栃木県	滋賀県	群馬県	島根県	栃木県	石川県	沖縄県	北海道	兵庫県	栃木県	東京都	富山県	栃木県	新潟県	愛知県	埼玉県	北海道	京都府	東京都	岩手県	岐阜県	滋賀県	長崎県	静岡県	山口県	愛媛県	福井県	北海道	大分県	新潟県	埼玉県	和歌山県	広島県	福岡県	長野県	北海道	山形県	愛知県	愛媛県	茨城県
	ゴ印数	0	0	10	10	10	10	10	10	10	16	16	16	16	16	20	20	21	20	21	49	21	21	20	20	49	20	21	21	21	49	21	21	21	21	49	21	21	20	21	49	21	33	32	33	50	33	33
宇都宮北	1																																													○	
群馬	1				○																																										
前橋東	9																	○			○	○			○	○	○			○	○			○														
桐生市立商業	3									○							○																													○		
伊勢崎清明	4																																				○			○	○						○	
太田市立商業	2																																		○			○									
埼玉	1					○																																									
埼玉栄	20																											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上尾	12									○				○	○		○		○	○	○		○	○	○	○	○																					
越谷南	5									○								○				○		○				○																				
小松原	4											○	○	○																									○									
千葉	0																																														
千葉敬愛	9																		○	○	○					○		○		○					○	○					○							
西武台千葉	7																																				○					○	○		○	○	○	○
中央学院	1																																						○								
東京	2			○				○																																							
東東京																																															
関東第一	27																		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																		
実践学園	3																																												○	○	○
西東京																																														
淑徳巣鴨(巣鴨女子)	7																										○																		○	○	○	○	○	○
日大鶴ヶ丘	3																○	○	○																													
桐朋	1															○																																
神奈川	1				○																																										
川崎総合科学(川崎市立工業)	12																		○			○		○	○	○				○	○			○	○	○	○								○		○
横浜	8																										○	○		○								○		○	○	○	○	○			
日本大学	5															○	○	○		○	○																											
法政大学第二	3																					○																		○			○						
藤沢翔陵	3																																○	○	○												
横浜立野	1							○																																							
元石川	1																											○																			
鵠沼	1																																												○		
山梨	0																																														
日川	5									○		○	○			○										○																						
甲斐清和	4																																								○			○	○		○		
市立甲府商業	2																				○									○																	
都留	1																																		○												
新潟	0																																														
北越（北越商業）	10													○							○	○				○	○			○				○				○		○						○		
燕	1										○																																				
加茂暁星	1																					○																										
長岡工業	1																																					○										
富山	1						○																																								
高岡第一	19								○											○					○	○				○					○	○			○	○	○	○					○	○
高岡工芸	7															○		○	○	○	○								○								○										
富山商業	3											○											○	○																								
不二越工業	2																○														○																
高岡商業	1														○																																
石川	3			○	○																																										
金沢市立工業	29								○			○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○																					
金沢二水	1																			○																											
石川県立工業	1																																													

都道府県 学校名	年度	昭47	昭48	昭49	昭50	昭51	昭52	昭53	昭54	昭55	昭56	昭57	昭58	昭59	昭60	昭61	昭62	昭63	平1	平2	平3	平4	平5	平6	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
	回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
	開催地	栃木県	東京都	東京都	群馬県	福島県	奈良県	東京都	栃木県	滋賀県	群馬県	島根県	栃木県	石川県	沖縄県	北海道	兵庫県	栃木県	東京都	富山県	栃木県	新潟県	愛知県	埼玉県	北海道	京都府	東京都	岩手県	岐阜県	滋賀県	長崎県	静岡県	山口県	愛媛県	福井県	北海道	大分県	新潟県	埼玉県	和歌山県	広島県	福岡県	長野県	北海道	山形県	愛知県	愛媛県	茨城県
	出場数	0	0	10	10	10	10	10	10	10	16	16	16	16	16	20	20	21	20	21	49	21	21	20	20	49	20	21	21	21	49	21	21	21	21	49	21	21	20	21	49	21	33	32	33	50	33	33
福井	1							○																																								
勝山	17													○				○	○	○	○					○				○				○	○	○				○	○			○	○	○		○
足羽	7										○		○																○	○		○	○		○												
福井工業大附属	2																																												○	○		
長野	0																																															
長野商業	4																													○					○										○	○	
中野実業	2																			○	○																											
須坂	1																								○																							
大町北	1																																							○							
蘇南	1																																									○					
松本県ケ丘	1																																									○					
岐阜	1							○																																							
県立岐阜商業	18																	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○			○	○					○	○			○				○
岐阜工業	1																												○																		
大垣工業	1																																												○		
静岡	0																																														
星陵	9																									○				○		○			○		○	○	○			○	○				
伊東	6										○		○		○																											○			○	○		
伊東商業	4													○		○	○			○																												
沼津学園	2																				○				○																							
沼津商業	1																															○																
富士見	2																																													○	○	
愛知	0																																														
岡崎城西	14																○	○		○	○		○		○			○	○				○	○				○	○						○	○		
名経大市邨	10																																		○		○	○	○		○	○	○	○		○	○	○
東海	3											○		○									○																									
大府	2																													○		○																
愛知工大名電(名古屋電気工業)	1												○																																			
大府東	1														○																																	
三重	4			○	○	○	○																																									
暁	10																							○		○	○	○	○					○	○	○					○			○				
伊勢工業	8								○	○	○	○				○					○	○	○																									
皇学館	4																																													○	○	○	○
久居	4																													○	○	○	○															
鳥羽	1																			○																												
滋賀	2				○	○																																									
比叡山	39								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
京都	0																																														
京都両洋	3																									○				○												○					
西乙訓	2																				○					○																					
桂	1																																		○												
乙訓	2																																												○		○	
大阪	0																																														
柏原(東大阪大学柏原)	23													○			○		○										○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○		○	○
此花学院	3																	○			○							○																				
大阪学芸（成器）	2																								○	○																						
大阪桐蔭	1																				○																											
兵庫	0																																														
神戸村野工業	8																																														
三田学園	2																																														
市立尼崎	1																																														
加古川東	1																																														
奈良	4																																														
奈良一条	10																																														
奈良大学付属(止強)	3																																													

都道府県 学校名	年度	昭47	昭48	昭49	昭50	昭51	昭52	昭53	昭54	昭55	昭56	昭57	昭58	昭59	昭60	昭61	昭62	昭63	平1	平2	平3	平4	平5	平6	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
	回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
	開催地	栃木県	東京都	東京都	群馬県	福島県	奈良県	東京都	栃木県	滋賀県	群馬県	島根県	栃木県	石川県	沖縄県	北海道	兵庫県	栃木県	東京都	富山県	栃木県	新潟県	愛知県	埼玉県	北海道	京都府	東京都	岩手県	岐阜県	滋賀県	長崎県	静岡県	山口県	愛媛県	福井県	北海道	大分県	新潟県	埼玉県	和歌山県	広島県	福岡県	長野県	北海道	山形県	愛知県	愛媛県	茨城県
	出場数	0	0	10	10	10	10	10	10	10	16	16	16	16	16	20	20	21	20	21	49	21	21	20	20	49	20	21	21	21	49	21	21	21	21	49	21	21	20	21	49	21	33	32	33	50	33	33
添上	2																									○	○																					
奈良	1																													○																	
和歌山	0																																															
新宮	3																													○					○					○						
那賀	3																									○															○				○		
新宮商業	1																				○																										
耐久	1																																							○							
鳥取	2				○		○																																									
米子北	5																																								○	○	○	○		○		
境港工業	3									○	○																			○																	
米子東	2																				○					○																					
鳥取工業	1																																		○												
倉吉総合産業	1																																			○											
米子松陰	1																																										○				
鳥取敬愛	1																																												○		
島根	0																																														
大東	4											○											○							○												○						
松江北	2																				○															○											
松江西	1																									○																					
松徳学院	1																																											○			
岡山	1			○																																											
水島工業	17																									○		○	○	○	○		○	○		○	○		○		○		○		○	○	○	○	○	○
倉敷工業(倉敷老松)	2																						○		○																							
倉敷天城	1								○																																						
西大寺	1												○																																			
瀬戸南	1																				○																										
広島	1							○																																							
安佐北	3																									○	○			○																		
広島城北	3																				○																									○	○	
広島桜が丘	1																																		○												
安古市	1																																							○							
安芸府中	1																																							○							
山口	1					○																																									
柳井商工(柳井工業)	22											○		○	○	○	○	○	○	○	○					○					○	○			○		○		○	○			○	○	○	○	○	○
下関中央工業	1																					○																										
野田学園	1																									○																					
山口県鴻城	1																																○														
徳島	1						○																																								
城東	3																									○					○											○					
徳島商業	2																																		○										○		
日和佐	1																				○																										
香川	4			○	○	○		○																																							
高松商業	23									○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○			○			○								
高松西	2										○	○	○																																			
高松第一	2																														○																	
香川中央	2																																														
高松東	2																																														
英明	1																																														
坂出商業	1																																														
愛媛	0																																														
新田	15																																														
新居浜東	2																																														
高知	0																																														
高知商業	4																																														
土佐	3																																														

都道府県 学校名	年度	昭47	昭48	昭49	昭50	昭51	昭52	昭53	昭54	昭55	昭56	昭57	昭58	昭59	昭60	昭61	昭62	昭63	平1	平2	平3	平4	平5	平6	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
	回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
	開催地	栃木県	東京都	東京都	群馬県	福島県	奈良県	東京都	栃木県	滋賀県	群馬県	島根県	栃木県	石川県	沖縄県	北海道	兵庫県	栃木県	東京都	富山県	栃木県	新潟県	愛知県	埼玉県	北海道	京都府	東京都	岩手県	岐阜県	滋賀県	長崎県	静岡県	山口県	愛媛県	福井県	北海道	大分県	新潟県	埼玉県	和歌山県	広島県	福岡県	長野県	北海道	山形県	愛知県	愛媛県	茨城県
	出場数	0	0	10	10	10	10	10	10	10	16	16	16	16	16	20	20	21	20	21	49	21	21	20	20	49	20	21	21	21	49	21	21	21	21	49	21	21	20	21	49	21	33	32	33	50	33	33
高知学芸	1																				○																												
高知東工業	1																								○																							
嶺北	1																																		○												
高知西	1																																							○							
福岡	0																																														
九州国際大学付属(八幡大学付属)	16															○	○			○	○	○	○			○	○	○	○												○	○			○	○			
自由ヶ丘(九州共立大学八幡西)	8																														○	○		○			○		○			○			○			○
福岡大学大濠	5																		○				○							○			○		○													
山門	1																																										○					
佐賀	0																																														
唐津南	3																													○					○						○					
唐津工業	2																				○				○																						
武雄	1																																												○		
長崎	0																																														
瓊浦	10									○	○	○	○	○																○														○	○	○	○
西陵	9																				○									○			○		○			○			○		○	○	○			
創成館	1																								○																						
大分	0																																														
別府鶴見丘	7																													○					○		○				○		○			○	○	
竹田商業	1																				○																										
日田林工	1																								○																						
大分西	1																																				○										
熊本	5		○	○	○		○	○																																							
八代東	23																						○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
熊本学園大学付属(熊本商科大学附属)	9													○	○	○	○	○	○			○	○										○														
九州学院	5								○	○	○	○	○																																			
芦北	2																			○	○																										
宮崎	0																																														
日章学園	8																																				○			○			○	○	○	○	○	○
宮崎工業	4																				○			○	○											○											
妻	1																													○																	
鹿児島	0																																														
鹿児島商業	6																				○				○																	○			○	○		○
鹿児島	2																													○					○											
沖縄	0																																														
南風原	3																								○																			○		○		
豊見城	1													○																																		
糸満	1																○																														
南部商業	1																			○																											
読谷	1																													○																	
コザ	1																																		○												
沖縄水産	1																																							○							

全国高等学校選抜バドミントン大会　女子学校対抗出場校一覧

都道府県 学校名	年度	昭47	昭48	昭49	昭50	昭51	昭52	昭53	昭54	昭55	昭56	昭57	昭58	昭59	昭60	昭61	昭62	昭63	平1	平2	平3	平4	平5	平6	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
	回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
	開催地	栃木県	東京都	東京都	群馬県	福島県	奈良県	東京都	栃木県	滋賀県	群馬県	島根県	栃木県	石川県	沖縄県	北海道	兵庫県	栃木県	東京都	富山県	栃木県	新潟県	愛知県	埼玉県	北海道	京都府	東京都	岩手県	岐阜県	滋賀県	長崎県	静岡県	山口県	愛媛県	福井県	北海道	大分県	新潟県	埼玉県	和歌山県	広島県	福岡県	長野県	北海道	山形県	愛知県	愛媛県	茨城県
	出場数	0	0	10	10	10	10	10	10	10	16	16	16	16	16	20	21	22	21	22	49	22	22	21	21	49	21	22	22	22	49	22	22	22	22	49	22	22	21	22	49	22	34	33	34	50	34	34
北海道	5			○	○	○	○	○																																								
北北海道																																																
旭川実業	23																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○		
帯広大谷	5											○				○			○	○																							○						
砂川南	2								○	○																																						
深川西	3																																										○				○	○
旭川凌雲	1														○																																	
釧路星園	1																○																															
旭川商業	1																	○																														
旭川北都商業	1																																	○														
南北海道																																																
札幌静修	26														○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○		○			
とわの森三愛	11																								○									○	○		○				○			○	○	○	○	○	○
北星学園女子	2												○	○																																		
長沼	1										○																																					
青森	3				○	○		○																																								
青森山田	19																												○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
千葉学園	17								○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○																			
弘前学院聖愛	4									○	○											○			○																							
岩手	0																																																
盛岡市立	4																			○						○		○		○																		
前沢	3																											○							○						○						
花北青雲	1																																												○			
宮城	0																																															
聖ウルスラ学院英智(聖ウルスラ学院)	35												○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
角田女子	1											○																																				
常盤木学園	1																													○																		
秋田	0																																															
新屋	2																								○																					○		
能代西(能代農業)	1																				○																											
羽後	1																													○																	
秋田和洋女子	1																																		○												
横手城南	1																																							○							
山形	1						○																																								
山形城北(山形城北女子)	4									○																				○															○	○		
山形市立商業	2																													○						○											
新庄南	1																				○																											
米沢工業	1																								○																							
山本学園	1																																							○							
山形西	1																																														
福島	2			○		○																																										
ふたば未来学園(富岡)	8																																							○									
尚志	2																								○										○												
若松女子	1																			○																											
清陵情報	1																													○																	
茨城	0																																														
常総学院	23													○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○		○		○												
土浦第三	1																								○																							
石岡第一	1																																														
栃木	3			○		○	○																																								
作新学院	13																																														
小山城南	11							○	○	○								○			○																											
宇都宮南	3																				○					○																							

都道府県 学校名	年度	昭47	昭48	昭49	昭50	昭51	昭52	昭53	昭54	昭55	昭56	昭57	昭58	昭59	昭60	昭61	昭62	昭63	平1	平2	平3	平4	平5	平6	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
	回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
	開催地	栃木県	東京都	東京都	群馬県	福島県	奈良県	東京都	栃木県	滋賀県	群馬県	島根県	栃木県	石川県	沖縄県	北海道	兵庫県	栃木県	東京都	富山県	栃木県	新潟県	愛知県	埼玉県	北海道	京都府	東京都	岩手県	岐阜県	滋賀県	長崎県	静岡県	山口県	愛媛県	福井県	北海道	大分県	新潟県	埼玉県	和歌山県	広島県	福岡県	長野県	北海道	山形県	愛知県	愛媛県	茨城県
	出場数	0	0	10	10	10	10	10	10	10	16	16	16	16	16	20	21	22	21	22	49	22	22	21	21	49	21	22	22	22	49	22	22	22	22	49	22	22	21	22	49	22	34	33	34	50	34	34
真岡女子	3																	○														○		○															
群馬	1				○																																											
前橋東	12																	○	○	○	○	○	○		○			○	○		○	○	○															
伊勢崎清明	6																																		○	○	○				○				○	○		
新島学園	1										○																																					
前橋東商業	1										○																																					
埼玉	1							○																																								
埼玉栄	29																	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上尾	6											○	○		○	○	○															○																
越谷南	2																							○												○													
小松原女子	1																																						○									
千葉	0																																															
西武台千葉	16																												○	○	○		○	○		○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
東葉(船橋学園女子)	2																									○	○																					
中央学院	1																				○																											
千葉敬愛	1																																				○											
東京	3			○	○			○																																								
東東京																																															
日本橋女学館	16																						○	○		○	○	○	○	○	○		○			○	○	○	○		○	○	○					
関東第一	6																																		○	○						○			○	○	○
西東京																																															
淑徳巣鴨(巣鴨女子)	12																		○	○	○	○		○								○	○		○									○	○			○	○
日本大学鶴ヶ丘	3												○	○		○																																
桜華女学院(日体桜華女子)	2																○		○																														
日本ウェルネス	2																																													○	○		
文化女子大学杉並	1																	○																														
國學院久我山	1																										○																					
神奈川	0																																															
川崎総合科学	8																															○		○	○		○			○	○					○		○
北鎌倉女子学園	5																		○		○	○		○	○																								
富士見丘	4															○	○	○											○																				
鵠沼	5																																			○		○	○					○	○				
柏陽	2																									○		○																				
大和西	2																													○	○																	
生田	2																																										○	○				
横浜立野	1								○																																							
厚木東	1																			○																												
鶴見女子	1																						○																									
弥栄西	1																										○																					
元石川	1																															○																
法政大学第二	1																																														○		
山梨	0																																															
市立甲府商業	3																									○										○												
甲斐清和	3																																								○							
山梨	1																○																															
増穂商業	1																																															
新潟	2																																															
新潟青陵(新潟女子工芸)	19																○					○																										
新発田商業	2																																															
新潟商業	1																																															
富山	2																																															
高岡西(高岡女子)	19																																															
富山国際大学付属	8																																															
富山商業	4																																															
藤園女子	1																																															

都道府県 学校名	年度	昭47	昭48	昭49	昭50	昭51	昭52	昭53	昭54	昭55	昭56	昭57	昭58	昭59	昭60	昭61	昭62	昭63	平1	平2	平3	平4	平5	平6	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
	回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
	開催地	栃木県	東京都	東京都	群馬県	福島県	奈良県	東京都	栃木県	滋賀県	群馬県	島根県	栃木県	石川県	沖縄県	北海道	兵庫県	栃木県	東京都	富山県	栃木県	新潟県	愛知県	埼玉県	北海道	京都府	東京都	岩手県	岐阜県	滋賀県	長崎県	静岡県	山口県	愛媛県	福井県	北海道	大分県	新潟県	埼玉県	和歌山県	広島県	福岡県	長野県	北海道	山形県	愛知県	愛媛県	茨城県
	出場数	0	0	10	10	10	10	10	10	10	16	16	16	16	16	20	21	22	21	22	49	22	22	21	21	49	21	22	22	22	49	22	22	22	22	49	22	22	21	22	49	22	34	33	34	50	34	34
高岡龍谷	1																													○																		
石川	1							○																																								
金沢向陽	28																○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
金城	3									○		○		○																																		
金沢二水	3									○			○									○																											
金沢学院	1																																												○		
福井	0																																														
勝山	8																																	○	○					○			○	○	○		○	○
足羽	4																○			○					○					○																	
仁愛女子	1																																	○													
福井工業大附属	1																																											○		
長野	0																																													
文化女子大学附属長野	4																																			○					○		○		○		
長野商業	2																			○					○																					
松代	1																													○																
松商学園	1																																										○				
岐阜	1						○																																							
県立岐阜商業	21																○	○			○		○	○		○			○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	
岐阜女子商業	2									○					○																																
鷲谷	1																												○																		
大垣西	1																																												○		
静岡	2			○	○																																									
星陵	5																													○		○	○		○							○					
富士宮東	4															○		○		○				○																								
静岡女子	3																									○						○										○						
吉原	1													○																																	
加藤学園	1																																											○		
常葉大学附属菊川	1																																												○	
愛知	1							○																																						
愛知淑徳	15								○		○	○	○	○	○	○		○	○			○	○	○	○	○				○																	
名経大市邨(市邨学園)	11																○				○								○		○			○										○	○		○	○
岡崎城西	9																																		○	○	○	○		○	○		○		○		
大府	3																										○	○				○															
佐屋	2																			○			○																								
三重	1			○																																											
暁	10																			○		○	○			○	○	○										○					○	○			○	
皇學館	4																																								○			○		○		
松阪	3									○		○	○							○																											
久居	3																													○			○		○												
鳥羽	1												○																																		
宇治山田商業	1																												○																		
滋賀	0																																														
滋賀短大附属(滋賀女子)	19										○									○			○	○	○		○	○	○	○	○	○	○			○		○							○	○		
比叡山	7									○				○		○	○	○	○				○																								
大津商業	5																																	○	○				○		○						
京都	0																																														
京都西山（西山）	7																								○					○							○	○	○								
京都外大西	6																																														
西乙訓	4																								○																						
成安女子	2																○				○																										
乙訓	2																																														
大阪	5						○																																								
四天王寺	18																									○																						
四条畷学園	14									○										○	○																											
アナン学園(樟蔭東)	4																																														

都道府県 学校名	年度	昭47	昭48	昭49	昭50	昭51	昭52	昭53	昭54	昭55	昭56	昭57	昭58	昭59	昭60	昭61	昭62	昭63	平1	平2	平3	平4	平5	平6	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
	回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
	開催地	栃木県	東京都	東京都	群馬県	福島県	奈良県	東京都	栃木県	滋賀県	群馬県	島根県	栃木県	石川県	沖縄県	北海道	兵庫県	栃木県	東京都	富山県	栃木県	新潟県	愛知県	埼玉県	北海道	京都府	東京都	岩手県	岐阜県	滋賀県	長崎県	静岡県	山口県	愛媛県	福井県	北海道	大分県	新潟県	埼玉県	和歌山県	広島県	福岡県	長野県	北海道	山形県	愛知県	愛媛県	茨城県
	出場数	0	0	10	10	10	10	10	10	10	16	16	16	16	16	20	21	22	21	22	49	22	22	21	21	49	21	22	22	22	49	22	22	22	22	49	22	22	21	22	49	22	34	33	34	50	34	34
此花学院	2																															○	○																
兵庫	0																																																
園田学園	16											○	○	○			○	○							○	○			○														○			○	○	○	○	○
夙川学院	8														○				○	○	○	○								○						○				○									
日ノ本学園	1																															○																
奈良	1						○																																									
奈良一条	9														○				○	○		○	○		○		○	○							○														
添上	3																													○										○					○		
高田商業	2																					○																										○	
和歌山	0																																															
耐久	6																													○					○		○			○	○				○		
那賀	2																			○																				○							
新宮	1																								○																							
鳥取	0																																															
鳥取敬愛	3																																								○			○		○		
境	2																								○				○																			
米子北	2																																		○										○			
米子西	1																			○																												
倉吉工業	1																													○																	
島根	0																																															
松徳学院	8																																		○		○	○	○	○	○		○	○				
大東	3																			○					○					○																		
松江商業	2											○																																		○			
岡山	5			○	○	○	○	○																																								
山陽女子	17								○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○			○	○					○														○			
倉敷中央	9																																	○	○						○						○	○
倉敷翠松	2																	○								○																							
笠岡商業	2																													○	○	○																	
広島	0																																															
鈴峯女子	6																○		○		○				○	○								○															
清水ヶ丘	2																																		○							○						
安田女子	2																																													○	○		
広島桜が丘	1																													○																		
安芸府中	1																																								○							
瀬戸内	1																																														○	
山口	0																																															
柳井商工	5																																													○	○	○	
山口中央	3																			○					○							○																
熊毛北	3																													○		○			○														
中村女子	1																												○																			
華陵	1																																								○							
徳島	0																																															
城東	8																								○					○																○	○	
香川	1																																															
香川中央	12																			○	○		○	○	○			○	○	○																			
高松商業	11														○	○									○																							○	
高松中央(高松女子商業)	6														○				○																													
英明	2																																													○	○	
坂出商業	1																																														
愛媛	0																																															
新田	11																																														○	○
西条	2																			○																												
新居浜西	2																																														
新居浜東	3																																														

都道府県 学校名	年度	昭47	昭48	昭49	昭50	昭51	昭52	昭53	昭54	昭55	昭56	昭57	昭58	昭59	昭60	昭61	昭62	昭63	平1	平2	平3	平4	平5	平6	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
	回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
	開催地	栃木県	東京都	東京都	群馬県	福島県	奈良県	東京都	栃木県	滋賀県	群馬県	島根県	栃木県	石川県	沖縄県	北海道	兵庫県	栃木県	東京都	富山県	栃木県	新潟県	愛知県	埼玉県	北海道	京都府	東京都	岩手県	岐阜県	滋賀県	長崎県	静岡県	山口県	愛媛県	福井県	北海道	大分県	新潟県	埼玉県	和歌山県	広島県	福岡県	長野県	北海道	山形県	愛知県	愛媛県	茨城県
	出場数	0	0	10	10	10	10	10	10	10	16	16	16	16	16	20	21	22	21	22	49	22	22	21	21	49	21	22	22	22	49	22	22	22	22	49	22	22	21	22	49	22	34	33	34	50	34	34
高知	4				○	○	○	○																																							
土佐女子	6									○											○		○							○						○									○		
清和女子	1																									○																					
高知南	1																																							○							
高知中央	1																																									○					
福岡	0																																														
九州国際大学付属(八幡大学付属)	21														○								○			○		○		○	○	○	○		○	○				○	○								
精華女子	5																			○		○		○	○		○																				
福岡常葉	1																																									○					
佐賀	0																																													
佐賀女子	14																○	○	○	○	○		○			○					○				○					○			○	○	○	○		
多久	1																																													○	
長崎	1			○																																											
長崎女子(鶴鳴女子)	9										○	○		○		○					○					○			○		○								○								
諫早商業	8																									○																○	○	○	○	○	○	○	○
西陵	1																													○																	
長崎東	1																																		○												
大分	0																																														
昭和学園(昭和女子)	12																				○					○	○		○	○	○			○		○					○				○	○	○
大分西	2																																				○						○					
別府鶴見丘	1																																				○											
熊本	4				○	○	○	○																																								
熊本中央女子	15								○	○	○		○	○		○	○	○		○				○		○				○	○	○											○						
熊本信愛女学院	9											○		○					○		○	○			○			○						○	○													
八代白百合	9																																		○	○	○	○		○		○	○		○		○	
玉名女子	2																																						○					○			
宮崎	0																																														
宮崎商業	5												○								○					○					○											○					
聖心ウルスラ学園	2																																											○	○		
高鍋	1																																		○											
鹿児島	0																																													
鹿児島女子	8																				○					○					○											○		○		○	○
鹿児島	1																																		○											
沖縄	0																																													
糸満	4																									○					○				○									○		
那覇商業	1														○																																
南風原	1																				○																										
コザ	1																																									○					

国際大会での活躍

平成21年度から平成30年度

平成21年度

◎2009年　アジアユース　U－19

国別対抗戦

準決勝　マレーシア　3－1　日本

◎世界ジュニア選手権

男子単　3　位　渡邊達哉

男子複　3　位　星野翔平／小林優吾

女子単　ベスト8　三谷美菜津

◎ANAアジアユースジャパン2009 U－17

女子単　3　位　奥原希望

男子単　準優勝　井上拓斗

女子複　3　位　我妻美沙紀／小池紗葉

男子複　準優勝　豊島大地／近藤　拓

平成22年度

◎ANAアジアユースジャパン2010 U－17

女子単　優　勝　奥原希望

男子単　優　勝　井上拓斗

女子複　3　位　櫻本絢子／星　千智

男子複　準優勝　松井圭一郎／保木卓朗

◎世界ジュニア選手権大会（メキシコ）

女子単　準優勝　松友美佐紀

平成23年度

◎ANAアジアユースジャパン2011 U－17

女子単　準優勝　大堀　彩

男子単　準優勝　古賀　稔

女子単　3　位　加藤美幸

男子単　3　位　玉手勝輝

◎アジアユースU－19

団体戦　ベスト8

男子単　3　位　桃田賢斗

女子複　3　位　鳥居彩乃／櫻本絢子

平成24年度

◎世界ジュニア選手権（日本）

国別対抗戦　準優勝

決勝戦　中国　3－2　日本

女子単　優　勝　奥原希望

男子単　優　勝　桃田賢斗

男子複　3　位　井上拓斗／金子祐樹

女子複　ベスト8　櫻本絢子／星　千智

平成25年度

◎世界ジュニア選手権（タイ）

女子単　優　勝　山口　茜

平成26年度

◎世界ジュニア選手権（マレーシア）

女子単　優　勝　山口　茜

女子単　3　位　大堀　彩

女子複　ベスト8　荒木茜羽／志田千陽

男子複　3　位　玉手勝輝／中田政秀

混合複　3　位　渡辺勇太／東野有紗

平成27年度

◎ANAアジアユース2015　U－17

女子単　3　位　　水井ひらり
男子単　ベスト8　　緑川大輝
女子複　準優勝　　齋藤　夏／吉田瑠実

◎デンマークジュニア

男子単　優　勝　　渡辺勇太
男子複　優　勝　　渡辺勇太／三橋健也

◎オランダジュニア選手権

男子単　3　位　　小倉由嵩
女子単　優　勝　　川上紗恵奈
男子複　優　勝　　渡辺勇太／三橋健也
女子複　優　勝　　松山奈未／志田千陽
混合複　3　位　　渡辺勇太／志田千陽

◎世界ジュニア選手権（ペルー）

女子単　3　位　　荒木萌恵
　　3　位　　仁平菜月
男子単　3　位　　渡邉航貴
女子複　3　位　　志田千陽／松山奈未
男子複　3　位　　渡辺勇太／三橋健也
混合複　3　位　　森岡秀斗／志田千陽

平成28年度

◎世界ジュニア選手権（スペイン）

女子複　優　勝　　松山奈未／保原彩夏

平成29年度

◎世界ジュニア選手権（インドネシア）

男子単　3　位　　奈良岡功大
　　ベスト8　　大林拓真
男子複　優　勝　　金子真大／久保田友之祐

平成30年度

◎世界ジュニア選手権（カナダ）

男子単　3　位　　奈良岡功大
女子複　ベスト8　　齋藤　夏／福本真恵七
混合複　ベスト8　　緑川大輝／齋藤　夏

日・韓・中　交流大会の結果
(2009−2018)

第17回　韓国・木浦中央高校体育館

男子
日本　（4—1）　全南
日本　（1—4）　中国
日本　（1—4）　韓国
女子
日本　（0—5）　中国
日本　（2—3）　全南
日本　（0—5）　韓国

第18回　中国・河南省

男子
日本　（2—3）　中国
日本　（3—1）　韓国
女子
日本　（0—3）　中国
日本　（2—3）　韓国

第19回　日本・名古屋市

男子
日本　（3—2）　韓国
日本　（2—3）　中国
日本　（5—0）　愛知
女子
日本　（0—5）　韓国
日本　（1—4）　中国
日本　（3—2）　愛知

第20回　韓国・釜山

男子

日本　（1—4）　韓国

日本　（1—4）　中国

日本　（5—0）　GWg

女子

日本　（2—3）　韓国

日本　（1—4）　中国

日本　（4—1）　GWg

第21回　日本・岩手

男子

日本　（3—2）　韓国

日本　（1—4）　中国

日本　（5—0）　岩手

女子

日本　（2—3）　韓国

日本　（0—5）　中国

日本　（5—0）　岩手

第22回　韓国・済州

男子

日本　（3—2）　韓国

日本　（0—5）　中国

日本　（5—0）　済州

女子

日本　（0—5）　韓国

日本　（1—4）　中国

日本　（5—0）　済州

第23回　中国・寧波

男子

日本　（1—4）　中国

日本　（1—4）　韓国

日本　（2—3）　寧波

女子

日本　（0—5）　中国

日本　（1—4）　韓国

日本　（3—2）　寧波

第24回　日本・茨城

男子

日本　（4—1）　韓国

日本　（1—4）　中国

日本　（5—0）　茨城

女子

日本　（5—0）　韓国

日本　（4—1）　中国

日本　（4—1）　茨城

第25回　韓国・麗水

男子

日本　（2—3）　韓国

日本　（2—3）　中国

日本　（5—0）　全南

女子

日本　（2—3）　韓国

日本　（1—4）　中国

日本　（5—0）　全南

栄光を目指して

学校対抗優勝校監督寄稿文

12回目の全国総体団体戦を優勝して



埼玉栄高等学校
バドミントン部
監督　大屋貴司

第69回静岡インターハイで優勝できたのは、前年度のベスト16という悔しい思いをバネに１年間、選手達が今まで以上に限られた時間の中で、自主的に集中した練習をすることができた結果だと思っております。

68回山形インターハイでは優勝候補の１つである浪岡高校に３－２の接戦の末、敗れました。内容としては、ダブルスは１勝１敗、シングルスが１勝２敗で敗れたのですが、シングルスは全てファイナルまでもつれ、１点を追いかけ、追いかけられる攻防戦でした。最後の数点が取り切れなかったのですが、最後の数点ほど重いものはないと思っております。

新チームになり、前年度から活躍してくれた、中山と緑川を中心に全国中学校大会でダブルスを優勝した武井と遠藤も加わり、チーム作りにより一層取り組みました。

育成の要はとにかく、練習量であることは当たり前のことだと思います。本校では多くの部活動があるため、バドミントン部は外部の体育館を使用することが多くなっております。そのため大切な練習時間を移動時間で取られてしまいます。短くなった時間は選手たちのより一層の集中力でカバーするしかありません。

日々の練習では計算通りにいかないことも多く、修正の連続です。練習に取り組む中で一歩一歩選手が成長していくことは指導者としての楽しみでもあります。特に体力・気力・そして勝負への意欲付けが最終仕上げと思っております。特に第69回インターハイでのメンバーは前年度のリベンジという気持ちが強く、選手たち自身の意欲が強かったことも今回の結果につながったことと思います。

また、中高一貫指導ができ、６ヵ年かけてインターハイで優勝を目指す体制があり、地元埼玉の小学生が一貫指導体制の取れている本校へ入学してくれることも非常に大きな強みとなっております。

多くの指導者が、生徒たちの指導に苦慮しながら、勝負に拘り、意欲を燃やし続けたことが、今日のバドミントン界を向上させてきたものと思います。私も微力ながらも、今後とも生徒達と共に日々努力精進を重ね、日本バドミントン界の発展のお手伝いができればと思います。

最後になりましたが、全国高等学校バドミントン専門部創立70周年、誠におめでとうございます。今回、専門部70周年記念誌作成にあたり、このような機会を頂き、誠に感謝しております。

今後とも日本バドミントン界の更なる発展のためにご尽力をいただき、80周年、100周年が迎えられますよう、ご祈念申し上げます。関係の諸先生方のご苦労に、感謝申し上げます。

生きる



トナミ運輸株式会社
バドミントン部コーチ
福島県立富岡高等学校
バドミントン部
元監督　大堀　均

富岡高校は、平成24年度インターハイ女子学校対抗初優勝。翌25年度男子学校対抗初優勝。更に翌26年度には、史上初となる学校対抗男女同時優勝を成し遂げた。

しかし、当たり前のようにここに辿り着いたわけではない。後に我々のバドミントンに対する考え方や思いを一変させ、更には「生きる」ということを改めて考えさせられるきっかけとなった出来事がある。それが平成23年3月11日におきた東日本大震災である。悩み、苦しみ、そして立ち上がった選手たちは、この大惨事の約5ヵ月後に行われたインターハイで学校対抗男女ともに3位入賞を果たしたのだ。この時こそが我々の出発点である。

以下は、当時の私の気持ちを卒業文集に寄稿したもの（抜粋）である。

【3・11東日本大震災。1000年に一度といわれる大地震、大津波、そして史上最悪の福島第一原発事故。多くの犠牲者を出し、我々を恐怖の渕に追い込んだ大惨事である。私はこの経験によってたくさんのものを失った。しかし失ったもの以上に大切なものを手に入れることができた。

私は桜風寮の生徒たちとともに富岡高校から川内村へと避難をした。川内村に到着しテレビを見ると、恐ろしい報道がされていた。「すぐにでも遠くへ逃げなければ！」生徒それぞれの故郷を目指し避難の段取りを始めた。そんな中、私と最後まで行動を共にすると言っていた妻に、数名の保護者や生徒を託し関東方面に向かうよう指示をした。その時私は無意識のうちに左腕にしていた時計を妻に渡していた。目を真っ赤にしていた妻の顔を鮮明に覚えている。私はその後郡山に到着し、翌日の朝までにバドミントン部全員の避難を確認した。ほっと一息という場面ではあるが、放射能に対する恐怖で元来小心者の私は何をどうしていいかわからず心細かった。そんな時、妻の姿が・・・夢を見ているかのような錯覚に陥った。何年振りだろうか涙が止まらなかった。妻は乗せていた保護者や生徒の安全を確保した後、私の実家（栃木県日光市）に娘を預け、家族に何も告げずに不眠不休のまま私のいる郡山に引き返してきたのだという。実家に向かって車を走らせながら食べたおにぎりが美味かった。実家に帰宅すると、普段はぶっきらぼうな娘たちが「おかえり」と言ってしばらく私のそばを離れなかった。すごく温かかった。自分にとって大切なものが何なのかに気が付いた。

君たちの経験した恐怖は計り知れない。避難中君たちの様子を見に行った時、君たちは一生懸命笑顔を取り繕っていたが、時折見られる曇った表情に君たちの不安が伺えた。たくさんの葛藤と闘っていたんだね。そしてようやく始まった猪苗代での新たな生活、不安で一杯だったと思う。表情が相変わらず曇りがちな人が多く心配したが、いつの間にか富岡町で活動していた時以上に楽しげに、なおかつエネルギッシュに青春を謳歌しようとする君たちの姿に驚かされた。それにしても君たちは凄い。落ち込むどころかパワーアップしているではないか。インターハイの男子団体準決勝の試合前、コートの上でみんなで手をつなぎ心を一つにした後、相手を睨みつける君たちの闘おうとするギラギラした18の瞳に未知の可能性を感じた。同じく女子団体3回戦、たった6人で西武台を破った瞬間の君たちの輝いた美しい12の瞳に芯の強さを感じた。そしてこの苦境を乗り越えるどころか自らのパワーに変えていき、凛々しくコートに立つ君たちは、格好良かった・美しかった。今までにこんなに感動したことがあったかな？君たちとともに夢を共有し歩むことができた私は幸せ者だ。ありがとう！君たちが私にとってもう一つの大切なものである。】

あれから7年、すでに富岡高校は休校となり、その伝統はふたば未来学園へと引き継がれている。校名は違えどもTeam TOMIOKAの精神は、これからも変わらず脈々と後輩たちに受け継がれていくであろう。

私はあの経験で生徒たちから教えられたことがある。夢に向かって突き進むことこそが生きている証であるということを。

全国選抜大会に初優勝して



東大阪大学柏原高等学校
バドミントン部
元監督　有田圭一

当時、東大阪大学柏原高校は新体育館増設の際に、既存の体育館を６コートから９コートに改築してもらい、それが常時使えるという非常に恵まれた練習環境を得ていました。全国中学生大会においてベスト８から４入賞の選手も全国から集まってきており、全国制覇を目指して練習に励んでいましたが、なかなかその壁を破ることができず、学校対抗戦においてはベスト４が最高位となっていました。有力な選手が集まっているにもかかわらず決勝に残れない悔しさを何度も味わう中で監督を任されて１年目、不安もありましたがまず取り組んだのが「生徒に考えさせること」でした。誰も好んで負けたくはありませんが、皆、必ず負けを経験します。その事実から逃げずにこれからどうすべきかを真正面から向き合うことを常に伝える努力をしていました。次に取り組んだのが挨拶、掃除、靴の踵を揃えることです。はっきりとした言葉での挨拶を促し、朝から上級生を中心に体育館や教官室を掃除し、下足箱の印がついたところに丁寧に踵を揃えて靴を置く、を躾として行いました。なかなか馴染めない生徒もいましたが、できないところは私がフォローしながら見守りました。

翌年、第42回全国高校選抜大会は長野県松本市で行われました。その当時はその後ナショナルメンバーで活躍する選手を含む富岡高校（福島県）や埼玉栄高校（埼玉県）など強豪校が全国上位を占める中、東大阪大学柏原高校は常山幹太選手と下農走選手を中心にチームが出来上がっていきました。しかし学校対抗戦はその主力選手達を如何に疲れさせずに勝ち上がるかがとても重要となってきます。２番手のダブルスには主将の曽根雄太選手と疋田聖也選手がペアを組み、このダブルスを如何に試合で実力を出させるかが鍵となっていました。学校対抗戦準決勝は埼玉栄高校でした。相手は１番手ダブルスを第２ダブルスとして起用してきたため、第１ダブルスの下農・常山ペアは勝ちましたが、第２ダブルスの曽根・疋田ペアは競り合いながらも敗退。続く小倉由嵩選手も第１シングルスで落とし、１－２のピンチ。しかしそこで主力の２人が第２、第３シングルスで相手を気迫で圧倒して３－２で勝利し、決勝へ駒を進めました。初めての決勝戦。相手は危なげなく勝ち進んできた富岡高校でした。シングルスのエース古賀穂選手を中心に一学年下にはその後世界選手権を制する渡辺勇大選手と三橋健也選手がいる強豪校です。試合前に曽根・疋田ペアには「君たちが勝利の鍵を握っている」と話しました。過度なプレッシャーがかかるのではないかと思いましたが、下農・常山ペアが勝ってくれると思えば心のどこかに「隙」を作ってしまうのではないかと不安を感じたためです。３コート同時展開での決勝戦が始まりました。この状況では隣の試合展開が気にならないわけがありません。コートサイドでは常に「自分のコートに集中！仲間を信じて！」と声をかけていました。３コートともに素晴らしい集中力が発揮され大接戦となりました。第１ダブルスの下農・常山ペアはドュースで取られ、取り、最後は僅差で勝利。第２ダブルスの疋田・曽根ペアもファイナルゲームにもつれながら、僅差で勝利。第１シングルスの小倉選手も最後はドュースを制し、見事３－０での初優勝が決まりました。周りの尽力に感謝しつつ、初の胴上げという貴重な経験をさせていただきました。

この優勝を機に当校は現在も全国トップチームとして活躍しており、主力選手達は東京オリンピックを目指して、さらなる精進を心がけている姿を見ると感動で目頭が熱くなる今日この頃です。

選抜大会優勝の夜
（私の決意）



東大阪大学柏原高等学校
バドミントン部
元監督　近　藤　一　生

70周年おめでとうございます。

「あきらめず続けたら成功した」という話を私はいつも他人事のように聞いていましたが、選抜大会で41年もかかり優勝した時、その話が急に頭に浮かびました。

昭和48年（1973年）、全く何もない所からの出発でした。勿論、素振り・フットワーク・ノック等の単純な練習の繰り返しでしたが、３年後1976年春の大会でデビューしました。それから３年間はなかなか勝てず、特に上位の学校にはボロボロに打ち砕かれてきました。何とか強いチームにしたいという気持ちで練習をしていましたが、今思えばレベルの低い内容でした。

ある日、本校の姉妹校である布施女高（現東大阪大敬愛）の先輩の先生から、強くなるために遠征に出ろ、と強豪金沢市立工高を紹介されました。体育館に入るとピーンと張り詰めた空気で次々と相手をしてくれる選手の強さに衝撃を受けました。失礼ながら大阪の高校とのレベル差を痛感しました。この時が全国の強さを目の当たりにした瞬間でした。今でもあの衝撃は忘れられません。その節は本当にありがとうございました。

インターハイは1979年、選抜は1986年から出場できるようになりましたが、まだまだ実力が伴っていないため出場が精一杯で、いつも【かしわばら高校】とコールされていた、優勝などほど遠い学校でした。

1993年から６年間、大阪では全国レベルの選手を多く持つ此花学院・大阪学芸・大阪桐蔭と柏原の４校の熾烈な戦いがありました。男子にとってこの時期は戦国時代です。その中で実力のない柏原が一番苦しみ、この間、団体の出場が一度もありませんでした。周囲があまりにも強すぎ、【もう無理だ】と諦めかけた事もありましたが、何とかもう一度天下を取るには家康になる方法しかないと悟りました。鳴くまで待とうです。機が熟すまでじっと我慢をし、試行錯誤を繰り返しながら練習を積み重ねていきました。柏原にとっては暗黒の時代だったのですが、その時の記録が今の柏原を支え、着実に力をつけていきました。あの期間こそ柏原にとって貴重な６年になりました。我慢の甲斐があり、1999年からインターハイに、選抜では2014年・2015年と優勝することが出来ました。創部41年目で達成しました。理科の授業や進路指導主任とクラブとの両立で毎日がきつかったですが、長くは感じませんでした。勝った瞬間、電話やメールが入り私の携帯の充電が切れたぐらい多くの方々から応援して頂きましたので、皆さんの期待にようやく応えられてホッとし、長年の重圧から解放されました。

その夜、風呂で私のような監督の所によく来てくれたなあと本人・保護者・ジュニアの指導者に対し感謝の気持ちで一杯になりました。特に指導者の方々はこんな選手を育てるなんて凄いなあ、とも思いました。その時、引退したら恩返しのつもりで今度は私もジュニア指導に参加しようと決意しました。

指導開始から一年が経過し、高校生の指導の方がずーっと楽だという事がわかってきました。やはりジュニア指導者は凄いです。

全国選抜大会
三連覇を振り返って



聖ウルスラ学院英智高等学校
バドミントン部
総監督　田所光男

（公財）全国高体連バドミントン専門部創立70周年おめでとうございます。

70周年記念誌作成にあたり、このような機会を頂き感謝申し上げます。

私は、平成７年から指導者として23年目に入り本校にも新たな指導者にも恵まれ、また、創部11年になる男子部も活躍させていただいています。

2008年から2010年まで全国選抜大会団体で３年連続優勝することができ、今まで３連覇したチームがなく、４連覇を目指し日々練習に励んでいたところ2011年３月11日東日本大震災が発生し和歌山大会が中止になり４連覇が幻に消え去っていきました。

宮城県高体連委員長から中止の一報を受け私自身もこのような大災害が発生し開催できる状態ではないと感じていましたが現実中止を知らされると内心ショックを受けました。

生徒に報告、泣きながら報告を聞いている生徒が印象的で生徒も天災なので納得せざるを得なかったようです。

全国高校チームから物心両面での励ましを受け、この場をお借りして感謝申し上げます。

2008年大分県日田市、決勝は青森山田と対戦３対１、高橋、松友（現・日本ユニシス所属）を柱として戦い勝利、高橋２年、松友１年、このダブルスは前年ジュニアグランプリからペアを組ませたダブルスでお互いシングルスプレィヤーだったため少々不安がありましたが優勝。

2009年新潟市、決勝は前年同様青森山田と対戦３対１、主力は松友２年、今野、杉山（旧姓脇野）１年ペア、玉山（旧姓伊藤）、末松が新たに加わり優勝。

2010年埼玉県熊谷市、決勝は樟蔭東と対戦３対０、今野、杉山ダブルス主力を中心にシングルス玉山、末松の活躍で優勝。３年連続優勝は過去になく周囲からの祝福を受け凄い事を成し遂げたんだと感じ監督として幸せ者だと感じました。

2010年インターハイが沖縄県糸満市で開催され、選抜３連覇後の試合で決勝は青森山田と対戦、今野、杉山３年ペアがダブルスで勝利、清水、野村２年ペア相手は田中（現北都銀行所属）市丸ペア１ゲームは競ったが敗退、第一シングルス伊藤３年、相手は福島（現岐阜トリキーパンダース所属）余り期待感はなかったが勝利、残り２シングルスが平行試合になり今野が市丸に敗退、２対２になりラストシングルス末松３年と田中が対戦、会場はこの試合しかなく激戦の結果、末松が勝利し優勝、長い間監督をしていて過去の試合で一番印象に残る試合でした。

監督として選手に対して勝ってほしいと感じるのが当然なこと、しかし、なかなか選手が監督の思うようにならないのが常、選手が勝てる条件として頭脳明晰であること「指導が理解できる、試合の流れが読める、自分の判断でプレーができる、自分のプランが描ける事」こうしたことは、頭脳明晰でないとできません。文武両道を身につけさせしっかりと勉強させ「人間力」をつけさせなければいけないと感じています。

2016年リオデジャネイロ五輪にて、高橋、松友ペアが３ゲーム絶体絶命の状態で逆転で金メダルを勝ち取ったのも「判断能力」があったからこそ勝てたのだと感じています。

応援席で教え子が金メダルを取った瞬間を眼にした時は、私の長いバド生活で一番の喜びでした。本当に幸せ者です。

最後になりましたが、全国高体連バドミントン専門部の今後の益々の発展を心からお祈りしています。

第40回全国高等学校選抜大会優勝



九州国際大学付属高等学校
バドミントン部
監督　明神憲一

平成23年度、３月24日～27日まで、広島県立総合体育館で「第40回全国高等学校選抜大会」（記念大会）が行われ、26年ぶり２回目の優勝を果たした。この裏には、平成25年度に地元北九州インターハイを控え、小中高一貫指導の10年計画を立て、現ナショナルチーム女子シングルスコーチの崔相範コーチを、平成19年より招聘して、生え抜き選手での北九州インターハイ優勝を目標に強化を図った。この強化が実を結んだ大会だったと思う。

この年は、25回大会から始まった各都道府県１チームが出場できる記念大会で、25回、30回、35回大会すべてベスト４以上に入賞をしている相性がいい大会である。同年度のインターハイ３回戦で敗退しシード権を失っていた。フリー抽選でどの山に入るか不安であったが、キャプテンの中村麻裕（現西京アクト）が見事私の意中としている山を引き当てた。とはいっても、インターハイでの結果もなくナショナルチームの選手もいなく、優勝候補の「ゆ」の字も目にすることも、耳にすることもなかった。当然、私自身も来年度に向けての試合と位置づけていたので、ベスト８に入れればと思っていたぐらいであった。

予選リーグ１回戦愛媛の新田高校と対戦した。苦戦を予想していたが、案の定４時間30分にも及ぶ大接戦で、３-２で下した。

２回戦は、奈良県の添上高校と対戦し、３-０で下し、決勝トーナメント進出を決めた。決勝トーナメント１回戦富岡高校と対戦、第１ダブルスを落とすも１年生ダブルスがきわどい試合をものにし、３-１で下し、初日を終えた。２日目準々決勝では過去２度優勝している強豪金沢向陽高校と対戦したが、相手が完全に引く展開で、３-０で圧勝した。続く準決勝岐阜県立岐阜商業も３-２で勝ったが内容は完勝であった。遠くにあった決勝の舞台を勝ち取ることができ、また、試合毎に成長する選手を見て、優勝できるかもしれないと、この時初めて思った。決勝青森山田高校と対戦。オーダーは、ガチンコの勝負となった。第１ダブルス中村・金森は、安定したプレーで相手を２-０で退けた。並行して行われていた、１年生ペアの第２ダブルス西尾・寺田は、後の北九州インターハイ優勝ペアと対戦、苦戦を予想していたが、大方の予想を覆し２-０で勝利。第１シングル松岡は、相手のスピードに完全に押されながらも、凌いで、凌いで粘り強いプレーで相手のミスを誘い、１ゲームを取り、優勝に王手をかけた。しかし、長いラリーでフィジカルが落ち、ファイナルゲームで敗れた。第２シングルス中村は、青森山田のエース永田と対戦。１ゲーム目相手の鋭いカットに手が出ず、16本で落とした。２ゲーム目は、一進一退の展開の中18オールから気迫のプレーで抜け出した。第３ゲーム中村の気迫あるプレーで相手を圧倒し、優勝を決めた。

この大会、予選での敗退もあり得た中での優勝で、今までで一番感動した。このような経験を糧に、世界に通用する本物の選手育成のために今後も頑張っていきたいと思う。

栄光を目指して

優秀選手寄稿文

最後のインターハイ



トナミ運輸株式会社
（東大阪大学柏原高等学校出身）
常　山　幹　太

最後のインターハイで団体戦では準優勝、シングルスでも、準優勝、ダブルスでは優勝し、有終の美を飾ることができました。その結果が、今の私に繋がる経験になりました。

一年生の時は、個人戦のシングルスには出場することができず、団体戦ではベスト16という残念な結果で終わってしまい、とても悔しい思いをしました。その結果から私は今のままでは、目標である優勝に届かないと自覚し、一層練習に励むようになりました。

それから先生のアドバイスと自己分析を総合し、体力面が他の選手より劣っていると結論が出ました。そこで、毎朝かかさず四キロ走るようにしました。また、日々の練習に対する意識が変わりました。インターハイのトップ選手と対戦することによって、勝負どころの駆け引きのポイントとしてスピードや球の質が大切であるということが理解できました。それらを想定し、そのレベルを超えられるように意識高く練習に取り組むようになりました。その結果二年生のインターハイでは団体戦三位、ダブルス準優勝、シングルス優勝というタイトルを得ることができました。

それから私は、団体戦で優勝したいと強く思うようになりました。その目標に向け練習や練習試合で、私自身から大きな声を出し、チーム全体を盛り上げようと心掛けていきました。他にも後輩を引っ張っていくために、後輩を知り関わるように努め、日々積極的に交流していきました。交流していく中でインターハイの厳しさや一人一人に対してのアドバイスを伝えていきました。それによって後輩の意識が高くなるとともに、私自身も負けられないと意欲が高まり、切磋琢磨するようになりました。その結果、最後のインターハイでは優勝には届かなかったものの、準優勝という一ランク上のタイトルを掴むことができました。

これらの結果を残せたことは、自分の力だけではありません。相手をしてくださったOBの皆さんのおかげです。常にトップ選手と同じくらいのレベルを体験することにより、向上心が高まりました。一緒に練習してきた仲間達のおかげで辛い時も苦しい時も乗り越えられてきました。なによりバドミントンをさせてくれた両親にとても感謝しています。

インターハイを通してこそ、今の私があります。常に上のレベルを目指し、日々自己分析を続けて、今も練習を積み重ねています。日本のトップレベルであるトナミ運輸の人たちと切磋琢磨しながら、日々目標に向けて精進しています。今こうやってバドミントンができる事は周りにいる人たちのおかげです。これからも感謝の気持ちを忘れず、目標に向けて日々成長していきたいと思います。

インターハイの思い出



東日本電信電話株式社
（ＮＴＴ東日本）
（石川県立金沢向陽高等学校出身）
三　谷　美菜津

私は小学校二年生からバドミントンを始めました。小さい頃からとても負けず嫌いな性格で、いつも優勝したいという気持ち一心で練習に励んでいました。

高校ではインターハイで優勝するために、全国でも強豪である地元の金沢向陽高校に進学しました。高校一年生のインターハイは個人戦には出場することができませんでしたが、その悔しさをバネに一年の終わりにある全国選抜大会ではシングルスで優勝することができました。そこから私はエースという自覚を持ち、毎日の練習に励みました。本当に厳しく何度もめげそうになりましたが、インターハイで優勝したいという気持ちや一緒に戦ってくれる仲間がいたので頑張ることができました。そして二年生のインターハイでは、先輩の思いも背負い優勝を目指しましたが、準決勝で同じ年の松友選手に負けてしまい三位という結果に終わってしまいました。そのインターハイでは松友選手が三冠をするのを目の当たりにし、私の三年のインターハイで三冠をするという目標に変わりました。そこから、インターハイは試合数も多く、暑さとの戦いでもあるので体力をつけるために毎日走り込み、誰よりも多くコートに入り練習をしました。そして最後のインターハイは三年間の集大成として応援してくれる方たちの思いも背負い、強い気持ちで挑みました。団体戦では惜しくも準優勝、ダブルスではベスト８で終わってしまい本当に悔しく、先生や一緒に戦ってくれた仲間にも申し訳ない気持ちでいっぱいでした。

しかし、シングルスでは決勝で松友選手に勝ち、悲願の優勝をすることができました。

その時は本当に嬉しく、たくさんの方々に支えられてできた優勝だったので感謝の気持ちでいっぱいになりました。

こうやって振り返ってみると、辛いことや苦しいことばかりでしたが、常に目標に向かって努力する大切さや、周りの方々に感謝する大事さを学んだ三年間だったと思います。

これからもそういった周りのサポートに感謝しながら 日々頑張っていきたいと思います。

みんなで



太陽ホールディングス株式会社
（埼玉県立大宮東高等学校出身）
奥　原　希　望

この度高体連におかれましては、創立70周年を迎えられますことに対し、心からお祝い申し上げます。

高校の３年間は今思うと、とてもあっという間で、とても楽しく、充実していました。

私は長野県出身で、当時大宮東高校バドミントン部の顧問をされていた大高先生に誘われて大宮東高校に進学することを決めました。

私の高校時代の一番の思い出は、チームメイトと一緒に団体戦でインターハイ出場を目指したことです。大宮東高校は強豪校ではなく、同県に埼玉栄高校という強豪校がいたのでインターハイに出場するということだけでもすごく難しいことでした。

最終的に目標である団体でインターハイ出場は叶わなかったですが、みんなで一つの目標に向かって切磋琢磨し合えたことに、悔いはないですし満足しています。

大宮東高校は県立ですが、体育科がありスポーツ校です。体育の授業で５キロ走って、放課後もみんなで走って、人生で一番ランニングしたと言っていいくらい走っていました。厳しいトレーニングもみんなで乗り越えたり、時には、チームメイト同士ぶつかることもあったりしましたが、今ではそれもいい思い出です。

私が３年生の時にはキャプテンを任され、なかなか海外遠征で学校にいる時間も少なかった中でも、学校に来て部活動に出た時は私を受け入れ、付いてきてくれました。

そしてその翌年私の卒業後ですが、後輩達が念願のインターハイ団体出場を果たし、私の目標を叶えてくれました。後輩達には何も言わずに観に行っていたので、黙って試合を観ていようと思いましたが、試合の後半はいてもたってもいられず、声援を送りました。勝った瞬間は本当に自分のことのように嬉しくて涙が出てきたのを今でも覚えています。

私は高校３年間で、自分の為だけではなく、誰かのために戦うということを学びました。団体戦では、チームのため、個人戦では学校のため。いつも私の周りにはたくさんの人がいて、温かい応援やサポートをしてくれる人ばかりでした。今は嬉しいことに高校の時よりもたくさんの人に支えられバドミントン競技ができていることを幸せに感じます。高校時代に感じた、周りに支えられ、生かされていることを忘れずにこれからもバドミントン競技に取り組みたいと思っています。

最後になりましたが、「高校生」というかけがえのないその時間は果てしない可能性を秘めていると思っています。これからの未来を背負っていく高校生達がキラキラ輝き、将来に向けて夢と希望に満ち溢れているような、そんな環境を作り続けて行って下さることを祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。

感謝の気持ち



株式会社 再春館製薬所
（福井県立勝山高等学校出身）
山　口　　茜

全国高体連バドミントン専門部創立70周年おめでとうございます。このような節目の年に寄稿させて頂けることを大変嬉しく思うと同時に、このような機会を与えて頂き感謝申し上げます。

私の高校生活を振り返ってみますと普段の学校生活からはもちろんのこと、部活動、バドミントンを通して様々なことを経験し学び１人の人間として、バドミントン選手として大きく成長できたと感じます。

インターハイでは団体戦３年連続３位入賞、個人戦３連覇をすることができました。それには多くの要因があると思いますが、今回は特に重要だったと思う３つのことを紹介します。

１つ目は、練習環境です。勝山高校の部活動には沢山のOBやOGの方々が、毎日のように参加してくださいます。アドバイスを頂いたり、一緒にコートに入り打ち合うことで技術を学ぶこともできました。練習試合の対戦相手になって頂くことも多くあり、なかなか勝てず大きな壁になりましたが、身近に目標があるからこそ現状に満足せず成長しようとする気持ち、新しいことにどんどん挑戦する習慣が身につきました。OBやOGの方々が練習に来られない日には寂しさもありましたが、練習に来てくださることが当たり前ではなくとても有り難いことで、感謝の気持ちを伝える為にも全力で練習に取り組もうと再確認する機会となりました。

２つ目は、バドミントンを楽しむことです。楽しむといってもただ楽しいレクリエーション感覚ではなく、厳しく辛い練習の中にも楽しさを混ぜていく、見つけていくといった意味合いです。ここまで頑張れば先生方も驚くのではないか、キツイ状況下だからこそこういう配球や打ち方をしたら相手はどういう反応を見せるのだろうか、もうダメだと思ったところから出す一歩は周りからどのように見えるのだろうか、というワクワク感。練習の時からそういう気持ちがあったから、試合本番で競った時や緊張する場面でも前向きに楽しむことができるようになりました。

３つ目は応援とサポートです。大会当日に限らず様々な面で顧問の先生方やOB、OGのコーチをはじめ、学校関係者の皆さん、保護者の方々、地域の方々など本当に沢山の方々に温かい応援とサポートをして頂きました。その温かさと力強さに何度も背中を押され、期待に応えたいといつも以上の力を発揮できた試合は数多くありました。その有り難さは地元を離れてからより一層感じるようになり、今もプレーや態度で感謝の気持ちを可能な限り表現できるよう頑張っています。

この他にも経験や学びは沢山ありました。その全てが今の私の力になっています。高校 生活では辛く悔しい思いもしますがそれは人生の糧になりますし、それ以上の喜びや嬉しさも味わいます。高校生の皆さんには、当たり前に思えるようなことも当たり前ではないことを認識し、感謝の気持ちを持って日々生活し楽しんで頂きたいです。

終わりになりましたが、全国高体連バドミントン専門部の今後ますますのご発展を心より祈念申し上げます。

感謝を胸に



日本ユニシス実業団
(聖ウルスラ学院英智高等学校出身)
松　友　美佐紀

この度は全国高等学校体育連盟バドミントン専門部創立70周年、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。また、このような折に優秀選手寄稿文の依頼を受け、身に余る思いです。

時が過ぎるのは早いもので、私自身、聖ウルスラ学院英智高校を卒業してから８年が経ちました。高校生としての想い出と言えば、バドミントンをしていたことしか記憶がないほどですが、田所先生のもとで部活動に打ち込み、本当に心からバドミントンが好きで、その分厳しい指導があったとしても成果が付いてきたという大きく成長を実感していた頃だったと思います。

高校時代は、やはり、インターハイには特別な思いを持って挑んでいました。２年生の時には、インターハイで優勝を果たすことが出来たのですが、その春、私は膝に大きな怪我を負ってしまい、前進して来た歩みが突然、止まってしまいました。高校生である私は、大好きなバドミントンが出来ないということを気持ちの中で整理することが、この時は非常に難しかったのです。ただ、日々リハビリに通ううちに、次第に、自分には必要な時間なのだということを考えるようになりました。今振り返ってみても、ひたすら走り続けていた自分には意味のある時間だったと感じます。その課題を乗り越えた結果、翌年の３年生時には、インターハイ２位の結果を残すことが出来ました。優勝を逃したことは悔しかったですが、この出来事はその後の自分にとっても活きた経験になったということは間違いないです。

私は中学生の時、進路を考える際に、「もっと強くなりたい」という純粋な気持ちで、聖ウルスラ学院英智高校に入学することを決めました。この決断は私にとって大いに好影響を与えることになりました。出身の徳島県から宮城県に送り出してくれて、温かく見守ってくれた両親のありがたさを深く感じ、バドミントンだけでなく、いろんなことを教えてくださった寮母さんや学校の先生の存在、そして大切なことをたくさん教えてくださった顧問の先生方という大きな価値を得ることになったのです。高校に進む時に自分で選択した道は、高校時代だけにとどまらず、私の生活、考え方、その後の支えとして大きな糧になっています。

今も尚、私は変わらずバドミントン一筋で走り続けていますが、今でも聖ウルスラ学院英智高校へ行って本当に良かったと思っています。今の私があるのも、この高校３年間がなければ存在していません、とはっきり言えます。何事にもまっすぐな自分が、挑み続けることのできる環境を知らず知らずのうちに整えて下さるまわりの方々がいることに感謝の気持ちでいっぱいです。

その後、私は2016年にリオデジャネイロオリンピックで金メダルを獲得するという大きな目標を達成しました。次は、東京オリンピックへ、誰もが経験出来ることではない、「オリンピック連覇」の目標を掲げて挑戦して参ります。感謝の気持ちを胸に。

世界ジュニア選手権を優勝して



株式会社 再春館製薬所
（九州国際大学付属高等学校出身）
松　山　奈　未

私は2016年の世界ジュニア選手権大会女子ダブルスで優勝する事ができました。私が優勝できたのも周りの方々の支えや応援のおかげです。私には感謝する方がたくさんいます。その方々がいなければ今の私はいないですし、優勝することもできませんでした。今回は、お世話になった方たちについて書いていきたいと思います。

私がバドミントンを始めたきっかけは小さい時から、家族みんながバドミントンをしていた影響で始めました。バドミントンを始めた頃の事はあまり覚えていませんが、昔から負けず嫌いだったことは覚えています。初めて出た試合は、公式の試合ではなかったですが負けてしまってずっと泣いていました。それから強くなりたいと思いました。

小学生時代はずっと泣いていました。その時はたくさん怒られましたし、それほど試合結果もよくありませんでした。それでも小学校６年生まで色々な面で指導をしてくださった岡垣ジュニアの池田コーチには本当に感謝しています。今でも毎大会ごとに応援をしてくれています。

九州国際大学付属中学に入学すると、小学生の時とは違い学年も関係なくなり、負けることが多くなりました。同級生に負けることもありバドミントンが楽しくなくなってしまい、その時初めて挫折というものを味わいました。それでもやっぱり負けず嫌いの私なので、負けたくないと言う気持ちが強く、中学生の時は気持ちだけでも誰にも負けないように頑張りました。こんな私を中学３年間、私に最後まで真剣に向き合ってくれた松本先生には感謝しています。それから高校生になり、１番の恩師明神先生の元で練習に励み、たくさんの国際大会を一緒に回りました。高校３年間、１番過ごす時間が長がったのが、明神先生だと思います。時には厳しく、普段は面白い先生で、毎日充実した生活を送ることができました。日本一を先生と掴み取ることはできませんでしたが、高校生最後の集大成として先生と共に世界一になれたことは私の誇りです。先生と出会うことがなければ今の私はいません。チームメイトよりも家族よりもずっと私と一緒に戦ってくれた先生にはとても感謝しています。

そして最後に、いつもどんなときでも私の味方で私を応援してくれた家族です。両親はいつも私のバドミントンを優先して、応援してくれました。家族みんながバドミントンをしていたのでほとんど家族の思い出はバドミントンですがそんな毎日が好きでした。辞めたくなった事がなかったと言うと嘘になりますが、小さい時からバドミントンをして、今こうしてバドミントンを続けていることは私の唯一の取り柄です。

私はたくさんの人に支えてもらい、バドミントンをすることができました。これから、練習に励み力をつけ、オリンピックでの金メダルを目標に頑張りたいと思います。また、たくさんの人にバドミントンの楽しさを伝えていきたいと思います。

全国高等学校総合体育大会（インターハイ）を開催して

60回IH◆平成21年◆大阪

インターハイを開催して



大阪高等学校体育連盟
バドミントン専門部
前委員長 大住陽一
（大阪府立泉陽高等学校）

全国高等学校体育連盟バドミントン専門部70周年おめでとうございます。これまで支えてこられた皆様方に敬意を表します。

わたしは、平成11年から22年まで、12年間、バドミントン専門部委員長としてほんの少しお手伝いをさせていただきました。体育専門でもありませんので、専門委員長会議などではできるだけ目立たずに活動をしてきたつもりでしたが、思わぬ大役が回ってきました。平成21年度に近畿・大阪で開催されたインターハイです。経験がおありのバスケットボール専門部の中井先生やお手伝いに入ってくださった保健体育課の主事の先生方のお導きにより、なんとか準備、開催にこぎ着けることができました。

この大会の開催で、大変だったのは2点、会場の整備と人（役員・補助員）の確保です。会場ですが、いろいろ全国専門部に指摘され、対応をしてきました。ただ、４会場とも高校体育館などではなく、エアコンが入った公的施設を割り当てていただいたので、参加いただいた各府県からは好評をいただきました。エアコンの風が勝負に影響したこともあったようですが、選手の健康を守れたのは何よりだったと思います。

また、バドミントン専門部は、この時期まで20人に満たない常任委員で大阪・近畿の各大会を運営してきました。インターハイでは当然足りるわけもなく、全加盟校にお手伝いのお願いをしましたが、なかなか予定していた人数が集まらず、結局、兼任兼任で乗り切らざるを得なくなりました。快く役員を引き受けてくださった先生方はその後、多くが常任委員として残ってくださり、現在の中核をなしています。補助員についても、いったい何人が必要なんだと思うくらいの動員がかかりましたが、これも各加盟校から快く応援を出してくださり、大変助かりました。ただ、交通費や昼食の面で十分な待遇が出来ず、高校生のボランティアとはいえ、申し訳ないなぁとおもっていました。私自身も、開催年度の前年から全国高体連バドミントン専門部の副部長という分不相応な肩書きをいただき、前年度開催の埼玉県などを何度か訪れ、中にはどうしてももの申したいことがあり、日帰りで埼玉県まで行ったこともありました。

この年度の大会には、リオデジャネイロオリンピックの女子ダブルスで金メダルを取った高橋選手・松友選手を筆頭に現在世界で活躍している選手が多く出場していました。今、ご存じのようにバドミントンは世界を席巻しつつあります。テレビなどで名前と活躍を聞く度に「ああ、あのときの選手だな」と懐かしく感じます。大阪府の選手団もがんばってくれまして、全種目３位入賞という成績をあげてくれました。

この大会運営を通じて、あらためて、一人ではなにもできないなということ、仲間の大切さ、妥協しないで物事にあたる態度、などを学びました。また、自分が現役時代のときには雲の上の存在だった方々とも一緒に仕事をすることができ、私の人生にもおおいにプラスになったなと感じています。

インターハイがあった次年度、近畿大会が大阪で開催され、それもいろいろ課題噴出の中なんとか終え、専門委員長を辞しました。現在は、村上委員長の下、常任委員も増え、改革もすすみ、立派な組織に育ったなと思います。大きくなればそれなりにいろいろな問題も出てきていますが、若い先生も増えていますので、難所は乗り越えていけると思います。今後の専門部、および全国高等学校体育連盟全体のますますのご発展を祈念いたします。

全国高等学校総合体育太会を開催して



沖縄県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 下地敏彦
（沖縄県立沖縄工業高等学校）

「晴天届く君の風　みなぎる闘志が夏に輝く」を大会スローガンに掲げ、平成22年度全国高等学校総合体育大会　高松宮記念杯　第61回全国高等学校バドミントン選手権大会は、平成22年７月28日、NBCサムシングフォー西崎における種目別開会式においてその幕を明け、８月２日の西崎総合体育館での個人対抗表彰式・閉会式にて無事に終了することが出来ました。

競技は、糸満市西崎総合体育館をメイン会場として、男子が沖縄水産高等学校体育館・豊見城南高等学校体育館・潮平中学校体育館、女子が糸満高等学校体育館・三和中学校体育館・兼城中学校体育館の７会場で熱戦が繰りひろげられました。

開催地である糸満市は、昭和62年に開催された海邦国体バドミントン会場となった、人口５万７千人の農漁業が盛んな小さな市です。この小さな市で高校最大の大会であるインターハイが本当に成功できるのか不安の思いからのスタートでした。その中でも大きな難題が２つありました。１つは会場施設面です。競技コート34面、練習コート49面は市内の殆どの小・中・高校を使用しなければなりませんでした。もう１つは宿泊場所です。市内にはリゾートホテルが一か所あるもののそれ以外のホテルは皆無で、青年の家等の公共施設や民宿での対応、それ以外は隣接する豊見城市や那覇市へも広がり、全国からの選手監督はじめ大会関係者には大変不便をかけました。このような難題を糸満市実行委員会のメンバーといろいろなアイディアを出しあいながらクリアーしていきました。

いろいろな課題の多い中でも競技は何とか進行していきました。南国沖縄開催ということで猛暑も懸念され、しかも空調設備が整っているのはメイン会場のみで、各会場とも高温に達し熱気ムンムンの中、換気を繰り返しながらの進行でした。しかし、このような悪条件のなかでも選手達の元気いっぱいでハツラツとしたプレーが展開されたことに安堵感と同時に感動さえも覚えました

大会の様子はNHKでも取り上げられ、小さな体育館の２階席に放送ブースを何とか設置して、全国に放映されたことも大会を盛り上げる要因となりました。

今大会にあたり、沖縄県・糸満市・糸満市実行委員会はじめ関係諸機関の多大なるご支援やご指導を頂きました。また全国高等学校バドミントン専門部・県内外役員・県内高校生の献身的な働きぶりが大会の大成功につながったことと確信しております。こころからのお礼を申し上げます。

最後に、大会終了後に大会補助員にあたった高等学校宛てに届いたある県の監督からの手紙を紹介します。この手紙には「十数年、全国総体に出場し、練習会場にも何度も行っているが『やらされている』という反応も少なくない。しかし彼女たちの様子は迎えて下さっているということを感じさせ、なんと素晴らしい人たちかと感動した」と何度も感謝の言葉を重ねてありました。この様なシーンが大会中のあちらこちらであったかとおもうと、今までの苦労も吹っ飛んでいく感じでした。このような行動の一つ一つが、多くの選手や関係者にとって思い出深い大会になったことでしょう。

本当にありがとうございました。

2011北東北インターハイ



青森県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
部　長　百　川　弘　通
（青森県立鰺ヶ沢高等学校）

平成23年、「2011北東北インターハイ」からブロック開催となり、バドミントン競技は青森県、会場は弘前市と決定されました。青森県高体連は、過去のインターハイにおいて、委員長が体調不良に陥る例が報告されている配慮から、委員長に代る教員を準備室に入れる方針を立てました。そこで、委員長であった私に代って、副委員長であった中川伸吾先生に準備室に入ってもらいました。

しかし、これは逆に私を苦しめることになりました。授業・校務分掌と通常に割り振られた中での準備。全国専門部や青森県準備室、青森県高体連、県協会とのやりとり。朝、PCに電源を入れメールの受信BOXを開くのが恐怖でありました。特に、平成23年４月からは、放課後部員に練習の指示をしてから、弘前市役所内の準備室に向い、中川先生と夜遅くまで机に向いました。日付が変わってから帰宅したこともざらでした。

以下、実質インターハイを切り盛りした中川先生から文章を頂戴したので掲載します。

青森県教育庁学校教育課指導主事　中川伸吾

『2011年３月11日、14時46分。弘前市実行委員会での業務中、ドンという縦揺れの後、ゆっくりグーラグーラという大きな横揺れが数分間続き、ただならぬ恐怖感が脳裏を駆けめぐりました。この東日本大震災では、東北地方の太平洋沿岸部を中心に津波等により死者、行方不明者合わせて１万８千人を超す甚大な被害を受けました。バドミントン競技開催地の弘前市は地震による直接的な被害はほとんどありませんでしたが、ライフラインの寸断により、燃料不足等が１ヶ月以上続き、インターハイ業務においても、岩手県宮古市から借用予定のコートマットが津波に流され使用できなくなるなど少なからず影響があり、北東北インターハイ自体の開催も危ぶまれました。しかし、今大会はブロック開催初年度の意義ある大会であること、そして、東日本大震災の復興の灯となる大会にしようと各県実行委員会の決意から、開催されることとなりました。全国専門部のご指導ご支援のもと、役員・補助員ともに心をひとつにして大会準備に臨みました。

「北の空　君に無限の可能性」を大会スローガンに、「がんばろう！東北」のメッセージを加え、平成23年８月15日、弘前市青森県武道館における開会式にて幕を開け、８月20日、同会場において個人対抗表彰式・閉会式にて無事終了することができました。

選手たちは、30℃を越える真夏の好天から雨天による低温への変化など、体調管理の難しい中、母校の名誉と自身のプライドをかけ気迫溢れるプレイを展開してくれました。

今大会で活躍した、桃田賢斗選手、奥原希望選手、福島由紀選手は、現在日本を代表する選手として成長し、2020の東京オリンピックでも金メダル獲得が期待されているところです。

2011インターハイは、関係諸機関ならびに諸団体の東日本大震災からの復興の灯にしようという熱い思いが成功に導いてくれたものと考えております。特に大会運営に携わって頂いた県内外の役員の方々、地元補助員のみなさんの献身的な働きぶりには、ただただ頭の下がる思いでした。また、東北各県からの派遣審判員の皆様には、大震災で大変な状況であったにもかかわらずお手伝いいただきました。さらに、東北の現状を心配して北海道協会は自ら審判を派遣してくださいました。心の奥底から感謝しております。

今後もインターハイで活躍した選手達が、オリンピックや世界の檜舞台で活躍されるとともに、全国高等学校体育連盟バドミントン専門部の益々の発展をご祈念申し上げます。

2012福井総体を開催して



福井県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
副部長 坂 井 茂 則
（福井県立金津高等学校）

「君は今　希望とともに緑の大地をかけぬける」をスローガンに、2012福井総体は８月１日フェニックス・プラザ開会式においてその幕を開け、８月６日福井県営体育館にて個人戦表彰式・閉会式を無事終了することができました。

競技は福井県営体育館を主会場に、福井市体育館、北陸電力福井体育館「フレア」、永平寺緑の森ふれあいセンター体育館の４会場で実施されました。今大会は規模縮小の流れを受け、県・市町村実行委員会は立ち上がらず県高体連が実行委員会となり、福井県高体連バドミントン専門部が準備・運営の中心となって行わざるを得ない状況でした。福井県内24の加盟校顧問・部員が心を一つに、一人三役～五役で乗り切らなければならない大会でした。

先生方の運営準備は２年前から本格的に始まりました。県内大会（県春季、夏季総体、強化大会、新人大会）をインターハイ本番さながらの様相で実施しました。本部席の運営や役員の動きなどは、本番当日に担当する先生、生徒で極力行うようにしました。

また、審判・線審・得点係りの講習会も大会毎に実施し、何度も練習を重ねました。会場選定においては、男子会場、女子会場それぞれトーナメント左の山、右の山が１会場になるよう４会場確保。環境面でなるべく不公平が生じないよう近接した４会場を選んだり、エアコン設置条件等を考慮しました。

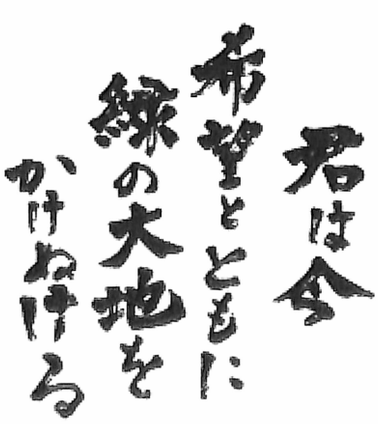
開催までの困難もありました。従来通りならば行政機関が実行委員会に入るため、体育館、駐車場、練習会場、式典会場等公共施設の使用許可申請がスムーズにいくのですが、今回は行政機関へ出向いて依頼することになり、確保に至るまでに時間を要しました。また、コカコーラ（株）が大手スポンサーという関係上、期間中すべての会場に他メーカーの自動販売機停止をお願いしなければならず、その交渉にも労を要しました。文書発送は、郵送ではなく宅配メール便を利用しなければならず、先方の不在等で確実に配達されないこともあり、発送先にご迷惑をおかけしました。さらに大会期間中は猛暑であり、熱中症や病人、けが人対策は高体連バド専門部で担わなければならず、大きな重圧となりました。

しかし、喜ばしいこともありました。開会式レセプションでは全米チャンピオンにも輝いた福井商業高校ダンス部「JETS」が駆けつけ、その応援により出場選手の士気を高めるとともに会場を盛り上げてくれました。また、永平寺体育館では地元の方達による「焼きさば」販売、永平寺ゆるキャラ「永坊くん」の出動で選手たちを癒してくれました。

大会を振り返ると、男子シングルスで優勝した桃田賢斗選手は2018年世界ランク１位、女子シングルスで優勝した奥原希望選手はリオオリンピックの銅メダリストであり、このように当時の各選手が活躍をしていることを鑑みると、如何にこの大会のレベルが高かったかが伺えると思います。

今大会が本県において無事開催できましたことは、本県の指導者ならびに将来に続くジュニア選手達の大きな指針となりました。

終わりに、全国高体連バドミントン専門部・福井県スポーツ課・福井県高体連専門部の多大なるご支援、ご協力・ご指導を賜り深く感謝申し上げます。



H25インターハイを開催して



福岡県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 明神憲一
（九州国際大学付属高等学校）

「吹きわたれ　若人の風　北部九州へ」を大会スローガンに掲げ、平成25年度全国高等学校総合体育大会バドミントン競技大会　高松宮記念杯第64回全国高等学校バドミントン選手権大会は、平成25年８月６日、北九州芸術劇場における開会式にてその幕を開け、連日の熱戦の後、８月11日、北九州市立総合体育館においての個人対抗表彰式・閉会式にて無事終了することができました。

競技は北九州市立総合体育館を主会場として、北九州メディアドームの２会場で実施されました。今大会は、平成25年３月に行われた第41回全国高等学校選抜大会に続く全国大会であり、福岡県高体連バドミントン専門部と北九州市実行委員会が準備・運営の中心となり、福岡県バドミントン協会及び北九州市バドミントン協会の協力のもとに実施されました。各都道府県の代表として出場した選手達は、連日の猛暑のもと、体調管理の難しい中、母校の名誉と自身のプライドをかけた気迫溢れるプレイを展開し、競技者と運営者が感動を共有できたことに大きな喜びを感じています。これも指導者各位の日ごろからのご指導の成果であると敬服するとともに、今大会に参加した選手の中から、将来オリンピックをはじめ世界の舞台で活躍する選手が出てくることを期待します。

また、全国各地から多くの観客のみなさまをお迎えし、競技会場は連日たいへん盛り上がりました。（公財）全国高等学校体育連盟バドミントン専門部ホームページや福岡県高体連ホームページへのアクセスも増え、特に、取材に訪れたメディア数等は20社を越える日もあり、バドミントン競技への興味、関心の高さと熱意に驚かされました。

今大会を成功裏に終えることができましたのも、北九州市実行委員会、福岡県、福岡県教育委員会、北九州市、北九州市教育委員会をはじめ関係諸機関ならびに諸団体、そして、競技会場や練習会場としてご協力いただいた各施設、学校等の多大なるご支援、ご指導の賜物であり、深甚なる謝意を表します。また、大会運営に携わっていただいた県内外役員の方々、補助員のみなさんの献身的な働きぶりには、ただただ頭の下がる思いでした。特に、県内外からお手伝いいただいた審判の方々の、熱意溢れるご協力に心からお礼を申し上げます。また、事務局を担当し６月の各県の代表が決定後、全国から多くの問い合わせや組合せ抽選会等の準備、７月中旬にプログラム完成、役員必携、審判必携、役員及び補助員名簿作成、競技関係物品準備等、時間がないなかでしなければならないことが沢山ありましたが、実行委員会と県内バドミントン顧問がまとまり、毎日遅くまで大会準備を協力していただいたことを今も心から感謝しております。

最後になりましたが、全国高等学校体育連盟バドミントン専門部の70周年を迎えるにあたり、心よりお祝い申し上げるとともに、益々の発展をご祈念し大会報告とさせていただきます。

インターハイを開催して



千葉県立市原緑高等学校
教　頭　白　鳥　　寿
（元南関東総体実行委員会）

平成26年度に開催した「煌めく青春南関東総体2014」（以下、26総体）は、平成17年野田市で開催された「2005千葉きらめき総体」から９年後の開催となりました。当時、「インターハイの運営業務は、一生に１回だから頑張ろう！」と委員長の掛け声のもと、乗り越えましたが、まさか２回目の大会を運営するとは思ってもいませんでした。

26総体は千葉ポートアリーナをメイン会場に、千葉県総合スポーツセンター・JFE千葉・県立幕張総合高校・県立生浜高校の５会場と練習会場に千葉市内の中学校・高等学校・公共体育館を借用し開催しました。準備業務は、千葉市実行委員会事務局を千葉市教育委員会保健体育課に設置していただき、高校総体準備班は私を含め３人体制であたりました。華やかな大会の裏には、多くの業務があり大変な労力を使いましたがやり甲斐はありましたが、最も気を遣ったことは、コートマットの手配・設置です。千葉県内・外でコートマットを保有している関係機関に借用を依頼し、搬入・搬出の日程や運搬業者の手配、設置作業に必要な補助役員生徒の派遣などがあり、設置が終わった際は安堵しました。様々な準備業務がありましたが、重要なことは、いかに予算と人員を確保し、物品購入ができるかということで、この点は大変勉強させていただきました。インターハイは毎年開催されますが、開催に当たって多くの方々の協力により運営がなされていることを、選手はじめ指導者・保護者の方々に認識していただきたいと思います。

26総体を振り返ると様々なドラマがありました。学校対抗では福島県富岡高校のアベック優勝がありました。東日本大震災後の苦労を乗り越えての結果であったので、関係者の喜びも一入ではなかったかと思います。運営業務を行いながら、試合の模様を興奮しながら観ていた記憶があります。個人対抗では、世界で活躍している山口茜選手や渡辺勇大選手が高校生であり、シャトルを必死に追いかけ、絶妙な技を十分に発揮し、試合をしていたことが記憶に蘇ってきます。インターハイの舞台で切磋琢磨した選手の皆さんは、次のステージで、またその先のステージで大活躍をしています。大会の準備・運営は本当に大変ではありましたが、活躍している選手を見ると、苦労をした甲斐があったなと感じています。

御存じのとおり、昨今、運動部活動に対する考え方も多様化し、本県では運動部活動ガイドラインが出され、各学校で活動方針を策定することとなりました。日本の競技力が学校の部活動に支えられている状況の中、競技力を維持しつつ、短時間で効率のよい部活動運営を考えるときが来ています。自分の可能性をかけて練習をしている選手と、それを指導・支援する監督・コーチ指導者・保護者の思いが一つになる運動部活動となることを祈っています。

26総体の開催にあたり、多大なる御協力・御高配を賜りました千葉市・千葉市教育委員会はじめ、関係各位の皆様に衷心より御礼を申し上げます。

全国高校総体を開催して



京都府高等学校体育連盟
バドミントン専門部
前委員長　寺　田　裕　昭
（京都西山高等学校）

（公財）全国高等学校体育連盟バドミントン専門部、創立70周年を迎えられ、記念誌を発行されるにあたって心よりお祝いを申し上げます。平成27年夏、「風になれ　今青春が走りだす」の大会スローガンのもと「平成27年度　全国高等学校総合体育大会　バドミントン競技大会　高松宮記念杯　第66回全国高等学校バドミントン選手権大会」は、８月６日京都府長岡京記念文化会館において開会式を実施し、７日からは西山公園体育館・向日市民体育館・京都府山城総合運動公園体育館の３会場で競技が実施され、11日の閉会式まで円滑に運営をすることができました。

開催が平成27年８月にもかかわらず、決定したのが平成24年５月と準備する時間がなく苦労したことを思い出します。京都では、平成９年にも実施していたのですが、その時は監督で運営に全くかかわっていませんでしたが、少し雰囲気も覚えているつもりでした。また、私は全国専門部の常任委員であったので、各府県で実施されていたインターハイに参加し運営を見ることができていたのである程度のことはわかっているつもりでありましたが、いざ準備の段階になると何から手を付ければよいか戸惑いの連続でした。主管者になり大会を作り上げていくことの難しさがよくわかりました。

京都府の実行委員会には、平成26年４月から京都府立西乙訓高等学校の河本幸弘先生に出向していただき大会が終了してその後の報告書の作成・発送までの期間大変に苦労を掛けました。この期間、京都府田辺高等学校の高向嘉浩先生にも週に一度京都府庁に出向いていただき協力してもらいました。また、他にも実行委員会の渡邉・酒井・谷垣さんの協力があってできたものだと思っています。本当に感謝の一言しかありませんでした。他専門部の役員の先生・各学校の顧問の先生にも何度も説明会・会議を持ちご迷惑をかけたことが頭によぎります。

会場については、当初３会場のうちエアコンのある会場は１会場だけでしたが、全国専門部からどうにかしてもらえないかと言われ、実行委員会に交渉を重ね少し離れてはいるが宇治市の山城総合運動公園体育館の使用が可能になりホッとしたものです。とはいえ、京都府の体育館は昭和63年の京都国体のときに建築されたものが多く最新の形ではなく体育館の中に控室・集合場所が無く、また駐車場が非常に狭く確保するのに苦労をしました。確保できた場所も会場から遠く監督・選手の皆さんには非常に迷惑を掛けました。この場を借りてお詫び申します。

競技は初日から、雷雨に見舞われ山城総合運動公園体育館では２度の停電が発生し競技が中断、またエアコンの無かった向日市民体育館では喚起の為の時間が必要であった為終了したのが21時45分と非常に厳しいスタートでした。その後はスムーズに進んだと言いたいところですが、学校対抗優勝校に渡す文部科学大臣賞の賞状がしわが寄っていて額に入れて渡す、個人戦では日本バドミントン協会のメダルが少なく急遽ダミーのメダルを渡してしのいだとか表に出ないところで苦労しました。

ともあれこのような大きな大会を主管するという経験は、京都府高体連バドミントン専門部にとっては貴重なものになりました。田部井部長をはじめ全国専門部の先生方、京都府実行委員会、府協会の皆様方の協力の賜物だと感謝しています。ありがとうございました。

H28中国インターハイを開催して



岡山県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
前委員長 西 﨑 文 貴
（岡山県立西大寺高等学校）

岡山県では昭和53年以来39年ぶりとなりましが、開催にあたっては様々な困難を乗り越えなければなりませんでした。複数会場が必要なバドミントン競技が、選手・監督目線のベストな大会を目指すには岡山市開催しか考えられなかったのですが、他の県内開催競技専門部の多くが施設規模や利便性から岡山市開催を希望し、開催地が決定するまで紆余曲折がありました。

最終的には様々な関係者のご尽力により、岡山市では陸上競技・剣道・バドミントンの３競技開催が決定し、バドミントンはジップアリーナ岡山・岡山市総合文化体育館・岡山シンフォニーホールの岡山県で考えられる最高の３施設を会場にすることができました。特に新幹線停車駅である岡山駅から徒歩で行け、17面を設置できるジップアリーナ岡山をメイン会場とできたことは、全国から参加していただく選手・監督はもちろんのこと、来岡していただくすべての関係者の方々に必ず喜んでいただけると信じて準備をすることができました。

会場が決まったあとは、運営スタッフの養成でした。結果的には地元代表校以外でインターハイ監督経験がある役員は私だけで、「インターハイとはどんなものか？」ということを後輩役員に知ってもらうことから始めました。予算を確保し、３年前の北九州大会から千葉・京都と主要ポストの長を視察に派遣し、いかに大規模な大会かということを理解してもらいました。本番の岡山大会では、各人がそれぞれのポストで自分の考えを持って準備・運営・おもてなしをしてくれたことが、大会成功の第２の要因だと思っています。

３つめの柱は選手強化でした。平成17年岡山国体の成功を踏まえて、県内の中学校の先生方、ジュニアクラブの指導者の方々が地元インターハイを見据えて、山下・香山を筆頭に本当に多くの選手をピンポイントで育ててくれました。あとは岡山県高体連専門部として、そのタレント達をいかに県外流出させることなく岡山県代表にするかということに知恵を絞りました。中高連携強化練習会を６年前（高３が中１の時）から年複数回開催し、選手が練習をしている間に保護者の方に何回も集まっていただき、委員長の私から強化計画を説明し、岡山県内の高校に進学し地元インターハイへ岡山県代表として出場して欲しいと訴え続けました。岡山県内の東と西・公立と私立・普通科と実業科など、バドミントンだけではない選択肢を含んだ男女４校ずつの強化指定校並びに指導者の固定を示し、３年間の強化費配分計画も説明して岡山県内強化指定校への進路選択をお願いした。その結果、３年生で岡山インターハイを迎える県内中学生は誰ひとり県外へ進学することなく、地元出身の選手をすべて確保することができました。

本大会では想定通りに行かず残念な結果になったこともありましたが、超満員の最終日ジップアリーナ岡山において、倉敷中央の香山や武田を応援できたことは、それぞれの心にずっと残る貴重な体験だったと思います。そしてその中には「明日の岡山代表シート」として招待した約200名の小・中学生もいました。その子達が今後も「○○高校　岡山」のウェアーを着て、全国のインターハイ会場で活躍してくれることと信じています。

また、大会役員、中国地区・岡山県岡山市関係者、補助員の高校生には心より感謝しています。何より各セクションの長として活躍してくれた後輩役員が、インターハイを契機に多く育ってくれたことがこれからの岡山県専門部の財産となりました。

南東北インターハイを開催して



山形県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長　大　山　孝　光
（山形市立商業高等学校）

平成29年度全国高等学校総合体育大会は山形県を幹事県として、宮城県、福島県の南東北３県での開催となりました。山形県として高校生の全国大会を開催したのは平成４年度の「べにばな国体」が直近となり、お話をいただいた時点で既に20年余が経過していました。専門部として検討した結果、インターハイを開催することで大規模大会運営のためのノウハウを得ること、選手強化の起爆剤としたいなどの思いから、積極的に招致したいとの結論に至りました。その過程で委員長として地元開催を先導した伊藤張二先生（岩手県）、百川弘通先生（青森県）から多くのアドバイスをいただき、私自身不安を多く抱えながらも、納得の上で手を挙げたことを思い出します。

さて実際に開催競技の振り分けが行われ、バドミントン競技が山形県に決まりました。当時たまたま全国高校選抜大会も開催希望を関係機関に提出しており、全国選抜をインターハイ開催前々年度に設定していただき、リハーサル大会に位置付けました。しかし、初期の段階で大きな問題が生じました。「県内一円で競技を実施し、県民全体で大会を盛り上げたい」との県の意向から、バドミントン競技については新庄市、鶴岡市近辺で実施してほしいと内々の打診がありました。専門部としては大きな競技会場が確保できる山形市近辺での開催を希望しており、30面を超えるコートを設営することを考えるとこれはなかなかの難題でした。多くの公共施設をリサーチさせていただき、結果的には新庄市、鶴岡市に尾花沢市を加え、３市開催で内諾をいただきました。この３市では他競技の開催がないため、自治体の協力を予想以上に手厚くいただきました。鶴岡市と尾花沢市では80kmほど離れているため、公共交通機関が脆弱な本県では宿泊や移動等で課題が生ずることは明らかでしたので、全国専門部の会議に何度もお邪魔させていただき、大まかな大会関係の日程、競技開催５日間の試合会場の配分など何度となく修正案を提出し続け、混乱なく大会を運営できるよう調整を重ねました。参加した選手監督役員の皆様には多大なご不便をおかけしたこととは存じますが、何とか無事に終えることができたと考えております。

前述したとおり開催した３市には手厚い支援を頂戴し、「経費節減」が強調されるインターハイにおいて、できる限りのことをしていただきました。個人対抗決勝を行った新庄市体育館は昭和47年度インターハイのために建設された施設で、老朽化が進んでおりました。市当局からは数年前から改修工事を重ねていただきました。鶴岡市ではリハーサルとして全国高校選抜大会も開催し、学校対抗決勝を行った小真木原総合体育館は遮光等の面でバドミントン仕様に改修していただきました。そして今大会で開催地実行委員会が力を入れたことは「おもてなしの心で選手を迎え入れる」ことでした。国体ではよく見られる光景でしたが、自治体はこの部分にも予算を割き、各会場で地元特産品の無料振る舞いを行ったほか、無料のシャトルバスを寸断なく運行するなど、山形ならではの大会を演出していただきました。そしてお願いする側として何としても実現していただきたかった空調の整備にもご配慮いただき、全ての競技会場に仮設空調を入れることができ、近年になく快適な環境で競技を進めることができました。関係各所の連携のもと無事に大会を終えることができ、この場を借りて改めて感謝申し上げる次第です。

末筆になりますが、準備の過程で立ち上げの時期に調整役として奔走いただいたお二人が、インターハイ本番を見ずして病のため相次いで急逝されたことは痛恨の極みです。元県専門部長の髙山茂先生（新庄南高校）、前県協会理事長の米山正和氏にこの大会の成功をご報告させていただきたく存じます。

静岡インターハイを顧みて



静岡県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長　小田切　希　芳
（静岡県立藤枝北高等学校）

「翔べ　誰よりも高く　東海の空へ」の大会スローガンのもと、平成30年度全国高等学校総合体育大会バドミントン競技大会は、８月４日から９日までの６日間、浜松アリーナをメイン会場として浜北総合体育館との２会場で熱戦が繰り広げられました。

開会式は、８月４日に競技会場である浜松アリーナで実施しました。静岡県立浜名高等学校の青島玲音さんの歓迎の言葉で、「ようこそ“やらまいか精神”溢れる浜松へ」の思いを参加していただいた選手・監督・関係者の方々に伝えました。3,000人を超える収容人数は申し分なく、備え付けの大型映像装置を利用しての素晴らしい式となりました。また、浜松市立高等学校の箏曲部と合唱部が開会式前の歓迎アトラクションを行い、選手たちへのささやかな激励をさせていただきました。

翌８月５日からの競技は、男女各17面に対し学校対抗戦１回戦が18試合あるため終了時刻の遅延が心配されました。浜松アリーナでは選手集合所が３箇所に分散したため、参加選手の混乱を防ぎ速やかな入場を行うことが課題でした。また、主審と線審の技術向上のために練習会や講習会を２年間かけて行ってまいりました。それぞれの係が、県総体や東海ブロック大会でのリハーサルの成果を十分に発揮することができ、トラブルなくスタートを切ることができました。最終日には、台風上陸の可能性があり中止も危ぶまれましたが、参加選手をはじめ大会関係者の熱い気持ちが台風を押し退けて、無事に全日程を終了することができました。

競技会場準備期間を含めた９日間には、各所で至らぬところがあったかもしれませんが、スタッフ全員が準備と運営に誠心誠意取り組んでまいりました。トップレベルの真剣勝負を目の当たりにして、県内高校生補助員の運営に当たる姿勢も真剣そのものであり嬉しく感じました。競技結果については、静岡県勢は７年ぶりに学校対抗戦ベスト16に男女共に入ることができ、地元が大いに盛り上がりました。全国から選手として参加していただいた高校生、お迎えをした静岡県の高校生の双方にとって、忘れられない青春の１ページとなった大会であったのではないでしょうか。またいつの日か静岡へ来られた際に、「静岡インターハイ」を思い出していただければ幸いです。

終わりに、本大会を成功裡に終えることができ、浜松市実行委員会をはじめ多くの御尽力を賜りました皆様に、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。



全国高校選抜記念大会を開催して

40回選抜◆平成24年◆広島

第40回記念全国高等学校選抜バドミントン大会を開催して



広島県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
元委員長 赤川雅美
(安田女子高等学校)

平成23年度第40回記念全国高等学校選抜バドミントン大会は、広島県立総合体育館（グリーンアリーナ）において、平成24年３月24日（土）～27日（火）の期間で開催されました。私は、平成18年４月～平成26年３月の８年間、委員長を務めさせていただきました。県高体連の新体制を作るに当たり、委員会で検討した結果、広島での開催が広島県のジュニア世代の強化につながる。ということで開催を引き受けました。40回記念大会ということで、平成19年３月に北海道で開催された35回記念大会に視察に行きました。会場、運営、レセプション、どれをとっても大きな規模でやることの多さに驚いたのが、この視察でした。

次に行ったのが、選手強化と運営の準備です。選手強化については、県協会とも連携し、小学生連盟、中体連バドミントン部にも協力を仰ぎ、小学５・６年生を対象に強化指定選手を選定し、月に１回の強化練習及び年２回の強化合宿を継続して行うことになりました。この世代の選手たちは、決して突出した才能の選手ではありませんでしたが、大会を目標にすることで意識も高く練習に臨んでくれました。予選の結果、第一代表校は男子が安古市高校、女子が清水ヶ丘高校。第二代表校は男女とも安芸府中高校となりました。大会では、清水ヶ丘高校が予選リーグの接戦を勝ち、決勝トーナメントに進みベスト16という成果をあげました。

準備については、大会の約２年前に広島地区高体連バドミントン専門部の先生方を中心に準備委員会を立ち上げました。入念な準備をしていても、大会直前には様々なトラブルや、遠方からのコートマットの運搬等、予測できない事態が起きました。しかし、各準備委員の先生方の的確な判断と臨機応変な対応で大会の準備も運営も滞りなく進みました。公開抽選の結果を大型スクリーンに映す計画も前日に大幅変更になりましたが、役員の知恵を結集し、見事に成功し、スタッフ皆で喜んだことも大きな思い出の一つです。大会運営に携わってくれた広島地区の高校生も堂々とした態度で線審や得点係、その他の雑務を笑顔を絶やさず果たしてくれました。普段から熱心に部活動に携わっている先生方の指導の賜物だとお褒めの言葉もいただきました。開会式では、熊野高校書道部に大書の歓迎パフォーマンス、基町高校吹奏楽部には開会式演奏をお願いし、見事に開会式を盛り上げて下さいました。その他、広島県バドミントン協会の審判部の方々には主審だけではなく会場の準備や高校生の指導、広島県レディース連盟には運営のお手伝いをいただきました。

今、振り返ってみると開催決定から大会終了日までの約５年間は、まさにオール広島で臨んだ記念大会だったと思います。私自身にとりましても、大会の実行責任者として監督として選手とともに準備したこの大会は、一生忘れることのできない大きな大会となりました。この場を借りまして、選手強化でお世話になった他県の先生方、時には厳しいご指摘やご助言をいただいた全国高体連専門部の先生方、大会に関わった全ての方々に感謝いたします。ありがとうございました。

第45回記念全国高等学校選抜バドミントン大会を開催して



愛知県高等学校体育連盟
バドミントン専門部
委員長 日詰彰則
（愛知工業大学名電高等学校）

平成29年３月22日から26日の５日間の日程でスカイホール豊田（豊田市総合体育館）と岡崎中央総合公園総合体育館を会場に第45回記念全国高等学校選抜バドミントン大会を開催いたしました。

今大会は、全県出場の団体戦形式では６回目を迎え、個人戦形式も記念大会にはじめて導入されたため、全国専門部の先生方の助言をいただいての大会実施となりました。

大会準備は、広島記念大会の視察からスタートしました。広島記念大会では、開会式での団体戦抽選のしかたを重点にみました。大会終了後、広島県のご厚意により抽選道具一式を譲り受けました。次に挙げる課題は、２会場を使用しての大会運営のやりかたです。本県では、全国総体、全国選抜レベルの大会は久しく、全国大会レベルの運営を知らない人たちであるため、山形選抜と岡山総体の２会場での大会運営を視察しました。

やはり準備にあたっては会場の確保、予算の確保、審判、補助員の確保に頭を悩ませました。会場確保、大会運営について、広島記念大会を視察した当初は、記念大会においては全県出場の団体戦のみということでしたが、後に、個人戦も加わったため１会場での運営では不可能ということになり、急遽、岡崎市と岡崎市バドミントン協会に掛け合い、大型の体育館を確保することができました。ここで課題となったのは、記念大会であるため参加校数が多いこと。また近年は応援、観戦される人の数も多いことから観覧席の数、また会場間が離れすぎないように配慮することなど主に３点に注意して体育館確保にあたりました。これにより大会初日の団体戦では豊田スカイホールの18面を使用して女子団体戦を、岡崎中央総合公園総合体育館の18面を使用して男子団体戦を無事に終えることができました。次に予算について、経費削減、人員削減を念頭におき、大会運営にあたりました。特に広告収入においては、実業団で活躍している地元企業からパネル広告の参加を、プログラム広告ではバドミントン部がある多くの地元大学から協賛していただくことができました。

今大会は、全国専門部の先生方のご指導の下、開会式、開会式後の抽選もスムーズに進み、競技進行もスムーズに進めることができ、全日程を終えました。

この記念大会を愛知県で開催できたことは、県内の高校生にトップレベルのプレーに触れる機会となっただけでなく、大会スタッフとして参加した教員にとっても意義深いものとなりました。

創立70周年記念表彰一覧

（熊本県八代市ホワイトパレス　2019年7月30日）

特別功労賞（25名）

氏　名
渡邊　励（南北海道）
宮野　慎哉（南北海道）
百川　弘通（青森）
菊地　亨（岩手）
木戸　純一（宮城）
大山　孝光（山形）
山野井利明（茨城）
岩崎　盛和（群馬）
飯田　武司（千葉）
山縣　泰弘（新潟）
小田切希芳（静岡）
尾関　靖（愛知）
日詰　彰則（愛知）
寺田　裕昭（京都）
大住　陽一（大阪）
武藤　隆志（和歌山）
坂田　智也（和歌山）
山下　幸夫（鳥取）
西垣　卓宏（鳥取）
西崎　文貴（岡山）
赤川　雅美（広島）
秋山　啓太（愛媛）
明神　憲一（福岡）
井上　哲章（熊本）
下地　敏彦（沖縄）

功労賞（18名）

氏　名
水崎　忍（北北海道）
光井　正（宮城）
遠井　努（栃木）
板垣　巌（群馬）
関根　忠（東京）
浅見　洋一（神奈川）
中山　宗彦（山梨）
麦谷　正二（富山）
水内　浩（石川）
坂井　茂則（福井）
森　豊幸（滋賀）
村上　徹嗣（大阪）
増谷　和人（兵庫）
河野　強志（山口）
林　一男（香川）
伊東　正和（福岡）
末次　孝文（佐賀）
渡邉　仁友（大分）

優秀監督賞（5名）

氏　名
藤田　真人（青森）
大堀　均（福島）
本多　裕樹（福島）
大屋　貴司（埼玉）
滝内　亮（埼玉）

優秀校賞

【全国高等学校選抜大会】　男子（17校）

学　校　名	出場回数
旭川実業（北北海道）	14
札幌第一（南北海道）	34
青森山田（青森）	11
ふたば未来学園（福島）	11
常総学院（茨城）	26
埼玉栄（埼玉）	20
北越（新潟）	10
高岡第一（富山）	19
名古屋経済大学市邨（愛知）	10
暁（三重）	10
比叡山（滋賀）	39
東大阪大学柏原（大阪）	22
水島工業（岡山）	17
柳井商工（山口）	22
新田（愛媛）	15
瓊浦（長崎）	10
八代東（熊本）	23

女子（19校）

学　校　名	出場回数
旭川実業（北北海道）	23
とわの森三愛（南北海道）	11
青森山田（青森）	19
聖ウルスラ学院英智（宮城）	35
常総学院（茨城）	23
作新学院（栃木）	13
埼玉栄（埼玉）	29
西武台千葉（千葉）	16
淑徳巣鴨（東京）	12
県立岐阜商業（岐阜）	21
名古屋経済大学市邨（愛知）	11
暁（三重）	10
四天王寺（大阪）	18
園田学園（兵庫）	16
高松商業（香川）	11
新田（愛媛）	11
九州国際大学付属（福岡）	21
佐賀女子（佐賀）	14
昭和学園（大分）	12

優秀校賞

【全国高等学校総合体育大会】　男子（38校）

学　校　名	出場回数
旭川実業（北北海道）	14
札幌第一（南北海道）	35
前沢（岩手）	25
鶴岡工業（山形）	14
ふたば未来学園（福島）	11
常総学院（茨城）	31
作新学院（栃木）	26
埼玉栄（埼玉）	20
千葉敬愛（千葉）	21
西武台千葉（千葉）	13
北越（新潟）	35
高岡第一（富山）	22
金沢市立工業（石川）	50
勝山（福井）	30
長野商業（長野）	11
県立岐阜商業（岐阜）	34
星陵（静岡）	15
岡崎城西（愛知）	22
暁（三重）	11
比叡山（滋賀）	44
東大阪大学柏原（大阪）	33
神戸村野工業（兵庫）	19
奈良一条（奈良）	20
奈良大学附属（奈良）	24
那賀（和歌山）	12
水島工業（岡山）	29
柳井商工（山口）	37
新田（愛媛）	20
高知商業（高知）	24
土佐（高知）	20
九州国際大学付属（福岡）	21
唐津南（佐賀）	17
瓊浦（長崎）	33
西陵（長崎）	14
別府鶴見丘（大分）	15
八代東（熊本）	23
日章学園（宮崎）	11
鹿児島商業（鹿児島）	36

女子（38校）

学　校　名	出場回数
旭川実業（北北海道）	21
札幌静修（南北海道）	31
とわの森三愛（南北海道）	10
青森山田（青森）	19
聖ウルスラ学院英智（宮城）	40
山形城北（山形）	24
山形市立商業（山形）	10
ふたば未来学園（福島）	11
常総学院（茨城）	27
作新学院（栃木）	15
伊勢崎清明（群馬）	11
埼玉栄（埼玉）	26
西武台千葉（千葉）	20
甲斐清和（山梨）	30
新潟青陵（新潟）	57
金沢向陽（石川）	35
勝山（福井）	24
星陵（静岡）	12
滋賀短期大学附属（滋賀）	31
四条畷学園（大阪）	30
四天王寺（大阪）	13
アナン学園（大阪）	10
園田学園（兵庫）	31
添上（奈良）	13
耐久（和歌山）	22
松江商業（島根）	31
松徳学院（島根）	11
倉敷中央（岡山）	12
柳井商工（山口）	14
城東（徳島）	27
高松商業（高知）	11
新田（愛媛）	18
土佐女子（高知）	42
九州国際大学付属（福岡）	35
佐賀女子（佐賀）	45
熊本中央（熊本）	21
鹿児島女子（鹿児島）	30
南風原（沖縄）	10

優秀校賞

【全国高等学校総合体育大会】　男子（39校）

学　校　名	出場回数
旭川実業（北北海道）	14
札幌第一（南北海道）	35
前沢（岩手）	25
秋田工業（秋田）	13
鶴岡工業（山形）	14
ふたば未来学園（福島）	11
常総学院（茨城）	31
作新学院（栃木）	26
埼玉栄（埼玉）	20
千葉敬愛（千葉）	21
西武台千葉（千葉）	13
北越（新潟）	35
高岡第一（富山）	22
金沢市立工業（石川）	50
勝山（福井）	30
長野商業（長野）	11
県立岐阜商業（岐阜）	34
星陵（静岡）	15
岡崎城西（愛知）	22
暁（三重）	11
比叡山（滋賀）	44
東大阪大学柏原（大阪）	33
神戸村野工業（兵庫）	19
奈良一条（奈良）	20
奈良大学附属（奈良）	24
那賀（和歌山）	12
水島工業（岡山）	29
柳井商工（山口）	37
新田（愛媛）	20
高知商業（高知）	24
土佐（高知）	20
九州国際大学付属（福岡）	21
唐津南（佐賀）	17
瓊浦（長崎）	33
西陵（長崎）	14
別府鶴見丘（大分）	15
八代東（熊本）	23
日章学園（宮崎）	11
鹿児島商業（鹿児島）	36

女子（38校）

学　校　名	出場回数
旭川実業（北北海道）	21
札幌静修（南北海道）	31
とわの森三愛（南北海道）	10
青森山田（青森）	19
聖ウルスラ学院英智（宮城）	40
山形城北（山形）	24
山形市立商業（山形）	10
ふたば未来学園（福島）	11
常総学院（茨城）	27
作新学院（栃木）	15
伊勢崎清明（群馬）	11
埼玉栄（埼玉）	26
西武台千葉（千葉）	20
甲斐清和（山梨）	30
新潟青陵（新潟）	57
金沢向陽（石川）	35
勝山（福井）	24
星陵（静岡）	12
滋賀短期大学附属（滋賀）	31
四条畷学園（大阪）	30
四天王寺（大阪）	13
アナン学園（大阪）	10
園田学園（兵庫）	31
添上（奈良）	13
耐久（和歌山）	22
松江商業（島根）	31
松徳学院（島根）	11
倉敷中央（岡山）	12
柳井商工（山口）	14
城東（徳島）	27
高松商業（香川）	11
新田（愛媛）	18
土佐女子（高知）	42
九州国際大学付属（福岡）	35
佐賀女子（佐賀）	45
熊本中央（熊本）	21
鹿児島女子（鹿児島）	30
南風原（沖縄）	10

感謝状

ヨネックス株式会社　様
株式会社ゴーセン　様
ミズノ株式会社　様
アメアスポーツジャパン株式会社　様
株式会社VICTOR SPORTS　様
株式会社ダンロップスポーツマーケティング　様
ファイテン株式会社　様
クリオ　様
アイベックスポーツ株式会社　様
日本バドミントン専門店会　様

全日本ジュニア研修合宿

【合宿の目的】

バドミントンの実技と理論の研修を通して、精神面・身体面・技術面の総合的向上を目指すとともに、種々の交流による友情の輪を広げることを目的とする。

主　催　(公財) 全国高等学校体育連盟
主　管　(公財) 全国高等学校体育連盟バドミントン専門部
後　援　(公財) 日本バドミントン協会

1．期　　間（1月4日～月7日まで　3泊4日）

2．会　　場

年　度	H20	H21	H22	H23	H24
回　次	27回	28回	29回	30回	31回
開催地	埼玉県上尾市		愛媛県松山市		
会　場	埼玉県立スポーツ研修センター 上尾運動公園体育館 幸手市民文化体育館（アスカル幸手）		愛媛県総合運動公園体育館 砥部町陶街道ゆとり公園体育館		松山市コミュニティセンター体育館
			松山大学御幸キャンパス体育館 愛媛大学　第1・第2・第3 体育館		

年　度	H25	H26	H27	H28	H29
回　次	32回	33回	34回	35回	36回
開催地	和歌山県和歌山市			鳥取県鳥取市	
会　場	和歌山ビッグホエール 和歌山ビッグウェーブ			コカ・コーラボトラーズジャパン スポーツパーク県民体育館 鳥取産業体育館	

3．参加選手（高校1・2年生）

資　格		年　度	対　象	人　数
I	専門部指定選手	同年度	全国高等学校総合体育大会	S32 & D16 以内
II		同年度	全日本ジュニア大会	S 8 & D 4 以内
III		同年度	ジュニアナショナルチーム（U-19）	指定選手
IV		同年度	全国9ブロック代表選手	2名
V	開催県推薦選手	同年度	全国高等学校総合体育大会	4名
VI		同年度	全国高等学校選抜大会	4名
VII		次年度	国民体育大会	3名
VIII		同年度	合宿開催地	若干名
IX	専門部推薦	同年度	全国高等学校体育連盟専門部推薦	若干名

4．参加人数

資格	H20		H21		H22		H23		H24		H25		H26		H27		H28		H29	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
I																				
II	23	24	29	30	23	26	20	23	21	22	15	19	14	26	8	14	23	17	11	20
III																				
IV	20	17	18	18	18	17	18	18	18	17	18	17	18	18	36	26	27	27	36	27
V	4	4	4	4	4	4	3	4	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
VI	4	4	4	4	4	4	2	4	2	2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
VII	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
VIII	3	2	1	1	5	2	5	4	4	4	3	3	0	0	2	2	2	2	4	2
IX	2	3	2	1	3	4	5	3	9	8	9	8	19	8	3	1	0	4	1	3
計	59	57	61	61	60	60	56	59	60	59	56	58	62	63	60	54	63	61	63	63

5．合宿内容

	1月4日	1月5日	1月6日	1月7日
午前		実技 （シングルス）	実技 （ダブルス）	実技 （シングルス・ダブルス）
午後	集合	昼食	昼食	昼食
	実技 （シングルス）	実技 （ダブルス）	実技 （シングルス・ダブルス）	解散
夜	夕食	夕食	夕食	
	開講式	講義I	講義II	



朴　柱奉　ナショナルヘッドコーチによる　実技講習　（愛媛県松山市）H23.1.5

(公財) 全国高等学校体育連盟バドミントン専門部　歴代役員一覧

役職・年度	昭和24年度	昭和25年度	昭和26年度	昭和27年度	昭和28年度	昭和29年度	昭和30年度	昭和31年度	昭和32年度	昭和33年度
部長			柳一夫	柳一夫	柳一夫	森義雄	森義雄	森義雄	森義雄	森義雄
副部長		伊沢三郎	伊沢三郎	伊沢三郎	伊沢三郎	伊沢三郎	伊沢三郎	伊沢三郎	伊沢三郎	伊沢三郎
〃			森正三						安楽末夫	安楽末夫
事務局長										
事務局員										
北海道		森正三	森正三	森正三	森正三	森正三	森正三	森正三	森正三	森正三
東北										
関東						安楽末夫	安楽末夫	安楽末夫	安楽末夫	安楽末夫
北信越										
東海		谷亮	谷亮	谷亮	谷亮	谷亮	谷亮	谷亮	谷亮	谷亮
近畿			河合満	河合満	河合満	河合満	河合満	河合満	河合満	河合満
中国									石原幸雄	
四国										
九州										

役職・年度	昭和34年度	昭和35年度	昭和36年度	昭和37年度	昭和38年度	昭和39年度	昭和40年度	昭和41年度	昭和42年度	昭和43年度
部長	森義雄	森義雄	森義雄	森義雄	森義雄	森義雄	森義雄	森義雄	小林茂	小林茂
副部長	伊沢三郎	伊沢三郎	伊沢三郎	伊沢三郎	伊沢三郎	伊沢三郎	伊沢三郎	伊沢三郎	伊沢三郎	伊沢三郎
〃	安楽末夫	安楽末夫	安楽末夫	安楽末夫	安楽末夫	安楽末夫	安楽末夫	谷亮	谷亮	谷亮
事務局長										
事務局員										
北海道	森正三	森正三	森正三	森正三	森正三	森正三	森正三	森正三	森正三	森正三
東北										
関東	安楽末夫	安楽末夫	安楽末夫	安楽末夫	安楽末夫	安楽末夫	伊沢三郎	伊沢三郎	伊沢三郎	伊沢三郎
北信越										
東海	谷亮	谷亮	谷亮	谷亮	谷亮	谷亮	谷亮	谷亮	谷亮	谷亮
近畿	河合満	河合満	河合満	河合満	河合満	河合満	河合満	山本博	山本博	山本博
中国	毛利清志									毛利清志
四国					中川騰清					野村淳平
九州										本郷節生

役職・年度	昭和44年度	昭和45年度	昭和46年度	昭和47年度	昭和48年度	昭和49年度	昭和50年度	昭和51年度	昭和52年度	昭和53年度
部長	小林茂	小林茂	川田勇	川田勇	川田勇	遠井稔男	遠井稔男	遠井稔男	遠井稔男	遠井稔男
副部長	伊沢三郎	遠井稔男	遠井稔男	遠井稔男	遠井稔男	山本博	山本博	山本博	山本博	山本博
〃	谷亮	山本博	山本博	山本博	山本博					
事務局長										
事務局員										
北海道	森正三	平澤寛	平澤寛	増田幸	増田幸	増田幸	増田幸	増田幸	増田幸	増田幸
東北			宮越龍三	宮越龍三	宮越龍三	宮越龍三	鈴木祐司	鈴木祐司	鈴木祐司	鈴木祐司
関東	遠井稔男	遠井稔男	遠井稔男	遠井稔男	遠井稔男	新井威	河辺満	河辺満	河辺満	河辺満
北信越										佐藤秀夫
東海	谷亮	谷亮	谷亮	谷亮	谷亮	谷亮	谷亮	谷亮	谷亮	大世古弘吉
近畿	山本博	山本博	山本博	山本博	山本博	山本博	山本博	山本博	山本博	山本博
中国	毛利清志	石原幸雄	石原幸雄	山根怜	山根怜	山根怜	小林茂	小林茂	毛利清志	毛利清志
四国		森田桂示		野村淳平	見元均	見元均	越智幸雄	越智幸雄	森田桂示	森田桂示
九州	本郷節生	本郷節生	本郷節生	本郷節生	本郷節生	本郷節生	本郷節生	本郷節生	本郷節生	本郷節生

役職・年度	昭和54年度	昭和55年度	昭和56年度	昭和57年度	昭和58年度	昭和59年度	昭和60年度	昭和61年度	昭和62年度	昭和63年度
部長	遠井稔男	遠井稔男	遠井稔男	遠井稔男	遠井稔男	遠井稔男	遠井稔男	遠井稔男	遠井稔男	遠井稔男
副部長	山本博	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘
〃	森田清一	山本博	鈴木祐司	鈴木祐司	鈴木祐司	鈴木祐司	鈴木祐司	鈴木祐司	鈴木祐司	鈴木祐司
〃		森田清一	森田清一	森田清一	森田清一	森田清一	森田清一	森田清一	森田清一	森田清一
事務局長	近藤満	近藤満	近藤満	近藤満	近藤満	近藤満	近藤満	近藤満	近藤満	近藤満
事務局員										
北海道	森田清一	森田清一	森田清一	森田清一	森田清一	森田清一	森田清一	平澤寛	平澤寛	平澤寛
東北	鈴木祐司	鈴木祐司	鈴木祐司	鈴木祐司	鈴木祐司	鈴木祐司	鈴木祐司	鈴木祐司	鈴木祐司	鈴木祐司
関東	河辺満	河辺満	河辺満	河辺満	西巻育夫	西巻育夫	保坂和也	保坂和也	保坂和也	保坂和也
北信越	佐藤秀夫	佐藤秀夫	佐藤秀夫	佐藤秀夫	河原山晴夫	河原山晴夫	河原山晴夫	河原山晴夫	山内正孝	山内正孝
東海	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘
近畿	山本博	山本博	山本博	山本博	山本博	山本博	山本博	山本博	武田博利	武田博利
中国	山根怜	山根怜	吉川知之	吉川知之	三浦捷治	三浦捷治	安藤輝夫	安藤輝夫	平井謙	平井謙
四国	森田桂示	森田桂示	勝賀瀬健二	勝賀瀬健二	奥田啓介	奥田啓介	瀬尾靖彦	板東輝雄	谷岡敏男	谷岡敏男
九州	南直治	南直治	南直治	南直治	南直治	南直治	南直治	南直治	南直治	南直治

役職・年度	平成元年度	平成２年度	平成３年度	平成４年度	平成５年度	平成６年度	平成７年度	平成８年度	平成９年度	平成10年度
部　長	遠井　稔男	遠井　稔男	遠井　稔男	遠井　稔男	遠井　稔男	遠井　稔男	遠井　稔男	大世古吉弘	保坂　和也	保坂　和也
副部長	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	鈴木　祐司	成田　光生	成田　光生
〃	鈴木　祐司	鈴木　祐司	鈴木　祐司	鈴木　祐司	鈴木　祐司	鈴木　祐司	鈴木　祐司	保坂　和也	鈴木　祐司	
〃						保坂　和也	保坂　和也			
〃										
〃										
事務局長	近藤　満	近藤　満	近藤　満	近藤　満	近藤　満	近藤　満	舘野　政男	伊佐山正和	伊佐山正和	伊佐山正和
事務局員										
北海道	笠井　武彰	笠井　武彰	西村　喜憲	西村　喜憲	西村　喜憲	河崎　正紀	河崎　正紀	河崎　正紀	河崎　正紀	河崎　正紀
東　北	鈴木　祐司	鈴木　祐司	鈴木　祐司	鈴木　祐司	鈴木　祐司	鈴木　祐司	鈴木　祐司	木戸　純一	木戸　純一	木戸　純一
関　東	保坂　和也	保坂　和也	保坂　和也	保坂　和也	保坂　和也	保坂　和也	保坂　和也	伊佐山正和	伊佐山正和	伊佐山正和
北信越	清水　芳隆	清水　芳隆	片岡　和宣	片岡　和宣	荒井　和人	荒井　和人	川端　武和	川端　武和	和田　修	和田　修
東　海	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	大世古吉弘	平田　欽也	平田　欽也	平田　欽也
近　畿	成田　光生	成田　光生	成田　光生	成田　光生	成田　光生	成田　光生	成田　光生	成田　光生	濱　久美雄	濱　久美雄
中　国	小谷　章公	小谷　章公	瀬戸　勝	瀬戸　勝	新堀　稔文	新堀　稔文	渡辺　光男	渡辺　光男	石田　賢一	石田　賢一
四　国	谷岡　敏男	谷岡　敏男	谷岡　敏男	谷岡　敏男	谷岡　敏男	谷岡　敏男	岸　輝人	岸　輝人	岸　輝人	岸　輝人
九　州	南　直治	南　直治	南　直治	南　直治	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之

役職・年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
部　長	保坂　和也	保坂　和也	保坂　和也	保坂　和也	伊佐山正和	伊佐山正和	伊佐山正和	伊佐山正和	木戸　純一	木戸　純一
副部長	成田　光生	伊佐山正和	伊佐山正和	伊佐山正和	木戸　純一	木戸　純一	木戸　純一	木戸　純一	平田　欽也	平田　欽也
〃	伊佐山正和	成田　光生	成田　光生	成田　光生	平田　欽也	平田　欽也	平田　欽也	平田　欽也	河崎　正紀	河崎　正紀
〃			木戸　純一	木戸　純一	河崎　正紀	河崎　正紀	河崎　正紀	河崎　正紀	濱　久美雄	濱　久美雄
〃										
〃										
事務局長	伊佐山正和	伊佐山正和	伊佐山正和	伊佐山正和	高橋　清治	平田　欽也	新井　研二	新井　研二	新井　研二	新井　研二
事務局員	田部井秀郎	高橋　清治	高橋　清治	高橋　清治	田部井秀郎	田部井秀郎	田部井秀郎	田部井秀郎	田部井秀郎	田部井秀郎
〃		田部井秀郎	田部井秀郎	田部井秀郎						
北海道	河崎　正紀	河崎　正紀	河崎　正紀	河崎　正紀	酒井　智史	酒井　智史	酒井　智史	酒井　智史	酒井　智史	酒井　智史
東　北	木戸　純一	木戸　純一	伊藤　張二	伊藤　張二	遠藤　淳一	遠藤　淳一	沼澤　隆	沼澤　隆	沼澤　隆	沼澤　隆
関　東	婦山　好和	婦山　好和	婦山　好和	婦山　好和	婦山　好和	婦山　好和	婦山　好和	婦山　好和	婦山　好和	婦山　好和
北信越	今井　良彦	今井　良彦	彼島　重範	彼島　重範	新井　研二	新井　研二	麦谷　正二	麦谷　正二	坂井　茂則	坂井　茂則
東　海	平田　欽也	平田　欽也	平田　欽也	平田　欽也	下込　貞司	下込　貞司	下込　貞司	下込　貞司	下込　貞司	下込　貞司
近　畿	濱　久美雄	濱　久美雄	濱　久美雄	濱　久美雄	濱　久美雄	濱　久美雄	濱　久美雄	濱　久美雄	錦　秀知	錦　秀知
中　国	石田　賢一	石田　賢一	石田　賢一	石田　賢一	石田　賢一	石田　賢一	石田　賢一	山田　賢一	山田　賢一	山田　賢一
四　国	岡野　佳浩	岡野　佳浩	岡野　佳浩	岡野　佳浩	樽島　博幸	樽島　博幸	樽島　博幸	樽島　博幸	樽島　博幸	樽島　博幸
九　州	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦

役職・年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
部　長	木戸　純一	木戸　純一	婦山　好和	婦山　好和	婦山　好和	婦山　好和	田部井秀郎	田部井秀郎	田部井秀郎	田部井秀郎
副部長	平田　欽也	平田　欽也	下込　貞司	下込　貞司	河崎　正紀	河崎　正紀	山田　賢一	山田　賢一	樽島　博幸	渡邊　励
〃	河崎　正紀	河崎　正紀	河崎　正紀	河崎　正紀	山田　賢一	山田　賢一	樽島　博幸	樽島　博幸	渡邊　励	新井　研二
〃	濱　久美雄	濱　久美雄	山田　賢一	山田　賢一	田部井秀郎	田部井秀郎	渡邊　励	渡邊　励	新井　研二	菊地　亨
〃	婦山　好和	婦山　好和							菊地　亨	
〃	山田　賢一	山田　賢一								
事務局長	新井　研二	新井　研二	新井　研二	新井　研二	新井　研二	新井　研二	新井　研二	新井　研二	新井　研二	新井　研二
事務局員	田部井秀郎	田部井秀郎	田部井秀郎	田部井秀郎	樽島　博幸	樽島　博幸	飯田　武司	飯田　武司	飯田　武司	飯田　武司
〃		樽島　博幸	樽島　博幸	樽島　博幸						
北海道	渡邊　励	渡邊　励	渡邊　励	渡邊　励	渡邊　励	渡邊　励	宮野　慎哉	宮野　慎哉	宮野　慎哉	宮野　慎哉
東　北	沼澤　隆	沼澤　隆	菊地　亨	菊地　亨	菊地　亨	菊地　亨	菊地　亨	菊地　亨	大山　孝光	大山　孝光
関　東	岩崎　盛和	岩崎　盛和	岩崎　盛和	岩崎　盛和	岩崎　盛和	岩崎　盛和	岩崎　盛和	関根　忠	関根　忠	関根　忠
北信越	坂井　茂則	山縣　泰弘	山縣　泰弘	山縣　泰弘	山縣　泰弘	山縣　泰弘	新井　研二	新井　研二	藤澤　直方	藤澤　直方
東　海	下込　貞司	下込　貞司	尾関　靖	尾関　靖	尾関　靖	尾関　靖	日詰　昭則	日詰　昭則	山本　泰生	山本　泰生
近　畿	錦　秀知	寺田　裕昭	寺田　裕昭	寺田　裕昭	寺田　裕昭	寺田　裕昭	寺田　裕昭	寺田　裕昭	佐藤　浩	佐藤　浩
中　国	足立　弘健	足立　弘健	足立　弘健	足立　弘健	山下　幸夫	山下　幸夫	山下　幸夫	山下　幸夫	山下　幸夫	山下　幸夫
四　国	樽島　博幸	樽島　博幸	樽島　博幸	樽島　博幸	樽島　博幸	樽島　博幸	黒石　雅宏	秋山　啓太	秋山　啓太	秋山　啓太
九　州	築地　孝彦	井上　哲章	井上　哲章	井上　哲章	井上　哲章	井上　哲章	明神　憲一	明神　憲一	末次　孝文	末次　孝文

都道府県高等学校体育連盟バドミントン専門部　歴代委員長一覧

都道府県・年度	昭和23年度	昭和24年度	昭和25年度	昭和26年度	昭和27年度	昭和28年度	昭和29年度	昭和30年度	昭和31年度	昭和32年度	昭和33年度
北北海道			中辻　藤雄	中辻　藤雄	平野芳太郎	平野芳太郎	梅村　茂	梅村　茂	小林　純幸	小林　純幸	小林　純幸
南北海道			森　正三	森　正三	森　正三	森　正三	森　正三	森　正三	森　正三	森　正三	森　正三
青　森			部谷　光延	部谷　光延	部谷　光延	部谷　光延	部谷　光延	部谷　光延	部谷　光延	部谷　光延	部谷　光延
岩　手			小原　亮吉	鈴木　清一	鈴木　清一	鈴木　清一	川村　仙二	川村　仙二	川村　仙二	川村　仙二	川村　仙二
宮　城				鶴田　正男	鶴田　正男	鶴田　正男	高橋　哲男	日下　秀夫	日下　秀夫	日下　秀夫	日下　秀夫
秋　田			伊藤　チエ	伊藤　チエ	伊藤　チエ	中川　鉄男	宮腰　龍三	宮腰　龍三	宮腰　龍三	宮腰　龍三	宮腰　龍三
山　形					熊谷重四郎	熊谷重四郎	熊谷重四郎	熊谷重四郎	熊谷重四郎	熊谷重四郎	熊谷重四郎
福　島					細谷　光	永田保四郎	永田保四郎	小島　博隆	横山　茂	横山　茂	横山　茂
茨　城											
栃　木					松本　弘充	松本　弘充	松本　弘充	松本　弘充	松本　弘充	松本　弘充	松本　弘充
群　馬		上田　敬次	上田　敬次	上田　敬次	上田　敬次	上田　敬次	古川　滋	古川　滋	古川　滋	古川　滋	奥泉　英子
埼　玉								下河辺貫明	下河辺貫明	下河辺貫明	下河辺貫明
千　葉				角田　二郎	角田　二郎	角田　二郎	角田　二郎	角田　二郎	滝　一郎	滝　一郎	滝　一郎
東　京				柳　一夫	安楽　末夫	安楽　末夫	安楽　末夫	安楽　末夫	安楽　末夫	安楽　末夫	安楽　末夫
神奈川			伊沢　三郎	伊沢　三郎	伊沢　三郎	伊沢　三郎	伊沢　三郎	伊沢　三郎	伊沢　三郎	伊沢　三郎	伊沢　三郎
山　梨			金谷　一雄	金谷　一雄	金谷　一雄	金谷　一雄	橘田　登	橘田　登	橘田　登	橘田　登	田村　博
新　潟			熊倉　光治	熊倉　光治	熊倉　光治	熊倉　光治	矢部　庄吾	矢部　庄吾	矢部　庄吾	矢部　庄吾	矢部　庄吾
富　山			川倉　馨	川倉　馨	川倉　馨	川倉　馨	川倉　馨	松岡　正雄	松岡　正雄	松岡　正雄	松岡　正雄
石　川		杉森喜三吉	杉森喜三吉	南　武典	南　武典	南　武典	森川　憲三	森川　憲三	森川　憲三	森川　憲三	森川　憲三
福　井											関　巌
長　野											
岐　阜			谷　亮	谷　亮	谷　亮	谷　亮	谷　亮	谷　亮	谷　亮	谷　亮	谷　亮
静　岡				鈴木　清見	植松　忠裕	植松　忠裕	植松　忠裕	植松　忠裕	植松　忠裕	植松　忠裕	植松　忠裕
愛　知											
三　重				伊藤　治郎	長谷川　衛	林　三雄	林　三雄	野呂　巽	野呂　巽	野呂　巽	鈴木　政夫
滋　賀						伊藤　章一	伊藤　章一	伊藤　章一	伊藤　章一	中山　実	中山　実
京　都				久野　龍英	久野　龍英	山本　博	山本　博	山本　博	山本　博	山本　博	山本　博
大　阪	井上　得三	井上　得三	井上　得三	青木　昭二	青木　昭二	青木　昭二	青木　昭二	青木　昭二	青木　昭二	青木　昭二	青木　昭二
兵　庫					河合　満	河合　満	河合　満	河合　満	河合　満	河合　満	河合　満
奈　良			上山　当雄	岩井　由治	岩井　由治	岩井　由治	岩井　由治	岩井　由治	岩井　由治	岩井　由治	岩井　由治
和歌山				島田　実	水崎　広	吉田　正雄	吉田　正雄	吉田　正雄	上田　忠男	上田　忠男	上田　忠男
鳥　取									倉光　忠雄	倉光　忠雄	倉光　忠雄
島　根			石原　幸雄	石原　幸雄	石原　幸雄	石原　幸雄	石原　幸雄	石原　幸雄	広政　敏明	広政　敏明	広政　敏明
岡　山		永井　正	永井　正	永井　正	永井　正	永井　正	永井　正	永井　正	永井　正	永井　正	永井　正
広　島											
山　口						庄井　政雄	庄井　政雄	庄井　政雄	庄井　政雄	庄井　政雄	庄井　政雄
徳　島											
香　川					佐藤　実一	稲山　正雄	佐藤実一・稲山正雄	稲山　正雄	稲山　正雄	稲山　正雄	稲山　正雄
愛　媛					片上　進	森部　光雄	森部　光雄	森部　光雄	森部　光雄	森部　光雄	森部　光雄
高　知							見元　均	見元　均	見元　均	山崎　二郎	山崎　二郎
福　岡											
佐　賀											
長　崎											
大　分											
熊　本											
宮　崎											
鹿児島											
沖　縄											

都道府県名・年度	昭和34年度	昭和35年度	昭和36年度	昭和37年度	昭和38年度	昭和39年度	昭和40年度	昭和41年度	昭和42年度	昭和43年度
北海道	小林　純幸	小林　純幸	小林　純幸	小林　純幸	小林　純幸	小林　純幸	小林　純幸	小林　純幸	小林　純幸	三宅　仁
南北海道	森　正三	森　正三	森　正三	森　正三	森　正三	森　正三	森　正三	森　正三	森　正三	森　正三
青森	部谷　光延	部谷　光延	部谷　光延	斎川　俊明	斎川　俊明	斎川　俊明	斎川　俊明	斎川　俊明	斎川　俊明	市川　和司
岩手	川村　仙二	砂子田智堅	砂子田智堅	砂子田智堅	皆川　三男	皆川　三男	吉丸　尚志	吉丸　尚志	高橋　貞雄	高橋　貞雄
宮城	日下　秀夫	日下　秀夫	日下　秀夫	熱海　文雄	熱海　文雄	熱海　文雄	熱海　文雄	熱海　文雄	熱海　文雄	熱海　文雄
秋田	宮腰　龍三	宮腰　龍三	宮腰　龍三	宮腰　龍三	宮腰　龍三	宮腰　龍三	宮腰　龍三	宮腰　龍三	宮腰　龍三	宮腰　龍三
山形	熊谷重四郎	熊谷重四郎	熊谷重四郎	熊谷重四郎	熊谷重四郎	深瀬長太郎	深瀬長太郎	深瀬長太郎	豊岡　昭蔵	豊岡　昭蔵
福島	布引　修二	永田保四郎	横山　茂	横山　茂	阿部　裕和	阿部　裕和	阿部　裕和	阿部　裕和	阿部　裕和	阿部　裕和
茨城	篠塚　芳江	篠塚　芳江	篠塚　芳江	篠塚　芳江	篠塚　芳江	篠塚　芳江	篠塚　芳江	篠塚　芳江	篠塚　芳江	篠塚　芳江
栃木	松本　弘充	松本　弘充	松本　弘充	松本　弘充	松本　弘充	遠井　稔男	遠井　稔男	遠井　稔男	遠井　稔男	遠井　稔男
群馬	奥泉　英子	奥泉　英子	荻原　房夫	荻原　房夫	荻原　房夫	荻原　房夫	荻原　房夫	新井　威	新井　威	新井　威
埼玉	広沢　昭男	五十里光秋	五十里光秋	五十里光秋	五十里光秋	五十里光秋	五十里光秋	五十里光秋	五十里光秋	五十里光秋
千葉	滝　一郎	滝　一郎	滝　一郎	河辺　亨	河辺　亨	河辺　亨	河辺　亨	河辺　亨	河辺　亨	牧野　建夫
東京	安楽　末夫	安楽　末夫	安楽　末夫	安楽　末夫	安楽　末夫	安楽　末夫	安楽　末夫	里見　光徳	里見　光徳	里見　光徳
神奈川	伊沢　三郎	伊沢　三郎	伊沢　三郎	伊沢　三郎	伊沢　三郎	伊沢　三郎	伊沢　三郎	伊沢　三郎	伊沢　三郎	伊沢　三郎
山梨	田村　博	田村　博	田村　博	田村　博	田村　博	井上　修吾	井上　修吾	秋山文太郎	秋山文太郎	秋山文太郎
新潟	矢部　庄吾	矢部　庄吾	矢部　庄吾	矢部　庄吾	矢部　庄吾	矢部　庄吾	矢部　庄吾	熊倉　光治	熊倉　光治	熊倉　光治
富山	松岡　正雄	松岡　正雄	松岡　正雄	松岡　正雄	内多小五郎	内多小五郎	不破　裕	不破　裕	不破　裕	不破　裕
石川	森川　憲三	森川　憲三	森川　憲三	森川　憲三	飯田　良信	飯田　良信	飯田　良信	飯田　良信	飯田　良信	飯田　良信
福井	関　巌	関　巌	伊藤　弘	勝矢　文一	勝矢　文一	勝矢　文一	服部　章憲	服部　章憲	服部　章憲	松下幸二郎
長野			和田　圭喜	和田　圭喜	和田　圭喜	和田　圭喜	和田　圭喜	金子　忍	金子　忍	金子　忍
岐阜	谷　亮	谷　亮	谷　亮	谷　亮	谷　亮	谷　亮	谷　亮	谷　亮	谷　亮	谷　亮
静岡	植松　忠裕	植松　忠裕	藤江　稔	斎藤　武	植松　忠裕	藤江　稔	雨宮　忠	植松　忠裕	植松　忠裕	植松　忠裕
愛知	永田　堯澄	永田　堯澄	永田　堯澄	永田　堯澄	永田　堯澄	永田　堯澄	永田　堯澄	永田　堯澄	田中　章喜	田中　章喜
三重	鈴木　政夫	伊豆　晃	伊豆　晃	伊豆　晃	伊豆　晃	伊豆　晃	伊豆　晃	伊豆　晃	伊豆　晃	伊豆　晃
滋賀	堤　庄一	堤　庄一	堤　庄一	金田　超夫	金田　超夫	金田　超夫	寺田　寿	寺田　寿	寺田　寿	辻　広之
京都	山本　博	山本　博	山本　博	山本　博	山本　博	山本　博	山本　博	山本　博	山本　博	山本　博
大阪	青木　昭二	青木　昭二	青木　昭二	青木　昭二	岸　研一	岸　研一	岸　研一	岸　研一	岸　研一	岸　研一
兵庫	河合　満	河合　満	河合　満	河合　満	河合　満	河合　満	河合　満	河合　満	河合　満	河合　満
奈良	岩井　由治	岩井　由治	岩井　由治	岩井　由治	松尾　良行	松尾　良行	松尾　良行	松尾　良行	松尾　良行	松尾　良行
和歌山	土田　忠男	魚谷　晁雄	木阪　登	木阪　登	木阪　登	木阪　登	木阪　登	木阪　登	佐藤　博	佐藤　博
鳥取	倉光　忠雄	倉光　忠雄	倉光　忠雄	倉光　忠雄	山根　怜	山根　怜	山根　怜	山根　怜	山根　怜	山根　怜
島根	広政　敏明	西野　一雄	西野　一雄	西野　一雄	西野　一雄	石原　幸雄	石原　幸雄	石原　幸雄	石原　幸雄	石原　幸雄
岡山	金尾　善六	毛利　清志	毛利　清志	毛利　清志	毛利　清志	毛利　清志	毛利　清志	毛利　清志	毛利　清志	毛利　清志
広島								広住　俊士	石井　実	石井　実
山口	庄井　政雄	庄井　政雄	庄井　政雄	庄井　政雄	庄井　政雄	庄井　政雄	庄井　政雄	伸村　勇夫	中西　慎二	中西　慎二
徳島									野村　淳平	野村　淳平
香川	稲山　正雄	稲山　正雄	稲山　正雄	稲山　正雄	稲山　正雄	稲山　正雄	稲山　正雄	稲山　正雄	森田　桂示	藤原　和文
愛媛	森部　光雄	森部　光雄	森部　光雄	森部　光雄	森部　光雄	森部　光雄	石丸　良男	石丸　良男	石丸　良男	石丸　良男
高知	山崎　二郎	山崎　二郎	山崎　二郎	山崎　二郎	中川　騰清	中川　騰清	中川　騰清	中川　騰清	中川　騰清	中川　騰清
福岡		三原　邦吾	三原　邦吾	三原　邦吾	三原　邦吾	三原　邦吾	三原　邦吾	三原　邦吾	三原　邦吾	今村　正道
佐賀										
長崎			埴生美穂子	埴生美穂子	渡辺　威	渡辺　威	山頭　正之	山頭　正之	山頭　正之	山頭　正之
大分					佐藤　吉之	佐藤　吉之	佐藤　吉之	工藤　喜一	工藤　喜一	工藤　喜一
熊本			益田　隷	益田　隷	益田　隷	益田　隷	益田　隷	益田　隷	益田　隷	本郷　節生
宮崎										
鹿児島		別府　照	別府　照	別府　照	別府　照	別府　照	別府　照	別府　照	別府　照	別府　照
沖縄							伸村　寛市	伸村　寛市	伸村　寛市	伸村　寛市

都道府県・年度	昭和44年度	昭和45年度	昭和46年度	昭和47年度	昭和48年度	昭和49年度	昭和50年度	昭和51年度	昭和52年度	昭和53年度
北海道	三宅　仁	三宅　仁	南　武	髙橋　昌久	髙橋　昌久	髙橋　昌久	髙橋　昌久	髙橋　昌久	髙橋　昌久	髙橋　昌久
南北海道	森　正三	平澤　寛	平澤　寛	増田　幸	増田　幸	増田　幸	増田　幸	増田　幸	増田　幸	増田　幸
青　森	市川　和司	市川　和司	市川　和司	横山　正二	横山　正二	横山　正二	横山　正二	横山　正二	横山　正二	横山　正二
岩　手	小野寺昭美	小野寺昭美	松尾　良一	松尾　良一	松尾　良一	松尾　良一	川村　薫	川村　薫	川村　薫	川村　薫
宮　城	熱海　文雄	菅原　保	菅原　保	菅原　保	菅原　保	菅原　保	菅原　保	菅原　保	菅原　保	菅原　保
秋　田	宮腰　龍三	宮腰　龍三	宮腰　龍三	宮腰　龍三	宮腰　龍三	宮腰　龍三	鈴木　祐司	鈴木　祐司	鈴木　祐司	鈴木　祐司
山　形	豊岡　昭蔵	豊岡　昭蔵	豊岡　昭蔵	豊岡　昭蔵	豊岡　昭蔵	豊岡　昭蔵	豊岡　昭蔵	入間　照雄	入間　照雄	入間　照雄
福　島	阿部　裕和	中島　俊丈	中島　俊丈	中島　俊丈	中島　俊丈	中島　俊丈	中島　俊丈	中島　俊丈	中島　俊丈	中島　俊丈
茨　城	篠塚　芳江	篠塚　芳江	篠塚　芳江	辺田　紀	辺田　紀	辺田　紀	辺田　紀	辺田　紀	辺田　紀	紙塚　博
栃　木	遠井　稔男	遠井　稔男	遠井　稔男	遠井　稔男	遠井　稔男	遠井　稔男	遠井　稔男	遠井　稔男	遠井　稔男	遠井　稔男
群　馬	新井　威	新井　威	新井　威	新井　威	新井　威	新井　威	関　俊夫	西巻　育夫	西巻　育夫	西巻　育夫
埼　玉	五十里光秋	五十里光秋	唐沢　清一	唐沢　清一	唐沢　清一	唐沢　清一	唐沢　清一	唐沢　清一	唐沢　清一	唐沢　清一
千　葉	牧野　建夫	牧野　建夫	河辺　満	河辺　満	河辺　満	河辺　満	河辺　満	河辺　満	河辺　満	河辺　満
東　京	里見　光徳	里見　光徳	里見　光徳	里見　光徳	里見　光徳	安野　智	安野　智	安野　智	竜井　昇治	竜井　昇治
神奈川	伊沢　三郎	伊沢　三郎	伊沢　三郎	伊沢　三郎	伊沢　三郎	伊沢　三郎	伊沢　三郎	伊沢　三郎	斎藤　栄	斎藤　栄
山　梨	樋口　俊夫	樋口　俊夫	樋口　俊夫	樋口　俊夫	樋口　俊夫	樋口　俊夫	樋口　俊夫	樋口　俊夫	樋口　俊夫	樋口　俊夫
新　潟	熊倉　光治	吉川　勉	吉川　勉	吉川　勉	吉川　勉	佐藤　秀夫	佐藤　秀夫	佐藤　秀夫	佐藤　秀夫	佐藤　秀夫
富　山	不破　裕	不破　裕	不破　裕	不破　裕	不破　裕	不破　裕	不破　裕	不破　裕	不破　裕	不破　裕
石　川	飯田　良信	飯田　良信	飯田　良信	飯田　良信	飯田　良信	飯田　良信	飯田　良信	飯田　良信	飯田　良信	飯田　良信
福　井	松下幸三郎	松下幸三郎	松下幸三郎	松本　悠介	山内　正孝	山内　正孝	野路　恵一	野路　恵一	野路　恵一	野路　恵一
長　野	金子　忍	金子　忍	金子　忍	百瀬　健司	百瀬　健司	長浦　音吉	長浦　音吉	長浦　音吉	長浦　音吉	長浦　音吉
岐　阜	谷　亮	谷　亮	谷　亮	谷　亮	谷　亮	谷　亮	谷　亮	谷　亮	谷　亮	三間　勝乗
静　岡	中嶋　鎮也	中嶋　鎮也	中嶋　鎮也	中嶋　鎮也	中嶋　鎮也	中嶋　鎮也	中嶋　鎮也	中嶋　鎮也	中嶋　鎮也	中嶋　鎮也
愛　知	田中　章喜	田中　章喜	田中　章喜	田中　章喜	田中　章喜	田中　章喜	田中　章喜	田中　章喜	田中　章喜	田中　章喜
三　重	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉
滋　賀	辻　広之	国領　迪則	国領　迪則	沢　長寿	沢　長寿	沢　長寿	沢　長寿	沢　長寿	沢　長寿	沢　長寿
京　都	山本　博	山本　博	山本　博	山本　博	山本　博	山本　博	山本　博	山本　博	山本　博	山本　博
大　阪	岸　研一	岸　研一	岸　研一	岸　研一	岸　研一	藤浪　輝吉	藤浪　輝吉	藤浪　輝吉	石橋　三彦	石橋　三彦
兵　庫	手島　司	手島　司	平林　弘嗣	川崎　紘平	伸山　巌	伸山　巌	伸山　巌	伸山　巌	伸山　巌	伸山　巌
奈　良	松尾　良行	松尾　良行	松尾　良行	武田　博利	武田　博利	武田　博利	武田　博利	武田　博利	武田　博利	武田　博利
和歌山	佐藤　博	佐藤　博	佐藤　博	佐藤　博	佐藤　博	佐藤　博	佐藤　博	佐藤　博	宮本　稔	宮本　稔
鳥　取	山根　怜	山根　怜	山根　怜	山根　怜	山根　怜	山根　怜	山根　怜	山根　怜	山根　怜	山根　怜
島　根	石原　幸雄	石原　幸雄	石原　幸雄	石原　幸雄	小林　茂	小林　茂	小林　茂	小林　茂	小林　茂	星野　幸吉
岡　山	毛利　清志	毛利　清志	毛利　清志	毛利　清志	毛利　清志	毛利　清志	毛利　清志	毛利　清志	毛利　清志	三宅　勝
広　島	石井　実	石井　実	石井　実	石井　実	石井　実	石井　実	石井　実	石井　実	石井　実	石井　実
山　口	中西　慎二	中西　慎二	中西　慎二	浅谷寿々也	浅谷寿々也	浅谷寿々也	浅谷寿々也	三浦　捷治	三浦　捷治	三浦　捷治
徳　島	野村　淳平	野村　淳平	野村　淳平	野村　淳平	野村　淳平	野村　淳平	野村　淳平	野村　淳平	野村　淳平	野村　淳平
香　川	森田　桂示	森田　桂示	森田　桂示	森田　桂示	森田　桂示	森田　桂示	森田　桂示	森田　桂示	森田　桂示	森田　桂示
愛　媛	石丸　良男	石丸　良男	石丸　良男	石丸　良男	越智　幸雄	越智　幸雄	越智　幸雄	越智　幸雄	越智　幸雄	越智　幸雄
高　知	見元　均	見元　均	見元　均	見元　均	見元　均	見元　均	勝賀瀬健三	勝賀瀬健三	勝賀瀬健三	勝賀瀬健三
福　岡	今村　正道	佐伯　昌美	佐伯　昌美	平木　武美	平木　武美	平木　武美	金光　政秀	金光　政秀	金光　政秀	金光　政秀
佐　賀					本下　直典	松村　栄	松村　栄	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦
長　崎	山頭　正之	春野　良三	春野　良三	春野　良三	春野　良三	春野　良三	春野　良三	春野　良三	春野　良三	春野　良三
大　分	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之
熊　本	本郷　節生	本郷　節生	本郷　節生	本郷　節生	本郷　節生	本郷　節生	南　直治	南　直治	南　直治	南　直治
宮　崎			屋良　勝	屋良　勝	屋良　勝	屋良　勝	屋良　勝	山内　勇紀	山内　勇紀	山内　勇紀
鹿児島	別府　照	別府　照	別府　照	別府　照	別府　照	別府　照	別府　照	別府　照	別府　照	別府　照
沖　縄	仲村　竟市	仲村　竟市	仲村　竟市	仲村　竟市	仲村　竟市	仲村　竟市	仲村　竟市	屋比久　彰	屋比久　彰	屋比久　彰

都道府県名・年度	昭和54年度	昭和55年度	昭和56年度	昭和57年度	昭和58年度	昭和59年度	昭和60年度	昭和61年度	昭和62年度	昭和63年度
北海道	森田　精一	森田　精一	森田　精一	森田　精一	森田　精一	森田　精一	森田　精一	森田　精一	森田　精一	笠井　武彰
南北海道	増田　幸	増田　幸	増田　幸	増田　幸	増田　幸	増田　幸	平沢　寛	平沢　寛	平沢　寛	平沢　寛
青森	横山　正二	横山　正二	横山　正二	横山　正二	横山　正二	横山　正二	佐藤　清志	佐藤　清志	佐藤　清志	佐藤　清志
岩手	川村　薫	川村　薫	佐々木彦士	佐々木彦士	佐々木彦士	佐々木彦士	佐々木彦士	佐々木彦士	佐々木彦士	佐々木彦士
宮城	白岩　良治	白岩　良治	白岩　良治	白岩　良治	白岩　良治	白岩　良治	白岩　良治	白岩　良治	白岩　良治	白岩　良治
秋田	鈴木　祐司	鈴木　祐司	鈴木　祐司	鈴木　祐司	鈴木　祐司	鈴木　祐司	鈴木　祐司	鈴木　祐司	鈴木　祐司	鈴木　祐司
山形	人間　照雄	人間　照雄	人間　照雄	人間　照雄	人間　照雄	人間　照雄	人間　照雄	人間　照雄	人間　照雄	高山　昌三
福島	阿部　裕和	阿部　裕和	阿部　裕和	阿部　裕和	阿部　裕和	阿部　裕和	阿部　裕和	阿部　裕和	阿部　裕和	阿部　裕和
茨城	紙塚　博	紙塚　博	紙塚　博	紙塚　博	紙塚　博	紙塚　博	紙塚　博	棟方　和也	棟方　和也	棟方　和也
栃木	遠井　稔男	遠井　稔男	遠井　稔男	遠井　稔男	遠井　稔男	遠井　稔男	遠井　稔男	遠井　稔男	遠井　稔男	遠井　稔男
群馬	西巻　育夫	西巻　育夫	西巻　育夫	西巻　育夫	西巻　育夫	西巻　育夫	門倉　憲一	今井　勇司	今井　勇司	今井　勇司
埼玉	柿沼　清	柿沼　清	柿沼　清	柿沼　清	柿沼　清	伊佐山正和	伊佐山正和	伊佐山正和	伊佐山正和	伊佐山正和
千葉	河辺　満	河辺　満	河辺　満	河辺　満	牧野　建夫	牧野　建夫	臼井　俊治	臼井　俊治	臼井　俊治	臼井　俊治
東京	前田　耕作	前田　耕作	前田　耕作	前田　耕作	前田　耕作	前田　耕作	前田　耕作	髙橋　英夫	髙橋　英夫	髙橋　英夫
神奈川	斎藤　栄	斎藤　栄	斎藤　栄	斎藤　栄	斎藤　栄	斎藤　栄	斎藤　栄	斎藤　栄	斎藤　栄	斎藤　栄
山梨	保坂　和也	保坂　和也	保坂　和也	保坂　和也	保坂　和也	保坂　和也	保坂　和也	保坂　和也	保坂　和也	保坂　和也
新潟	佐藤　秀夫	佐藤　秀夫	佐藤　秀夫	佐藤　秀夫	佐藤　秀夫	佐藤　秀夫	佐藤　秀夫	佐藤　秀夫	吉田　孝良	吉田　孝良
富山	不破　裕	不破　裕	不破　裕	不破　裕	清水　芳隆	清水　芳隆	清水　芳隆	清水　芳隆	清水　芳隆	清水　芳隆
石川	飯田　良信	飯田　良信	飯田　良信	飯田　良信	河原山晴夫	河原山晴夫	河原山晴夫	村西　一	村西　一	村西　一
福井	川端　武和	山内　正孝	山内　正孝	山内　正孝	山内　正孝	山内　正孝	玉木　敏子	玉木　敏子	玉木　敏子	玉木　敏子
長野	長浦　音吉	長浦　音吉	長浦　音吉	長浦　音吉	長浦　音吉	木内　淳	木内　淳	木内　淳	木内　淳	木内　淳
岐阜	三間　勝乗	三間　勝乗	三間　勝乗	三間　勝乗	三間　勝乗	三間　勝乗	岩田　甲司	岩田　甲司	岩田　甲司	岩田　甲司
静岡	中嶋　鎮也	中嶋　鎮也	中嶋　鎮也	中嶋　鎮也	中嶋　鎮也	中田　稔	中田　稔	中田　稔	中田　稔	中田　稔
愛知	田中　章喜	田中　章喜	田中　章喜	田中　章喜	田中　章喜	田中　章喜	田中　章喜	田中　章喜	田中　章喜	田中　章喜
三重	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉
滋賀	沢　長寿	沢　長寿	川戸　健一	川戸　健一	川戸　健一	川戸　健一	川戸　健一	川戸　健一	谷　英明	谷　英明
京都	山本　博	山本　博	山本　博	山本　博	山本　博	山本　博	山本　博	成田　光生	成田　光生	成田　光生
大阪	石橋　三彦	石橋　三彦	石橋　三彦	石橋　三彦	石橋　三彦	石橋　三彦	石橋　三彦	山崎　満彦	山崎　満彦	山崎　満彦
兵庫	仲山　巌	仲山　巌	仲山　巌	仲山　巌	仲山　巌	仲山　巌	仲山　巌	仲山　巌	仲山　巌	仲山　巌
奈良	武田　博利	武田　博利	武田　博利	武田　博利	武田　博利	武田　博利	武田　博利	武田　博利	武田　博利	武田　博利
和歌山	宮本　稔	宮本　稔	宮本　稔	宮本　稔	山西　節子	山西　節子	山西　節子	山西　節子	森　隆	森　隆
鳥取	山根　怜	山根　怜	山根　怜	山根　怜	小谷　章公	小谷　章公	小谷　章公	小谷　章公	小谷　章公	小谷　章公
島根	星野　幸吉	松尾　益吉	松尾　益吉	大北　哲也	大北　哲也	大北　哲也	平井　謙	平井　謙	平井　謙	平井　謙
岡山	三宅　勝	三宅　勝	三宅　勝	三宅　勝	三宅　勝	三宅　勝	三宅　勝	三宅　勝	瀬戸　勝	瀬戸　勝
広島	石井　実	吉川　知之	吉川　知之	吉川　知之	藤田　雅史	藤田　雅史	藤田　雅史	藤田　雅史	橋本　忠之	橋本　忠之
山口	沢田　恭治	沢田　恭治	沢田　恭治	沢田　恭治	吉本　侃司	吉本　侃司	安藤　輝夫	安藤　輝夫	池田　信郎	池田　信郎
徳島	野村　淳平	野村　淳平	野村　淳平	野村　淳平	板東　輝雄	板東　輝雄	板東　輝雄	板東　輝雄	板東　輝雄	板東　輝雄
香川	森田　桂示	森田　桂示	森田　桂示	森田　桂示	森田　桂示	森田　桂示	森田　桂示	瀬島　晴彦	瀬島　晴彦	瀬島　晴彦
愛媛	奥田　啓介	奥田　啓介	奥田　啓介	奥田　啓介	奥田　啓介	奥田　啓介	奥田　啓介	奥田　啓介	池田　節幸	池田　節幸
高知	勝賀瀬健二	勝賀瀬健二	勝賀瀬健二	勝賀瀬健二	勝賀瀬健二	勝賀瀬健二	勝賀瀬健二	谷岡　敏男	谷岡　敏男	谷岡　敏男
福岡	佐伯　昌美	佐伯　昌美	横溝　安伸	横溝　安伸	横溝　安伸	横溝　安伸	横溝　安伸	横溝　安伸	横溝　安伸	横溝　安伸
佐賀	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦
長崎	春野　良三	春野　良三	春野　良三	春野　良三	春野　良三	春野　良三	春野　良三	春野　良三	春野　良三	春野　良三
大分	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之
熊本	南　直治	南　直治	南　直治	南　直治	南　直治	南　直治	南　直治	南　直治	南　直治	南　直治
宮崎	山内　勇紀	山内　勇紀	山内　勇紀	山内　勇紀	山内　勇紀	山内　勇紀	山内　勇紀	山内　勇紀	山内　勇紀	山内　勇紀
鹿児島	別府　昭	別府　昭	原口健一郎	原口健一郎	原口健一郎	原口健一郎	原口健一郎	原口健一郎	原口健一郎	原口健一郎
沖縄	屋比久　章	屋比久　章	屋比久　彰	又吉　悳	又吉　悳	上原　武久	上原　武久	上原　武久	上原　武久	屋比久　彰

都道府県・年度	平成元年度	平成２年度	平成３年度	平成４年度	平成５年度	平成６年度	平成７年度	平成８年度	平成９年度	平成10年度
北海道	笠井　武彰	笠井　武彰	森田　精一	森田　精一	野坂　政司	野坂　政司	両國　勲	両國　勲	田中　光彦	田中　光彦
南北海道	西村　喜憲	西村　喜憲	西村　喜憲	西村　喜憲	西村　喜憲	河崎　正紀	河崎　正紀	河崎　正紀	河崎　正紀	河崎　正紀
青　森	佐藤　清志	佐藤　清志	佐藤　清志	花田　康夫	花田　康夫	花田　康夫	花田　康夫	花田　康夫	花田　康夫	花田　康夫
岩　手	佐々木彦七	佐々木彦七	佐々木彦七	伊藤　張二	伊藤　張二	伊藤　張二	伊藤　張二	伊藤　張二	伊藤　張二	伊藤　張二
宮　城	白岩　良治	白岩　良治	片桐　勉	片桐　勉	片桐　勉	熱海　文雄	木戸　純一	木戸　純一	木戸　純一	木戸　純一
秋　田	鈴木　祐司	鈴木　祐司	鈴木　祐司	鈴木　祐司	鈴木　祐司	鈴木　祐司	鈴木　祐司	柴田　惣行	柴田　惣行	柴田　惣行
山　形	高山　昌三	高山　昌三	高山　昌三	高山　昌三	高山　昌三	高山　昌三	高山　昌三	高山　昌三	高山　昌三	高山　昌三
福　島	阿部　裕和	阿部　裕和	阿部　裕和	阿部　裕和	阿部　裕和	阿部　裕和	阿部　裕和	橋本　遊二	橋本　遊二	橋本　遊二
茨　城	棟方　和也	棟方　和也	棟方　和也	志子田勝敏	志子田勝敏	志子田勝敏	志子田勝敏	志子田勝敏	志子田勝敏	征矢　裕
栃　木	遠井　稔男	遠井　稔男	武井　祥子	武井　祥子	武井　祥子	別井　晃	森田　昇	森田　昇	森田　昇	舘野　政男
群　馬	今井　勇司	今井　勇司	今井　勇司	今井　勇司	今井　勇司	今井　勇司	高田　昌紀	高田　昌紀	栗原　恒夫	栗原　恒夫
埼　玉	伊佐山正和	伊佐山正和	伊佐山正和	伊佐山正和	伊佐山正和	伊佐山正和	伊佐山正和	帰山　好和	帰山　好和	帰山　好和
千　葉	白井　俊治	白井　俊治	有瀬　浩一	有瀬　浩一	有瀬　浩一	有瀬　浩一	有瀬　浩一	有瀬　浩一	丸山　秀之	丸山　秀之
東　京	髙橋　英夫	髙橋　英夫	髙橋　英夫	髙橋　英夫	髙橋　英夫	髙橋　英夫	髙橋　英夫	髙橋　英夫	髙橋　英夫	髙橋　英夫
神奈川	斎藤　栄	若狭　孝三	若狭　孝三	若狭　孝三	若狭　孝三	若狭　孝三	若狭　孝三	若狭　孝三	若狭　孝三	若狭　孝三
山　梨	保坂　和也	保坂　和也	保坂　和也	保坂　和也	保坂　和也	保坂　和也	保坂　和也	保坂　和也	滝川　修	滝川　修
新　潟	本田　敏彦	本田　敏彦	片岡　和宣	片岡　和宣	片岡　和宣	片岡　和宣	片岡　和宣	今井　良彦	今井　良彦	今井　良彦
富　山	清水　芳隆	清水　芳隆	清水　芳隆	二上　敏博	二上　敏博	二上　敏博	二上　敏博	水和　清次	水和　清次	水和　清次
石　川	村西　一	村西　一	村西　一	和田　修	和田　修	和田　修	和田　修	和田　修	和田　修	和田　修
福　井	玉木　敏子	玉木　敏子	玉木　敏子	川端　武和	川端　武和	川端　武和	川端　武和	川端　武和	川端　武和	川端　武和
長　野	本内　淳	松久　和弘	松久　和弘	荒井　和人	荒井　和人	荒井　和人	荒井　和人	荒井　和人	荒井　和人	荒井　和人
岐　阜	岩田　甲司	岩田　甲司	岩田　甲司	岩田　甲司	岩田　甲司	岩田　甲司	岩田　甲司	岩田　甲司	岩田　甲司	岩田　甲司
静　岡	本多　常民	石川　博義	石川　博義	石川　博義	石川　博義	石川　博義	石川　博義	杉山　敏充	杉山　敏充	杉山　敏充
愛　知	田中　章喜	田中　章喜	田中　章喜	田中　章喜	田中　章喜	田中　章喜	田中　章喜	下込　貞司	下込　貞司	下込　貞司
三　重	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉	大世古弘吉	平田　欽也	平田　欽也	平田　欽也
滋　賀	谷　英明	谷　英明	谷　英明	谷　英明	谷　英明	谷　英明	谷　英明	濱　久美雄	濱　久美雄	濱　久美雄
京　都	成田　光生	成田　光生	成田　光生	成田　光生	成田　光生	成田　光生	成田　光生	成田　光生	髙橋　清治	髙橋　清治
大　阪	山崎　満彦	山崎　満彦	山崎　満彦	山崎　満彦	藤本　信之	藤本　信之	藤本　信之	藤本　信之	藤本　信之	藤本　信之
兵　庫	伸山　巌	伸山　巌	伸山　巌	伸山　巌	伸山　巌	伸山　巌	伸山　巌	伸山　巌	伸山　巌	伸山　巌
奈　良	吉村　禎訓	吉村　禎訓	吉村　禎訓	吉村　禎訓	吉村　禎訓	吉村　禎訓	乾　哲司	乾　哲司	乾　哲司	乾　哲司
和歌山	森　隆	森　隆	武藤　隆志	武藤　隆志	井角　忠彦	井角　忠彦	井角　忠彦	井角　忠彦	井角　忠彦	井角　忠彦
鳥　取	小谷　章公	小谷　章公	小谷　章公	小谷　章公	小谷　章公	小谷　章公	小谷　章公	小谷　章公	三村　俊彦	三村　俊彦
島　根	平井　謙	山本　篤治	山本　篤治	山本　篤治	山本　篤治	山本　篤治	山本　篤治	池淵　保正	池淵　保正	池淵　保正
岡　山	瀬戸　勝	瀬戸　勝	瀬戸　勝	瀬戸　勝	瀬戸　勝	瀬戸　勝	石田　賢一	石田　賢一	石田　賢一	石田　賢一
広　島	新堀　稔文	新堀　稔文	新堀　稔文	新堀　稔文	新堀　稔文	新堀　稔文	新堀　稔文	新堀　稔文	新堀　稔文	新堀　稔文
山　口	池田　信郎	池田　信郎	天谷　満徳	天谷　満徳	渡辺　光男	渡辺　光男	渡辺　光男	渡辺　光男	渡辺　光男	永茂　勝弘
徳　島	板東　輝雄	板東　輝雄	板東　輝雄	板東　輝雄	板東　輝雄	板東　輝雄	板東　輝雄	平岡　嘉泰	平岡　嘉泰	平岡　嘉泰
香　川	瀬島　晴彦	岸　輝人	岸　輝人	竹内　秀夫	岸　輝人	岸　輝人	岸　輝人	岸　輝人	岸　輝人	岸　輝人
愛　媛	池田　節幸	池田　節幸	奥田　啓介	奥田　啓介	樽島　博幸	樽島　博幸	樽島　博幸	泉　富浩	加生　雅孝	
高　知	谷岡　敏男	谷岡　敏男	谷岡　敏男	谷岡　敏男	谷岡　敏男	谷岡　敏男	足達　昇	足達　昇	足達　昇	足達　昇
福　岡	横溝　安伸	横溝　安伸	浜司　晃	浜司　晃	浜司　晃	浜司　晃	浜司　晃	浜司　晃	浜司　晃	浜司　晃
佐　賀	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦
長　崎	春野　良三	春野　良三	春野　良三	春野　良三	春野　良三	春野　良三	春野　良三	春野　良三	春野　良三	春野　良三
大　分	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之
熊　本	南　直治	南　直治	南　直治	南　直治	南　直治	南　直治	工藤　勇参	茂見　正	茂見　正	茂見　正
宮　崎	山内　勇紀	山内　勇紀	山内　勇紀	山内　勇紀	山内　勇紀	山内　勇紀	山内　勇紀	松浦　良一	松浦　良一	松浦　良一
鹿児島	原口健二郎	原口健二郎	前野親二郎	前野親二郎	前野親二郎	前野親二郎	前野親二郎	前野親二郎	前野親二郎	前野親二郎
沖　縄	屋比久　彰	屋比久　彰	屋比久　彰	屋比久　彰	屋比久　彰	屋比久　彰	屋比久　彰	渡嘉敷通之	渡嘉敷通之	渡嘉敷通之

都道府県・年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
北海道	田中　光彦	田中　光彦	田中　光彦	田中　光彦	田中　光彦	田中　光彦	田中　光彦	田中　光彦	水崎　忍	水崎　忍
南北海道	河崎　正紀	河崎　正紀	河崎　正紀	河崎　正紀	酒井　智史	酒井　智史	酒井　智史	酒井　智史	酒井　智史	酒井　智史
青　森	花田　康夫	花田　康夫	百川　弘通	百川　弘通	百川　弘通	百川　弘通	百川　弘通	百川　弘通	百川　弘通	百川　弘通
岩　手	伊藤　張二	伊藤　張二	伊藤　張二	伊藤　張二	菊地　享	菊地　享	菊地　享	菊地　享	菊地　享	菊地　享
宮　城	木戸　純一	木戸　純一	木戸　純一	沼澤　隆	沼澤　隆	沼澤　隆	沼澤　隆	沼澤　隆	沼澤　隆	沼澤　隆
秋　田	柴田　惣行	柴田　惣行	本間　秀士	本間　秀士	本間　秀士	本間　秀士	本間　秀士	本間　秀士	本間　秀士	藤田　理
山　形	遠藤　淳一	遠藤　淳一	遠藤　淳一	遠藤　淳一	遠藤　淳一	遠藤　淳一	大山　孝光	大山　孝光	大山　孝光	大山　孝光
福　島	橋本　遊二	橋本　遊二	橋本　遊二	橋本　遊二	橋本　遊二	斉藤　清人	鈴木　孝幸	鈴木　孝幸	鈴木　孝幸	鈴木　孝幸
茨　城	征矢　裕	征矢　裕	征矢　裕	征矢　裕	志子田勝敏	志子田勝敏	志子田勝敏	志子田勝敏	志子田勝敏	志子田勝敏
栃　木	舘野　政男	舘野　政男	舘野　政男	舘野　政男	舘野　政男	舘野　政男	舘野　政男	舘野　政男	舘野　政男	遠井　努
群　馬	栗原　恒夫	栗原　恒夫	栗原　恒夫	栗原　恒夫	栗原　恒夫	岩崎　盛和	岩崎　盛和	岩崎　盛和	岩崎　盛和	岩崎　盛和
埼　玉	婦山　好和	婦山　好和	婦山　好和	婦山　好和	婦山　好和	土田　敏之	土田　敏之	土田　敏之	土田　敏之	土田　敏之
千　葉	丸山　秀之	丸山　秀之	丸山　秀之	丸山　秀之	中村　新一	中村　新一	中村　新一	中村　新一	中村　新一	中村　新一
東　京	高橋　英夫	関根　忠	関根　忠	関根　忠	関根　忠	関根　忠	関根　忠	関根　忠	関根　忠	関根　忠
神奈川	若狭　孝三	若狭　孝三	若狭　孝三	若狭　孝三	若狭　孝三	若狭　孝三	若狭　孝三	若狭　孝三	若狭　孝三	若狭　孝三
山　梨	滝川　修	滝川　修	滝川　修	滝川　修	滝川　修	滝川　修	岩佐　宣寿	岩佐　宣寿	岩佐　宣寿	岩佐　宣寿
新　潟	今井　良彦	今井　良彦	今井　良彦	山縣　泰弘	山縣　泰弘	山縣　泰弘	山縣　泰弘	山縣　泰弘	山縣　泰弘	山縣　泰弘
富　山	水和　清次	水和　清次	水和　清次	水和　清次	麦谷　正二	麦谷　正二	麦谷　正二	麦谷　正二	麦谷　正二	麦谷　正二
石　川	彼島　重範	彼島　重範	彼島　重範	彼島　重範	彼島　重範	水内　浩	水内　浩	水内　浩	水内　浩	水内　浩
福　井	川端　武和	川端　武和	川端　武和	川端　武和	川端　武和	坂井　茂則	坂井　茂則	坂井　茂則	坂井　茂則	坂井　茂則
長　野	荒井　和人	荒井　和人	新井　研二	新井　研二	新井　研二	新井　研二	新井　研二	新井　研二	新井　研二	新井　研二
岐　阜	岩田　甲司	岩田　甲司	武藤　芳紀	武藤　芳紀	武藤　芳紀	武藤　芳紀	武藤　芳紀	武藤　芳紀	武藤　芳紀	武藤　芳紀
静　岡	渡邉　治	渡邉　治	渡邉　治	渡邉　治	渡邉　治	高嶋　政和	高嶋　政和	高嶋　政和	高嶋　政和	高嶋　政和
愛　知	下込　貞司	下込　貞司	下込　貞司	下込　貞司	下込　貞司	下込　貞司	下込　貞司	鈴木　敏夫	鈴木　敏夫	鈴木　敏夫
三　重	平田　欽也	平田　欽也	平田　欽也	淺沼　正義	淺沼　正義	山本　泰生	山本　泰生	山本　泰生	山本　泰生	宮島　和也
滋　賀	濱　久美雄	濱　久美雄	濱　久美雄	濱　久美雄	濱　久美雄	濱　久美雄	濱　久美雄	濱　久美雄	清水　十郎	清水　十郎
京　都	高橋　清治	高橋　清治	高橋　清治	高橋　清治	高橋　清治	寺田　裕昭	寺田　裕昭	寺田　裕昭	寺田　裕昭	寺田　裕昭
大　阪	大住　陽一	大住　陽一	大住　陽一	大住　陽一	大住　陽一	大住　陽一	大住　陽一	大住　陽一	大住　陽一	大住　陽一
兵　庫	仲山　巌	藤本　和幸	藤本　和幸	藤本　和幸	藤本　和幸	藤本　和幸	藤本　和幸	藤本　和幸	藤本　和幸	藤本　和幸
奈　良	乾　哲司	錦　秀知	錦　秀知	錦　秀知	錦　秀知	錦　秀知	錦　秀知	錦　秀知	錦　秀知	錦　秀知
和歌山	井角　忠彦	井角　忠彦	井角　忠彦	井角　忠彦	井角　忠彦	井角　忠彦	井角　忠彦	井角　忠彦	武藤　隆志	武藤　隆志
鳥　取	三村　俊彦	三村　俊彦	三村　俊彦	三村　俊彦	三村　俊彦	三村　俊彦	山下　幸夫	山下　幸夫	山下　幸夫	山下　幸夫
島　根	池淵　保正	湯原　基	湯原　基	湯原　基	湯原　基	湯原　基	足立　弘健	足立　弘健	足立　弘健	足立　弘健
岡　山	石田　賢一	石田　賢一	石田　賢一	石田　賢一	石田　賢一	石田　賢一	石田　賢一	山田　賢一	山田　賢一	山田　賢一
広　島	新堀　稔文	新堀　稔文	新堀　稔文	新堀　稔文	熊野　一朗	熊野　一朗	熊野　一朗	赤川　雅美	赤川　雅美	赤川　雅美
山　口	永茂　勝弘	永茂　勝弘	永茂　勝弘	佐々木辰博	佐々木辰博	佐々木辰博	佐々木辰博	松原　康則	松原　康則	松原　康則
徳　島	平岡　嘉泰	寺内　智子	寺内　智子	寺内　智子	多田　巧	多田　巧	多田　巧	多田　巧	多田　巧	岡佐古拓也
香　川	岡野　佳浩	岡野　佳浩	岡野　佳浩	岡野　佳浩	林　一男	林　一男	林　一男	林　一男	林　一男	林　一男
愛　媛	加生　雅孝	加生　雅孝	樽島　博幸	樽島　博幸	樽島　博幸	樽島　博幸	樽島　博幸	樽島　博幸	樽島　博幸	樽島　博幸
高　知	桑名　功	桑名　功	桑名　功	桑名　功	桑名　功	桑名　功	桑名　功	桑名　功	桑名　功	桑名　功
福　岡	浜司　晃	浜司　晃	浜司　晃	浜司　晃	浜司　晃	浜司　晃	明神　憲一	明神　憲一	明神　憲一	明神　憲一
佐　賀	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦	築地　孝彦
長　崎	春野　良	春野　良	春野　良	春野　良	春野　良	春野　良	春野　良	中尾　勘治	中尾　勘治	中尾　勘治
大　分	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之	吉田　信之	阿南　典久	阿南　典久	阿南　典久	阿南　典久	阿南　典久	阿南　典久
熊　本	茂見　正	茂見　正	茂見　正	井上　哲章	井上　哲章	井上　哲章	井上　哲章	井上　哲章	井上　哲章	井上　哲章
宮　崎	松浦　良	松浦　良	松浦　良	松浦　良	松浦　良	松浦　良	松浦　良	石井　正樹	石井　正樹	石井　正樹
鹿児島	前野親一郎	前野親一郎	前野親一郎	前野親一郎	前野親一郎	前野親一郎	前野親一郎	前野親一郎	平岡　旭洋	平岡　旭洋
沖　縄	島田久　章	下地　敏彦	下地　敏彦	下地　敏彦	下地　敏彦	下地　敏彦	下地　敏彦	下地　敏彦	下地　敏彦	下地　敏彦

都道府県・支部	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
北海道	水崎　忍	水崎　忍	水崎　忍	水崎　忍	水崎　忍	水崎　忍	宮野　慎哉	宮野　慎哉	水崎　忍	水崎　忍
南北海道	渡邊　励	渡邊　励	渡邊　励	渡邊　励	渡邊　励	渡邊　励	宇城　隆司	宇城　隆司	宮野　慎哉	宮野　慎哉
青　森	百川　弘通	百川　弘通	百川　弘通	百川　弘通	百川　弘通	八島　隆朗	八島　隆朗	南　究	宮本　貴文	八島　隆朗
岩　手	菊地　享	菊地　享	菊地　享	菊地　享	菊地　享	菊地　享	菊地　享	菊地　享	渡邊　清一	渡邊　清一
宮　城	沼澤　隆	佐藤　道明	佐藤　道明	若生　正弘	若生　正弘	若生　正弘	若生　正弘	大沼　良彰	大沼　良彰	大沼　良彰
秋　田	藤田　理	藤田　理	藤田　理	藤田　理	岸　弘昭	岸　弘昭	小玉　慎也	小玉　慎也	小玉　慎也	小玉　慎也
山　形	大山　孝光	大山　孝光	大山　孝光	大山　孝光	大山　孝光	大山　孝光	大山　孝光	大山　孝光	大山　孝光	大山　孝光
福　島	鈴木　孝幸	鈴木　孝幸	鈴木　孝幸	近藤　正俊	近藤　正俊	高橋　寛二	高橋　寛二	高橋　寛二	高橋　寛二	高橋　寛二
茨　城	志子田勝敏	櫻井　隆之	櫻井　隆之	櫻井　隆之	山野井利明	山野井利明	山野井利明	山野井利明	山野井利明	山野井利明
栃　木	遠井　努	遠井　努	遠井　努	遠井　努	遠井　努	遠井　努	遠井　努	遠井　努	遠井　努	遠井　努
群　馬	岩崎　盛和	板垣　巌	板垣　巌	板垣　巌	板垣　巌	板垣　巌	板垣　巌	板垣　巌	板垣　巌	板垣　巌
埼　玉	土田　敏之	田部井秀郎	田部井秀郎	田部井秀郎	藤松　津吉	藤松　津吉	藤松　津吉	矢島　貴夫	矢島　貴夫	矢島　貴夫
千　葉	中村　新一	飯田　武司	飯田　武司	飯田　武司	飯田　武司	飯田　武司	飯田　武司	飯田　武司	飯田　武司	飯田　武司
東　京	関根　忠	関根　忠	関根　忠	関根　忠	関根　忠	関根　忠	関根　忠	小野寺昭彦	小野寺昭彦	小野寺昭彦
神奈川	若狭　孝三	田中　一也	田中　一也	田中　一也	水野　勝美	水野　勝美	水野　勝美	水野　勝美	水野　勝美	水野　勝美
山　梨	岩佐　宣寿	中山　宗彦	中山　宗彦	中山　宗彦	中山　宗彦	中山　宗彦	中山　宗彦	中山　宗彦	瀧澤　智顕	瀧澤　智顕
新　潟	山縣　泰弘	山縣　泰弘	山縣　泰弘	山縣　泰弘	金井　広喜	金井　広喜	金井　広喜	金井　広喜	金井　広喜	金井　広喜
富　山	麦谷　正二	麦谷　正二	麦谷　正二	越田　芳成	越田　芳成	越田　芳成	越田　芳成	越田　芳成	越田　芳成	中田　真琴
石　川	水内　浩	水内　浩	水内　浩	水内　浩	寺西　了	寺西　了	寺西　了	寺西　了	寺西　了	寺西　了
福　井	坂井　茂則	坂井　茂則	坂井　茂則	坂井　茂則	牧野　智幸	牧野　智幸	牧野　智幸	牧野　智幸	牧野　智幸	牧野　智幸
長　野	新井　研二	新井　研二	新井　研二	新井　研二	新井　研二	新井　研二	新井　研二	新井　研二	藤澤　直方	藤澤　直方
岐　阜	関谷　篤	関谷　篤	関谷　篤	関谷　篤	有尾　隆宏	矢島　伸行	矢島　伸行	矢島　伸行	矢島　伸行	矢島　伸行
静　岡	高嶋　政和	小島　一郎	小島　一郎	小島　一郎	小島　一郎	小島　一郎	小田切希芳	小田切希芳	小田切希芳	小田切希芳
愛　知	鈴木　敏夫	尾関　靖	尾関　靖	尾関　靖	尾関　靖	日詰　彰則	日詰　彰則	日詰　彰則	日詰　彰則	日詰　彰則
三　重	宮島　和也	宮島　和也	宮島　和也	宮島　和也	中村　功	中村　功	中村　功	中村　功	中村　功	中村　功
滋　賀	清水　十郎	清水　十郎	森　豊幸	森　豊幸	森　豊幸	森　豊幸	森　豊幸	森　豊幸	森　豊幸	森　豊幸
京　都	寺田　裕昭	寺田　裕昭	寺田　裕昭	寺田　裕昭	寺田　裕昭	寺田　裕昭	寺田　裕昭	寺田　裕昭	中村　稔	中村　稔
大　阪	大住　陽一	大住　陽一	村上　徹嗣	村上　徹嗣	村上　徹嗣	村上　徹嗣	村上　徹嗣	村上　徹嗣	村上　徹嗣	村上　徹嗣
兵　庫	藤本　和幸	佐藤　浩	佐藤　浩	佐藤　浩	佐藤　浩	佐藤　浩	佐藤　浩	佐藤　浩	寺町　彰浩	寺町　彰浩
奈　良	錦　秀知	錦　秀知	真野功太郎	真野功太郎	真野功太郎	金田　美穂	金田　美穂	金田　美穂	金田　美穂	金田　美穂
和歌山	武藤　隆志	武藤　隆志	武藤　隆志	坂田　智也	坂田　智也	坂田　智也	坂田　智也	坂田　智也	坂田　智也	山本　慎二
鳥　取	山下　幸夫	山下　幸夫	山下　幸夫	山下　幸夫	西垣　卓宏	西垣　卓宏	西垣　卓宏	西垣　卓宏	山下　幸夫	山下　幸夫
島　根	足立　弘健	足立　弘健	足立　弘健	足立　弘健	金山　紀幸	金山　紀幸	金山　紀幸	金山　紀幸	金山　紀幸	金山　紀幸
岡　山	山田　賢一	西崎　文貴	西崎　文貴	西崎　文貴	西崎　文貴	西崎　文貴	西崎　文貴	西崎　文貴	佐藤　忠裕	佐藤　忠裕
広　島	赤川　雅美	赤川　雅美	赤川　雅美	赤川　雅美	赤川　雅美	冨永　克典	冨永　克典	冨永　克典	冨永　克典	久田　和典
山　口	松原　康則	河野　強志	河野　強志	河野　強志	河野　強志	河野　強志	河野　強志	河野　強志	河野　強志	河野　強志
徳　島	岡佐古拓也	岡佐古拓也	岡佐古拓也	岡佐古拓也	澤田　慎也	澤田　慎也	澤田　慎也	澤田　慎也	小寺　由香	小寺　由香
香　川	林　一男	林　一男	宮西　秀行	宮西　秀行	宮西　秀行	宮西　秀行	河合　雄太	河合　雄太	河合　雄太	河合　雄太
愛　媛	樽島　博幸	秋山　啓太	秋山　啓太	秋山　啓太	秋山　啓太	秋山　啓太	秋山　啓太	秋山　啓太	秋山　啓太	奥田　真司
高　知	桑名　功	白石　洋一	白石　洋一	白石　洋一	黒石　雅宏	黒石　雅宏	黒石　雅宏	川添　周二	川添　周二	川添　周二
福　岡	明神　憲一	明神　憲一	明神　憲一	明神　憲一	明神　憲一	明神　憲一	明神　憲一	明神　憲一	明神　憲一	明神　憲一
佐　賀	築地　孝彦	築地　孝彦	末次　孝文	末次　孝文	末次　孝文	末次　孝文	末次　孝文	末次　孝文	末次　孝文	末次　孝文
長　崎	中尾　勘治	林　貴昭	林　貴昭	林　貴昭	中尾　勘治	中尾　勘治	中尾　勘治	中尾　勘治	小松　旭	小松　旭
大　分	阿南　典久	渡邉　仁友	渡邉　仁友	渡邉　仁友	渡邉　仁友	渡邉　仁友	渡邉　仁友	渡邉　仁友	渡邉　仁友	渡邉　仁友
熊　本	井上　哲章	井上　哲章	井上　哲章	井上　哲章	井上　哲章	井上　哲章	権藤　浩二	権藤　浩二	権藤　浩二	権藤　浩二
宮　崎	石井　正樹	鳴山　浩基	鳴山　浩基	鳴山　浩基	山内　勉	山内　勉	山内　勉	山内　勉	山内　勉	山内　勉
鹿児島	平岡　旭洋	平岡　旭洋	平岡　旭洋	平岡　旭洋	壱崎　和彦	壱崎　和彦	壱崎　和彦	壱崎　和彦	古川　博文	古川　博文
沖　縄	下地　敏彦	下地　敏彦	下地　敏彦	下地　敏彦	下地　敏彦	下地　敏彦	下地　敏彦	下地　敏彦	下地　敏彦	下地　敏彦

(公財) 全国高等学校体育連盟バドミントン専門部実態調査

(1) 平成30年度　都道府県別インターハイ予選出場校数・出場選手数一覧

		都道府県	都道府県予選出場数						外国人留学生出場数						1条校以外の生徒出場数						HP開設	
			学校対抗		ダブルス		シングルス		学校対抗		ダブルス		シングルス		学校対抗		ダブルス		シングルス		専門部	協会
			男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子		
北海道	1	北海道	205	175	495	484	618	573	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
			380校		979組		1191名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
東北	2	青森県	49	49	111	111	115	112	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	○
			98校		222組		227名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
	3	岩手県	41	45	237	255	298	332	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	○
			86校		492組		630名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
	4	宮城県	61	61	235	234	248	251	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	○
			122校		469組		499名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
	5	秋田県	24	22	143	113	334	246	0	0	0	0	0	0	8	8	10	8	12	8	○	○
			46校		256組		580名		0名		0名		0名		16名		18名		20名			
	6	山形県	37	34	170	149	277	240	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
			71校		319組		517名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
	7	福島県	68	67	565	420	1172	875	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	○
			135校		985組		2047名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
関東	8	茨城県	69	70	374	353	542	531	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
			139校		727組		1073名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
	9	栃木県	50	48	115	106	121	117	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
			98校		221組		238名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
	10	群馬県	48	45	387	333	321	309	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
			93校		720組		630名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
	11	埼玉県	128	134	775	792	1087	1129	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
			262校		1567組		2216名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
	12	千葉県	120	110	586	548	690	662	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
			230校		1134組		1352名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
	13	東京都	247	274	328	357	335	361	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
			521校		685組		696名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
	14	神奈川県	172	169	359	362	369	372	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
			341校		721組		741名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
	15	山梨県	23	22	111	96	231	200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
			45校		207組		431名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
北信越	16	新潟県	77	70	384	319	442	396	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
			147校		703組		838名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
	17	富山県	38	39	213	198	232	232	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	○
			77校		411組		464名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
	18	石川県	41	39	299	266	534	454	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	○
			80校		565組		988名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
	19	福井県	24	23	123	119	105	119	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	○
			47校		242組		224名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
	20	長野県	78	72	303	272	479	441	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
			150校		575組		920名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
東海	21	岐阜県	41	46	169	198	192	220	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
			87校		367組		412名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
	22	静岡県	39	49	279	340	375	354	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
			88校		619組		729名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
	23	愛知県	96	112	1003	989	1001	1172	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△	○
			208校		1992組		2173名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
	24	三重県	39	43	352	322	746	677	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	
			82校		674組		1423名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
近畿	25	滋賀県	35	36	105	115	148	156	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
			71校		220組		304名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
	26	京都府	58	64	393	407	748	856	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0		
			122校		800組		1604名		1名		0名		1名		0名		0名		0名			
	27	大阪府	96	131	42	48	61	71	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
			227校		90組		132名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
	28	兵庫県	90	105	730	930	1540	1937	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
			195校		1660組		3477名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
	29	奈良県	24	25	98	98	106	108	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
			49校		196組		214名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
	30	和歌山	14	11	81	70	172	143	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
			25校		151組		315名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			

		都道府県	都道府県予選出場数						外国人留学生出場数						1条校以外の生徒出場数						HP開設	
			学校対抗		ダブルス		シングルス		学校対抗		ダブルス		シングルス		学校対抗		ダブルス		シングルス		専門部	協会
			男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子		
中国	31	鳥取県	25	24	133	126	289	256	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	○
			49校		259組		545名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
	32	島根県	13	14	77	95	163	194	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	○
			27校		172組		357名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
	33	岡山県	51	51	455	373	794	589	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
			102校		828組		1383名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
	34	広島県	63	60	334	325	622	603	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
			123校		659組		1225名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
	35	山口県	16	22	90	113	170	205	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
			38校		203組		375名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
四国	36	徳島県	21	16	114	107	249	241	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	○
			37校		221組		490名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
	37	香川県	28	25	159	140	198	175	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
			53校		299組		373名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
	38	愛媛県	26	22	150	136	101	83	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
			48校		286組		184名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
	39	高知県	24	20	110	98	188	155	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
			44校		208組		343名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
九州	40	福岡県																				
	41	佐賀県	18	17	65	66	70	71	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	○
			35校		131組		141名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
	42	長崎県	32	42	101	128	104	135	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
			74校		229組		239名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
	43	大分県	16	15	64	57	101	97	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	○
			31校		121組		198名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
	44	熊本県	58	53	225	204	458	426	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
			111校		429組		884名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
	45	宮崎県	41	41	152	156	319	321	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	○	○
			82校		308組		640名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
	46	鹿児島県	60	59	234	226	480	464	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	○
			119校		460組		944名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
	47	沖縄県	40	39	94	92	103	95	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×	○
			79校		186組		198名		0名		0名		0名		0名		0名		0名			
平成30年度合計			2664	2710	12122	11846	18048	17756	1	0	0	0	1	0	8	8	10	8	12	8		
			5374校		23968組		35804名		1名		0名		1名		16名		18名		20名			
平成29年度合計			2655	2798	11984	11943	17472	17480	1	0	0	0	0	0	13	8	12	8	14	9		
			5453校		23927組		34952名		1名		0名		0名		21名		20名		23名			
平成28年度合計			2647	2837	12229	12518	17489	18112	0	0	0	0	0	0	35	21	42	20	46	23		
			5484校		24747組		35601名		0名		0名		0名		56名		62名		69名			
平成27年度合計			2562	2752	11267	11947	17075	17910	1	0	1	0	1	0	16	0	17	0	16	0		
			5314校		23214組		34985名		1名		1名		1名		16名		17名		16名			
平成26年度合計			2524	2763	10612	11885	16626	18205	0	0	0	0	0	0	7	0	6	0	3	0		
			5287校		22497組		34831名		0名		0名		0名		7名		6名		3名			
平成25年度合計			2554	2806	10383	11643	16014	17930	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	5	0		
			5360校		22026組		33944名		0名		0名		0名		0名		2名		5名			
平成24年度合計			2472	2634	9795	10670	15021	16219	1	1	1	1	1	1	0	0	8	0	12	0		
			5106校		20465組		31240名		2名		2名		2名		0名		8名		12名			
平成23年度合計			2502	2731	9944	11127	15660	17456	2	4	1	3	1	4	1	2	6	6	13	13		
			5233校		21071組		33116名		6名		4名		5名		3名		12名		26名			
平成22年度合計			2541	2856	10674	12072	16955	18709	1	2	5	3	4	3	1	1	4	3	4	4		
			5397校		22746組		35664名		3名		8名		7名		2名		7名		8名			
平成21年度合計			2528	2824	10612	12003	16632	18536	0	1	0	1	1	2	58	12	56	8	40	8		
			5352校		22615組		35168名		1名		1名		3名		70名		64名		48名			

(2) 平成30年度　都道府県別高体連登録状況一覧（バドミントン競技・全日制）

(公財)全国高等学校体育連盟

ブロック		都道府県	男子		女子			地区合計
			校数	人数	校数	人数	合計人数	合計人数
北海道	1	北海道	237	3,506	236	2,680	6,186	6,186
東北	2	青森	50	561	51	462	1,023	9,728
	3	岩手	43	792	48	725	1,517	
	4	宮城	69	1,239	69	1,032	2,271	
	5	秋田	26	551	29	400	951	
	6	山形	39	668	42	499	1,167	
	7	福島	76	1,621	76	1,178	2,799	
関東	8	茨城	79	1,364	80	1,250	2,614	36,535
	9	栃木	51	1,124	51	804	1,928	
	10	群馬	50	1,358	51	1,062	2,420	
	11	埼玉	147	3,927	158	3,515	7,442	
	12	千葉	136	2,914	139	2,364	5,278	
	13	東京	292	4,111	333	4,588	8,699	
	14	神奈川	200	3,872	209	3,235	7,107	
	15	山梨	23	626	23	421	1,047	
北信越	16	新潟	87	1,968	85	1,226	3,194	10,921
	17	富山	39	965	45	741	1,706	
	18	石川	40	876	43	778	1,654	
	19	福井	25	655	26	462	1,117	
	20	長野	82	1,892	85	1,358	3,250	
東海	21	岐阜	44	1,057	51	940	1,997	13,516
	22	静岡	42	1,066	55	1,074	2,140	
	23	愛知	99	3,615	120	3,310	6,925	
	24	三重	51	1,374	53	1,080	2,454	
近畿	25	滋賀	38	1,031	41	875	1,906	14,910
	26	京都	63	860	71	894	1,754	
	27	大阪	165	1,858	186	2,879	4,737	
	28	兵庫	96	2,409	111	2,761	5,170	
	29	奈良	27	520	29	422	942	
	30	和歌山	16	220	16	181	401	
中国	31	鳥取	28	450	28	434	884	7,380
	32	島根	12	190	15	284	474	
	33	岡山	49	1,060	48	938	1,998	
	34	広島	81	1,694	84	1,445	3,139	
	35	山口	22	416	26	469	885	
四国	36	徳島	24	249	22	241	490	2,944
	37	香川	32	474	31	416	890	
	38	愛媛	29	563	31	452	1,015	
	39	高知	30	264	28	285	549	
九州	40	福岡	92	2,004	98	1,745	3,749	12,662
	41	佐賀	20	383	18	327	710	
	42	長崎	29	422	42	637	1,059	
	43	熊本	61	1,116	63	833	1,949	
	44	大分	25	274	22	250	524	
	45	宮崎	41	703	43	620	1,323	
	46	鹿児島	71	1,100	76	1,043	2,143	
	47	沖縄	53	530	50	675	1,205	
合計			3,131	60,492	3,337	54,290	114,782	114,782

公益財団法人全国高等学校体育連盟バドミントン専門部規約及び運営に関する内規

第１章　　名称及び事務局

第１条　本専門部は、公益財団法人全国高等学校体育連盟（以下（公財）全国高体連と略称）バドミントン専門部（以下（公財）全国高体連専門部と略称）と称する。

第２条　本専門部は、会務処理のために、事務局を部長指定の場所に置く。なお、事務局規程を別に定める。

第２章　　目的及び事業

第３条　本専門部は、（公財）全国高体連規約に基づき、公益財団法人日本バドミントン協会（以下（公財）日本バドミントン協会と略称）と緊密な連絡をとり、全国都道府県高等学校におけるバドミントン競技の健全な普及・発展を図ることを目的とする。

第４条　本専門部は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

1　バドミントン競技に関する調査研究
2　高等学校生徒のバドミントン競技に関する指導奨励
3　全国高等学校総合体育大会（以下、全国高校総体と略称）の開催に関する審議及び開催
4　全国高等学校選抜バドミントン大会（以下全国高校選抜大会と略称）の開催に関する審議及び開催
5　各都道府県高等学校体育連盟バドミントン専門部（以下、各都道府県高体連専門部と略称）相互の緊密な連絡調整
6　（公財）全国高体連との連絡調整
7　関係諸団体との連絡調整
8　関係各種刊行物の発行
9　その他、本専門部の目的達成に必要な事業

第３章　　組　　織

第５条　本専門部は、各都道府県高体連専門部をもって組織する。

第４章　　役職及び職務

第６条　本専門部には、次の役員を置く。

1　顧　　問　　若干名
2　部　　長　　１　名
3　副 部 長　　若干名
4　常任委員　　９名以上　［全国９地区各１名、部長指名若干名］
5　事務局長　　１　名
6　事務局員　　若干名　［必要により置くことができる］
7　監　　事　　２　名

第７条　役員選出規程を別に定める。

第８条　各役員の職務は、次のとおりとする。

1　顧問は、重要な会務に関し、部長の諮問に応ずる。
2　部長は、本専門部を代表し、会務を統括する。
3　副部長は、部長を補佐し、部長事故ある時は、副部長がその職務を代行する

4　常任委員は、会務を処理する。
5　事務局長は、別に定める事務局規程により、事務を処理する。
6　事務局員は、事務局長を補佐する。
7　監事は会計を監査する。

第９条　役員は、学校教育法第50条・第１項に規定する学校長・教頭・教諭の職にある者があたる。ただし、顧問はこの限りではない。

第10条　各役員の任期は、次のとおりとする。
1　本専門部の役員の任期は２年とする。ただし、再任を妨げない。なお、監事の任期は２年とし、再任はしない。
2　補欠又は増員によって就任した役員の任期は、前任者の残任期間とする。

第５章　会　　議

第11条　(公財) 全国高体連専門部会（以下、常任委員会と略称）は、次のとおりとする。
1　部長が召集する。
2　定例の会議は、毎年、全国高校総体組み合わせ会議時・全国高校総体開催時・全日本研修合宿開催時・全国高等学校選抜大会組み合わせ会議時とする。また、全国高校選抜大会開催時に開催することもある。
3　その他必要がある時は、臨時に開催することが出来る。
4　会議は、部長・副部長・常任委員・事務局で構成する。
5　議長は、副部長があたる。記録は、事務局があたる。
6　会議は、部長・副部長・常任委員の３分の２以上の出席をもって成立する。
7　会議の表決は、出席者の過半数の決議で決する。可否同数の場合は議長がこれを決する。
8　常任委員会は、以下のような会務を行う。
（１）（公財）全国高体連専門部委員長会議（以下、委員長会議と略称）の議案の作成・審議
（２）関係諸団体から委託された事項の審議・処理
（３）関係諸団体で決議された事項の処理
（４）緊急事項の審議・処理
（５）その他の会務の審議・処理

第12条　委員長会議は、次のとおりとする。
1　部長が召集する。
2　役員の承認・予算・決算・規約の改正等重要事項を審議する最高決議機関である。
3　定例の委員長会議は、全国高校総体開催時に開催する。
4　その他必要がある時は、臨時に開催することができる。
5　委員長会議は、顧問・部長・副部長・常任委員・事務局・監事・各都道府県高体連専門部委員長、及びその他同会議関係者で構成する。
6　議長は、副部長があたる。記録は、事務局があたる。
7　全国都道府県数（48、北海道は２）を定数とし、その３分の２以上（委任状含）の出席をもって成立する。なお、出席できない時は、同都道府県内の他の者に代行させるか全国専門部長（委任状により）に委任することができる。
8　会議の決議は、出席都道府県（各都道府県１票、北北海道１票、南北海道１票、含委任状）の過半数の決議で決する。可否同数の場合は議長がこれを決する。

第13条　緊急な事項で委員長会議を開催できない場合は、常任委員会がその決定を代行し、次の委員長会議で報告することができる。

第6章　各種委員会

第14条　本専門部は、事業遂行のため必要あるときは、常任委員会の審議により、各種委員会を設けることができる。委員会の名称・目的・委員の定数、その他必要な事項は常任委員会で定める。なお、各種委員会内規を別に定める。

第7章　表　　彰

第15条　本専門部において、特に功績のあった者を表彰する。なお、表彰規程を別に定める。

第8章　会　　計

第16条　本専門部の経費は、次にかかげるもので支弁する。

1　(公財) 全国高体連からの補助金
2　各都道府県専門部 (48、北海道は2) からの分担金
3　(公財) 日本バドミントン協会からの助成金
4　事業による収入
5　寄付金
6　その他の収入

第17条　本専門部の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

第18条　会計規程を別に定める。

第9章　規約改正

第19条　本専門部の規約改正は、委員長会議の決議による。

第10章　組み合わせ

第20条　全国高校総体・全国高校選抜大会の組み合わせ基準を別に定める。

附　　則

本規約にて規定なき細則は、必要に応じて常任委員会で作成する。
本規約は、昭和55年7月31日に制定する。
本規約は、昭和55年7月31日に施行する。
本規約は、平成10年7月31日より一部［第4章、第6条・第8条］追加し、施行する。
本規約は、平成20年7月27日より一部［表題、第1章第1条、第2章第3・4条、第3章第5条、第4章第6・8・11条、第5章第12・13・14条、第6章第15条、第7章16条、第8章17・18・19・20条、第9章20条、第10章第21条］を改定・追加・削除し、施行する。
本規約は、平成25年8月5日より一部［表題、第1章第1条、第2章第3・4条、第4章6・8条、第5章第11条、第8章第16条］を改定・追加・削除し、施行する。
本規約は、平成26年7月31日より一部［第4章、第10条］訂正し、施行する。

事務局規程

第１条　本規程は、(公財) 全国高体連専門部規約第１章３条により、本専門部の円滑な運営をはかるために定める。

第２条　本事務局は、次の事項について事務を処理する。

１　総務関係

（１）　公印の保管
（２）　(公財) 全国高体連との連絡調整
（３）　(公財) 日本バドミントン協会との連絡調整
（４）　関係諸団体との連絡調整
（５）　運営を推進するための業務
（６）　その他総務に関わること

２　庶務・文書関係

（１）　文書の収受・処理・発送・整理・保管・処分等
（２）　諸会議の会議録・行事等の記録
（３）　関係各種刊行物の発行
（４）　その他庶務に関わること

３　経理関係

（１）　予算・決算
（２）　収入・支出
（３）　その他経理に関わること

第３条　事務局は、部長の指示を受けて事務を処理する。

附　則　本規程は、昭和47年７月31日より施行する。
本規程は、平成20年７月27日より一部［第１・２・３条］を改定し、施行する。
本規程は、平成25年８月５日より一部［第１条、第２条１］を改定し、施行する。

役員選出規程

第１条　（公財）全国高体連専門部規約第４章第８条により、役員規程を次のとおり定める。

第２条　本専門部の役員は、常任委員会及び選考委員会（全国９地区各１名）において選出し、委員長会議の承認を得ることとする。

第３条　顧問は、歴代部長および広く本専門部に関与する者の中より若干名を選出し、部長が推薦する。

第４条　部長は、広く本専門部に関与する者より、選考委員会において選出し、委員長会議において承認を得ることとする。なお、部長は、常任委員を兼ねることはできない。

第５条　副部長は、選考委員会において選出し、委員長会議において承認を得ることとする。なお、副部長は常任委員を兼ねることはできない。

第６条　常任委員は、部長が委嘱する。

第７条　事務局長は、各都道府県高体連専門部より選出し、部長が委嘱する。

第８条　事務局員は、必要により部長が委嘱する。

第９条　監事は、選考委員会において選出し、委員長会議において承認を得ることとする。なお、監事は、常任委員を兼ねることはできない。

附　則　本規程は、昭和44年７月31日より施行する。
本規程は、平成10年７月31日より一部［第８条］を追加し、施行する。
本規程は、平成20年７月27日より一部［第１・２・４・５・６・７・９条］を改定・追加・削除し、施行する。
本規程は、平成25年８月５日より一部［第１条、第４条、第５条］を改定し、施行する。
本規約は、平成26年７月31日より一部［第２・４・５・６・７・８・９条］訂正し、施行する。

表彰規程

第１条　（公財）全国高体連専門部規約第７章第15条により、本専門部の振興発展に貢献した学校・団体・個人に対し、その栄誉を顕彰するために次の表彰規程を定める。

第２条　表彰の種類及び選考（推薦）基準は次のとおりとする。

1　全国高校総体及び全国高校選抜大会の学校対抗・個人対抗（単・複）において１～３位に入賞した学校・個人を表彰する。

2　表彰

（１）　功労賞　（公財）全国高体連専門部役員を退任した者を表彰する。
（全国高校総体・委員長会議において表彰）

ア　部長・副部長

イ　常任委員・事務局長・事務局員（ともに２期又は４年以上在任した者）

（２）　優秀校賞

ア　全国高校総体学校対抗に10の倍数年連続（10・20・30・40年・・・）出場した学校を表彰する。

イ　（全国高校総体・開会式において表彰）
全国高校選抜大会学校対抗に10の倍数年連続（10・20・30・40年・・・）出場した学校を表彰する。
（全国高校選抜大会・開会式において表彰）

（３）　感謝状　全国高校総体開催市町村への感謝状を（公財）日本バドミントン協会へ申請する。
（全国高校総体・開会式において表彰）

3　特別表彰　（記念事業で行う表彰で、前回以後の10年間の成績）

（１）　特別功労賞　永年にわたり特に本専門部の振興発展に寄与した個人を表彰する。

ア　元全国専門部長・副部長

イ　元常任委員（２期以上）

ウ　常任委員（２期以上）

エ　常任委員が推薦する者（この10年間で特に功労がある者）

オ　開催都道府県専門委員長

①全国高校総体開催地委員長を表彰する。

②全国高校選抜大会開催地委員長を表彰する。

③全日本ジュニアバドミントン研修合宿開催地委員長を表彰する。

（２）　功労賞　各都道府県専門部の部長、委員長で特に功績があった者又は同等な功績があった者（原則的には４期又は８年以上在任した者）を表彰する。

（３）　優秀監督賞

ア　全国高校総体学校対抗において２回以上優勝した監督を表彰する。

イ　全国高校選抜大会学校対抗において２回以上優勝した監督を表彰する

（４）　優秀校賞

ア　高校総体学校対抗に10の倍数年以上出場した学校を表彰する
（前回より上の回数のみ表彰）

イ　全国高校選抜大会学校対抗に10の倍数年以上出場した学校を表彰

する。（前回より上の回数のみ表彰）

ウ　この10年間に５回以上の優勝に達した学校を表彰する。

①全国高校総体学校対抗に優勝した学校を表彰する。

②全国高校選抜大会学校対抗に優勝した学校を表彰する。

（５）　感謝状　永年にわたり本専門部の振興発展に寄与した団体又は個人を表彰する。

※　この10年間に表彰対象になった学校や個人を表彰する。

※　勤務校が変更になった後の成績や男女別での成績は、通算で考える。

※　同一人の表彰は一回一賞とし、同一人が同時に複数の賞の候補者になった場合の賞の選択は、受賞候補者に任せる。また、功労賞と感謝状の同一人への表彰は、原則として一回限りとする。

ただし、過去の受賞後も、特に功績があった者又は同等な功績があった者（功労賞は、この10年間で３期又は６年以上在任した者）はこの限りではない。

第３条　推薦の方法は次のとおりとする。

1　（公財）全国高体連専門部（部長・副部長・常任委員・事務局）よりの推薦

2　各都道府県専門部よりの推薦

3　各地区（全国９ブロック）専門部よりの推薦

第４条　受賞候補者の推薦は、次のとおりとする。

1　大会ごとの表彰については、（公財）全国高体連専門部が行うものとする。

2　特別表彰については、本専門部所定の様式により、当該大会開催年６月末日までに全国専門部長（事務局）あてに送付すること。ただし、全国高校選抜大会関係は当該大会開催年１月末日までとする。

第５条　前条において推薦された者については、常任委員会において選考決定する。

第６条　表彰は、原則として全国高校総体は委員長会議か開会式又は記念式典で、全国高校選抜大会は開会式又は記念式典で行うこととする。

第７条　表彰は、原則として賞状等を授与する。

第８条　受賞候補者が故人である場合であっても、追彰することとする。

第９条　受賞のため要する経費（旅費・宿泊費）は、本人が負担することとする。

附　則　本規程は、昭和54年７月31日より施行する。

本規程は、平成９年７月31日より一部［第２条２（1）（3）・３（1）（2）（3）（4）・第６条］追加・改正し、施行する。

本規程は、平成10年７月31日より一部［第２条２（2）］追加・削除・改正し、施行する。

本規程は、平成20年７月27日より一部［第１・２・３・４・５・６条］を改定・追加し、施行する。

本規程は、平成25年８月５日より一部［第１条、第２条２、第３条、第４条］を追加・削除・改定し、施行する。

本規約は、平成26年７月31日より一部［第２条２（1）、３（1）（2）（3）（4）］追加・訂正し、施行する。

令和　　年　　月　　日

（公財）全国高等学校体育連盟バドミントン専門部長　様

推 薦 団 体 名　　高体連バドミントン専門部

役職名・責任者名　　印

（公財）全国高等学校体育連盟バドミントン専門部　特別表彰　受賞候補者推薦書

下記のようなことで、受賞候補者を推薦いたします。

該 当 賞 名	表彰候補者名・学校名	推　薦　理　由
功　労　賞		
優秀監督賞 （高校総体）		
優秀監督賞 （高校選抜）		
優 秀 校 賞 （高校総体）		
優 秀 校 賞 （高校選抜）		
感　謝　状		

＊令和　　年3月末日までに提出してください。

会計規程

第１条　（公財）全国高体連専門部規約第８章第18条により、本専門部会計の予算・決算・監査および執行に関することについて次のような会計規程を定める。

第２条　本専門部の会計事務を処理するために、会計担当（事務局長が兼務）を置く。

第３条　会計業務の執行は、部長の承認のもとに事務局長が行う。

第４条　本専門部には、次の諸帳簿を備えることとする。

1　予算書
2　予算差引簿
3　現金出納簿
4　現金通帳

第５条　会計の予算・決算の立案・作成、審議、決定又は承認、および、監査は次のとおりとする。

1　予算・決算の立案・作成は、部長の指示のもとに事務局長（会計担当が兼務）が行う。
（１）　予算は、前年度中に暫定予算を立案・作成する。
（２）　決算は、原則として会計年度終了後、１ヶ月以内に作成する。

2　予算・決算の審議、決定又は承認は、次のとおりとする。
（１）　予算は、当該年度の全国高校総体の常任委員会で審議、決定する。
（２）　決算は、翌年度の全国高校総体の常任委員会で審議、決定する。
（３）　予算・決算ともに、全国高校総体の委員長会議において承認を得るものとする。

3　監査は、全国高校総体の常任委員会での審議に先立って、原則として、部長・事務局長立会いのもとに受けることとする。

第６条　全国高校総体において、記念事業を実施する時は、臨時に分担金を徴収することができる。臨時徴収金は、前年度の常任委員会において審議、決定する。

第７条　会計の収支項目及びその内容は、次のとおりとする。（(公財）全国高体連に準拠する）

1　収入の部
（１）　事業費　広告料・協賛金・機関誌・物品販売収入等
（２）　補助金　（公財）全国高体連・(公財）日本バドミントン協会等からの補助
（３）　分担金
ア　分担金額　各都道府県専門部、各30,000円
（ただし、北海道は60,000円）
イ　海外派遣基金　各都道府県専門部、各5,000円
（ただし、北海道・開催県は10,000円）
ウ　臨時徴収金　常任委員会において審議・決定する。
（４）　寄付金　本専門部運営のための寄付
（５）　雑収入　預金利子及び上記（１）～（４）以外の収入
（６）　繰入金　他会計からの繰入
（７）　未収入金　前年度決算における収入
（８）　前年度繰越金　前年度決算における繰越

2　支出の部
（１）　事務費
ア　委員会費　（公財）全国高体連会旅費、常任委員会旅費
イ　海外遠征費　国際交流派遣費補助

ウ　強化合宿費　研修合宿補助
エ　負担金　（公財）日本バドミントン協会加盟負担金
オ　運営補助金　各全国大会補助、選抜ブロック予選補助、研修合宿補助
カ　通信運搬費　各種通信・運搬
キ　広報費　専門部ＨＰ運用費
ク　印刷製本費　表彰状印刷等
ケ　保険料　大会・海外遠征等の保険金
コ　諸謝金　筆耕者等の謝礼等
サ　雑支出

（２）　管理費

ア　会議費　（公財）全国高体連会議費、常任委員会会議費
イ　旅費交通費　別に定める「旅費等の支出に関する基準」による
ウ　通信運搬費　郵送料・電話電報料・宅配送料等
エ　消耗品費　各種消耗品等
オ　印刷製本費　専門部運営に関する諸印刷費
カ　渉外費　渉外（香典・壮行祝等）に関する経費
キ　事務局運営費　事務運営上の経費
ク　雑費　上記ア～キ以外の諸経費
①慶弔費　別に定める「慶弔費等の支出に関する内規」による
②見舞金　同上
③表彰費　同上

（３）　繰入金　　他会計への繰入
（４）　未払金　　次年度への未払繰越
（５）　次年度繰越金　　次年度への繰越

附　則　本規程は、昭和55年７月31日より施行する。
本規程は、平成20年７月27日より一部［第１・５・６・７条］を改定・追加し、施行する。
本規程は、平成25年８月５日より一部［第１条、第５条、第６条、第７条１・２］を追加・削除・改定し、施行する。

「慶弔費等の支出に関する内規」

第１条　この内規における対象者は次のとおりとする。

1　（公財）全国高体連専門部役員（顧問・部長・副部長・常任委員・事務局長・事務局員・監事）
（なお、永年に亘り本専門部の役員として貢献した者については、部長の判断により別に考慮する）

2　全国高校総体・全国高校選抜大会に参加した引率教員・監督・コーチ・マネージャー・選手・大会役員・競技役員
（ただし、競技会（大会）開催期間のみ適用）

3　（公財）全国高体連主催又は（公財）全国高体連専門部主催・主管の合宿・講習会等に参加した引率教師・選手・指導者・役員（ただし、合宿・講習会開催期間のみ適用）

4　（公財）全国高体連又は（公財）全国高体連専門部が関与する海外遠征・国際競技会（国際大会）に参加した監督・コーチ・選手・役員
（ただし、海外遠征・国際競技会（国際大会）開催期間のみ適用）

第２条　弔事に対する儀礼、疾病及び障害に対する見舞金・保険金、大会ごと表彰・特別表彰に関わる費用、海外遠征・国際競技会（国際大会）出場に関わる補助金の支出については、次のとおりとする。なお詳細は部長の指示による。

1　弔事に対する儀礼
上記第１条の　1、2、3、4　対象者が死亡の場合（10,000円・供花１基）

2　疾病及び障害に対する見舞金
上記第１条の　1　対象者が疾病又は傷害により１ヶ月以上の入院加療を要したの場合
（10,000円）
（該当者等からの（公財）全国高体連専門部長への請求による）

3　大会ごと表彰・特別表彰に関わる費用

4　海外遠征・国際競技（国際大会）出場に関わる補助金

第３条　その他必要と思われる場合については、部長の判断による。

附　則　本内規は、昭和55年７月31日より施行する。
本内規は、平成９年７月31日より一部［附則］改正し、施行する。
本内規は、平成20年７月27日より一部［１・２・３］を改定・追加し、施行する。
本内規は、平成25年８月５日より一部［第１条１・３・４、第２条］を改定し、施行する。
本内規は、平成26年７月31日より一部［第２条］を改定し、施行する。

「旅費等の支出に関する基準」

第１条　全国高校総体関係の旅費等の支出について次のとおりとする。

1　打ち合わせ・視察・・・・部長・副部長・常任委員・事務局長・事務局員
　→　(公財) 全国高体連専門部が負担

2　組み合わせ会議・・・・部長・副部長・常任委員・事務局長・事務局員
　→　開催都道府県が負担

3　大会期間・・・・部長・副部長・常任委員・事務局長・事務局員
　→　開催都道府県が負担

第２条　全国高校選抜大会関係の旅費等の支出について次のとおりとする。

1　組み合わせ会議・・・・部長・副部長・常任委員・事務局長・事務局員
　→　開催都道府県が負担
　　(ただし、常任委員の交通費は、全国各地区（ブロック）が負担)

2　大会期間・・・・部長・副部長・常任委員・事務局長・事務局員
　→　開催都道府県が負担

第３条　支給基準について次のとおりとする（(公財) 全国高体連専門部が旅費を負担する場合）

1　交通費は、勤務先と用務先との最寄の駅により起算する。

2　勤務先と用務先の距離が100㎞以上あり、新幹線を利用した方がよい場合には、新幹線料金を支給する。ただし、新幹線利用距離が100㎞以上の場合とする。

3　航空運賃は、用務時間と旅行経路とを考慮して支給する。

4　(公財) 全国高体連専門部役員と各都道府県専門部委員長を兼ねている者は、所属都道府県高体連より支給されない部分を支給する。

5　本専門部の用務期間中に、他の用務で他の団体等から旅費等（交通費・宿泊費・日当）の支給があった場合には支給しない。

6　全国高校総体関係用務の場合には、全国高校総体開催都道府県実行委員会旅費基準による。それ以外の用務については、下記の支給基準による。

対象者	顧問・部長・副部長・常任委員・事務局長・事務局員・監事 全国高校総体・全国高校選抜大会関係の場合→大会規程料金
宿泊費	規程料金・指定料金のない場合→実費 用務の日程・内容により泊数を配慮する。
日当	全国高校総体開催都道府県実行委員会支給基準による

費目	交通機関距離	普通 旅客運賃	急行 指定運賃	特急 指定料金	新幹線 指定料金
旅費	0 ～ 100㎞	○	○		
	100 ～ 300㎞	○		○	○
	300 ～ 500㎞	○		○	○
	500 ～ 700㎞	○		○	○
	700 ～ 999㎞	○		○	○

第４条　受賞に関わる経費について次のとおりとする

1　(公財) 全国高体連専門部よりの推薦者　→　原則としては、受賞候補者本人が負担

2　各都道府県専門部よりの推薦者　→　受賞候補者の当該推薦専門部（各都道府県専門部）が負担

3　各地区(ブロック)よりの推薦者　　→　受賞候補者の当該推薦各地区(ブロック)が負担

第５条　関係会議関係の旅費等の支出について次のとおりとする。

1　(公財) 全国高体連会議・・・・・・・・部長　→　(公財) 全国高体連が負担

2　(公財) 日本バドミントン協会関係・・・部長　→　(公財) 日本バドミントン協会が負担

3　その他、関係諸会議・・・・部長(・副部長)　→　関係団体が負担

附　則　本基準は、昭和55年７月30日より施行する。

本基準は、平成９年７月31日より一部（慶弔費等の支出に関する内規の４旅費等の支出に関する基準の５（６）の日当部分）改正し、施行する。

本基準は、平成20年７月27日より一部［１・２・３・４・５・表］を改定・追加・削除し、施行する。

本基準は、平成25年８月５日より一部［第１条１・３、第２条２、第３条・４、第４条１、第５条１・２］を改定・追加・削除し、施行する。

本基準は、平成26年８月５日より一部［第１条、第２条、第３条、第４条、第５条］を改定・追加・削除し、施行する。

（公財）全国高等学校体育連盟バドミントン専門部委員長会議を欠席する場合には、委任状をお願いします。

令和　　年　　月　　日

委　任　状

（公財）全国高等学校体育連盟バドミントン専門部長　様

＿＿＿＿＿＿　都・道・府・県バドミントン専門部

令和　　年度（公財）全国高等学校体育連盟バドミントン専門部委員長会議の案件の議決・承認に関しては、一切（公財）全国高等学校体育連盟バドミントン専門部長に一任いたします。

専門部委員会規程

第１条　（公財）全国高体連専門部規約第６章第14条により、本専門部の円滑な運営をはかるために、専門部委員会を設置する。

第２条　専門部委員会の構成は、委員長（副部長）及び委員（常任委員・事務局長・事務局員）とする。また部長は会を統轄する。

第３条　本専門部は、次の委員会を設置し、以下の業務を行う。

１　総務委員会

（１）　総務　　ア　事務全般
イ　各種会議の運営・資料の作成・記録
ウ　諸規程の管理
エ　（公財）全国高体連との連絡調整
オ　（公財）日本バドミントン協会との連絡調整
カ　各都道府県高体連専門部との連絡調整
キ　その他関係諸団体との連絡調整

（２）　財務　　会計の管理

（３）　広報　　ア　ホームページの管理・充実
イ　情報のネットワーク化

（４）　登録審査　ア　留学生などの審査
イ　会員登録の審査

２　競技委員会

（１）　事業　　ア　大会開催の管理・監督
イ　競技規則改正等の連絡・伝達

（２）　競技審判　ア　大会役員の配置
イ　競技運営・審判に関わる事項
ウ　競技役員（レフェリー）・審判員の養成と派遣

（３）　医事管理　ア　選手のドーピングに関する事項
イ　選手の健康管理と医学的サポート（大会での医師・看護師・トレーナの配置）

３　強化委員会

（１）　選手強化　ア　研修合宿の企画運営
イ　競技力向上のためのチーム編成と強化練習
ウ　（公財）日本バドミントン協会との連携
エ　高校と中学校・大学等との連携強化の推進

（２）　普及指導　ア　選手の普及・開発
イ　指導者の養成
ウ　選手のドーピングに関する事項

４　周年記念実行委員会（（公財）全国高体連バドミントン専門部10の倍数周年事業）

（１）　記念誌　　ア　記念誌の編纂
イ　原稿の依頼及び収受
ウ　記念誌の配布
エ　その他、必要な事項

（２）　記念式典　ア　出席者の依頼文書の作成・発送及び収受
イ　記念式典及び祝賀会の計画立案及び実施

ウ　被表彰者の選定及び表彰
エ　その他、必要な事項

（3）　総務　ア　会計に関する事項
イ　文書の発送及び収受
ウ　記念品の選定及び配布
エ　記念Tシャツ及び記念誌の販売
オ　関係諸団体等との連絡調整
カ　その他、必要な事項

附　則　本（内規）は、平成20年７月27日より施行する。
本（内規）は、平成25年８月５日より［第１条、第３条１・４］改定し、施行する。
本（内規）は、平成26年７月31日より［第３条１・２・３・４］改定し、施行する。

組み合わせ基準

第１条　（公財）全国高体連専門部規約第10章第20条により、全国高校総体の組み合わせ基準を次のように定める。

１　学校対抗（団体戦）

第１条件　前年度全国高校選抜大会ベスト４入賞校を入れる。
※　１位、２位、３位の順、３位は抽選

第２条件　前年度全国高校総体ベスト８入賞校を入れる。
※　１位、２位、３位、５位の順、同順位は抽選

第３条件　開催都道府県第１代表が第１・第２条件によって入っていない時は入れる。
※　開催都道府県は、単独地区（ブロック）とする。

第４条件　第１・第２条件によって入っていない地区（ブロック）の第１代表を入れる。

第５条件　第１・第２条件によって入っている地区（ブロック）の第１代表がまだ入っていない時は入れる。

第６条件　開催都道府県第２代表が第１・第２条件によって入っていない時は入れる。

第７条件　各地区（ブロック）の第２代表が第１・第２条件によって入っていない時は入れる。

第８条件　上記の条件を参考にしてシードを決定し、残りは抽選とする。

※　試合番号１・９・10・18に入るのは、同地区（ブロック）からは２つまでとする。
※　初回戦が前年度全国高校総体と同じ対戦にならないようにする。
※　初回戦が前年度全国高校選抜大会と同じ対戦にならないようにする。

２　個人対抗（ダブルス）

第１条件　前年度全国高校選抜大会ベスト８入賞者を入れる。
※　１位、２位、３位、５位の順、同順位は抽選

第２条件　前年度全国高校総体ベスト８入賞者が第１条件によって入っていない時は入れる。
※　１位、２位、３位、５位の順、同順位は抽選

第３条件　開催都道府県第１代表が第１・第２条件によって入っていない時は入れる。

第４条件　前年度全国高校総体ベスト16入賞者が第１・第２・第３条件によって入っていない時は入れる。※　同順位は抽選

第５条件　第１・第２・第４条件の該当者でパートナーの変更（組替）によるときは、第１条件から順に入れる。

第６条件　第１・第２・第４・第５条件によって入っていない地区（ブロック）の第１代表を入れる。

第７条件　開催都道府県第２代表が第１・第２条件によって入っていない時は入れる。

第８条件　上記にない各ブロックの第２代表を入れる。

第９条件　上記の条件を参考にしてシードを決定し、残りは抽選とする。

※　試合番号１・17・18・34に入るのは、各ブロックからは２つまでとする。
※　初回戦が前年度全国高校総体と同じ対戦にならないようにする。
※　初回戦が前年度全国高校選抜大会と同じ対戦にならないようにする。

３　個人対抗（シングルス）

第１条件　前年度全国高校選抜大会ベスト８入賞者を入れる。
※　１位、２位、３位、５位の順、同順位は抽選

第２条件　前年度全国高校総体ベスト８入賞者が第１条件によって入っていない時は入れる。
※　１位、２位、３位、５位の順、同順位は抽選

第３条件　開催都道府県第１代表が第１・第２条件によって入っていない時は入れる。

第４条件　前年度全国高校総体ベスト16入賞者が第１・第２・第３条件によって入っていな

い時は入れる。※　同順位は抽選

第５条件　第１・第２・第４条件によって入っていない地区（ブロック）の第１代表を入れる。

第６条件　開催都道府県第２代表が第１・第２条件によって入っていない時は入れる。

第７条件　上記にない各ブロックの第２代表を入れる。

第８条件　上記の条件を参考にしてシードを決定し、残りは抽選とする。

※　試合番号１・17・18・34に入るのは、各ブロックからは２つまでとする。

※　初回戦が前年度全国高校総体と同じ対戦にならないようにする。

※　初回戦が前年度全国高校選抜大会と同じ対戦にならないようにする。

第２条　（公財）全国高体連専門部規約第10章第20条により、全国高校選抜大会の組み合わせ基準を次のように定める。

１　学校対抗（団体戦）

第１条件　全国高校総体ベスト８入賞校を入れる。

※　同順位は抽選

第２条件　開催都道府県第１代表が第１条件によって入っていない時は入れる。

第３条件　前年度全国選抜大会ベスト４入賞校が第１・第２条件によって入っていない時は入れる。※　同順位は抽選

第４条件　第１・第３条件によって入っていない地区（ブロック）の第１代表を入れる。

第５条件　上記の条件を参考にしてシードを決定し、残りは抽選とする。

※　ストレート出場の東京（男女各２（東・西））・神奈川（男女）・埼玉（男女）・愛知（男女）・大阪（女）は単独地区（ブロック）とする。

※　初回戦が前年度と同じ対戦にならないようにする。

２　個人対抗（ダブルス）

第１条件　全日本ジュニア選手権大会ベスト８入賞者を入れる。

※　同順位は抽選

第２条件　全国高校総体ベスト16入賞者が第１条件によって入っていない時は入れる。

※　同順位は抽選

第３条件　前年度全国選抜大会ベスト８入賞者を入れる。

※　同順位は抽選

第４条件　開催都道府県第１代表が第１・第２・第３条件によって入っていない時は入れる。

第５条件　第１・第２・第３・第４条件の該当者でパートナーの変更（組替）によるときは第１条件から順に入れる。

第６条件　第１・第２・第３・第５条件によって入っていない地区（ブロック）の第１代表を入れる。

第７条件　上記の条件を参考にしてシードを決定し、残りは抽選とする。

※　初回戦が前年度と同じ対戦にならないようにする。

３　個人対抗（シングルス）

第１条件　全日本ジュニア選手権大会ベスト８入賞者を入れる。

※　同順位は抽選

第２条件　全国高校総体ベスト16入賞者が第１条件によって入っていない時は入れる。

※　同順位は抽選

第３条件　前年度全国選抜大会ベスト８入賞者を入れる。

※　同順位は抽選

第４条件　開催都道府県第１代表が第１・第２・第３条件によって入っていない時は入れる。

第５条件　第１・第２・第３条件によって入っていない地区（ブロック）の第１代表を入れる。

第６条件　上記の条件を参考にしてシードを決定し、残りは抽選とする。

※　初回戦が前年度と同じ対戦にならないようにする。

4　【記念大会】学校対抗（団体戦）

第１条件　全国高校総体ベスト８入賞校を入れる。

※　同順位は抽選

第２条件　開催都道府県第１代表が第１条件によって入っていない時は入れる。

第３条件　上記の条件を参考にしてシードを決定し、残りは抽選とする。

※　組み合わせは、公開抽選とする。なお、予備抽選を行い、抽選順位を決定する。

※　開催都道府県（第１・第２）、東京都（東・西）、北海道（南・北）の組み合わせは、等分に分ける。なお、抽選は、第２条件の最初に行う。

附　則　全国高校総体基準は、昭和55年７月31日に施行する。

全国高校選抜大会基準は、平成13年７月31日に施行する。

本基準は、平成20年７月27日より以下通り、一部追加・削除・改正し、施行する。

本基準は、平成25年８月５日より以下通り、一部追加・削除・改正し、施行する。

本基準は、平成25年８月６日より以下通り、一部追加・削除・改正し、施行する。

本基準は、平成29年７月28日より以下通り、一部追加・削除・改正し、施行する。

令和元年度 全国高等学校体育連盟バドミントン専門部 役員

部長	田部井 秀郎	埼玉県立越谷南高等学校
副部長	山下 幸夫	鳥取県立境高等学校
〃	渡邊 励	北海道北広島高等学校
〃	新井 研二	長野県松本蟻ケ崎高等学校
〃	菊地 亨	岩手県立花北青雲高等学校
常任委員（北海道）	宮野 慎哉	北海道江別高等学校
〃（東北）	大沼 良彰	尚絅学院高等学校
〃（関東）	関根 忠	淑徳巣鴨高等学校
〃（北信越）	越田 芳成	富山県立高岡工芸高等学校
〃（東海）	山本 泰生	暁高等学校
〃（近畿）	佐藤 浩	親和女子高等学校
〃（中国）	佐藤 忠裕	山陽女子高等学校
〃（四国）	秋山 啓太	愛媛県立伊予農業高等学校
〃（九州）	末次 孝文	佐賀県立佐賀工業高等学校
事務局長（兼務）	新井 研二	長野県松本蟻ケ崎高等学校
事務局員	飯田 武司	中央学院高等学校
〃	瀧澤 智顕	山梨県立巨摩高等学校

編集後記

（公財）全国高等学校体育連盟バドミントン専門部創立70周年の節目の年を迎えここに記念誌を発刊できますことを心より嬉しく思うところであります。記念誌の発刊に際し、ご協力いただきました皆様には心より感謝申し上げます。

今回の記念誌作成にあたり60周年記念誌を参考にしながら、継続性を持たせるように刊行の準備をいたしました。主にこの10年間の記録をまとめたものとして掲載しておりますので、栄光の足跡としてご覧下さい。

当専門部は、設立以来専門部を支えていただいた諸先輩方、大会を盛り上げた選手・監督の皆様方からのご支援・ご協力があって現在に至っております。次回の節目である80周年に向けてより円滑な専門部運営を目指すとともに、全国各地の高校生が将来世界で活躍できるよう、その環境作りに力を注いでいきたいと考えております。

最後になりますが、今後共専門部運営に対しまして、ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げ、編集後記と致します。

（公財）全国高等学校体育連盟バドミントン専門部
創立70周年記念誌

令和元年７月30日発行

編集　（公財）全国高等学校体育連盟バドミントン専門部
創立70周年記念事業実行委員会
編集委員長　渡邊　励
委員　山下幸夫
秋山啓太
宮野慎哉

発行　（公財）全国高等学校体育連盟バドミントン専門部
部長　田部井秀郎

事務局　（公財）全国高等学校体育連盟バドミントン専門部
〒399-8605　長野県松本市蟻ヶ崎1-54
長野県松本蟻ヶ崎高等学校内　新井研二

印刷　株式会社 組合印刷
〒069-0365　北海道岩見沢市上幌向町559番地4
Tel 0126-26-2955